

社会科学I (政治学)

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	前期
必修/選択	選択必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, (非)朝倉 拓郎						

授業の概要

本講義の目的は、我々が市民（民主主義の担い手）としての力量を高めるために必要不可欠な政治的教養を身につけることにある。本講義の内容は、以下の三つのパートからなる。

- ①政治の概念：政治を理解したり、政治について議論する上で重要な概念をいくつか取り上げ、その意義について学ぶ。
- ②戦後日本の政治：戦後日本の政治状況がどのように形成されたのかを学ぶ。
- ③現代政治の諸問題：現在我々が直面している政治的課題について、上記の議論をふまえて考察する。

学生の到達目標

- ①政治を理解するための基本的概念と歴史的知識を身につけ、説明できる。
- ②過去の歴史的経緯をふまえた上で現在直面している政治的諸問題について理解し、自分なりの意見を持って説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
テキストは指定せず、毎回資料を配布する。		

参考書

タイトル	著者	出版社
資料の中で適宜紹介する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
確認テスト	100%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】講義の前後、またはメールで相談を受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	イントロダクション 本講義の概要と、受講上の注意点等について説明する。	講義	(非)朝倉 拓郎		301 講義室
2	政治の概念 (1) 政治的共同体としての「国家」の特徴について学ぶ。	講義	(非)朝倉 拓郎	主権国家、国民国家	301 講義室
3	政治の概念 (2) 政治における「公共性」の意義について学ぶ。	講義	(非)朝倉 拓郎	公共性、法の支配	301 講義室

社会科学I (政治学)

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	選択必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, (非)朝倉 拓郎						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
4	政治の概念 (3) 「民主主義」における決め方 (多数決) について学ぶ。	講義	(非)朝倉 拓郎	民主主義、多数決、一般意志	301 講義室
5	政治の概念 (4) 「権力」とそれを制御する考え方について学ぶ。	講義	(非)朝倉 拓郎	権力、立憲主義	301 講義室
6	戦後日本の政治 (1) 占領期における日本の政治について学ぶ。	講義	(非)朝倉 拓郎	新憲法の制定、冷戦、日米安保条約	301 講義室
7	戦後日本の政治 (2) 安保改定から高度成長までの歴史を学ぶ。	講義	(非)朝倉 拓郎	55年体制、安保条約の改定、高度成長	301 講義室
8	戦後日本の政治 (3) 沖縄返還の歴史的経緯について学ぶ。	講義	(非)朝倉 拓郎	返還前の沖縄、ベトナム戦争、沖縄返還	301 講義室
9	戦後日本の政治 (4) 55年体制崩壊から現在までの歴史を学ぶ。	講義	(非)朝倉 拓郎	冷戦の終結、55年体制の崩壊、ポピュリズム	301 講義室
10	現代政治の諸問題 (1) 日本の安全保障をめぐる現状と課題について学ぶ。	講義	(非)朝倉 拓郎	日米安保体制、日米安保の再定義、集団的自衛権	301 講義室
11	現代政治の諸問題 (2) 格差が拡大する要因とその政治的影響について学ぶ。	講義	(非)朝倉 拓郎	貧困率、グローバリゼーション、規制緩和	301 講義室
12	現代政治の諸問題 (3) 日本の選挙制度の現状と課題について学ぶ。	講義	(非)朝倉 拓郎	衆議院議員の選挙制度、投票率の低下	301 講義室
13	現代政治の諸問題 (4) 合意形成の方法について学ぶ	講義	(非)朝倉 拓郎	政治における合意形成の困難さ、生産的な合意形成	301 講義室
14	現代政治の諸問題 (5) 地域自治の意義と課題について学ぶ	講義	(非)朝倉 拓郎	限界集落、地域活性化、社会関係資本	301 講義室
15	確認テスト 本講義のまとめと確認テストを行う。	講義、確認テスト	(非)朝倉 拓郎		301 講義室

社会科学I (文化人類学)

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	前期
必修/選択	選択必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, (非)徳安 祐子						

授業の概要

文化人類学とは、人間について文化的・社会的側面から理解しようとする学問である。本講義では、とくに医療人類学が対象とする健康や病気に関する領域を中心に取り上げる。文化人類学において重要な考え方は、当たり前のことを当たり前としない考え方である。健康や病気、身体に対する考え方も社会や文化によってさまざまである。授業ではさまざまな社会の死生観や伝統的医療、現代医療の社会的影響などを具体的に紹介し、近代的な医療や身体観を相対化する見方、それらを「当たり前」としない医療人類学の考え方について学ぶ。

学生の到達目標

- ①文化人類学の基本的な知識と考え方を身に付け、文化や価値観の多様性とその背景について説明することができる。
- ②現代社会のなかで起きている「文化」をめぐる新しい状況について理解し、異文化間の相互理解に向けた課題と自らとるべき姿勢について考えることができる。
- ③文化人類学の考え方や視点を獲得し、事象を相対化できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
随時、プリントを配布する。		

参考書

タイトル	著者	出版社
医療人類学のレッスン	池田光穂・奥野克巳 編	学陽書房
文化人類学【カレッジ版】	波平恵美子 編	医学書院
文化人類学キーワード【改訂版】	山下晋司・船曳建夫 編	有斐閣

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	70%
毎回授業後に提出する小レポート	30%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】

- ・講義前、講義後の空き時間に相談に応じる。
- ・質問の受付、回答はEメールでも行う。

社会科学I (文化人類学)

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	選択必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, (非)徳安 祐子						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	文化人類学とはなにか 文化人類学とはなにか、また、文化人類学を学ぶことの意味について概説する。	講義	(非)徳安 祐子	文化人類学	3 1 1 講義室
2	文化人類学と医療人類学 文化人類学のなかでも医療に関するトピックを中心に扱う医療人類学について概説する。	講義	(非)徳安 祐子	文化相対主義	3 1 1 講義室
3	文化としての身体と病い 身体や病を文化的、社会的に捉えることの意味について、事例を用いて解説する。	講義	(非)徳安 祐子	医療人類学	3 1 1 講義室
4	生と死の人類学 1. 人の一生 人間の過ごす一生の時間が人々にどのように捉えられているのかを、文化的、社会的側面から考える。	講義	(非)徳安 祐子	ジェンダー	3 1 1 講義室
5	生と死の人類学 2. 誕生 出産や新生児に対する考え方など、人間の誕生について文化人類学的な視点から考える。	講義	(非)徳安 祐子	出産と医療	3 1 1 講義室
6	生と死の人類学 3. 死 「死後の世界」や死者儀礼など、人間の死に対する考え方について文化人類学的な視点から考える。	講義	(非)徳安 祐子	死者儀礼と祖先崇拜	3 1 1 講義室
7	近代医療と伝統医療 1. 伝統医療とは何か 医療人類学における多様な医療の捉え方や、伝統的な医療のあり方について解説する。	講義	(非)徳安 祐子	伝統医療	3 1 1 講義室
8	近代医療と伝統医療 2. 呪術 伝統医療としての呪術について解説し、呪術を通して近代医療について考える。	講義	(非)徳安 祐子	呪術	3 1 1 講義室

社会科学I (文化人類学)

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	前期
必修/選択	選択必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, (非)徳安 祐子						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
9	近代医療と伝統医療 3. シャーマニズム 伝統医療としてのシャーマニズムについて解説し、現代のシャーマニズムについて考える。	講義	(非)徳安 祐子	シャーマニズム	3 1 1 講義室
10	近代医療と伝統医療 4. 憑依 憑依について解説し、憑依を通して病における身体や主体について考える。	講義	(非)徳安 祐子	憑依	3 1 1 講義室
11	文化人類学と心の問題 文化人類学における「心の問題」の捉え方について解説し、心の問題を社会・文化的側面から考える。	講義	(非)徳安 祐子	精神医学と医療人類学	3 1 1 講義室
12	医療人類学と現代社会 1. グローバル化と近代医療 国際公衆衛生の成立と医療人類学の果たした役割について解説し、医療人類学の社会への実践的関与について考える。	講義	(非)徳安 祐子	グローバル化	3 1 1 講義室
13	医療人類学と現代社会 2. 開発と医療人類学 開発援助、国際協力に対する医療人類学の立場について解説し、医療協力における医療人類学の役割について考える。	講義	(非)徳安 祐子	国際医療協力	3 1 1 講義室
14	医療人類学と現代社会 3. 現代医療と医療人類学 文化人類学を通して現代社会における医療を考える。健康や医療について文化的、社会的側面から捉えることの意味を検討する。	講義	(非)徳安 祐子	医療化	3 1 1 講義室
15	医療人類学と現代社会 4. 医療人類学と社会 医療人類学を通して現代社会の問題について検討する。現代社会において医療人類学の果たす役割について考える。	講義	(非)徳安 祐子	これまでの復習	3 1 1 講義室

社会科学I (アジア文化史)

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	前期
必修/選択	選択必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, (非) 檜崎 洋一郎						

授業の概要

この講義では、アジア（主に東アジア）の文化・習俗・思想などを、日本人がどのように受け入れてきたか、あるいは逆に、日本が周辺諸国に、どのような影響を与えてきたかを学ぶ。そこから、アジア諸国の文化上の共通点と相違点、および現在の各国民の相互認識における問題点にアプローチする。さらに、日本文化が、アジア世界、ひいては全世界の中で占める文化的・歴史的位置などについても、考えを深めていく。

学生の到達目標

- ① アジア諸国の文化・歴史などに対して、日本をその中に位置づけた上での、総合的な理解ができる。
- ② アジア諸国との過去・現在・将来にわたる関係のあり方について、広い視野から考えることができる。
- ③ 「世界の中の日本」ということについて、時間的・空間的に、複眼的・立体的な見方ができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
資料プリントをMoodleを使用して開示する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
最終レポート（前期末）	70%
講義後小レポート（不定期）	30%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】 講義時間前後に受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	イントロダクション アジア、そして東アジアとはどのような地域なのか。その一部である日本に対して、この地理的環境はどのような影響を与えてきたのか。東アジア地域についての概括的な基礎知識と、その中で日本が置かれてきた状況に関する知識を得る。	講義	(非) 檜崎 洋一郎	アジア、東アジア、東洋、西洋	3 1 2 講義室

社会科学I (アジア文化史)

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	選択必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, (非)檜崎 洋一郎						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	東アジアにおける「国名」の歴史 東アジア諸国の「国名」やその由来、およびその「意味」について学ぶ。国家の名称と、そこに示された諸国民・諸民族の「アイデンティティ」について、歴史的・文化的な視点から考える。	講義	(非)檜崎 洋一郎	中国、中華、倭、日本	3 1 2 講義室
3	東アジアにおける「王権」の諸様相 東アジア諸国の「王権」のさまざまなあり方について、その沿革や意味などを学ぶ。第2回の授業内容を踏まえ、東アジア諸国民の国家認識・君主（元首）認識における、共通点と相違点について理解を深める。	講義	(非)檜崎 洋一郎	王、皇帝、天皇、元首	3 1 2 講義室
4	封建と中央集権 第3回の授業内容を踏まえ、中国史における中央政府と地方権力との関係について学ぶ。また、中国における「王」という称号の変遷、及び東アジアにおける「冊封体制」成立の思想的背景について理解する。	講義	(非)檜崎 洋一郎	封建、郡県、冊封体制	3 1 2 講義室
5	律令制と封建制 第2・3回の授業内容を踏まえ、日本の歴史における、中央政府と地方権力との関係について学ぶ。日本における天皇と征夷大將軍との関係や、「廃藩置県」の歴史的意義などについて考察を深め、日中韓三国の辿った歴史の相違についても理解する。	講義	(非)檜崎 洋一郎	征夷大將軍、日明貿易、廃藩置県	3 1 2 講義室
6	アジア宗教史概論（仏教・儒教・道教） インド人・中国人の宗教観、死生観、霊魂観について、仏教・儒教・道教についての基本的知識と共に学ぶ。あわせて、中国・日本に伝播した仏教（大乘仏教）と、タイ・ミャンマーに伝播した南伝仏教（上座部仏教）との相違についても基礎的な知識を学ぶ。	講義	(非)檜崎 洋一郎	孔子、儒教、老子、道教	3 1 2 講義室

社会科学I (アジア文化史)

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	選択必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, (非) 檜崎 洋一郎						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
7	日本宗教史概論（神道・仏教・儒教） 日本人の宗教観・死生観・霊魂観について、神道・仏教・儒教についての基本的知識と共に学ぶ。 日本古代における死生観・霊魂観と、仏教伝来後こうむった変容、儒教や国学（復古神道）興隆後の動向についても理解する。	講義	(非) 檜崎 洋一郎	神道、神仏習合、廃仏毀釈	3 1 2 講義室
8	東アジアにおける「文字」の諸様相① 中国における漢字の歴史や、それが「中国文明」の形成・維持・発展にあたって果たした役割について学ぶ。 甲骨文字に始まる漢字の書体の歴史、その使用法、及びその「文字」としての長所や欠点、中国・日本以外の「漢字文化圏」で、近代以降、漢字がどのような運命を辿ったかを理解する。	講義	(非) 檜崎 洋一郎	甲骨文字、象形、指し、転注、仮借	3 1 2 講義室
9	東アジアにおける「文字」の諸様相② 日本への漢字の伝来から、仮名文字の成立へと至る沿革について学ぶ。 渡来人・帰化人による漢字の伝承から、万葉仮名の成立、平仮名・片仮名の成立、「宣命書」を経由しての「漢字仮名混じり文」の確立、さらに現代の日本語表記（新かな・新漢字）へと至る経過について理解する。	講義	(非) 檜崎 洋一郎	王仁（和邇）、万葉仮名、紀貫之	3 1 2 講義室
10	東アジアにおける「文字」の諸様相③ 「ハングル」誕生の経緯と、その他の諸民族の作った文字について学ぶ。 李朝において、どのような意図と経緯のもとで「ハングル」が作成されたか、それが日本の仮名文字とどのように相違していたか、また他の諸民族の作った文字がその後たどった運命について理解する。	講義	(非) 檜崎 洋一郎	諺文、ハングル、朝鮮王朝（李朝）	3 1 2 講義室

社会科学I (アジア文化史)

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	選択必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, (非)檜崎 洋一郎						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
11	朝鮮半島における仏教と儒教 朝鮮半島における仏教と儒教の歴史について学ぶ。最初に日本に仏教を伝えた朝鮮半島において、その後、仏教がどのような歴史を辿ったか、仏教と儒教に関する、日本と朝鮮半島の共通点・相違点について理解する。	講義	(非)檜崎 洋一郎	華嚴宗、朱子学	3 1 2 講義室
12	ベトナムと中国 中国の「周辺」民族の中で、政治的・軍事的に緊張関係にあることが多かったベトナムの歴史を、中国との関係という視点から概観し、日本や朝鮮半島と比較しつつ、それぞれの特色について理解する。	講義	(非)檜崎 洋一郎	字喃 (チュノム)	3 1 2 講義室
13	「西洋の衝撃」と東アジア 西欧近代文明の衝撃に対して、東アジア諸国がどのように対応しようとしたかを学ぶ。「ウェスタン・インパクト」という事態を前にして、東アジア諸国が各々どのようにそれに対応しようとしたか、そのこととこれまでに見た諸国の文化的性格との関連などについて理解する。	講義	(非)檜崎 洋一郎	蘭学、和魂洋才、洋務運動	3 1 2 講義室
14	「社会主義」と東アジア 東アジア諸国と「社会主義」との関係について、主に歴史的視点から考えていく。中国や北朝鮮はなぜ今でも「社会主義」体制を維持しているのか、そのことと古代以来の東アジアの歴史的・文化的伝統(儒教など)との間には、どのような関係があるのかについて思考を深める。	講義	(非)檜崎 洋一郎	マルクス・レーニン主義、毛沢東	3 1 2 講義室

社会科学I (アジア文化史)

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	前期
必修/選択	選択必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, (非) 檜崎 洋一郎						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
15	学習内容のまとめ 東アジア諸国と日本の過去と現在、そして将来について考える。これまでの授業内容を再確認した上で、主に文化的側面から、今後の諸国間の相互理解の望ましいあり方について考える。	講義	(非) 檜崎 洋一郎		312 講義室

社会科学II(法学)

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	福泉 隆喜						
担当教員	福泉 隆喜, (非)小野 憲昭						

授業の概要

我々の日常生活を規律する基本的な法の仕組みや、歯科医療福祉に関する法制度の沿革、内容、役割、医療をめぐる法律問題の状況、法律問題解決の技法について講義する。日常生活においても職業活動においても不可欠な法を知り、法を役立て、安心して職務に従事し、日常生活を営むことができる基盤を養う。

学生の到達目標

- ①日常生活関係を規律する法の存在や仕組み、基本的な考え方を説明できる。
- ②医療法の存在意義と役割を理解するとともに、基本的な知識を身につけることができる。
- ③歯科医師法、歯科衛生士法等職務関係法の存在意義と役割を理解するとともに、基本的な知識を身につけることができる。
- ④医療をめぐる法律問題を知り、その解決方法を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
医事法学入門 [第2版]	姫嶋瑞穂	成文堂
法学六法24	池田真朗他編	信山社

参考書

タイトル	著者	出版社
歯科六法コンメンタール [第2版]	社会歯科学会編著	ヒョーロン・パブリッシング (2021年)
法律学入門第3版補訂版	佐藤幸治＝鈴木茂嗣＝田中成明＝前田達明著	有斐閣 2008年
法学入門 [第4版新装版]	五十嵐 清著	日本評論社 2017年
法学入門 [第3版]	田中成明著	有斐閣 2023年
医療六法 令和5年版	中央法規出版	中央法規出版 2022年
医事法入門第6版	手嶋豊著	有斐閣 2022年
医事法講義 (新編第5版)	前田和彦著	信山社 2023年
医事法判例百選 [第3版]	甲斐克則＝手嶋豊編	有斐閣 2022年

社会科学II(法学)

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	福泉 隆喜						
担当教員	福泉 隆喜, (非)小野 憲昭						

成績評価方法・基準

評価項目	割合
課題合計	40%
試験	60%

その他

講義資料は事前にMoodleに掲載するので、受講の際に活用してほしい。課題レポートの提出もMoodleを使用すること。課題の提出期限については翌日の午前8時半とする。「法学六法24」は、毎講義に必ず持参すること。

【オフィスアワー】講義終了後、またはメールで受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	社会規範の一つとしての法（1） 一法とは何か ①法とは何かを学ぶ。 ②法の特徴、構造・機能、分類を学ぶ。	講義	(非)小野 憲昭	道徳 公法 私法 強制力 平均性	301 講義室
2	社会規範の一つとしての法（2） 一紛争解決のための法 ①法源を学ぶ。 ②法の解釈適用の方法を学ぶ。	講義	(非)小野 憲昭	制定法 判例 条理 縮小解釈 類推解釈	301 講義室
3	憲法の役割と基本原則（1） ①基本的人権の保障、特に自由権の本質を知る。 ②社会権の内容と役割を知る。	講義	(非)小野 憲昭	公共の福祉 プライバシー権 自己決定権 生存権	301 講義室
4	憲法の役割と基本原則（2） ①司法制度について知る。 ②違憲審査制度の意義と役割を知る。	講義	(非)小野 憲昭	裁判制度 法律上の争訟 司法権の独立 違憲判決 統治行為	301 講義室
5	民法の役割と基本原則（1） ①民法の世界観、基本原理を知る。 ②私的自治の原則と過失責任の原則について考える。	講義	(非)小野 憲昭	所有権の絶対 契約自由の原則 過失責任の原則 家族法における意思絶対 損害賠償責任	301 講義室

社会科学II(法学)

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	福泉 隆喜						
担当教員	福泉 隆喜, (非)小野 憲昭						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
6	民法の役割と基本原則（2） ①公共の福祉、信義則、権利濫用の役割を知る。 ②私権の公共性について考える。	講義	(非)小野 憲昭	公共の福祉 信義誠実の原則 安全配慮義務 契約の準備段階における過失 権利濫用	301 講義室
7	刑法の役割と基本原則（1） ①罪刑法定主義の原則を知る。 ②犯罪の成立要件を知る。 ③刑罰の本質について知る。	講義	(非)小野 憲昭	罪刑法定主義 慣習刑法の排斥 犯罪構成要件 違法性阻却事由 応報刑	301 講義室
8	刑法の役割と基本原則（2） 刑事手続き、裁判員裁判制度について知る。	講義	(非)小野 憲昭	一般予防 被疑者の権利 残虐な刑罰 被告人の権利 裁判員	301 講義室
9	医療法医療施設の規制に関する法を学ぶ。	講義	(非)小野 憲昭	病院 広告 開設の規制 診療記録 医療計画	301 講義室
10	医療関係資格法（1） 歯科医師法を学ぶ。	講義	(非)小野 憲昭	資格 試験 研修 業務	301 講義室
11	医療関係資格法（2） 歯科衛生士法等を学ぶ。	講義	(非)小野 憲昭	資格 試験 研修 業務	301 講義室
12	医療行為と法（1） ①医療行為とは何かを学ぶ。 ②医師の権利義務、患者の権利義務について学ぶ。	講義	(非)小野 憲昭	診療契約 医療従事者の責務 患者の権利	301 講義室
13	医療行為と法（2） ①医療事故と医療過誤、その状況と対応を知る。 ②医療過誤と刑事責任について学ぶ。	講義	(非)小野 憲昭	医療事故 医療過誤 故意過失 刑事罰	301 講義室
14	医療行為と法（3） ①医療過誤と民事責任について学ぶ。 ②医療過誤と行政上の責任について学ぶ。	講義	(非)小野 憲昭	不法行為責任 契約責任 注意義務 使用者責任 免許取り消し	301 講義室

社会科学II(法学)

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	福泉 隆喜						
担当教員	福泉 隆喜, (非)小野 憲昭						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
15	医療情報と法 ①診療情報の保護と利用について学ぶ。 ②個人情報の保護のあり方を学ぶ。	講義	(非)小野 憲昭	自己決定権 インフォームド・コンセント 個人情報保護法 情報開示請求権	301 講義室

社会科学III(経済学)

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	福泉 隆喜						
担当教員	福泉 隆喜, (非)前田 淳						

授業の概要

講義の前半では、消費者の行動や市場メカニズムなどにかかわるミクロ経済学の基本的な理論と知識を中心に解説する。後半では、国全体の経済を分析するマクロ経済学の内容を説明するとともに、最近の経済問題や医療経済にかかわるトピックスを解説する。とりわけ日本の医療保険制度の現状とその改革にかかわる議論などについて言及する。

学生の到達目標

経済学の基礎を学生が修得することで、現代経済の諸問題の内容を理解し、経済学の知識を使って思考することができるレベルを目標とする。

すなわち、①ニュースで報道される経済関係のトピックス、および、平易なレベルの経済関係の新書・入門書の内容を理解し思考できること、②将来、仕事を通して直面する経済的諸問題に対して、経済学の知識をもって対処できるようになること、である。

テキスト

タイトル	著者	出版社
資料を配布する		

参考書

タイトル	著者	出版社
ミクロ経済学の基礎	小川光/家森信善	中央経済社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
小テストまたは講義後課題	20%
定期試験	80%

その他

課題（または小テスト）はMoodleでやりとりします。事前学習課題は、それぞれのキーワードで参考図書やインターネット上の資料を参照して、その用語の意味と内容・概要を調べてください。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	イントロダクション:授業の概要、目標とする到達レベル、授業の進め方、成績評価の基準、教材の入手方法を説明する。さらに、資料を配布して解説する。	講義	(非)前田 淳	ミクロ経済、マクロ経済	301講義室

社会科学III(経済学)

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	福泉 隆喜						
担当教員	福泉 隆喜, (非)前田 淳						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	比較優位と機会費用について、解説する。生産費（生産効率）が異なる二つの国の数値例を使いながら、分業・国際貿易による福利厚生の上昇を説明する。さらに、比較優位産業に特化する簡単な設例を示して理解を深める。	講義	(非)前田 淳	比較優位と絶対優位、機会費用	301 講義室
3	需要曲線と供給曲線、および、無差別曲線、予算制約式、最適消費量について説明する。さらに、数値例をもとに予算制約式と消費可能領域を見つけ出す方法を解説する。	講義	(非)前田 淳	自由競争・完全競争、マーケットメカニズム	301 講義室
4	弾力性が高いケースと低いケースを具体例を挙げて説明する。また、価格に対する需要の弾力性、所得に対する需要の弾力性についても解説する。	講義	(非)前田 淳	上級財、下級財、ギッフェン財	301 講義室
5	経済問題についての事例や歴史的な出来事を紹介するとともに、これまでの復習を行う。具体的には、幕末の金流出問題や、少子化の原因としての生涯未婚率の上昇などについて、解説する。	講義	(非)前田 淳	裁定取引、回帰分析、一物一価の法則	301 講義室
6	供給曲線が限界費用曲線であること、需要曲線が限界評価曲線であることを説明する。需要曲線については、個別の需要関数と社会的需要関数の二つの考え方があっても解説する。	講義	(非)前田 淳	完全競争と費用、消費者行動	301 講義室
7	消費者余剰・生産者余剰、について説明する。長期スパンの需要曲線・供給曲線は、より弾力的となることを解説する。さらに、自由貿易と管理貿易で、余剰がどのように違ってくるかを説明する。	講義	(非)前田 淳	福利厚生、輸入関税、輸入数量制限	301 講義室

社会科学III(経済学)

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	福泉 隆喜						
担当教員	福泉 隆喜, (非)前田 淳						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
8	税の帰着（すなわち実質的負担者）について説明する。とりよけ、需要の価格弾力性が低い財に課税すると、消費者の負担が大きく、供給の価格弾力性が低い財に課税すると、生産者の負担が大ききことを解説する。	講義	(非)前田 淳	回復できない損失、死荷重	301講義室
9	民間部門に任せたままでは、完全に公正な市場メカニズムが働かないこと、すなわち、市場の失敗を説明する。さらにその原因として、情報の非対称性と外部性を説明する。	講義	(非)前田 淳	情報の非対称性、外部性	301講義室
10	市場の失敗の例として、自然独占を説明する。さらに、公共財を説明する。国防や道路を例にして、特定の財については公共部門が供給せざるを得ないことを解説する。	講義	(非)前田 淳	競合性、排除性	301講義室
11	企業の生産行動を説明する。利潤を最大化する目的のもとに、企業が生産水準を決定するメカニズムを解説する。さらに、収穫逦減の法則から、限界費用曲線は逦増することも説明する。	講義	(非)前田 淳	総費用、平均費用、限界費用	301講義室
12	マクロ経済学とは何かを説明する。つぎに、国内総生産と国民所得を解説する。国内総生産の構成要素を支出ベースの把握の仕方から解説する。	講義	(非)前田 淳	GDP、三面等価	301講義室
13	労働・失業と物価を説明する。古典派の労働市場とケインズの労働市場に関する見解の違いなどを解説する。	講義	(非)前田 淳	フィリップス曲線、インフレーション、デフレーション	301講義室
14	日本の財政に関する諸問題を説明する。さらに、日本の財政状況を他の国と比較して、その特徴を示す。	講義	(非)前田 淳	プライマリー・バランス（基礎的財政収支）、一般会計、社会保障	301講義室

社会科学III(経済学)

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	福泉 隆喜						
担当教員	福泉 隆喜, (非)前田 淳						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
15	医療産業の特徴をミクロ経済学の観点から総括する。さらに、授業の最終的なまとめと復習を行う。	講義	(非)前田 淳	混合診療、患者申出療養制度	301講義室

人文科学I (哲学)

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	前期
必修/選択	選択必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, (非)清水 満						

授業の概要

ヨーロッパの哲学的伝統、思想史の概説を行う。三つの部に分けて、第1部は生命にかんする哲学、第2部は社会についての哲学、第3部は美と人倫についての哲学を概観する。

学生の到達目標

- ①ヨーロッパの近代哲学史の基本的な知識・概念を説明できる。
- ②医学的な視点と異なる哲学的な概念と視点から、生命や社会を考察できる。
- ③現実の問題に対して、哲学的思考が有効であることを理解し、自己の今後の生き方に役立てることができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
毎回レジメのプリントを配付する。		

参考書

タイトル	著者	出版社
毎回の講義でそのつど紹介する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
期末レポート	59%
リフレクションカードへの考察の記入状況	31%
リフレクションカードなどの提出回数	10%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】質問その他は講義時間後とする。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	第1部 生命の哲学 第1講 地球の歴史と生命との関係を理解する	講義	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む	311 講義室
2	第2講 ばい菌論 微生物と他の生命の生態系を理解する。	講義	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む	311 講義室
3	第3講 生命はどこから来たか？ 宇宙と生命、生命の起源を哲学的に理解する。	講義	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む	311 講義室

人文科学I (哲学)

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	選択必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, (非)清水 満						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
3	第4講 ヨナスの生命の哲学 20世紀の医療倫理の確立に貢献が大きかったハンス・ヨナスの生命の哲学を概観する。	講義	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む	311 講義室
4	第5講 「表現のメディアとしての身体」 身体を現象学的に把握して、医学的な身体観を相対化する。	講義	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む	311 講義室
6	第2部 社会の哲学 第6講 ホッブズの国家論 近代国家を初めて総合的に把握したトマス・ホッブズの国家哲学を理解する。	講義	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む	311 講義室
7	第7講 ルソーの社会契約論 ルソーの国家、社会の把握を有名な「社会契約論」をもとに概観する。	講義	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む	311 講義室
8	第8講 カントの社会哲学 カントの「適法性」と「道徳性」の概念を学ぶ。カントは近代法学の定礎者でもあった。	講義	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む	311 講義室
9	第9講 フィヒテの社会哲学 フランス革命の哲学者ともいえるフィヒテの思想を『自然法の基礎』を中心に学ぶ。	講義	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む	311 講義室
10	第10講 カール・シュミットの政治哲学 シュミットの有名な「例外状態」「政治神学」を理解する。	講義	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む	311 講義室
11	第3部 美と人倫 第11講 カントの美学 第3部は美学・芸術の哲学的考察を行う。まずはカントの美の概念を学ぶ。	講義	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む	311 講義室
12	第12講 シラーの美と人倫 シラーの美の概念、公共性と芸術の関係を学ぶ。	講義	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む	311 講義室

人文科学I (哲学)

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	前期
必修/選択	選択必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, (非)清水 満						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
13	第13講 マルクスのコミュニズム マルクスの思想が誤解されてきたこと、彼が提唱したのはコミュニケーション主義としてのコミュニズムであることを理解する。	講義	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む	311 講義室
14	第14講 ウィリアム・モリスの美の共同体 マルクスの継承者としてモダン・デザインの創始者モリスの民衆の芸術の思想を学ぶ。	講義	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む	311 講義室
15	第15講 旅の哲学 デカルトなどのように、自ら思索の旅に出ることの重要性を考える。	講義	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む	311 講義室

人文科学I(文学)

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	前期
必修/選択	選択必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, (非)稲田 大貴						

授業の概要

本講義は近現代（明治期以降）の小説・詩を中心とする日本文学を通じて、個人と世界・社会・時代との関わりを学ぶ。文学が芸術、教養であるのは、それが個人と深く関わる言語表現であり、読者がそれを受け止めるがゆえである。その個人とは世界・社会・時代と無関係ではいられず、私たち読者もまた同様である。本講義では一箇の人間がどのように世界・社会、時代と切り結び、作品が生まれたのか、またその作品をどのように読むのかを考えることで、文学全般への理解を深める。

学生の到達目標

- ①文学作品の鑑賞において、自分が感じたことや考えたことを表現できる。
- ②文学作品へのアプローチ方法を習得する。
- ③作家と作品が、どのように時代・社会と切り結び、存在しているかを説明できる。
- ④文学を通じて、「他者との接触」について自ら考えることができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
使用しない。講義時にレジユメを配布する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
期末レポート	70%
小レポート（毎回実施）	30%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】講義前後の空き時間及びメールで相談に応じる。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	イントロダクション 本講義の進め方について説明し、文学とは何か、どのようにあるのか、それを学ぶ意味について解説し、本講義を受講する際の視座を提供する。	講義	(非)稲田 大貴	「文学」を学ぶことの意味	312講義室

人文科学I(文学)

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	選択必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, (非)稲田 大貴						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	森鷗外「舞姫」を読む① 鷗外の代表作。本作を読み、一人の青年の内面について見つつ、明治日本における「個」のあり様が文学的にどのような意味を持っているのかを学ぶ。それを踏まえ、「舞姫」という作品の読みの可能性を探る。	講義	(非)稲田 大貴	森鷗外、「舞姫」、ドイツ、明治	3 1 2 講義室
3	森鷗外「舞姫」を読む② 鷗外の代表作。本作を読み、一人の青年の内面について見つつ、明治日本における「個」のあり様が文学的にどのような意味を持っているのかを学ぶ。それを踏まえ、「舞姫」という作品の読みの可能性を探る。	講義	(非)稲田 大貴	森鷗外、「舞姫」、ドイツ、明治	3 1 2 講義室
4	太宰治「道化の華」を読む① 太宰の自伝的小説。太宰治の実人生を踏まえつつ、本作を読むにあたっての「現実と小説との相互干渉」について、また作品の「語り手」が孕む問題について考えてゆく。	講義	(非)稲田 大貴	太宰治、「道化の華」、心中事件、昭和初期	3 1 2 講義室
5	太宰治「道化の華」を読む② 太宰の自伝的小説。太宰治の実人生を踏まえつつ、本作を読むにあたっての「現実と小説との相互干渉」について、また作品の「語り手」が孕む問題について考えてゆく。	講義	(非)稲田 大貴	太宰治、「道化の華」、心中事件、昭和初期	3 1 2 講義室
6	三島由紀夫『金閣寺』を読む① 三島の代表作で、近代文学の傑作のひとつと言われる。本作を読み、作品主題の「美と人生」の問題について考え、また事件を小説化することの意義、作品の語りの構造について学ぶ。	講義	(非)稲田 大貴	三島由紀夫、「金閣寺」、金閣寺放火事件、昭和中期	3 1 2 講義室

人文科学I(文学)

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	選択必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, (非)稲田 大貴						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
7	三島由紀夫『金閣寺』を読む② 三島の代表作で、近代文学の傑作のひとつと言われる。本作を読み、作品主題の「美と人生」の問題について考え、また事件を小説化することの意義、作品の語りの構造について学ぶ。	講義	(非)稲田 大貴	三島由紀夫、「金閣寺」、金閣寺放火事件、昭和中期	3 1 2 講義室
8	三島由紀夫「憂国」を読む 三島が自身の「エッセンス」と呼んだ作品。政治とエロス、美のあり様について考え、テキストの異同から、新しい読みの可能性を探る。	講義	(非)稲田 大貴	三島由紀夫、「憂国」、二・二六事件	3 1 2 講義室
9	鷺沢萌『海の鳥・空の魚』を読む ① 鷺沢萌の短篇小説集。作家が生きた時代、社会の様相を踏まえつつ、作品を読む。それを通じて、自己のあり様、「他者へのまなざし」について考える。	講義	(非)稲田 大貴	鷺沢萌、『海の鳥・空の魚』、平成、京浜工業地帯、バブル期	3 1 2 講義室
10	鷺沢萌『海の鳥・空の魚』を読む ② 鷺沢萌の短篇小説集。作家が生きた時代、社会の様相を踏まえつつ、作品を読む。それを通じて、自己のあり様、「他者へのまなざし」について考える。	講義	(非)稲田 大貴	鷺沢萌、『海の鳥・空の魚』、平成、京浜工業地帯、バブル期	3 1 2 講義室
11	近現代詩史・粗描 明治以前、詩とは漢詩であった。現在読まれている「詩」がどのように今の私たちの前に差し出されているのか、そのあり様を学ぶ。	講義	(非)稲田 大貴	近現代詩の発生、戦争	3 1 2 講義室
12	近代詩を読む 近現代の詩史を踏まえ、萩原朔太郎、中原中也の詩を読む。詩の鑑賞を通じて、近代日本において近代的主体がどのように「発見」され、いかなる変遷を辿ったのかを考える。	講義	(非)稲田 大貴	近現代詩、萩原朔太郎、『月に吠える』、中原中也『山羊の歌』	3 1 2 講義室

人文科学I(文学)

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	前期
必修/選択	選択必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, (非)稲田 大貴						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
13	近現代詩を読む一詩人・宗左近を視座に① 北九州ゆかりの詩人・宗左近について学び、彼の詩がどのようにあり、現代詩史に位置づけられるかを考える。宗の詩に深く影響を及ぼした宮沢賢治、草野心平の詩作についても触れ、現代日本における「詩」のあり様について考える。	講義	(非)稲田 大貴	宗左近、『炎える母』、縄文、北九州	3 1 2 講義室
14	近現代詩を読む一詩人・宗左近を視座に② 北九州ゆかりの詩人・宗左近について学び、彼の詩がどのようにあり、現代詩史に位置づけられるかを考える。宗の詩に深く影響を及ぼした宮沢賢治、草野心平の詩作についても触れ、現代日本における「詩」のあり様について考える。	講義	(非)稲田 大貴	宗左近、『炎える母』、縄文、北九州	3 1 2 講義室
15	まとめ これまでの講義を概括し、文学を学ぶことの意味について再度考える。	講義	(非)稲田 大貴	「文学」を学び、活かす方法	3 1 2 講義室

人文科学I (心理学)

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	前期
必修/選択	選択必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, (非)唐 毓青						

授業の概要

本講義では、これまでの心理学の基礎的な知見を幅広く紹介しながら、心理学の主要領域について概説していく。基本的理論に触れることで、人間の心理や行動のメカニズムについての理解を深めつつ、それらを科学的に研究する方法を学ぶことを目的とする。更に、各テーマの理論を自分の生活に結びつけて考えることで、自分や周りの物事を客観的かつ多角的に見るための視点を養う。

学生の到達目標

- ①心理学の主要領域の基本的理論や重要な用語について説明できる。
- ②心理学の科学的な研究方法や議論・検証の流れについて説明できる。
- ③心理学の考え方に沿って、現実の具体的な事象を解釈することができる。
- ④実際の臨床における心理学の援用についての知識を習得できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
毎回、Moodle上で配布する。		

参考書

タイトル	著者	出版社
授業中、適宜紹介する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
最終試験	70%
授業内レポート・小テスト	30%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】メールにて質問や相談を行う。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	オリエンテーション：心理学とは何か、歴史を踏まえながら学ぶ。	講義	(非)唐 毓青	心理学、基礎心理学、応用心理学	301 講義室
2	感覚・知覚・注意：人間はどのように外界を認識しているのか、注意をどのように向けるのかについて学ぶ。	講義	(非)唐 毓青	感覚の種類、知覚の恒常性、錯視、カクテルパーティ効果、ストループ効果	301 講義室
3	学習：学習と行動の関係性について学ぶ。	講義	(非)唐 毓青	条件づけ、強化、社会的学習	301 講義室

人文科学I (心理学)

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	選択必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, (非)唐 毓青						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
4	記憶：記憶の過程と種類について学ぶ。	講義	(非)唐 毓青	記憶のモデル、短期記憶、長期記憶、忘却	301 講義室
5	対人魅力：人間が他者に対して抱く感情について心理学的観点から学ぶ。	講義	(非)唐 毓青	近接性、好意の返報性、類似性	301 講義室
6	ストレス理論；ストレスについて、その生起や特徴、影響について学ぶ。	講義	(非)唐 毓青	ストレッサー、ホメオスタシス、ストレス反応、コーピング	301 講義室
7	モチベーション：人間の欲求と動機づけの基本的理論について学ぶ。	講義	(非)唐 毓青	生理的欲求、社会的欲求、葛藤	301 講義室
8	パーソナリティ①：性格とは何か、類型や特性から学ぶ。	講義	(非)唐 毓青	類型論、特性論、測定法	301 講義室
9	パーソナリティ②：性格とは何か、類型や特性から学ぶ。	講義	(非)唐 毓青	類型論、特性論、測定法	301 講義室
10	発達：生涯をかけた心の成長と変化について学ぶ。	講義	(非)唐 毓青	発達段階、発達課題、アタッチメント	301 講義室
11	社会的認知：人間が他者を認知するときの傾向の基礎を学ぶ。	講義	(非)唐 毓青	自尊感情、対人認知、原因帰属	301 講義室
12	臨床心理学：心理学の分野のひとつである臨床心理学の概要について学ぶ。	講義	(非)唐 毓青	カウンセリング、心理療法	301 講義室
13	精神医学：精神疾患や精神症状の概要について学ぶ。	講義	(非)唐 毓青	DSM-5、ICD-10、精神疾患、病態水準	301 講義室
14	発達障害：発達障害の概念や、その特徴について学ぶ。	講義	(非)唐 毓青	ASD、ADHD、LD	301 講義室
15	まとめ・最終試験：各回の講義内容についての試験をおこなう。	講義・試験	(非)唐 毓青		301 講義室

人文科学II(倫理学)

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	福泉 隆喜						
担当教員	福泉 隆喜, (非)清水 満						

授業の概要

日常の諸問題でどのように考えればよいのか、毎回、問題が課され、自分で解答を作成する。その後、事例を通して、現代倫理学の基本的な考え方を講義する。現代応用倫理学の主要なテーマ、概念から初め、後半は、歯科医療従事者に必要な医療倫理の基本的な考え方を講義する。

学生の到達目標

- ①現代社会で生きる一人の人間としての「倫理」とは何かを考え、個々の状況において、適切な対応ができる「判断力」を涵養できる。
- ②医療従事者、科学者としての基本的な倫理観を身につけることができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
適宜、レジメのプリントを配付する。		

参考書

タイトル	著者	出版社
その都度指示する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	59%
練習問題の回答内容評価	31%
練習問題の提出回数	10%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】質問その他は講義時間後に受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	倫理学序論 日常生活に倫理的判断があることを理解する。	講義	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む。	301講義室
2	応用倫理学の基礎(1) 功利主義難破船のパラドックス功利主義について事例をもとに学び、現実への適用ができるようにはかる。	講義 視聴覚教材 練習問題	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む。	301講義室

人文科学II(倫理学)

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	福泉 隆喜						
担当教員	福泉 隆喜, (非)清水 満						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
3	応用倫理学の基礎（2） 自由主義「人に迷惑をかけなければ何をしてもかまわない」は正しいか？ 現代倫理学の基礎である自由主義を学び、現実への適用を可能にする。	講義 視聴覚教材 練習問題	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む。	301 講義室
4	応用倫理学の基礎（3） カントの倫理学「ウソも方便」は正しいか？ カント倫理学の要諦を学び、現実への適用可能性をはかる。	講義 視聴覚教材 練習問題	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む。	301 講義室
5	科学者の倫理（1） STAP細胞問題、ノバルティス社問題など、科学におけるデータ偽造、過度な業績主義の弊害などを素材に、科学者の倫理を学び、大学や社会で研究者倫理を実行できるようにする。	講義 視聴覚教材 練習問題	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む。	301 講義室
6	科学者の倫理（2） 核兵器開発、原発、731部隊など著名な事例を参考に、科学者の社会的責任を考察し、医療倫理、科学倫理に反した研究をしない判断力を身につける。	講義 視聴覚教材 練習問題	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む。	301 講義室
7	医療倫理（1） インフォームド・コンセントと患者の権利、およびプロフェッションの自覚を学び、現場で応用できるようにする。	講義 視聴覚教材 練習問題	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む。	301 講義室
8	医療倫理（2） ケアの倫理学 医療における基本的な概念、「ケア」について考察する。	講義 視聴覚教材 練習問題	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む。	301 講義室
9	医療倫理（3） ケアの実践例を見て、ケーススタディとする。	講義 視聴覚教材 練習問題	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む。	301 講義室
10	医療倫理（4） ケアの実践例を見て、ケーススタディとする。	講義 視聴覚教材 練習問題	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む。	301 講義室

人文科学II(倫理学)

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	福泉 隆喜						
担当教員	福泉 隆喜, (非)清水 満						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
11	医療倫理(5) エンハンスメントの倫理的問題を考察し、医療倫理に反する治療をしない判断力を身につける。	講義 視聴覚教材 練習問題	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む。	301 講義室
12	医療倫理(6) 障害学 高齢者、障害者たちのノーマライゼーションを考察し、歯科治療の患者として対応できるようにする。	講義 視聴覚教材 練習問題	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む。	301 講義室
13	医療倫理(7) 優生学 医療において支配的だった優生学的な思考を過去の医療政策をもとに批判的に考察する。	講義 視聴覚教材	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む。	301 講義室
14	医療倫理(8) バザリアの実践などを見て、日本の精神医療の歴史を批判的に考察する。	講義 視聴覚教材	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む。	301 講義室
15	医療倫理(9) 医療法などの基礎的な理解を得る。	講義	(非)清水 満	【事後学修課題】プリントの復習、参考文献を一つ読む。	301 講義室

人文科学III(行動科学)

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	(非)今本 繁						
担当教員	(非)今本 繁, 福泉 隆喜						

授業の概要

行動分析学とは有機体の行動の予測と制御を研究する学問である。それを実際の社会の問題に応用し研究する分野が応用行動分析である。授業では、行動分析学の基本的な考え方、枠組み、重要な概念を学び、人間行動の理解を深める。さらに学生自身の行動の改善に応用し実践するための研究法についても学ぶ。歯学関連分野として障害児歯科がある。

学生の到達目標

①行動分析学の背景となる哲学や基本的考え方、行動の法則について説明する。 ②学生自身の日常生活の行動の改善において応用行動分析の知識と技術を使って実践する。 ③実践した内容をレポートにまとめることができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
自分を変えたい人のためのABCモデル-教育・福祉・医療職を目指す人のための応用行動分析学	今本繁	ふくろう出版(電子書籍版も可)

参考書

タイトル	著者	出版社
行動分析学入門	杉山尚子	産業図書
パフォーマンスマネジメント入門	島宗理	米田出版
応用行動分析学—ヒューマンサービスを改善する行動科学	島宗理	新曜社
言語と行動の心理学-行動分析学をまなぶ	谷晋二	金剛出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
実践レポート	80%
最終小テストの点数	20%

その他

授業の前後に教卓前で随時応じる。またEメールでも質疑に応じる。一連の実践課題は、実践レポートをまとめるために必要なので、各自データとして保存しておくこと。

人文科学III(行動科学)

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	(非)今本 繁						
担当教員	(非)今本 繁, 福泉 隆喜						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	行動の理解の枠組み（テキスト1章） 学生が行動についてどのような見方をしているのかを探るために小テストを実施する。その後、行動分析学はどんな学問かについて解説する。	基礎知識を知るための小テスト（成績に関係なし）。回収する。パワーポイントスライドを使つての講義	(非)今本 繁	小テストの実施	301 講義室 Moodle
2	行動の法則（テキスト1章） 行動の定義や諸法則について解説する。実践課題1では、これから授業を通して取り組んでもらうための行動目標（新しい行動を習得する、望ましくない行動をなくす、自己管理、不安や悩みを解決する、社会的問題の解決など）の候補を考えてもらう。	パワーポイントスライドを使つての講義	(非)今本 繁	実践課題①：行動目標の候補を書き出す。回収しない。	301 講義室 Moodle
3	行動のアセスメント（テキスト2章） 実践課題1を基に行動目標を絞る。解説を行い、実践課題2では、行動目標を具体的に記述する。	パワーポイントスライドを使つての講義	(非)今本 繁	実践課題②：行動目標を絞り書き出す。回収する。	301 講義室 Moodle
4	行動の観察と記録（テキスト3章） 行動の観察と記録方法について解説する。実践課題3では、自身の行動目標に適した記録法を選び、介入を行わない記録（ベースライン）を生活で取ってもらう。	パワーポイントスライドを使つての講義	(非)今本 繁	実践課題③：自身が選んだ行動目標について介入しない記録を取る。回収せず。	301 講義室 Moodle
5	記録のグラフ化と評価（テキスト6章） 行動の改善の効果を確認するためにシングルケーススタディを紹介する。実践課題4では、実践課題3で記録したデータ（ベースラインデータ）をグラフの左半分に記入する。	パワーポイントスライドを使つての講義	(非)今本 繁	実践課題④：ベースラインデータのグラフ化。回収せず。	301 講義室 Moodle
6	行動の原因の分析（テキスト7章8章の一部） 自身の行動目標について、望ましくない行動がなぜ起きてしまうのか、について行動分析学の枠組みで考察する。	パワーポイントスライドを使つての講義	(非)今本 繁	実践課題⑤：望ましくない行動を目標とする行動の理論分析。	301 講義室 Moodle

人文科学III(行動科学)

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	(非)今本 繁						
担当教員	(非)今本 繁, 福泉 隆喜						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
7	行動の原因の分析（テキスト7章8章の一部）自身の行動目標について、身につけたい行動がなぜ起きにくいのかについて行動分析学の枠組みで考察する。	パワーポイントスライドを使っての講義	(非)今本 繁	実践課題⑤：望ましい行動を目標とする行動の理論分析。	301講義室 Moodle
8	行動の改善のための方法（テキスト5章）行動の改善法のアイデアを紹介する。実践課題6では、その中で取り組みそうな方法を採用し実践する。実践中の行動の変化も記録を続ける。	パワーポイントスライドを使っての講義	(非)今本 繁	実践課題⑥：好子と嫌子について	301講義室 Moodle
9	自己管理のコツ（テキスト7章8章）自己管理のための行動分析学のアイデアを紹介する。その中で自身の行動目標で取り組みそうな方法を採用し実践する。実践中の行動の変化も記録を続ける。	パワーポイントスライドを使っての講義	(非)今本 繁	実践課題⑦：該当する介入法があれば実践し記録を取る。	301講義室 Moodle
10	恐怖と不安の改善（テキスト9章）恐怖や不安が生じるメカニズムについて解説する。恐怖や不安を克服する方法についても紹介する。その中で自身の行動目標で取り組みそうな方法を採用し実践する。実践中の行動の変化も記録を続ける。	パワーポイントスライドを使っての講義	(非)今本 繁	実践課題⑧：不安について	301講義室 Moodle
11	社会問題へのアプローチ（テキスト11章）社会問題を起こす行動は何か？その行動を改善するため井どうするかを行動分析学のアイデアを紹介する。その中で自身の行動目標で取り組みそうな方法を採用し実践する。実践中の行動の変化も記録を続ける。	パワーポイントスライドを使っての講義	(非)今本 繁	実践課題⑨：社会問題について	301講義室 Moodle
12	改善方法の見直しとレポートの書き方（テキスト付録3）介入の結果の記録を実践課題4のグラフの右半分に記入する。左右のグラフから介入の効果を確認する。実践課題7では、なぜ改善したのか？なぜ改善しないのかを考察する。	パワーポイントスライドを使っての講義	(非)今本 繁	実践課題④：介入後の記録のグラフ化 実践課題⑩：介入の理論分析。	301講義室 Moodle

人文科学III(行動科学)

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	(非)今本 繁						
担当教員	(非)今本 繁, 福泉 隆喜						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
13	発達障がいへの対応発達障がいの特性を紹介し、その対応の基礎について解説する。	パワーポイントスライドを使っての講義	(非)今本 繁	実践課題⑪発達障害について 視聴覚教材の提示スライド資料の配布	301 講義室 Moodle
14	医療リハビリへの応用 (テキスト10章) 医療リハビリ場面での応用行動分析の実践について紹介する、歯科診療への応用 (テキスト10章) 自閉症児が歯科治療場面で不安を感じたり、不適応行動を起こす要因について紹介し、どのように対応するのかについて紹介する。	パワーポイントスライドを使っての講義	(非)今本 繁	実践課題⑫健康問題について	301 講義室 Moodle
15	まとめと理解度をはかる小テストこれまで紹介した行動分析学の知識の理解度を探るための小テストを実施する。	小テストの実施と解説、おさらい (成績に関係する)。	(非)今本 繁	小テストの実施	301 講義室 Moodle

(B)情報リテラシーI

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	永松 浩						
担当教員	永松 浩, 小野 堅太郎, 守下 昌輝, 大谷 泰志, 辻澤 利行						

授業の概要

大学の講義や実習では、データの解析やレポートの作成など、パソコンの活用とより一層の「情報の使いこなし」が求められる。また情報収集や発信において適切なインターネットの利活用とより高度な情報倫理(モラル)が求められる。本実習は、教本に沿ってPCを操作し、プレゼンテーション制作・発表、ドキュメントや表・グラフの作成を行ない、メールやWebの使い方についても学ぶ。また事例動画の視聴により情報倫理について適正な態度を醸成する。これらにより、歯学部学生がツールとしてのパソコンに習熟し、在学中から卒業後も情報倫理に配慮し適切に情報を利活用できることを目標にする。

学生の到達目標

- ①情報セキュリティや著作権、情報モラルについて問題を説明することができる。
- ②情報倫理に関わる問題について対応法を説明できる。
- ③理系学生として必要なオフィスソフト(ドキュメント・表計算・プレゼンテーション)を効率的に利用できる。
- ④メールやWebブラウザなどインターネットアプリケーションを適切に利用できる。
- ⑤必要な情報を収集することができる。
- ⑥収集した情報について自らが基準を持って判断できる。
- ⑦情報の利用や発信にあたって、倫理的な視点を持つことができる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
C-2-5	自己学修や協同学修の場に適切なInformation and Communication Technology (ICT) (e-ラーニング、モバイル技術)を活用できる。
C-6-3-1	ICTを安全に活用するための情報セキュリティやコンプライアンスを理解している。
C-6-3-2	個人情報の保護に関する法律を遵守した保健医療情報(診療録、Personal Health Record等を含む)の取り扱いを理解している。
C-6-3-3	「人間中心のAI社会原則」のAI-Readyな社会における、情報倫理(AI倫理を含む)及びデータ保護に関する原則を理解している。
C-6-3-5	発達し続ける情報社会を理解し、自身の学びや医療に活用する柔軟性を有する。
IT	情報・科学技術を活かす能力(Information Technology)/医療・医学研究をさらに発展させるために、発達し続ける情報社会を理解し、人工知能(AI)やデータ活用を含めた高度科学技術を活用していく。
IT-01	情報倫理(AI倫理を含む)及びデータ保護に関する原則を理解している。
IT-02	健康・医療・介護に関わる情報倫理を理解している。
IT-03	個人の情報コントロールABILITYに基づいた、医療・保健・介護分野でのInternet of Things (IoT) 技術やAI等のデータの活用を理解している。
IT-04	数理・データサイエンス、AI等の基本的情報知識と実践的活用スキルを身に付ける。
IT-05	データサイエンス、AIを駆使したイノベーションの創出に関心を示す。

(B)情報リテラシーI

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	永松 浩						
担当教員	永松 浩, 小野 堅太郎, 守下 昌輝, 大谷 泰志, 辻澤 利行						

コアカリキュラム	内容
RE-05	国内外の論文や書籍、検索情報等の科学的情報を評価し、論理的・批判的考察や吟味によって有用な情報を選別できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
例題50＋演習問題100でしっかり学ぶ Word/Excel/PowerPoint標準テキスト Windows11/Office2021対応版	定平誠	技術評論社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
プレゼンテーション制作と発表	30%
ドキュメント（課題について提出）	30%
表計算（課題について提出）	30%
レポート提出	10%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】随時、本館9階総合診療学オフィスまたはメールにて受け付ける。 オフィスを訪問する際は事前にメールでアポイントを取ることが望ましい。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	【情報処理ガイダンス】 ・大学ネットワークの利用法（ID、パスワードの管理） ・PCの基本操作 ・本学におけるPCの操作方法、Moodle・Teams・Outlookの利用方法、プリンタ使用上の注意を含め、基本的な操作方法を学ぶ。	実習	永松 浩 小野 堅太郎 守下 昌輝 大谷 泰志 辻澤 利行	【事前学修課題】 高校情報の教科書を読み直しておく 【事後学修課題】 PCの基本操作を確認する。	コンピュータ演習室 Moodle

(B)情報リテラシーI

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	永松 浩						
担当教員	永松 浩, 小野 堅太郎, 守下 昌輝, 大谷 泰志, 辻澤 利行						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	<p>【情報リテラシー、情報セキュリティとは】 理系・医療系大学生として求められるリテラシーや インターネットを安全に安心して活用するために、セキュリティを確保する重要性と、トラブルへの対処法について学ぶ。</p> <p>【授業における情報の受信・発信について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 電子メールの送受信 (Outlook) e-learningシステムを利用した、課題の提出、アンケートの回答 (forest of KDU : Moodle) リアルタイム遠隔講義システムの利用 (Teams)を確認する。 	実習	永松 浩	<p>【事前学修課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「情報リテラシー」 「情報セキュリティ」 <p>【事後学修課題】</p> <p>Outlook、Moodle、Teamsの操作に慣れる。</p>	コンピュータ演習室 Moodle
3	<p>【情報倫理 (モラル) , 著作権】</p> <ul style="list-style-type: none"> ネットワーク社会の中で遵守すべき規範 Webによる情報収集とメールの利用 生成系AIの利活用について 著作権に配慮した適切な引用 ネット上の情報を検索エンジンや文献検索サイトなどを用いて、効率的に収集する方法について学ぶ。 	実習	永松 浩	<p>【事前学修課題】</p> <p>「情報倫理」 「著作権」 「適切な引用」 「生成系AI」 について調べておく。</p> <p>【事後学修課題】</p> <p>テーマについて検索し客観的・批判的に整理する。</p>	コンピュータ演習室 Moodle
4	<p>【情報社会におけるトラブル事例への対応】</p> <p>SNSやブログなどで起きる、さまざまなトラブルについて事例ビデオを視聴しながらディスカッションを行い理解を深める。</p>	実習	永松 浩	<p>【事前学修課題】</p> <p>高校情報の教科書を読み直しておく。</p> <p>【事後学修課題】</p> <p>レポート提出「大学生となったあなたにとって、情報倫理とは何でしょうか」</p>	コンピュータ演習室 Moodle

(B)情報リテラシーI

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	永松 浩						
担当教員	永松 浩, 小野 堅太郎, 守下 昌輝, 大谷 泰志, 辻澤 利行						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
5	【プレゼンテーションソフトの利用】(PowerPoint①) PowerPointの基本操作、オブジェクトの配置、入力について各自で取り組む。	実習	永松 浩	【事前学修課題】 プレゼンテーションの意義について調べる 【事後学修課題】 PowerPointの基本操作を確認する。	コンピュータ演習室 Moodle
6	【プレゼンテーションソフトの利用】(PowerPoint②) スライドの編集、レイアウト、デザインについて取り組むと共に、視覚的効果を学ぶ	実習	永松 浩	【事前学修課題】 前回未完了の課題に取り組む。 【事後学修課題】 分かりやすく印象に残るプレゼンテーションデザインを確認する。	コンピュータ演習室 Moodle
7	【プレゼンテーションソフトの利用】(PowerPoint③) アニメーションを組み込み、より効果的なプレゼンテーションを作成する。	実習	永松 浩	【事前学修課題】 前回未完了の課題に取り組む。 【事後学修課題】 「効果的なプレゼンテーション」についてまとめる。	コンピュータ演習室 Moodle

(B)情報リテラシーI

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	永松 浩						
担当教員	永松 浩, 小野 堅太郎, 守下 昌輝, 大谷 泰志, 辻澤 利行						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
8	<p>【プレゼンテーションソフトの利用】 (PowerPoint④)</p> <p>グループ毎に 事前に与えられたテーマについてプレゼンテーションを制作する。班の中でブラッシュアップする。 班の中で代表のプレゼンを分かりやすくなるように、レイアウト (配置) ・デザイン (大きさ・色) などを検討し修正する。 変更ポイントをまとめる。</p>	実習	永松 浩	<p>【事前学修課題】</p> <p>グループごとにテーマに沿って素材を集める。</p> <p>【事後学修課題】</p> <p>グループの中で指摘された事項についてブラッシュアップをおこなう。</p>	<p>コンピュータ演習室</p> <p>テュートリアル演習室1</p> <p>テュートリアル演習室2</p> <p>テュートリアル演習室3</p> <p>テュートリアル演習室4</p> <p>テュートリアル演習室5</p> <p>テュートリアル演習室6</p> <p>テュートリアル演習室7</p> <p>テュートリアル演習室8</p> <p>Moodle</p>
9	<p>【プレゼンテーションソフトの利用】 (PowerPoint⑤)</p> <p>グループごとにブラッシュアップしたプレゼンテーションを発表し、その後修正ポイントについても発表する。 発表について相互に意見を述べ合うとともに評価する。</p>	実習	永松 浩	<p>【事前学修課題】</p> <p>発表の練習をする。</p> <p>【事後学修課題】</p> <p>ブラッシュアップされたプレゼンテーションを提出する。</p>	<p>コンピュータ演習室</p> <p>Moodle</p>
10	<p>【ワードプロセッサの利用】 (Word①)</p> <p>Wordの基本操作、文章の入力方法と文字飾りについて各自で取り組む。</p>	実習	永松 浩	<p>【事前学修課題】</p> <p>大学の学修で必要とされる文書作成について調べる。</p> <p>【事後学修課題】</p> <p>Wordの基本操作を確認する。</p>	<p>コンピュータ演習室</p> <p>Moodle</p>

(B)情報リテラシーI

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	永松 浩						
担当教員	永松 浩, 小野 堅太郎, 守下 昌輝, 大谷 泰志, 辻澤 利行						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
11	<p>【ワードプロセッサの利用】（Word②） ページのデザイン、図表の配置・レイアウトや、簡易な編集について実践する。</p> <p>【アウトラインプロセッサ】考え方をまとめるツールとしての「アウトラインプロセッサ」について説明する</p>	実習	永松 浩	<p>【事前学修課題】 前回未完了の課題に取り組む。</p> <p>【事後学修課題】 見やすくわかりやすい文字の加工やレイアウトについてまとめる。</p>	コンピュータ演習室 Moodle
12	<p>【ワードプロセッサの利用】（Word③）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよいワープロ文書にするためのテクニックや、表の作成などについて取り組む。 ・グループ毎にテーマに沿ってディスカッションし、プロダクトを作成する。 	実習	永松 浩	<p>【事前学修課題】 前回未完了の課題に取り組む。 グループ毎にテーマについて調べてくる。</p> <p>【事後学修課題】 テーマに沿ったドキュメントを提出する。</p>	コンピュータ演習室 チュートリアル演習室1 チュートリアル演習室2 チュートリアル演習室3 チュートリアル演習室4 チュートリアル演習室5 チュートリアル演習室6 チュートリアル演習室7 チュートリアル演習室8 Moodle

(B)情報リテラシーI

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	永松 浩						
担当教員	永松 浩, 小野 堅太郎, 守下 昌輝, 大谷 泰志, 辻澤 利行						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
13	【表計算ソフトの利用】 (Excel ①) Excelの基本操作、動作の原理、入力方法、計算方法について学ぶ。	実習	永松 浩	【事前学修課題】 大学の学習で必要とされる表やグラフ、計算について調べる。 【事後学修課題】 Excelの基本操作を確認する。	コンピュータ演習室 Moodle
14	【表計算ソフトの利用】 (Excel ②) 関数の利用、グラフの作成、表のデザインについて実践し、より見やすく理解できる成果物を目指す。	実習	永松 浩	【事前学修課題】 前回未完了の課題に取り組む。 【事後学修課題】 データに応じた表やグラフの選択 についてまとめる。	コンピュータ演習室 Moodle
15	【表計算ソフトの利用】 (Excel ③) データペースの原理、データの扱い方と、Excelでの各機能との対応を学び、実際のデータを操作する。	実習	永松 浩	【事前学修課題】 前回未完了の課題に取り組む。 【事後学修課題】 あたえられたデータについて求められる分析やグラフ作成をおこない提出する。	コンピュータ演習室 Moodle

(A)情報リテラシーI

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	永松 浩						
担当教員	永松 浩, 小野 堅太郎, 守下 昌輝, 大谷 泰志, 辻澤 利行						

授業の概要

大学の講義や実習では、データの解析やレポートの作成など、パソコンの活用とより一層の「情報の使いこなし」が求められる。また情報収集や発信において適切なインターネットの利活用とより高度な情報倫理(モラル)が求められる。本実習は、教本に沿ってPCを操作し、プレゼンテーション制作・発表、ドキュメントや表・グラフの作成を行ない、メールやWebの使い方についても学ぶ。また事例動画の視聴により情報倫理について適正な態度を醸成する。これらにより、歯学部学生がツールとしてのパソコンに習熟し、在学中から卒業後も情報倫理に配慮し適切に情報を利活用できることを目標にする。

学生の到達目標

- ①情報セキュリティや著作権、情報モラルについて問題を説明することができる。
- ②情報倫理に関わる問題について対応法を説明できる。
- ③理系学生として必要なオフィスソフト(ドキュメント・表計算・プレゼンテーション)を効率的に利用できる。
- ④メールやWebブラウザなどインターネットアプリケーションを適切に利用できる。
- ⑤必要な情報を収集することができる。
- ⑥収集した情報について自らが基準を持って判断できる。
- ⑦情報の利用や発信にあたって、倫理的な視点を持つことができる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
C-2-5	自己学修や協同学修の場に適切なInformation and Communication Technology (ICT) (e-ラーニング、モバイル技術)を活用できる。
C-6-3-1	ICTを安全に活用するための情報セキュリティやコンプライアンスを理解している。
C-6-3-2	個人情報の保護に関する法律を遵守した保健医療情報(診療録、Personal Health Record等を含む)の取り扱いを理解している。
C-6-3-3	「人間中心のAI社会原則」のAI-Readyな社会における、情報倫理(AI倫理を含む)及びデータ保護に関する原則を理解している。
C-6-3-5	発達し続ける情報社会を理解し、自身の学びや医療に活用する柔軟性を有する。
IT	情報・科学技術を活かす能力(Information Technology)/医療・医学研究をさらに発展させるために、発達し続ける情報社会を理解し、人工知能(AI)やデータ活用を含めた高度科学技術を活用していく。
IT-01	情報倫理(AI倫理を含む)及びデータ保護に関する原則を理解している。
IT-02	健康・医療・介護に関わる情報倫理を理解している。
IT-03	個人の情報コントロールABILITYに基づいた、医療・保健・介護分野でのInternet of Things (IoT)技術やAI等のデータの活用を理解している。
IT-04	数理・データサイエンス、AI等の基本的情報知識と実践的活用スキルを身に付ける。
IT-05	データサイエンス、AIを駆使したイノベーションの創出に関心を示す。

(A)情報リテラシーI

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	永松 浩						
担当教員	永松 浩, 小野 堅太郎, 守下 昌輝, 大谷 泰志, 辻澤 利行						

コアカリキュラム	内容
RE-05	国内外の論文や書籍、検索情報等の科学的情報を評価し、論理的・批判的考察や吟味によって有用な情報を選別できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
例題50＋演習問題100でしっかり学ぶ Word/Excel/PowerPoint標準テキスト Windows11/Office2021対応版	定平誠	技術評論社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
プレゼンテーション制作と発表	30%
ドキュメント（課題について提出）	30%
表計算（課題について提出）	30%
レポート提出	10%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】随時、本館9階総合診療学オフィスまたはメールにて受け付ける。 オフィスを訪問する際は事前にメールでアポイントを取ることが望ましい。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	【情報処理ガイダンス】 ・大学ネットワークの利用法（ID、パスワードの管理） ・PCの基本操作 ・本学におけるPCの操作方法、Moodle・Teams・Outlookの利用方法、プリンタ使用上の注意を含め、基本的な操作方法を学ぶ。	実習	永松 浩 小野 堅太郎 守下 昌輝 大谷 泰志 辻澤 利行	【事前学修課題】高校情報の教科書を読み直しておく 【事後学修課題】PCの基本操作を確認する。	コンピュータ演習室 Moodle

(A)情報リテラシーI

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	永松 浩						
担当教員	永松 浩, 小野 堅太郎, 守下 昌輝, 大谷 泰志, 辻澤 利行						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	<p>【情報リテラシー、情報セキュリティとは】 理系・医療系大学生として求められるリテラシーやインターネットを安全に安心して活用するために、セキュリティを確保する重要性と、トラブルへの対処法について学ぶ。</p> <p>【授業における情報の受信・発信について】 ・電子メールの送受信 (Outlook) ・e-learningシステムを利用した、課題の提出、アンケートの回答 (forest of KDU : Moodle) ・リアルタイム遠隔講義システムの利用 (Teams)を確認する。</p>	実習	永松 浩	<p>【事前学修課題】 ・「情報リテラシー」 ・「情報セキュリティ」 【事後学修課題】 Outlook、Moodle、Teamsの操作に慣れる。</p>	コンピュータ演習室 Moodle
3	<p>【情報倫理 (モラル) , 著作権】 ・ネットワーク社会の中で遵守すべき規範 ・Webによる情報収集とメールの利用 ・生成系AIの利活用について ・著作権に配慮した適切な引用 ・ネット上の情報を検索エンジンや文献検索サイトなどを用いて、効率的に収集する方法について学ぶ。</p>	実習	永松 浩	<p>【事前学修課題】 「情報倫理」 「著作権」 「適切な引用」 「生成系AI」 について調べておく。</p> <p>【事後学修課題】 テーマについて検索し客観的・批判的に整理する。</p>	コンピュータ演習室 Moodle
4	<p>【情報社会におけるトラブル事例への対応】 SNSやブログなどで起きる、さまざまなトラブルについて事例ビデオを視聴しながらディスカッションを行い理解を深める。</p>	実習	永松 浩	<p>【事前学修課題】 高校情報の教科書を読み直しておく。</p> <p>【事後学修課題】 レポート提出「大学生となったあなたにとって、情報倫理とは何でしょうか」</p>	コンピュータ演習室 Moodle

(A)情報リテラシーI

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	永松 浩						
担当教員	永松 浩, 小野 堅太郎, 守下 昌輝, 大谷 泰志, 辻澤 利行						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
5	【プレゼンテーションソフトの利用】(PowerPoint①) PowerPointの基本操作、オブジェクトの配置、入力について各自で取り組む。	実習	永松 浩	【事前学修課題】 プレゼンテーションの意義について調べる 【事後学修課題】 PowerPointの基本操作を確認する。	コンピュータ演習室 Moodle
6	【プレゼンテーションソフトの利用】(PowerPoint②) スライドの編集、レイアウト、デザインについて取り組むと共に、視覚的効果を学ぶ	実習	永松 浩	【事前学修課題】 前回未完了の課題に取り組む。 【事後学修課題】 分かりやすく印象に残るプレゼンテーションデザインを確認する。	コンピュータ演習室 Moodle
7	【プレゼンテーションソフトの利用】(PowerPoint③) アニメーションを組み込み、より効果的なプレゼンテーションを作成する。	実習	永松 浩	【事前学修課題】 前回未完了の課題に取り組む。 【事後学修課題】 「効果的なプレゼンテーション」についてまとめる。	コンピュータ演習室 Moodle

(A)情報リテラシーI

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	永松 浩						
担当教員	永松 浩, 小野 堅太郎, 守下 昌輝, 大谷 泰志, 辻澤 利行						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
8	<p>【プレゼンテーションソフトの利用】 (PowerPoint④)</p> <p>グループ毎に 事前に与えられたテーマについてプレゼンテーションを制作する。班の中でブラッシュアップする。班の中で代表のプレゼンを分かりやすくなるように、レイアウト (配置) ・デザイン (大きさ・色) などを検討し修正する。変更ポイントをまとめる。</p>	実習	永松 浩	<p>【事前学修課題】</p> <p>グループごとにテーマに沿って素材を集める。</p> <p>【事後学修課題】</p> <p>グループの中で指摘された事項についてブラッシュアップをおこなう。</p>	コンピュータ演習室 テュートリアル演習室1 テュートリアル演習室2 テュートリアル演習室3 テュートリアル演習室4 テュートリアル演習室5 テュートリアル演習室6 テュートリアル演習室7 テュートリアル演習室8 Moodle
9	<p>【プレゼンテーションソフトの利用】 (PowerPoint⑤)</p> <p>グループごとにブラッシュアップしたプレゼンテーションを発表し、その後修正ポイントについても発表する。発表について相互に意見を述べ合うとともに評価する。</p>	実習	永松 浩	<p>【事前学修課題】</p> <p>発表の練習をする。</p> <p>【事後学修課題】</p> <p>ブラッシュアップされたプレゼンテーションを提出する。</p>	コンピュータ演習室 Moodle
10	<p>【ワードプロセッサの利用】 (Word①)</p> <p>Wordの基本操作、文章の入力方法と文字飾りについて各自で取り組む。</p>	実習	永松 浩	<p>【事前学修課題】</p> <p>大学の学修で必要とされる文書作成について調べる。</p> <p>【事後学修課題】</p> <p>Wordの基本操作を確認する。</p>	コンピュータ演習室 Moodle

(A)情報リテラシーI

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	永松 浩						
担当教員	永松 浩, 小野 堅太郎, 守下 昌輝, 大谷 泰志, 辻澤 利行						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
11	<p>【ワードプロセッサの利用】（Word②） ページのデザイン、図表の配置・レイアウトや、簡易な編集について実践する。</p> <p>【アウトラインプロセッサ】考え方をまとめるツールとしての「アウトラインプロセッサ」について説明する</p>	実習	永松 浩	<p>【事前学修課題】 前回未完了の課題に取り組む。</p> <p>【事後学修課題】 見やすくわかりやすい文字の加工やレイアウトについてまとめる。</p>	コンピュータ演習室 Moodle
12	<p>【ワードプロセッサの利用】（Word③）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよいワープロ文書にするためのテクニックや、表の作成などについて取り組む。 ・グループ毎にテーマに沿ってディスカッションし、プロダクトを作成する。 	実習	永松 浩	<p>【事前学修課題】 前回未完了の課題に取り組む。 グループ毎にテーマについて調べてくる。</p> <p>【事後学修課題】 テーマに沿ったドキュメントを提出する。</p>	コンピュータ演習室 チュートリアル演習室1 チュートリアル演習室2 チュートリアル演習室3 チュートリアル演習室4 チュートリアル演習室5 チュートリアル演習室6 チュートリアル演習室7 チュートリアル演習室8 Moodle

(A)情報リテラシーI

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	永松 浩						
担当教員	永松 浩, 小野 堅太郎, 守下 昌輝, 大谷 泰志, 辻澤 利行						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
13	【表計算ソフトの利用】 (Excel ①) Excelの基本操作、動作の原理、入力方法、計算方法について学ぶ。	実習	永松 浩	【事前学修課題】 大学の学習で必要とされる表やグラフ、計算について調べる。 【事後学修課題】 Excelの基本操作を確認する。	コンピュータ演習室 Moodle
14	【表計算ソフトの利用】 (Excel ②) 関数の利用、グラフの作成、表のデザインについて実践し、より見やすく理解できる成果物を目指す。	実習	永松 浩	【事前学修課題】 前回未完了の課題に取り組む。 【事後学修課題】 データに応じた表やグラフの選択 についてまとめる。	コンピュータ演習室 Moodle
15	【表計算ソフトの利用】 (Excel ③) データペースの原理、データの扱い方と、Excelでの各機能との対応を学び、実際のデータを操作する。	実習	永松 浩	【事前学修課題】 前回未完了の課題に取り組む。 【事後学修課題】 あたえられたデータについて求められる分析やグラフ作成をおこない提出する。	コンピュータ演習室 Moodle

情報リテラシーII

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	16	単位数	1
科目責任者	守下 昌輝						
担当教員	守下 昌輝, 大谷 泰志						

授業の概要

日常のあらゆる場面でコンピュータを利用するが、その原理や構造を知る機会は少ない。しかし、在学中はもとより卒業後もコンピュータやネットワークを使う以上、理解していくことは必須である。また、情報セキュリティやサイバー攻撃への対策についても、当然に必要な技術・知識となってきた。これから安全に生活し、仕事を進めていく上で必要な法律や技術について理解を深める授業を行うとともに、情報倫理、研究倫理についても触れる。

学生の到達目標

- ①コンピュータの原理が説明できる。
- ②インターネットの原理が説明できる。
- ③メディアの特性について区別することができる。
- ④情報セキュリティやネット犯罪について説明することができる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
C-2-5	自己学修や協同学修の場に適切なInformation and Communication Technology (ICT) (e-ラーニング、モバイル技術)を活用できる。
C-6-3-1	ICTを安全に活用するための情報セキュリティやコンプライアンスを理解している。
C-6-3-3	「人間中心のAI社会原則」のAI-Readyな社会における、情報倫理(AI倫理を含む)及びデータ保護に関する原則を理解している。
C-6-3-4	IoT技術やAI、データ活用等の基本的な概念と手法、医療・保健・介護分野への応用例について理解している。
C-6-3-5	発達し続ける情報社会を理解し、自身の学びや医療に活用する柔軟性を有する。
IT	情報・科学技術を活かす能力(Information Technology)/医療・医学研究をさらに発展させるために、発達し続ける情報社会を理解し、人工知能(AI)やデータ活用を含めた高度科学技術を活用していく。
IT-01	情報倫理(AI倫理を含む)及びデータ保護に関する原則を理解している。
IT-03	個人の情報コントロールabilityに基づいた、医療・保健・介護分野でのInternet of Things (IoT)技術やAI等のデータの活用を理解している。
IT-04	数理・データサイエンス、AI等の基本的情報知識と実践的活用スキルを身に付ける。
IT-05	データサイエンス、AIを駆使したイノベーションの創出に関心を示す。
IT-06	歯科医療においてDigital Dentistryの活用を理解している。

情報リテラシーII

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	16	単位数	1
科目責任者	守下 昌輝						
担当教員	守下 昌輝, 大谷 泰志						

テキスト

タイトル	著者	出版社
キーワードでわかる情報トピックス2024（発刊予定）	久野靖 他	日経BP社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	80%
小テスト	20%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】 随時、病院棟2階診療情報管理室またはメールにて受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	コンピュータの原理 コンピュータの内部構造の説明。どのような構成部品があり、どのように性能が決まるのかを学ぶ。	講義	守下 昌輝	【事前学修課題】 高校情報の教科書を読み直しておく。	301 講義室
2	インターネットの仕組み インターネットは、どのように構築されているのか、メールやWebは、どのようにして伝送されるのかを学ぶ。	講義	守下 昌輝	【事前学修課題】 日常的に使用しているインターネットについて、その仕組みを自身で想像しまとめしておく。	301 講義室
3	LANとWi-Fi インターネットを組織や家庭内で使う際に必要な設定や基本技術はどのようになっているかを学ぶ。	講義	守下 昌輝	【事前学修課題】 日常的に使用しているインターネットについて、その仕組みを自身で想像しまとめしておく。	301 講義室
4	情報セキュリティ コンピュータウイルスやネット犯罪の例を元に、その対策方法を知る。	講義	守下 昌輝	【事前学修課題】 1年以内にあった、情報に関する事件について調べておく。	301 講義室

情報リテラシーII

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	16	単位数	1
科目責任者	守下 昌輝						
担当教員	守下 昌輝, 大谷 泰志						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
5	Computer Aided Designと3Dプリント Computer Aided Designと3Dプリント、医療への応用について知る。	講義	大谷 泰志	【事前学修課題】インターネットで3Dプリントについて調べておく。	301 講義室
6	AIの進化と活用 人工知能の進化と活用、医療への応用について知る。	講義	大谷 泰志	【事前学修課題】インターネットでAIについて調べておく。	301 講義室
7	インターネットの活用 毎日使用しているインターネットの活用についてサービスの特徴を知る。	講義	守下 昌輝	【事前学習課題】SNSサービスについて調べておく。	301 講義室
8	情報社会 情報システムや自動化など、近年トピックスになっている技術について知る。	講義	守下 昌輝	【事前学習課題】ビッグデータ、ロボティクス、VR、ウェアラブルデバイスについて調べておく。	301 講義室

基礎教育セミナー

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	福泉 隆喜						
担当教員	福泉 隆喜						

授業の概要

1年次生全体を数名の班に分け、各ファシリテーターのもとで初年次教育（高校あるいは他大学からの円滑な移行を図り、九州歯科大学での学習および人格的な成長に必要な学生スキル、スタディースキル等）を学ぶ。特に、クリティカルシンキングおよびロジカルライティングを自ら実践する。

学生の到達目標

- ①「大学での学びとは何か」を理解できる。
- ②クリティカルシンキングを実践できる。
- ③ロジカルライティングが実践できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
C-2-1	講義、国内外の教科書や文献、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出、統合し、客観的、批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。
C-2-3	必要な課題を自ら発見し、重要性や必要性に照らして順位付けできる。
C-2-4	課題の解決にあたり、他の学修者や教員と協力してよりよい解決方法を見出し、自ら課題を解決できる。
C-2-5	自己学修や協同学修の場に適切なInformation and Communication Technology (ICT) (e-ラーニング、モバイル技術)を活用できる。
C-2-6	適切な自己評価ができ、改善のための具体的方策を立てることができる。
CM-02	必要な情報についてわかりやすく説明できる。
CM-03	患者、患者家族等の多様性を理解し、適切な人間関係を構築し、適切な歯科医療を行うために十分なコミュニケーションスキルを養うことができる。
LL-01	生涯学修に向けて自らの将来を構想し、自己主導型学習により常に自己の向上を図ることができる。
LL-03	医療の評価・検証とそれに基づく自らの行動を論理的、批判的に振り返り、生涯に向けた自己研鑽に取り組むことができる。
RE-01	自らの行動を論理的、批判的に振り返り、生涯に向けた自己研鑽に取り組むことができる。
RE-05	国内外の論文や書籍、検索情報等の科学的情報を評価し、論理的・批判的考察や吟味によって有用な情報を選別できる。

基礎教育セミナー

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	福泉 隆喜						
担当教員	福泉 隆喜						

テキスト

タイトル	著者	出版社
クリティカルシンキング・ロジカルライティング		ベネッセ
ものと人間の文化史 177「歯」	大野肅英 著	法政大学出版局

成績評価方法・基準

評価項目	割合
共通評価項目を用いたファシリテーターによる評価	40%
確認テスト（最終回に実施）	60%

その他

（学習相談）福泉隆喜：相談は随時受け付け可能。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	授業概要の説明 インタビュー形式による自己紹介	グループワーク	福泉 隆喜	なし	テュートリアル演習室群
2	教員及び学生の自己紹介クリティカルシンキング① 「大学での学びとは何か」「どんなことが求められているのか」を知る。「クリティカルシンキング」「ロジカルライティング」とは何か、を学ぶ。大学で求められる「考える力」とは何か、を考える。	グループワーク	福泉 隆喜	クリティカルシンキング、ロジカルライティング	テュートリアル演習室群
3	クリティカルシンキング② 相手の発言（文章）を正確に理解する「議論の明確化」について学習する。「議論の明確化」のやり方を、問題を通じて学ぶ。	グループワーク	福泉 隆喜	議論の明確化	テュートリアル演習室群

基礎教育セミナー

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	福泉 隆喜						
担当教員	福泉 隆喜						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
4	クリティカルシンキング③ クリシンの要素の1つである「隠れた前提」について、概要を把握させる。「隠れた前提」の見抜き方を、問題を通じて学ぶ。	グループワーク	福泉 隆喜	隠れた前提	チュートリアル演習室群
5	クリティカルシンキング④ クリシンの要素の1つである「根拠の確かさ」について、概要を把握させる。「根拠の確かさ」の見極め方を、問題を通じて学ぶ。	グループワーク	福泉 隆喜	根拠の確かさ	チュートリアル演習室群
6	クリティカルシンキング⑤ 普段授業を受けるときや、資料を読むときに意識すべき点を、クリシンを踏まえながらも広い観点で学ぶ。	グループワーク	福泉 隆喜	クリシンを踏まえた留意点	チュートリアル演習室群
7	クリティカルシンキング⑥ 状況整理、分析、判断という通りの流れを知る。「問題解決」の考え方を、問題を通じて学ぶ。	グループワーク	福泉 隆喜	問題解決の考え方	チュートリアル演習室群
8	読書課題について 入学前に課したレポートについてクリシンの観点から討論する。	グループワーク	福泉 隆喜	クリシンの応用	チュートリアル演習室群
9	ロジカルライティング① 「ロジライとは」を考え、ロジライの文章の形を解説する。ロジライトライアングル（主張→3つの根拠→念押し）を意識しながら実際に書いてみる。	グループワーク	福泉 隆喜	ロジライトライアングル	チュートリアル演習室群
10	ロジカルライティング② 「主張や意見を考える」の概要と方法を知り、エクササイズを通して身につける。主観的な根拠だけでなく、客観的な根拠を出す必要性について学習する。	グループワーク	福泉 隆喜	主張や意見の考え方	チュートリアル演習室群
11	ロジカルライティング③ 根拠を整理し、まとめる作業を学ぶ。「整理する」方法を、エクササイズを通して身につける。	グループワーク	福泉 隆喜	根拠の整理の方法	チュートリアル演習室群

基礎教育セミナー

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	福泉 隆喜						
担当教員	福泉 隆喜						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
12	ロジカルライティング④ 文章としてまとめる方法を学ぶ。実際にロジライトライアングルに即した文章を書き、グループ内で相互にチェックする。	グループワーク	福泉 隆喜	文章のまとめ方	チュートリアル演習室群
13	ロジカルライティング⑤ クリシンとロジライの両方を使うことで、学びの質を高められることを知る。資料作成やプレゼンテーション、ディスカッションにおいてもクリシン・ロジライが生かされることを知る。	グループワーク	福泉 隆喜	ディスカッションにおけるクリシン・ロジライ	チュートリアル演習室群
14	ロジカルライティング⑥ 大学で学ぶことは「知識」「スキル」の両方であることを認識させる。大学で身に付けた「スキル」は社会に出てからも生かせることを認識させる。	グループワーク	福泉 隆喜	大学での学び	チュートリアル演習室群
15	授業の総括	確認テスト	福泉 隆喜	クリティカルシンキング・ロジカルライティングの活用	301 講義室

歯学概論I

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	20	単位数	1
科目責任者	歯学科長						
担当教員	九州歯科大学長, 歯学部長, 歯学科長, 栗野 秀慈, 有吉 渉, 安細 敏弘, 森川 和政, 永松 浩, 鷺尾 絢子, 正木 千尋, 福泉 隆喜, 竹内 弘						

授業の概要

本学の掲げる基本理念の実現に必要な基礎知識としての、日本全体および本学における歯学教育について説明し、歯科医学・歯科医療への導入を行うことにより、歯学部学生としての意識を高める。

学生の到達目標

- ①日本の歯学教育の全体像、九州歯科大学の教育理念、ディプロマポリシーと歯学教育カリキュラムの概要を説明できる。
- ②歯科医学史と九州歯科大学の歴史の概略を説明できる。
- ③歯科医療の臨床現場を理解し、職業としての歯科医師の社会的役割について自身の考えを述べることができる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
C-1-2-1	歯科医師のプロフェッショナリズムを理解している。
C-1-2-5	歯科医師に課せられた法的責任と社会的責任(刑事責任、民事責任、歯科医師法と健康保険法に基づく行政処分)を理解している。
C-1-3-1	患者中心のチーム医療の意義を理解している。
C-1-3-2	医療チームや各構成員(歯科医師、医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、言語聴覚士、臨床検査技師、診療放射線技師、その他の医療職)の役割分担と連携、責任体制を理解している。
C-1-3-3	医療、保健、福祉、介護における多職種連携と歯科医師の役割を理解している。
C-2-3	必要な課題を自ら発見し、重要性や必要性に照らして順位付けできる。
C-4-1-2	口腔と全身の健康との関連を理解している。
C-4-2-2	歯科医師の業務及び義務を理解している。
C-4-3-1	地域、職場及び各ライフステージの保健医療施策の背景と概要を理解している。
C-7-3	日本の医療の特徴、国際社会への貢献、協力の重要性を理解している。

テキスト

タイトル	著者	出版社
必要に応じて資料を配付する		

参考書

タイトル	著者	出版社
歯学教育モデル・コア・カリキュラム(平成28年度改訂版)	モデル・コア・カリキュラム改訂に関する連絡調整委員会および専門研究会	文部科学省(HPからダウンロード)

歯学概論I

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	20	単位数	1
科目責任者	歯学科長						
担当教員	九州歯科大学長, 歯学部長, 歯学科長, 栗野 秀慈, 有吉 渉, 安細 敏弘, 森川 和政, 永松 浩, 鷺尾 絢子, 正木 千尋, 福泉 隆喜, 竹内 弘						

タイトル	著者	出版社
歯学教育モデル・コア・カリキュラム (令和4年度改訂版)	モデル・コア・カリキュラム改訂に関する連絡調整委員会および専門研究委員会	文部科学省 (HPからダウンロード)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	100%

その他

【オフィスアワー】講義の前後、またはメールで受け付ける。科目の受講に関する質問は科目責任者の歯学科長まで、各講義の内容については担当教員にメールで連絡する。

【公欠相当の事由による遠隔対応】講義によって異なるので、事由発生時には前日までに担当教員へ相談すること。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	歯科医学を学ぶにあたって 日本の歯科医療教育の全体像、本学の歯科医療カリキュラムの概要を示し、歯学部生が歯科医療を修得するための教育システムについて学習する。歯科医学を学ぶにあたり、国内外において社会的使命を果たす歯科医療人の育成を目標にした本学の教育指針について学習する。	講義 配布用スライド資料 レポート課題	九州歯科大学長	【事前学習課題】歯学を取り巻く環境 【事後学習課題】レポート課題の提出	301 講義室

歯学概論I

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	20	単位数	1
科目責任者	歯学科長						
担当教員	九州歯科大学長, 歯学部長, 歯学科長, 栗野 秀慈, 有吉 渉, 安細 敏弘, 森川 和政, 永松 浩, 鷺尾 絢子, 正木 千尋, 福泉 隆喜, 竹内 弘						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	歯学教育について 本邦の口腔疾患の現状、今後求められる歯科医療の姿を知った上で、歯科医学教育の流れ、本学の歯科医学教育、特に臨床教育の現状を説明する。また本授業を通じて、将来の歯科医療を担う歯科医師として必要な卒業時までまでに修得すべき臨床能力について考察する。	講義 学修用配付資料 レポート課題	歯学部長	【事前学修課題】歯学教育モデル・コア・カリキュラム（令4年度改訂版）を読む。*Googleで検索するか、本学ホームページの履修科目・単位数、シラバスのページの付録からアクセスできます。 【事後学習課題】レポート課題の提出	301 講義室
3	教育カリキュラムについて 歯学教育モデル・コア・カリキュラム、本学のディプロマポリシー、卒業コンピテンシーとカリキュラムポリシーの関係およびカリキュラムマップと科目の配置、成績評価と単位について理解する。	講義 遠隔授業 レポート課題	歯学科長	【事前学習課題】大学 HP に掲載されている歯学教育モデル・コア・カリキュラム（平成28年度改訂版）、大学カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー、履修科目・単位数など閲覧してみる。 http://www.kyu-dent.ac.jp/departments/dentistry/subject 【事後学習課題】課題レポートを提出し、講義内容を踏まえて、1年次のシラバスを熟読する。	301 講義室

歯学概論I

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	20	単位数	1
科目責任者	歯学科長						
担当教員	九州歯科大学長, 歯学部長, 歯学科長, 栗野 秀慈, 有吉 渉, 安細 敏弘, 森川 和政, 永松 浩, 鷺尾 絢子, 正木 千尋, 福泉 隆喜, 竹内 弘						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
4	歯科医学史① メソポタミア文明、エジプト文明に始まる古代における医療の歴史ならびに医学の3大教師とされる古代ギリシャのヒポクラテス、ローマ時代のガレノスならびにイスラム黄金時代のアヴィケンナ等の業績について概要を学習する。また感染症、とくにマラリア、ペスト、コレラ等のパンデミックの歴史ならびに当時信じられていた瘴気説や瀉血による治療の歴史についても学習する。	講義 遠隔授業 レポート課題	安細 敏弘	【事前学習課題】 古代の歯科医療、ヒポクラテス、ガレノス、瘴気説、瀉血、パンデミック 【事後学習課題】 レポート課題の提出	301 講義室
5	歯科医学史② 近代歯科医学の父とされるフォシャールの時代を中心に歯科医学の歴史の概要を学習する。あわせて日本における歯科医学の歴史について、とくに江戸時代から明治時代に焦点をあてて、歯科医療文化の歩みや近代歯科医学の発展に貢献した人物と業績についても学習する。	講義 遠隔授業 レポート課題	安細 敏弘	【事前学習課題】 近代の歯科医学、フォシャール、木床義歯、お歯黒 【事後学習課題】 レポート課題の提出	301 講義室
6	包括的歯科医療としての総合歯科診療の位置づけ 患者の歯科・口腔領域の疼痛・機能障害・審美障害に対して全人的医療を提供するための、総合歯科診療の実際を学習する。プライマリケアと専門診療の枠を超えて、総合治療計画を立案し、医科歯科連携・多職種連携を実践する上で、果たすべき総合歯科診療の役割を理解する。卒前卒後のシームレスな歯科医師養成のために、共用試験に合格した歯学生が Student Dentist として、総合診療科において診療参加型実習により一般的な歯科処置を行えるようになることが社会に求められていることを理解する。	講義 遠隔授業 レポート課題	永松 浩	【事前学習課題】 全人的医療、総合歯科診療、プライマリケア、総合治療計画、共用試験、診療参加型実習 【事後学習課題】 レポート課題の提出	301 講義室

歯学概論I

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	20	単位数	1
科目責任者	歯学科長						
担当教員	九州歯科大学長, 歯学部長, 歯学科長, 栗野 秀慈, 有吉 渉, 安細 敏弘, 森川 和政, 永松 浩, 鷺尾 絢子, 正木 千尋, 福泉 隆喜, 竹内 弘						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
7	我が国の歯科医療の現状 少子高齢化の進展に伴う疾病構造の変化と我が国の社会保障制度の特徴を理解する。また、医療提供体制における歯科診療所の位置付け及び歯科診療所に勤務する歯科医師等の現況を知り、地域歯科保健医療における歯科医師の役割について学習する。	講義 遠隔授業 レポート課題	福泉 隆喜	【事前学習課題】公衆衛生、社会保障制度、歯科診療所と歯科医師の役割 【事後学習課題】レポート課題の提出	301 講義室
8	硬組織疾患および歯髄・根尖性歯周組織疾患と一般基礎医学 最新の歯冠修復・歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療について学び、その診査・診断・治療において一般基礎医学がどこに生かされるかを理解する。	講義 遠隔授業 レポート課題	鷺尾 絢子	【事前学習課題】歯髄・根尖性歯周組織疾患、一般基礎医学 【事後学習課題】レポート課題の提出	301 講義室
9	補綴・インプラント治療における基礎医学の重要性について 最新の補綴・インプラント治療について学び、その診査・診断・治療において一般基礎医学がどこに生かされるかを理解する。	講義 遠隔授業 レポート課題	正木 千尋	【事前学習課題】補綴治療、インプラント治療、基礎医学 【事後学習課題】レポート課題の提出	301 講義室
10	小児歯科と一般基礎医学 小児歯科疾患の治療について学び、その診査・診断・治療において一般基礎医学がどこに生かされるかを理解する。	講義 遠隔授業 レポート課題	森川 和政	【事前学習課題】小児歯科、一般基礎医学 【事後学習課題】レポート課題の提出	301 講義室

歯学概論II

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	歯学科長						
担当教員	木尾 哲朗, 福原 正代, 吉岡 泉, (非)福田 仁一, 福泉 隆喜, 有吉 渉, 竹内 弘, (非)間宮 清, (非)田中 裕望						

授業の概要

歯学の社会における存在意義、位置づけと多職種連携の重要性、倫理と社会的責任について概説する。またそれらの前提として非常に重要な基本的人権や医療に関する患者の権利保護について説明する。

学生の到達目標

- ①医療の基本的な立場を理解する。
- ②歯学の社会における役割について概説できる。
- ③歯科医療人にとってのコミュニケーションの重要性について説明できる。
- ④患者中心のチーム医療の意義と多職種連携について概説できる。
- ⑤生命倫理について概説できる。
- ⑥人権に関する様々な問題について概説できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
C-1-1-1	医の倫理と生命倫理、患者の権利に関する規範、国際規範の歴史的経緯と諸問題を理解している。
C-1-2-1	歯科医師のプロフェッショナリズムを理解している。
C-1-2-3	患者との信頼関係構築の重要性を理解している。
C-1-2-5	歯科医師に課せられた法的責任と社会的責任(刑事責任、民事責任、歯科医師法と健康保険法に基づく行政処分)を理解している。
C-1-3-1	患者中心のチーム医療の意義を理解している。
C-1-3-2	医療チームや各構成員(歯科医師、医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、言語聴覚士、臨床検査技師、診療放射線技師、その他の医療職)の役割分担と連携、責任体制を理解している。
C-1-3-3	医療、保健、福祉、介護における多職種連携と歯科医師の役割を理解している。
C-4-3-1	地域、職場及び各ライフステージの保健医療施策の背景と概要を理解している。
D-2-1-1-1	コミュニケーションの意義、目的及び技法(言語的、準言語的、非言語的)を理解している。
E-2-1-1-2	医療面接における基本的なコミュニケーションができる。(II)

テキスト

タイトル	著者	出版社
資料を配付する。		

歯学概論II

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	歯学科長						
担当教員	木尾 哲朗, 福原 正代, 吉岡 泉, (非)福田 仁一, 福泉 隆喜, 有吉 渉, 竹内 弘, (非)間宮 清, (非)田中 裕望						

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	100%

その他

【オフィスアワー】講義の前後、またはメールで受け付ける。科目全体に関する内容や非常勤講師に対する質問等は科目責任者に連絡すること。

【公欠相当の事由による遠隔対応】講義によって異なるので、事由発生時には前日までに担当教員へ相談すること。

歯学概論II

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	歯学科長						
担当教員	木尾 哲朗, 福原 正代, 吉岡 泉, (非)福田 仁一, 福泉 隆喜, 有吉 渉, 竹内 弘, (非)間宮 清, (非)田中 裕望						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	プロフェッショナリズムと医療コミュニケーションを考えるプロフェッショナリズムを含めたシームレスな歯学教育の動向を理解し、九州歯科大学において社会が求める歯科医療人となるために、研鑽を深める意義やその重要性について学習する。	講義遠隔授業 学修用配布資料 レポート課題2件	木尾 哲朗	<p>【事前学習課題】プロフェッショナリズム、コンテンツ、コンテキスト・上の3つの用語について事前に学んだ点を400字以上1,000字以内まとめて提出してください。・過去に書かれた参考文献を提示します。事前に読むと講義がわかりやすいと思います。</p> <p>【事後課題】・本講義を聴講した感想を400字以上1,500字以内にまとめてください。・単なる感想の羅列ではなく、コンテンツ+コンテキスト（事実+感想）という組み合わせで書くこと、誤解の少ない文書を書きやすくなります。論旨を推敲して書いてください。（この書き方は臨床カルテの書き方の基本となりますので、身に着ける努力をしましょう）</p>	301講義室 Moodle
2	歯科医師に関する法律や制度 歯科医療に従事する歯科医師の業務内容、法的な責務、公衆衛生分野において果たす役割などを理解する。また、歯科医療に関連する各種の法令や制度の概要について学習する。	講義遠隔授業 レポート課題	福泉 隆喜	<p>【事前学習課題】歯科医師の業務と義務、医療法、医療保険制度、歯科口腔保健の推進に関する法律</p> <p>【事後学習課題】レポート課題の提出</p>	301講義室 Moodle

歯学概論II

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	歯学科長						
担当教員	木尾 哲朗, 福原 正代, 吉岡 泉, (非)福田 仁一, 福泉 隆喜, 有吉 渉, 竹内 弘, (非)間宮 清, (非)田中 裕望						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
3	医科と歯科の連携について 近年急増している、糖尿病・癌・心疾患・脳卒中等の医科の全身疾患を併発する歯科患者に対して、適切な対処をするために必要な医科と歯科の連携について学習する。	講義遠隔授業 レポート課題	福原 正代	【事前学習課題】医科・歯科連携、糖尿病、がん 【事後学習課題】レポート課題の提出	301 講義室 Moodle
4	口腔外科・口腔内科について 口腔外科、口腔内科が対象とする疾患を概説し、医療における歯科医療の位置付け、ならびに歯科医療における全身疾患の理解の重要性を学習する。	講義遠隔授業 レポート課題	吉岡 泉	【事前学習課題】口腔外科学、全身疾患 【事後学習課題】レポート課題の提出	301 講義室 Moodle
5	タバコと口腔疾患 一禁煙を目指して- タバコによる口腔疾患を通して健康被害を理解する。喫煙により周囲の者に害が及ぶ受動喫煙についても学ぶ。禁煙成功の秘訣を学習する。	講義遠隔授業 レポート課題	(非)福田 仁一	【事前学習課題】タバコの害、受動喫煙 【事後学習課題】授業内容に関するレポート	301 講義室 Moodle
6	薬害被害の現状と課題について 薬害被害に遭われた方の意見・体験を直接聞き、薬害の現状と医療倫理や人権における課題とあり方について学ぶ。	講義遠隔授業 レポート課題	(非)間宮 清	【事前学習課題】薬害被害 【事後学習課題】授業の感想文提出	301 講義室 Moodle
7	人権・ハラスメント・デートDV セクハラ・パワハラ・アカハラなどをキーワードに、人権・ハラスメントについて考える。また、現在、若い世代に起こっている「デートDV」とその防止について学ぶ。	講義遠隔授業 レポート課題	(非)田中 裕望	【事前学習課題】セクハラ、パワハラ、デートDV 【事後学習課題】授業の感想文提出	301 講義室 Moodle
8	人権・同和問題について考える 社会構造の中に存在する差別を通じて、人権について考える。	講義遠隔授業 レポート課題		【事前学習課題】人権・同和問題 【事後学習課題】授業の感想文提出	301 講義室 Moodle

社会歯科学I

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	福泉 隆喜						
担当教員	福泉 隆喜, (非)尾崎 哲則, (非)堀 義明						

授業の概要

地域の中で生活する全ての人々の健康課題、なかでも歯科領域の課題について、臨床歯科医学的なアプローチではなく、疫学的な手法や社会制度との関わりに着目して課題に取り組む重要性について講義する。特に、歯科保健医療や歯科医療従事者が、我が国の社会保障制度のなかでどのように位置付けられているか講義する。

学生の到達目標

- ①患者の権利を熟知し、その現状と問題点を理解する。
- ②医療、歯科医療および医学・歯学研究における倫理の重要性を理解する。
- ③歯科医師の義務と責任に関する基本的な知識、態度および考え方を身につける。
- ④医療上の事故等や医療関連感染症等は日常的に起こる可能性があることを認識し、過去の事例から事故を防止し、患者の安全確保を最優先することで信頼される医療を提供しなければならないことを理解する。
- ⑤医療従事者が遭遇する危険性（事故、感染等）について、基本的な予防・対処および改善の方法を学ぶ。
- ⑥健康と疾病の概念を理解する。
- ⑦歯科医師法および関連法規の基本的な考え方、保健、医療、福祉、介護に関連する社会制度、地域医療および社会環境を理解する。
- ⑧公衆衛生と歯科医療における予防の概念を理解する。
- ⑨主な保健医療統計（国民医療費、患者調査、医療施設調査、医師・歯科医師・薬剤師調査、歯科疾患実態調査、学校保健統計調査、福祉行政報告例等）を説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-1-1)-①	医の倫理と生命倫理の歴史経過と諸問題を概説できる。
A-1-1)-②	医の倫理に関する規範・国際規範（ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、ヘルシンキ宣言等）を概説できる。
A-1-1)-③	臨床（生と死に関わる問題を含む）に関する倫理的問題を説明できる。
A-1-1)-④	医学研究に関する倫理的問題を説明できる。
A-1-2)-①	患者の権利を説明できる。
A-1-2)-②	患者の自己決定権を説明できる。
A-1-2)-③	患者が自己決定できない場合の対応を説明できる。
A-1-2)-④	インフォームド・コンセントの意義と重要性を説明できる。
A-1-3)-①	歯科医師のプロフェッショナリズムを説明できる。
A-1-3)-④	歯科医師に課せられた社会的責任と法的責任（刑事責任、民事責任、歯科医師法に基づく行政処分）を説明できる。
A-1-3)-⑤	患者に最も適した歯科医療を勧めるとともに、代替する他の方法についても説明できる。
A-5-1)-②	医療チームや各構成員（歯科医師、医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制を説明できる。
A-5-1)-③	保健・医療・福祉・介護における多職種連携と歯科医師の役割を説明できる。
A-5-1)-⑤	患者情報の守秘と患者等への情報提供の重要性を説明できる。
A-5-1)-⑥	セカンドオピニオンを説明できる。
A-5-1)-⑦	人生の最終段階における歯科の関わりと本人の意思決定・表示を説明できる。

社会歯科学I

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	福泉 隆喜						
担当教員	福泉 隆喜, (非)尾崎 哲則, (非)堀 義明						

コアカリキュラム	内容
A-6-1)-①	医療上の事故等の発生要因（ヒューマンエラー、システムエラー等）を説明できる。
A-6-1)-②	医療上の事故等に対する防止策を説明できる。
A-6-1)-③	医療現場における報告・連絡・相談及び診療録記載の重要性を説明できる。
A-6-1)-④	医療の安全性に関する情報の共有、分析の重要性を説明できる。
A-6-1)-⑤	医療機関に求められる医療安全管理体制を概説できる。
A-6-2)-①	医療事故と医療過誤の違いを説明できる。
B-1-①	健康、障害と疾病の概念を説明できる。
B-2-1)-①	歯科医師法を説明できる。
B-2-1)-④	薬事衛生法規を概説できる。
B-2-1)-⑤	保健衛生法規を概説できる。
B-2-2)-①	保健・医療施策を説明できる。
B-2-2)-②	医療保険制度と医療経済（国民医療費）を説明できる。
B-2-2)-③	社会保障制度（社会保険・社会福祉・公的扶助・公衆衛生）を説明できる。
B-2-2)-④	高齢者の置かれた社会環境を説明できる。
B-2-2)-⑤	障害者のおかれた社会環境を説明できる。
B-2-2)-⑥	虐待の防止に関する制度と歯科医師の責務を説明できる。
B-2-2)-⑧	地域における保健・医療・福祉・介護の連携（地域包括ケアシステム）を説明できる。
B-3-1)-①	疾病の自然史と第一次、第二次及び第三次予防を説明できる。
B-3-1)-②	プロフェッショナルケア、セルフケア及びコミュニティケアを説明できる。
B-3-1)-③	プライマリ・ケアとヘルスプロモーションを説明できる。
B-3-2)-①	主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。
B-3-2)-④	ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。
B-3-2)-⑥	公衆歯科衛生を概説できる。
B-3-2)-⑦	人の行動と心理及び健康行動を概説できる。
B-3-2)-⑧	行動変容と行動療法を概説できる。
B-4-2)-②	主な保健統計（歯科疾患実態調査、国民健康・栄養調査、国勢調査、人口動態調査、患者調査、医療施設調査、医師・歯科医師・薬剤師調査、学校保健統計調査等）を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
Moodleによって資料を配付する。		

参考書

タイトル	著者	出版社
スタンダード社会歯科学 第8版	石井拓男 他	学建書院
シンプル衛生公衆衛生学 2024	辻一郎 他	南江堂
公衆衛生がみえる 2024-2025（第6版）	医療情報科学研究所（編）	メディックメディア
新版 歯科医療管理	日本歯科医療管理学会（編集）	医歯薬出版

社会歯科学I

開講学科	歯学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	福泉 隆喜						
担当教員	福泉 隆喜, (非)尾崎 哲則, (非)堀 義明						

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

(学習相談) 福泉隆喜：相談は随時受け付け可能

※非常勤講師への質問・相談等がある場合は、科目担当責任者（福泉）に連絡すること。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	社会と歯科医療① 国の施策と歯科医療の関係や社会歯科学のカバーする領域について学習する。	講義 (パワーポイントと資料)	福泉 隆喜	社会と歯科医療	401 講義室
2	社会と歯科医療② 患者の尊厳とこれを支える医の倫理及び各種の規範等について学習する。	講義 (パワーポイントと資料)	福泉 隆喜	患者の尊厳と医の倫理	401 講義室
3	社会と歯科医療③ 公衆衛生の基盤となる健康の概念、社会・環境との関わり、予防の概念、社会保障制度の全体像について学習する。	講義 (パワーポイントと資料)	福泉 隆喜	健康の概念、社会・環境との関わり	401 講義室
4	医療保険制度 医療を支える国民皆保険制度、診療報酬制度、後期高齢者医療制度、高額療養費制度等について学習する。	講義 (パワーポイントと資料)	福泉 隆喜	国民皆保険制度	401 講義室
5	社会と歯科医療④ 歯科医療と社会との関わり、歯科医師の責務等について学習する。	講義 (パワーポイントと資料)	(非)尾崎 哲則	歯科医師の責務	401 講義室
6	年金保険制度、労災保険制度① 年金保険制度の特徴、負担と給付のバランス、労災保険制度の概要について学習する。	講義 (パワーポイントと資料)	福泉 隆喜	年金保険制度、労災保険制度	401 講義室

社会歯科学I

開講学科	歯学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	福泉 隆喜						
担当教員	福泉 隆喜, (非)尾崎 哲則, (非)堀 義明						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
7	労災保険制度②、雇用保険制度 労災保険給付の内容と雇用保険制度の概要について学習する。	講義 (パワーポイントと資料)	福泉 隆喜	雇用保険制度	401 講義室
8	社会福祉制度、介護保険制度① 社会保障の構成要素である社会福祉及び公的扶助について学習する。また、我が国における高齢化と要介護高齢者の現況を理解し、介護保険制度の全体像について学習する。	講義 (パワーポイントと資料)	福泉 隆喜	社会福祉制度、介護保険制度	401 講義室
9	介護保険制度② 介護予防の重要性、介護保険制度における口腔関連介護サービスの概要、老人福祉施設と介護保険施設との関係について学習する。	講義 (パワーポイントと資料)	福泉 隆喜	介護予防の重要性	401 講義室
10	歯科医師法① 歯科医師の責務や業務を規定する歯科医師法の概要を理解し、関連統計から歯科医師をめぐる現況について学習する。	講義 (パワーポイントと資料)	福泉 隆喜	歯科医師法の概要	401 講義室
11	歯科医師法② 歯科医師臨床研修制度、処方せん及び診療録の取扱い等について学習する。	講義 (パワーポイントと資料)	福泉 隆喜	歯科医師臨床研修制度、処方せん及び診療録の取扱い	401 講義室
12	歯科医師と社会保障制度・保健行政 我が国における歯科保健医療行政の現状を理解し、将来の展望について学習する。	講義 (パワーポイントと資料)	(非)堀 義明	歯科保健医療行政の現状	401 講義室
13	薬事関連法規① 医薬品医療機器等法の概要を理解し、薬局の管理、医薬品の審査、医療機器と保険診療の関係等について学習する。	講義 (パワーポイントと資料)	福泉 隆喜	医薬品医療機器等法の概要	401 講義室

社会歯科学I

開講学科	歯学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	福泉 隆喜						
担当教員	福泉 隆喜, (非)尾崎 哲則, (非)堀 義明						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
14	薬事関連法規② 医薬品医療機器等法に規定する 広告規制、副作用報告等を理解し 、毒劇物及び麻薬等の規制につい て学習する。	講義（パワー ポイントと資 料）	福泉 隆喜	副作用報告等、毒劇 物及び麻薬等の規制	401講義 室
15	社会と人口統計 統計法の概要を理解し、基幹 統計及び一般統計のうち、保健医 療に関連する代表的な公的統計及 びその代表的指標について学習す る。	講義（パワー ポイントと資 料）	邵 仁浩	社会と人口統計	401講義 室

社会歯科学II

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	福泉 隆喜						
担当教員	福泉 隆喜, (非)森田 学, (非)山口 撰崇						

授業の概要

疫学の基本的な考え方、地域歯科保健、学校歯科保健、健康増進、疾病予防、国際保健、精神保健など、各分野の保健事業と歯科医師の関与、根拠法令等について講義する。

学生の到達目標

- 健康と疾病の概念を理解する。
- 歯科医師に関連する法規の基本的な考え方、保健、医療、福祉、介護に関連する社会制度、地域医療および社会環境を理解する。
- 環境と健康との関わりを理解する。
- 公衆衛生と歯科医療における予防の概念を理解する。
- 集団レベルの予防と健康管理（地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健）を説明できる。
- 口腔ケアの意義と効果を説明できる。
- 疫学と科学的根拠に基づいた医療（EBM: Evidence-based Medicine）の歯科医療への応用を理解する。
- 主な保健医療統計（国民生活基礎調査、国民健康・栄養調査、人口動態・静態統計、医師・歯科医師・薬剤師調査、衛生行政報告例、福祉行政報告例、歯科疾患実態調査、学校保健統計調査等）とその応用を理解する。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-6-2)-①	医療事故と医療過誤の違いを説明できる。
A-6-2)-②	医療法に基づく医療事故調査制度を説明できる。
A-6-3)-①	医療従事者の健康管理（予防接種を含む）の重要性を説明できる。
A-6-3)-③	感染経路別予防策を説明できる。
A-6-3)-⑤	医療現場における労働環境の改善の必要性を説明できる。
A-7-1)-①	地域社会（へき地・離島を含む）における歯科医療の現状を概説できる。
A-7-1)-②	医療計画（医療圏、基準病床数、地域医療支援病院、病院・診療所・薬局の連携等）及び地域医療構想を説明できる。
A-7-1)-③	地域包括ケアシステム概念を理解し、地域における、保健（母子保健、学校保健、産業保健、成人・高齢者保健、地域保健、精神保健）・医療・福祉・介護の分野間及び多職種間（行政を含む）の連携の必要性を説明できる。
A-7-1)-⑤	地域における在宅医療（訪問歯科診療を含む）、救急医療及び離島・へき地医療の体制を説明できる。
A-7-1)-⑥	災害医療（災害時保健医療、医療救護班、災害派遣医療チーム（Disaster Medical Assistance Team<DMAT>）、災害拠点病院、トリアージ、post-traumatic stress disorder<PTSD>、ストレス等）を説明できる。
A-7-2)-③	保健、医療に関する国際的課題について理解し、説明できる。
A-7-2)-④	日本の医療の特徴を理解し、国際社会への貢献の意義を理解している。
A-7-2)-⑤	医療に関わる国際協力の重要性を理解し、仕組みを説明できる。
B-1)-②	口腔と全身の健康との関連を説明できる。
B-2-1)-②	医療法を概説できる。

社会歯科学II

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	福泉 隆喜						
担当教員	福泉 隆喜, (非)森田 学, (非)山口 撰崇						

コアカリキュラム	内容
B-2-1)-⑤	保健衛生法規を概説できる。
B-2-1)-⑥	医師法、薬剤師法及び保健師助産師看護師法を概説できる。
B-2-1)-⑦	その他の歯科医療関係職種の身分法を概説できる。
B-2-2)-①	保健・医療施策を説明できる。
B-2-2)-⑥	虐待の防止に関する制度と歯科医師の責務を説明できる。
B-2-2)-⑧	地域における保健・医療・福祉・介護の連携（地域包括ケアシステム）を説明できる。
B-2-2)-⑨	災害時の歯科医療の必要性を説明できる。
B-2-4)-①	環境による健康への影響を説明できる。
B-2-4)-②	環境基準と環境汚染を説明できる。
B-3-1)-④	感染性疾患と非感染性疾患の予防の違いを説明できる。
B-3-2)-①	主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。
B-3-2)-④	ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。
B-3-2)-⑥	公衆歯科衛生を概説できる。
B-3-2)-⑦	人の行動と心理及び健康行動を概説できる。
B-3-2)-⑧	行動変容と行動療法を概説できる。
B-4-1)-①	疫学と根拠に基づいた医療<EBM>の概念を説明できる。
B-4-1)-②	スクリーニング検査を説明できる。
B-4-1)-③	歯科疾患の疫学的指標を説明できる。
B-4-2)-②	主な保健統計（歯科疾患実態調査、国民健康・栄養調査、国勢調査、人口動態調査、患者調査、医療施設調査、医師・歯科医師・薬剤師調査、学校保健統計調査等）を説明できる。
B-4-2)-③	主な健康指標（平均寿命、平均余命、新生児・乳幼児死亡率等）を説明できる。
B-4-2)-④	調査方法と統計的分析法を説明できる。
E-1-1)-⑩	技工指示書の書き方を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
Moodleによって資料を配付する		

参考書

タイトル	著者	出版社
スタンダード社会歯科学 第8版	石井拓男 他	学建書院
シンプル衛生公衆衛生学 2024	辻一郎 他	南江堂
公衆衛生がみえる 2024-2025（第6版）	医療情報科学研究所（編）	メディックメディア
改訂7版 疫学マニュアル	柳川洋 他	南山堂

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

社会歯科学II

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	福泉 隆喜						
担当教員	福泉 隆喜, (非)森田 学, (非)山口 撰崇						

その他

(学習相談) 福泉隆喜：相談は随時受け付け可能

※非常勤講師への質問・相談等がある場合は、科目担当責任者（福泉）に連絡すること。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	環境と健康 国民の健康に影響を及ぼす各種の環境因子等と環境基本法の関係を理解し、上下水道の衛生基準等について学習する。	講義（パワーポイントと資料）	安細 敏弘	環境因子等と環境基本法の関係	402 講義室
2	地方公共団体における歯科保健行政の実際 国の推進する歯科保健医療行政の動向を踏まえ、地方公共団体で実施されている歯科保健行政の具体的取組について学習する。	講義（パワーポイントと資料）	(非)山口 撰崇	地方公共団体における歯科保健行政	402 講義室
3	医療関係職種と関連法規① 歯科衛生士法、保健師助産師看護師法の概要や関連する政省令、法に基づく制度、就業の状況等について学習する。	講義（パワーポイントと資料）	福泉 隆喜	歯科衛生士法、保健師助産師看護師法	402 講義室
4	医療関係職種と関連法規② 歯科技工士法、薬剤師法、医師法の概要や関連する政省令、法に基づく制度、就業の状況等について学習する。	講義（パワーポイントと資料）	福泉 隆喜	歯科技工士法、薬剤師法、医師法	402 講義室
5	医療関係職種と関連法規③ 診療放射線技師法、言語聴覚士法、理学療法士及び作業療法士法、栄養士法等の関係職種の法の概要、就業の状況等について学習する。	講義（パワーポイントと資料）	福泉 隆喜	診療放射線技師法、言語聴覚士法、理学療法士及び作業療法士法、栄養士法等	402 講義室
6	医療提供体制① 我が国における医療提供体制を規定する医療法の概要を理解し、医療機能情報提供制度、広告規制等について学習する。	講義（パワーポイントと資料）	福泉 隆喜	医療機能情報提供制度、広告規制	402 講義室

社会歯科学II

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	福泉 隆喜						
担当教員	福泉 隆喜, (非)森田 学, (非)山口 撰崇						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
7	医療提供体制② 医療安全管理、病院等の開設・管理等医療法に規定する病院、診療所等の管理等について学習する。	講義（パワーポイントと資料）	福泉 隆喜	医療安全管理、病院等の開設・管理	402 講義室
8	医療提供体制③ 医療提供体制を担保する立入検査、特定機能病院と地域医療支援病院制度、医療計画、医療法人制度等について学習する。	講義（パワーポイントと資料）	福泉 隆喜	立入検査、特定機能病院と地域医療支援病院制度、医療計画等	402 講義室
9	成人保健① 我が国における疾病構造の変化と生活習慣病の現状を理解し、市町村の健康増進事業、特定健診・特定保健指導、健康日本21（第2次）に規定する目標値等について学習する。	講義（パワーポイントと資料）	福泉 隆喜	市町村の健康増進事業、特定健診・特定保健指導等	402 講義室
10	成人保健②、地域保健 歯科口腔保健法の概要と基本的事項に規定する目標値、地域の公衆衛生の拠点となる保健所及び市町村保健センター等の業務を理解し、地域診断の重要性について学習する。	講義（パワーポイントと資料）	福泉 隆喜	保健所及び市町村保健センター等の業務	402 講義室
11	疫学と歯科医療① 公衆衛生の基盤となる疫学の基本的な考え方、疫学的手法、研究手順、歯科医学への応用等について学習する。	講義（パワーポイントと資料）	(非)森田 学	疫学の基本的な考え方	402 講義室
12	疫学と歯科医療② スクリーニングの概念を理解し、代表的な疫学指標と歯科医療への応用等について学習する。	講義（パワーポイントと資料）	福泉 隆喜	代表的な疫学指標と歯科医療への応用	402 講義室
13	母子保健 小児の健やかな成長を支える母子保健の概要を把握し、我が国における母子保健施策について学習する。	講義（パワーポイントと資料）	福泉 隆喜	母子保健の概要	402 講義室

社会歯科学II

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	福泉 隆喜						
担当教員	福泉 隆喜, (非)森田 学, (非)山口 撰崇						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
14	学校保健 学童期における健康管理に重要な学校保健の概念を理解し、学校保健安全法に規定する各種の対策について学習する。	講義（パワーポイントと資料）	福泉 隆喜	学校保健の概要	402 講義室
15	国際保健・疾病予防 国際的な協力のもとに健康問題の解決策を実践する国際保健の概要を理解し、国際交流と国際協力の相違点、代表的国際機関等について学習する。また、公衆衛生において極めて重要な疾病予防の概念を理解し、感染症法及び予防接種法に規定する各種の感染症対策について学習する。	講義（パワーポイントと資料）	福泉 隆喜	国際保健の概要、疾病予防の概念	402 講義室

社会歯科学Ⅲ

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	福泉 隆喜						
担当教員	福泉 隆喜, 辻澤 利行, (非)古賀 克重						

授業の概要

産業歯科保健、労務管理、医療情報管理、食品衛生、障害者保健福祉、医療過誤への対応等への対応策について、各種の制度上の位置付けや必要とされる取組について講義する。

学生の到達目標

- ①患者の権利を熟知し、その現状と問題点を理解する。
- ②医療、歯科医療および医学・歯学研究における倫理の重要性を理解する。
- ③歯科医師の義務と責任に関する基本的な知識、態度および考え方を身につける。
- ④患者本位の医療を実践するため、適切な説明を行った上で、患者の主体的な同意を得るために必要な対話能力と態度および考え方を身につける。
- ⑤医療上の事故等や医療関連感染症等は日常的に起こる可能性があることを認識し、過去の事例から事故を防止し、患者の安全確保を最優先することで信頼される医療を提供しなければならないことを理解する。
- ⑥保健、医療、福祉、介護に関連する社会制度、地域医療および社会環境を理解する。
- ⑦職場環境と健康との関わりを理解する。 ⑧医療情報の利用と管理方法を理解する。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-1-1)-⑤	情報倫理に関わる問題を説明できる。
A-1-2)-①	患者の権利を説明できる。
A-1-2)-②	患者の自己決定権を説明できる。
A-1-2)-③	患者が自己決定できない場合の対応を説明できる。
A-1-2)-④	インフォームド・コンセントの意義と重要性を説明できる。
A-1-3)-②	患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。
A-1-3)-③	医療サービスの特殊性（情報の非対称性・医療の不確実性）や治療の限界を説明できる。
A-1-3)-④	歯科医師に課せられた社会的責任と法的責任（刑事責任、民事責任、歯科医師法に基づく行政処分）を説明できる。
A-1-3)-⑤	患者に最も適した歯科医療を勧めるとともに、代替する他の方法についても説明できる。
A-4-2)-①	患者と家族の精神的・身体的苦痛に十分配慮できる。
A-4-2)-④	医療行為は患者と歯科医師との高度な信頼関係を基礎とする契約に基づいていることを説明できる。
A-4-2)-⑦	患者情報の守秘義務と患者等への情報提供の重要性を理解し、適切な取扱ができる。
A-5-1)-⑤	患者情報の守秘と患者等への情報提供の重要性を説明できる。
A-5-1)-⑥	セカンドオピニオンを説明できる。
A-6-2)-①	医療事故と医療過誤の違いを説明できる。
A-6-2)-②	医療法に基づく医療事故調査制度を説明できる。
A-7-1)-③	地域包括ケアシステムの概念を理解し、地域における、保健（母子保健、学校保健、産業保健、成人・高齢者保健、地域保健、精神保健）・医療・福祉・介護の分野間及び多職種間（行政を含む）の連携の必要性を説明できる。
B-1)-③	栄養と食育を説明できる。
B-2-1)-①	歯科医師法を説明できる。

社会歯科学III

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	福泉 隆喜						
担当教員	福泉 隆喜, 辻澤 利行, (非)古賀 克重						

コアカリキュラム	内容
B-2-1)-③	歯科衛生士法と歯科技工士法を説明できる。
B-2-1)-⑤	保健衛生法規を概説できる。
B-2-2)-①	保健・医療施策を説明できる。
B-2-2)-⑤	障害者のおかれた社会環境を説明できる。
B-2-2)-⑥	虐待の防止に関する制度と歯科医師の責務を説明できる。
B-2-2)-⑦	社会環境（ノーマライゼーション、バリアフリー、quality of life<QOL>）の考え方を説明できる。
B-3-2)-⑥	公衆歯科衛生を概説できる。
B-4-2)-②	主な保健統計（歯科疾患実態調査、国民健康・栄養調査、国勢調査、人口動態調査、患者調査、医療施設調査、医師・歯科医師・薬剤師調査、学校保健統計調査等）を説明できる。
B-4-3)-①	保健医療情報（診療情報（診療録等）を含む）の取扱いと情報のセキュリティを説明できる。
B-4-3)-②	診療情報の開示に関する法的根拠と注意点を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
Moodleによって資料を配付する		

参考書

タイトル	著者	出版社
スタンダード社会歯科学 第8版	石井拓男 他	学建書院
シンプル衛生公衆衛生学 2024	辻一郎 他	南江堂
公衆衛生がみえる 2024-2025（第6版）	医療情報科学研究所（編）	メディックメディア
新版 歯科医療管理	日本歯科医療管理学会（編集）	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

社会歯科学III

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	福泉 隆喜						
担当教員	福泉 隆喜, 辻澤 利行, (非)古賀 克重						

その他

(学習相談) 福泉隆喜：相談は随時受け付け可能

※非常勤講師への質問・相談等がある場合は、科目担当責任者（福泉）に連絡すること。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	産業保健① 労働者の健康管理を担う産業保健の概要を理解し、労働基準法及び労働安全衛生法に規定する労働者保護対策について学習する。	講義（パワーポイントと資料）	福泉 隆喜	産業保健の概要	402 講義室
2	産業保健② 労働者保護対策のひとつである労働契約法の概要を理解し、歯科医師の有期労働契約の取扱い及び医療契約の特徴について学習する。	講義（パワーポイントと資料）	福泉 隆喜	労働契約法の概要	402 講義室
3	医療情報とその管理 歯科診療所における個人情報の取扱いを理解し、個人情報保護法、取扱いのためのガイドライン等における規定について学習する。	講義（パワーポイントと資料）	福泉 隆喜	個人情報保護法	402 講義室
4	コンフリクト・マネジメント 医療紛争の解決法として注目される医療メディエーション、裁判外紛争解決手続きを理解し、医療訴訟の動向等を学習する。	講義（パワーポイントと資料）	福泉 隆喜	医療紛争の解決法	402 講義室
5	障害者保健福祉 障害者に対する保健福祉対策の概要を理解し、障害者総合支援法の制定に至る経緯、障害者権利条約、ノーマライゼーションについて学習する。	講義（パワーポイントと資料）	福泉 隆喜	障害者に対する保健福祉対策の概要	402 講義室
6	精神保健福祉 精神保健福祉の概要を理解し、精神保健福祉法及び医療観察法等について学習する。	講義（パワーポイントと資料）	福泉 隆喜	精神保健福祉の概要	402 講義室

社会歯科学III

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	福泉 隆喜						
担当教員	福泉 隆喜, 辻澤 利行, (非)古賀 克重						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
7	患者の視点から見た歯科医療 薬害肝炎訴訟を担当した弁護士の講義から、患者の声を理解することを通じて、患者の尊厳、医の倫理等を理解し、歯科医師の責務に関する法的な位置付けを学習する。	講義（パワーポイントと資料）	(非)古賀 克重	歯科医師の責務に関する法的な位置付け	402講義室
8	国民栄養と食品保健（国民健康・栄養調査、食品衛生法等） 国民健康・栄養調査の意義を理解し、国民の健康に密接に関わる食品衛生の概要及び食中毒の動向について学習する。	講義（パワーポイントと資料）	辻澤 利行	国民健康・栄養調査、食品衛生法等	402講義室

医療コミュニケーションI

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	木尾 哲朗						
担当教員	木尾 哲朗, 鬼塚 千絵, 永松 浩, 海寶 康臣, 船原 まどか, 渡辺 幸嗣, 磯部 彩香, 山口 紫乃, 郡司掛 香織, (非)大住 伴子, (非)藤崎 和彦, (非)吉田 登志子, (非)俣木 志朗, (非)灘光 洋子						
	※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業の概要

良好な歯科医療人－患者関係を築くのに必要なコミュニケーション能力の基礎を身につける。そのために、基本的なコミュニケーションスキルを医療コミュニケーションに活用できるような基本的態度を学ぶ。講義では医療面接に必要なコミュニケーションスキルを学び、演習ではロールプレイや模擬患者を活用した医療面接を行い、自分のもつコミュニケーションスキルを向上させ、省察（振り返り）の姿勢を育成する。

学生の到達目標

- ①医療コミュニケーションを説明できる。
- ②歯科医療人の態度を説明できる。
- ③医療コミュニケーションスキルを実践する。
- ④インフォームドコンセントの意義を説明できる。
- ⑤医療面接を実践する。
- ⑥患者の社会心理的背景を説明できる。
- ⑦歯科医療人となる自覚を高める。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
C	社会と歯学/適正な歯科医療を提供するために、歯科医師に求められる倫理的、法的、社会的知識と態度を身に付ける。
C-1-1-3	患者の自己決定権と患者が自己決定できない場合の対応を理解している。
C-1-1-4	インフォームド・コンセントの意義、重要性及び必要な説明事項を理解している。
C-1-2-3	患者との信頼関係構築の重要性を理解している。
C-1-2-4	医療サービスの特殊性(情報の非対称性、医療の不確実性)や治療の限界を理解している。
C-1-3-1	患者中心のチーム医療の意義を理解している。
C-1-3-2	医療チームや各構成員(歯科医師、医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、言語聴覚士、臨床検査技師、診療放射線技師、その他の医療職)の役割分担と連携、責任体制を理解している。
C-1-3-3	医療、保健、福祉、介護における多職種連携と歯科医師の役割を理解している。
C-1-3-4	医療や介護をはじめとする他職種、他業種や他の医療機関との連携を行うための手続きとコミュニケーション(適切な略語などを含む)を理解している。
C-1-3-5	患者情報の守秘と患者等への情報提供の重要性と説明責任を理解している。
C-1-3-6	人生の最終段階における歯科の関わり(看取り、グリーフケアを含む)と本人の意思決定、意思表示を理解している。
C-2-1	講義、国内外の教科書や文献、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出、統合し、客観的、批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。
C-2-3	必要な課題を自ら発見し、重要性や必要性に照らして順位付けできる。

医療コミュニケーションI

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	木尾 哲朗						
担当教員	木尾 哲朗, 鬼塚 千絵, 永松 浩, 海寶 康臣, 船原 まどか, 渡辺 幸嗣, 磯部 彩香, 山口 紫乃, 郡司掛 香織, (非)大住 伴子, (非)藤崎 和彦, (非)吉田 登志子, (非)俣木 志朗, (非)灘光 洋子						
	※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

コアカリキュラム	内容
C-2-4	課題の解決にあたり、他の学修者や教員と協力してよりよい解決方法を見出し、自ら課題を解決できる。
C-2-5	自己学修や協同学修の場に適切なInformation and Communication Technology (ICT) (e-ラーニング、モバイル技術)を活用できる。
C-2-6	適切な自己評価ができ、改善のための具体的方策を立てることができる。
CM	コミュニケーション能力 (Communication) / 患者の意思決定を支援して、安全で質の高い歯科医療を実践するために、患者及び患者に関わる全ての人の状況を考慮した上で良好なコミュニケーションをとり、信頼関係を構築していく。
CM-01	患者のプライバシーや苦痛等に配慮し、適切なコミュニケーションを取ることができる。
CM-02	必要な情報についてわかりやすく説明できる。
CM-04	医療チームの構成員と信頼関係を築き、安全で円滑な医療を行うためにコミュニケーションを図ることができる。
CM-05	患者を取り巻く、保健、福祉及び介護における多職種とコミュニケーションを図ることができる。
CS	患者ケアのための診療技能 (Clinical Skills) / 安全で質の高い歯科医療を提供するために、臨床技能を磨き、それを遺憾無く発揮し、患者の苦痛や不安に配慮した診療を実践していく。
CS-01	患者中心の医療を理解し、患者本人、家族、医療スタッフ等関係する様々なリソースから必要な情報を収集できる。
CS-06	高齢者、有病者、障害者等の配慮が必要な患者に対応できる。
CS-07	患者安全と感染対策を実践できる。
CS-08	病状説明、患者教育を実践できる。
CS-09	医療情報の特性を理解し、適切に記録、管理できる。
D-4-3-1	代表的な疾患における専門用語をインフォームド・コンセント及びインフォームド・アセントを用いる患者に分かりやすい用語で表記できる
D-4-3-2	医師と患者が合意すべき共通基盤を理解している。
D-4-3-3	医師と患者の関係を強化する方法を理解している。
D-4-3-4	患者中心の医療におけるNarrative-Based Medicine (NBM)の意義を理解している。
E-2-1-1-1	適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。(I a)
E-2-1-1-2	医療面接における基本的なコミュニケーションができる。(II)
E-2-1-1-3	患者情報を収集、分析できる。(I a)

医療コミュニケーションI

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	木尾 哲朗						
担当教員	木尾 哲朗, 鬼塚 千絵, 永松 浩, 海寶 康臣, 船原 まどか, 渡辺 幸嗣, 磯部 彩香, 山口 紫乃, 郡司掛 香織, (非)大住 伴子, (非)藤崎 和彦, (非)吉田 登志子, (非)俣木 志朗, (非)灘光 洋子						
	※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

コアカリキュラム	内容
E-2-1-1-4	患者の病歴(主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、社会歴、職業歴等)を聴取できる。(I a)
E-2-1-1-5	患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。(I a)
E-2-1-1-6	患者の不安、不満や表情、行動の変化に適切に対応できる。(I a)
E-2-1-1-7	患者のプライバシーに配慮できる。(I a)
E-2-1-1-8	聴取した患者情報を指導歯科医に報告できる。(I a)
E-2-1-2-1	小児の医療面接における基本的なコミュニケーションができる。(I a)
E-2-1-2-2	小児患者への一般的対応(言語的・非言語的コミュニケーション、代用語の使用)を実施できる。(I a)
E-2-1-2-3	障害者及びその家族や介護者に対する医療面接を通して患者情報を聴取できる。(II)
E-5-2-6	禁煙指導・支援による歯周疾患、口腔癌等の予防を実施できる。(I b)

テキスト

タイトル	著者	出版社
資料を配布する		

参考書

タイトル	著者	出版社
保健医療におけるコミュニケーション行動科学	深井稜博編集	医歯薬出版
歯科医療面接の実際	伊藤孝訓・寺中敏夫編	クインテッセンス
はじめての医療面接 コミュニケーション技法とその学び方	斎藤清二	医学書院
メディカル・サポート・コーチング入門 医療者向けコミュニケーション法	奥田弘美	日本医療情報センター

医療コミュニケーションI

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	木尾 哲朗						
担当教員	木尾 哲朗, 鬼塚 千絵, 永松 浩, 海寶 康臣, 船原 まどか, 渡辺 幸嗣, 磯部 彩香, 山口 紫乃, 郡司掛 香織, (非)大住 伴子, (非)藤崎 和彦, (非)吉田 登志子, (非)俣木 志朗, (非)灘光 洋子						
	※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

成績評価方法・基準

評価項目	割合
確認テスト（筆記試験）	40%
事前学修課題	30%
事後学修課題（レポート・小テスト）	30%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】：相談は授業時間外でも随時受け付け可能であるが、事前に、時間予約をメールまたは電話にて行うこと。

科目責任者：木尾哲朗 メールまたは内線電話

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	<p>概論</p> <p>良好な患者－歯科医療人関係を築く必要性を学びその実践方法を学習する。省察（振り返り）を行い、理解を深めるためのレポートの書き方を学習する。コミュニケーションの3つの条件を学習する。欧米の歯科医学教育学会で制定されているコンピテンシーを参考に、卒業時に求められるコミュニケーションのアウトカムについて学習する。</p>	講義	木尾 哲朗 鬼塚 千絵	コミュニケーションの条件、コンピテンシー、アウトカム基盤型教育	402 講義室
2	<p>ロールプレイ演習1（伝達と傾聴）</p> <p>第一印象の大切さに気付き、効果的な自己紹介について学習する。伝達と傾聴の大切さに気付きその実践方法を学習する。インフォームドコンセントに必要な対話能力と態度を学習する。</p>	演習	木尾 哲朗 永松 浩 鬼塚 千絵 海寶 康臣 渡辺 幸嗣 磯部 彩香 山口 紫乃 (非)大住 伴子	第一印象、傾聴技法、インフォームドコンセント	402 講義室 テュートリアル演習室群

医療コミュニケーションI

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	木尾 哲朗						
担当教員	木尾 哲朗, 鬼塚 千絵, 永松 浩, 海寶 康臣, 船原 まどか, 渡辺 幸嗣, 磯部 彩香, 山口 紫乃, 郡司掛 香織, (非)大住 伴子, (非)藤崎 和彦, (非)吉田 登志子, (非)俣木 志朗, (非)灘光 洋子						
	※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
3	<p>ロールプレイ演習1の省察（振り返り）</p> <p>演習の省察によりわからなかったこと、わかっているけどできなかったことについて理解を深める。コミュニケーションの種類（言語的、準言語的、非言語的）を学習する。コミュニケーションの3大コアスキルと留意点について学習する。消極的（受動的）傾聴法と積極的（能動的）傾聴法について学習する。インフォームドコンセントに必要な対話能力と態度を学習する。</p>	講義	永松 浩	言語的・準言語的・非言語的コミュニケーションの特徴	402講義室
4	<p>（学外講師講義）歯科医療人になるということ1</p> <p>医療面接の3つの役割について学習する。医療面接の基本技術と知識について学習する。医療面接の基本及び医療面接時の留意事項について学習する。</p> <p>doingとbeingにより治療的自我が向上することを学習する。</p>	講義・演習	(非)俣木 志朗 鬼塚 千絵	敬語、適切な表現	402講義室
5	<p>（学外講師講義）歯科医療人になるということ2</p> <p>患者接遇、敬語、適切な表現について学習する。患者さんとの良好な関係を築く基本について学習する。ジョハリの窓について学習する。</p>	講義	(非)俣木 志朗 鬼塚 千絵	医療面接の役割、治療的自我、ジョハリの窓	402講義室

医療コミュニケーションI

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	木尾 哲朗						
担当教員	木尾 哲朗, 鬼塚 千絵, 永松 浩, 海寶 康臣, 船原 まどか, 渡辺 幸嗣, 磯部 彩香, 山口 紫乃, 郡司掛 香織, (非)大住 伴子, (非)藤崎 和彦, (非)吉田 登志子, (非)俣木 志朗, (非)灘光 洋子						
	※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
6	（学外講師講義）医療面接、フィードバックについて 患者と医療者の解釈モデルについて学習する。医療面接の流れ、医療面接技法、医療面接のチェックポイントについて学習する。ロールプレイを行い、フィードバックができるようにする。	講義演習	(非)藤崎 和彦 鬼塚 千絵	解釈モデル、医療面接項目、SP、LEARNのアプローチ	402 講義室 講堂ホール
7	（学外講師講義）行動変容のアプローチ 患者－歯科医療人関係（レディネス、行動変容、寄り添う心、bad news telling）行動変容を生む患者アプローチについて学習する。患者中心の患者教育法について学習する。ガツカリを分かち合うことの大切さを学習する。	講義演習	(非)藤崎 和彦 鬼塚 千絵	行動変容	402 講義室 講堂ホール
8	医療面接について 患者中心の医療を実現するために良好な患者－医療者関係を構築する必要があることを学習する。医療コミュニケーションの三大コアスキルを学習する。医療者の基本的態度類型を学習する。SPの役割について学習し、フィードバックできるようにする。ロールプレイ準備（シナリオ・質問項目・評価項目作成）を行う。	講義	鬼塚 千絵	医療コミュニケーションの三大コアスキル、医療者の基本的態度類型	402 講義室
9	ロールプレイ演習2（医療面接） 歯科医療者、患者、観察者に分かれ、それぞれの役を経験することで、医療面接を体験する。フィードバックによりレベルアップを図る。	演習	木尾 哲朗 永松 浩 鬼塚 千絵 (非)大住 伴子 海寶 康臣 山口 紫乃 磯部 彩香 渡辺 幸嗣	ロールプレイ用のシナリオ、評価表、医療面接の流れ、フィードバック	402 講義室 テュートリアル演習室群

医療コミュニケーションI

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	木尾 哲朗						
担当教員	木尾 哲朗, 鬼塚 千絵, 永松 浩, 海寶 康臣, 船原 まどか, 渡辺 幸嗣, 磯部 彩香, 山口 紫乃, 郡司掛 香織, (非)大住 伴子, (非)藤崎 和彦, (非)吉田 登志子, (非)俣木 志朗, (非)灘光 洋子						
	※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
10	<p>（学外講師講義）異文化コミュニケーション</p> <p>他者の視点、自分の視点をより分析的に捉える姿勢を養う。1) 言語・非言語メッセージをより分析的に捉える努力をするようになる。2) 自分の内にあるステレオタイプがどのようにコミュニケーションに反映されているかに留意するようになる。3) 医者と患者のやりとりや関係性をより分析的に捉える努力をするようになる。</p>	講義	(非)灘光 洋子 鬼塚 千絵	「異文化コミュニケーションについての体験と、その時の感想を述べよ」	402 講義室
11	<p>ロールプレイ演習3（医療面接）</p> <p>歯科医療者、患者、観察者に分かれ、それぞれの役を経験することで、医療面接を体験する。フィードバックによりレベルアップを図る。</p>	演習	木尾 哲朗 永松 浩 山口 紫乃 鬼塚 千絵 (非)大住 伴子 海寶 康臣 磯部 彩香	ロールプレイ演習2の時よりも設定を深めたシナリオ、フィードバックの方法	402 講義室 テュートリアル演習室群
12	<p>（学外講師演習）ロールプレイ演習4（模擬患者との医療面接）</p> <p>模擬患者さんを用いた医療面接を行うことで、医療面接の流れ、内容、配慮を臨床に即した状態で学習する。慢性症状と急性症状による医療面接の違いを学習する。</p>	演習	(非)吉田 登志子 木尾 哲朗 永松 浩 鬼塚 千絵 (非)大住 伴子 海寶 康臣 磯部 彩香 山口 紫乃 渡辺 幸嗣	医療面接の流れ・技法・チェックポイント（復習）初診時医療面接のフィードバック	402 講義室 テュートリアル演習室群
13	<p>（学外講師演習）ロールプレイ演習5（模擬患者との医療面接）</p> <p>模擬患者さんを用いた医療面接を行うことで、医療面接の流れ、内容、配慮を臨床に即した状態で学習する。慢性症状と急性症状による医療面接の違いを学習する。</p>	演習	(非)吉田 登志子 木尾 哲朗 永松 浩 鬼塚 千絵 (非)大住 伴子 海寶 康臣 磯部 彩香 山口 紫乃 渡辺 幸嗣	患者の行動変容へのアプローチ、動機づけのためのコミュニケーション	402 講義室 テュートリアル演習室群

医療コミュニケーションI

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	木尾 哲朗						
担当教員	木尾 哲朗, 鬼塚 千絵, 永松 浩, 海寶 康臣, 船原 まどか, 渡辺 幸嗣, 磯部 彩香, 山口 紫乃, 郡司掛 香織, (非)大住 伴子, (非)藤崎 和彦, (非)吉田 登志子, (非)俣木 志朗, (非)灘光 洋子						
	※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
14	ロールプレイ演習4・5の省察演習の省察によりわからなかったこと、わかってもできなかったことについて理解を深める。	講義	鬼塚 千絵	紹介状、照会状	402講義室
15	総括 行動科学からみた患者のタイプとそのマネジメント、社会的スキルについて学習する。確認テストにより到達目標の達成度を認識する。	講義	木尾 哲朗 鬼塚 千絵 永松 浩	省察（振り返り）	402講義室 501講義室

医療コミュニケーションII

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	22	単位数	1
科目責任者	木尾 哲朗						
担当教員	木尾 哲朗, 永松 浩, 鬼塚 千絵						

授業の概要

これまで学んだ医療コミュニケーションスキルを体得するために、実践形式の演習を主体として行う。客観的臨床能力試験（OSCE）や臨床実習に向けて、推理推論しながら医療面接できる態度と能力を養う。講義では、医療面接・説明指導に必要な知識と歯科医師としての技術・態度を学ぶ。演習では小グループを作り、良好な歯科医師－患者関係を築くために必要な歯科医師としての態度に関する討論を行い、ロールプレイや模擬患者を活用した医療面接を行い、歯学生としてのコミュニケーションと行動についての省察（振り返り）を行い、自ら学ぶ姿勢を作る。

学生の到達目標

- ①医療コミュニケーションを説明できる。
- ②歯科医療人の態度を説明できる。
- ③患者中心のチーム医療を説明できる。
- ④医療コミュニケーションスキルを実践する。
- ⑤インフォームドコンセントの重要性を実践する。
- ⑥推理推論しながら医療面接を実践する。
- ⑦患者の社会心理的背景に配慮できる。
- ⑧歯科医療人となる自覚を高める。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
C	社会と歯学/適正な歯科医療を提供するために、歯科医師に求められる倫理的、法的、社会的知識と態度を身に付ける。
C-1-1-3	患者の自己決定権と患者が自己決定できない場合の対応を理解している。
C-1-1-4	インフォームド・コンセントの意義、重要性及び必要な説明事項を理解している。
C-1-2-2	コンプライアンスを遵守する。
C-1-2-3	患者との信頼関係構築の重要性を理解している。
C-1-2-4	医療サービスの特殊性(情報の非対称性、医療の不確実性)や治療の限界を理解している。
C-1-3-1	患者中心のチーム医療の意義を理解している。
C-1-3-2	医療チームや各構成員(歯科医師、医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、言語聴覚士、臨床検査技師、診療放射線技師、その他の医療職)の役割分担と連携、責任体制を理解している。
C-1-3-3	医療、保健、福祉、介護における多職種連携と歯科医師の役割を理解している。
C-1-3-4	医療や介護をはじめとする他職種、他業種や他の医療機関との連携を行うための手続きとコミュニケーション(適切な略語などを含む)を理解している。
C-1-3-5	患者情報の守秘と患者等への情報提供の重要性と説明責任を理解している。
C-1-3-6	人生の最終段階における歯科の関わり(看取り、グリーフケアを含む)と本人の意思決定、意思表示を理解している。

医療コミュニケーションII

開講学科	歯学科			開講年次	4年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	22	単位数	1
科目責任者	木尾 哲朗						
担当教員	木尾 哲朗, 永松 浩, 鬼塚 千絵						

コアカリキュラム	内容
C-2-4	課題の解決にあたり、他の学修者や教員と協力してよりよい解決方法を見出し、自ら課題を解決できる。
C-2-5	自己学修や協同学修の場に適切なInformation and Communication Technology (ICT) (e-ラーニング、モバイル技術)を活用できる。
C-2-6	適切な自己評価ができ、改善のための具体的方策を立てることができる。
C-3-1-1	医療上の事故等の発生要因(ヒューマンエラー、システムエラー等)と防止策を理解している
C-3-1-2	医療現場における報告、連絡、相談及び診療録記載の重要性を理解している。
C-3-1-3	医療の安全性に関する情報の共有、分析の重要性を理解している。
C-3-1-4	医療機関に求められる患者安全管理体制を理解している。
C-4-3-6	地域包括ケアシステムをはじめとする、地域における医療・保健・福祉・介護の連携を理解している。
C-4-3-7	地域における災害医療、在宅医療及びへき地医療の体制を理解している。
CM	コミュニケーション能力 (Communication)/患者の意思決定を支援して、安全で質の高い歯科医療を実践するために、患者及び患者に関わる全ての人の状況を考慮した上で良好なコミュニケーションをとり、信頼関係を構築していく。
CM-01	患者のプライバシーや苦痛等に配慮し、適切なコミュニケーションを取ることができる。
CM-02	必要な情報についてわかりやすく説明できる。
CM-03	患者、患者家族等の多様性を理解し、適切な人間関係を構築し、適切な歯科医療を行うために十分なコミュニケーションスキルを養うことができる。
CM-04	医療チームの構成員と信頼関係を築き、安全で円滑な医療を行うためにコミュニケーションを図ることができる。
CM-05	患者を取り巻く、保健、福祉及び介護における多職種とコミュニケーションを図ることができる。
GE	総合的に患者・生活者をみる姿勢 (General Attitude)/個人と社会のウェルビーイングを実現するために、患者・生活者の心理及び社会文化的背景や家族、地域社会との関係性を踏まえ、説明責任を果たしつつ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、総合的に患者・生活者を支える歯科医療を提供していく。
GE-01	歯科医師としての説明責任を果たし、インフォームド・コンセントを適切に得るために必要な能力を身に付ける。
IP	多職種連携能力 (Interprofessional Collaboration)/患者中心の歯科医療を提供するために、医療、保健、福祉、介護及び患者に関わる全ての人々の役割を理解し、お互いに対等な関係性を築きながら、チームとして協働していく。
IP-01	医療チームや各構成員(歯科医師、医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、その他の医療職)の役割分担と連携・責任体制を理解している。
IP-02	医療、保健、福祉、介護における歯科医師の役割を理解している。

医療コミュニケーションII

開講学科	歯学科			開講年次	4年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	22	単位数	1
科目責任者	木尾 哲朗						
担当教員	木尾 哲朗, 永松 浩, 鬼塚 千絵						

コアカリキュラム	内容
LL	生涯にわたって共に学ぶ姿勢(Lifelong Learning)/より安全で質の高い歯科医療を実践するために、絶えず省察し、生涯にわたって自律的に学びながら他の歯科医師、医療者と研鑽し続けるとともに、積極的に医療者教育に関わっていく。
PR	プロフェッショナリズム(Professionalism)/人々の命と健康を守るために、人間の多様性に配慮し、人間性を尊重しつつ、歯科医師の職責を十分に自覚し、利他的な態度で医療に関わりながら、歯科医師としての道を究めていく。
S0-07	国際社会における多様性を理解し、地域医療でも活躍できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
資料を配布する		

参考書

タイトル	著者	出版社
保健医療におけるコミュニケーション・行動科学	深井穫博編集	医歯薬出版
歯科医療面接の実際	伊藤孝訓・寺中敏夫編	クインテッセンス
はじめての医療面接 コミュニケーション技法とその学び方	斎藤清二	医学書院
メディカル・サポート・コーチング入門 医療者向けコミュニケーション法	奥田弘美	日本医療情報センター

成績評価方法・基準

評価項目	割合
確認試験	40%
事前学習課題	30%
事後テスト・振り返りレポート	30%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】：相談は授業時間外でも随時受け付け可能であるが、事前に、時間予約をメールまたは電話にて行うこと。 科目責任者：木尾哲朗 メールまたは内線：7911 ※第9回・第10回の講義・演習は受講者を半数に分け、2回に分けて行うものとする。

医療コミュニケーションII

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	22	単位数	1
科目責任者	木尾 哲朗						
担当教員	木尾 哲朗, 永松 浩, 鬼塚 千絵						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	概論、患者歯科医療人関係 医療コミュニケーションIの復習を行い、歯科医療人に必要なコミュニケーションについて理解する。	講義	木尾 哲朗 鬼塚 千絵	【事前学習課題】 医療面接の手順	501 講義室
2	(学外講師講義・演習) 医療に必要なコミュニケーションの視点良好な患者-医療者関係を築くためには、日常とは異なるコミュニケーションの仕組みを理解しておく必要がある。そこで、コミュニケーションにおけるニーズ、医療者と患者のコミュニケーションの違い、メタ認知について学習する。	講義	(非)鈴木 一吉 鬼塚 千絵	【事前学習課題】 医療に必要なコミュニケーションの視点、メタ・メッセージ、メタ認知	501 講義室
3	行動科学と行動変容1 行動科学と行動変容についての最新の知見を学習する。他者の行動変容を促すスキルについて考える。専門用語の使用について考える。	講義	木尾 哲朗	【事前学習課題】 コンプライアンス、アドヒアランス、「病院の言葉」を分かりやすくする提案	501 講義室
4	ロールプレイ演習1 (医療面接) 医療コミュニケーションIで作成したシナリオをブラッシュアップしたものをを用いロールプレイを行う。推理推論を行いながら、医療面接をする。歯科医師役、患者役、評価者役に分かれ、それぞれの立場から効果的なフィードバックの行い方を学習し、実践する。	演習	木尾 哲朗 永松 浩 鬼塚 千絵 黒石 加代子 郡司掛 香織 (非)大住 伴子	【事前学習課題】 ロールプレイでの患者役シナリオ、医療面接の手順、フィードバックの方法	501 講義室 テュートリアル演習室群
5	実践家の振り返りから見たコミュニケーション 歯科医師に必要なコミュニケーションスキルについて、初学者から熟達者までの各ステップを確認する。自分自身を俯瞰する能力を養う。	講義	(非)板家 朗 鬼塚 千絵	【事前学習課題】 省察、コルブの経験学習モデル、発達の最近接領域、熟達化	501 講義室

医療コミュニケーションII

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	22	単位数	1
科目責任者	木尾 哲朗						
担当教員	木尾 哲朗, 永松 浩, 鬼塚 千絵						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
6	医療通訳の立場から見たコミュニケーション（異文化コミュニケーション）医療通訳者の役割、現状、課題について学習し、異文化コミュニケーションを実践するために必要な能力について考える。	講義	(非)後藤 淳子 鬼塚 千絵	【事前学習課題】医療通訳、異文化コミュニケーション	501 講義室
7	多職種との連携 多職種と連携し、歯科医療を通じて地域社会に貢献する基礎的能力を身につけるために必要なことを学習する。患者中心のチーム医療、他の医療従事者との連携について学習する。	講義	永松 浩	【事前学習課題】医療チームの構成員、多職種連携	501 講義室
8	行動科学と行動変容2 クレーム対応法について理解する。クレームの種類・心理・思いについて学習する。クレーム対策の基本について学習する。	講義	木尾 哲朗	【事前学習課題】コミュニケーションエラー、クレーム	501 講義室
9	ロールプレイ演習2（模擬患者との医療面接） 模擬患者と医療面接を行い、省察する。模擬患者を用いた医療面接を行うことで、医療面接の流れ、内容、配慮を臨床に即した状態で学習する。省察（振り返り）を行うことで理解を深める。慢性症状と急性症状による医療面接の違いを学習する。推理推論を行いながら、模擬患者と医療面接を実践する。診断を導くために必要な面接項目について学習する。省察（振り返り）を行うことで理解を深める。	演習	木尾 哲朗 永松 浩 鬼塚 千絵 (非)大住 伴子 郡司掛 香織 黒石 加代子	【事前学習課題】臨床推論、解釈モデル、フィードバックの方法	501 講義室 テュートリアル演習室群
10	医療コミュニケーション総括1 患者との良好な関係を構築するために必要なスキルについて、実践を交えて再確認する。	講義	木尾 哲朗 永松 浩 鬼塚 千絵 郡司掛 香織 黒石 加代子 (非)大住 伴子	【事前学習課題】歯学系OSCE学修・評価項目ガイド	501 講義室 テュートリアル演習室群

医療コミュニケーションII

開講学科	歯学科			開講年次	4年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	22	単位数	1
科目責任者	木尾 哲朗						
担当教員	木尾 哲朗, 永松 浩, 鬼塚 千絵						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
11	医療コミュニケーション総括2 医療コミュニケーションII（医療コミュニケーションIを含む）で学んだ事を振り返り、到達度を確認する。	講義	木尾 哲朗 永松 浩 鬼塚 千絵	【事前学習課題】省察（振り返り）	501 講義室 601 講義室

社会連携キャリアデザイン

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	通年
必修/選択	選択	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	福泉 隆喜						
担当教員	福泉 隆喜, 中道 敦子, 深井 康成, 海寶 康臣						

授業の概要

地域活性化において産学官連携による地域特有の資源の発掘とこれを活用した新事業・雇用の創出が不可欠であり、とりわけ大学が保有する知財や教職員人材、さらには学生の積極的活用がこの取り組みにとって極めて重要であることが示されている。このような背景のなか、地域におけるボランティア活動やインターンシップを介して、公立大学法人の学生あるいは将来歯科医療人になる者として何が求められているのか、何をしなければならないのかを学ぶ。

学生の到達目標

- ①自主的および自発的に行動できる。
- ②地域や社会に関心をもち、そのなかで円滑な人間関係を構築できる。
- ③他者と協力して創造性豊かな活動ができる。
- ④他者と適切なコミュニケーションができる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
C-2-3	必要な課題を自ら発見し、重要性や必要性に照らして順位付けできる。
C-2-4	課題の解決にあたり、他の学修者や教員と協力してよりよい解決方法を見出し、自ら課題を解決できる。
C-2-6	適切な自己評価ができ、改善のための具体的方策を立てることができる。
D-2-1-1-1	コミュニケーションの意義、目的及び技法(言語的、準言語的、非言語的)を理解している。
D-5-1-2	齶蝕予防における予防填塞及びフッ化物の応用方法を理解している。
LL-04	生涯を通じて新しい知識や技術を学び続けることができる。
LL-05	同級生や後輩、同僚、チーム構成員に対して助言、指導ができる。
PR-04	自己の知識、技術、態度を恒常的に評価し、自己主導型学習を行い、自己評価能力を高めながら、常に自己の向上を図ることができる。
PR-06	同級生や後輩、同僚、チーム構成員に対して協調的にふるまうことができる。
RE-01	自らの行動を論理的、批判的に振り返り、生涯に向けた自己研鑽に取り組むことができる。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
活動計画の内容	20%
活動日誌の内容	80%

その他

【オフィスアワー（学生相談）】随時受け付ける（福泉隆喜、吉野賢一、深井康成、海寶康臣、中道 敦子）
Link Toposにおいて、本実習の内容を発表する場合がある。

社会連携キャリアデザインI

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	通年
必修/選択	選択	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	福泉 隆喜						
担当教員	福泉 隆喜, 中道 敦子, 深井 康成, 海寶 康臣						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1~15	地域ボランティア活動およびインターンシップなどの活動の意義を理解し、計画書を提出したうえで、計画に基づいた活動を行う。	実習	福泉 隆喜 吉野 賢一 深井 康成 海寶 康臣 中道 敦子	【事前学修課題】各活動に必要な情報収集	

社会連携キャリアデザインII

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	通年
必修/選択	選択	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	福泉 隆喜						
担当教員	福泉 隆喜, 中道 敦子, 吉野 賢一, 深井 康成, 海寶 康臣						

授業の概要

地域活性化において産学官連携による地域特有の資源の発掘とこれを活用した新事業・雇用の創出が不可欠であり、とりわけ大学が保有する知財や教職員人材、さらには学生の積極的活用がこの取り組みにとって極めて重要であることが示されている。このような背景のなか、地域におけるボランティア活動やインターンシップを介して、公立大学法人の学生あるいは将来歯科医療人になる者として何が求められているのか、何をしなければならないのかを学ぶ。

学生の到達目標

- ①自主的および自発的に行動できる。
- ②地域や社会に関心をもち、そのなかで円滑な人間関係を構築できる。
- ③他者と協力して創造性豊かな活動ができる。
- ④他者と適切なコミュニケーションができる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-2-1)-①	必要な課題を自ら発見できる。
A-2-1)-②	自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。
A-2-1)-③	課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。
A-2-1)-④	課題の解決に当たり、他の学習者や教員と協力してよりよい解決方法を見出すことができる
A-2-1)-⑤	適切な自己評価ができ、改善のための具体的方策を立てることができる。
A-2-2)-⑤	各自の興味に応じて選択制カリキュラム（医学研究等）に参加する。
A-4-1)-①	コミュニケーションの意義、目的と技法（言語的・準言語的・非言語的）を説明できる。
A-4-1)-②	コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。
A-9-1)-①	自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
活動計画の内容	20%
活動日誌の内容	80%

その他

【オフィスアワー（学生相談）】随時受け付ける（福泉隆喜、吉野賢一、深井康成、海寶康臣、中道 敦子）
Link Toposにおいて、本実習の内容を発表する場合がある。

社会連携キャリアデザインII

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	通年
必修/選択	選択	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	福泉 隆喜						
担当教員	福泉 隆喜, 中道 敦子, 吉野 賢一, 深井 康成, 海寶 康臣						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1~15	地域ボランティア活動およびインターンシップなどの活動の意義を理解し、計画書を提出したうえで、計画に基づいた活動を行う。	実習	福泉 隆喜 吉野 賢一 深井 康成 海寶 康臣 中道 敦子	【事前学修課題】各活動に必要な情報収集	

社会連携キャリアデザインIII

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	通年
必修/選択	選択	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	福泉 隆喜						
担当教員	福泉 隆喜, 中道 敦子, 吉野 賢一, 深井 康成, 海寶 康臣						

授業の概要

地域活性化において産学官連携による地域特有の資源の発掘とこれを活用した新事業・雇用の創出が不可欠であり、とりわけ大学が保有する知財や教職員人材、さらには学生の積極的活用がこの取り組みにとって極めて重要であることが示されている。このような背景のなか、地域におけるボランティア活動やインターンシップを介して、公立大学法人の学生あるいは将来歯科医療人になる者として何が求められているのか、何をしなければならないのかを学ぶ。

学生の到達目標

- ①自主的および自発的に行動できる。
- ②地域や社会に関心をもち、そのなかで円滑な人間関係を構築できる。
- ③他者と協力して創造性豊かな活動ができる。
- ④他者と適切なコミュニケーションができる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-2-1)-①	必要な課題を自ら発見できる。
A-2-1)-②	自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。
A-2-1)-③	課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。
A-2-1)-④	課題の解決に当たり、他の学習者や教員と協力してよりよい解決方法を見出すことができる
A-2-1)-⑤	適切な自己評価ができ、改善のための具体的方策を立てることができる。
A-2-2)-⑤	各自の興味に応じて選択制カリキュラム（医学研究等）に参加する。
A-4-1)-①	コミュニケーションの意義、目的と技法（言語的・準言語的・非言語的）を説明できる。
A-4-1)-②	コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。
A-9-1)-①	自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
活動計画の内容	20%
活動日誌の内容	80%

その他

【オフィスアワー（学生相談）】随時受け付ける（福泉隆喜、吉野賢一、深井康成、海寶康臣、中道 敦子）
Link Toposにおいて、本実習の内容を発表する場合がある。

社会連携キャリアデザインIII

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	通年
必修/選択	選択	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	福泉 隆喜						
担当教員	福泉 隆喜, 中道 敦子, 吉野 賢一, 深井 康成, 海寶 康臣						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1~15	地域ボランティア活動およびインターンシップなどの活動の意義を理解し、計画書を提出したうえで、計画に基づいた活動を行う。	実習	福泉 隆喜 吉野 賢一 深井 康成 海寶 康臣 中道 敦子	【事前学修課題】各活動に必要な情報収集	

社会連携キャリアデザインⅣ

開講学科	歯学科			開講年次	4年	開講期	通年
必修/選択	選択	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	福泉 隆喜						
担当教員	福泉 隆喜, 中道 敦子, 吉野 賢一, 深井 康成, 海寶 康臣						

授業の概要

地域活性化において産学官連携による地域特有の資源の発掘とこれを活用した新事業・雇用の創出が不可欠であり、とりわけ大学が保有する知財や教職員人材、さらには学生の積極的活用がこの取り組みにとって極めて重要であることが示されている。このような背景のなか、地域におけるボランティア活動やインターンシップを介して、公立大学法人の学生あるいは将来歯科医療人になる者として何が求められているのか、何をしなければならないのかを学ぶ。

学生の到達目標

- ①自主的および自発的に行動できる。
- ②地域や社会に関心をもち、そのなかで円滑な人間関係を構築できる。
- ③他者と協力して創造性豊かな活動ができる。
- ④他者と適切なコミュニケーションができる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-2-1)-①	必要な課題を自ら発見できる。
A-2-1)-②	自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。
A-2-1)-③	課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。
A-2-1)-④	課題の解決に当たり、他の学習者や教員と協力してよりよい解決方法を見出すことができる
A-2-1)-⑤	適切な自己評価ができ、改善のための具体的方策を立てることができる。
A-2-2)-⑤	各自の興味に応じて選択制カリキュラム（医学研究等）に参加する。
A-4-1)-①	コミュニケーションの意義、目的と技法（言語的・準言語的・非言語的）を説明できる。
A-4-1)-②	コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。
A-9-1)-①	自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
活動計画の内容	20%
活動日誌の内容	80%

その他

【オフィスアワー（学生相談）】随時受け付ける（福泉隆喜、吉野賢一、深井康成、海寶康臣、中道 敦子）
Link Toposにおいて、本実習の内容を発表する場合がある。

社会連携キャリアデザインⅣ

開講学科	歯学科			開講年次	4年	開講期	通年
必修/選択	選択	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	福泉 隆喜						
担当教員	福泉 隆喜, 中道 敦子, 吉野 賢一, 深井 康成, 海寶 康臣						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1～15	地域ボランティア活動およびインターンシップなどの活動の意義を理解し、計画書を提出したうえで、計画に基づいた活動を行う。	実習		【事前学修課題】各活動に必要な情報収集	

社会連携キャリアデザインV

開講学科	歯学科			開講年次	5年	開講期	前期
必修/選択	選択	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	福泉 隆喜						
担当教員	福泉 隆喜, 吉野 賢一, 深井 康成, 海寶 康臣						

授業の概要

地域活性化において産学官連携による地域特有の資源の発掘とこれを活用した新事業・雇用の創出が不可欠であり、とりわけ大学が保有する知財や教職員人材、さらには学生の積極的活用がこの取り組みにとって極めて重要であることが示されている。このような背景のなか、地域におけるボランティア活動やインターンシップを介して、公立大学法人の学生あるいは将来歯科医療人になる者として何が求められているのか、何をしなければならないのかを学ぶ。

学生の到達目標

- ①自主的および自発的に行動できる。
- ②地域や社会に関心をもち、そのなかで円滑な人間関係を構築できる。
- ③他者と協力して創造性豊かな活動ができる。
- ④他者と適切なコミュニケーションができる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-2-1)-①	必要な課題を自ら発見できる。
A-2-1)-②	自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。
A-2-1)-③	課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。
A-2-1)-④	課題の解決に当たり、他の学習者や教員と協力してよりよい解決方法を見出すことができる
A-2-1)-⑤	適切な自己評価ができ、改善のための具体的方策を立てることができる。
A-2-2)-⑤	各自の興味に応じて選択制カリキュラム（医学研究等）に参加する。
A-4-1)-①	コミュニケーションの意義、目的と技法（言語的・準言語的・非言語的）を説明できる。
A-4-1)-②	コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。
A-9-1)-①	自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
活動計画の内容	20%
活動日誌の内容	80%

その他

【オフィスアワー（学生相談）】随時受け付ける（福泉隆喜、吉野賢一、深井康成、海寶康臣、中道 敦子）
Link Toposにおいて、本実習の内容を発表する場合がある。

社会連携キャリアデザインV

開講学科	歯学科			開講年次	5年	開講期	前期
必修/選択	選択	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	福泉 隆喜						
担当教員	福泉 隆喜, 吉野 賢一, 深井 康成, 海寶 康臣						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1~15	地域ボランティア活動およびインターンシップなどの活動の意義を理解し、計画書を提出したうえで、計画に基づいた活動を行う。	実習	福泉 隆喜 吉野 賢一 深井 康成 海寶 康臣	【事前学修課題】各活動に必要な情報収集	

プロフェッショナリズムI

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	池田 弘						
担当教員	池田 弘, 歯学部部長, 歯学科長, 口腔保健学科長, 学年主任, 磯部 彩香						

授業の概要

新入生相互および教職員との親睦を深めるとともに、各セッションを通じて将来の歯科医療人としての意識を育む。研修を通じて時刻厳守や挨拶の重要性を学び、グループワークのなかで活発な意見交換を交わし、コミュニケーション能力を養う。

学生の到達目標

- ① 同学年の中で円滑な人間関係を構築できる。
- ② 卒業までの行動計画をイメージできる。
- ③ 歯科医療人としての社会貢献を説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
C	社会と歯学/適正な歯科医療を提供するために、歯科医師に求められる倫理的、法的、社会的知識と態度を身に付ける。
C-1-2-1	歯科医師のプロフェッショナリズムを理解している。
C-2-3	必要な課題を自ら発見し、重要性や必要性に照らして順位付けできる。
C-2-4	課題の解決にあたり、他の学修者や教員と協力してよりよい解決方法を見出し、自ら課題を解決できる。
C-2-5	自己学修や協同学修の場に適切なInformation and Communication Technology (ICT) (e-ラーニング、モバイル技術)を活用できる。
C-2-6	適切な自己評価ができ、改善のための具体的方策を立てることができる。
CM	コミュニケーション能力 (Communication)/患者の意思決定を支援して、安全で質の高い歯科医療を実践するために、患者及び患者に関わる全ての人の状況を考慮した上で良好なコミュニケーションをとり、信頼関係を構築していく。
CM-01	患者のプライバシーや苦痛等に配慮し、適切なコミュニケーションを取ることができる。
CM-02	必要な情報についてわかりやすく説明できる。
CM-03	患者、患者家族等の多様性を理解し、適切な人間関係を構築し、適切な歯科医療を行うために十分なコミュニケーションスキルを養うことができる。
CM-04	医療チームの構成員と信頼関係を築き、安全で円滑な医療を行うためにコミュニケーションを図ることができる。
CM-05	患者を取り巻く、保健、福祉及び介護における多職種とコミュニケーションを図ることができる。
IP	多職種連携能力 (Interprofessional Collaboration)/患者中心の歯科医療を提供するために、医療、保健、福祉、介護及び患者に関わる全ての人の役割を理解し、お互いに対等な関係を築きながら、チームとして協働していく。

プロフェッショナリズムI

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	池田 弘						
担当教員	池田 弘, 歯学部部長, 歯学科長, 口腔保健学科長, 学年主任, 磯部 彩香						

コアカリキュラム	内容
IP-01	医療チームや各構成員(歯科医師、医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、その他の医療職)の役割分担と連携・責任体制を理解している。
IP-02	医療、保健、福祉、介護における歯科医師の役割を理解している。
IP-03	患者を取り巻く医療、保健、福祉、介護における多職種とそれぞれの役割を踏まえて連携できる。
IP-04	多職種連携の中でリーダーシップを発揮するための能力を身に付ける。
LL	生涯にわたって共に学ぶ姿勢(Lifelong Learning)/より安全で質の高い歯科医療を実践するために、絶えず省察し、生涯にわたって自律的に学びながら他の歯科医師、医療者と研鑽し続けるとともに、積極的に医療者教育に関わっていく。
LL-01	生涯学習に向けて自らの将来を構想し、自己主導型学習により常に自己の向上を図ることができる。
LL-02	医療の質について、常に振り返り、その改善に努めることができる。
LL-03	医療の評価・検証とそれに基づく自らの行動を論理的、批判的に振り返り、生涯に向けた自己研鑽に取り組むことができる。
LL-04	生涯を通じて新しい知識や技術を学び続けることができる。
LL-05	同級生や後輩、同僚、チーム構成員に対して助言、指導ができる。
PR	プロフェッショナリズム(Professionalism)/人々の命と健康を守るために、人間の多様性に配慮し、人間性を尊重しつつ、歯科医師の職責を十分に自覚し、利他的な態度で医療に関わりながら、歯科医師としての道を究めていく。
PR-01	歯科医師としての職責を理解し、倫理観、責任感、品格、思いやりを持って行動できる
PR-02	患者、生活者の心理的、社会的要因や社会背景に配慮し、尊厳を尊重し、利他的、誠実、正直、公平公正に行動できる。
PR-03	社会規範はもとより、歯科医師法及び関連法規、歯科医師に求められる規範・倫理を遵守できる。
PR-04	自己の知識、技術、態度を恒常的に評価し、自己主導型学習を行い、自己評価能力を高めながら、常に自己の向上を図ることができる。
PR-05	医療従事者としてセルフマネジメント能力(レジリエンス、ストレスマネジメント)を養うことができる。
PR-06	同級生や後輩、同僚、チーム構成員に対して協調的にふるまうことができる。

プロフェッショナルリズムI

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	池田 弘						
担当教員	池田 弘, 歯学部長, 歯学科長, 口腔保健学科長, 学年主任, 磯部 彩香						

テキスト

タイトル	著者	出版社
令和6年度WADSキャンプ実施要領		

参考書

タイトル	著者	出版社
必要に応じて資料を配布する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
① プレ・ポストアンケートの入力	20%
② 「どうしてこのメンバーなのか」プロダクト作成および発表	20%
③ 誓いの言葉の作成、発表および提出	20%
④ 行動計画表の提出	20%
⑤ 各セッションでの質疑応答	10%
⑥ 報告書の作成	10%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】池田：月-金曜日の12:00-13:00。事前に時間予約をメールで行うこと。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	事前説明会（実施要領の配布・概要説明）	講義		【事後学修】実施要領の精読	
2	プレ・アンケート入力	自記式調査		【事前学修】実施要領記載事項 【事後学修】Moodleでのアンケート入力	
3	セッション1「開講式」	講義		【事前学修】実施要領記載事項	
4	セッション2「自己紹介」	グループ実習		【事前学修】実施要領記載事項 【事後学修】ネームカードの作成	

プロフェッショナルリズムI

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	池田 弘						
担当教員	池田 弘, 歯学部長, 歯学科長, 口腔保健学科長, 学年主任, 磯部 彩香						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
5	セッション3「どうしてこのメンバーなのか」	グループ実習		【事前学修】実施要領記載事項	
6	セッション4「大学からのメッセージ」	講義		【事前学修】実施要領記載事項	
7	セッション5「レクリエーション1」	実習		【事前学修】実施要領記載事項	
8	セッション6「先輩たちからのメッセージ」	講義		【事前学修】実施要領記載事項	
9	セッション7「学生の質問」	講義		【事前学修】実施要領記載事項	
10	セッション8「歯科医療人になるための行動計画」	講義		【事前学修】実施要領記載事項	
11	セッション9「誓いの言葉」作成	グループ実習		【事前学修】実施要領記載事項 【事後学修】「誓いの言葉」の発表準備	
12	セッション10「レクリエーション2」	実習		【事前学修】実施要領記載事項	
13	セッション11「誓いの言葉」発表	グループ実習		【事前学修】実施要領記載事項 【事後学修】報告書掲載用の「誓いの言葉」の作成・提出	
14	セッション12「閉校式」	講義		【事前学修】実施要領記載事項 【事後学修】ネームカードの提出	
15	ポスト・アンケート入力	自記式調査		【事前学修】実施要領記載事項 【事後学修】Moodleでのアンケート入力	

プロフェッショナリズムII

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	木尾 哲朗						
担当教員	歯学部長, 口腔保健学科長, 栗野 秀慈, 永松 浩, 鬼塚 千絵, 邵 仁浩, 船原 まどか, 本田 尚郁, (非)岩佐 康行, (非)岡留 朝子, (非)村木 祐孝, (非)甲斐 康晴, (非)濱寄 朋子						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (第一総合診療科) 栗野 秀慈 (第二総合診療科) 木尾 哲朗、永松 浩、鬼塚 千絵 (口腔保健科) 邵 仁浩、船原 まどか、本田 尚郁						

授業の概要

本科目では、一連の講義・演習を通して、学生が将来の歯科医療人像を明確にすることで、今後の情意教育、基礎医学教育、臨床基礎教育、および臨床実習で修得すべき知識・技能の重要性を理解する。あわせて歯科医療人像を具現化するための学習行動計画表を作成・ブラッシュアップし、歯科医療人になる歯学部学生として、さらには社会的責任を課せられた医療人として自覚することを目的としている。

学生の到達目標

- ①九州歯科大学憲章・基本理念を理解し、卒業時に求められるコンピテンシーを説明できる。
- ②卒業までに受講するカリキュラムを理解し、受講する講義・実習内容の重要性を自覚できる。
- ③歯科医療人として修得すべき情意・技能に関するスキルを説明できる。
- ④アンプロフェッショナルな事例の検討を通して、他者の多様な価値感を認めた上で、歯科医療人として自ら判断する力を醸成できる。
- ⑤歯科医療人としての将来像を明確にするために様々な歯科医学・医療領域について理解を深め、卒業までの行動計画表を作成・ブラッシュアップできる。
- ⑥上記の作業を通じて社会に役立つ社会人・歯科医療人としての自覚を涵養できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-1-1)-①	医の倫理と生命倫理の歴史経過と諸問題を概説できる。
A-1-1)-⑥	研究を、医学・医療の発展や患者の利益の増進を目的として行うよう配慮できる。
A-1-2)-①	患者の権利を説明できる。
A-1-2)-②	患者の自己決定権を説明できる。
A-1-2)-③	患者が自己決定できない場合の対応を説明できる。
A-1-2)-④	インフォームド・コンセントの意義と重要性を説明できる。
A-1-3)-①	歯科医師のプロフェッショナリズムを説明できる。
A-1-3)-②	患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。
A-1-3)-⑤	患者に最も適した歯科医療を勧めるとともに、代替する他の方法についても説明できる。
A-3-③	口腔・顎顔面領域の疾患を正しく診断し、患者の立場を尊重した治療方針・治療計画を立案できる。
A-3-④	患者中心の医療を目指したインフォームド・コンセントを得ることができる。
A-4-2)-③	患者の心理的・社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。
A-5-1)-①	患者中心のチーム医療の意義を説明できる。

プロフェッショナリズムII

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	木尾 哲朗						
担当教員	歯学部長, 口腔保健学科長, 栗野 秀慈, 永松 浩, 鬼塚 千絵, 邵 仁浩, 船原 まどか, 本田 尚郁, (非)岩佐 康行, (非)岡留 朝子, (非)村木 祐孝, (非)甲斐 康晴, (非)濱寄 朋子						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (第一総合診療科) 栗野 秀慈 (第二総合診療科) 木尾 哲朗、永松 浩、鬼塚 千絵 (口腔保健科) 邵 仁浩、船原 まどか、本田 尚郁						

コアカリキュラム	内容
A-5-1)-②	医療チームや各構成員（歯科医師、医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制を説明できる。
A-5-1)-③	保健・医療・福祉・介護における多職種連携と歯科医師の役割を説明できる。
A-7-1)-①	地域社会（へき地・離島を含む）における歯科医療の現状を概説できる。
A-7-1)-③	地域包括ケアシステムの概念を理解し、地域における、保健（母子保健、学校保健、産業保健、成人・高齢者保健、地域保健、精神保健）・医療・福祉・介護の分野間及び多職種間（行政を含む）の連携の必要性を説明できる。
A-7-1)-④	かかりつけ歯科医等の役割や地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を理解し、実践に必要な能力を身に付ける。
A-7-1)-⑤	地域における在宅医療（訪問歯科診療を含む）、救急医療及び離島・へき地医療の体制を説明できる。
A-9-1)-①	自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。
A-9-1)-②	歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。
A-9-1)-③	医療の改善の必要性と科学的研究の重要性を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
よき歯科医療人になるための倫理・プロフェッショナリズム教育 プロフェッションワークブック	日本歯科医学教育学会編	医歯薬出版株式会社
必要に応じ資料を配布する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
確認テスト	40%
事例検討レポート	20%
事前学習課題レポート	15%
事後テスト・振り返りレポート	15%
行動計画表ブラッシュアップ・提出	10%

プロフェッショナリズムII

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	木尾 哲朗						
担当教員	歯学部長, 口腔保健学科長, 栗野 秀慈, 永松 浩, 鬼塚 千絵, 邵 仁浩, 船原 まどか, 本田 尚郁, (非)岩佐 康行, (非)岡留 朝子, (非)村木 祐孝, (非)甲斐 康晴, (非)濱寄 朋子 ※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (第一総合診療科) 栗野 秀慈 (第二総合診療科) 木尾 哲朗、永松 浩、鬼塚 千絵 (口腔保健科) 邵 仁浩、船原 まどか、本田 尚郁						

その他

1. 出席認定要件：

(1) オンデマンド型遠隔講義では、期限までに、指示されたレポート等を提出すること（授業回により提出物、提出方法等が異なることがあるので、都度指示に従うこと）による。

(2) リアルタイム型遠隔講義では、対面型授業と同様に、記録された入退室時刻による。但し、講義時間中の呼びかけに応えない場合や、講義終了後に不自然に退室しない等の場合、出席を認めないことがある。

※通信環境、器材、システムの不具合等がある場合電話またはメール等で速やかに担当者に連絡すること。対応法を指示する。(担当：永松 浩)。

2. レポートの提出：

レポートは指定された用紙にボールペンまたは万年筆で手書きし、指示された方法で期限までに提出すること。オンラインでの提出時は別途指示する。

3. 【オフィスアワー（学習相談）】：

相談は授業時間外でも随時受け付け可能であるが、事前に、時間予約をメールまたは電話にて行うこと。

科目責任者：総合診療学分野・木尾哲朗

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	<p>【概論】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアと多職種連携をふまえた口腔保健学科・歯学科合同授業を行う本講義の位置づけについて理解する。 ・歯科医学教育の変化と本学の基本理念・カリキュラムを理解する。 ・歯学部学生としての責任ある行動について学修する。 <p>【 歯科医療人プロフェッショナリズム (1) 】</p> <p>動画事例検討1)：学修ビデオ教材「落とし物は ヒトの歯」を視聴し、ワークブックの指定された関連事例とともに構造的振り返りと議論点について自分の意見をまとめる。</p>	講義 スライド 資料配布 演習（動画視聴・事例検討）	歯学部長 口腔保健学科長 木尾 哲朗 永松 浩	<p>【事前学修課題】動画視聴「歯科医療人に求められる倫理・プロフェッショナリズム」（約21分）</p> <p>【事後学修課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日の振り返り ・学修ビデオ教材「落とし物は ヒトの歯」（約10分）を視聴し構造的振り返りを行う。 	講堂ホール Moodle

プロフェッショナリズムII

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	木尾 哲朗						
担当教員	歯学部長, 口腔保健学科長, 栗野 秀慈, 永松 浩, 鬼塚 千絵, 邵 仁浩, 船原 まどか, 本田 尚郁, (非)岩佐 康行, (非)岡留 朝子, (非)村木 祐孝, (非)甲斐 康晴, (非)濱寄 朋子 ※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (第一総合診療科) 栗野 秀慈 (第二総合診療科) 木尾 哲朗、永松 浩、鬼塚 千絵 (口腔保健科) 邵 仁浩、船原 まどか、本田 尚郁						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	<p>【プロフェッショナリズムってなに】 プロフェッショナリズムの定義と変遷および歯科医学教育の変化と本学カリキュラムについて理解する。</p> <p>【歯科医療人プロフェッショナリズム (2)】 動画事例検討2) : 学修ビデオ教材「落とし物は ヒトの歯」について他の人の意見を聞き質疑応答を通して理解を深める。</p>	講義 スライド 資料配布 演習 (動画視聴・事例検討)	木尾 哲朗 永松 浩	<p>【事前学修課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロフェッショナリズムの定義 <ol style="list-style-type: none"> ①Sternらの神殿モデル ②HardenのThree Circle Model ③新ミレニアムにおける医療プロフェッショナリズム：医師憲章 ④歯学教育モデルコアカリキュラムとプロフェッショナリズム ・学修ビデオ教材「落とし物は ヒトの歯」(約10分)を視聴し構造的振り返りを行う。 <p>【事後学修課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日の振り返り 	講堂ホール Moodle

プロフェッショナリズムII

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	木尾 哲朗						
担当教員	歯学部長, 口腔保健学科長, 栗野 秀慈, 永松 浩, 鬼塚 千絵, 邵 仁浩, 船原 まどか, 本田 尚郁, (非)岩佐 康行, (非)岡留 朝子, (非)村木 祐孝, (非)甲斐 康晴, (非)濱寄 朋子 ※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (第一総合診療科) 栗野 秀慈 (第二総合診療科) 木尾 哲朗、永松 浩、鬼塚 千絵 (口腔保健科) 邵 仁浩、船原 まどか、本田 尚郁						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
3	【歯科医療人プロフェッショナリズム (3)】 事例検討1)：よき歯科医療人に求められる態度について学修する。 指定教科書「よき歯科医療人になるための倫理・プロフェッショナル教育 プロフェッションワークブック日本歯科医学教育学会 編」(医歯薬出版)に掲載されているアンプロフェッショナルな事例(倫理的検討事例)を通して歯学部学生としての責任ある行動をとるための知識・技能・態度について学修する。他の人の意見を聞き質疑応答を通して理解を深める。	講義 スライド 資料配布 演習(事例検討)	木尾 哲朗 永松 浩	【事前学修課題】 ワークブックの指定された事例について構造的振り返りと議論点について自分の意見をまとめる。 【事後学修課題】 他の人の意見を聞き、自分の意見との相違点と類似点を挙げ、自分の考えの変化をまとめる。	講堂ホール Moodle
4	【歯科科医療人プロフェッショナリズム (4)】 事例検討2)：よき歯科医療人に求められる態度について学修する。 指定教科書「よき歯科医療人になるための倫理・プロフェッショナル教育 プロフェッションワークブック日本歯科医学教育学会 編」(医歯薬出版)に掲載されているアンプロフェッショナルな事例(倫理的検討事例)を通して歯学部学生としての責任ある行動をとるための知識・技能・態度について学修する。他の人の意見を聞き質疑応答を通して理解を深める。	講義 スライド 資料配布 演習(事例検討)	木尾 哲朗 永松 浩	【事前学修課題】 ワークブックの指定された事例について構造的振り返りと議論点について自分の意見をまとめる。 【事後学修課題】 他の人の意見を聞き、自分の意見との相違点と類似点を挙げ、自分の考えの変化をまとめる。	講堂ホール Moodle

プロフェッショナリズムII

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	木尾 哲朗						
担当教員	歯学部長, 口腔保健学科長, 栗野 秀慈, 永松 浩, 鬼塚 千絵, 邵 仁浩, 船原 まどか, 本田 尚郁, (非)岩佐 康行, (非)岡留 朝子, (非)村木 祐孝, (非)甲斐 康晴, (非)濱寄 朋子 ※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (第一総合診療科) 栗野 秀慈 (第二総合診療科) 木尾 哲朗、永松 浩、鬼塚 千絵 (口腔保健科) 邵 仁浩、船原 まどか、本田 尚郁						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
5	【資格試験と学修方略】 国家試験、OSCEの位置づけを理解する。実施の日程とそれに向けてのスケジュール・準備方法を学修する。(※2学科は個別の講義とする)	講義 スライド 資料配付	永松 浩	【事後学修課題】 (口腔保健学科) 国家試験までのタイムスケジュール作成 (歯学科) 本日の振り返り	402 講義室 Moodle
6	【歯科医療人の活躍(1)】 ：慢性期・回復期・生活期の患者対応を行う病院での歯科医療の話を通して歯科医療人としての将来像を明確にし、行動計画立案することを目的に、現在、活躍する歯科医療人の体験・経験を聞き、歯科医療前線、教育、及び研究等の様々な歯科医学・医療領域について学修する。	講義 スライド 資料配付	(非)岩佐 康行 木尾 哲朗 永松 浩	【事前学修課題】 ① 地域包括ケアシステムについて調べる ② 医科歯科連携や多職種連携における歯科の役割について考察する。 【事後振り返りレポートテーマ】 ・講義の学習後に事前に考察した②の他に、講義で考えたことを記述する。	601 講義室 Moodle

プロフェッショナリズムII

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	木尾 哲朗						
担当教員	歯学部長, 口腔保健学科長, 栗野 秀慈, 永松 浩, 鬼塚 千絵, 邵 仁浩, 船原 まどか, 本田 尚郁, (非)岩佐 康行, (非)岡留 朝子, (非)村木 祐孝, (非)甲斐 康晴, (非)濱寄 朋子 ※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (第一総合診療科) 栗野 秀慈 (第二総合診療科) 木尾 哲朗、永松 浩、鬼塚 千絵 (口腔保健科) 邵 仁浩、船原 まどか、本田 尚郁						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
7	【歯科医療人の活躍 (2)】 ： 病棟でのNSTや口腔ケアの話を通して歯科医療人としての将来像を明確にし、行動計画立案することを目的に、現在、活躍する歯科医療人の体験・経験を聞き、歯科医療前線、教育、及び研究等の様々な歯科医学・医療領域について学修する。	講義 スライド 資料配付	(非)岡留 朝子 口腔保健学科長 永松 浩	【事前学修課題】 ①歯科衛生士業務 ②周術期口腔機能管理 ③標準予防策と感染経路 【事後振り返りレポートテーマ】 ①歯科衛生士の3大業務を挙げなさい。 ②医科歯科連携と周術期口腔ケアの重要性を説明しなさい。 ③3つの感染経路を挙げなさい。 ④本日の講義で疑問に思った事・感想を2つ以上挙げなさい。	402 講義室 Moodle

プロフェッショナルリズムII

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	木尾 哲朗						
担当教員	歯学部長, 口腔保健学科長, 栗野 秀慈, 永松 浩, 鬼塚 千絵, 邵 仁浩, 船原 まどか, 本田 尚郁, (非)岩佐 康行, (非)岡留 朝子, (非)村木 祐孝, (非)甲斐 康晴, (非)濱寄 朋子 ※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (第一総合診療科) 栗野 秀慈 (第二総合診療科) 木尾 哲朗、永松 浩、鬼塚 千絵 (口腔保健科) 邵 仁浩、船原 まどか、本田 尚郁						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
8	<p>【歯科医療人の活躍（3）】： 急性期の患者対応を行う病院での歯科医療の話を通して歯科医療人としての将来像を明確にし、行動計画立案することを目的に、現在、活躍する歯科医療人の体験・経験を聞き、歯科医療前線、教育、及び研究等の様々な歯科医学・医療領域について学修する。</p>	講義 スライド	(非)村木 祐孝 木尾 哲朗 永松 浩	<p>【事前学修課題】</p> <p>①病院歯科・口腔外科 ②有病者歯科医療 ③口腔癌</p> <p>【事後課題レポートテーマ】</p> <p>①本日の講義で印象に残った点に関して自由に記載して下さい。 ②歯科医療に従事する者にとって大切なものとは？あなたの考えを述べて下さい。</p>	402 講義室 Moodle
9	<p>【歯科医療人の活躍（4）】： 地域医療を実践する歯科医療の話を通して歯科医療人としての将来像を明確にし、行動計画立案することを目的に、現在、活躍する歯科医療人の体験・経験を聞き、歯科医療前線、教育、及び研究等の様々な歯科医学・医療領域について学修する。</p>	講義 スライド	(非)甲斐 康晴 木尾 哲朗 永松 浩	<p>【事前学修課題】</p> <p>①生涯研修 ②歯科診療所におけるチーム医療</p> <p>【事後課題レポートテーマ】</p> <p>①開業医として、かい歯科医院はどのように取り組んできましたか？ ②歯科医療人として、今国民からどのようなことを期待されていますか？私達に何ができるのでしようか？授業を受けて考えたことを書いてください。</p>	402 講義室 Moodle

プロフェッショナリズムII

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	木尾 哲朗						
担当教員	歯学部長, 口腔保健学科長, 栗野 秀慈, 永松 浩, 鬼塚 千絵, 邵 仁浩, 船原 まどか, 本田 尚郁, (非)岩佐 康行, (非)岡留 朝子, (非)村木 祐孝, (非)甲斐 康晴, (非)濱寄 朋子 ※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (第一総合診療科) 栗野 秀慈 (第二総合診療科) 木尾 哲朗、永松 浩、鬼塚 千絵 (口腔保健科) 邵 仁浩、船原 まどか、本田 尚郁						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
10	【歯科医療人の活躍（5）】 ： 公衆衛生・口腔衛生学を専攻する大学研究者の話を通して歯科医療人としての将来像を明確にし、行動計画立案することを目的に、現在、活躍する歯科医療人の体験・経験を聞き、歯科医療前線、教育、及び研究等の様々な歯科医学・医療領域について学修する。	講義 スライド 資料配布	(非)濱寄 朋子 木尾 哲朗 永松 浩	【事前学修課題】 ①高齢者の低栄養 【事後課題レポートテーマ】 ①「歯科医師一歯科衛生コミュニケーションは患者アウトカムに影響を与える」について、あなたの考えを述べよ。	402 講義室 Moodle
11	【歯科科医療人プロフェッショナリズム(5)】 動画事例検討3) ： 臨床での倫理的問題を整理して解決する方法についてJonsenの臨床倫理4分割表を用いて学修し、動画教材の理解を深める。ビデオ教材「入れ歯はひとつ」を視聴し、構造的振り返りを行い自分の考えをまとめる。	講義 スライド 資料配布 演習（動画視聴・事例検討）	木尾 哲朗 永松 浩	【事前学修課題】 ・ Jonsenの臨床倫理4分割表 ・ 動画視聴 学修ビデオ教材「入れ歯はひとつ」（約18分） 【事後学修課題】 ・ 本日の振り返り ・ Jonsenの臨床倫理4分割表作成	講堂ホール Moodle

プロフェッショナルリズムII

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	木尾 哲朗						
担当教員	歯学部長, 口腔保健学科長, 栗野 秀慈, 永松 浩, 鬼塚 千絵, 邵 仁浩, 船原 まどか, 本田 尚郁, (非)岩佐 康行, (非)岡留 朝子, (非)村木 祐孝, (非)甲斐 康晴, (非)濱寄 朋子 ※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (第一総合診療科) 栗野 秀慈 (第二総合診療科) 木尾 哲朗、永松 浩、鬼塚 千絵 (口腔保健科) 邵 仁浩、船原 まどか、本田 尚郁						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
12	【歯科医療人プロフェッショナルリズム (7) 事例検討3)、動画事例検討4)】 よき歯科医療人に求められる態度について学修する。 指定教科書「よき歯科医療人になるための倫理・プロフェッショナルリズム教育 プロフェッションワークブック日本歯科医学教育学会 編」(医歯薬出版)に掲載されているアンプロフェッショナルな事例(倫理的検討事例)と学修動画事例を通して歯学部学生としての責任ある行動をとるための知識・技能・態度について学修する。 他の人の意見を聞き質疑応答を通して理解を深める。	講義 スライド 資料配布 演習 (事例検討)	木尾 哲朗 永松 浩	【事前学修課題】 歯科医療倫理学修教材3 「そこで話していることは、なに？」とワークブックの指定された事例について構造的振り返りと議論点について自分の意見をまとめる。 【事後学修課題】 他の人の意見を聞き、自分の意見との相違点と類似点を挙げ、自分の考えの変化をまとめる。	講義ホール Moodle
13	【安心・安全・信頼のコミュニケーション】 患者の信頼を得るために必要なプロフェッショナルリズムと医療コミュニケーションについて行動科学を通じた視点で学修する。	講義 スライド 資料配布 演習(動画視聴・事例検討)	木尾 哲朗 永松 浩	【事前学修課題】 ・信頼に影響を与える因子(Thom) ・経験学習サイクル(Ko1b) 【事後学修課題】 本日の振り返り	講義ホール Moodle

プロフェッショナルリズムII

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	木尾 哲朗						
担当教員	歯学部長, 口腔保健学科長, 栗野 秀慈, 永松 浩, 鬼塚 千絵, 邵 仁浩, 船原 まどか, 本田 尚郁, (非)岩佐 康行, (非)岡留 朝子, (非)村木 祐孝, (非)甲斐 康晴, (非)濱寄 朋子 ※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (第一総合診療科) 栗野 秀慈 (第二総合診療科) 木尾 哲朗、永松 浩、鬼塚 千絵 (口腔保健科) 邵 仁浩、船原 まどか、本田 尚郁						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
14	<p>【総括】(木尾教授) 歯科医療人になる者としてすべきこと、歯科医療人になる者のあるべき姿について、総括する。</p> <p>【今後の学習課題と行動計画表修正】： 卒業時に求められるコンピテンシーを踏まえた上で、卒業までの学習課題を抽出する。本科目を中心に入学後に学修・経験した内容、及び自己学習の過程で収集した資料等を元に、歯科医療人としての将来像を明確にするための行動計画表を見直し、ブラッシュアップを行う。</p>	講義 演習(学習課題の抽出・行動計画表のブラッシュアップ)	木尾 哲朗 永松 浩	<p>【事前学修課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 九州歯科大学憲章 3つのポリシー 卒業コンピテンシー <p>1年のWADSキャンプ(プロフェッショナルリズムI)で作成した行動計画表の準備と見直し</p> <p>【事後学修課題】 学修課題の抽出と行動計画表のブラッシュアップ仕上げ</p>	402 講義室 Moodle
15	学修内容の振り返り	確認テスト	木尾 哲朗 永松 浩 鬼塚 千絵 船原 まどか 本田 尚郁		401 講義室 402 講義室 Moodle

プロフェッショナリズムIII

開講学科	歯学科			開講年次	4年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講・演・実	時間数	30	単位数	1
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, 栗野 秀慈, 土生 学, 正木 千尋, 福泉 隆喜, 有吉 渉, 古株 彰一郎, 池田 弘						

授業の概要

本科目では、一連の実習を通して、学生が将来の歯科医師像を明確にすることで、今後の態度教育、基礎医学教育、臨床基礎教育、および臨床実習で修得すべき知識・技能の重要性を理解するとともに、歯科医療人としてのプロフェッショナリズムとは何かについて同僚と議論を深めることにより、歯学部学生として、さらには社会的責任を課せられた医療人としての自覚を促すことを目的としている。

学生の到達目標

- ① 卒業までに受講するカリキュラムを理解し、受講する講義・実習内容の重要性を自覚できる。
- ② 歯科医師として修得すべき態度・技能に関するスキルを理解できる。
- ③ 卒業までの行動計画表を作成できる。
- ④ 上記の作業を通じて社会に役立つ社会人・医療人としての自覚を持つことができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
令和5年度WADSキャン プ実施要領		

参考書

タイトル	著者	出版社
必要に応じ資料を配布する。 。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
行動計画表、発表プロダクト	100%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】 土生：月-金曜日。随時受け付けるが、事前に時間予約を電話、もしくはメールで行うこと。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	事前学習	資料による説明	土生 学	【事後学習】実施要 項の精読	501 講義 室
2	プレ・アンケート	自記式調査	土生 学	【事前学習】実施要 項記載事項 【事後 学習】Moodleでのア ンケート入力	501 講義 室 Moodle
3	開講式	講義	土生 学	【事前学習】実施要 項記載事項	その他

プロフェッショナリズムIII

開講学科	歯学科			開講年次	4年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講・演・実	時間数	30	単位数	1
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, 栗野 秀慈, 土生 学, 正木 千尋, 福泉 隆喜, 有吉 涉, 古株 彰一郎, 池田 弘						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
4	レクチャー1「研修歯科医」	講義	土生 学	【事前学習】実施要 項記載事項	その他
5	質疑応答	講義	土生 学	【事前学習】実施要 項記載事項	その他
6	レクチャー2「大学院生」	講義	土生 学	【事前学習】実施要 項記載事項	その他
7	質疑応答	講義	土生 学	【事前学習】実施要 項記載事項	その他
8	レクチャー3「教員」	講義	土生 学	【事前学習】実施要 項記載事項	その他
9	質疑応答	講義	土生 学	【事前学習】実施要 項記載事項	その他
10	レクチャー4「開業歯科医」	講義	土生 学	【事前学習】実施要 項記載事項	その他
11	質疑応答	講義	土生 学	【事前学習】実施要 項記載事項	その他
12	セッション1「グループ討論」	SGD	土生 学	【事前学習】実施要 項記載事項 【事後 学習】発表準備	その他
13	セッション2「グループ発表」	SGD	土生 学	【事前学習】実施要 項記載事項 【事後 学習】発表資料提出	その他
14	閉講式	講義	土生 学	【事前学習】実施要 項記載事項	その他
15	ポストアンケート	自記式調査	土生 学	【事前学習】実施要 項記載事項 【事後 学習】Moodleでのア ンケート入力	Moodle

プロフェッショナリズムⅣ

開講学科	歯学科		開講年次	5年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	16	単位数	1
科目責任者	栗野 秀慈						
担当教員	栗野 秀慈, 木尾 哲朗, 吉居 慎二, 村岡 宏祐, (非)曾我 賢彦, (非)大空 理恵子						

授業の概要

医療従事者に求められる確かな技能は、確固とした倫理観によって裏打ちされたものでなければならない。本授業では、歯科医療専門職の倫理、患者の権利、専門職の義務や歯科医療における中心的価値、倫理的意思決定プロセスなどの原理的側面を学んだ後、今後増えるであろう終末期医療の現場における歯科医療のあり方について考える。

学生の到達目標

- ①患者の権利を説明できる。
- ②患者の自己決定権を説明できる。
- ③患者が自己決定できない場合の対応を説明できる。
- ④医の倫理と生命倫理の歴史経過と諸問題を概説できる。
- ⑤医の倫理に関する規範・国際規範を概説できる。
- ⑥生と死に関わる倫理的問題を説明できる。
- ⑦患者との信頼関係を築くことができる。
- ⑧個人的、社会的背景等が異なる患者に、分け隔てなく対応できる。
- ⑨患者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。
- ⑩歯科医師の法的義務を列挙できる。
- ⑪インフォームドコンセントの定義と重要性を説明できる。
- ⑫情報を自ら収集、分析して問題点を探り出すことができる。
- ⑬問題点を論理的に整理し、解決方法を自ら見出すことができる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-1-1)-①	医の倫理と生命倫理の歴史経過と諸問題を概説できる。
A-1-1)-②	医の倫理に関する規範・国際規範（ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、ヘルシンキ宣言等）を概説できる。
A-1-1)-③	臨床（生と死に関わる問題を含む）に関する倫理的問題を説明できる。
A-1-2)-①	患者の権利を説明できる。
A-1-2)-②	患者の自己決定権を説明できる。
A-1-2)-③	患者が自己決定できない場合の対応を説明できる。
A-1-2)-④	インフォームド・コンセントの意義と重要性を説明できる。
A-1-3)-①	歯科医師のプロフェッショナリズムを説明できる。
A-1-3)-②	患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。
A-1-3)-③	医療サービスの特殊性（情報の非対称性・医療の不確実性）や治療の限界を説明できる。
A-1-3)-④	歯科医師に課せられた社会的責任と法的責任（刑事責任、民事責任、歯科医師法に基づく行政処分）を説明できる。
A-1-3)-⑤	患者に最も適した歯科医療を勧めるとともに、代替する他の方法についても説明できる。
A-2-1)-①	必要な課題を自ら発見できる。
A-2-1)-③	課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。
A-2-1)-④	課題の解決に当たり、他の学習者や教員と協力してよりよい解決方法を見出すことができる
A-5-1)-⑦	人生の最終段階における歯科の関わりと本人の意思決定・表示を説明できる。

プロフェッショナリズムIV

開講学科	歯学科			開講年次	5年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	16	単位数	1
科目責任者	栗野 秀慈						
担当教員	栗野 秀慈, 木尾 哲朗, 吉居 慎二, 村岡 宏祐, (非)曾我 賢彦, (非)大空 理恵子						

テキスト

タイトル	著者	出版社
学修資料をMoodleに掲載する		

参考書

タイトル	著者	出版社
医の倫理 一何をどう考えるかー	森岡恭彦、上竹正躬 訳	南山堂
デンタル・エシックス ー 歯科の倫理問題ー	柳沢有吾 訳	クインテッセンス出版
医療倫理Q&A	医療倫理Q&A刊行委員会 編	太陽出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート評価	100%

その他

(オフィスアワー) 吉居 慎二：メールにて受付

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	医療倫理概論としてヒポクラテス倫理と歴史的諸問題ならびにヒポクラテス倫理の限界について学習する。医療専門職、患者の権利、歯科医療人の義務について学ぶ。	講義スライド	吉居 慎二	【事前学修課題】ヒポクラテスの倫理、患者の権利 【事後学修課題】「ヒポクラテスの倫理について」、「患者の権利と歯科医師の義務について」課題レポート提出	601 講義室
2	現在の医療倫理の根幹をなすクオリティオブライフについて学習する。それを支えるためのインフォームドコンセントの重要性と偏らない考え方をするための手法としてのPOSについて学ぶ。	講義スライド	吉居 慎二	【事前学修課題】QOL, インフォームドコンセント, POS 【事後学修課題】「医療倫理とインフォームドコンセントについて」「生命倫理（生と死に関わる倫理）苦痛告知について」課題レポート提出	601 講義室

プロフェッショナリズムIV

開講学科	歯学科		開講年次	5年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	16	単位数	1
科目責任者	栗野 秀慈						
担当教員	栗野 秀慈, 木尾 哲朗, 吉居 慎二, 村岡 宏祐, (非)曾我 賢彦, (非)大空 理恵子						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
3	現在の医療倫理の重要課題である生命倫理（生と死に関わる倫理）について学習する。がんの告知に代表される苦痛告知について学ぶ。	講義スライド	吉居 慎二	【事前学修課題】生命倫理, 苦痛告知 【事後学修課題】「医療倫理とインフォームドコンセントについて」、「生命倫理（生と死に関わる倫理）苦痛告知について」課題レポート提出	601 講義室
4	倫理的意思決定プロセスについて学習する。いくつかの倫理的問題を含む実例を通して倫理的意思決定プロセスでそれらの問題の解決策を探る演習を行う。	講義スライド	吉居 慎二	【事前学修課題】倫理的意思決定プロセス 【事後学修課題】課題レポート提出	601 講義室
5	プロフェッショナリズムについて学習する。過去の事例について自己の考えと他人の考え方を共有し、臨床歯科医学に関する倫理的決定のためのアプローチを学ぶ。歯科医療人としての専門職業意識を涵養する。	講義グループ演習配付資料	木尾 哲朗	【事前学修課題】プロフェッショナリズム、課題レポート提出 【事後学修課題】課題レポート提出	601 講義室
6	歯科医療人として終末期医療にどう関わるか考える。(1) 「病院歯科における高齢者医療の実際」	講義スライド	(非)大空 理恵子	【事前学修課題】我が国の高齢者医療の問題点について【事後学修課題】課題レポート提出	601 講義室
7	歯科医療人として終末期医療にどう関わるか考える。(2) 「がんケアの実際」	講義スライド	(非)曾我 賢彦	【事前学修課題】終末期医療, がんケア, 周術期口腔機能管理 【事後学修課題】課題レポート提出	601 講義室
8	総括振り返りレポート	講義スライド		【事後学修課題】『歯科医療人として終末期医療にどう関わるか』課題レポート提出	601 講義室

物理学

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	池田 弘						
担当教員	池田 弘, (非)中尾 基						

授業の概要

物理学は自然現象の法則化を図った自然科学であり、理工学分野の根幹を担っている。当講義では、高校で物理学未履修の学生 或いは 理解が不十分な学生にも理解できるように、身近な様々な事象を取り上げ、物理的なイメージを重視して進めていく。具体的には、物理学の基礎分野であり物体の動きに関わる「力学」、熱の挙動に関わる「熱学」、波の挙動に関わる「波動」、電荷及び磁荷の動きに関わる「電磁気学」、及び原子の構造に関わる「原子物理学」の基本事項の講義を行う。

学生の到達目標

- ①物理量を表す基本単位を説明でき、物体の速度、加速度、及び変位の関係を説明できる。
- ②ニュートンの運動の法則を説明できるとともに、力を受けた物体の運動を説明できる。
- ③生体现象と医療機器の原理における物体の力学的な運動を説明できる。
- ④熱伝導、対流、及び熱輻射による熱の移動を説明できる。
- ⑤振動と波動現象の特徴及び光と音の基本的性質を説明できる。
- ⑥電気現象の根源である電荷がつくる電場の性質を説明できる。
- ⑦電流及び電圧が何を表すか、及び電流の周りに磁場が生じることを説明できる。
- ⑧電磁界を用いた医療機器を説明できる。
- ⑨原子の構造を説明でき、エックス線及びレーザーが原子内から放射した光に基づくことを説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
第5版基礎物理学	原 康夫	学術図書出版社

参考書

タイトル	著者	出版社
物理学通論 I 及び II	原 康夫	学術図書出版社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	60%
レポート	40%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】授業前後に受け付ける。または科目担当者にメールなどで連絡すること。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	はじめに 物理量はどのように表されるか？ 物理量の表し方、基本単位、及び有効数字について学ぶ。	講義	(非)中尾 基	物理量、次元（教科書pp. 4-6）	301 講義室

物理学

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	池田 弘						
担当教員	池田 弘, (非)中尾 基						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	力学の基本 物体の運動状態はどのような物理量で表すか？ 直線運動を行っている物体、及び自由落下している物体を例にして、速度、加速度の定義を理解するとともにこれらと位置（変位）を含めた3つの間の関係を学ぶ。	講義	(非)中尾 基	変位・速度・加速度、微分・積分（教科書pp. 17-24）	301 講義室
3	力と運動 力が作用すると物体はどのような運動を行うか？ 重力（放物運動）、粘性抵抗（雨滴の落下）を受けた物体と共に、復元力を受けて運動する物体の運動（振動）を学ぶ。	講義	(非)中尾 基	自由落下、粘性抵抗（教科書pp. 47-51）	301 講義室
4	力と変形-1 物体に力を加えたときに生じる変形はどのように表すか？ 変形を定量的に取り扱うときに用いるひずみ、応力、弾性係数、及び塑性変形などについて学ぶ。	講義	(非)中尾 基	ひずみ、ヤング率	301 講義室
5	力と変形-2 剛体の破壊はどのようにして生じるか？ 応力集中や繰り返し加重に伴う破壊等を取り上げ、これらが生じる力学的原因を学ぶ。	講義	(非)中尾 基	体積弾性率、剛性率	301 講義室
6	波動 波とは何か？ 波を表す量とそれらの関係、波の重ね合わせの原理や波の干渉など波の持つ一般的な性質を学ぶ。	講義	(非)中尾 基	波長、周期、振幅（教科書pp. 105-108）	301 講義室
7	熱学 熱の実体は何か？ 温度、比熱、内部エネルギーなど熱に関する基本的事項を学ぶ。熱の移動には熱伝導、対流、熱輻射がある事を学ぶ。気体の分子の運動が温度に深く関わっていること（気体の分子運動論）を学ぶ。	講義	(非)中尾 基	分子振動（教科書pp. 129-132）	301 講義室
8	熱学2 熱放射のプランクの法則（ウイーンの変位則）から地球温暖化問題について考える。	講義	(非)中尾 基	ウイーンの変位則、シュテファン-ボルツマンの法則（教科書pp. 133-135）	301 講義室

物理学

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	池田 弘						
担当教員	池田 弘, (非)中尾 基						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
9	電荷と電場-1 あらゆる電気現象の根源となる実体は何か？ 電荷間に働く電気力を表したクーロンの法則、電荷による電場、電気力線、及び電場のガウスの法則について学ぶ。	講義	(非)中尾 基	電荷、電界 (教科書 pp. 157-167)	301 講義室
10	電荷と電場-2 単位ボルトで表される電圧とは？ 電位の定義・性質、電位差 (電圧)、およびキャパシター (コンデンサー) について学ぶ。	講義	(非)中尾 基	電位 (教科書 pp. 167-173)	301 講義室
11	電流と磁場-1 電流、抵抗とは何か？ 電流が電荷の流れであることを理解して、オームの法則、及び抵抗の接続例 (直列回路) を学ぶ。	講義	(非)中尾 基	電流、抵抗 (教科書 pp. 185-188)	301 講義室
12	電流と磁場-2 なぜ地球自体が大きな磁石なのか？ 磁場、磁極 (磁荷) 間に働く磁気力、電流がつくる磁場、及びモーターの原理を学ぶ。	講義	(非)中尾 基	磁場、磁石 (教科書 pp. 193-199)	301 講義室
13	電流と磁場-3 電磁界とは？ 医療機器に応用される基本的な電磁界について学ぶ。	講義	(非)中尾 基	MRI (核磁気共鳴画像法)	301 講義室
14	原子物理学-1 原子ってどのような構造なのか？ 原子の構造を理解するとともに、光と電子が粒子として、及び波動としての性質をもつことを学ぶ。	講義	(非)中尾 基	光、電磁波 (教科書 pp. 238-240)	301 講義室
15	原子物理学-2 原子から放出した光の利用は？ 線スペクトルを理解して、エックス線発生装置、及びレーザーの原理を学ぶ。	講義	(非)中尾 基	光類のエネルギー、レントゲン (教科書 pp. 257-260)	301 講義室

生物学

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	吉野 賢一						
担当教員	吉野 賢一						

授業の概要

本授業は、生命科学系科目を学修するうえで必要な生物学的概念の教授を目的とする。生物学の内容は多岐にわたり、情報量はあまりにも膨大である。本授業では、ヒトを含む生物が個体（生命活動）や種（生殖）を維持するために必要なメカニズムに重点を置いた内容を、高等学校で生物学未履修の学生にも理解できるように学ぶ。

学生の到達目標

- ①生物の定義と種について説明できる。
- ②進化について説明できる。
- ③遺伝、遺伝子、DNA、染色体について説明できる。
- ④体細胞分裂および減数分裂について説明できる。
- ⑤生体膜における物質の輸送について説明できる。
- ⑥生命を維持するために必要なエネルギー変換、代謝について説明できる。
- ⑦種々の遺伝現象について説明できる。
- ⑧ヒト臓器の基本的な構造と働きについて説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A	生命科学/生命現象の基本的知識並びに病因や病態解析に必要な知識を修得し、医療の提供や発展に必要な考え方を身に付ける。
A-1-3-1	メンデルの法則や遺伝子型と表現型の関係を理解している。
A-1-3-2	核酸、遺伝子及び染色体の構造と機能を理解している。
A-1-3-3	デオキシリボ核酸(DNA)複製と修復、DNAからリボ核酸(RNA)への転写、タンパク質合成に至る翻訳を含む遺伝情報の発現及び調節を理解している。
A-1-3-4	遺伝性疾患の発生機序を理解している。
A-1-4-1	真核細胞の全体像と細胞膜、核、細胞小器官及び細胞骨格の構造と機能を理解している。
A-1-4-2	細胞内外間の物質の移動のしくみを理解している。
A-1-4-3	細胞内外液のイオン組成と浸透圧、静止膜電位を理解している。
A-1-4-4	細胞周期、細胞分裂及び主な細胞分化のしくみを理解している。
A-3-1-10-2	体液の量と組成及び浸透圧の調節機構を理解している。
A-3-1-11-1	男性生殖器と女性生殖器の構造と機能を理解している。
A-3-1-3-2	筋細胞の構造と筋収縮の機序を理解している。
A-3-1-4-1	心臓の構造、発生、機能及び心電図波形を理解している。
A-3-1-4-2	血液循環(肺循環、体循環及び胎児循環)の経路と主要な動静脈の名称を理解している。
A-3-1-4-4	循環調節の機序を理解している。
A-3-1-4-5	血液の構成要素と役割を理解している。
A-3-1-5-1	末梢神経系の種類、走行及び支配領域を理解している。
A-3-1-5-2	体性神経系の構造と機能を理解している。
A-3-1-5-3	自律神経系(交感神経系と副交感神経系)の構造と機能を理解している。
A-3-1-5-4	中枢神経系(高次脳、脳幹、脊髄)の構造と機能(運動機能、感覚機能、高次神経機能、自律機能)及び脳血管の分布を理解している。

生物学

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	吉野 賢一						
担当教員	吉野 賢一						

コアカリキュラム	内容
A-3-1-5-5	反射、半自動運動及び随意運動の発現と制御機構を理解している。
A-3-1-5-6	ニューロンとグリアの構造と機能を理解している。
A-3-1-5-7	神経の活動電位の発生と伝導の機序を理解している。
A-3-1-5-8	シナプス伝達の機序と神経伝達物質を理解している。
A-3-1-6-1	特殊感覚器の構造と特殊感覚を理解している。
A-3-1-6-2	体性感覚の受容器の構造と機能を理解している。
A-4-1-1	細菌、ウイルス、真菌及び原虫の基本的な構造と性状を理解している。

テキスト

タイトル	著者	出版社
資料をMoodleに掲載する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

【オフィスアワー】吉野賢一：月～金（16：00～17：00）

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	細胞生物の定義、および生物をつくる基本単位である細胞の種類および細胞の構造と働きについて学ぶ。	講義	吉野 賢一	真核細胞、原核細胞、細胞膜、浸透圧	301講義室 Moodle
2	細胞膜の働き細胞膜における物質輸送について学ぶ。	講義	吉野 賢一	浸透、拡散、促進、能動、受動輸送	301講義室 Moodle
3	進化と分類進化についての一般的な概念、および生物の分類や学名について学ぶ。	講義	吉野 賢一	進化、選択、属名、種小名	301講義室 Moodle
4	遺伝①染色体と細胞分裂について学ぶ。	講義	吉野 賢一	染色体、体細胞分裂、減数分裂	301講義室 Moodle
5	遺伝②DNAと遺伝子について学ぶ。	講義	吉野 賢一	DNA、遺伝子	301講義室 Moodle
6	循環①血液の組成と機能について学ぶ。	講義	吉野 賢一	血漿、血清、赤血球、白血球、血小板	301講義室 Moodle

生物学

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	吉野 賢一						
担当教員	吉野 賢一						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
7	循環②血液型について学ぶ。	講義	吉野 賢一	凝集素、凝集原、輸血反応	301講義室 Moodle
8	循環③各生物の循環のタイプ、および血液の循環と心臓の拍出機能について学ぶ。	講義	吉野 賢一	開放血管系、閉鎖血管系、刺激伝導系、心音、心電図	301講義室 Moodle
9	歯の構造と機能各種生物における歯の構造と機能から、その動物の食性および生活様式が類推できることを学ぶ。	講義	吉野 賢一	生物学的歯式、異歯性、常生歯	301講義室 Moodle
10	筋の構造と機能について学ぶ。	講義	吉野 賢一	筋収縮、筋電図	301講義室 Moodle
11	神経①各生物およびヒトの神経系について学ぶ。	講義	吉野 賢一	管状神経系、伝導、伝達	301講義室 Moodle
12	神経②末梢神経系と中枢神経系（大脳を除く）について学ぶ。	講義	吉野 賢一	脳神経、脊髄神経、間脳、延髄	301講義室 Moodle
13	神経③大脳の構造と機能、および顎反射について学ぶ。	講義	吉野 賢一	基底核、辺縁系、皮質、白質、顎反射	301講義室 Moodle
14	感覚①感覚の特徴と体性感覚について学ぶ。	講義	吉野 賢一	適当刺激、閾値、痛覚、触圧覚、固有感覚	301講義室 Moodle
15	感覚②特殊感覚について学ぶ。	講義	吉野 賢一	味覚、視覚、聴覚、嗅覚、平衡感覚	301講義室 Moodle

化学

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	永松 有紀						
担当教員	永松 有紀, 池田 弘, 古株 彰一郎, 山崎 亮太, 竹内 弘						

授業の概要

歯学では口腔内だけではなく全身について深く学ぶ。歯学生にとって生体での様々な現象を科学的に理解することは必修であり、化学の知識が不可欠である。また、損失した硬組織や軟組織の代替となる歯科生体材料の化学的性質、歯質と修復物との接着等の化学的現象について知識を得ることは将来の専門科目の理解に繋がる。「化学」では、高校までの知識の再確認とともに、生命現象および歯科生体材料に関連する化学の法則について講義する。

学生の到達目標

- ①原子の電子構造を説明できる。
- ②化学結合を説明できる。
- ③固体、液体および気体の性質を説明できる。
- ④歯科生体材料に関連する化学反応を説明できる。
- ⑤生命現象に関連する化学反応を説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-1-1-1	原子と生体を構成する元素を理解している。
A-1-1-2	分子の成り立ちと生体構成分子に関する化学的性質を理解している。
B-1-2	材料の化学的性質を理解している。

テキスト

タイトル	著者	出版社
資料を配布する。		

参考書

タイトル	著者	出版社
メディカル化学—医歯薬系のための基礎化学	齋藤 勝裕 ほか	裳華房
生命科学のための基礎シリーズ「化学」	大島 泰郎 監修	実教出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	80%
レポート	20%

化学

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	永松 有紀						
担当教員	永松 有紀, 池田 弘, 古株 彰一郎, 山崎 亮太, 竹内 弘						

その他

【オフィスアワー】永松（生体材料学オフィス）：月・水・木・金12:00～13:00、16:30～18:00、池田（生体材料学准教授室）：月～金12:00～13:00、16:30～18:00、その他の教員への相談や質問もメールで随時受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	序論、物質の成り立ちと元素・原子 歯学を学ぶ上で、化学的な知識が不可欠であることを認識する。既習内容の復習を行う。さらに、生体や物質を構成する元素、微粒子の粒子性や波動性、周期律についても学ぶ。	講義	永松 有紀	キーワード：生命現象、歯科生体材料、原子模型、電子配置、周期律	301 講義室 Moodle
2	化学結合 既習内容の復習を行う。さらに、混成軌道と立体構造、単結合と多重結合についても学ぶ。	講義	永松 有紀	キーワード：共有結合、イオン結合、金属結合、分子間相互作用、混成軌道	301 講義室 Moodle
3	物質の状態① 固体 既習内容の復習を行う。さらに、結晶と非晶質の違い、結晶の分類と各結晶の特徴についても学ぶ。	講義	池田 弘	キーワード：結晶、非晶質、体心立方構造、面心立方構造、六方最密充填構造	301 講義室 Moodle
4	物質の状態② 液体 既習内容の復習を行う。さらに、歯科生体材料、生命現象に関連するコロイド、濃度、溶液の調製法についても学ぶ。	講義	池田 弘	キーワード：pH、緩衝作用、コロイド、浸透圧、濃度	301 講義室 Moodle
5	物質の状態③ 気体 既習内容の復習を行う。さらに、歯科医療に関連する界面活性剤、気体についてその用途と特徴を学ぶ。	講義	池田 弘	キーワード：理想気体、実在気体、医療用ガス	301 講義室 Moodle
6	無機化学の基礎 既習内容の復習を行う。さらに、歯や骨の主成分であるハイドロキシアパタイトの結晶構造と特徴、「う蝕」とその化学的なメカニズムについても学ぶ。	講義	永松 有紀	キーワード：ハイドロキシアパタイト、セラミックス、金属、接着	301 講義室 Moodle

化学

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	永松 有紀						
担当教員	永松 有紀, 池田 弘, 古株 彰一郎, 山崎 亮太, 竹内 弘						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
7	有機化学の基礎 既習内容の復習を行う。さらに、命名法の基本、分子構造、官能基の種類とそれらの特徴を学ぶ。歯科材料、生命現象に関連する有機化学反応についても学ぶ。	講義	永松 有紀	キーワード：IUPAC命名法、官能基、異性体、生体構成分子、有機化学反応	301講義室 Moodle
8	歯科器材・技術と化学① 歯科生体材料とその関連器材について、成形時および口腔内での使用時に起こる化学反応を学ぶ。	講義	永松 有紀	キーワード：変色、腐食、重合反応、酸塩基反応、キレート結合	301講義室 Moodle
9	歯科器材・技術と化学② 歯科診療および技工で使用する各種歯科器材について、材質、組成、成形時の硬化機構および化学的性質を学ぶ。歯冠修復材料については歯質への接着のメカニズムも学ぶ。	講義	池田 弘	キーワード：義歯用材料、歯冠修復材料、合着材・接着材、接着	301講義室 Moodle
10	人体と化学① 生体内の化学反応、緩衝作用を理解する化学知識と関連する酸性、塩基性物質について学ぶ。	講義	山崎 亮太	キーワード：酸、塩基、緩衝作用	301講義室 Moodle
11	人体と化学② 血液・尿検査 臨床で頻用される血液・尿検査について学ぶ。	講義	古株 彰一郎	キーワード：血液生化学検査、尿化学検査、逸脱酵素、アシドーシス、アルカローシス	301講義室 Moodle
12	人体と化学③ 検査手法 化学を応用した分子生物学的実験、臨床検査について学ぶ。	講義	古株 彰一郎	キーワード：PCR、ウスタンブロットティング、ELISA	301講義室 Moodle
13	人体と化学④ 水溶液・溶液水溶液・溶液の性質・濃度表示について学ぶ。医薬品溶液の濃度計算について学ぶ。	講義	竹内 弘	キーワード：溶液の性質	301講義室 Moodle
14	人体と化学⑤ 有機化合反応と薬物 薬物の作用を有機化学反応から学ぶ。	講義	竹内 弘	キーワード：キレート化合物、加水分解、還元反応	301講義室 Moodle

化学

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	永松 有紀						
担当教員	永松 有紀, 池田 弘, 古株 彰一郎, 山崎 亮太, 竹内 弘						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
15	講義の総括 講義内容の総復習を行う。	講義	永松 有紀	【事前学修】前回までの内容の復習 【事後学修】全回の重要ポイントの復習	301 講義室 Moodle

基礎歯科生理学I

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	小野 堅太郎						
担当教員	小野 堅太郎, 中富 千尋, 徐 嘉鍵						

授業の概要

本講義では、歯科医療人が学ぶべき生理学について講義する。本講義では基礎歯科生理学（第7版）の前半（生理学総論、興奮性組織、体液、体液の循環、呼吸、体温、内分泌、生殖、消化と吸収、感覚機能）について遠隔講義（Moodle）にて教授する。

学生の到達目標

- ①生理学学習に必要な生物学一般を説明できる。
- ②興奮性組織について説明できる。
- ③体液とその循環について説明できる。
- ④呼吸について説明できる。
- ⑤体温について説明できる。
- ⑥内分泌について説明できる。
- ⑦生殖について説明できる。
- ⑧消化と吸収について説明できる。
- ⑨感覚機能について説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-1-2-1	アミノ酸とタンパク質の構造、機能及び代謝を理解している。
A-1-2-2	糖質の構造、機能及び代謝を理解している。
A-1-2-3	脂質の構造、機能及び代謝を理解している。
A-1-2-4	電子伝達系と酸化的リン酸化を理解している。
A-1-2-5	酵素の機能と調節、主な代謝異常を理解している。
A-1-2-6	ビタミン、ミネラルの種類と作用を理解している。
A-1-2-8	栄養素の相互変換とエネルギー代謝(エネルギーの定義、食品中のエネルギー値、エネルギー消費量、推定エネルギー必要量)を理解している。
A-1-2-9	空腹時、飢餓時、食後、過食時及び運動時における代謝を理解している。
A-1-5-1	細胞接着の機構を理解している。
A-3-1-10-1	腎・尿路系の構造と機能を理解している。
A-3-1-10-2	体液の量と組成及び浸透圧の調節機構を理解している。
A-3-1-10-3	水分と主な電解質の出納とその異常を理解している。
A-3-1-11-1	男性生殖器と女性生殖器の構造と機能を理解している。
A-3-1-3-1	筋組織の分類と分布を理解している。
A-3-1-3-2	筋細胞の構造と筋収縮の機序を理解している。
A-3-1-3-3	全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を理解している。
A-3-1-4-1	心臓の構造、発生、機能及び心電図波形を理解している。
A-3-1-4-2	血液循環(肺循環、体循環及び胎児循環)の経路と主要な動静脈の名称を理解している。
A-3-1-4-3	血管の構造と神経支配を理解している。
A-3-1-4-4	循環調節の機序を理解している。
A-3-1-4-5	血液の構成要素と役割を理解している。
A-3-1-4-6	リンパ管とリンパ系組織、器官の構造と機能を理解している。
A-3-1-4-7	造血器官と造血機構を理解している。

基礎歯科生理学I

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	小野 堅太郎						
担当教員	小野 堅太郎, 中富 千尋, 徐 嘉鍵						

コアカリキュラム	内容
A-3-1-4-8	止血、血液凝固及び線溶の機序を理解している。
A-3-1-5-1	末梢神経系の種類、走行及び支配領域を理解している。
A-3-1-5-2	体性神経系の構造と機能を理解している。
A-3-1-5-5	反射、半自動運動及び随意運動の発現と制御機構を理解している。
A-3-1-5-6	ニューロンとグリアの構造と機能を理解している。
A-3-1-5-7	神経の活動電位の発生と伝導の機序を理解している。
A-3-1-5-8	シナプス伝達の機序と神経伝達物質を理解している。
A-3-1-6-1	特殊感覚器の構造と特殊感覚を理解している。
A-3-1-6-2	体性感覚の受容器の構造と機能を理解している。
A-3-1-6-3	内臓感覚を理解している。
A-3-1-6-4	疼痛の種類、発生機序及び制御機構を理解している。
A-3-1-7-1	消化管の構造、機能及び調節機構を理解している。
A-3-1-7-2	肝臓、胆嚢及び膵臓の構造と機能を理解している。
A-3-1-8-1	気道系の構造と機能を理解している。
A-3-1-8-2	肺の構造、機能、呼吸運動及びガス運搬の機序を理解している。
A-3-1-9-1	内分泌器官の構造と機能を理解している。
A-3-1-9-2	ホルモンの種類、作用及び異常を理解している。
A-3-1-9-3	恒常性維持と内分泌系、神経系の機能相関を理解している。
A-3-1-9-4	体温調節の機序を理解している。

テキスト

タイトル	著者	出版社
基礎歯科生理学 第7版	岩田幸一ら 編	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
確認テスト+1回～7回の提出物（講義グラレコ最大14点）	50%
定期試験+9回～15回の提出物（講義グラレコ最大14点）	50%

基礎歯科生理学I

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	小野 堅太郎						
担当教員	小野 堅太郎, 中富 千尋, 徐 嘉鍵						

その他

【オフィスアワー】学習内容に関する疑問・質問だけでなく、教科書や講義動画、小テストの間違いの指摘なども受け付ける。質問はメールで24時間で受け付ける。Teamsでのオンライン質問が必要な場合は、教員のスケジュールをOutlookカレンダーで確認の上、会議設定をしてもらえれば受け付ける（ただし、勤務時間に限る）。直接会って質問したい場合は、メールで事前にアポイントを取ること。できれば、複数名同時での質問を歓迎する。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	生理学総論、興奮性組織 I 生理学総論（25分）と細胞膜と膜輸送（27分）について学ぶ。	講義（スマホ必須、できればPCもしくはタブレットを持参）	小野 堅太郎 中富 千尋 徐 嘉鍵	【事前・事後学修】 教科書 P. 002～ P. 050	301 講義室
2	興奮性組織 II 膜電位（17分）、活動電位（24分）、電位依存性イオンチャネル（19分）について学ぶ。	講義	小野 堅太郎 中富 千尋 徐 嘉鍵	【事前・事後学修】 教科書 P. 016～ P. 050	Moodle
3	興奮性組織 III 興奮伝導（19分）、伝導速度と末梢神経分類（19分）、シナプスと神経回路（26分）、シナプス伝達（12分）について学ぶ。	講義	小野 堅太郎 中富 千尋 徐 嘉鍵	【事前・事後学修】 教科書 P. 016～ P. 050	Moodle
4	興奮性組織 IV、体液 I 筋の収縮（11分）、筋の収縮様式（19分）、体液成分と血液型（24分）、白血球機能と血液凝固（22分）について学ぶ。	講義	小野 堅太郎 中富 千尋 徐 嘉鍵	【事前・事後学修】 教科書 P. 016～ P. 075	Moodle
5	体液 II 体液の恒常性（14分）、腎構造と尿生成（15分）、尿細管の再吸収と分泌（22分）、血流と排尿（12分）について学ぶ。	講義	小野 堅太郎 中富 千尋 徐 嘉鍵	【事前・事後学修】 教科書 P. 051～ P. 075	Moodle
6	体液の循環 I 血液循環と心臓構造（17分）、刺激伝導系と心電図（29分）、ポンプ機能と血管構造（14分）について学ぶ。	講義	小野 堅太郎 中富 千尋 徐 嘉鍵	【事前・事後学修】 教科書 P. 076～ P. 102	Moodle
7	体液の循環 II 血流と血圧（23分）、浮腫（11分）、循環調節（24分）について学ぶ。	講義	小野 堅太郎 中富 千尋 徐 嘉鍵	【事前・事後学修】 教科書 P. 076～ P. 102	Moodle

基礎歯科生理学I

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	小野 堅太郎						
担当教員	小野 堅太郎, 中富 千尋, 徐 嘉鍵						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
8	確認テスト（第1回から第7回までの内容の試験を行う。第9回以降の範囲は定期テストで行う。再試験の範囲は全範囲となる。）	テスト	小野 堅太郎 中富 千尋 徐 嘉鍵	【事前・事後学修】 教科書 P. 002～ P. 102	コンピュータ演習室
9	呼吸 呼吸器の構造と機能（16分）、換気の仕組み（14分）、ガス交換（25分）、呼吸調節（9分）について学ぶ。	講義	小野 堅太郎 中富 千尋 徐 嘉鍵	【事前・事後学修】 教科書 P. 103～ P. 122	Moodle
10	体温、内分泌Ⅰ 体熱産生・放散（14分）、体温調節（14分）、内分泌総論（11分）、視床下部-下垂体ホルモン（20分）について学ぶ。	講義	小野 堅太郎 中富 千尋 徐 嘉鍵	【事前・事後学修】 教科書 P. 123～ P. 150	Moodle
11	内分泌Ⅱ、生殖 甲状腺、副甲状腺、膵臓からのホルモン（16分）、副腎、その他からのホルモン（13分）、ホルモンとホメオスタシス（15分）、性ホルモン（16分）について学ぶ。	講義	小野 堅太郎 中富 千尋 徐 嘉鍵	【事前・事後学修】 教科書 P. 132～ P. 156	Moodle
12	消化と吸収Ⅰ 消化管の構造と全体機能（23分）、消化酵素まとめ（21分）、消化管ホルモンと運動（21分）について学ぶ。	講義	小野 堅太郎 中富 千尋 徐 嘉鍵	【事前・事後学修】 教科書 P. 157～ P. 179	Moodle
13	消化と吸収Ⅱ、感覚機能Ⅰ 口腔と胃での消化（23分）、小腸での消化（24分）、大腸と排便反射（11分）、感覚分類（17分）について学ぶ。	講義	小野 堅太郎 中富 千尋 徐 嘉鍵	【事前・事後学修】 教科書 P. 157～ P. 220	Moodle
14	感覚機能Ⅱ 感覚受容器と上行性伝導路（25分）、眼球構造と運動（19分）、光受容と視覚伝導路（26分）について学ぶ。	講義	小野 堅太郎 中富 千尋 徐 嘉鍵	【事前・事後学修】 教科書 P. 180～ P. 220	Moodle
15	感覚機能Ⅲ 聴覚（20分）、平衡感覚（5分）、内臓感覚（15分）、痛覚（25分）について学ぶ。	講義	小野 堅太郎 中富 千尋 徐 嘉鍵	【事前・事後学修】 教科書 P. 180～ P. 220	Moodle

基礎歯科生理学II

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	小野 堅太郎						
担当教員	小野 堅太郎, 中富 千尋, 徐 嘉鍵						

授業の概要

本講義では、歯科医療人が学ぶべき生理学・口腔生理学について講義する。本講義では基礎歯科生理学（第7版）の後半（運動機能、高次機能、自律機能、口腔生理学総論、顎・口腔・顔面の体性感覚、味覚、嗅覚、顎運動、舌・口唇・頬・顔面運動、咀嚼、嚥下、吸啜、嘔吐、唾液・唾液腺、発声と構音）について遠隔講義（Moodle）にて教授する。

学生の到達目標

- ①運動機能について説明できる。
- ②高次機能について説明できる。
- ③自律機能について説明できる。
- ④顎・口腔・顔面の体性感覚について説明できる。
- ⑤味覚と嗅覚について説明できる。
- ⑥顎運動や舌・口唇・頬・顔面運動について説明できる。
- ⑦咀嚼と嚥下について説明できる。
- ⑧吸啜と嘔吐について説明できる。
- ⑨唾液・唾液腺について説明できる。
- ⑩発声と構音について説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-3-1-5-1	末梢神経系の種類、走行及び支配領域を理解している。
A-3-1-5-2	体性神経系の構造と機能を理解している。
A-3-1-5-3	自律神経系(交感神経系と副交感神経系)の構造と機能を理解している。
A-3-1-5-4	中枢神経系(高次脳、脳幹、脊髄)の構造と機能(運動機能、感覚機能、高次神経機能、自律機能)及び脳血管の分布を理解している。
A-3-1-5-5	反射、半自動運動及び随意運動の発現と制御機構を理解している。
A-3-2-1	頭頸部の体表と内臓の区分と特徴を理解している。
A-3-2-10	吸啜、咀嚼、嚥下の意義と制御機構を理解している。
A-3-2-11	嘔吐反射と絞扼反射を理解している。
A-3-2-12	咽頭の基本構造、咽頭挙上筋と咽頭収縮筋及び支配神経を理解している。
A-3-2-13	喉頭の基本構造、喉頭内筋及び分布する神経を理解している。
A-3-2-14	発声と構音に関わる器官の構造と機能を理解している。
A-3-2-3	頭頸部を構成する筋を理解している。
A-3-2-4	吸啜、咀嚼、嚥下機能を担う筋の構造と機能、支配神経を理解している。
A-3-2-6	頭頸部の脳神経の走行と分布、核の局在、線維構成、神経節を理解している。
A-3-2-7	頭頸部の自律神経の走行と分布を理解している。
A-3-2-8	顎関節の構造と機能を理解している。
A-3-2-9	下顎の随意運動と反射を理解している。
A-3-3-1	口腔の区分と構成要素を理解している。
A-3-3-2	口唇と口腔粘膜の分類と特徴を理解している。
A-3-3-3	舌の構造と機能を理解している。

基礎歯科生理学II

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	小野 堅太郎						
担当教員	小野 堅太郎, 中富 千尋, 徐 嘉鍵						

コアカリキュラム	内容
A-3-3-4	軟口蓋の構造と機能を理解している。
A-3-3-5	歯列と咬合を理解している。
A-3-3-6	唾液の性状、構成成分及び機能を理解している。
A-3-3-7	唾液腺の構造、機能及び分泌調節機序を理解している。
A-3-3-8	副鼻腔の構造、機能及び鼻腔との交通を理解している。
A-3-3-9	口腔、顎顔面領域の体性感覚と疼痛の発生機序及び制御機構を理解している。
A-3-4-5	歯髓の構造と機能を理解している。
A-3-4-7	歯周組織の構造と機能を理解している。

テキスト

タイトル	著者	出版社
基礎歯科生理学 第7版	岩田幸一ら 編	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
確認テスト+1回～4回の提出物（講義グラレコ最大8点）	50%
定期試験+8回～15回の提出物（講義グラレコ最大16点）	50%

その他

【オフィスアワー】学習内容に関する疑問・質問だけでなく、教科書や講義動画、小テストの間違いの指摘なども受け付ける。質問はメールで24時間で受け付ける。Teamsでのオンライン質問が必要な場合は、教員のスケジュールをOutlookカレンダーで確認の上、会議設定をしてもらえれば受け付ける（ただし、勤務時間に限る）。直接会って質問したい場合は、メールで事前にアポイントを取ること。できれば、複数名同時での質問を歓迎する。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	運動機能 I 運動ニューロン（10分）、脊髄反射（22分）、姿勢反射（9分）、運動性下行性伝導路（16分）について学ぶ。	講義	小野 堅太郎 中富 千尋 徐 嘉鍵	【事前・事後学修】 教科書 P. 221～ P. 245	Moodle

基礎歯科生理学II

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	小野 堅太郎						
担当教員	小野 堅太郎, 中富 千尋, 徐 嘉鍵						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	運動機能Ⅱ、高次脳機能Ⅰ 運動野、大脳基底核、小脳（17分）、大脳皮質の機能局在（18分）、学習、記憶、情動（18分）について学ぶ。	講義	小野 堅太郎 中富 千尋 徐 嘉鍵	【事前・事後学修】 教科書 P. 221～ P. 278	Moodle
3	高次脳機能Ⅱ、自律機能Ⅰ 睡眠と覚醒（15分）、言語（16分）、自律神経遠心路（23分）について学ぶ。	講義	小野 堅太郎 中富 千尋 徐 嘉鍵	【事前・事後学修】 教科書 P. 246～ P. 294	Moodle
4	自律機能Ⅱ 自律神経系の受容体（16分）、自律神経求心路と自律神経反射（12分）、自律神経上位中枢としての視床下部（17分）について学ぶ。	講義	小野 堅太郎 中富 千尋 徐 嘉鍵	【事前・事後学修】 教科書 P. 279～ P. 294	Moodle
5	復習① 生理学総論～呼吸について復習する。生理学I（前期）本試験合格者はオンライン、不合格者（再試験受験者）は講義室で受講	講義	小野 堅太郎 中富 千尋 徐 嘉鍵	【事前・事後学修】 教科書 P. 002～ P. 102	Moodle 301講義室
6	復習② 体温～自律機能について復習する。生理学I（前期）本試験合格者はオンライン、不合格者（再試験受験者）は講義室で受講	講義	小野 堅太郎 中富 千尋 徐 嘉鍵	【事前・事後学修】 教科書 P. 103～ P. 220	Moodle 301講義室
7	確認テスト（第1回から第4回までの内容[60点]と前期科目である基礎歯科生理学Ⅰ（生理1）全範囲[40点]の試験を行う。第8回以降の範囲は定期テストで行う。再試験の範囲は全範囲となる。）	テスト	小野 堅太郎 中富 千尋 徐 嘉鍵	【事前・事後学修】 教科書 P. 002～ P. 294	コンピュータ演習室
8	口腔生理学総論、顎・口腔・顔面の体性感覚 口腔生理学総論、口腔顔面領域の体性感覚（26分）、口腔顔面痛（20分）について学ぶ。	講義	小野 堅太郎 中富 千尋 徐 嘉鍵	【事前・事後学修】 教科書 P. 296～ P. 321	Moodle
9	味覚、嗅覚 質受容機構（27分）、味覚伝導路、味覚検査（15分）、嗅覚（19分）について学ぶ。	講義	小野 堅太郎 中富 千尋 徐 嘉鍵	【事前・事後学修】 教科書 P. 322～ P. 355	Moodle

基礎歯科生理学II

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	小野 堅太郎						
担当教員	小野 堅太郎, 中富 千尋, 徐 嘉鍵						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
10	顎運動、舌・口唇・頬・顔面運動 下顎位（5分）、下顎運動（13分）、 下顎限界運動、下顎の位置感覚（11分）、 顎反射と咀嚼野（18分）、 口腔顔面の運動（9分）について学ぶ。	講義	小野 堅太郎 中富 千尋 徐 嘉鍵	【事前・事後学修】 教科書 P. 356～ P. 378	Moodle
11	咀嚼 咀嚼能力の評価（29分）、 咀嚼運動の調節（21分）、 咀嚼調節（21分）について学ぶ。	講義	小野 堅太郎 中富 千尋 徐 嘉鍵	【事前・事後学修】 教科書 P. 379～ P. 399	Moodle
12	嚥下 嚥下運動（20分）、 嚥下の神経機構（12分）、 嚥下と関連する機構（11分） について学ぶ。	講義	小野 堅太郎 中富 千尋 徐 嘉鍵	【事前・事後学修】 教科書 P. 400～ P. 412	Moodle
13	吸啜、嘔吐、唾液・唾液腺 I 吸啜（14分）、嘔吐（13分）、 唾液腺の構造（24分） について学ぶ。	講義	小野 堅太郎 中富 千尋 徐 嘉鍵	【事前・事後学修】 教科書 P. 413～ P. 441	Moodle
14	唾液・唾液腺 II 唾液分泌機構（ 35分）、唾液中の性状・機能・ 口腔疾患（21分） について学ぶ。	講義	小野 堅太郎 中富 千尋 徐 嘉鍵	【事前・事後学修】 教科書 P. 426～ P. 441	Moodle
15	発声と構音 発声（20分）、 構音（10分）、 発声・構音の中枢性制御機構（14分） について学ぶ。	講義	小野 堅太郎 中富 千尋 徐 嘉鍵	【事前・事後学修】 教科書 P. 442～ P. 462	Moodle

細胞分子情報学I

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	古株 彰一郎						
担当教員	古株 彰一郎, 松原 琢磨, Addison William						

授業の概要

ヒトの体は約60兆個の細胞から成り立っている。ヒトを対象とした歯科医学のさまざまな領域を理解する上で、生命科学の基本的な知識を理解することは必須である。細胞分子情報学Iでは、人体諸器官の構造および生理機能とその機序を理解し、生命現象の最小単位である細胞が生命現象を営む「しくみ」と分子生物学の基礎事項を解説する。

学生の到達目標

- ①細胞膜、核および細胞内小器官の構造と機能を説明できる。
- ②アミノ酸とタンパク質の構造、機能および代謝を説明できる。
- ③糖質の構造、機能および代謝を説明できる。
- ④脂質の構造、機能および代謝を説明できる。
- ⑤核酸・ポルフィリンの構造、機能および代謝を説明ができる。
- ⑥酵素の機能ならびにビタミンや補酵素の主な働きを説明できる。
- ⑦遺伝子（染色体）の構造とセントラルドグマを説明できる。
- ⑧DNAの複製と修復の機序を説明できる。
- ⑨転写と転写調節ならびに翻訳の機序を説明できる。
- ⑩細胞外マトリクスの構造や主な機能を説明できる。
- ⑪細胞情報伝達機構について説明できる。
- ⑫細胞周期や発がん機構について説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
C-1-1)-①	原子と生体を構成する元素を説明できる。
C-1-1)-②	分子の成り立ち及び生体構成分子に関する化学的性質を説明できる。
C-2-1)-①	アミノ酸とタンパク質の構造、機能及び代謝を説明できる。
C-2-1)-②	糖質の構造、機能及び代謝を説明できる。
C-2-1)-③	脂質の構造、機能及び代謝を説明できる。
C-2-1)-④	生体のエネルギー産生と利用を説明できる。
C-2-1)-⑤	酵素の機能と主な代謝異常を説明できる。
C-2-2)-①	核酸、遺伝子及び染色体の構造と機能を説明できる。
C-2-2)-②	デオキシリボ核酸(DNA)複製と修復の機序を説明できる。
C-2-3)-①	真核細胞の全体像と細胞膜、核、細胞小器官及び細胞骨格の構造と機能を説明できる。
C-2-3)-③	細胞周期と細胞分裂を説明できる。
C-2-3)-④	細胞死の種類と基本的機序を説明できる。
C-2-4)-①	細胞接着の機構を説明できる。
C-3-4)-②)-③	骨と軟骨の組織構造と構成する細胞を説明できる。
C-3-4)-②)-④	骨発生（軟骨内骨化と膜内骨化）、骨成長及びリモデリングの機序と調整機構を説明できる

細胞分子情報学I

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	古株 彰一郎						
担当教員	古株 彰一郎, 松原 琢磨, Addison William						

テキスト

タイトル	著者	出版社
スタンダード生化学・口腔生化学	池尾隆ほか 共著	学建書院

参考書

タイトル	著者	出版社
ビジュアル生化学・分子生物学	大塚吉兵衛 ほか共著	日本医事新報社
Essential細胞生物学	中村桂子ほか 監訳	南江堂

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

翌日（金曜日の場合は翌月曜日）朝8時30分までに課題を提出することで講義に出席したとみなされます。【オフィスアワー】質問等は随時メールで受け付けます。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	生命を構成する物質・細胞の構造と機能：元素、化学結合と分子、酸・塩基と緩衝作用、同位元素、細胞の基本構造と機能について学ぶ。	講義	古株 彰一郎	元素、化学結合、酸・塩基、緩衝作用、同位元素、細胞膜、核、細胞内小器官	301講義室 Moodle
2	化学反応と酵素：酵素の構造と機能、酵素の反応速度に与える因子、基質濃度と反応速度の関係、および酵素活性の調節機構について学ぶ。	講義	古株 彰一郎	酵素、基質特異性、反応速度、酵素活性	301講義室 Moodle
3	補酵素とビタミン：補酵素およびビタミンの種類・構造・機能について学ぶ。	講義	松原 琢磨	補酵素、水溶性ビタミン、脂溶性ビタミン、ビタミン欠乏症と過剰症	301講義室 Moodle

細胞分子情報学I

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	古株 彰一郎						
担当教員	古株 彰一郎, 松原 琢磨, Addison William						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
4	糖質：生体で機能する糖質およびその代謝について学ぶ。	講義	松原 琢磨	グルコース、デンプン、グリコーゲン、グリコサミノグリカン、解糖系、TCA回路、電子伝達系、ペントースリン酸回路、糖新生	301 講義室 Moodle
5	脂質：生体で機能する脂質およびその代謝について学ぶ。	講義	松原 琢磨	脂肪酸、グリセロール、リン脂質、ステロイド、コレステロール、リパーゼ、胆汁酸、 β 酸化、コレステロール	301 講義室 Moodle
6	タンパク質：生体で機能するタンパク質およびその代謝について学ぶ。	講義	松原 琢磨	タンパク質、アミノ酸、ペプチド、ペプチド結合、立体構造、変性、 α ケト酸、窒素化合物、尿素回路	301 講義室 Moodle
7	核酸とポルフィリン：生体で機能するタンパク質およびその代謝について学ぶ。	講義	古株 彰一郎	核酸、ヌクレオシド、ヌクレオチド、新生経路、サルベージ経路、プリン塩基、ピリミジン塩基、尿酸、痛風、ポルフィリン、ヘム、ヘモグロビン、ビリルビン、黄疸	301 講義室 Moodle
8	Genes and DNA replication and repair: Learn about genes, DNA, DNA replication, DNA repair, nucleic acid structure, central dogma, chromosomes, chromatin.	講義	Addison William	DNA, DNA replication, DNA repair, nucleic acid structure, central dogma, chromosomes, chromatin.	301 講義室 Moodle
9	遺伝子とDNAの複製・修復：遺伝子とDNA複製・修復核酸の構造、染色体、クロマチン、および遺伝子の複製・修復について学ぶ。	講義	松原 琢磨	遺伝子とDNA複製・修復核酸の構造、染色体、クロマチン、DNAの複製・修復	301 講義室 Moodle

細胞分子情報学I

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	古株 彰一郎						
担当教員	古株 彰一郎, 松原 琢磨, Addison William						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
10	遺伝子情報の転写、翻訳、修飾：遺伝子の転写、翻訳、修飾さらにタンパク質合成の機序について学ぶ。	講義	松原 琢磨	転写、翻訳、修飾、遺伝発現のしくみ、転写調節機構、タンパク質合成、セントラルドグマ	301 講義室 Moodle
11	Signal transduction: Learn about receptor-mediated mechanisms of intercellular signaling by hormones, growth factors, and cytokines.	講義	Addison William	Transcription, translation, modification, mechanism of genetic expression, transcriptional regulatory mechanisms, protein synthesis, central dogma	301 講義室 Moodle
12	細胞外マトリクス：コラーゲン、エラスチン、プロテオグリカンコラーゲン、エラスチン、プロテオグリカン、接着性タンパク質の構造と性質、組織分布について学ぶ。	講義	古株 彰一郎	細胞外マトリクス（細胞間質）、結合組織、コラーゲン、エラスチン、プロテオグリカン、接着性タンパク質、細胞外マトリックス、フィブロネクチン、ラミニン、インテグリン	301 講義室 Moodle
13	情報伝達機構：受容体を介するホルモン、成長因子およびサイトカインなどによる細胞間の情報伝達機構について学ぶ。	講義	古株 彰一郎	ホルモン、サイトカイン、細胞内シグナリング、成長因子、受容体	301 講義室 Moodle
14	細胞周期とがん：細胞周期の制御機構、発がんの制御機構について学ぶ。	講義	松原 琢磨	腫瘍、細胞周期、DNA損傷、がん遺伝子、がん抑制遺伝子	301 講義室 Moodle
15	最新科学特別講義：骨代謝領域で活躍する研究者を招聘し、最先端の基礎研究について学ぶ。	講義	古株 彰一郎	最新の基礎研究	301 講義室 Moodle

細胞分子情報学

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	古株 彰一郎						
担当教員	古株 彰一郎, 松原 琢磨, Addison William						

授業の概要

ヒトの体は約60兆個の細胞から成り立っている。ヒトを対象とした歯科医学のさまざまな領域を理解する上で、生命科学の基本を理解することは必須である。細胞分子情報学IIでは細胞分子情報学Iをさらに発展させ、より口腔顔面領域に焦点をあて、生命現象の最小単位である細胞が生命現象を営む「しくみ」と分子生物学の基礎事項を解説する。

学生の到達目標

- ① 歯・骨を構成する有機成分および無機成分ならびに石灰化のしくみを説明できる。
- ② 歯周組織を構成する細胞の種類とその機能を説明できる。
- ③ 血清カルシウム濃度の調節機構を説明できる。
- ④ 唾液の成分と機能について説明できる。
- ⑤ 老化と細胞死の分子機構ならびに遺伝子疾患の成り立ちとその種類を説明できる。
- ⑥ 血液検査、尿検査について説明できる。
- ⑦ 再生医療について説明できる。
- ⑧ がんの病態や治療法について説明できる。
- ⑨ 分子生物学実験手法や遺伝子工学について説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
C-2-2)-⑤	遺伝子解析や遺伝子工学技術を説明できる。
C-2-3)-④	細胞死の種類と基本的機序を説明できる。
C-3-3)-①	人体の老化の特性と機序及び寿命を概説できる。
C-3-3)-②	老化に伴う細胞、組織、器官及び個体の形態的・機能的な変化を概説できる。
C-3-4)-(1)-③	腺の構造と分布及び分泌機構を説明できる。
C-3-4)-(2)-②	結合（支持）組織の分類と構成する細胞と細胞間質を説明できる。
C-3-4)-(2)-③	骨と軟骨の組織構造と構成する細胞を説明できる。
C-3-4)-(2)-④	骨発生（軟骨内骨化と膜内骨化）、骨成長及びリモデリングの機序と調整機構を説明できる。
C-3-4)-(2)-⑤	硬組織の成分と石灰化の機序を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
スタンダード生化学・口腔生化学 第4版	池尾隆ほか共著	学建書院

参考書

タイトル	著者	出版社
ビジュアル生化学・分子生物学	大塚吉兵衛ほか共著	日本医事新報社
Essential細胞生物学	中村桂子ほか監訳	南江堂

細胞分子情報学

開講学科	歯学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	古株 彰一郎						
担当教員	古株 彰一郎, 松原 琢磨, Addison William						

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

翌日（金曜日の場合は翌月曜日）朝8時30分までに課題を提出することで講義に出席したとみなされます。【オフィスアワー】質問等は随時メールで受け付けます。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	歯・骨を構成する有機成分：骨、象牙質およびセメント質に共通な有機成分、他の結合組織にも存在する非コラーゲン性タンパク質、エナメル質および象牙質に特有の非コラーゲン性タンパク質の特徴と機能について学ぶ。	講義	古株 彰一郎	骨、象牙質、セメント質、コラーゲン、非コラーゲン性タンパク質、エナメルタンパク質	401講義室 Moodle
2	歯・骨を構成する無機成分：ハイドロキシアパタイトの結晶構造、特異な性質、エナメル質のアパタイトおよびエナメル質の無機成分の特徴について学ぶ。	講義	古株 彰一郎	ハイドロキシアパタイト、フッ素、微量元素	401講義室 Moodle
3	石灰化しくみ：骨の石灰化について押上げ説、エピタキシー説および基質小胞説について学習する。またエナメル質の石灰化について学ぶ。	講義	古株 彰一郎	石灰化、押上げ説、エピタキシー説、基質小胞説、エナメル質の石灰化	401講義室 Moodle
4	Cells present in periodontal tissues (mainly bone): Learn about the cells that make up periodontal tissues, focusing on the functions of osteoblasts and odontoblasts.	講義	Addison William	Osteoblasts, osteoclasts, cementoblasts, mesenchymal stem cells, inflammatory cells, fibroblasts	401講義室 Moodle
5	歯周組織に存在する細胞：歯周組織を構成する細胞について骨芽細胞、歯骨細胞の機能を中心に学ぶ。	講義	松原 琢磨	骨芽細胞、破骨細胞、セメント芽細胞、間葉系幹細胞、炎症性細胞、線維芽細胞	401講義室 Moodle

細胞分子情報学

開講学科	歯学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	古株 彰一郎						
担当教員	古株 彰一郎, 松原 琢磨, Addison William						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
6	Serum calcium homeostasis: Learn the mechanism of regulation of serum calcium concentration	講義	Addison William	Calcitonin, parathyroid hormone, active Vitamin D, rickets, osteomalacia	401講義室 Moodle
7	血清カルシウムの恒常性：血清カルシウム濃度の調節機構を学ぶ。	講義	古株 彰一郎	カルシトニン、副甲状腺ホルモン、活性型ビタミンD、くる病、骨軟化症	401講義室 Moodle
8	唾液腺と唾液の生化学：唾液中に含まれる有機・無機成分の種類とその役割、生化学的性質について学ぶ。	講義	松原 琢磨	緩衝作用、抗脱灰作用、糖タンパク質、抗菌因子	401講義室 Moodle
9	う蝕・歯周病の生化学：歯科医療の代表的な対象疾患であるう蝕と歯周病を生化学・分子生物学的視点から学ぶ。	講義	古株 彰一郎	う蝕、歯周病、炎症性サイトカイン	401講義室 Moodle
10	老化と生活習慣病の生化学：老化と細胞死の分子機構および生活習慣病の成因について学ぶ。	講義	古株 彰一郎	老化・アポトーシス・ネクローシス・生活習慣病・メタボリックシンドローム	401講義室 Moodle
11	遺伝子と疾患の生化学：遺伝子疾患の成り立ちとその種類や病態について学ぶ。	講義	古株 彰一郎	染色体異常症、常染色体遺伝、伴性遺伝、先天性代謝異常症、先天性内分泌疾患、奇形症候群	401講義室 Moodle
12	血液検査・尿検査：臨床で頻用される血液・尿検査について学ぶ。	講義	松原 琢磨	血液生化学検査、尿化学検査、逸脱酵素、アシドーシス、アルカローシス	401講義室 Moodle
13	再生医学：再生医療の実際について学ぶ。	講義	松原 琢磨	幹細胞、足場、成長因子、ES細胞、iPS細胞	401講義室 Moodle

細胞分子情報学

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	古株 彰一郎						
担当教員	古株 彰一郎, 松原 琢磨, Addison William						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
14	がんの生化学：がんの病態（増殖・浸潤・転移）、治療法、抗がん薬について学ぶ。	講義	古株 彰一郎	多段階発がん、細胞老化、浸潤、転移、抗がん剤、分子標的薬	401講義室 Moodle
15	分子生物学と遺伝子工学：DNA、RNA、タンパク質の定量法や代表的な遺伝子工学の手法について学ぶ。	講義	松原 琢磨	ウェスタンブローディング、PCR、クローニング、GFP、遺伝子組み換え動物	401講義室 Moodle

運動器系形態学

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	瀬田 祐司						
担当教員	瀬田 祐司, 豊野 孝, 片岡 真司, 松山 佳永						

授業の概要

動物の器官系の1つである運動器系は、体を支える骨格と、運動を可能にする筋から構成されている。運動器系形態学では運動器系に属する骨と筋について、主に構造について解説する。

学生の到達目標

- ①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。
- ②骨の基本構造と結合様式を説明できる。
- ③骨格筋の構造と機能を説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-1-4-1	真核細胞の全体像と細胞膜、核、細胞小器官及び細胞骨格の構造と機能を理解している。
A-1-4-4	細胞周期、細胞分裂及び主な細胞分化のしくみを理解している。
A-1-4-5	細胞死の種類と基本的機序を理解している。
A-1-5-1	細胞接着の機構を理解している。
A-3-1-1-1	上皮組織の形態、機能及び分布を理解している。
A-3-1-1-3	腺の構造、分布及び分泌機構を理解している。
A-3-1-2-2	結合(支持)組織の分類、構成する細胞と細胞間質を理解している。
A-3-1-2-3	骨と軟骨の組織構造と構成する細胞を理解している。
A-3-1-3-1	筋組織の分類と分布を理解している。
A-3-1-3-2	筋細胞の構造と筋収縮の機序を理解している。
A-3-1-3-3	全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を理解している。

テキスト

タイトル	著者	出版社
分冊解剖学アトラス 第6版 I 運動器	平田幸男 訳	文光堂
標準組織学 総論	藤田恒夫、 藤田尚男	医学書院

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

【オフィスアワー】月～金曜日、随時受け付ける。原則として時間予約を電話かメールにて行うこと。

運動器系形態学

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	瀬田 祐司						
担当教員	瀬田 祐司, 豊野 孝, 片岡 真司, 松山 佳永						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	解剖学総論 人体の構成、身体の区分、身体の方 向用語について学ぶ。	講義	松山 佳永	【キーワード】人体 の階層性、人体の区 分、基準面	301 講義 室 Moodle
2	細胞学総論 細胞の微細構造と機能、細胞の分 泌・吸収機構、細胞死の基本的機 序について学ぶ。	講義	松山 佳永	【キーワード】細胞 の基本構造、細胞小 器官、細胞周期、細 胞死	301 講義 室 Moodle
3	上皮組織 上皮の形態的および機能的分類、 腺の構造について学ぶ。	講義	松山 佳永	【キーワード】上皮 組織、腺	301 講義 室 Moodle
4	支持組織 支持組織の線維要素と細胞要素に ついて学ぶ。	講義	松山 佳永	【キーワード】支持 組織、線維の分類、 線維性結合組織	301 講義 室 Moodle
5	骨学総論・関節 骨を構成する細胞、骨の基本構造 、機能ならびに関節の構造につい て学ぶ。	講義	豊野 孝	関節軟骨・関節円板 ・滑膜・ハバース層 板・ハバース管 「分冊解剖学アトラ ス 第6版 I 運動器 」 骨学総論	301 講義 室 Moodle
6	骨学各論 1 (脊椎・胸郭) 脊椎・胸郭。脊椎の基本構造、種 類、および胸郭を構成する骨とそ の特徴を学ぶ。	講義	豊野 孝	椎体・椎弓・椎孔・ 真肋・肋骨溝 「分冊解剖学アトラ ス 第6版 I 運動器 」 体幹 脊柱、胸 郭	301 講義 室 Moodle
7	骨学各論 2 (上肢・下肢) 上肢・下肢、を構成する骨の形態 的特徴とその機能について学ぶ。	講義	豊野 孝	肩関節・回旋筋腱板 ・上橈尺関節・回内 ・臼関節 「分冊解剖学アトラ ス 第6版 I 運動器 」 上肢、下肢	301 講義 室 Moodle
8	骨学各論 3 (頭蓋-1) 頭蓋を構成する骨の特徴と機能に ついて学ぶ。	講義	豊野 孝	内頭蓋底・外頭蓋底 ・蝶形骨・側頭骨・ 後頭骨 「分冊解剖学アトラ ス 第6版 I 運動器 」 頭・頸部	301 講義 室 Moodle

運動器系形態学

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	瀬田 祐司						
担当教員	瀬田 祐司, 豊野 孝, 片岡 真司, 松山 佳永						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
9	骨学各論 4 (頭蓋-2) 口腔に関連する骨の特徴と機能について学ぶ。	講義	豊野 孝	副鼻腔・上顎骨・下顎骨・翼口蓋窩 「分冊解剖学アトラス 第6版 I 運動器」 頭・頸部	301 講義室 Moodle
10	筋学総論	講義	片岡 真司	筋学総論 「分冊解剖学アトラス 第6版 I 運動器」	301 講義室 Moodle
11	筋学各論 1 (頭頸部)	講義	片岡 真司	頭頸部の筋 「分冊解剖学アトラス 第6版 I 運動器」	301 講義室 Moodle
12	筋学各論 2 (体幹)	講義	片岡 真司	体幹の筋 「分冊解剖学アトラス 第6版 I 運動器」	301 講義室 Moodle
13	筋学各論 3 (上肢)	講義	片岡 真司	上肢の筋 「分冊解剖学アトラス 第6版 I 運動器」	301 講義室 Moodle
14	筋学各論 4 (下肢)	講義	片岡 真司	下肢の筋 「分冊解剖学アトラス 第6版 I 運動器」	301 講義室 Moodle
15	筋組織	講義	瀬田 祐司	「標準組織学 総論」 第6版 8章	301 講義室 Moodle

循環器系・神経系形態学

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	瀬田 祐司						
担当教員	瀬田 祐司, 豊野 孝, 片岡 真司, 松山 佳永						

授業の概要

神経系・感覚器系は人体にとって、環境に対応するために重要な働きを演じている。また、循環器系は人体を構成する細胞へ酸素・栄養を供給し、老廃物を運搬している。
本講義では、神経系・感覚器系・循環器系を構成する臓器について、主に構造について解説する。

学生の到達目標

- ①神経系の構造と機能を説明できる。
- ②感覚器系の構造と機能を説明できる。
- ③循環器系の構造と機能を説明できる。
- ④血液、造血器、リンパ性器官について説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-3-1-4-1	心臓の構造、発生、機能及び心電図波形を理解している。
A-3-1-4-2	血液循環(肺循環、体循環及び胎児循環)の経路と主要な動静脈の名称を理解している。
A-3-1-4-3	血管の構造と神経支配を理解している。
A-3-1-4-6	リンパ管とリンパ系組織、器官の構造と機能を理解している。
A-3-1-5-1	末梢神経系の種類、走行及び支配領域を理解している。
A-3-1-5-2	体性神経系の構造と機能を理解している。
A-3-1-5-3	自律神経系(交感神経系と副交感神経系)の構造と機能を理解している。
A-3-1-5-4	中枢神経系(高次脳、脳幹、脊髄)の構造と機能(運動機能、感覚機能、高次神経機能、自律機能)及び脳血管の分布を理解している。
A-3-1-5-6	ニューロンとグリアの構造と機能を理解している。
A-3-1-6-1	特殊感覚器の構造と特殊感覚を理解している。
A-3-1-6-2	体性感覚の受容器の構造と機能を理解している。
A-3-2-5	頭頸部の脈管系の走行と分布を理解している。
A-3-2-6	頭頸部の脳神経の走行と分布、核の局在、線維構成、神経節を理解している。
A-3-2-7	頭頸部の自律神経の走行と分布を理解している。

テキスト

タイトル	著者	出版社
標準組織学 総論・各論	藤田恒夫、 藤田尚男	医学書院

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

循環器系・神経系形態学

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	瀬田 祐司						
担当教員	瀬田 祐司, 豊野 孝, 片岡 真司, 松山 佳永						

その他

【オフィスアワー】月～金曜日、随時受け付ける。原則として時間予約を電話かメールにて行うこと。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	神経学総論 神経系の構成・神経細胞（ニューロン）・神経膠細胞（グリア細胞）・脊髄の構造について学ぶ。	講義	松山 佳永	【キーワード】 神経系、神経細胞、神経膠細胞、脊髄、白質、灰白質	301 講義室 Moodle
2	脳幹 脳幹の構造と機能について学ぶ。	講義	松山 佳永	【キーワード】 脳の区分、白質、灰白質、神経核、中脳、橋、延髄	301 講義室 Moodle
3	間脳・小脳 間脳と小脳の構造と機能について学ぶ。	講義	松山 佳永	【キーワード】 小脳脚、視床、視床下部、松果体	301 講義室 Moodle
4	終脳 終脳（左右の大脑半球）の構造と機能について学ぶ。	講義	松山 佳永	【キーワード】 脳の区分、大脑回、大脑溝、機能局在、大脑基底核	301 講義室 Moodle
5	伝導路・髄膜・脳室系	講義	片岡 真司	脳の機能、髄膜、脳脊髄液系「分冊解剖学アトラスⅢ（神経系と感覚器）」第6版	301 講義室 Moodle
6	脳神経	講義	片岡 真司	脳神経「分冊解剖学アトラスⅢ（神経系と感覚器）」第6版	301 講義室 Moodle
7	脊髄神経	講義	片岡 真司	脊髄神経「分冊解剖学アトラスⅢ（神経系と感覚器）」第6版	301 講義室 Moodle

循環器系・神経系形態学

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	瀬田 祐司						
担当教員	瀬田 祐司, 豊野 孝, 片岡 真司, 松山 佳永						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
8	自律神経	講義	片岡 真司	植物神経系「分冊解剖学アトラスⅢ（神経系と感覚器）」第6版	301講義室 Moodle
9	感覚器官1（聴・平衡感覚器、嗅覚器、皮膚感覚器）	講義	瀬田 祐司	「標準組織学 各論」第6版 15・17・18章	301講義室 Moodle
10	感覚器官2（視覚器、味覚器）	講義	瀬田 祐司	「標準組織学 各論」第6版 16・18章	301講義室 Moodle
11	脈管学総論	講義	片岡 真司	循環器系「分冊解剖学アトラスⅡ（内臓）」第6版	301講義室 Moodle
12	心臓	講義	片岡 真司	心臓「分冊解剖学アトラスⅡ（内臓）」第6版	301講義室 Moodle
13	動脈	講義	片岡 真司	動脈「分冊解剖学アトラスⅡ（内臓）」第6版	301講義室 Moodle
14	静脈	講義	片岡 真司	静脈「分冊解剖学アトラスⅡ（内臓）」第6版	301講義室 Moodle
15	リンパ系と胎児循環	講義	片岡 真司	リンパ系、胎児循環「分冊解剖学アトラスⅡ（内臓）」第6版	301講義室 Moodle

A)基礎生命科学実習I

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	18	単位数	0.5
科目責任者	福泉 隆喜						
担当教員	福泉 隆喜, 吉野 賢一, 中富 千尋, 永松 有紀						

授業の概要

本実習では、凝集反応によるABO式及びRh式血液型判定、デンタルプラークの培養による齲蝕活動性試験、pH指示薬を用いた唾液緩衝能試験、イムノクロマトグラフィー法を用いた唾液潜血試験、基質ディスクを用いたN-ベンゾイル-DL-アルギニルペプチダーゼ酵素活性測定などの臨床検査法とその反応機序を学ぶ。本実習を通じて、基本的実験手技を習得したうえで、口腔感染症のリスクへの認識を深める。また、実習結果をレポートにまとめることで、科学的文章の組み立て方を習得する。

学生の到達目標

- ①凝集反応の原理と血液型判定の意義を理解する。
- ②デンタルプラークの組成とカリエスリスクテストの意義を理解する。
- ③唾液の基本的な性質を理解する。
- ④イムノクロマトグラフィー法の原理と唾液潜血検査の意義を理解する。
- ⑤トリプシン様酵素活性試験の意義を理解する。
- ⑥実験の目的と原理を理解し、問題点を論理的に整理し、自ら解決法を導くことができる。
- ⑦実習結果を科学的文章や図表として表現することができる。
- ⑧歯科医学を支える研究に対して、自らの考えを表現することができる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-1-3-1	メンデルの法則や遺伝子型と表現型の関係を理解している。
A-4-1-2	細菌、ウイルス、真菌及び原虫のヒトに対する感染機構と病原性を理解している。
A-4-1-3	細菌、ウイルス、真菌及び原虫による感染症の種類、予防、診断及び治療を理解している。
A-4-2-2	獲得免疫を担当する細胞の種類と機能を理解している。
C-2-1	講義、国内外の教科書や文献、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出、統合し、客観的、批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。
C-2-3	必要な課題を自ら発見し、重要性や必要性に照らして順位付けできる。
C-2-4	課題の解決にあたり、他の学修者や教員と協力してよりよい解決方法を見出し、自ら課題を解決できる。
D-2-3-1	臨床検査の目的と適応を理解している。
D-3-2-1	齲蝕とその他の歯の硬組織疾患(Tooth Wear(歯の損耗)、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症、歯の亀裂・破折、歯の形成不全、歯の形態異常)の病因と病態を理解している。
D-3-2-3	歯周疾患の病因と病態を理解している。
D-3-2-4	口腔細菌、プラーク(口腔バイオフィルム)及び歯石を理解している。

A) 基礎生命科学実習I

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	18	単位数	0.5
科目責任者	福泉 隆喜						
担当教員	福泉 隆喜, 吉野 賢一, 中富 千尋, 永松 有紀						

テキスト

タイトル	著者	出版社
基礎生命科学実習 I 実習書		オリエンテーション時に配付

成績評価方法・基準

評価項目	割合
事前レポート	40%
実習レポート	60%

その他

(学習相談) 相談は随時受け付け可能なので、必要に応じて、福泉まで連絡すること。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	オリエンテーション実習書の配付、指導教員紹介、実習全体の説明、注意事項の伝達など	実習	福泉 隆喜 吉野 賢一		301 講義室
2, 3	血液型判定 検査用抗体を用いた凝集反応によってABO式及びRh式血液型判定を行う。これにより、凝集反応の原理と血液型判定の意義を理解する。	実習	福泉 隆喜 吉野 賢一 永松 有紀 中富 千尋	凝集反応の原理と血液型判定の意義	51 実習室
4, 5	齶蝕活動性試験、唾液緩衝能試験 デンタルプラークの培養による齶蝕活動性試験、pH指示薬を用いた唾液緩衝能試験を行う。これにより、デンタルプラークの組成とカリエスリスクテストの意義、唾液の基本的な性質を理解する。	実習	福泉 隆喜 吉野 賢一 永松 有紀 中富 千尋	デンタルプラークの組成とカリエスリスクテストの意義、唾液の基本的な性質	51 実習室
6, 7	唾液潜血試験 イムノクロマトグラフィー法を用いた唾液潜血試験を行う。これにより、イムノクロマトグラフィー法の原理と唾液潜血検査の意義を理解する。	実習	福泉 隆喜 吉野 賢一 永松 有紀 中富 千尋	イムノクロマトグラフィー法の原理と唾液潜血検査の意義	51 実習室

A) 基礎生命科学実習I

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	18	単位数	0.5
科目責任者	福泉 隆喜						
担当教員	福泉 隆喜, 吉野 賢一, 中富 千尋, 永松 有紀						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
8,9	トリプシン様酵素活性試験 N-ベンゾイル-アルギニル-β-ナフチルアミド (BANA) を含む基質ディスクを用いたN-ベンゾイル-DL-アルギニルペプチダーゼの酵素活性の測定を行う。これにより、トリプシン様酵素活性の測定原理と歯周病原性細菌検査の意義を理解する。	実習	福泉 隆喜 吉野 賢一 永松 有紀 中富 千尋	トリプシン様酵素活性の測定原理と歯周病原性細菌検査の意義	5 1 実習室

A) 基礎生命科学実習II

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	18	単位数	0.5
科目責任者	吉野 賢一						
担当教員	吉野 賢一, 矢田 直美, 東 泉, 小野 堅太郎, 福泉 隆喜, 中富 千尋						

授業の概要

本実習では、生物学の基本的知識と手技を学ぶ。光学顕微鏡の基本機能と光学系構成について理解したうえで、生命維持に必要な細胞の構造や機能について学習する。また、動物を解剖、肉眼観察することにより、機能を反映した各臓器の形態および位置関係を理解する。

学生の到達目標

- ①光学顕微鏡により標本の拡大像を作ることができる。
- ②体細胞分裂について説明できる。
- ③口腔上皮細胞および真正細菌について説明できる。
- ④赤血球と白血球の構造と機能について説明できる。
- ⑤動物の消化器系、泌尿器系および生殖器系の構造と機能を説明できる

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A	生命科学/生命現象の基本的知識並びに病因や病態解析に必要な知識を修得し、医療の提供や発展に必要な考え方を身に付ける。
A-1-4-1	真核細胞の全体像と細胞膜、核、細胞小器官及び細胞骨格の構造と機能を理解している。
A-1-4-4	細胞周期、細胞分裂及び主な細胞分化のしくみを理解している。
A-2-1-4	消化器系、呼吸器系、泌尿生殖器系、内分泌系、循環器系及び神経系の各器官の形成過程を理解している。

テキスト

タイトル	著者	出版社
基礎生命科学実習II 実習書 (オリエンテーション時及び研究紹介時に配布)		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	100%

その他

(学習相談) 相談は吉野が随時受け付ける。したがって、必要に応じて吉野まで連絡すること。

A)基礎生命科学実習II

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	18	単位数	0.5
科目責任者	吉野 賢一						
担当教員	吉野 賢一, 矢田 直美, 東 泉, 小野 堅太郎, 福泉 隆喜, 中富 千尋						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	オリエンテーション 実習書の配布、指導員紹介、実習全体の説明や注意事項など	実習	吉野 賢一 矢田 直美 東 泉 小野 堅太郎 福泉 隆喜 中富 千尋		7 1 実習室 6 1 3 講義室
2, 3	顕微鏡の取り扱いと体細胞分裂 顕微鏡の基本構造と基本操作、体細胞分裂過程での染色体形成について学ぶ。	実習	吉野 賢一 矢田 直美 東 泉 小野 堅太郎 福泉 隆喜 中富 千尋	【事前学習課題】光学顕微鏡、体細胞分裂	7 1 実習室
4, 5	細胞の観察 ヒト口腔上皮細胞を用いた試料作成法、顕微鏡観察時のスケッチ法を学ぶ。	実習	吉野 賢一 矢田 直美 東 泉 小野 堅太郎 福泉 隆喜 中富 千尋	【事前学習課題】染色、細胞、細菌	7 1 実習室
6, 7	血球の観察 血液を用いた試料作成法、赤血球と白血球の構造について学ぶ。	実習	吉野 賢一 矢田 直美 東 泉 小野 堅太郎 福泉 隆喜 中富 千尋	【事前学習課題】赤血球、好中球、好酸球、好塩基球、単球、リンパ球	7 1 実習室
8, 9	マウス解剖 消化器系、泌尿器系および生殖器系の肉眼解剖学的知識を習得する。	実習	吉野 賢一 矢田 直美 東 泉 小野 堅太郎 福泉 隆喜 中富 千尋	【事前学習課題】消化器、泌尿器、生殖器	7 1 実習室

内臓系形態学

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	瀬田 祐司						
担当教員	瀬田 祐司, 豊野 孝, 片岡 真司, 松山 佳永						

授業の概要

内臓系形態学では、消化器系（歯の構造も含む）・内分泌系・消化器系・泌尿器系臓器の構造について、解剖学的・組織学的に講義する。

学生の到達目標

- ①消化器系の構造と機能を説明できる。
- ②呼吸器系の構造と機能を説明できる。
- ③泌尿器系の構造と機能を説明できる。
- ④内分泌系について説明できる。
- ⑤歯（含：乳歯、幼若永久歯）の硬組織の構造と機能を説明できる。
- ⑥歯髓の構造と機能を説明できる。
- ⑦歯周組織の発生、構造および機能を説明できる。
- ⑧口腔粘膜の特徴を部位ごとに説明できる。
- ⑨舌の構造と機能を説明できる。
- ⑩歯の形態と特徴を説明できる。
- ⑪咬頭分化（仮説）を概説できる。
- ⑫歯の方向の用語と歯の部位の用語を正確に用いることができる。
- ⑬歯種別の形態と特徴を説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
C-3-4)-(10)-①	腎臓、尿管、膀胱及び尿道の構造と機能を説明できる。
C-3-4)-(7)-①	消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。
C-3-4)-(7)-②	肝臓の構造と機能及び胆汁と胆道系を説明できる。
C-3-4)-(7)-③	膵臓（外分泌部と内分泌部）の構造と機能を説明できる。
C-3-4)-(8)-①	気道系の構造と機能を説明できる。
C-3-4)-(8)-②	肺の構造・機能と呼吸運動を説明できる。
C-3-4)-(9)-①	内分泌器官・組織の構造と機能及びホルモンの種類、作用と異常を説明できる。
C-3-4)-(9)-②	恒常性維持と内分泌系・神経系の機能相関を説明できる。
E-2-2)-①	口腔の区分と構成要素を説明できる。
E-2-2)-②	口唇と口腔粘膜の分類と特徴を説明できる。
E-2-2)-③	舌の構造と機能を説明できる。
E-3-1)-④	歯（乳歯、根未完成歯、幼若永久歯を含む）の硬組織の構造、機能及び構成成分を説明できる。
E-3-1)-⑤	歯髓の構造と機能を説明できる。
E-3-1)-⑥	歯周組織の発生、構造及び機能を説明できる。

内臓系形態学

開講学科	歯学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	瀬田 祐司						
担当教員	瀬田 祐司, 豊野 孝, 片岡 真司, 松山 佳永						

テキスト

タイトル	著者	出版社
口腔解剖学	脇田稔ら	医歯薬出版
標準組織学 総論・各論	藤田恒夫、 藤田尚男	医学書院
分冊解剖学アトラス 第6版 II 内臓	平田幸男 訳	文光堂
歯の解剖学	藤田恒太郎	金原出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

【オフィスアワー】月～金曜日、随時受け付ける。原則として時間予約を電話かメールにて行うこと。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	消化器Ⅰ 口腔から大腸までの消化器系の基本構造と機能について学ぶ。	講義	片岡 真司	消化器系の概説、咽頭、食道、胃、小腸、大腸「分冊解剖学アトラスⅡ（内臓）」：p142～p143、p168～p211	401講義室 Moodle
2	消化器Ⅱ 消化器以外の肝臓、胆嚢、膵臓の構造と機能について学ぶ。	講義	片岡 真司	肝臓、胆嚢、膵臓「分冊解剖学アトラスⅡ（内臓）」：p212～p227	401講義室 Moodle
3	消化器組織 消化器および肝臓、膵臓の微細構造と機能について学ぶ。	講義	片岡 真司	消化器Ⅰと消化器Ⅱで学習した器官の微細構造「分冊解剖学アトラスⅡ（内臓）」：p176、p190～p193、p198～p199、p204～205「標準組織学各論」：p118～p175	401講義室 Moodle

内臓系形態学

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	瀬田 祐司						
担当教員	瀬田 祐司, 豊野 孝, 片岡 真司, 松山 佳永						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
4	内分泌器官Ⅰ 下垂体・甲状腺・副甲状腺（上皮小体）の構造について学ぶ。	講義	瀬田 祐司	下垂体前葉・後葉・濾胞上皮・傍濾胞細胞 「標準組織学各論」 第5版 10・11章	401講義室 Moodle
5	内分泌器官Ⅱ 副腎・性腺・内分泌器官としての消化管・腎臓の構造について学ぶ。	講義	瀬田 祐司	副腎皮質・髄質・精巢・卵巣・傍糸球体細胞 「標準組織学各論」 第5版 8・9・12・13・14章	401講義室 Moodle
6	呼吸器Ⅰ 鼻腔、副鼻腔、咽頭、喉頭、気管、気管支、および肺についての構造と機能を学ぶ。	講義	豊野 孝	副鼻腔、気管支、線毛細胞「分冊解剖学アトラスⅡ（内臓）」第6版：p94-127, 「標準組織学 各論」呼吸器系	401講義室 Moodle
7	呼吸器Ⅱ 肺についての構造と機能を学ぶ。	講義	豊野 孝	肺胞、血液・空気関門、表面活性剤「分冊解剖学アトラスⅡ（内臓）」第6版：p94-127, 「標準組織学 各論」呼吸器系	401講義室 Moodle
8	泌尿器Ⅰ 腎臓、尿管、膀胱、尿道についての構造と機能を学ぶ。	講義	豊野 孝	ネフロン、腎小体、尿細管、血液・尿関門、糸球体傍装置「分冊解剖学アトラスⅡ（内臓）」第6版：p230-245, 「標準組織学 各論」泌尿器系	401講義室 Moodle
9	泌尿器Ⅱ 尿管、膀胱、尿道についての構造と機能を学ぶ。	講義	豊野 孝	移行上皮、膀胱三角、内・外尿道括約筋「分冊解剖学アトラスⅡ（内臓）」第6版：p230-245, 「標準組織学 各論」泌尿器系	401講義室 Moodle

内臓系形態学

開講学科	歯学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	瀬田 祐司						
担当教員	瀬田 祐司, 豊野 孝, 片岡 真司, 松山 佳永						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
10	歯解剖学総論 1 歯の方向用語、歯の部位の用語歯の表記法について学ぶ。	講義	瀬田 祐司	歯式・弯曲徴・隅角徴・歯根徴 「歯の解剖学」第2版： p. 1-34	401 講義室 Moodle
11	歯解剖学総論 2 歯種、歯列の咬合の特徴について学ぶ。	講義	瀬田 祐司	歯式・弯曲徴・隅角徴・歯根徴 「歯の解剖学」第2版： p. 1-34	401 講義室 Moodle
12	永久歯 1 前歯上下顎前歯（中切歯、側切歯、犬歯）についてそれぞれの歯の特徴的な構造や名称を学ぶ。	講義	瀬田 祐司	中切歯・側切歯・犬歯 「歯の解剖学」第2版： p. 35-59	401 講義室 Moodle
13	永久歯 2 小臼歯上下顎小臼歯についてそれぞれの歯の特徴的な構造や名称を学ぶ。	講義	瀬田 祐司	第1小臼歯・第2小臼歯・介在結節 「歯の解剖学」第2版： p. 59-78	401 講義室 Moodle
14	永久歯 3 大臼歯上下顎大臼歯についてそれぞれの歯の特徴的な構造や名称を学ぶ。	講義	瀬田 祐司	第1大臼歯・第2大臼歯・カラベリー結節・プロトスタイリッド 「歯の解剖学」第2版： p. 78-111	401 講義室 Moodle
15	乳歯 乳歯についてそれぞれの歯の特徴的な構造や名称を大臼歯と比較しながら学ぶ。	講義	瀬田 祐司	乳前歯・乳犬歯・乳臼歯・咬頭分化 「歯の解剖学」第2版： p. 137-158	401 講義室 Moodle

口腔解剖組織学

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	瀬田 祐司						
担当教員	瀬田 祐司, 豊野 孝, 片岡 真司, 松山 佳永						

授業の概要

歯科医学を習得するために必要な口腔と関連する頭頸部の諸組織についての構造・機能、そしてそれらの相互位置的関係について学習する。

学生の到達目標

- ①頭頸部を解剖学的に区分できる。
- ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。
- ③咀嚼筋・表情筋の構成と構造を説明できる。
- ④頭頸部の脈管系を説明できる。
- ⑤頭頸部の神経系を説明できる。
- ⑥三叉神経と顔面神経の走行と分布及び線維構成を説明できる。
- ⑦顎関節の構造と機能を説明できる。
- ⑧歯の生物学的特性を説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-2-4-5	口腔、顎顔面領域の成長と発育を理解している。
A-2-4-6	口腔、顎顔面の成長と発育異常及び不正咬合へ及ぼす影響を理解している。
A-2-4-7	加齢、歯の喪失に伴う顎骨と顎関節の形態変化を理解している。
A-2-4-8	歯、歯周組織、咀嚼機能、嚥下機能の加齢変化を理解している。
A-3-1-1-1	上皮組織の形態、機能及び分布を理解している。
A-3-1-1-2	皮膚と粘膜の基本的な構造と機能を理解している。
A-3-1-1-3	腺の構造、分布及び分泌機構を理解している。
A-3-1-2-1	人体の基本的な骨格系と骨の結合様式を理解している。
A-3-1-2-2	結合(支持)組織の分類、構成する細胞と細胞間質を理解している。
A-3-1-2-3	骨と軟骨の組織構造と構成する細胞を理解している。
A-3-1-3-1	筋組織の分類と分布を理解している。
A-3-1-3-3	全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を理解している。
A-3-1-4-2	血液循環(肺循環、体循環及び胎児循環)の経路と主要な動静脈の名称を理解している。
A-3-1-5-1	末梢神経系の種類、走行及び支配領域を理解している。
A-3-2-1	頭頸部の体表と内臓の区分と特徴を理解している。
A-3-2-16	扁桃の構造、分布及び機能を理解している。
A-3-2-2	頸部を構成する骨と関節を理解している。
A-3-2-3	頭頸部を構成する筋を理解している。
A-3-2-5	頭頸部の脈管系の走行と分布を理解している。
A-3-2-6	頭頸部の脳神経の走行と分布、核の局在、線維構成、神経節を理解している。
A-3-2-7	頭頸部の自律神経の走行と分布を理解している。
A-3-2-8	顎関節の構造と機能を理解している。
A-3-3-1	口腔の区分と構成要素を理解している。
A-3-3-2	口唇と口腔粘膜の分類と特徴を理解している。
A-3-3-7	唾液腺の構造、機能及び分泌調節機序を理解している。

口腔解剖組織学

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	瀬田 祐司						
担当教員	瀬田 祐司, 豊野 孝, 片岡 真司, 松山 佳永						

コアカリキュラム	内容
A-3-4-4	永久歯、乳歯、根未完成歯、幼若永久歯の硬組織の構成成分、構造及び機能を理解している
A-3-4-5	歯髄の構造と機能を理解している。
A-3-4-7	歯周組織の構造と機能を理解している。

テキスト

タイトル	著者	出版社
歯の解剖学	藤田恒太郎	金原出版
口腔組織・発生学	脇田稔ら	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

【オフィスアワー】月～金曜日、随時受け付ける。原則として時間予約を電話かメールにて行うこと。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	頭頸部の骨 口腔周囲を構成する骨の連結と機能について学ぶ。	講義	豊野 孝	口蓋突起・歯槽孔・オトガイ・翼口蓋窩・顎舌骨筋線 「分冊解剖学アトラスI 運動器 第6版」：頭・頸部	401講義室 Moodle
2	頭頸部の筋 咀嚼筋、表情筋、前頸筋の構成と機能について学ぶ。	講義	片岡 真司	頭頸部の筋 「口腔解剖学 第2版」：第11章 頭頸部の筋 p121-129 「分冊解剖学アトラスI 運動器 第6版」：p318-331	401講義室 Moodle

口腔解剖組織学

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	瀬田 祐司						
担当教員	瀬田 祐司, 豊野 孝, 片岡 真司, 松山 佳永						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
3	頭頸部の脈管 頭頸部の脈管系を学ぶ。	講義	片岡 真司	頭頸部の脈管 「口腔解剖学 第2版」：第13章 頭頸部の血管・リンパ系 p133-144 「分冊解剖学アトラスⅡ 内臓 第6版」：p46-p51、p68-71、p78-81	401講義室 Moodle
4	頭頸部の神経 頭頸部に分布する脳神経や脊髄神経の走行と機能について学ぶ。	講義	松山 佳永	三叉神経・顔面神経・舌咽神経・迷走神経・自律神経 「分冊解剖学第2巻」改訂第11版 P390~429、P473~496	401講義室 Moodle
5	顎関節 顎関節の構造と機能について学ぶ。	講義	片岡 真司	顎関節 「口腔解剖学 第2版」：第12章 顎関節 p130-132 「分冊解剖学アトラスⅠ 運動器 第6版」：p316-317	401講義室 Moodle
6	臨床解剖学 頭頸部の構造の復習と臨床との結びつきを学ぶ。	講義	瀬田 祐司	嚥下・筋膜隙・神経血管の走行 「口腔解剖学」 17・20・21章	401講義室 Moodle
7	舌・唾液腺・咽頭口腔内臓器（舌・唾液腺）・咽頭の構造について学ぶ。	講義	瀬田 祐司	固有口腔・口腔前庭・口峡・舌 「口腔解剖学」 p. 111-123	401講義室 Moodle
8	エナメル質の構造 1 顕微鏡で観察されるエナメル質の構造について学ぶ。	講義	瀬田 祐司	エナメル質・エナメル小柱・成長線 「口腔組織学・発生学」第2版： p. 50-77	401講義室 Moodle

口腔解剖組織学

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	瀬田 祐司						
担当教員	瀬田 祐司, 豊野 孝, 片岡 真司, 松山 佳永						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
9	エナメル質の構造 2 顕微鏡で観察されるエナメル質の構造について学ぶ。	講義	瀬田 祐司	エナメル質・エナメル小柱・成長線 「口腔組織学・発生学」第2版: p. 50-77	401 講義室 Moodle
10	象牙質・歯髄複合体 1-象牙質の構造顕微鏡で観察される象牙質の構造について学ぶ。	講義	瀬田 祐司	象牙質・象牙細管・球間区・球間網・第3象牙質 「口腔組織学・発生学」第2版: p. 85-110	401 講義室 Moodle
11	象牙質・歯髄複合体 2-歯髄の構造顕微鏡で観察される歯髄の構造について学ぶ。	講義	瀬田 祐司	歯髄・象牙芽細胞 「口腔組織学・発生学」第2版: p. 110-135	401 講義室 Moodle
12	歯周組織の構造 1-顕微鏡で観察されるセメント質・歯根膜の構造について学ぶ。	講義	瀬田 祐司	セメント質・セメント小体・歯根膜線維・マラッセの残存上皮 「口腔組織学・発生学」第2版: p. 141-160	401 講義室 Moodle
13	歯周組織の構造 2-顕微鏡で観察される歯槽骨・歯肉の構造について学ぶ。	講義	瀬田 祐司	固有歯槽骨・支持歯槽骨・歯肉溝・付着上皮 「口腔組織学・発生学」第2版: p. 160-173	401 講義室 Moodle
14	口腔粘膜の構造 顕微鏡で観察される口腔粘膜・唾液腺の構造について学ぶ。	講義	瀬田 祐司	咀嚼粘膜・裏層粘膜・特殊粘膜・舌乳頭・3大唾液腺 「口腔組織学・発生学」第2版: p. 264-289	401 講義室 Moodle
15	歯・歯根の異常形態、歯の鑑別	講義	瀬田 祐司	歯の鑑別法・歯の異常 「歯の解剖学」第2版: p. 113-136, 179-216	401 講義室 Moodle

解剖学実習

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	120	単位数	4
科目責任者	瀬田 祐司						
担当教員	瀬田 祐司, 豊野 孝, 片岡 真司, 松山 佳永, (非)児玉 淳						

授業の概要

解剖学実習はグループ学習である。1 献体を6人前後で協力して、人体の表層から最深部に向かって順に全身を解剖する。解剖された臓器の形態ならびに位置関係を詳細に観察するとともに、血管、神経の経路を理解する。また、骨格標本による骨学実習ならびに脳標本による脳実習をする。系統解剖実習を通して人体の内部構造に個人差があることを認識する。毎回の実習の剖出目標（最低限の課題）を完全に剖出するとともに、スケッチ課題、レポート課題を提出する。

学生の到達目標

- ①身体の部位を解剖学的に区別できる。
- ②身体の方角用語を正確に用いることができる。
- ③生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。
- ④骨の基本構造と結合様式を説明できる。
- ⑤心臓の構造と機能を説明できる。
- ⑥肺循環と体循環の2系統を説明できる。
- ⑦動脈、毛細血管および静脈の構造と血管系の役割を説明できる。
- ⑧主な動脈と静脈を列挙できる。
- ⑨リンパの循環路とリンパ節の構造と機能を説明できる。
- ⑩視覚器、聴覚・平衡感覚器の構造と機能を説明できる。
- ⑪嗅覚器、味覚器の構造と機能を説明できる。
- ⑫脳神経の種類、走行、線維構築および支配領域を説明できる。
- ⑬交感神経系と副交感神経系の構造と機能を説明できる。
- ⑭脳と脊髄の基本的構造と機能を説明できる。
- ⑮消化管（食道、胃、小腸、大腸）の基本構造と機能を説明できる。
- ⑯肝臓の構造と機能および胆汁の分泌を説明できる。
- ⑰気道系（鼻腔、副鼻腔、気管、気管支）の構造と機能を説明できる。
- ⑱肺臓の構造と機能を説明できる。
- ⑲各内分泌器官の構造と機能およびホルモンを説明できる。
- ⑳腎臓と尿路（尿管、膀胱、尿道）の構造と機能を説明できる。
- ㉑頭蓋骨の構成と構造を説明できる。
- ㉒咀嚼筋、表情筋、前頸筋の構成と機能を説明できる。
- ㉓頭頸部の脈管系を説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
D-2-1)-0	一般目標：身体の部位および方角用語について理解する。
D-2-1)-1	到達目標：①身体の部位を解剖学的に区別できる。
D-2-1)-2	到達目標：②身体の方角用語を正確に用いることができる。
D-2-3)-(02)-1	到達目標：①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。
D-2-3)-(02)-2	到達目標：②骨の基本構造と結合様式を説明できる。
D-2-3)-(02)-4	到達目標：④骨格筋の構造と機能を説明できる。【収縮の特徴と筋収縮の機序を含む。】
D-2-3)-(03)-1	到達目標：①心臓の構造と機能を説明できる。【心臓の刺激（興奮）伝導系、心筋の特徴、標準的心電図波形および心音を含む。】

解剖学実習

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	120	単位数	4
科目責任者	瀬田 祐司						
担当教員	瀬田 祐司, 豊野 孝, 片岡 真司, 松山 佳永, (非)児玉 淳						

コアカリキュラム	内容
D-2-3)-(03)-2	到達目標：②肺循環と体循環の2系統を説明できる。
D-2-3)-(03)-3	到達目標：③動脈、毛細血管および静脈の構造と血管系の役割を説明できる。
D-2-3)-(03)-5	到達目標：⑤主な動脈と静脈を列挙できる。
D-2-3)-(03)-6	到達目標：⑥リンパの循環路とリンパ節の構造と機能を説明できる。
D-2-3)-(04)-3	到達目標：③視覚器、聴覚・平衡感覚器の構造と機能を説明できる。
D-2-3)-(04)-4	到達目標：④嗅覚器、味覚器の構造と機能を説明できる。
D-2-3)-(05)-01	到達目標：①脳神経の種類、走行、線維構築および支配領域を説明できる。
D-2-3)-(05)-02	到達目標：②末梢神経系の機能分類（体性神経系と自律神経系）を説明できる。
D-2-3)-(05)-03	到達目標：③交感神経系の副交感神経系の構造と機能を説明できる。
D-2-3)-(05)-04	到達目標：④脳と脊髄の基本的構造と機能を説明できる。【主要な自律機能（呼吸、循環、体温）の調節中枢の働きを含む。】
D-2-3)-(06)-1	到達目標：①消化管（食道、胃、小腸、大腸）の基本構造と機能を説明できる。【平滑筋の特徴と消化管ホルモンの働きを含む。】
D-2-3)-(06)-2	到達目標：②肝臓の構造と機能および胆汁の分泌を説明できる。
D-2-3)-(06)-3	到達目標：③膵臓の外分泌腺と内分泌腺の特徴を説明できる。
D-2-3)-(07)-1	到達目標：①気道系（鼻腔、副鼻腔、気管、気管支）の構造と機能を説明できる。
D-2-3)-(07)-2	到達目標：②肺臓の構造と機能を説明できる。【内呼吸、外呼吸および呼吸運動の機序とその調節系を含む。】
D-2-3)-(08)-1	到達目標：①各内分泌器官の構造と機能およびホルモンを説明できる。【ホルモンの特徴と機能、内分泌系と神経系との機能相関を含む。】
D-2-3)-(09)-1	到達目標：①腎臓と尿路（尿管、膀胱、尿道）の構造と機能を説明できる。
D-2-3)-(10)-1	到達目標：①男性生殖器、女性生殖器の構造と機能を説明できる。
D-2-3)-(11)-1	到達目標：①リンパ性組織とリンパ性器官を説明できる。
F-2-1)-1	到達目標：①頭蓋骨の構成と構造を説明できる。
F-2-1)-2	到達目標：②咀嚼筋、表情筋、前頸筋の構成と機能を説明できる。
F-2-1)-3	到達目標：③頭頸部の脈管系を説明できる。
F-2-1)-4	到達目標：④三叉神経と顔面神経の走行と分布および線維構成を説明できる。
F-2-2)-2	到達目標：②舌の構造と機能を説明できる。
F-2-2)-5	到達目標：⑤唾液腺の構造と機能を説明できる。【分泌調節を含む。】

テキスト

タイトル	著者	出版社
解剖実習の手びき	寺田春水、 藤田恒夫	南山堂
骨学実習アトラス	高井省三	日本医事新報社

参考書

タイトル	著者	出版社
骨学実習の手びき	寺田春水、 藤田恒夫	南山堂
人体解剖カラーアトラス	佐藤達夫、 秋田恵一	南山堂

解剖学実習

開講学科	歯学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	120	単位数	4
科目責任者	瀬田 祐司						
担当教員	瀬田 祐司, 豊野 孝, 片岡 真司, 松山 佳永, (非)児玉 淳						

成績評価方法・基準

評価項目	割合
実習確認テスト	90%
スケッチ、レポート	10%

その他

【オフィスアワー】実習の前後、またはメール（随時）で受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1、2	解剖実習 1 人体骨格標本を用い頭蓋・椎骨・胸郭について観察するとともにスケッチを行う。	実習	瀬田 祐司 豊野 孝 片岡 真司 松山 佳永	頭蓋・椎骨・胸郭の骨	解剖棟
3、4	解剖実習 2 人体骨格標本を用い上肢・下肢について観察するとともにスケッチを行う。	実習	瀬田 祐司 豊野 孝 片岡 真司 松山 佳永	上肢骨・下肢骨	解剖棟
5、6	解剖実習 3 解剖実習 1, 2 について確認テストを行う。遺体の体表観察を行う。	実習	瀬田 祐司 豊野 孝 片岡 真司 松山 佳永	体表観察	解剖棟
7、8	解剖実習 4 剥皮、皮神経、上肢の剥皮を行い僧帽筋、広背筋と皮神経の剖出と観察を行う。	実習	瀬田 祐司 豊野 孝 片岡 真司 松山 佳永	僧帽筋、広背筋、皮神経	解剖棟
9、10	解剖実習 5 背部（僧帽筋、浅背筋）、殿部（大殿筋など）と下肢（大腿二頭筋、半腱様筋、半膜様筋など）と皮神経の剖出と観察を行う。	実習	瀬田 祐司 豊野 孝 片岡 真司 松山 佳永	背部（僧帽筋、浅背筋）、殿部（大殿筋など）と下肢（大腿二頭筋、半腱様筋、半膜様筋など）	解剖棟
11、12	解剖実習 6 腹部、胸部の剥皮、皮神経の剖出と観察を行う。	実習	瀬田 祐司 豊野 孝 片岡 真司 松山 佳永	腹部、胸部の皮神経	解剖棟
13、14	解剖実習 7 頸部（広頸筋など）、胸部（大胸筋など）、腹部の筋の剖出と観察を行う。[スケッチ] 頸部浅層	実習	瀬田 祐司 豊野 孝 片岡 真司 松山 佳永 (非)児玉 淳	頸部（広頸筋など）、胸部（大胸筋など）、腹部の筋	解剖棟

解剖学実習

開講学科	歯学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	120	単位数	4
科目責任者	瀬田 祐司						
担当教員	瀬田 祐司, 豊野 孝, 片岡 真司, 松山 佳永, (非)児玉 淳						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
15、16	解剖実習 8 上肢の屈筋（上腕二頭筋など）、下肢の伸筋（大腿四頭筋、縫工筋など）、腕神経叢の剖出と観察を行う。[スケッチ] 腕神経叢	実習	瀬田 祐司 豊野 孝 片岡 真司 松山 佳永	上肢の屈筋（上腕二頭筋など）、下肢の伸筋（大腿四頭筋、縫工筋など）、腕神経叢	解剖棟
17、18	解剖実習 9 固有背筋（最長筋など）、上肢の伸筋（上腕三頭筋）、後頭下筋等の剖出と観察を行う。[スケッチ] 後頭下三角周囲	実習	瀬田 祐司 豊野 孝 片岡 真司 松山 佳永	固有背筋（最長筋など）、上肢の伸筋（上腕三頭筋）、後頭下筋	解剖棟
19、20	解剖実習10 脊髄を取り出して観察する。殿部の深層（中殿筋、梨状筋など）、大腿・下腿後面（下腿三頭筋、アキレス腱）等の剖出と観察を行う。[スケッチ] 殿部の深層	実習	瀬田 祐司 豊野 孝 片岡 真司 松山 佳永	脊髄、殿部の深層（中殿筋、梨状筋など）、大腿・下腿後面（下腿三頭筋、アキレス腱）	解剖棟
21、22	解剖実習11 胸部（肋間筋など）、腹部（腹横筋など）および肺の剖出と観察を行う。[スケッチ] 肺	実習	瀬田 祐司 豊野 孝 片岡 真司 松山 佳永	胸部（肋間筋など）、腹部（腹横筋など）、肺	解剖棟
23、24	解剖実習12 心臓を取り出し心房、心室、僧帽弁、三尖弁、冠状動脈、冠状静脈動など）、および縦隔の深部の剖出と観察を行う。[スケッチ] 心臓	実習	瀬田 祐司 豊野 孝 片岡 真司 松山 佳永	心臓	解剖棟
25、26	解剖実習13 腹部の血管・神経（腹腔動脈、上・下腸間膜動脈、迷走神経、交感神経幹など）の剖出と観察を行う。[スケッチ] 腹腔動脈系	実習	瀬田 祐司 豊野 孝 片岡 真司 松山 佳永	腹部の血管・神経	解剖棟
27、28	解剖実習14 胃、空腸・回腸、結腸を取り出し、それぞれの臓器に特徴的な構造を観察する。	実習	瀬田 祐司 豊野 孝 片岡 真司 松山 佳永	胃、空腸・回腸、結腸	解剖棟
29、30	解剖実習15 解剖実習4-14について確認テストを行う。	実習	瀬田 祐司 豊野 孝 片岡 真司 松山 佳永	解剖実習4-14の項目	解剖棟

解剖学実習

開講学科	歯学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	120	単位数	4
科目責任者	瀬田 祐司						
担当教員	瀬田 祐司, 豊野 孝, 片岡 真司, 松山 佳永, (非)児玉 淳						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
31、 32	解剖実習16 肝臓、胆嚢、十二指腸、膵臓、脾臓を剖出し観察を行う。[スケッチ] 肝臓	実習	瀬田 祐司 豊野 孝 片岡 真司 松山 佳永	肝臓、胆嚢、十二指腸、膵臓、脾臓	解剖棟
33、 34	解剖実習17 腎臓、尿管、膀胱、食道、迷走神経、胸管などを剖出し観察を行う。[スケッチ] 腎臓	実習	瀬田 祐司 豊野 孝 片岡 真司 松山 佳永	腎臓、尿管、膀胱、食道、迷走神経、胸管	解剖棟
35、 36	解剖実習18 横隔膜、腰神経叢（大腿神経、閉鎖神経等の神経も含む）などを剖出し観察を行う。[スケッチ] 腰神経叢	実習	瀬田 祐司 豊野 孝 片岡 真司 松山 佳永	横隔膜、腰神経叢	解剖棟
37、 38	解剖実習19 舌骨下筋群、頸神経ワナ、頸の深層の筋（中斜角筋、後斜角筋など）、総頸動脈、内頸静脈、迷走神経、交感神経管、上甲状腺動脈等を剖出し観察する。[スケッチ] 舌骨下筋群、頸神経ワナ	実習	瀬田 祐司 豊野 孝 片岡 真司 松山 佳永	舌骨下筋群、頸神経ワナ、頸の深層の筋（、総頸動脈、内頸静脈、迷走神経、交感神経管、上甲状腺動脈	解剖棟
39、 40	解剖実習20 鎖骨下動脈の枝の椎骨動脈、内胸動脈、肩甲上動脈など、および骨盤内臓および仙骨神経叢を剖出し観察する。[スケッチ] 仙骨神経叢	実習	瀬田 祐司 豊野 孝 片岡 真司 松山 佳永	椎骨動脈、内胸動脈、肩甲上動脈、骨盤内臓および仙骨神経叢	解剖棟
41、 42	解剖実習21 頭部離断を行う。顔の浅層の剥皮を行い、表情筋とその支配神経である顔面神経を剖出し観察を行う。[スケッチ] 耳下腺神経叢	実習	瀬田 祐司 豊野 孝 片岡 真司 松山 佳永 (非)児玉 淳	表情筋	解剖棟
43、 44	解剖実習22 食道を背側から開き、咽頭、喉頭の構造をしらべる。また、甲状腺、上皮小体、気管なども剖出し観察する。[スケッチ] 喉頭	実習	瀬田 祐司 豊野 孝 片岡 真司 松山 佳永	咽頭、喉頭	解剖棟

解剖学実習

開講学科	歯学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	120	単位数	4
科目責任者	瀬田 祐司						
担当教員	瀬田 祐司, 豊野 孝, 片岡 真司, 松山 佳永, (非)児玉 淳						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
45、 46	解剖実習23 頭蓋骨を切り、脳出しを行う。頭蓋底に観察できる三叉神経節ならびに三叉神経の枝の剖出、さらには他の脳神経の確認を行う。[スケッチ] 内頭蓋底	実習	瀬田 祐司 豊野 孝 片岡 真司 松山 佳永	脳、三叉神経	解剖棟
47、 48	解剖実習24 眼窩を開放し眼筋、神経、血管、神経節等を剖出し、眼球を取り出してその内部構造を観察する。[スケッチ] 眼窩周囲の血管、神経、筋	実習	瀬田 祐司 豊野 孝 片岡 真司 松山 佳永	眼球	解剖棟
49、 50	解剖実習25 外耳、中耳、内耳に存在する構造を確認し、耳小骨等を取り出して観察を行う。	実習	瀬田 祐司 豊野 孝 片岡 真司 松山 佳永	外耳、中耳、内耳	解剖棟
51、 52	解剖実習26 脳実習1。脳の矢状断の標本を用いて、脳の外側の構造、内部の第3脳室、中脳水道、第4脳室周囲の構造を確認する。[スケッチ] 脳矢状断 内側面、外側面	実習	瀬田 祐司 豊野 孝 片岡 真司 松山 佳永	脳	解剖棟
53、 54	解剖実習27 脳実習2。脳の前頭断、水平断の標本を用いて、脳の内部の構造(内包、レンズ核、尾状角など)を観察する。[スケッチ] 脳水平断	実習	瀬田 祐司 豊野 孝 片岡 真司 松山 佳永	脳	解剖棟
55、 56	解剖実習28 解剖実習16-27について確認テストを行う。	実習	瀬田 祐司 豊野 孝 片岡 真司 松山 佳永	解剖実習16-27の項目	解剖棟
57、 58	解剖実習29 追実習1。解剖実習の学習が不十分な者に対して観察部位を指定して追加の実習を行う。	実習	瀬田 祐司 豊野 孝 片岡 真司 松山 佳永	骨格、脳神経	解剖棟
59、 60	解剖実習30 追実習2。解剖実習の学習が不十分な者に対して観察部位を指定して追加の実習を行う。	実習	瀬田 祐司 豊野 孝 片岡 真司 松山 佳永	口腔、咽頭、腕神経叢	解剖棟

人体発生学

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	豊野 孝						
担当教員	瀬田 祐司, 豊野 孝						

授業の概要

ヒトの体は約60兆の細胞から構成されているが、これはたった1個の細胞（受精卵）は細胞分裂と分化を繰り返すことによって作り上げられたものである。その神秘的な発生過程のメカニズムの解明は、分子生物学の著しい発展に伴って急速に進んでいる。口腔領域に生じる疾患を理解する為には、その発生学的由来についての正確な知識が不可欠である。そこで本講義では、人体の発生過程、顎顔面頭蓋の発生ならびに歯や舌の発生について解説し、さらに先天異常の発症機構についても解説する。

学生の到達目標

- ①生殖器について説明ができる。
- ②人体の発生について説明ができる。
- ③頭蓋顎顔面領域の諸器官や歯の正常な発生過程および先天異常の発症機構について説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
C-3-2)-①	人体の正常な個体発生と器官発生を説明できる。
C-3-4)-(11)-①	男性生殖器と女性生殖器の構造と機能を説明できる。
E-2-3)-①	口腔・顎顔面領域の発生を説明できる。
E-2-4)-(1)-①	口腔・頭蓋・顎顔面に症状を示す先天異常を説明できる。
E-3-1)-①	歯の発生、発育及び交換の過程と変化を説明できる。
E-3-1)-⑥	歯周組織の発生、構造及び機能を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
資料を配布する。		
標準組織学 各論	藤田尚男他	医学書院
口腔組織・発生学	脇田稔他	医歯薬出版

参考書

タイトル	著者	出版社
ラングマン人体発生学	安田峯生訳	メディカル・サイエンス・インターナショナル

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

【オフィスアワー】月～金曜日、随時受け付ける。原則として時間予約を電話かメールにて行うこと。

人体発生学

開講学科	歯学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	豊野 孝						
担当教員	瀬田 祐司, 豊野 孝						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	生殖器I 男性生殖器の構造を学ぶ。	講義・小テスト	瀬田 祐司	精巣・精管・付属線の構造「標準組織学各論」第6版 13章	401講義室 Moodle
2	生殖器II 女性生殖器の構造を学ぶ。	講義・小テスト	瀬田 祐司	卵巣・卵管・子宮の構造「標準組織学各論」第6版 14章	401講義室 Moodle
3	人体の発生 I 生物発生の概要を学ぶ。精巣と原始生殖細胞（精子）の発生を学ぶ。	講義・小テスト	瀬田 祐司	発生学とは「ラングマン 人体発生学」第11版：p5-16 精巣発生、精子発生「ラングマン 人体発生学」第11版：p269-281	401講義室 Moodle
4	人体の発生 II 卵巣と原始生殖細胞（卵子）の発生と子宮周期、受精、着床を学ぶ。	講義・小テスト	瀬田 祐司	卵巣発生、卵子発生「ラングマン 人体発生学」第11版：p269-281	401講義室 Moodle
5	人体の発生 III 胚盤葉形成、栄養膜形成、二層性胚盤葉、三層性胚盤葉形成を学ぶ。	講義・小テスト	瀬田 祐司	三層性胚盤、内胚葉、中胚葉、外胚葉「ラングマン 人体発生学」第11版：p53-75	401講義室 Moodle
6	人体の発生 IV 神経管・神経堤神経管、神経堤の発生・分化と役割を学ぶ。	講義・小テスト	瀬田 祐司	神経堤、鰓弓「ラングマン 人体発生学」第11版：p77-99	401講義室 Moodle
7	頭頸部発生概論I 初期胚発生について学ぶ。	講義・小テスト	豊野 孝	二層性胚盤・三層性胚盤・神経管「口腔組織・発生学」第2版：p10-13	401講義室 Moodle
8	頭頸部発生概論II 鰓弓形成および神経堤細胞について学ぶ。	講義・小テスト	豊野 孝	咽頭胚・鰓弓・鰓弓神経・神経堤細胞「口腔組織・発生学」第2版：p11-16	401講義室 Moodle

人体発生学

開講学科	歯学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	豊野 孝						
担当教員	瀬田 祐司, 豊野 孝						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
9	頭蓋の発生 膜内骨化と軟骨内骨化により形成される頭蓋の発生について学ぶ。	講義・小テスト	豊野 孝	中胚葉・神経堤細胞・膜性骨・置換骨「口腔組織・発生学」第2版：p16-18	401講義室 Moodle
10	口腔諸器官の発生 舌・鰓弓器官・甲状腺・唾液腺の形成について学ぶ。	講義・小テスト	豊野 孝	舌の発生・中耳の発生・上皮小体の発生・甲状腺の発生・唾液腺の発生「口腔組織・発生学」第2版：p20-21	401講義室 Moodle
11	顔面の発生 顎・顔面・口唇の正常発生や先天異常について学ぶ。	講義・小テスト	豊野 孝	内側鼻突起・外側鼻突起・上顎突起・下顎突起・口蓋突起「口腔組織・発生学」第2版：p17-20	401講義室 Moodle
12	歯の発生1 蕾状期・帽状期・鐘状期の歯胚形態形成について学ぶ。	講義・小テスト	豊野 孝	上皮肥厚期・蕾状期・帽状期・鐘状期「口腔組織・発生学」第2版：p22-31	401講義室 Moodle
13	歯の発生2 エナメル質の形成について学ぶ。	講義・小テスト	豊野 孝	内エナメル上皮・エナメル芽細胞・トームス突起・エナメル小柱・エナメルタンパク「口腔組織・発生学」第2版：p27-31, p39-50	401講義室 Moodle
14	歯の発生3 象牙質と歯髄の形成について学ぶ。	講義・小テスト	豊野 孝	歯乳頭・象牙芽細胞・象牙前質・トームス線維・象牙細管「口腔組織・発生学」第2版：p27-31, p80-85	401講義室 Moodle

人体発生学

開講学科	歯学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	豊野 孝						
担当教員	瀬田 祐司, 豊野 孝						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
15	歯の発生4 セメント質・歯周組織の形成について学ぶ。	講義・小テスト	豊野 孝	ヘルトウィッチ上皮靴・マラッセの上皮遺残・セメント芽細胞・シャーパー線維・固有歯槽骨「口腔組織・発生学」第2版：p27-31, p140-141, p144-145, p151-152, p162	401講義室 Moodle

生体材料学入門

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	池田 弘						
担当教員	池田 弘, 永松 有紀, (非)森 亮太						

授業の概要

歯学は医学の一分野であるが、工学の要素をもっている。それは、基本的に自然治癒しない歯質や歯牙の欠損部を人工物で補い、機能・審美性の回復・改善を図るためである。材料を適切に使用するためには、臨床条件に合致する材料学的特性を十分に把握しておかなければならない。生体材料学入門では、多岐にわたる歯科生体材料の素材や諸性質の概要および歯科臨床における意義を学ぶ。

学生の到達目標

- ①高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性の概要を説明できる。
- ②生体材料の力学的、物理的、化学的および生物学的所要性質の概要を説明できる
- ③生体材料と歯科材料の安全性の評価の概要を説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
D-2-①	成形修復・予防填塞用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。
D-2-②	歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。
D-2-③	接着・合着・仮着用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。
D-2-④	歯科矯正用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。
D-2-⑤	口腔インプラント・口腔外科・歯周治療用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。
D-2-⑥	歯内療法用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
資料を配布する		

参考書

タイトル	著者	出版社
スタンダード歯科理工学 第7版	中寫 裕、他編	学建書院
基礎歯科理工学	宮坂 平、他編	医歯薬出版
コア歯科理工学	小倉 英夫他編	医歯薬出版
臨床歯科理工学	宮崎 隆、他編	医歯薬出版
歯科理工学教育用語集 第3版	日本歯科理工学会編	医歯薬出版

生体材料学入門

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	池田 弘						
担当教員	池田 弘, 永松 有紀, (非)森 亮太						

タイトル	著者	出版社
最新歯科技工士教本歯科理工学	全国歯科技工士教育協議会編	医歯薬出版
歯科理工学入門	小園 凱夫編	学建書院

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

永松：オフィスアワー 月・水・木 12：00～13：00、月・木・金16：30～18：00 池田：オフィスアワー 月～金 12：00～13：00、16：30～18：00

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	歯科理工学の概要 歯科材料概説 歯科臨床における材料の役割を学ぶ。 歯科材料の種類、特性、用途について学ぶ。	講義	池田 弘 永松 有紀	【事前学習課題】有機材料、無機材料、金属材料、複合材料 【事後学習課題】歯科材料の分類	401講義室 Moodle
2	歯科材料の特徴 歯科材料の諸性質 歯科材料に求められる物理的・化学的・機械的性質、生体安全性について学ぶ。	講義	池田 弘 永松 有紀	【事前学習課題】化学、生物、物理 【事後学習課題】歯科材料の諸性質	401講義室 Moodle
3	印象材 印象材の種類、諸性質、特徴について学ぶ。	講義	永松 有紀	【事前学習課題】ハイドロコロイド印象材、ゴム質印象材 【事後学習課題】印象材の諸性質	401講義室 Moodle
4	模型材 模型材の種類、諸性質、特徴について学ぶ。	講義	池田 弘	【事前学習課題】石膏 【事後学習課題】石膏の諸性質	401講義室 Moodle

生体材料学入門

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	池田 弘						
担当教員	池田 弘, 永松 有紀, (非)森 亮太						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
5	金属 金属材料の種類、諸性質、特徴について学ぶ。	講義	池田 弘	【事前学習課題】 歯科用合金、貴金属合金、非貴金属合金 【事後学習課題】 歯科用合金の諸性質	401 講義室 Moodle
6	鋳造 歯科精密鋳造の特徴について学ぶ。	講義	池田 弘	【事前学習課題】 ロストワックス法 【事後学習課題】 鋳造の特徴	401 講義室 Moodle
7	セラミックス セラミック材料の種類、諸性質、特徴について学ぶ。	講義	池田 弘	【事前学習課題】 金属酸化物、歯冠修復物、歯冠補綴物 【事後学習課題】 セラミックスの諸性質	401 講義室 Moodle
8	床用レジン レジンの種類、諸性質、特徴について学ぶ。	講義	池田 弘	【事前学習課題】 義歯、PMMA、重合 【事後学習課題】 レジンの諸性質	401 講義室 Moodle
9	コンポジットレジン 複合材料（コンポジットレジン）の種類、諸性質、特徴について学ぶ。	講義	池田 弘	【事前学習課題】 フィラー、マトリックスレジン、シランカップリング 【事後学習課題】 コンポジットレジンの諸性質	401 講義室 Moodle
10	接着材・合着材 接着材・合着材の種類、諸性質、特徴について学ぶ。	講義	池田 弘	【事前学習課題】 レジンセメント、ガラスアイオノマーセメント、ポリカルボキシレートセメント 【事後学習課題】 セメントの諸性質	401 講義室 Moodle
11	成形修復用材料 成形修復用材料の種類、諸性質、特徴について学ぶ。	講義	池田 弘	【事前学習課題】 コンポジットレジン、ガラスアイオノマーセメント 【事後学習課題】 成形修復材の諸性質	401 講義室 Moodle

生体材料学入門

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	池田 弘						
担当教員	池田 弘, 永松 有紀, (非)森 亮太						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
12	義歯用材料 義歯用材料の種類、諸性質、特徴について学ぶ。	講義	池田 弘	【事前学習課題】床用レジン、義歯用金属、人工歯、磁性アタッチメント、義歯用裏装材 【事後学習課題】義歯用材料の諸性質	401講義室 Moodle
13	歯内療法関連材料、切削・研削・研磨材 歯内療法関連材料、切削研磨の種類、諸性質、特徴について学ぶ。	講義	池田 弘	【事前学習課題】仮封材、裏層材、覆髄材、根管充填材、歯台築造用材料、切削、研磨 【事後学習課題】歯内療法関連材料、切削・研削・研磨材の諸性質	401講義室 Moodle
14	先端歯科材料および歯科技工 最先端の歯科材料と技工の特徴について学ぶ。	講義	池田 弘 永松 有紀 (非)森 亮太	【事前学習課題】CAD/CAM、3Dプリント、デジタル歯科 【事後学習課題】歯科デジタル技術	401講義室 Moodle
15	まとめ 生体材料・歯科材料の総復習を行う。	講義	池田 弘 永松 有紀	【事前学習課題】歯科材料の種類と特徴 【事後学習課題】総復習	401講義室 Moodle

生体材料学総論

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	池田 弘						
担当教員	池田 弘, 永松 有紀, (非)谷口 裕介						

授業の概要

歯学は医学の一分野であるが、工学の要素をもっている。それは、基本的に自然治癒しない歯質や歯牙の欠損部を人工物で補い、機能・審美性の回復・改善を図るためである。材料を適切に使用するためには、臨床条件に合致する材料学的特性を十分に把握しておかなければならない。生体材料学総論では、多岐にわたる歯科生体材料の基礎となる素材や、機械的、物理的、化学的ならびに生物学的性質の概要および歯科臨床における意義を学ぶ。

学生の到達目標

- ①高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と特性を説明できる。
- ②生体材料の力学的、物理的、化学的および生物学的所要性質を説明できる。
- ③生体材料と歯科材料の安全性の評価を説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
D-2-①	成形修復・予防充填用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。
D-2-②	歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。
D-2-③	接着・合着・仮着用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。
D-2-④	歯科矯正用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。
D-2-⑤	口腔インプラント・口腔外科・歯周治療用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。
D-2-⑥	歯内療法用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
スタンダード歯科理工学 第7版	中畠 裕他編	学建書院

参考書

タイトル	著者	出版社
基礎歯科理工学	宮坂 平、他編	医歯薬出版
コア歯科理工学	小倉 英夫、他編	医歯薬出版
臨床歯科理工学	宮崎 隆、他編	医歯薬出版
歯科理工学教育用語集 第3版	日本歯科理工学会編	医歯薬出版
最新歯科技工士教本歯科理工学	全国歯科技工士教育協議会編	医歯薬出版

生体材料学総論

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	池田 弘						
担当教員	池田 弘, 永松 有紀, (非)谷口 裕介						

タイトル	著者	出版社
歯科理工学入門	小園 凱夫編	学建書院

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	90%
課題レポート	10%

その他

【オフィスアワー】池田（准教授室）：月～金12:00～13:00、16:30～18:00、永松（オフィス）：月・水・木・金12:00～13:00、16:30～18:00、メールは随時受け付け。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	序論 歯学と歯科器材・歯科生体材料学の臨床との関連性を学ぶ。また、材料の分類および各材料の特性を学ぶ。	講義	永松 有紀 池田 弘	キーワード：有機材料、無機材料、金属材料、複合材料	401 講義室 Moodle
2	生体材料の機械的性質 歯科生体材料の耐久性・機能性を評価する「強さ・硬さ」について、種類・計測法および材料間の大小関係を学ぶ。	講義	永松 有紀	キーワード：応力ひずみ図、弾性、強さ、硬さ	401 講義室 Moodle
3	生体材料の物理的性質・化学的性質 歯科生体材料の比重・熱的性質・光学的性質を学ぶ。また、化学的安定性を評価する溶解・溶出、変色・腐食等についても学ぶ。	講義	永松 有紀	キーワード：密度、熱伝導率、熱膨張係数、腐食、不動態化	401 講義室 Moodle
4	生体材料の生物学的安全性 歯科生体材料の種々の生物学的性質、生体反応を学ぶ。また、化学的安定性と生体安全性が関連することも学ぶ。	講義	永松 有紀	キーワード：刺激性、アレルギー性、毒性、発癌性、内分泌攪乱化学物質	401 講義室 Moodle

生体材料学総論

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	池田 弘						
担当教員	池田 弘, 永松 有紀, (非)谷口 裕介						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
5	金属材料：種類と特徴 歯科材料として使用される純金属・合金の種類および特徴について学ぶ。	講義	永松 有紀	キーワード：純金属、貴金属合金、非貴金属合金	401 講義室 Moodle
6	金属材料：構造と状態変化 金属の結晶構造と状態変化について学ぶ。	講義	永松 有紀	キーワード：結晶構造、凝固、融点	401 講義室 Moodle
7	金属材料：塑性変形・強化法① 金属の強化法・硬化法について学ぶ。	講義	永松 有紀	キーワード：塑性変形、固溶硬化（固溶強化）、結晶粒微細化、熱処理、加工硬化	401 講義室 Moodle
8	金属材料：強化法② 熱処理および加工の原理と具体的な操作方法を学ぶ。	講義	永松 有紀	キーワード：平衡状態図、焼入れ、焼戻し、焼なまし、再結晶	401 講義室 Moodle
9	無機材料：種類と特徴 歯科材料として使用される無機材料の種類と特徴について学ぶ。	講義	永松 有紀	キーワード：セラミックス、焼成収縮、脆性	401 講義室 Moodle
10	無機材料：審美性材料 歯科材料として使用される歯科用陶材とニューセラミックスについて学ぶ。	講義	永松 有紀	キーワード：長石質陶材、アルミナ陶材、ジルコニア、ニケイ酸リチウム	401 講義室 Moodle
11	有機材料：種類と特徴 歯科材料として使用される有機材料の種類と特徴について学ぶ。	講義	永松 有紀	キーワード：歯科用レジン、ガラス転移温度、熱可塑性樹脂、熱硬化性樹脂	401 講義室 Moodle
12	有機材料：高分子材料のレオロジー 高分子材料の粘弾性特性について基礎的内容を学ぶ。	講義	池田 弘	キーワード：スプリングモデル、ダッシュポットモデル、フックモデル、マックスウェルモデル、四要素モデル	401 講義室 Moodle
13	有機材料：高分子材料の合成反応 高分子の重合反応の種類とその機構について学ぶ。	講義	永松 有紀	キーワード：逐次重合、連鎖重合、ラジカル重合、付加重合、粉液重合	401 講義室 Moodle

生体材料学総論

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	池田 弘						
担当教員	池田 弘, 永松 有紀, (非)谷口 裕介						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
14	先端歯科材料：臨床における先端歯科材料について学ぶ。	講義	(非)谷口 裕介 永松 有紀 池田 弘	キーワード：デジタル、補綴、臨床	401 講義室 Moodle
15	総復習 講義内容の重要ポイントについて総復習を行う。	講義	永松 有紀 池田 弘	【事前学修】 前回までの配付資料の復習 【事後学修】 全回の重要ポイントの確認	401 講義室 Moodle

生体材料学各論

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	池田 弘						
担当教員	池田 弘, 永松 有紀, (非)清水 博史						

授業の概要

歯質や歯牙の欠損は基本的に自然治癒しないので、人工物を用いて機能や審美性の回復をはかる必要がある。歯科医療では材料を使用する機会が他の医療に比べ圧倒的に多い。したがって、歯科医師は使用する材料や機器について熟知していなければならない。生体材料学各論では、歯科材料と機器に関する機械的、物理的、化学的および生物学的性質の詳細と臨床使用法について学ぶ。

学生の到達目標

- ①印象材の種類と性質を説明できる。
- ②歯科用石膏の種類と特性を説明できる。
- ③歯冠修復・義歯の製作に必要な材料の特性を説明できる。
- ④修復材料と修復法の種類と特徴を説明できる。
- ⑤レジンの重合、金属の鋳造・熱処理およびセラミックスの加工・焼成の特徴を使用機器と関連づけて説明できる。
- ⑥接着材と合着材の種類と成分および特性を説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
D-2-①	成形修復・予防充填用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。
D-2-②	歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。
D-2-③	接着・合着・仮着用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。
D-2-④	歯科矯正用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。
D-2-⑤	口腔インプラント・口腔外科・歯周治療用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。
D-2-⑥	歯内療法用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
資料を配布する		
スタンダード歯科理工学 第7版	中畠 裕他編	学建書院

参考書

タイトル	著者	出版社
基礎歯科理工学	宮坂 平、他編	医歯薬出版
コア歯科理工学	小倉 英夫、他編	医歯薬出版
臨床歯科理工学	宮崎 隆、他編	医歯薬出版
歯科理工学教育用語集 第3版	日本歯科理工学会編	医歯薬出版

生体材料学各論

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	池田 弘						
担当教員	池田 弘, 永松 有紀, (非)清水 博史						

タイトル	著者	出版社
最新歯科技工士教本歯科理工学	全国歯科技工士教育協議会編	医歯薬出版
歯科理工学入門	小園 凱夫編	学建書院

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

永松：オフィスアワー 月・水・木12：00～13：00、月・木・金16：30～18：00 池田：オフィスアワー 月～金：12：00～13：00、16：30～18：00

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	印象材① ハイドロコロイド印象材および合成ゴム印象材の成分、硬化機構および特性について学ぶ。	講義	池田 弘	【事前学習課題】ハイドロコロイド印象材、寒天印象材、アルジネート印象材、シリコンゴム印象材、ポリエーテルゴム印象材 【事後学習課題】弾性印象材の諸性質	402 講義室 Moodle
2	印象材② 非弾性印象材の成分、硬化機構および特性について学ぶ。	講義	池田 弘	【事前学習課題】酸化亜鉛ユージノール印象材、モデリングコンパウンド 【事後学習課題】非弾性印象材の諸性質	402 講義室 Moodle
3	模型材 石膏の種類、製造法、硬化機構、取り扱い法および特性について学ぶ。	講義	池田 弘	【事前学習課題】普通石膏、硬質石膏、超硬質石膏、石膏操作条件 【事後学習課題】模型材の諸性質	402 講義室 Moodle

生体材料学各論

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	池田 弘						
担当教員	池田 弘, 永松 有紀, (非)清水 博史						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
4	ワックス 各種ワックスの成分、特性および用途について学ぶ。	講義	永松 有紀	【事前学習課題】インレーワックス、シートワックス、レデューキャストイングワックス、フロー、応力緩和 【事後学習課題】ワックスの諸性質	402講義室 Moodle
5	義歯床用レジン 義歯床用レジンの種類、製造法、硬化機構、取り扱い法および特性について学ぶ。	講義	池田 弘	【事前学習課題】メチルメタクリレート、懸濁重合、粉液重合、ラジカル重合、過酸化ベンゾイル 【事後学習課題】レジンの諸性質	402講義室 Moodle
6	修復用コンポジットレジンと歯冠用硬質レジン 修復用コンポジットレジンと歯冠用硬質レジンの概念、種類、硬化機構、取り扱い法および特性について学ぶ。	講義	池田 弘	【事前学習課題】マトリックスレジン、フィラー、シランカップリング、硬質レジン前装冠 【事後学習課題】コンポジットレジン の諸性質	402講義室 Moodle
7	歯科用陶材 歯科用陶材の成分、焼成法、特徴、強化法および陶材焼付金属冠について学ぶ。	講義	池田 弘	【事前学習課題】長石質陶材、アルミナ陶材、金属焼付用陶材、陶材焼付用合金、陶材焼付金属冠 【事後学習課題】陶材の諸性質	402講義室 Moodle
8	ニューセラミックスとCAD/CAM ニューセラミックスとCAD/CAM用材料およびCAD/CAM法の工程について学ぶ。	講義	池田 弘	【事前学習課題】ニューセラミックス、ジルコニア、CAD/CAM 【事後学習課題】ニューセラミックスの諸性質	402講義室 Moodle

生体材料学各論

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	池田 弘						
担当教員	池田 弘, 永松 有紀, (非)清水 博史						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
9	歯科用セメント リン酸亜鉛セメント、ポリカルボキシレートセメント、グラスアイオノマーセメントの成分、硬化機構および特性について学ぶ。	講義	永松 有紀	【事前学習課題】リン酸亜鉛セメント、ポリカルボキシレートセメント、グラスアイオノマーセメント 【事後学習課題】セメントの諸性質	402 講義室 Moodle
10	接着性レジンセメント 接着性レジンセメントの成分、硬化機構および取り扱い法について学ぶ。	講義	池田 弘 永松 有紀 清水 博史	【事前学習課題】MMA系接着性レジン、コンポジット系接着性レジン、アルミナブラスト処理、接着性モノマー 【事後学習課題】レジンセメントの諸性質	402 講義室 Moodle
11	貴金属合金 金合金および銀合金の組成、成分元素の役割、性質および用途について学ぶ。	講義	永松 有紀	【事前学習課題】タイプ別金合金、金銀パラジウム合金、低融銀合金 【事後学習課題】歯科用貴金属合金の諸性質	402 講義室 Moodle
12	非貴金属合金と歯科鑄造理論① 非貴金属合金の組成、性質および用途について学ぶ。歯科鑄造についてその原理およびステップを学ぶ。	講義	永松 有紀	【事前学習課題】Co-Cr合金、チタン系金属、歯科精密鑄造理論 【事後学習課題】歯科用非貴金属合金の諸性質	402 講義室 Moodle
13	歯科鑄造理論② 埋没材、鑄造用機材および鑄造欠陥について学ぶ。	講義	永松 有紀	【事前学習課題】歯科用埋没材、鑄造欠陥 【事後学習課題】鑄造に関わる機材	402 講義室 Moodle
14	切削・研削・研磨とその他の歯科材料 切削・研削・研磨の理論および使用する関連器材について学ぶ。インプラント用材料等について学ぶ。	講義	永松 有紀	【事前学習課題】切削研削機器、切削研削工具、研磨剤、インプラント材 【事後学習課題】切削研削機器、切削研削工具、研磨剤、インプラント材に関わる材料の諸性質	402 講義室 Moodle

生体材料学各論

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	池田 弘						
担当教員	池田 弘, 永松 有紀, (非)清水 博史						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
15	総復習 生体材料学各論の総復習をする。	講義	池田 弘 永松 有紀	【事前学習課題】歯科理工学の総復習 【事後学習課題】歯科理工学の総復習	402 講義室 Moodle

生理学実習

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	42	単位数	1
科目責任者	小野 堅太郎						
担当教員	小野 堅太郎, 中富 千尋, 徐 嘉鍵, 吉野 賢一, 中道 郁夫						

授業の概要

本実習では、学生諸君が被験者になり、“ヒトの体の機能の神秘さ”を体感することによって、ヒトの体の機能についての理解を深めることを目的としている。実習は、5項目で、味覚、唾液、咀嚼能力、心電図および血圧を行う。実習中に実習試験を行い、実習内容についてのレポート提出を必須とする。

学生の到達目標

- ①人体の生理機能について理解する。
- ②データをまとめ、レポートを作成することができる。
- ③実習の内容を理解し、測定・解析を行うことができる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-3-1-4-1	心臓の構造、発生、機能及び心電図波形を理解している。
A-3-1-4-3	血管の構造と神経支配を理解している。
A-3-1-4-4	循環調節の機序を理解している。
A-3-1-6-1	特殊感覚器の構造と特殊感覚を理解している。
A-3-2-4	吸啜、咀嚼、嚥下機能を担う筋の構造と機能、支配神経を理解している。
A-3-3-6	唾液の性状、構成成分及び機能を理解している。
A-3-3-7	唾液腺の構造、機能及び分泌調節機序を理解している。
D-2-3-2	バイタルサインの意義とそのモニタリングの方法を理解している。
D-2-3-3	血圧、脈拍数、呼吸数、体温の測定方法と異常所見を理解している。
D-2-3-5	心電図検査及び動脈血酸素飽和度測定(パルスオキシメトリー)の目的と適応を理解している。
D-3-1-11-2	摂食嚥下障害の原因、診察、検査、診断及び治療方針を理解している。
D-3-1-11-4	味覚障害の原因、診察、検査、診断及び治療方針を理解している。
D-3-1-11-5	口腔乾燥の原因、診察、検査、診断及び治療方針を理解している。

テキスト

タイトル	著者	出版社
オリジナルの生理学実習書を使用する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
実技試験	50%
実習レポート	50%

生理学実習

開講学科	歯学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	42	単位数	1
科目責任者	小野 堅太郎						
担当教員	小野 堅太郎, 中富 千尋, 徐 嘉鍵, 吉野 賢一, 中道 郁夫						

その他

(学習相談) 月～金曜日、随時受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	オリエンテーション実習全体の説明、注意事項を行う。	講義	小野 堅太郎 中富 千尋 徐 嘉鍵 吉野 賢一 中道 郁夫		Moodle
2-3	5つのテーマをローテーションで行う。実習日午前中は、遠隔講義を行う。	実習	小野 堅太郎 中富 千尋 徐 嘉鍵 吉野 賢一 中道 郁夫	(味覚) 味質、5基本味、味覚の上行性伝導路 (唾液) 唾液腺の神経支配、唾液分泌機構、唾液の成分、唾液の機能 (咀嚼) 咀嚼能率、咬合力、歯列、嚥下運動 (心電図) 心臓の活動電位、心電図 (血圧) 【事前学習課題】、循環調節	Moodle
4-5	実習日午後に、対面実習を行う。指定された場所・時間に必ず集合すること。午前中の遠隔授業に沿った実習を行えているかどうかを評価 (採点) する。実習後に収集したデータを基にレポートをオンラインで提出する。	実習	小野 堅太郎 中富 千尋 徐 嘉鍵 吉野 賢一 中道 郁夫		7 1 実習室 7 2 実習室 相互実習室
6-7	5つのテーマをローテーションで行う。実習日午前中は、遠隔講義を行う。	実習	小野 堅太郎 中富 千尋 徐 嘉鍵 吉野 賢一 中道 郁夫	(味覚) 味質、5基本味、味覚の上行性伝導路 (唾液) 唾液腺の神経支配、唾液分泌機構、唾液の成分、唾液の機能 (咀嚼) 咀嚼能率、咬合力、歯列、嚥下運動 (心電図) 心臓の活動電位、心電図 (血圧) 【事前学習課題】、循環調節	Moodle

生理学実習

開講学科	歯学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	42	単位数	1
科目責任者	小野 堅太郎						
担当教員	小野 堅太郎, 中富 千尋, 徐 嘉鍵, 吉野 賢一, 中道 郁夫						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
8-9	実習日午後に、対面実習を行う。指定された場所・時間に必ず集合すること。午前中の遠隔授業に沿った実習を行えているかどうかを評価（採点）する。実習後に収集したデータを基にレポートをオンラインで提出する。	実習	小野 堅太郎 中富 千尋 徐 嘉鍵 吉野 賢一 中道 郁夫		7 1 実習室 7 2 実習室 相互実習室
10-11	5つのテーマをローテーションで行う。実習日午前中は、遠隔講義を行う。	実習	小野 堅太郎 中富 千尋 徐 嘉鍵 吉野 賢一 中道 郁夫	(味覚) 味質、5基本味、味覚の上行性伝導路 (唾液) 唾液腺の神経支配、唾液分泌機構、唾液の成分、唾液の機能 (咀嚼) 咀嚼能率、咬合力、歯列、嚥下運動 (心電図) 心臓の活動電位、心電図 (血圧) 【事前学習課題】、循環調節	Moodle
12-13	実習日午後に、対面実習を行う。指定された場所・時間に必ず集合すること。午前中の遠隔授業に沿った実習を行えているかどうかを評価（採点）する。実習後に収集したデータを基にレポートをオンラインで提出する。	実習	小野 堅太郎 中富 千尋 徐 嘉鍵 吉野 賢一 中道 郁夫		7 1 実習室 7 2 実習室 相互実習室
14-15	5つのテーマをローテーションで行う。実習日午前中は、遠隔講義を行う。	実習	小野 堅太郎 中富 千尋 徐 嘉鍵 吉野 賢一 中道 郁夫	(味覚) 味質、5基本味、味覚の上行性伝導路 (唾液) 唾液腺の神経支配、唾液分泌機構、唾液の成分、唾液の機能 (咀嚼) 咀嚼能率、咬合力、歯列、嚥下運動 (心電図) 心臓の活動電位、心電図 (血圧) 【事前学習課題】、循環調節	Moodle

生理学実習

開講学科	歯学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	42	単位数	1
科目責任者	小野 堅太郎						
担当教員	小野 堅太郎, 中富 千尋, 徐 嘉鍵, 吉野 賢一, 中道 郁夫						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
16-17	実習日午後に、対面実習を行う。指定された場所・時間に必ず集合すること。午前中の遠隔授業に沿った実習を行えているかどうかを評価（採点）する。実習後に収集したデータを基にレポートをオンラインで提出する。	実習	小野 堅太郎 中富 千尋 徐 嘉鍵 吉野 賢一 中道 郁夫		7 1 実習室 7 2 実習室 相互実習室
18-19	5つのテーマをローテーションで行う。実習日午前中は、遠隔講義を行う。	実習	小野 堅太郎 中富 千尋 徐 嘉鍵 吉野 賢一 中道 郁夫	(味覚) 味質、5基本味、味覚の上行性伝導路 (唾液) 唾液腺の神経支配、唾液分泌機構、唾液の成分、唾液の機能 (咀嚼) 咀嚼能率、咬合力、歯列、嚥下運動 (心電図) 心臓の活動電位、心電図 (血圧) 【事前学習課題】、循環調節	Moodle
20-21	実習日午後に、対面実習を行う。指定された場所・時間に必ず集合すること。午前中の遠隔授業に沿った実習を行えているかどうかを評価（採点）する。実習後に収集したデータを基にレポートをオンラインで提出する。	実習	小野 堅太郎 中富 千尋 徐 嘉鍵 吉野 賢一 中道 郁夫		7 1 実習室 7 2 実習室 相互実習室

分子生物学実習

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	松原 琢磨						
担当教員	松原 琢磨, 古株 彰一郎, Addison William, 吉岡 香絵						

授業の概要

本実習では「血糖値および血清コレステロール濃度の測定」「ポリメラーゼ連鎖反応 (PCR) 法を用いた遺伝子多型の検出」「プラスミドによる大腸菌の形質転換」および「プラスミドの精製と制限酵素による切断」について実習を行う。実験実習の結果を解析することにより、分子生物学の基礎を理解する。また、言語はJpとなっているが、サイエンスは英語を用いて行うことを実感するために実習中は英語のテキスト使用し、英語でのコミュニケーションを積極的に推進する。

学生の到達目標

- ①血糖とコレステロールの意義を説明できる。
- ②PCRの原理や検査法としての意義を説明できる。
- ③プラスミドおよび形質転換について説明できる。
- ④制限酵素について説明できる。
- ⑤実験の目的・原理を理解し、問題点を論理的に整理し、自ら解決方法を見い出すことができる。
- ⑥実験実習の成果を文章または図表に表すことができる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-2-2)-②	得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。
A-9-1)-④	科学的研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。
C-2-1)-①	アミノ酸とタンパク質の構造、機能及び代謝を説明できる。
C-2-1)-②	糖質の構造、機能及び代謝を説明できる。
C-2-1)-⑤	酵素の機能と主な代謝異常を説明できる。
C-2-2)-①	アミノ酸とタンパク質の構造、機能及び代謝を説明できる。
C-2-2)-①	核酸、遺伝子及び染色体の構造と機能を説明できる。
C-2-2)-③	転写と翻訳の過程と調節機序を説明できる。
C-2-2)-⑤	遺伝子解析や遺伝子工学技術を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
分子生物学実習書 (Moodleにて配布)		

参考書

タイトル	著者	出版社
スタンダード生化学・口腔生化学	荒川俊哉 その他	学建書院

成績評価方法・基準

評価項目	割合
実習のレポート	50%
Moodleでの試験	50%

分子生物学実習

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	松原 琢磨						
担当教員	松原 琢磨, 古株 彰一郎, Addison William, 吉岡 香絵						

その他

(学習相談) 月～金曜日、随時受け付ける。原則として時間予約をメールで行うこと。【オフィスアワー】随時メールで受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1, 2	オリエンテーション (指導員紹介、注意事項などについて) 遺伝子組換え実験の安全講習を受講し、遺伝子組換え生物等の使用に関する管理規則を学ぶ。	講義	松原 琢磨 古株 彰一郎 Addison William 吉岡 香絵	遺伝子組換え、研究倫理	401 講義室
3, 4	実際のヒトの血糖値、血清コレステロール濃度を測定する。ピペットなどの分子生物学実験で頻繁に使う器具の使用法を学ぶ。濃度がわかっている標準試薬から検量線を作成し、目的サンプルの濃度を同定する方法を学ぶ。	実習	松原 琢磨 古株 彰一郎 Addison William 吉岡 香絵	糖尿病、脂質代謝異常症	72 実習室
5, 6	ポリメラーゼ連鎖反応 (PCR) 法を用いた遺伝子多型の検出 1 -DNAの調製とPCR 各自の毛髪よりDNAを調製し、アルコールに対する感受性に関与するアルデヒドデヒドロゲナーゼ 2 (aldehyde dehydrogenase 2, ALDH2) の遺伝子多型をPCR法により調べ、PCRの手技を学ぶ。	実習	松原 琢磨 古株 彰一郎 Addison William 吉岡 香絵	ゲノム、遺伝子変異、遺伝子多型	72 実習室
7, 8	ポリメラーゼ連鎖反応 (PCR) 法を用いた遺伝子多型の検出 2 -電気泳動により前回の実習で作成したPCR産物を可視化し、各自の遺伝子型を判定する。前回からの一連の流れによりPCRの原理を学ぶ。	実習	松原 琢磨 古株 彰一郎 Addison William 吉岡 香絵	サザンブロットイング、サンガー法	72 実習室

分子生物学実習

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	松原 琢磨						
担当教員	松原 琢磨, 古株 彰一郎, Addison William, 吉岡 香絵						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
9, 10	抗菌薬耐性遺伝子を持つ遺伝子ベクターにGFP遺伝子を組み込む。これを大腸菌に導入し、様々な抗菌薬を混合した培地上で培養することにより遺伝子工学の基礎技術、形質転換を学ぶ。	実習	松原 琢磨 古株 彰一郎 Addison William 吉岡 香絵	クローニング、プラスミド、GFP	7 2 実習室
11, 12	作出した組み替え大腸菌からプラスミドベクターを抽出し、GFP遺伝子の挿入を確認する。	実習	松原 琢磨 古株 彰一郎 Addison William 吉岡 香絵	形質転換	7 2 実習室
13, 14	GFPタンパクを大腸菌内で発現させ、遺伝子発現のセントラルドグマを理解する。	実習	松原 琢磨 古株 彰一郎 Addison William 吉岡 香絵	セントラルドグマ	7 2 実習室
15	実習テスト：実習内容（原理、手順、試薬や実験上注意する点）について問う。	試験	松原 琢磨 古株 彰一郎 Addison William 吉岡 香絵	これまでの実習内容	4 0 1 講義室

口腔解剖学実習

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	40	単位数	1
科目責任者	瀬田 祐司						
担当教員	瀬田 祐司, 豊野 孝, 片岡 真司, 松山 佳永						

授業の概要

口腔解剖学実習は、口腔解剖学実習ならびに歯の解剖学実習の2部構成をとる。解剖棟で解剖実習に引き続いた頭頸部解剖実習・頭蓋骨実習をおこなう。基礎実習室、講義室で歯、スタディモデルを用いた実習、口腔内の生体観察実習を行う。歯の解剖学実習は、模型歯の計測、観察、スケッチと天然歯の鑑別を行う。また、スタディモデル実習は個々の歯の詳細な歯冠形態観察およびノギスによる計測を行う。

学生の到達目標

- ①頭頸部を解剖学的に区分できる。
- ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。
- ③咀嚼筋・表情筋の構成と機能を説明できる。
- ④頭頸部の脈管系を説明できる。
- ⑤三叉神経と顔面神経の走行と分布及び線維構成を説明できる。
- ⑥顎関節の構造と機能を説明できる。
- ⑦舌の構造と機能を説明できる。
- ⑧唾液腺の種類と存在部位を説明できる。
- ⑨歯の方向用語を正確に用いることができる。
- ⑩乳歯と永久歯を区別できる。
- ⑪32種の永久歯を鑑別できる。
- ⑫口腔・頭蓋・顎顔面領域の加齢による変化を説明できる。
- ⑬上下顎中切歯・側切歯，上下顎犬歯，上下顎第1・第2小臼歯，上下顎第1・第2大臼歯を計測、スケッチし、個々の歯の特徴を説明できる。
- ⑭歯列弓の形態、歯の咬耗状態を鑑別できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
D-2-3)-(02)-1	到達目標：①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。
D-2-3)-(02)-2	到達目標：②骨の基本構造と結合様式を説明できる。
D-2-3)-(02)-4	到達目標：④骨格筋の構造と機能を説明できる。【収縮の特徴と筋収縮の機序を含む。】
D-2-3)-(05)-01	到達目標：①脳神経の種類、走行、線維構築および支配領域を説明できる。
D-2-3)-(07)-1	到達目標：①気道系（鼻腔、副鼻腔、気管、気管支）の構造と機能を説明できる。
F-2-1)-1	到達目標：①頭蓋骨の構成と構造を説明できる。
F-2-1)-2	到達目標：②咀嚼筋、表情筋、前頸筋の構成と機能を説明できる。
F-2-1)-3	到達目標：③頭頸部の脈管系を説明できる。
F-2-1)-4	到達目標：④三叉神経と顔面神経の走行と分布および線維構成を説明できる。
F-2-1)-5	到達目標：⑤顎関節の構造と機能を説明できる。
F-2-2)-1	到達目標：①口腔粘膜の特徴を部位ごとに説明できる。【口腔感覚の特徴を含む。】
F-2-2)-2	到達目標：②舌の構造と機能を説明できる。
F-2-2)-3	到達目標：③歯列と咬合について説明できる。
F-2-2)-5	到達目標：⑤唾液腺の構造と機能を説明できる。【分泌調節を含む。】
F-2-3)-5	到達目標：⑤口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長・発育および加齢による変化を説明できる。【歯の喪失に伴う変化を含む。】

口腔解剖学実習

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	40	単位数	1
科目責任者	瀬田 祐司						
担当教員	瀬田 祐司, 豊野 孝, 片岡 真司, 松山 佳永						

テキスト

タイトル	著者	出版社
歯の解剖学	藤田恒太郎	金原出版
解剖実習の手びき	寺田春水、 藤田恒夫	南山堂
骨学実習アトラス	高井省三	日本医事新報社

参考書

タイトル	著者	出版社
人体解剖カラーアトラス	佐藤達夫、 秋田恵一	南江堂

成績評価方法・基準

評価項目	割合
実習確認テスト	90%
スケッチ、レポート	10%

その他

【オフィスアワー】実習の前後、またはメール（随時）で受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1、2	頭頸部の解剖1 舌、顎下腺、舌下線、鼻腔、咽頭の解剖を行いその構造を理解する。 (スケッチ課題：舌神経、顎下腺、咽頭鼻部)	実習	瀬田 祐司 豊野 孝 片岡 真司 松山 佳永	舌、顎下腺、舌下線、 鼻腔、咽頭	解剖棟
3、4	頭頸部の解剖2 咀嚼筋、顎動脈、下顎管(スケッチ課題：顎動脈)	実習	瀬田 祐司 豊野 孝 片岡 真司 松山 佳永	咀嚼筋、顎動脈、下 顎管	解剖棟
5、6	頭頸部の解剖3 顎関節、側頭下窩、翼口蓋神経節 (スケッチ課題：側頭下窩、鼻腔側壁)	実習	瀬田 祐司 豊野 孝 片岡 真司 松山 佳永	顎関節、側頭下窩、 翼口蓋神経節、口蓋、 前庭ヒダ、声帯ヒダ	解剖棟
7、8	実習確認テスト	実習	瀬田 祐司 豊野 孝 片岡 真司 松山 佳永	実習1～6の項目	解剖棟

口腔解剖学実習

開講学科	歯学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	40	単位数	1
科目責任者	瀬田 祐司						
担当教員	瀬田 祐司, 豊野 孝, 片岡 真司, 松山 佳永						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
9、10	頭頸部の解剖 4 頭蓋骨実習・分離骨の観察と解説 頭蓋・分離骨実習（有歯顎骨と無歯顎骨、内外頭蓋底、分離骨の観察、標本のスケッチ）	実習	瀬田 祐司 豊野 孝 片岡 真司 松山 佳永	頭蓋骨	401 講義室 71 実習室
11、12	頭蓋骨模型 頭蓋骨模型を使い頭部における骨の各部位、筋の付着部位およびその名称などを確認する。	実習	瀬田 祐司 豊野 孝 片岡 真司 松山 佳永	頭部の骨および筋	解剖棟
13	実習確認テスト	実習	瀬田 祐司 豊野 孝 片岡 真司 松山 佳永	実習9～12の項目	解剖棟
14	歯の鑑別 1 歯の鑑別は模型歯および抜去歯牙を用いて、歯種・上下・順位・左右側の鑑別を行う。	実習	瀬田 祐司 豊野 孝 片岡 真司 松山 佳永	歯の鑑別	解剖棟
15	歯の鑑別 2 歯の鑑別は模型歯および抜去歯牙を用いて、歯種・上下・順位・左右側の鑑別を行う。	実習	瀬田 祐司 豊野 孝 片岡 真司 松山 佳永	歯の鑑別	71 実習室 401 講義室
16	模型歯の計測、スケッチ	実習	瀬田 祐司 豊野 孝 片岡 真司 松山 佳永	歯の計測方法	71 実習室 401 講義室
17	実習確認テスト 歯の鑑別に関する確認テスト	実習	瀬田 祐司 豊野 孝 片岡 真司 松山 佳永	歯の鑑別	71 実習室 401 講義室
18	頭頸部の生体観察 口腔内、スタディモデルを用いた観察、計測	実習	瀬田 祐司 豊野 孝 片岡 真司 松山 佳永	生体での頭頸部の構造	71 実習室 401 講義室
19	スタディモデル実習1 スタディモデルを用いた観察、計測を行う。	実習	瀬田 祐司 豊野 孝 片岡 真司 松山 佳永	歯列弓、歯の咬耗、歯の計測、口蓋、咬合関係	71 実習室 401 講義室
20	スタディモデル実習2 歯列弓の形態、歯の植立、咬合関係を理解する。歯列弓の計測を行う。	実習	瀬田 祐司 豊野 孝 片岡 真司 松山 佳永	歯冠形態	71 実習室 401 講義室

組織学実習

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	60	単位数	2
科目責任者	瀬田 祐司						
担当教員	瀬田 祐司, 豊野 孝, 片岡 真司, 松山 佳永						

授業の概要

講義で学習した組織や臓器の構造を、顕微鏡で観察する。さらに配信された顕微鏡画像を観察し、組織構造を詳細にスケッチすることで、臓器の構造と機能についての関係について理解を深める。

学生の到達目標

- ① 歯の硬組織（エナメル質、象牙質、セメント質）の組織構造と機能を説明できる。
- ② 歯髄の組織構造と機能を説明できる。
- ③ 歯周組織の組織構造と機能を説明できる。
- ④ 口腔粘膜の組織学的特徴を部位ごとに説明できる。
- ⑤ 唾液腺の組織構造と機能を説明できる。
- ⑥ 口腔内感覚受容器（味蕾、体性感覚器）の組織構造と機能を説明できる。
- ⑦ 上皮・支持・筋・神経各組織の組織構造を理解できる。
- ⑧ 消化器、呼吸器、泌尿器、生殖器、内分泌器、感覚器の組織構造と機能を理解できる。
- ⑨ 顎顔面頭蓋の発生と形成を説明できる。
- ⑩ 舌、甲状腺、下垂体の発生を説明できる。
- ⑪ 歯の発生初期の上皮・間葉間のシグナリングを説明できる。
- ⑫ 歯の発生過程を説明できる。
- ⑬ 歯周組織の発生と形成を説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
C-3-4)-(1)-①	上皮組織の形態、機能及び分布を説明できる。
C-3-4)-(1)-②	皮膚と粘膜の基本的な構造と機能を説明できる。
C-3-4)-(1)-③	腺の構造と分布及び分泌機構を説明できる。
C-3-4)-(10)-①	腎臓、尿管、膀胱及び尿道の構造と機能を説明できる。
C-3-4)-(11)-①	男性生殖器と女性生殖器の構造と機能を説明できる。
C-3-4)-(2)-②	結合（支持）組織の分類と構成する細胞と細胞間質を説明できる。
C-3-4)-(2)-③	骨と軟骨の組織構造と構成する細胞を説明できる。
C-3-4)-(2)-④	骨発生（軟骨内骨化と膜内骨化）、骨成長及びリモデリングの機序と調整機構を説明できる。
C-3-4)-(3)-①	筋組織の分類と分布を説明できる。
C-3-4)-(4)-①	心臓の構造、発生、機能及び心電図波形を説明できる。
C-3-4)-(4)-③	血管の構造と血圧調節機能を説明できる。
C-3-4)-(5)-④	脳と脊髄の構造と機能（運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能）を説明できる。
C-3-4)-(5)-⑦	ニューロンとグリアの構造と機能を説明できる。
C-3-4)-(6)-①	特殊感覚器の構造と特殊感覚を説明できる。
C-3-4)-(7)-①	消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。
C-3-4)-(7)-①	気道系の構造と機能を説明できる。
C-3-4)-(7)-②	肝臓の構造と機能及び胆汁と胆道系を説明できる。
C-3-4)-(8)-①	気道系の構造と機能を説明できる。
C-3-4)-(8)-②	肺の構造・機能と呼吸運動を説明できる。
C-3-4)-(9)-①	内分泌器官・組織の構造と機能及びホルモンの種類、作用と異常を説明できる。
E-2-2)-②	口唇と口腔粘膜の分類と特徴を説明できる。
E-2-2)-③	舌の構造と機能を説明できる。

組織学実習

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	60	単位数	2
科目責任者	瀬田 祐司						
担当教員	瀬田 祐司, 豊野 孝, 片岡 真司, 松山 佳永						

コアカリキュラム	内容
E-2-2)-⑩	味覚器の構造と分布、味覚の受容と伝達機構を説明できる。
E-3-1)-①	歯の発生、発育及び交換の過程と変化を説明できる。
E-3-1)-④	歯（乳歯、根未完成歯、幼若永久歯を含む）の硬組織の構造、機能及び構成成分を説明できる。
E-3-1)-⑤	歯髄の構造と機能を説明できる。
E-3-1)-⑥	歯周組織の発生、構造及び機能を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
口腔組織・発生学	脇田稔他	医歯薬出版

参考書

タイトル	著者	出版社
標準組織学 総論・各論	藤田恒夫・藤田尚男	医学書院

成績評価方法・基準

評価項目	割合
確認テスト	80%
スケッチ	10%
小テスト・レポート	10%

その他

【オフィスアワー】月～金曜日、随時受け付ける。原則として時間予約を電話かメールにて行うこと。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1, 2	上皮組織（角化重層扁平上皮：手掌）、支持組織（腱）	実習・小テスト	瀬田 祐司 豊野 孝 片岡 真司 松山 佳永	上皮組織、支持組織	コンピュータ演習室 7 1 実習室
3, 4	消化器（1）	実習・小テスト	瀬田 祐司 豊野 孝 片岡 真司 松山 佳永	食道、胃、十二指腸	コンピュータ演習室 7 1 実習室
5, 6	消化器（2）	実習・小テスト	瀬田 祐司 豊野 孝 片岡 真司 松山 佳永	空腸、大腸、肝臓、膵臓、胆嚢	コンピュータ演習室 7 1 実習室
7, 8	呼吸器（気管、肺）、泌尿器（腎臓、膀胱（移行上皮））	実習・小テスト	瀬田 祐司 豊野 孝 片岡 真司 松山 佳永	肺、気管、膀胱、腎臓	コンピュータ演習室 7 1 実習室

組織学実習

開講学科	歯学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	60	単位数	2
科目責任者	瀬田 祐司						
担当教員	瀬田 祐司, 豊野 孝, 片岡 真司, 松山 佳永						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
9, 10	内分泌器(甲状腺、副腎、下垂体)、筋組織(骨格筋、心筋)	実習・小テスト	瀬田 祐司 豊野 孝 片岡 真司 松山 佳永	甲状腺、副腎、下垂体、骨格筋、心筋	コンピュータ演習室 71実習室
11, 12	中枢神経組織(大脳皮質、小脳、脊髄)、感覚器(眼球)	実習・小テスト	瀬田 祐司 豊野 孝 片岡 真司 松山 佳永	大脳皮質、小脳、脊髄、眼球	コンピュータ演習室 71実習室
13, 14	組織学実習確認試験	実習	瀬田 祐司 豊野 孝 片岡 真司 松山 佳永	実習1~12の項目	コンピュータ演習室 71実習室
15, 16	ヒト歯の組織(1)	実習・小テスト	瀬田 祐司 豊野 孝 片岡 真司 松山 佳永	エナメル質、象牙質、セメント質	コンピュータ演習室 71実習室
17, 18	ヒト歯の組織(2)	実習・小テスト	瀬田 祐司 豊野 孝 片岡 真司 松山 佳永	歯髄、歯周組織	コンピュータ演習室 71実習室
19, 20	三大唾液腺・血管およびリンパ性組織	実習・小テスト	瀬田 祐司 豊野 孝 片岡 真司 松山 佳永	唾液腺、扁桃、動脈	コンピュータ演習室 71実習室
21, 22	口腔粘膜	実習・小テスト	瀬田 祐司 豊野 孝 片岡 真司 松山 佳永	口腔粘膜	コンピュータ演習室 71実習室
23, 24	生殖器	実習・小テスト	瀬田 祐司 豊野 孝 片岡 真司 松山 佳永	精巣、陰茎、卵巣、卵管	コンピュータ演習室 71実習室
25, 26	骨組織の発生	実習・小テスト	瀬田 祐司 豊野 孝 片岡 真司 松山 佳永	膜内骨化、軟骨内骨化	コンピュータ演習室 71実習室
27, 28	ヒト胎児期の顔面ならびに歯の組織発生	実習・小テスト	瀬田 祐司 豊野 孝 片岡 真司 松山 佳永	歯胚(蕾状期、帽状期、鐘状期)	コンピュータ演習室 71実習室
29, 30	口腔組織・発生学実習確認試験	実習	瀬田 祐司 豊野 孝 片岡 真司 松山 佳永	実習15~28の項目	コンピュータ演習室 71実習室

口腔病理学I

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	松尾 拡						
担当教員	松尾 拡, 矢田 直美						

授業の概要

病理学とは生体に起こる病的な状態（病気、疾病）の本態を追求する学問であり、全身諸臓器に共通する基本的な病的変化を一般的通則として論ずる総論と、各臓器の特殊性・反応特異性を重視して臓器別に論じる各論に分けられる。口腔病理学Iでは総論的視点から、病因、先天異常、退行性病変、循環傷害、進行性病変について講義し、それらの病理組織学的所見について理解を深めるための演習を行う。

学生の到達目標

- ①病因論と先天異常を説明できる。
- ②個体の死の病因と病態を説明できる。
- ③細胞傷害、組織傷害及び萎縮の原因と形態的所見を説明できる。
- ④循環障害の成因、形態及びその転帰を説明できる。
- ⑤修復と再生の意義とこれらの形態的所見を説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
C-5-1)-①	染色体、遺伝子及び発生の異常を説明できる。
C-5-1)-②	環境と疾患の関係を説明できる。
C-5-2)-①	細胞傷害と組織傷害を説明できる。
C-5-2)-②	変性と関連疾患の病態を説明できる。
C-5-2)-③	疾患における壊死とアポトーシスを説明できる。
C-5-2)-④	萎縮と仮性肥大を説明できる。
C-5-3)-①	修復と再生の機序と幹細胞の役割を説明できる。
C-5-3)-②	肥大と過形成を説明できる。
C-5-3)-③	化生を説明できる。
C-5-3)-④	創傷治癒の過程と関与する細胞を説明できる。
C-5-3)-⑤	器質化を説明できる。
C-5-4)-①	虚血、充血及びうっ血の徴候、原因、転帰及び関連疾患を説明できる。
C-5-4)-②	出血の原因、種類及び転帰を説明できる。
C-5-4)-③	血栓と塞栓の形成機序、形態的特徴、転帰及び関連疾患を説明できる。
C-5-4)-④	梗塞の種類、形態的特徴、転帰及び関連疾患を説明できる。
C-5-4)-⑤	浮腫の原因と転帰を説明できる。
C-5-4)-⑥	ショックの成因と種類を説明できる。
C-5-7)-①	死の概念と生物学的な死を説明できる。
E-2-4)-(1)-①	口腔・頭蓋・顎顔面に症状を示す先天異常を説明できる。
E-2-4)-(10)-⑤	口腔・顎顔面領域に症状を現す症候群の種類と症状を列挙できる。
E-2-4)-(10)-⑨	口腔・顎顔面領域に症状を現すビタミン欠乏症とその症状を列挙できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
PDF資料を配布する。		

参考書

タイトル	著者	出版社
標準病理学 第7版	監修：北川 昌伸ら	医学書院

口腔病理学I

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	松尾 拓						
担当教員	松尾 拓, 矢田 直美						

タイトル	著者	出版社
組織病理アトラス 第6版	編集：深山正久ら	文光堂

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

(教員名：オフィスアワー) 松尾 拓：講義の前後、またはメールで随時受付 矢田 直美：講義の前後、またはメールで随時受付

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	病理学概論（病理学の歴史、学問的枠組み、臨床医学における位置づけ等）と病因論（内因と外因、すなわち疾病の原因として内在性原因と外来性原因）について学習する。	講義	松尾 拓	キーワード：剖検（病理解剖）、生検、術中迅速診断、病理組織標本作成法、病因	401講義室 Moodle
2	先天異常および奇形（先天異常・奇形）の概念、定義、原因、成立機転、分類）について学習する。	講義	松尾 拓	キーワード：先天異常、奇形の臨界期、遺伝性疾患、染色体異常、胎児障害	401講義室 Moodle
3	細胞の傷害—物質代謝異常（退行性病変）（I）：細胞の基本構造と機能と退行性病変：細胞の基本構造と機能、細胞傷害、退行性病変、変性（1）（蛋白質変性について）について学習する。	講義	矢田 直美	キーワード：細胞障害、退行性病変、代謝異常、変性、蛋白質変性	401講義室 Moodle
4	細胞の傷害—物質代謝異常（退行性病変）（II）：変性（2）（脂肪変性、糖原変性、石灰変性、色素変性）について学習する。	講義	矢田 直美	キーワード：脂肪変性、糖原変性、糖尿病、石灰変性、色素変性	401講義室 Moodle

口腔病理学I

開講学科	歯学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	松尾 拡						
担当教員	松尾 拡, 矢田 直美						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
5	細胞の傷害—物質代謝異常（退行性病変）（III）：細胞死（壊死とアポトーシス）、萎縮（生理的萎縮と病的萎縮）個体の死（死後変化、死因）について学習する。	講義	矢田 直美	キーワード：萎縮、壊死、アポトーシス、個体の死、死後変化	401講義室 Moodle
6	循環障害（I）：虚血、乏血、充血、うっ血、出血、出血性素因について学習する。	講義	矢田 直美	キーワード：虚血、乏血、充血、うっ血、出血性素因	401講義室 Moodle
7	循環障害（II）：血栓症、塞栓症、梗塞について学習する。	講義	矢田 直美	キーワード：血栓症、塞栓症、梗塞	401講義室 Moodle
8	循環障害（III）：副行循環、水腫（浮腫）について学習する。ショック、高血圧症について学習する。	講義	矢田 直美	キーワード：副行循環、水腫（浮腫）のメカニズム、ショック、高血圧症	401講義室 Moodle
9	細胞の反応性増殖と修復（進行性病変）：細胞の増殖、肥大と過形成、再生、化生、肉芽組織による修復、器質化、創傷治癒について学習する。	講義	松尾 拡	キーワード：肥大、過形成、化生、肉芽組織、創傷治癒	401講義室 Moodle
10	臨床検査歯科医学：臨床検査の概要と検体検査の特に血液検査と病理検査について学習する。	講義	矢田 直美	キーワード：血液凝固・出血性素因、代謝障害（糖尿病、黄疸、脂質異常症など）	401講義室 Moodle
11	病理組織学演習（I）：退行性病変を示す病理組織像を観察、図説し、その理解を深める。	演習	松尾 拡	キーワード：ヘマトキシリン・エオジン染色、凝固壊死、融解壊死、乾酪壊死、蛋白質変性	コンピュータ演習室 Moodle
12	病理組織学演習（II）：退行性病変を示す病理組織像を観察、図説し、その理解を深める。	演習	松尾 拡	キーワード：蛋白質変性、脂肪変性、糖原変性、石灰変性、色素変性	コンピュータ演習室 Moodle
13	病理組織学演習（III）：循環傷害を示す病理組織像を観察、図説し、その理解を深める。	演習	松尾 拡	キーワード：うっ血、血栓症、梗塞	コンピュータ演習室 Moodle

口腔病理学I

開講学科	歯学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	松尾 拓						
担当教員	松尾 拓, 矢田 直美						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
14	病理組織学演習(IV)：進行性病変を示す病理組織像を観察、図説し、その理解を深める。	演習	松尾 拓	キーワード：肉芽組織、器質化、腸上皮化生、扁平上皮化生、オンコサイト化生	コンピュータ演習室 Moodle
15	病理組織学演習のまとめ：これまでの演習内容をふりかえり、その理解度を確認する。	演習	松尾 拓	キーワード：病理組織学演習(I)～(IV)での学習内容の復習	コンピュータ演習室 Moodle

口腔病理学II

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	松尾 拡						
担当教員	松尾 拡, 矢田 直美						

授業の概要

口腔病理学Iに引き続き口腔病理学IIでは、総論的視点から、炎症、感染症、免疫の病理、腫瘍、老化の病理（加齢変化）について講義し、それらの病理組織学的所見について理解を深めるための演習を行う。

学生の到達目標

- ①炎症の概念、発症機序及び形態的特徴を説明できる。
- ②生体防御機構としての免疫反応、感染免疫、アレルギー、主な免疫不全症・自己免疫疾患を説明できる。
- ③腫瘍の病因と病態を説明できる。
- ④口腔・顎顔面領域の加齢変化について説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
C-3-3)-②	老化に伴う細胞、組織、器官及び個体の形態的・機能的な変化を概説できる。
C-4-1)-②	細菌、真菌、ウイルス及び原虫のヒトに対する感染機構と病原性を説明できる。
C-4-2)-①	自然免疫の種類と機能を説明できる。
C-4-2)-②	獲得免疫の種類と機構を説明できる。
C-4-2)-③	免疫系担当臓器・細胞の種類と機能を説明できる。
C-4-2)-④	抗原提示機能と免疫寛容を説明できる。
C-4-2)-⑤	アレルギー性疾患の種類、発症機序及び病態を説明できる。
C-4-2)-⑥	免疫不全症・自己免疫疾患の種類、発症機序及び病態を説明できる。
C-5-5)-①	炎症の定義と機序を説明できる。
C-5-5)-②	炎症に関与する細胞の種類と機能を説明できる。
C-5-5)-③	滲出性炎の種類、形態的特徴及び経時的変化を説明できる。
C-5-5)-④	肉芽腫性炎の種類、形態的特徴及び経時的変化を説明できる。
C-5-6)-①	腫瘍の定義を説明できる。
C-5-6)-②	腫瘍の病因を説明できる。
C-5-6)-③	上皮異形成を説明できる。
C-5-6)-④	腫瘍の異型性と組織学的分化度を説明できる。
C-5-6)-⑤	良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。
C-5-6)-⑥	腫瘍の増殖、浸潤、再発及び転移を説明できる。
E-2-3)-④	口腔・顎顔面領域の老化と歯の喪失に伴う変化を説明できる。
E-2-4)-(10)-②	口腔・顎顔面領域に症状を現す感染症の種類と症状を列挙できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
PDF資料を配布する。		

参考書

タイトル	著者	出版社
標準病理学 第7版	監修：北川昌伸ら	医学書院
組織病理アトラス 第6版	編集：深山正久ら	文光堂

口腔病理学II

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	松尾 拓						
担当教員	松尾 拓, 矢田 直美						

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

(教員名：オフィスアワー) 松尾 拓：講義の前後、またはメールで随時受付 矢田 直美：講義の前後、またはメールで随時受付

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	炎症：炎症の原因、分類、基本的組織変化および発症機構、関与する細胞の種類と役割、急性炎症の形態学的特徴と分類、慢性炎症の形態学的特徴と分類、炎症巣の転帰（炎症の修復）について学習する。	講義	松尾 拓	キーワード：炎症の4徴、炎症性細胞、急性炎症、慢性炎症、肉芽腫性炎	402講義室 Moodle
2	感染症：感染症の成立機序と感染経路、日和見感染、細菌、真菌、ウイルスによる感染症の病態について学習する。	講義	松尾 拓	キーワード：細菌感染症、結核、梅毒、真菌感染症、ウイルス感染症	402講義室 Moodle
3	病理組織学演習(I)：炎症・感染症の病理組織像を観察、図説し、その理解を深める。	演習	松尾 拓	キーワード：気管支肺炎、肺膿瘍、急性化膿性唾液腺炎、急性骨髄炎、亜急性胃炎	コンピュータ演習室 Moodle
4	病理組織学演習(II)：炎症・感染症の病理組織像を観察、図説し、その理解を深める。	演習	松尾 拓	キーワード：結核症、カンジダ症、アスペルギルス症、クリプトコッカス症、巨細胞性封入体症	コンピュータ演習室 Moodle
5	免疫の病理(I)：免疫の概念と仕組み、免疫機構に関わる細胞と免疫グロブリン、アレルギー反応について学習する。	講義	松尾 拓	キーワード：免疫の仕組み、細胞性免疫、液性免疫、免疫グロブリン、アレルギー反応	402講義室 Moodle

口腔病理学II

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	松尾 拓						
担当教員	松尾 拓, 矢田 直美						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
6	免疫の病理(II)：移植と拒絶反応、免疫不全と自己免疫疾患の病態について学習する。	講義	松尾 拓	キーワード：免疫不全症、自己免疫疾患	402講義室 Moodle
7	病理組織学演習(III)：免疫・アレルギー疾患の病理組織像を観察、図説し、その理解を深める。	演習	松尾 拓	キーワード：正常唾液腺の組織像、シェーグレン症候群、慢性硬化性唾液腺炎、ミクリッツ病	コンピュータ演習室 Moodle
8	腫瘍(I)：腫瘍の定義、腫瘍の形態学的特徴と基本構造、良性腫瘍と悪性腫瘍の特徴について学習する。	講義	松尾 拓	キーワード：腫瘍の発育様式、異型性、多型性、良性腫瘍の特徴、悪性腫瘍の特徴	402講義室 Moodle
9	腫瘍(II)：腫瘍の増殖・浸潤・転移および腫瘍の分類について学習する。	講義	松尾 拓	キーワード：浸潤性増殖、リンパ行性転移、血行性転移、播種性転移	402講義室 Moodle
10	腫瘍(III)：腫瘍発生の要因と発癌機序、癌と免疫、癌の診断・治療・予防について学習する。	講義	松尾 拓	キーワード：発癌機序、癌遺伝子、癌抑制遺伝子、腫瘍発生の内因、腫瘍発生の外因	402講義室 Moodle
11	病理組織学演習(IV)：上皮性腫瘍の病理組織像を観察、図説し、その理解を深める。	演習	松尾 拓	キーワード：重層扁平上皮の組織像、乳頭腫、扁平上皮癌、胃の正常組織像、胃癌(腺癌)	コンピュータ演習室 Moodle
12	病理組織学演習(V)：非上皮性腫瘍の病理組織像を観察、図説し、その理解を深める。	演習	松尾 拓	キーワード：神経鞘腫、神経線維腫、平滑筋肉腫	コンピュータ演習室 Moodle
13	病理組織学演習(VI)：その他、口腔領域に多い腫瘍の病理組織像を観察、図説し、その理解を深める。	演習	松尾 拓	キーワード：海綿状血管腫、リンパ管腫、脂肪腫、疣贅性黄色腫、顆粒細胞腫	コンピュータ演習室 Moodle
14	老化の病理：老化現象、老化の形態学、加齢変化と老人病について学習する。	講義	矢田 直美	キーワード：老化現象、老化の形態学、加齢変化、老人病	402講義室 Moodle

口腔病理学II

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	松尾 拓						
担当教員	松尾 拓, 矢田 直美						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
15	病理組織学演習のまとめ：これまでの演習内容をふりかえり、その理解度を確認する。	演習	松尾 拓	病理組織学演習（I）～（VI）の内容を復習すること。	コンピュータ演習室 Moodle

口腔病理学Ⅲ

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	松尾 拓						
担当教員	松尾 拓						

授業の概要

口腔病理学Ⅲは病理学における一各論と位置付けられ、口腔顎顔面領域という臓器・組織の特殊性を十分把握しながらそこに起こる病変の特徴などについて理解することを主眼とする。口腔病理学Ⅲでは、歯の発育異常、齶蝕、歯の機械的・化学的損傷、着色・変色、歯髄の病変、根尖病変、顎・顎関節の病変、歯頸部の病変、口腔粘膜病変、非歯原性腫瘍について講義し、それらの病理組織学的所見について理解を深めるための演習を行う。

学生の到達目標

- ①歯と歯周組織に生じる疾患の概要を説明できる。
- ②顎骨、顎関節に生じる疾患の概要を説明できる。
- ③口腔粘膜に生じる疾患の概要を説明できる。
- ④口腔・顎顔面領域に生ずる腫瘍および腫瘍状病変の概要を説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
E-2-4)-(10)-②	口腔・顎顔面領域に症状を現す感染症の種類と症状を列挙できる。
E-2-4)-(10)-③	口腔・顎顔面領域に症状を現すアレルギー性疾患、膠原病、免疫異常の症状を列挙できる。
E-2-4)-(10)-④	口腔・顎顔面領域に症状を現す全身的な腫瘍と腫瘍類似疾患及びその症状を列挙できる。
E-2-4)-(3)-⑦	口腔・顎顔面領域の肉芽腫性炎の種類と特徴を説明できる。
E-2-4)-(4)-①	口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。
E-2-4)-(5)-①	口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の種類と特徴を説明できる。
E-2-4)-(6)-①	口腔・顎顔面領域に発生する腫瘍の種類と特徴を説明できる。
E-2-4)-(6)-④	腫瘍類似疾患の種類と特徴を説明できる。
E-2-4)-(7)-①	顎関節疾患の種類と特徴を説明できる。
E-3-1)-③	遺伝的な歯の形成異常を説明できる。
E-3-2)-①	歯の硬組織疾患（tooth wear（酸蝕症、咬耗、摩耗等）、歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む）の病因と病態を説明できる。
E-3-2)-②	歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。
E-3-2)-③	歯周疾患の病因と病態を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
PDF資料を配布する。		

参考書

タイトル	著者	出版社
新口腔病理学 第3版	編集：下野 正基ら	医歯薬出版
口腔病理アトラス 第3版	監修：高木 實	文光堂

口腔病理学III

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	松尾 拓						
担当教員	松尾 拓						

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

(教員名：オフィスアワー) 松尾 拓：講義の前後、またはメールで随時受付 矢田 直美：講義の前後、またはメールで随時受付

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	歯の発育異常：歯の発育異常とその分類、成因、臨床的な意義について学習する。	講義	松尾 拓	キーワード：歯の発育異常の分類、歯の発育異常に関連する疾患や症候群	402講義室 Moodle
2	齲蝕：齲蝕の歴史、疫学、病態、原因論、臨床像や組織像を通しての齲蝕の進行過程、齲蝕円錐について学習する。	講義	松尾 拓	キーワード：エナメル質齲蝕、象牙質齲蝕、セメント質齲蝕、研磨標本における齲蝕の病理組織像、脱灰標本における齲蝕の病理組織像	402講義室 Moodle
3	歯の機械的・化学的損傷・着色・変色および歯髄の病変について学習する。	講義	松尾 拓	キーワード：咬耗、摩耗、酸蝕症、着色、変色、歯髄の退行性病変、歯髄炎	402講義室 Moodle
4	根尖部病変、顎骨の炎症：根尖性歯周炎、顎骨骨髓炎を中心に、原因、分類、臨床病理学の特徴、病理発生を学習する。	講義	松尾 拓	キーワード：根尖性歯周炎、顎骨骨髓炎	402講義室 Moodle
5	顎・顎関節の病変：顎・顎関節の外傷、顎関節症、顎関節炎、腫瘍および腫瘍状病変について学習する。	講義	松尾 拓	キーワード：顎関節の病変、顎骨に生じる非歯原性腫瘍の分類	402講義室 Moodle
6	口腔病理組織学演習(I)：咬耗・摩耗・齲蝕、歯髄炎の病理組織像を観察、図説し、その理解を深める。	演習	松尾 拓	キーワード：咬耗の病理組織像、摩耗の病理組織像、齲蝕の病理組織像、歯髄炎の病理組織像	コンピュータ演習室 Moodle

口腔病理学III

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	松尾 拓						
担当教員	松尾 拓						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
7	口腔病理組織学演習(II)：根尖病変、顎骨の炎症、顎・顎関節の病変について病理組織像を観察、図説し、その理解を深める。	演習	松尾 拓	キーワード：慢性根尖性化膿性歯周炎、慢性根尖性肉芽腫性歯周炎、ビスフォスフォネート関連骨壊死、慢性硬化性骨髄炎、顎放線菌症	コンピュータ演習室 Moodle
8	歯頸部病変、エプーリス：歯肉炎や辺縁性歯周炎、エプーリスの病因、臨床病理学的特徴、病理発生、外傷性咬合の意義、矯正移動の原理との関連について学習する。	講義	松尾 拓	キーワード：歯肉炎の病理発生、歯周炎の病理発生、エプーリスの種類	402講義室 Moodle
9	非歯原性腫瘍：口腔顎顔面領域の非歯原性腫瘍および腫瘍様病変について学習する。	講義	松尾 拓	キーワード：口腔顎顔面領域に発生する軟組織由来の非歯原性腫瘍の分類	402講義室 Moodle
10	口腔粘膜疾患(1)：口腔粘膜における色素沈着、感染症、アフタ性口内炎について学習する。	講義	松尾 拓	キーワード：口腔粘膜における色素沈着、口腔粘膜における感染症、アフタ性口内炎の分類と病態	402講義室 Moodle
11	口腔粘膜疾患(2)：口腔粘膜における角化性病変、皮膚科的疾患について学習する。	講義	松尾 拓	キーワード：口腔粘膜における角化性病変、皮膚科疾患の発症機序と病理組織像	402講義室 Moodle
12	口腔粘膜疾患(3)：口腔粘膜における血液疾患、移植片対宿主病、化学物質による障害、外傷、肉芽腫性病変、舌の病変について学習する。	講義	松尾 拓	キーワード：口腔粘膜における血液疾患、移植片対宿主病、化学物質による障害、外傷、肉芽腫性病変、舌の病変の発症機序と病理組織像	402講義室 Moodle
13	口腔病理組織学演習(III)：歯頸部病変、エプーリス、非歯原性腫瘍の病理組織像を観察、図説し、その理解を深める。	演習	松尾 拓	キーワード：肉芽腫性エプーリス、線維性エプーリス、骨形成性エプーリス、妊娠性エプーリス、巨細胞性エプーリス	コンピュータ演習室 Moodle

口腔病理学III

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	松尾 拓						
担当教員	松尾 拓						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
14	口腔病理組織学演習(IV)：口腔粘膜疾患の病理組織像を観察、図説し、その理解を深める。	演習	松尾 拓	キーワード：天疱瘡、類天疱瘡、白板症、扁平苔癬	コンピュータ演習室 Moodle
15	口腔病理組織学演習のまとめ：これまでの口腔病理組織学演習の内容を振り返り、その理解度を確認する。	演習	松尾 拓	口腔病理組織学演習(I)～(IV)での学習内容を復習すること。	コンピュータ演習室 Moodle

口腔病理学IV

開講学科	歯学科			開講年次	4年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	松尾 拓						
担当教員	松尾 拓, 矢田 直美						

授業の概要

口腔病理学IIIに引き続き、口腔病理学IVでは口腔顎顔面領域に起こる病変の特徴などについて理解することを目的とする。ここでは、口腔粘膜の前癌病変、口腔癌、唾液腺疾患、嚢胞性疾患および歯原性腫瘍について講義し、それらの病理組織学的所見について理解を深めるための演習を行う。

学生の到達目標

- ①口腔がんの病因、病態、病理組織学的特徴を説明できる。
- ②前癌病変および前癌状態の種類、特徴について説明できる。
- ③唾液腺疾患の病因、病態、病理組織学的特徴を説明できる。
- ④口腔顎顔面領域の嚢胞および歯原性腫瘍の病因、病態、病理組織学的特徴を説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
E-2-4)-(5)-①	口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の種類と特徴を説明できる。
E-2-4)-(6)-①	口腔・顎顔面領域に発生する腫瘍の種類と特徴を説明できる。
E-2-4)-(6)-⑥	前癌状態の種類と特徴を列挙できる。
E-2-4)-(8)-②	唾石症の特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。
E-2-4)-(8)-③	唾液腺炎の種類、特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。
E-2-4)-(8)-④	唾液腺腫瘍の種類、特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。
E-2-4)-(8)-⑤	腫瘍類似疾患を概説できる。
E-2-4)-(8)-⑥	ウイルス性唾液腺炎の特徴、症状、診断法及び治療を説明できる。
E-2-4)-(8)-⑦	Sjögren 症候群の特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
PDF資料を配布する。		

参考書

タイトル	著者	出版社
新口腔病理学 第3版	編集：下野 正基ら	医歯薬出版
口腔病理アトラス 第3版	監修：高木 實	文光堂

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

口腔病理学Ⅳ

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	松尾 拓						
担当教員	松尾 拓, 矢田 直美						

その他

(教員名 : オフィスアワー) 松尾 拓 : 講義の前後、またはメールで随時受付 矢田 直美 : 講義の前後、またはメールで随時受付

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	口腔癌および潜在的悪性疾患などについて学習する。	講義	矢田 直美	キーワード：潜在的悪性疾患の種類と病理組織像、上皮性異形成の病理組織像、口腔癌の病理組織像	501 講義室 Moodle
2	唾液腺の非腫瘍性病変：唾液腺に生ずる主な非腫瘍性病変について学習する。	講義	矢田 直美	キーワード：唾液腺の非腫瘍性病変の分類と病態	501 講義室 Moodle
3	唾液腺腫瘍：WHOの唾液腺腫瘍の分類、主な唾液腺腫瘍の病態について学習する。	講義	矢田 直美	キーワード：唾液腺腫瘍の分類、多形腺腫、ワルチン腫瘍、粘表皮癌、腺様嚢胞癌	501 講義室 Moodle
4	口腔病理組織学演習(I)：上皮性異形成の病理組織像を観察、図説し、その理解を深める。	演習	松尾 拓	キーワード：上皮性異形成の病理組織像	コンピュータ演習室 Moodle
5	口腔病理組織学演習(II)：唾液腺の腫瘍性病変について病理組織像を観察、図説し、その理解を深める。	演習	松尾 拓	キーワード：多形腺腫、ワルチン腫瘍、粘表皮癌、腺様嚢胞癌	コンピュータ演習室 Moodle
6	口腔顎顔面領域の嚢胞性疾患 (I)：嚢胞の定義、病理発生、病態、分類について学習する。	講義	松尾 拓	キーワード：嚢胞の定義、病理発生、病態、分類	501 講義室 Moodle
7	口腔顎顔面領域の嚢胞性疾患 (II)：顎骨内および口腔や頭頸部の軟組織に発生する代表的な嚢胞性疾患について学習する。	講義	松尾 拓	キーワード：顎顔面領域に発生する主な嚢胞の分類と病態	501 講義室 Moodle

口腔病理学Ⅳ

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	松尾 拓						
担当教員	松尾 拓, 矢田 直美						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
8	歯原性腫瘍：WHOの分類に基づき、歯原性腫瘍の概念、特徴、主な歯原性腫瘍の病態について学習する。	講義	松尾 拓	キーワード：歯原性腫瘍の特徴、歯原性腫瘍の分類、エナメル上皮腫、歯牙腫、その他の良性歯原性腫瘍	501講義室 Moodle
9	口腔病理組織学演習(III)：顎顔面領域に生ずる嚢胞の病理組織像を観察、図説し、その理解を深める。	演習	松尾 拓	キーワード：含歯性嚢胞、鼻口蓋管嚢胞	コンピュータ演習室 Moodle
10	口腔病理組織学演習(IV)：顎顔面領域に生ずる嚢胞の病理組織像を観察、図説し、その理解を深める。	演習	松尾 拓	キーワード：術後性上顎嚢胞、粘液嚢胞、類皮嚢胞	コンピュータ演習室 Moodle
11	口腔病理組織学演習(V)：顎顔面領域に生ずる嚢胞の病理組織像を観察、図説し、その理解を深める。	演習	松尾 拓	キーワード：鰓嚢胞、甲状舌管嚢胞	コンピュータ演習室 Moodle
12	口腔病理組織学演習(VI)：顎顔面領域に生ずる嚢胞の病理組織像を観察、図説し、その理解を深める。	演習	松尾 拓	キーワード：歯原性角化嚢胞、石灰化歯原性嚢胞	コンピュータ演習室 Moodle
13	口腔病理組織学演習(VII)：歯原性腫瘍の病理組織像を観察、図説し、その理解を深める。	演習	松尾 拓	キーワード：エナメル上皮腫、腺腫瘍歯原性腫瘍	コンピュータ演習室 Moodle
14	口腔病理組織学演習(VIII)：歯原性腫瘍の病理組織像を観察、図説し、その理解を深める。	演習	松尾 拓	キーワード：複雑性歯牙腫、セメント芽細胞腫、歯原性粘液腫	コンピュータ演習室 Moodle
15	口腔病理組織学演習のまとめ：これまでの演習内容をふりかえり、その理解度を確認する。	演習	松尾 拓	口腔病理組織学演習(I)～(VIII)の内容を復習すること。	コンピュータ演習室 Moodle

感染と免疫I

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	有吉 渉						
担当教員	有吉 渉, 吉岡 香絵, 山崎 亮太, (非)小松澤 均						

授業の概要

将来、全身を理解したうえで歯科医療人として活動していくために、必要不可欠な感染症の発症メカニズムを感染と免疫の両面から教える。特に「感染と免疫I」では、病原微生物と細菌感染症に加え、近年著しく進歩した免疫学について細胞分子レベルで解説する。

学生の到達目標

- ① 微生物の形態学的特徴と生理学的性状を説明できる。
- ② 微生物の病原性、宿主の抵抗性、感染と発症、感染経路、感染の種類を説明できる。
- ③ スタンダードプリコーションの概念および感染予防対策を説明できる。
- ④ 感染症に対する化学療法を中心とした治療法を説明できる。
- ⑤ 薬剤耐性獲得のメカニズムを説明できる。
- ⑥ 免疫の種類、免疫担当細胞を説明できる。
- ⑦ 自然免疫のメカニズムを説明できる。
- ⑧ 獲得免疫のメカニズムを説明できる。
- ⑨ 免疫記憶や免疫寛容のメカニズムを説明できる。
- ⑩ アレルギー、自己免疫疾患、免疫不全の種類、発症機序と病態を説明できる。
- ⑪ 粘膜免疫および口腔局所の感染防御のメカニズムを説明できる。
- ⑫ 主要な病原細菌を説明できる。
- ⑬ 講義、国内外の教科書・論文、検索情報などの内容について、重要事項や問題点を抽出して文章または口頭でわかりやすく説明できる。
- ⑭ 得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えをわかりやすく表現できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
C-4-1)-①	細菌、真菌、ウイルス及び原虫の基本的な構造と性状を説明できる。
C-4-1)-②	細菌、真菌、ウイルス及び原虫のヒトに対する感染機構と病原性を説明できる。
C-4-1)-③	感染症の種類、予防、診断及び治療を説明できる。
C-4-1)-④	滅菌と消毒の意義、種類及び原理を説明できる。
C-4-1)-⑤	化学療法の目的と原理及び化学療法薬の作用機序並びに薬剤耐性機序を説明できる。
C-4-2)-①	自然免疫の種類と機能を説明できる。
C-4-2)-②	獲得免疫の種類と機構を説明できる。
C-4-2)-③	免疫系担当臓器・細胞の種類と機能を説明できる。
C-4-2)-④	抗原提示機能と免疫寛容を説明できる。
C-4-2)-⑤	アレルギー性疾患の種類、発症機序及び病態を説明できる。
C-4-2)-⑥	免疫不全症・自己免疫疾患の種類、発症機序及び病態を説明できる。
C-4-2)-⑦	粘膜免疫を説明できる。
C-4-2)-⑧	ワクチンの意義と種類、特徴及び副反応を説明できる。

感染と免疫I

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	有吉 渉						
担当教員	有吉 渉, 吉岡 香絵, 山崎 亮太, (非)小松澤 均						

テキスト

タイトル	著者	出版社
口腔微生物学・免疫学 第5版	川端重忠、小松澤均、大原直也、寺尾豊 編集	医歯薬出版

参考書

タイトル	著者	出版社
標準微生物学 第14版	神谷茂 監修・錫谷達夫、松本哲哉 編集	医学書院
標準免疫学 第4版	宮坂昌之 監修・小安重夫、椛島健治 編集	医学書院

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】講義の前後、またはメールで随時受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	感染症学・免疫学総論：感染症学・免疫学の学問体系について理解する。 感染と発症：感染から発症に関わる宿主と寄生体の相互関係、常在細菌叢、日和見感染症について理解する。	講義 確認テスト	有吉 渉	【事前学修】微生物の分類、感染経路、常在細菌叢、日和見感染、院内感染（テキスト：p2-9、p57-60） 【事後学修】確認テスト出題項目	401 講義室
2	細菌学総論：細菌の形、大きさ、染色性、共通構造と特殊構造、細菌の増殖、代謝および物質輸送について理解する。	講義 確認テスト	山崎 亮太	【事前学修】細菌の基本構造、グラム染色（テキスト：p10-21、p214-217） 【事後学修】確認テスト出題項目	401 講義室

感染と免疫I

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	有吉 渉						
担当教員	有吉 渉, 吉岡 香絵, 山崎 亮太, (非)小松澤 均						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
3	微生物の遺伝学：微生物遺伝子の特徴、応用について理解する。 感染症の診断：感染微生物の検出と感染症の診断について理解する。	講義 確認テスト	有吉 渉	【事前学修】細菌遺伝子、感染症の診断法（テキスト：p40-56、p60-61） 【事後学修】確認テスト出題項目	401講義室
4	化学療法薬：化学療法薬の作用機序とその耐性機構について理解する。	講義 確認テスト	有吉 渉	【事前学修】抗菌薬の種類、薬剤耐性化機序（テキスト：p62-74） 【事後学修】確認テスト出題項目	401講義室
5	滅菌と消毒：滅菌と消毒の定義、スタンダードプリコーションの概念、滅菌法と消毒法について理解する。	講義 確認テスト	有吉 渉	【事前学修】滅菌、消毒、スタンダードプリコーション（テキスト：p74-79、p293-295） 【事後学修】確認テスト出題項目	401講義室
6	免疫学各論1：自然免疫における認識と抗原の処理・提示のメカニズムについて理解する。	講義 確認テスト	有吉 渉	【事前学習】貪食細胞、主要組織適合複合体、抗原提示（テキスト：p82-103） 【事後学修】確認テスト出題項目	401講義室
7	免疫学各論2：体液性免疫のメカニズムについて理解する。	講義 確認テスト	有吉 渉	【事前学習】B細胞、抗体の種類、抗体の生物活性（テキスト：p104-109） 【事後学修】確認テスト出題項目	401講義室

感染と免疫I

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	有吉 渉						
担当教員	有吉 渉, 吉岡 香絵, 山崎 亮太, (非)小松澤 均						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
8	免疫学各論3：細胞性免疫のメカニズムについて理解する。	講義 確認テスト	有吉 渉	【事前学習】T細胞、細胞性免疫の制御機構、移植と拒絶反応（テキスト：p110-116） 【事後学修】確認テスト出題項目	401講義室
9	免疫学各論4：免疫寛容、免疫疾患のメカニズム(アレルギー・免疫不全・自己免疫疾患)、免疫記憶、ワクチン、免疫療法について理解する。	講義 確認テスト	有吉 渉	【事前学習】アレルギーの分類、ワクチンの種類と特徴（テキスト：p122-137） 【事後学修】確認テスト出題項目	401講義室
10	免疫学各論5：粘膜免疫、唾液をはじめとする口腔局所感染防御について理解する。	講義 確認テスト	有吉 渉	【事前学習】sIgA、口腔関連リンパ系組織、唾液の感染防御作用（テキスト：p117-121、p242-244） 【事後学修】確認テスト出題項目	401講義室
11	細菌学各論1：グラム陽性細菌感染症について理解する。	講義 確認テスト	山崎 亮太	【事前学修】A群レンサ球菌、黄色ブドウ球菌、結核菌（テキスト：p140-154） 【事後学修】確認テスト出題項目	401講義室
12	細菌学各論2：グラム陰性菌感染症について理解する。	講義 確認テスト	山崎 亮太	【事前学修】病原性大腸菌、緑膿菌（テキスト：p155-169） 【事後学修】確認テスト出題項目	401講義室

感染と免疫I

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	有吉 渉						
担当教員	有吉 渉, 吉岡 香絵, 山崎 亮太, (非)小松澤 均						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
13	細菌学各論3：スピロヘータ感染症、マイコプラズマ感染症、クラミジア感染症、リケッチア感染症について理解する。	講義 確認テスト	山崎 亮太	【事前学修】梅毒トレポネーマ、トラコーマクラミジア（テキスト：p170-183） 【事後学修】確認テスト出題項目	401講義室
14	特別講義：細菌遺伝学を踏まえた細菌感染症について理解する。	講義	(非)小松澤 均	【事前学修】可動性因子、遺伝子の伝達形式、遺伝子の変化（テキスト：P40-56）	401講義室
15	特別講義：細菌遺伝学を踏まえた細菌感染症について理解する。	講義	(非)小松澤 均	【事前学修】ブドウ球菌の病原因子、ブドウ球菌感染症（テキスト：P145-147）	401講義室

感染と免疫II

開講学科	歯学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	有吉 渉						
担当教員	有吉 渉, 吉岡 香絵, 山崎 亮太, (非)望月 慎一						

授業の概要

歯科における2大疾患であるう蝕と歯周病の発症メカニズムを感染と免疫の両面から教えるとともに、将来、全身を理解したうえで歯科医師として活動していくために必要な感染症に関する知識を伝える。特に「感染と免疫II」では全身感染症に加えて、口腔微生物による感染症について細胞分子レベルで解説する。

学生の到達目標

- ① 微生物の形態学的特徴と生理学的性状を説明できる。
- ② 主要な病原細菌、病原真菌、病原原虫、病原ウイルスを説明できる。
- ③ 口腔環境と口腔常在微生物を説明できる。
- ④ 細菌学および免疫学的観点からデンタルプラークを説明できる。
- ⑤ 細菌学および免疫学的観点からう蝕を説明できる。
- ⑥ 細菌学および免疫学的観点から歯周病を説明できる。
- ⑦ 顎・口腔領域の感染症を説明できる。
- ⑧ 口腔内細菌と全身疾患の関連性を説明できる。
- ⑨ 講義、国内外の教科書・論文、検索情報などの内容について、重要事項や問題点を抽出して文章または口頭でわかりやすく説明できる。
- ⑩ 得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えをわかりやすく表現できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
C-4-1)-①	細菌、真菌、ウイルス及び原虫の基本的な構造と性状を説明できる。
C-4-1)-②	細菌、真菌、ウイルス及び原虫のヒトに対する感染機構と病原性を説明できる。
C-4-1)-③	感染症の種類、予防、診断及び治療を説明できる。
C-4-1)-④	滅菌と消毒の意義、種類及び原理を説明できる。
C-4-1)-⑤	化学療法の目的と原理及び化学療法薬の作用機序並びに薬剤耐性機序を説明できる。
C-4-2)-①	自然免疫の種類と機能を説明できる。
C-4-2)-②	獲得免疫の種類と機構を説明できる。
C-4-2)-③	免疫系担当臓器・細胞の種類と機能を説明できる。
C-4-2)-④	抗原提示機能と免疫寛容を説明できる。
C-4-2)-⑤	アレルギー性疾患の種類、発症機序及び病態を説明できる。
C-4-2)-⑥	免疫不全症・自己免疫疾患の種類、発症機序及び病態を説明できる。
C-4-2)-⑦	粘膜免疫を説明できる。
C-4-2)-⑧	ワクチンの意義と種類、特徴及び副反応を説明できる。

感染と免疫II

開講学科	歯学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	有吉 渉						
担当教員	有吉 渉, 吉岡 香絵, 山崎 亮太, (非)望月 慎一						

テキスト

タイトル	著者	出版社
口腔微生物学・免疫学 第5版	川端重忠、小松澤均、大原直也、寺尾豊 編集	医歯薬出版

参考書

タイトル	著者	出版社
標準微生物学 改訂第14版	神谷茂 監修・錫谷達夫、松本哲哉 編集	医学書院
標準免疫学 第4版	宮坂昌之 監修・小安重夫、椛島健治 編集	医学書院

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

【オフィスアワー】講義の前後、またはメールで受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	真菌学総論:真菌の種類、形態、構造、増殖について理解する。 原虫学総論:原虫の種類、形態、構造、増殖について理解する。	講義 確認テスト	有吉 渉	【事前学習】真菌の基本構造、原虫の基本構造(テキスト:p27-38) 【事後学修】確認テスト出題項目	401講義室
2	真菌学各論:真菌感染症について理解する。原虫学各論:原虫感染症について理解する。	講義 確認テスト	有吉 渉	【事前学修】カンジダ・アルビカンス、マラリア(テキスト:p31-36、p38-39) 【事後学修】確認テスト出題項目	401講義室
3	ウイルス学総論:ウイルスの種類、形態、構造、増殖について理解する。	講義 確認テスト	有吉 渉	【事前学習】ウイルスの基本構造、がんウイルス(テキスト:p21-27) 【事後学修】確認テスト出題項目	401講義室

感染と免疫II

開講学科	歯学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	有吉 渉						
担当教員	有吉 渉, 吉岡 香絵, 山崎 亮太, (非)望月 慎一						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
4	ウイルス学各論1：DNAウイルス感染症について理解する。	講義 確認テスト	有吉 渉	【事前学修】単純ヘルペスウイルス、水痘・帯状疱疹ウイルス、ヒトパピローマウイルス（テキスト：p184-190）【事後学修】確認テスト出題項目	401 講義室
5	ウイルス学各論2：RNAウイルス感染症について理解する。	講義 確認テスト	有吉 渉	【事前学修】麻疹ウイルス、風疹ウイルス、コクサッキーウイルス（テキスト：p191-205）【事後学修】確認テスト出題項目	401 講義室
6	ウイルス学各論3：レトロウイルス感染症や肝炎ウイルス感染症について理解する。	講義 確認テスト	有吉 渉	【事前学修】ヒト免疫不全ウイルス、肝炎ウイルス（テキスト：p205-211）【事後学修】確認テスト出題項目	401 講義室
7	口腔細菌の特徴1：口腔常在細菌の分類と組成の特徴について理解する。	講義 確認テスト	有吉 渉	【事前学習】口腔細菌叢（テキスト：p212-213、p218-234）【事後学修】確認テスト出題項目	401 講義室
8	口腔細菌の特徴2：プラークの成熟過程とその臨床的意義について理解する。	講義 確認テスト	有吉 渉	【事前学習】ペリクル、共凝集、バイオフィーム（テキスト：p235-241）【事後学修】確認テスト出題項目	401 講義室
9	う蝕の細菌学1：う蝕の病態、ミュータンスレンサ球菌の病原因子について理解する。	講義 確認テスト	有吉 渉	【事前学習】う蝕の臨床像、ミュータンスレンサ球菌（テキスト：p245-254）【事後学修】確認テスト出題項目	401 講義室

感染と免疫II

開講学科	歯学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	有吉 渉						
担当教員	有吉 渉, 吉岡 香絵, 山崎 亮太, (非)望月 慎一						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
10	う蝕の細菌学2：mutans streptococciのビルレンス因子、う蝕に関わる宿主因子について理解する。	講義 確認テスト	有吉 渉	【事前学習】 ミュータンスレンサ球菌の病原因子、プロバイオティクス（テキスト：p254-258） 【事後学修】 確認テスト出題項目	401講義室
11	歯周病の細菌学1：歯周病の病態、歯周病原細菌の病原因子について理解する。	講義 確認テスト	有吉 渉	【事前学習】 歯周病の臨床像、歯肉炎に関わる細菌、歯周炎に関わる細菌（テキスト：p259-269） 【事後学修】 確認テスト出題項目	401講義室
12	歯周病の細菌学2：歯周病に関わる宿主因子について理解する。	講義 確認テスト	有吉 渉	【事前学習】 歯周病原性細菌の病原因子、口腔内の生体防御機構（テキスト：p269-278） 【事後学修】 確認テスト出題項目	401講義室
13	口腔関連微生物感染症：口腔領域の感染症全般について理解する。	講義 確認テスト	有吉 渉	【事前学習】 口腔カンジダ症、放線菌症（テキスト：p279-286） 【事後学修】 確認テスト出題項目	401講義室
14	口腔微生物と全身疾患：口腔微生物と全身疾患との関連について理解する。	講義 確認テスト	有吉 渉	【事前学習】 口腔細菌と全身疾患の関連、口腔所見を認める全身疾患（テキスト：p287-292） 【事後学修】 確認テスト出題項目	401講義室
15	特別講義：歯工学連携研究の最前線について理解する。	講義	(非)望月 慎一	【事前学習】 ワクチンによる感染症の予防（テキスト：p132-136）	401講義室

感染と免疫III

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	有吉 渉						
担当教員	有吉 渉, 吉岡 香絵, 山崎 亮太, (非)山下 喜久						

授業の概要

実習を通じて、今まで講義で学んだ微生物学に関する知識を実践的なものにしていく。さらに教育手法としてチーム基盤型学習 (TBL) を用いて、グループ学習や自己学習のなかで感染症学や免疫学に関する知識の深化を目指す。

学生の到達目標

- ① 細菌の形態学的特徴と生理学的性状を説明できる。
- ② 細菌の病原性、宿主の抵抗性、感染と発症、感染経路、感染の種類、治療、予防を説明できる。
- ③ ウイルスの形態学的特徴と生理学的性状を説明できる。
- ④ ウイルスの病原性、宿主の抵抗性、感染と発症、感染経路、感染の種類、治療、予防を説明できる。
- ⑤ 免疫の種類、免疫機構について説明できる。
- ⑥ 免疫疾患の種類や機構について説明できる。
- ⑦ 口腔感染症および口腔の生体防御機構について説明できる。
- ⑧ 口腔細菌と全身疾患の関連について説明できる。
- ⑨ 教科書、論文、検索情報などの重要事項を統合し、文章または口頭でわかりやすくプレゼンテーションできる。
- ⑩ 得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えをわかりやすく表現できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-2-1)-④	課題の解決に当たり、他の学習者や教員と協力してよりよい解決方法を見出すことができる
A-2-2)-①	講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる
A-2-2)-②	得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。
A-9-1)-①	自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。
A-9-1)-②	歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。
C-4-1)-①	細菌、真菌、ウイルス及び原虫の基本的な構造と性状を説明できる。
C-4-1)-②	細菌、真菌、ウイルス及び原虫のヒトに対する感染機構と病原性を説明できる。
C-4-1)-③	感染症の種類、予防、診断及び治療を説明できる。
C-4-1)-④	滅菌と消毒の意義、種類及び原理を説明できる。
C-4-1)-⑤	化学療法目的と原理及び化学療法薬の作用機序並びに薬剤耐性機序を説明できる。
C-4-2)-①	自然免疫の種類と機能を説明できる。
C-4-2)-②	獲得免疫の種類と機構を説明できる。
C-4-2)-③	免疫系担当臓器・細胞の種類と機能を説明できる。
C-4-2)-④	抗原提示機能と免疫寛容を説明できる。
C-4-2)-⑤	アレルギー性疾患の種類、発症機序及び病態を説明できる。
C-4-2)-⑥	免疫不全症・自己免疫疾患の種類、発症機序及び病態を説明できる。
C-4-2)-⑦	粘膜免疫を説明できる。
C-4-2)-⑧	ワクチンの意義と種類、特徴及び副反応を説明できる。
E-2-4)-(10)-②	口腔・顎顔面領域に症状を現す感染症の種類と症状を列挙できる。
E-2-4)-(3)-①	菌性感染症の原因菌と感染経路を説明できる。
E-2-4)-(3)-④	菌血症と菌性病巣感染の病態、症状、検査法及び治療法を説明できる。
E-3-2)-③	歯周疾患の病因と病態を説明できる。
E-3-2)-④	口腔細菌、プラーク (口腔バイオフィルム) 及び歯石を説明できる。

感染と免疫III

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	有吉 渉						
担当教員	有吉 渉, 吉岡 香絵, 山崎 亮太, (非)山下 喜久						

テキスト

タイトル	著者	出版社
口腔微生物学・免疫学 第5版	川端重忠、小松澤均、大原直也、寺尾豊 編集	医歯薬出版

参考書

タイトル	著者	出版社
標準微生物学 改訂第14版	神谷茂 監修・錫谷達夫、松本哲哉 編集	医学書院
標準免疫学 第4版	宮坂昌之 監修・小安重夫、椛島健治 編集	医学書院

成績評価方法・基準

評価項目	割合
実習レポート	40%
TBLプレゼンテーション	30%
TBLピア評価（雰囲気・貢献度・積極性・配慮・教育性）	30%

その他

【オフィスアワー】講義の前後、またはメールで受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	微生物学実習：実習の実施方法について理解する。	実習	山崎 亮太 有吉 渉 吉岡 香絵		5 1 実習室
2	微生物学実習：微生物学の実習手技について理解する。	実習	山崎 亮太 有吉 渉 吉岡 香絵		5 1 実習室
3	微生物学実習：微生物の観察法について学ぶ。	実習	山崎 亮太 有吉 渉 吉岡 香絵	【事前学修】実習書記載の予習項目	5 1 実習室
4	微生物学実習：微生物の観察法について学ぶ。	実習	山崎 亮太 有吉 渉 吉岡 香絵	【事後学修】実習レポートの作成、提出	5 1 実習室
5	TBL説明会：TBLの実施方法について理解する。	実習	有吉 渉		4 0 2 講義室

感染と免疫III

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	有吉 渉						
担当教員	有吉 渉, 吉岡 香絵, 山崎 亮太, (非)山下 喜久						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
6	TBL課題1：全身感染症 ① 個人準備確認テスト1；設定課題に関する問題を解答する。 ② チーム準備確認テスト1；①についてグループ内で解答の擦り合わせを行う。	実習	有吉 渉	【事前学修】全身感染症全般（テキスト：p10-39、p140-210）	402 講義室
7	TBL課題1：全身感染症 ③ プレゼンテーション準備；グループ内で担当問題の解説と議論し、作成する。	実習	有吉 渉	【事後学修】個人準備確認テスト1の出題項目	402 講義室
8	TBL課題1：全身感染症 ④ プレゼンテーション；各グループ担当問題の解説を行う。 ⑤ 基礎知識補充講義；設定課題に関する講義を受ける。	実習	有吉 渉	【事前学修】プレゼンテーション担当問題	402 講義室
9	TBL課題1：全身感染症 ⑥ 個人準備確認テスト2；設定課題に関するアドバンス問題を解答する。 ⑦ 個人準備確認テスト2解説；⑥の解説を受ける。	実習	有吉 渉	【事後学修】個人準備確認テスト2の出題項目	402 講義室
10	TBL課題2：免疫・口腔感染症 ① 個人準備確認テスト1；設定課題に関する問題を解答する。 ② チーム準備確認テスト1；①についてグループ内で解答の擦り合わせを行う。	実習	有吉 渉	【事前学修】免疫学、口腔感染症学全般（テキスト：p82-137、p212-295）	402 講義室
11	TBL課題2：免疫・口腔感染症 ③ プレゼンテーション準備；グループ内で担当問題の解説と議論し、作成する。	実習	有吉 渉	【事後学修】個人準備確認テスト1の出題項目	402 講義室
12	TBL課題2：免疫・口腔感染症 ④ プレゼンテーション；各グループ担当問題の解説を行う。 ⑤ 基礎知識補充講義；設定課題に関する講義を受ける。	実習	有吉 渉	【事前学修】プレゼンテーション担当問題	402 講義室

感染と免疫III

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	有吉 渉						
担当教員	有吉 渉, 吉岡 香絵, 山崎 亮太, (非)山下 喜久						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
13	TBL課題2：免疫・口腔感染症 ⑥ 個人準備確認テスト2；設定課題に関するアドバンス問題を解答する。⑦ 個人準備確認テスト2解説；⑥の解説を受ける。	実習	有吉 渉	【事後学修】個人準備確認テスト2の出題項目	402 講義室
14	特別実習：感染症学研究の最前線について学ぶ。	実習	(非)山下 喜久	【事前学習】人体の正常フローラ、口腔フローラ、デンタルプラークの構成細菌 (テキスト：p214-241)	402 講義室
15	特別実習：感染症学研究の最前線について学ぶ。	実習	(非)山下 喜久	【事前学習】う蝕原性細菌、歯周病原細菌 (テキスト：p245-278)	402 講義室

臨床基礎応用学

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	有吉 渉						
担当教員	有吉 渉, 東 泉, 福原 正代, 吉岡 香絵, 山崎 亮太						

授業の概要

教育手法として問題基盤型学習（PBL）を用いて、高度かつ科学的根拠に基づいた歯科医療の遂行に必要な基礎系科目で修得した知識の統合を目指す。「臨床基礎応用学」は、学生自身が自己学習し、臨床に繋がる基礎系科目の知識を深めることを目的としたテュートリアル教育を行う。

学生の到達目標

- ① アレルギーの基本的な知識を説明できる。
- ② アレルギー性鼻炎の発症メカニズムを説明できる。
- ③ 歯科で問題となる金属アレルギー、ラテックスアレルギー、アナフィラキシーへの対処について説明できる。
- ④ 針刺し事故に伴う感染のリスク、事故時の対応、予防方法について説明できる。
- ⑤ ウイルス性肝炎の種類、感染様式、検査、ワクチンの有無を説明できる。
- ⑥ 術前における感染症のスクリーニングのための検査項目を説明できる。
- ⑦ バイタルサインを説明できる。
- ⑧ 全身疾患と口腔症状の関連を説明できる。
- ⑨ お薬手帳の活用、および服用薬剤と口腔症状の関連を説明できる。
- ⑩ 呼吸器の構造や機能について説明できる。
- ⑪ 歯周病と全身疾患の関連について説明できる。
- ⑫ 口腔の所見がみられる全身感染症を説明できる。
- ⑬ 教科書、論文、検索情報などの重要事項を統合し、文章または口頭でわかりやすくプレゼンテーションできる。
- ⑭ 得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えをわかりやすく表現できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-2-1)-④	課題の解決に当たり、他の学習者や教員と協力してよりよい解決方法を見出すことができる
A-2-2)-①	講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる
A-2-2)-②	得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。
A-6-3)-④	針刺し事故等に遭遇した際の対処の仕方を説明できる。
A-9-1)-①	自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。
A-9-1)-②	歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。
C-3-4)-(7)-①	気道系の構造と機能を説明できる。
C-4-2)-⑤	アレルギー性疾患の種類、発症機序及び病態を説明できる。
C-4-2)-⑧	ワクチンの意義と種類、特徴及び副反応を説明できる。
E-1-4)-(1)-①	バイタルサインの意義とそのモニタリングの方法を説明できる。
E-1-4)-(1)-⑤	患者の服用薬物の歯科治療への影響と歯科治療時の対応を説明できる。
E-2-4)-(10)-②	口腔・顎顔面領域に症状を現す感染症の種類と症状を列挙できる。
E-2-4)-(3)-④	菌血症と歯性病巣感染の病態、症状、検査法及び治療法を説明できる。
E-6-②	医科疾患合併患者の歯科治療時の注意点を説明できる。

臨床基礎応用学

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	有吉 渉						
担当教員	有吉 渉, 東 泉, 福原 正代, 吉岡 香絵, 山崎 亮太						

テキスト

タイトル	著者	出版社
口腔微生物学・免疫学 第5版	川端重忠、小松澤均、大原直也、寺尾豊 編集	医歯薬出版

参考書

タイトル	著者	出版社
標準微生物学 改訂第14版	神谷茂 監修・錫谷達夫、松本哲哉 編集	医学書院
標準免疫学 第4版	宮坂昌之 監修・小安重夫、椋島健治 編集	医学書院

成績評価方法・基準

評価項目	割合
テュータによる評価（プレゼンテーション能力・質疑応答）	20%
各クールのまとめレポート	20%
小論文	60%

その他

【オフィスアワー】講義の前後、またはメールで受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	PBLテュートリアル説明会:PBLテュートリアルの実施方法について理解する。	実習	有吉 渉 吉岡 香絵 山崎 亮太		402 講義室
2	PBL課題1 テュートリアル学習1: シナリオ1から問題点の抽出を行い、自己学習課題を決定する。	実習	有吉 渉 吉岡 香絵 山崎 亮太	【事前学修】説明会配布資料の熟読	テュートリアル演習室群
3	PBL課題1 テュートリアル学習2: 自己学習課題に沿って、レポートをまとめ、発表準備を行う。	実習	有吉 渉 吉岡 香絵 山崎 亮太	【事後学修】シナリオ1で抽出した自己学習課題に対するレポートの作成	テュートリアル演習室群

臨床基礎応用学

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	有吉 渉						
担当教員	有吉 渉, 東 泉, 福原 正代, 吉岡 香絵, 山崎 亮太						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
4	PBL課題1 テュートリアル学習 3 : シナリオ1に関するプレゼンを行う。シナリオ2から問題点の抽出を行い、自己学習課題を決定する。	実習	有吉 渉 吉岡 香絵 山崎 亮太	【事前学修】シナリオ1のプレゼンテーションの準備と配布資料の作成	テュートリアル演習室群
5	PBL課題1 テュートリアル学習 4 : 自己学習課題に沿って、レポートをまとめ、発表準備を行う。	実習	有吉 渉 吉岡 香絵 山崎 亮太	【事後学修】シナリオ2で抽出した自己学習課題に対するレポートの作成	テュートリアル演習室群
6	PBL課題1 テュートリアル学習 5 : シナリオ2に関するプレゼンを行う。	実習	有吉 渉 吉岡 香絵 山崎 亮太	【事前学修】シナリオ2のプレゼンテーションの準備と配布資料の作成	テュートリアル演習室群
7	PBL課題1 テュートリアル学習 6 : シナリオ1および2に関し、自己学習課題でカバーできなかった項目について学習し、レポートをまとめる。	実習	有吉 渉 吉岡 香絵 山崎 亮太	【事後学修】チェックシート記載の学習課題を踏まえたレポートの作成	テュートリアル演習室群
8	PBL課題2 テュートリアル学習1: シナリオ1から問題点の抽出を行い、自己学習課題を決定する。	実習	有吉 渉 吉岡 香絵 山崎 亮太	【事前学修】説明会配布資料の熟読	テュートリアル演習室群
9	PBL課題2 テュートリアル学習 2 : 自己学習課題に沿って、レポートをまとめ、発表準備を行う。	実習	有吉 渉 吉岡 香絵 山崎 亮太	【事後学修】シナリオ1で抽出した自己学習課題に対するレポートの作成	テュートリアル演習室群
10	PBL課題2 テュートリアル学習 3 : シナリオ1に関するプレゼンを行う。シナリオ2から問題点の抽出を行い、自己学習課題を決定する。	実習	有吉 渉 吉岡 香絵 山崎 亮太	【事前学修】シナリオ1のプレゼンテーションの準備と配布資料の作成	テュートリアル演習室群
11	PBL課題2 テュートリアル学習 4 : 自己学習課題に沿って、レポートをまとめ、発表準備を行う。	実習	有吉 渉 吉岡 香絵 山崎 亮太	【事後学修】シナリオ2で抽出した自己学習課題に対するレポートの作成	テュートリアル演習室群

臨床基礎応用学

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	有吉 渉						
担当教員	有吉 渉, 東 泉, 福原 正代, 吉岡 香絵, 山崎 亮太						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
12	PBL課題2 テュートリアル学習 5 : シナリオ2に関するプレゼンを行う。	実習	有吉 渉 吉岡 香絵 山崎 亮太	【事前学修】シナリオ2のプレゼンテーションの準備と配布資料の作成	テュートリアル演習室群
13	PBL課題2 テュートリアル学習 6 : シナリオ1および2に関し、自己学習課題でカバーできなかった項目について学習し、レポートをまとめる。	実習	有吉 渉 吉岡 香絵 山崎 亮太	【事後学修】チェックシート記載の学習課題を踏まえたレポートの作成	テュートリアル演習室群
14	テュートリアル学習総括： PBL課題1および課題2について解説を受け、ディスカッションを行う。	実習	有吉 渉 吉岡 香絵 山崎 亮太	【事前学修】PBLで取り組んだ自己学習課題全般	テュートリアル演習室群
15	PBLテュートリアル課題小論文作成： 提示された課題に関する小論文を作成する。	実習	有吉 渉 吉岡 香絵 山崎 亮太	【事前学修】小論文の作成準備	401 講義室 402 講義室

薬理学・歯科薬理学I

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	竹内 弘						
担当教員	竹内 弘, 東 泉						

授業の概要

薬理学は薬物と生体がどのように作用しあうかを研究する学問で、歯科で使用される薬物を対象とするのが歯科薬理学である。薬理学は基礎医学であるが、臨床医学とも密接な関係を持つ。高齢社会において、歯科治療を受ける患者の多くは疾患を有し、多くの薬を使用している。この状況を考慮して、将来歯科医師として、医薬品を患者に有効かつ安全に投与し、また患者が服用中の医薬品に配慮して適切な歯科治療を行う上で必要となる基本事項及び末梢神経系作用薬の講義を行う。その中で、薬害の事例を通じて医薬品情報共有の重要性と薬害を防止するための様々な制度についても学ぶ。

学生の到達目標

- ① 医薬品の分類を説明できる。
- ② 毒薬、劇薬および麻薬等の表示と保管を説明できる。
- ③ 日本薬局方を説明できる。
- ④ 薬物療法（原因、対症療法）を説明できる。
- ⑤ 薬理作用の基本形式と分類を説明できる。
- ⑥ 薬物の作用機序を説明できる。
- ⑦ 薬理作用を規定する要因（用量と反応、感受性）を説明できる。
- ⑧ 小児、妊婦および高齢者への薬物適用上の注意を説明できる。
- ⑨ 薬物の連用の影響（薬物耐性、蓄積および薬物依存）を説明できる。
- ⑩ 薬物の一般的副作用、有害作用と口唇・口腔・顎顔面領域に現れる副作用、有害作用を説明できる。
- ⑪ 薬物の併用（協力作用、拮抗作用、相互作用）を説明できる。
- ⑫ 薬物の適用方法の種類とその特徴を説明できる。
- ⑬ 薬物動態（吸収、分布、代謝、排泄）を説明できる。
- ⑭ 末梢神経系作用薬の分類とその作用機序が説明できる。
- ⑮ 平滑筋作用薬の分類とその作用機序が説明できる。
- ⑯ 局所麻酔薬の分類とその作用機序が説明できる。
- ⑰ 処方と処方箋の書き方を説明できる。
- ⑱ 消毒薬の種類、特徴及び作用原理を説明できる。
- ⑲ 歯科専用薬剤の分類とその作用機序が説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-6-1)-④	医療の安全性に関する情報の共有、分析の重要性を説明できる。
C-3-4)-(5)-⑨	シナプス伝達の機序と神経伝達物質を説明できる。
C-4-1)-④	滅菌と消毒の意義、種類及び原理を説明できる。
C-6-1)-①	医薬品の分類を説明できる。
C-6-1)-②	毒薬、劇薬及び麻薬等の表示と保管を説明できる。
C-6-1)-③	日本薬局方を説明できる。
C-6-2)-①	薬理作用の基本形式と分類を説明できる。
C-6-2)-②	薬物作用とその作用機序を説明できる。
C-6-2)-③	薬理作用を規定する要因（用量と反応、感受性）を説明できる。
C-6-2)-④	薬物の連用の影響（耐性、蓄積及び薬物依存）を説明できる。
C-6-2)-⑤	薬物の併用（協力作用、拮抗作用、相互作用）を説明できる。

薬理学・歯科薬理学I

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	竹内 弘						
担当教員	竹内 弘, 東 泉						

コアカリキュラム	内容
C-6-3)-①	薬物の適用方法の種類と特徴を説明できる。
C-6-3)-②	薬物動態（吸収、分布、代謝、排泄）について、加齢、病態による違いや薬物の相互作用による変化を含め、説明できる。
C-6-4)-①	薬物の一般的副作用と有害事象を説明できる。
E-1-1)-⑨	処方と処方箋の書き方を説明できる。
E-1-4)-③)-②	局所麻酔薬の分類と、その作用機序を説明できる。
E-1-4)-③)-③	局所麻酔作用に影響を及ぼす因子を説明できる。
E-1-4)-③)-④	血管収縮薬の使用目的と種類、特徴及び臨床使用上の注意を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
現代歯科薬理学 第6版	大谷 啓一 監修	医歯薬出版

参考書

タイトル	著者	出版社
グッドマン・ギルマン薬理書 第13版	橋本敬太郎 他監訳	廣川書店
NEW 薬理学 改訂第7版	加藤隆一 他編	南江堂
病態生理に基づく臨床薬理学	清野 裕 監修	MEDSi
治療薬マニュアル 2024	矢崎 義雄 監修	医学書院
薬がみえる vol. 1-4	医療情報科学研究所【 編】	メディック メディア

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】原則として、時間予約を電話またはメールにて行うこと。 オフィス：本館11階 口腔応用薬理学分野

【公欠相当の事由による遠隔対応】講義によって異なるので、事由発生時には前日までに担当教員へ相談すること。

薬理学・歯科薬理学I

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	竹内 弘						
担当教員	竹内 弘, 東 泉						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	薬理学概論 薬理学講義の導入として薬理学の概念と分類、薬理作用の基本形式、基本的な薬物療法の種類と併用、および薬物の用量と作用の関係について学習する。	講義 講義資料 ・小テスト (Moodle)	竹内 弘	【事前学修課題】原因療法、対症療法、用量-反応曲線、治療係数（教科書 p. 2-11） 【事後学修課題】教科書 p. 2-11と Moodle 振り返りテスト	402 講義室 Moodle
2	薬理作用と作用機序① 薬物の作用点として重要な膜タンパク質（受容体、イオンチャネル、トランスポーター）の分類と構造学的特徴、細胞における機能と特徴を学習する。	講義 講義資料 ・小テスト (Moodle)	竹内 弘	【事前学修課題】神経伝達物質、オータコイド、サイトカイン、受容体（教科書 p. 13-43） 【事後学修課題】教科書 p. 13-43と Moodle 振り返りテスト	402 講義室 Moodle
3	薬理作用と作用機序② 薬物の作用点として重要な標的分子のうち、酵素及びその他の細胞構成分子（脂質膜、核酸等）の細胞における機能と薬物作用点としての特徴を学習する。	講義 講義資料 ・小テスト (Moodle)	竹内 弘	【事前学修課題】細胞の基本構造、生体内生理活性物質（教科書 p. 13-43） 【事後学修課題】教科書 p. 13-43と Moodle 振り返りテスト	402 講義室 Moodle
4	薬物適用と薬物動態① 薬の生体内運命（吸収、分布、代謝、排泄）のうち、吸収に関する基本的知識（初回通過効果、バイオアベイラビリティ）を学習する。	講義 講義資料 ・小テスト (Moodle)	東 泉	【事前学修課題】トランスポーター、AUC、初回通過効果（教科書 p. 44-49） 【事後学修課題】確認小テストと教科書関連箇所による復習	402 講義室 Moodle
5	薬物適用と薬物動態② 薬の生体内運命のうち、分布および代謝に関する基本的知識（分布容積、薬物代謝酵素）について学習する。	講義 講義資料 ・小テスト (Moodle)	東 泉	【事前学修課題】血清アルブミン、CYP（教科書 p. 49-53） 【事後学修課題】確認小テストと教科書関連箇所による復習	402 講義室 Moodle

薬理学・歯科薬理学I

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	竹内 弘						
担当教員	竹内 弘, 東 泉						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
6	薬物適用と薬物動態③ 薬物の消失過程である排泄の基本的知識（生物学的半減期、クリアランス）について、また病態や年齢（小児と高齢者）による薬物動態の変化について学習する。	講義 講義資料 ・小テスト (Moodle)	東 泉	【事前学修課題】加齢による生理的変化（教科書 p. 53-59, p. 80-84） 【事後学修課題】確認小テストと教科書関連箇所による復習	402 講義室 Moodle
7	薬理作用を規定する因子 薬理作用を規定する因子のうち生体側の因子として遺伝的要因、投与時刻、ライフステージ（妊婦・授乳婦）等を中心に学習する。また薬物の連用による影響（薬物耐性、薬物依存）や併用による影響と薬物間や薬物・食物間の相互作用について学習する。	講義 講義資料 ・小テスト (Moodle)	東 泉	【事前学修課題】薬物感受性、耐性、薬物依存（教科書 p. 56-66, p. 80-84） 【事後学修課題】確認小テストと教科書関連箇所による復習	402 講義室 Moodle
8	副作用・有害作用 薬物の一般的な副作用（薬物アレルギー、各臓器の障害や催奇形性）と口腔及び顎顔面領域に現れる副作用・有害作用と薬物の関係を学習する。	講義 講義資料 ・小テスト (Moodle)	東 泉	【事前学修課題】副作用、有害作用、アレルギー反応、造血幹細胞、血球の分化（教科書 p. 67-79） 【事後学修課題】確認小テストと教科書関連箇所による復習	402 講義室 Moodle
9	医薬品と関連法規 医薬品の概論と、関連する法律（医薬品医療機器等法など）・日本薬局方について学習する。	講義 講義資料 ・小テスト (Moodle)	東 泉	【事前学修課題】医薬品医療機器等法、日本薬局方、麻薬及び向精神薬取締法、医薬分業、後発医薬品（教科書 p. 89-94） 【事後学修課題】確認小テストと教科書関連箇所による復習	402 講義室 Moodle

薬理学・歯科薬理学I

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	竹内 弘						
担当教員	竹内 弘, 東 泉						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
10	医薬品の開発、医薬品情報 新規医薬品開発のプロセス、ジェネリック医薬品、医薬品情報の収集方法および処方箋について学習する。	講義 講義資料 ・小テスト (Moodle)	東 泉	【事前学修課題】 治験、医薬品添付文書有害作用・副作用（教科書 p. 85-86, p. 94-97） 【事後学修課題】 確認小テストと教科書関連箇所による復習	402 講義室 Moodle
11	自律神経系作用薬① 自律神経系作用薬の概論と、副交感神経作動薬について学習する。	講義 講義資料 ・小テスト (Moodle)	竹内 弘	【事前学修課題】 自律神経系および運動神経における神経伝達物質とその受容体 【事後学修課題】 確認小テストと教科書による復習（教科書 p. 106-123）	402 講義室 Moodle
12	自律神経系作用薬② 副交感神経遮断薬、交感神経作動薬、交感神経遮断薬について学習する。	講義 講義資料 ・小テスト (Moodle)	竹内 弘	【事前学修課題】 抗コリン作用、交感神経作動薬、交感神経遮断薬の受容体選択性 【事後学修課題】 確認小テストと教科書による復習（教科書 p. 106-123）	402 講義室 Moodle
13	末梢性筋弛緩薬・平滑筋作用薬 末梢性筋弛緩薬、平滑筋作用薬について学習する。	講義 講義資料 ・小テスト (Moodle)	竹内 弘	【事前学修課題】 骨格筋収縮のメカニズム（教科書 p. 123-126） 【事後学修課題】 確認小テストと教科書関連箇所による復習	402 講義室 Moodle
14	局所麻酔薬 局所麻酔薬の作用について学習する。	講義 講義資料 ・小テスト (Moodle)	東 泉	【事前学修課題】 自律神経作用薬の復習（教科書 p. 232-239） 【事後学修課題】 確認小テストと教科書関連箇所による復習	402 講義室 Moodle

薬理学・歯科薬理学I

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	竹内 弘						
担当教員	竹内 弘, 東 泉						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
15	消毒薬・歯科専用薬剤 消毒薬の種類と作用機序と臨床応用について学習する。また歯内療法、歯周疾患治療薬の種類と作用機序及び臨床応用について学習する。	講義 講義資料・小テスト (Moodle)	竹内 弘	【事前学修課題】消毒、滅菌、消毒水準分類、B型肝炎ウイルス、ヒト免疫不全ウイルス、象牙質知覚過敏症、歯髄鎮静、根管清掃・消毒 (教科書 p. 350-393) 【事後学修課題】教科書 p. 350-393とMoodle 振り返りテスト	402 講義室 Moodle

薬理学・歯科薬理学II

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	竹内 弘						
担当教員	竹内 弘, 東 泉, (非)大住 伴子						

授業の概要

抗炎症薬や抗菌薬など歯科で頻用される薬物および医科で使用される薬物の各論、後者について特に高齢者が使用することが多い薬物との薬物相互作用などに重点をおいて講義を行い、将来歯科医師として、医薬品を患者に有効にかつ安全に投与できる能力を育成する。また、薬害訴訟に発展した事例にも触れながら、新規医薬品に適切に対応できる基礎能力を養う。

学生の到達目標

- ① 歯科治療時に留意すべき使用薬物を説明できる。
- ② 中枢神経系作用薬の分類とその作用機序が説明できる。
- ③ 全身疾患を有する患者への薬物適用上の注意を説明できる。
- ④ 循環器系作用薬の分類とその作用機序が説明できる。
- ⑤ 救急処置に用いられる薬物を列挙し、その作用機序を説明できる。
- ⑥ 血液系作用薬の分類とその作用機序が説明できる。
- ⑦ 抗炎症薬の分類とその作用機序が説明できる。
- ⑧ 抗感染症薬の分類とその作用機序が説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
C-3-3)-(4)-⑦	止血、血液凝固及び線溶の機序を説明できる。
C-3-3)-(5)-⑨	シナプス伝達の機序と神経伝達物質を説明できる。
C-4-1)-⑤	化学療法 of 目的と原理及び化学療法薬の作用機序並びに薬剤耐性機序を説明できる。
C-6-2)-②	薬物作用とその作用機序を説明できる。
C-6-2)-⑤	薬物の併用（協力作用、拮抗作用、相互作用）を説明できる。
C-6-4)-①	薬物の一般的副作用と有害事象を説明できる。
C-6-4)-②	薬剤耐性 (antimicrobial resistance <AMR>) に配慮した適切な抗菌薬使用を説明できる。
E-1-4)-(1)-⑤	患者の服用薬物の歯科治療への影響と歯科治療時の対応を説明できる。
E-1-4)-(2)-②	吸入鎮静法に使用する薬剤と適応、禁忌及び合併症を説明できる。
E-1-4)-(2)-③	静脈内鎮静法に使用する薬剤と適応、禁忌及び合併症を説明できる。
E-1-4)-(4)-②	全身麻酔時に使用する薬物とその基本的な薬理作用及び使用機器・器具を説明できる。
E-5-1)-②	高齢者に多く見られる疾患及び服用している薬物を説明できる。
E-6-②	医科疾患合併患者の歯科治療時の注意点を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
現代歯科薬理学 第6版	大谷 啓一 監修	医歯薬出版

参考書

タイトル	著者	出版社
グッドマン・ギルマン薬理書 第13版	橋本敬太郎 他監訳	廣川書店
NEW 薬理学 改訂第7版	加藤隆一 他編	南江堂

薬理学・歯科薬理学II

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	竹内 弘						
担当教員	竹内 弘, 東 泉, (非)大住 伴子						

タイトル	著者	出版社
歯科薬理学 第5版	石田 甫 他編	医歯薬出版
病態生理に基づく臨床薬理学	清野 裕 監修	MEDSi
治療薬マニュアル 2024	矢崎 義雄 監修	医学書院
薬がみえる vol. 1-4	医療情報科学研究所【編】	メディックメディア

成績評価方法・基準

評価項目	割合
確認テスト	100%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】原則として、時間予約を電話またはメールにて行うこと。

【公欠相当の事由による遠隔対応】講義によって異なるので、事由発生時には前日までに担当教員へ相談すること。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	中枢神経系作用薬 ① 中枢神経作用薬のうち、全身麻酔薬、鎮静薬について学習する。	講義 講義資料・小テスト (Moodle)	東 泉	【事前学修課題】不眠、GABA、 $\alpha 2$ 受容体の復習 【事後学修課題】確認小テストと教科書関連箇所による復習 (教科書 p. 127?132, p. 143-150)	402 講義室 Moodle

薬理学・歯科薬理学II

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	竹内 弘						
担当教員	竹内 弘, 東 泉, (非)大住 伴子						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	中枢神経系作用薬 ② 麻薬性鎮痛薬, 精神疾患に用いられる薬について学習する。	講義 講義資料・小テスト (Moodle)	東 泉	【事前学修課題】痛み、不安、気分障害 【事後学修課題】確認小テストと教科書関連箇所による復習 (教科書 p. 135-150)	402 講義室 Moodle
3	中枢神経系作用薬 ③ 精神・神経疾患に用いられる薬について学習する。	講義 講義資料・小テスト (Moodle)	東 泉	【事前学修課題】統合失調症、てんかん、パーキンソン病 【事後学修課題】確認小テストと教科書関連箇所による復習 (教科書 p. 150-163)	402 講義室 Moodle
4	重要な全身疾患 循環器系・血液系疾患について、その症状・原因・治療方法を知り、歯科治療時の注意事項や緊急時の対処方法を学習する。	講義 講義資料・小テスト (Moodle)	竹内 弘	【事前学修課題】高血圧症、狭心症・心筋梗塞・虚血性心疾患、不整脈、心不全 【事後学修課題】確認小テストによる復習	402 講義室 Moodle
5	循環器系作用薬 ① 心不全治療薬、β遮断薬について学習する。	講義 講義資料・小テスト (Moodle)	竹内 弘	【事前学修課題】ナトリウムポンプ、受容体選択性 【事後学修課題】確認小テストと教科書関連箇所による復習 (教科書 p. 164-174)	402 講義室 Moodle
6	循環器系作用薬 ② カルシウム拮抗薬、狭心症治療薬、不整脈治療薬について学習する。	講義 講義資料・小テスト (Moodle)	竹内 弘	【事前学修課題】カルシウムチャネル、ニトログリセリン、心筋活動電位 【事後学修課題】確認小テストと教科書関連箇所による復習 (教科書 p. 164-174)	402 講義室 Moodle

薬理学・歯科薬理学II

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	竹内 弘						
担当教員	竹内 弘, 東 泉, (非)大住 伴子						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
7	循環器系作用薬 ③ 高血圧症治療薬（利尿薬を含む）について学習する。	講義 講義資料 ・小テスト（Moodle）	竹内 弘	【事前学修課題】レニン・アンジオテンシン系、尿の生成メカニズム 【事後学修課題】確認小テストと教科書関連箇所による復習（教科書 p. 164-174, 189-193）	402 講義室 Moodle
8	血液系作用薬 ① 血液凝固系と線溶系の概論、血液凝固阻止薬（抗凝固薬、抗血栓薬、血栓溶解薬）について詳細に学習する。	講義 講義資料 ・小テスト（Moodle）	竹内 弘	【事前学修課題】血液凝固系と線溶系、血液凝固因子 【事後学修課題】確認小テストと教科書関連箇所による復習（教科書 p. 175-189）	402 講義室 Moodle
9	血液系作用薬 ② 血液凝固阻止薬、止血薬、貧血治療薬、抗高脂血症薬、痛風・高尿酸血症治療薬について学習する。	講義 講義資料 ・小テスト（Moodle）	竹内 弘	【事前学修課題】血液凝固および血液溶解のメカニズム、貧血、高脂血症、高尿酸血症 【事後学修課題】確認小テストと教科書関連箇所による復習（教科書 p. 175-189）	402 講義室 Moodle
10	抗炎症薬 ① 抗炎症薬の概論と、ステロイド性抗炎症薬について学習する。	講義 講義資料 ・小テスト（Moodle）	竹内 弘	【事前学修課題】副腎皮質ホルモン、ステロイド骨格 【事後学修課題】確認小テストと教科書関連箇所による復習（教科書 p. 246-253）	402 講義室 Moodle

薬理学・歯科薬理学II

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	竹内 弘						
担当教員	竹内 弘, 東 泉, (非)大住 伴子						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
11	抗炎症薬 ② 非ステロイド性抗炎症薬について、特に酸性抗炎症薬について詳細に学習する。	講義 講義資料 ・小テスト (Moodle)	竹内 弘	【事前学修課題】アラキドン酸カスケード 【事後学修課題】確認小テストと教科書関連箇所による復習 (教科書 p. 253-261)	402 講義室 Moodle
12	呼吸器系作用薬 気管支拡張薬、鎮咳薬、去痰薬について学習する。	講義 講義資料 ・小テスト (Moodle)	竹内 弘	【事前学修課題】呼吸中枢、気管支喘息 【事後学修課題】確認小テストと教科書関連箇所による復習 (教科書 p. 194-198)	402 講義室 Moodle
13	抗感染症薬 ① 抗感染症薬の概論と、抗生物質 (β-ラクタム系) について学習する。	講義 講義資料 ・小テスト (Moodle)	(非)大住 伴子	【事前学修課題】微生物の種類・構造、薬剤耐性 【事後学修課題】確認小テストと教科書関連箇所による復習 (教科書 p. 265-286)	402 講義室 Moodle
14	抗感染症薬 ② 抗生物質 (β-ラクタム系以外) ・ニューキノロン薬・サルファ剤について学習する。	講義 講義資料 ・小テスト (Moodle)	(非)大住 伴子	【事前学修課題】キレート化合物、細菌のDNA複製 【事後学修課題】確認小テストと教科書関連箇所による復習 (教科書 p. 265-286)	402 講義室 Moodle
15	薬理学・歯科薬理学IIのまとめと確認テスト	確認テスト	竹内 弘 東 泉	【事前学修課題】薬理学・歯科薬理学II で学んだ項目全般 【事後学修課題】確認テスト内容の講義資料・教科書を用いた復習	402 講義室 その他

薬理学・歯科薬理学III

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	竹内 弘						
担当教員	竹内 弘, 東 泉, (非)大住 伴子						

授業の概要

医科で使用される薬物の各論、特に歯科診療時に遭遇する可能性が高く、歯科治療に際して注意すべき点の多い薬物に重点をおいて講義を行い、将来歯科医師として、薬物療法を受けている患者に配慮した適切な診療を行う能力を育成する。また、薬害訴訟に発展した事例にも触れながら、新規医薬品に適切に対応できる基礎能力を養う。

学生の到達目標

- ① 歯科治療時に留意すべき使用薬物を説明できる。
- ② 全身疾患を有する患者への薬物適用上の注意を説明できる。
- ③ 口腔・顎顔面領域に症状を現す薬物の副作用を列挙できる。
- ④ 口腔癌の特徴、治療法を説明できる。
- ⑤ 免疫系作用薬の分類とその作用機序が説明できる。
- ⑥ 消化器系作用薬の分類とその作用機序が説明できる。
- ⑦ 内分泌および代謝系に作用する薬物の分類とその作用機序が説明できる。
- ⑧ 化学療法薬の分類とその作用機序並びに薬剤耐性機序を説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
C-4-1)-⑤	化学療法の目的と原理及び化学療法薬の作用機序並びに薬剤耐性機序を説明できる。
C-6-2)-②	薬物作用とその作用機序を説明できる。
C-6-2)-③	薬理作用を規定する要因（用量と反応、感受性）を説明できる。
C-6-2)-⑤	薬物の併用（協力作用、拮抗作用、相互作用）を説明できる。
C-6-4)-①	薬物の一般的副作用と有害事象を説明できる。
C-6-4)-②	薬剤耐性（antimicrobial resistance <AMR>）に配慮した適切な抗菌薬使用を説明できる。
E-1-4)-(1)-⑤	患者の服用薬物の歯科治療への影響と歯科治療時の対応を説明できる。
E-6-②	医科疾患合併患者の歯科治療時の注意点を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
現代歯科薬理学 第6版	大谷 啓一 監修	医歯薬出版

参考書

タイトル	著者	出版社
グッドマン・ギルマン薬理書 第13版	橋本敬太郎 他監訳	廣川書店
NEW 薬理学 改訂第7版	加藤隆一 他編	南江堂
歯科薬理学 第5版	石田 甫 他編	医歯薬出版

薬理学・歯科薬理学III

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	竹内 弘						
担当教員	竹内 弘, 東 泉, (非)大住 伴子						

タイトル	著者	出版社
病態生理に基づく臨床薬理学	清野 裕 監修	MEDSi
治療薬マニュアル 2024	矢崎 義雄 監修	医学書院
薬がみえる vol. 1-4	医療情報科学研究所【編】	メディックメディア

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】原則として、時間予約を電話またはメールにて行うこと。本館 11 階 口腔応用薬理学。

【公欠相当の事由による遠隔対応】講義によって異なるので、事由発生時には前日までに担当教員へ相談すること。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	抗感染症薬（主に細菌以外） 抗ウイルス薬・抗真菌薬等について学習する。	講義 講義資料 ・小テスト（Moodle）	(非)大住 伴子	【事前学修課題】ウイルスの増殖メカニズム、真菌の細胞膜構造 【事後学修課題】確認小テストと教科書関連箇所による復習	402 講義室 Moodle

薬理学・歯科薬理学III

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	竹内 弘						
担当教員	竹内 弘, 東 泉, (非)大住 伴子						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	抗腫瘍薬 抗悪性腫瘍薬の種類と作用機序及び臨床応用について学習する。関連する薬害訴訟の事例から新薬利用時のリスク等を学習する。	講義 講義資料 ・小テスト (Moodle)	竹内 弘	【事前学修課題】細胞周期、DNA合成、細胞成長因子、プロテインキナーゼ、モノクローナル抗体 【事後学修課題】確認小テストと教科書関連箇所による復習 (教科書 p. 306-319)	402 講義室 Moodle
3	免疫作用薬 抗アレルギー薬の種類と作用機序について学習する。	講義 講義資料 ・小テスト (Moodle)	竹内 弘	【事前学修課題】細胞性免疫、体液性免疫、自己免疫疾患、臓器移植、拒絶反応、アレルギー反応 【事後学修課題】確認小テストと教科書関連箇所による復習 (教科書 p. 294-305)	402 講義室 Moodle
4	消化器系作用薬 消化性潰瘍治療薬、消化管運動調整薬、制吐薬について学習する。	講義 講義資料 ・小テスト (Moodle)	東 泉	【事前学修課題】胃、腸の構造 【事後学修課題】確認小テストと教科書関連箇所による復習 (教科書 p. 199-205)	402 講義室 Moodle
5	糖尿病治療薬 糖尿病治療薬を中心とする代謝系疾患治療薬の種類と作用機序、副作用について学習する。	講義 講義資料 ・小テスト (Moodle)	竹内 弘	【事前学修課題】1型糖尿病、2型糖尿病、インスリンの作用、インスリン分泌器官 【事後学修課題】確認小テストと教科書関連箇所による復習 (教科書 p. 204-214)	402 講義室 Moodle

薬理学・歯科薬理学III

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	竹内 弘						
担当教員	竹内 弘, 東 泉, (非)大住 伴子						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
6	ホルモン剤 ホルモンの薬物としての臨床応用について学習する。	講義 講義資料 ・小テスト (Moodle)	竹内 弘	【事前学修課題】副腎皮質ホルモン、性ホルモン、核内受容体 【事後学修課題】確認小テストと教科書関連箇所による復習 (教科書 p. 207-209, 214-217)	402 講義室 Moodle
7	骨作用薬 骨代謝を調節するホルモンの概要と各組織に作用する薬物の種類及び作用機序と骨粗鬆症などへの臨床応用について学習する。	講義 講義資料 ・小テスト (Moodle)	竹内 弘	【事前学修課題】骨粗鬆症、カルシウム調節ホルモン、骨芽細胞、破骨細胞、骨代謝 【事後学修課題】確認小テストと教科書関連箇所による復習 (教科書 p. 327-338)	402 講義室 Moodle
8	ビタミン剤 臨床応用されるビタミンについて生理機能を学習する。	講義 講義資料 ・小テスト (Moodle)	竹内 弘	【事前学修課題】脂溶性ビタミン、水溶性ビタミン、ビタミン欠乏症、腸内細菌叢 【事後学修課題】確認小テストと教科書関連箇所による復習 (教科書 p. 220-229)	402 講義室 Moodle

薬理学・歯科薬理学Ⅳ

開講学科	歯学科			開講年次	4年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	34	単位数	1
科目責任者	竹内 弘						
担当教員	竹内 弘, 東 泉, (非)大住 伴子, (非)佐加良 英治, (非)柳田 俊彦						

授業の概要

講義で学ぶ重要な薬物の薬理作用や有害作用について実験動物やコンピュータシミュレーションソフトを用いて学ぶ。また、薬物の作用に関わる主要な生体内生理活性物質や高齢者が使用することが多い薬物に関してグループ学習を行い、その成果の発表を通じて理解を深める。医科で使用される薬物の各論、特に高齢者が使用することの多い薬物や薬物相互作用に重点をおいてロールプレイ形式の演習を行い、将来歯科医師として、医薬品を患者に有効にかつ安全に投与できる能力を育成する。

学生の到達目標

- ① 薬物の作用とその作用機序を説明できる。
- ② 歯科治療時に留意すべき使用薬物を説明できる。
- ③ 小児、妊婦および高齢者への薬物適用上の注意を説明できる。
- ④ 全身疾患を有する患者への薬物適用上の注意を説明できる。
- ⑤ 救急処置に用いられる薬物を列挙し、その作用機序を説明できる。
- ⑥ 口腔・顎顔面領域に症状を現す薬物の副作用を列挙できる。
- ⑦ 中枢神経系作用薬の分類とその作用機序が説明できる。
- ⑧ 重要な全身疾患を説明できる。
- ⑨ 局所麻酔薬の分類とその作用機序が説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-5-1)-②	医療チームや各構成員（歯科医師、医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制を説明できる。
A-5-1)-③	保健・医療・福祉・介護における多職種連携と歯科医師の役割を説明できる。
A-6-1)-④	医療の安全性に関する情報の共有、分析の重要性を説明できる。
C-6-1)-②	毒薬、劇薬及び麻薬等の表示と保管を説明できる。
C-6-2)-②	薬物作用とその作用機序を説明できる。
C-6-2)-⑤	薬物の併用（協力作用、拮抗作用、相互作用）を説明できる。
C-6-4)-①	薬物の一般的副作用と有害事象を説明できる。
E-1-4)-①)-⑤	患者の服用薬物の歯科治療への影響と歯科治療時の対応を説明できる。
E-1-4)-①)-⑥	患者（小児、妊産婦、高齢者を含む）の全身状態の評価を説明できる。
E-1-4)-③)-②	局所麻酔薬の分類と、その作用機序を説明できる。
E-1-4)-③)-④	血管収縮薬の使用目的と種類、特徴及び臨床使用上の注意を説明できる。
E-1-4)-④)-②	全身麻酔時に使用する薬物とその基本的な薬理作用及び使用機器・器具を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
現代歯科薬理学 第6版	大谷 啓一 監修	医歯薬出版

薬理学・歯科薬理学IV

開講学科	歯学科			開講年次	4年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	34	単位数	1
科目責任者	竹内 弘						
担当教員	竹内 弘, 東 泉, (非)大住 伴子, (非)佐加良 英治, (非)柳田 俊彦						

タイトル	著者	出版社
薬理学実習書 令和6年度版		口腔応用薬理学分野

参考書

タイトル	著者	出版社
グッドマン・ギルマン薬理書 第13版	橋本敬太郎 他監訳	廣川書店

薬理学・歯科薬理学IV

開講学科	歯学科			開講年次	4年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	34	単位数	1
科目責任者	竹内 弘						
担当教員	竹内 弘, 東 泉, (非)大住 伴子, (非)佐加良 英治, (非)柳田 俊彦						

タイトル	著者	出版社
NEW 薬理学 改訂第7版	加藤隆一 他編	南江堂
病態生理に基づく臨床薬理学	清野 裕 監修	MEDSi
治療薬マニュアル 2024	矢崎 義雄 監修	医学書院
薬がみえる vol. 1-4	医療情報科学研究所【 編】	メディック メディア

成績評価方法・基準

評価項目	割合
実習内容とレポート	40%
確認テスト	60%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】本館 11 階 口腔応用薬理学：原則として、時間予約を電話またはメールにて行うこと。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	実習全般の説明 実習のスケジュールおよび実習を行う上での注意点の説明を行う。	実習資料配布 課題提示	竹内 弘 東 泉	【事前学修課題】事前に配布する実習書の内容を確認する。 【事後学修課題】概要の説明を踏まえて各実習項目の内容を確認する。	501 講義室
2	循環器系作用薬の薬効解析 ① 循環器作用薬の動物個体レベルにおける薬効をコンピュータシミュレーションソフトを用いて解析し、循環器系作用薬の作用機序を学ぶ。	実習	竹内 弘 東 泉	【事前学修課題】循環器系作用薬とその作用点 【事後学修課題】レポートの作成・提出	コンピュータ演習室

薬理学・歯科薬理学Ⅳ

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	34	単位数	1
科目責任者	竹内 弘						
担当教員	竹内 弘, 東 泉, (非)大住 伴子, (非)佐加良 英治, (非)柳田 俊彦						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
3	循環器系作用薬の薬効解析 ② 循環器作用薬の動物個体レベルにおける薬効をコンピュータシミュレーションソフトを用いて解析し、循環器系作用薬の作用機序を学ぶ。	実習	竹内 弘 東 泉	【事前学修課題】循環器系作用薬とその作用点 【事後学修課題】レポートの作成・提出	コンピュータ演習室
4	実験動物学 動物実験に関する基本的事項（法律、指針、実験動物の取り扱いなど）について学ぶ。	講義 実習資料配布 確認テスト	(非)佐加良 英治	【事前学修課題】実験動物、動物愛護、動物実験の3R 【事後学修課題】確認テスト内容の復習	501 講義室
5	全身麻酔薬のマウスに対する作用 全身麻酔薬の作用経過について、マウスを用いて観察し比較する。また、治療係数を算出しその意味について学ぶ。	実習	東 泉 (非)大住 伴子	【事前学修課題】全身麻酔薬、治療係数 【事後学修課題】レポートの作成・提出	51 実習室
6	鎮痛薬のマウスに対する作用 2 種類の鎮痛薬の作用経過について、マウスを用いて観察し比較する。また、医薬品に関する法律についても学ぶ。	実習	東 泉 (非)大住 伴子	【事前学修課題】鎮痛薬、麻薬及び向精神薬取縮法 【事後学修課題】レポートの作成・提出	51 実習室
7	生体内生理活性物質 ① グループ学習を通じて薬物の作用と関係する主要な生体内生理活性物質について深く学ぶ。	実習（グループ学習）	竹内 弘 東 泉	【事前学修課題】神経伝達物質、オータコイド、受容体 【事後学修課題】レポートの作成・提出	501 講義室 テュートリアル演習室群
8	生体内生理活性物質 ② グループ学習を通じて薬物の作用と関係する主要な生体内生理活性物質について深く学ぶ。	実習（グループ学習）	竹内 弘 東 泉	【事前学修課題】神経伝達物質、オータコイド、受容体 【事後学修課題】レポートの作成・提出	501 講義室 テュートリアル演習室群
9	二重盲検法 ① カフェインの薬効について、二重盲検法による効果判定を実施／体験する。	実習	竹内 弘	【事前学修課題】二重盲検法、プラセボ、カフェイン含有食品 【事後学修課題】レポートの作成・提出	501 講義室 Moodle

薬理学・歯科薬理学IV

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	34	単位数	1
科目責任者	竹内 弘						
担当教員	竹内 弘, 東 泉, (非)大住 伴子, (非)佐加良 英治, (非)柳田 俊彦						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
10	二重盲検法 ② カフェインの薬効について、二重盲検法による効果判定を実施/体験する。	実習	竹内 弘	【事前学修課題】二重盲検法、プラセボ、カフェイン含有食品 【事後学修課題】レポートの作成・提出	501講義室 Moodle
11	薬物治療ロールプレイ ① ロールプレイ形式の演習（互いに患者・家族役に扮して治療薬に対して質問したり、歯科医師役になって薬物治療方針を説明するなど）を通じて治療薬に関する知識を深める。	実習	竹内 弘 東 泉 (非)柳田 俊彦	【事前学修課題】事前に配布される課題に対する発表準備 【事後学修課題】レポートの作成・提出	501講義室 Moodle Microsoft Teams
12	薬物治療ロールプレイ ② ロールプレイ形式の演習（互いに患者・家族役に扮して治療薬に対して質問したり、歯科医師役になって薬物治療方針を説明するなど）を通じて治療薬に関する知識を深める。	実習	竹内 弘 東 泉 (非)柳田 俊彦	【事前学修課題】事前に配布される課題に対する発表準備 【事後学修課題】レポートの作成・提出	501講義室 Moodle Microsoft Teams
13	学習成果発表の準備 ① 動物実験、循環器系作用薬の実習内容、薬物の作用と関係する主要な生体内生理活性物質についてグループ学習の成果をまとめ発表用資料を作成する。また、ロールプレイの準備を通じて、全身疾患（循環器系疾患）を有する患者の使用薬物を知り、歯科治療における問題点を学ぶ。	実習（グループ学習）	竹内 弘 東 泉	【事前学修課題】有害な併用薬物、救急治療薬 【事後学修課題】発表資料の完成	501講義室 Moodle
14	学習成果発表の準備 ② 動物実験、循環器系作用薬の実習内容、薬物の作用と関係する主要な生体内生理活性物質についてグループ学習の成果をまとめ発表用資料を作成する。また、ロールプレイの準備を通じて、全身疾患（循環器系疾患）を有する患者の使用薬物を知り、歯科治療における問題点を学ぶ。	実習（グループ学習）	竹内 弘 東 泉	【事前学修課題】有害な併用薬物、救急治療薬 【事後学修課題】発表資料の完成	501講義室 Moodle

薬理学・歯科薬理学IV

開講学科	歯学科			開講年次	4年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	34	単位数	1
科目責任者	竹内 弘						
担当教員	竹内 弘, 東 泉, (非)大住 伴子, (非)佐加良 英治, (非)柳田 俊彦						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
15	学習成果発表 ① 生体内生理活性物質についてのグループ学習、実験結果に関してグループ学習した成果をスライドを用いて発表する。	実習	竹内 弘 東 泉	【事前学修課題】担当となった発表内容 【事後学修課題】発表時に受けた質問・コメントを踏まえたレポート提出	501 講義室 Moodle テュートリアル演習室群
16	学習成果発表 ② 生体内生理活性物質についてのグループ学習、実験結果に関してグループ学習した成果をスライドを用いて発表する。	実習	竹内 弘 東 泉	【事前学修課題】担当となった発表内容 【事後学修課題】発表時に受けた質問・コメントを踏まえたレポート提出	501 講義室 Moodle テュートリアル演習室群
17	薬理学 IV と実習のまとめ確認テスト	確認テスト	竹内 弘 東 泉	【事前学修課題】実習中に登場した薬物	講堂ホール

成長発育総論

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	渡辺 幸嗣						
担当教員	渡辺 幸嗣, 川元 龍夫, 郡司掛 香織, 黒石 加代子, 水原 正博, 白川 智彦, 西田 郁子, 佐伯 桂, 藤田 優子						

授業の概要

小児の成長発達に焦点を当て、1) 小児の身体的、精神的、生理的特徴の変化、2) 乳歯列から永久歯列完成までの歯列咬合の変化、3) 顎顔面の成長発達に伴う形態と機能の変化、について学び、育成の重要性と意義を理解する。本臨床講義では具体的に小児の身体的発育と精神的特徴、あるいは心と行動の発達と社会生活との関係などを実際の子供達の歯科医療にどのように取り入れて行くのか。また、日常の食生活から子供達の健全な口腔機能の発達を促進し咬合育成を計り、顎口腔機能の健全な育成を計って行く具体的な事例を講義する。

学生の到達目標

- ① 小児の身体発育、精神発育の特徴と評価法を説明できる。
- ② 顎顔面頭蓋部の成長発育を理解し説明できる。
- ③ 歯の発生、発育および交換の過程を説明できる。
- ④ 歯の発育障害と加齢変化の病因と病態を説明できる。
- ⑤ 歯の硬組織の疾患の原因と病態を説明できる。
- ⑥ 顎顔面頭蓋部の形成異常を列挙しその原因を説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
C-3-2)-①	人体の正常な個体発生と器官発生を説明できる。
C-3-2)-③	人体の形態的な成長と機能的な発達を説明できる。
C-3-2)-④	小児の身体発育、精神発達の特徴と評価法を説明できる。
C-3-4)-(2)-①	人体の基本的な骨格系と骨の結合様式を説明できる。
C-3-4)-(2)-③	骨と軟骨の組織構造と構成する細胞を説明できる。
C-3-4)-(2)-④	骨発生（軟骨内骨化と膜内骨化）、骨成長及びリモデリングの機序と調整機構を説明できる
C-3-4)-(2)-⑤	硬組織の成分と石灰化の機序を説明できる。
E-2-2)-④	歯列と咬合を説明できる。
E-2-3)-①	口腔・顎顔面領域の発生を説明できる。
E-2-3)-②	口腔・顎顔面領域の成長・発育を説明できる。
E-2-3)-③	口腔・顎顔面の成長・発育異常及び不正咬合へ及ぼす影響を説明できる。
E-2-3)-④	口腔・顎顔面領域の老化と歯の喪失に伴う変化を説明できる。
E-2-4)-(1)-①	口腔・頭蓋・顎顔面に症状を示す先天異常を説明できる。
E-2-4)-(1)-④	軟組織の異常を説明できる。
E-2-4)-(11)-①	咬合異常による障害と咀嚼障害の原因、診察、検査、診断及び治療方針を説明できる。
E-3-1)-①	歯の発生、発育及び交換の過程と変化を説明できる。
E-3-1)-②	歯種別の形態と特徴を説明できる。
E-3-1)-③	遺伝的な歯の形成異常を説明できる。
E-3-1)-④	歯（乳歯、根未完成歯、幼若永久歯を含む）の硬組織の構造、機能及び構成成分を説明できる。
E-3-1)-⑤	歯髄の構造と機能を説明できる。
E-3-1)-⑥	歯周組織の発生、構造及び機能を説明できる。
E-4-1)-③	不正咬合の原因、種類、障害、診察、検査、診断、治療及び予防法を説明できる。

成長発育総論

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	渡辺 幸嗣						
担当教員	渡辺 幸嗣, 川元 龍夫, 郡司掛 香織, 黒石 加代子, 水原 正博, 白川 智彦, 西田 郁子, 佐伯 桂, 藤田 優子						

コアカリキュラム	内容
E-4-2)-⑧	咬合誘導の概念を説明できる。
E-4-2)-⑩	小児患者の対応を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
小児歯科学	白川哲夫他 編集	医歯薬出版 株式会社
小児歯科学基礎・臨床実習	白川哲夫他	医歯薬出版 株式会社
歯科矯正学 第6版	飯田順一郎 他 編集	医歯薬出版 株式会社

参考書

タイトル	著者	出版社
Handbook of Facial Growth	Donald, H. Enlow, W.B.	Saunders Company

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

相談は随時受け付け可能だが、原則、時間予約を電話、メールにて行うこと。担当教員：(代表) 渡辺 : 内線電話、川元 : 内線電話

【公欠相当の事由による遠隔対応】Moodleは可。遠隔配信については事由発生時に担当教員へ相談すること。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	小児歯科学の概論	講義	渡辺 幸嗣	【事前学習課題】小児歯科学の意義【事後学習課題】授業内容に関する小テストを実施	401講義室 Moodle

成長発育総論

開講学科	歯学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	渡辺 幸嗣						
担当教員	渡辺 幸嗣, 川元 龍夫, 郡司掛 香織, 黒石 加代子, 水原 正博, 白川 智彦, 西田 郁子, 佐伯 桂, 藤田 優子						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	矯正歯科学の概論	講義	川元 龍夫	【事前学習課題】矯正歯科治療の目的、不正咬合による障害、矯正歯科治療の種類、開始時期、流れ 【事後学習課題】授業内容に関する小テストを実施	401講義室 Moodle
3	成長発育（全身成長、絶対成長と相対成長）成長発育（平均身長と個成長）	講義	郡司掛 香織	【事前学習課題】Scammonの臓器発育曲線、体格（発育）指数、生理的年齢 【事後学習課題】授業内容に関する小テストを実施	401講義室 Moodle
4	頭蓋発生、顔面頭蓋骨成長様式および下顎骨の成長	講義	黒石 加代子	【事前学習課題】軟骨性成長、骨膜性成長、縫合性成長、口蓋裂 【事後学習課題】授業内容に関する小テストを実施	401講義室 Moodle
5	歯の発生、歯の発育、歯の発育障害	講義	佐伯 桂	歯の発生、歯の発育障害 【事後学習課題】授業内容に関する小テストを実施	401講義室 Moodle
6	歯列の成長発育 歯の交換	講義	藤田 優子	歯の発生、萌出時期、交換期 【事後学習課題】授業内容に関する小テストを実施	401講義室 Moodle
7	運動の発達、言語の発達、情動の発達口腔機能の発達、口腔機能の発達、摂食機能の発達	講義	渡辺 幸嗣	【事前学習課題】運動機能、言語機能、情緒、摂食機能 【事後学習課題】授業内容に関する小テストを実施	401講義室 Moodle

成長発育総論

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	渡辺 幸嗣						
担当教員	渡辺 幸嗣, 川元 龍夫, 郡司掛 香織, 黒石 加代子, 水原 正博, 白川 智彦, 西田 郁子, 佐伯 桂, 藤田 優子						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
8	頭蓋顔面の形成異常	講義	川元 龍夫	【事前学習課題】口唇口蓋裂、不正咬合を発生する先天異常、後天的原因【事後学習課題】授業内容に関する小テストを実施	401講義室 Moodle

口腔顎顔面画像解剖学概論

開講学科	歯学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	森本 泰宏						
担当教員	森本 泰宏, 小田 昌史, 西村 瞬, 松山 佳永, 正木 千尋, 西牟田 文香, 鷺尾 絢子 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業の概要

2年次生で学習した口腔・顎・顔面領域の解剖学の知識を3年生以降の臨床に応用していく架け橋の一つとして同領域の画像解剖学について総論的に教授する。論理的に正しい診断を行うためには正常解剖像をそれぞれの検査ごとに正確に理解しておく必要がある。そこで、歯科臨床で応用されることの多い口内法エックス線写真、パノラマエックス線写真、歯科用コーンビーム（CB）CTを含むCT画像及びMR画像上の正常構造物について人体解剖学を復習しながら学んで貰う。同時に、歯科保存治療、歯科用インプラント、口腔外科的処置における画像解剖像の必要性を理解して貰う。

学生の到達目標

- ① 口内法エックス線写真上での正常解剖像を理解できる。
- ② パノラマエックス線写真上での正常解剖像を理解できる。
- ③ 歯科用CBCTを含むCT画像上での正常解剖像を理解できる。
- ④ MR画像上での正常解剖像を理解できる。
- ⑤ 超音波画像及び核医学画像上での正常解剖像を理解できる。
- ⑥ 画像上の正常解剖像を学ぶことで口腔・顎・顔面領域の人体解剖を理解できる。
- ⑦ 歯科領域における画像の臨床応用を理解できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
D-2-3)-(05)-01	到達目標：①脳神経の種類、走行、線維構築および支配領域を説明できる。
F-1-1)-00	一般目標：口腔・顎顔面領域の診察、検査、診断、治療および予防を行うために必要な基本的な知識、技能および態度を身につける。
F-1-2)-6	到達目標：⑥口内法エックス線撮影とパノラマエックス線撮影の種類および適応を説明できる。
F-1-2)-7	到達目標：⑦口内法エックス線撮影とパノラマエックス線撮影を行い、読影できる。
F-1-2)-9	到達目標：⑨超音波装置、エックス線CTおよび磁気共鳴撮像装置を用いた検査法の原理と基本的特徴を説明できる。
F-2-1)-1	到達目標：①頭蓋骨の構成と構造を説明できる。
F-2-1)-2	到達目標：②咀嚼筋、表情筋、前頸筋の構成と機能を説明できる。
F-2-1)-3	到達目標：③頭頸部の脈管系を説明できる。
F-2-1)-5	到達目標：⑤顎関節の構成と機能を説明できる。
F-3-3)-(2)-1	到達目標：①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。】
F-3-4)-(2)-10	到達目標：⑩歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。

口腔顎顔面画像解剖学概論

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	森本 泰宏						
担当教員	森本 泰宏, 小田 昌史, 西村 瞬, 松山 佳永, 正木 千尋, 西牟田 文香, 鷺尾 絢子 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

テキスト

タイトル	著者	出版社
Moodle 上に資料を提示する。		

参考書

タイトル	著者	出版社
口腔・歯・顎・顔面ポケット画像解剖	中山英二、森本泰宏	医学情報社
頭頸部のCT・MRI 第2版 (2012)	多田信平	MEDSi
Q&Aで学ぶ歯科放射線学：SBOs講義 (2011)	金田隆	学建書院
一步先のパノラマ診断力 (2012)	金田隆	砂書房
頭頸部の臨床画像診断学 (2012)	尾尻博也	南江堂
顎・口腔のCT・MRI (2016)	酒井 修、金田隆	MEDSi
第6版 歯科放射線学	岡野友宏、小林馨、有地栄一郎	医歯薬出版
国家試験問題集（実践、Answer等）		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

実習の確認問題はMoodle上で行います。【オフィスアワー】講義の前後、またはメールで受け付ける。病院3階 歯科放射線科診療室及び病院11階歯科放射線学講座研究室にて常に相談を受け付ける。分からないことはそのままにせず納得のいく迄質問しに来ること。

口腔顎顔面画像解剖学概論

開講学科	歯学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	森本 泰宏						
担当教員	森本 泰宏, 小田 昌史, 西村 瞬, 松山 佳永, 正木 千尋, 西牟田 文香, 鷺尾 絢子 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	口内法エックス線写真上での正常解剖像：歯科独特の口内法エックス線撮影についてその方法及び正常解剖像を理解する。パノラマエックス線写真上での正常解剖像：パノラマエックス線撮影についてその方法及び正常解剖像を理解する。	講義	森本 泰宏	キーワード：口内法エックス線画像、正中口蓋縫合、鼻涙管、鼻腔、前鼻棘、上顎洞、下顎管、パノラマエックス線画像、鼻涙管、硬口蓋、上顎骨、下顎骨、鼻腔、上顎洞、下顎管	401 講義室
2	CT画像での正常解剖像：CT画像（歯科用CBCTを含む）についてその方法及び正常解剖像を理解する。	講義	西村 瞬	キーワード：CT画像、咀嚼筋、舌筋、唾液腺、上顎洞、下顎管、頸動脈、内頸静脈	401 講義室
3	MR画像での正常解剖像：MR画像についてその方法及び正常解剖像を理解する。	講義	小田 昌史	キーワード：MRI画像、咀嚼筋、舌筋、唾液腺、上顎洞、下顎管、頸動脈、内頸静脈	401 講義室
4	口内法、パノラマエックス線画像、CT画像、MR画像のまとめ：口内法、パノラマエックス線画像、CT画像、MR画像の正常解剖像に関して総合的な評価を行う。	講義	小田 昌史	キーワード：口内法エックス線画像、正中口蓋縫合、鼻涙管、鼻腔、前鼻棘、上顎洞、下顎管、パノラマエックス線画像、鼻涙管、硬口蓋、上顎骨、下顎骨、鼻腔、上顎洞、下顎管、CT画像、咀嚼筋、舌筋、唾液腺、上顎洞、下顎管、頸動脈、内頸静脈、MRI画像、咀嚼筋、舌筋、唾液腺、上顎洞、下顎管、頸動脈、内頸静脈	401 講義室
5	口腔・顎・顔面領域の正常解剖像：それぞれの画像に併せて口腔・顎・顔面領域の正常解剖像を再度理解する。	講義	松山 佳永	キーワード：正中口蓋縫合、鼻涙管、鼻腔、上顎洞、下顎管	401 講義室

口腔顎顔面画像解剖学概論

開講学科	歯学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	森本 泰宏						
担当教員	森本 泰宏, 小田 昌史, 西村 瞬, 松山 佳永, 正木 千尋, 西牟田 文香, 鷺尾 絢子 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
6	口腔・顎・顔面領域の各種画像の臨床応用：歯科用インプラントを含む歯科領域の術前検査としての画像の有効性を理解する。【	講義	正木 千尋	キーワード：歯科用インプラント	401講義室
7	口腔・顎・顔面領域の各種画像の臨床応用：口腔外科及び口腔内科に関連する疾患のための術前検査としての画像の有効性を理解する。	講義	西牟田 文香	キーワード：腫瘍、嚢胞、小手術、抜歯、顎変形症	401講義室
8	口腔・顎・顔面領域の各種画像の臨床応用：歯科保存学に関連する疾患のための術前検査としての画像の有効性を理解する。	講義	鷺尾 絢子	キーワード：保存修復、根管数、上顎洞、下顎管	401講義室

歯の治療学I

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	北村 知昭						
担当教員	北村 知昭, 鷺尾 絢子, 折本 愛, 相原 良亮, 村田 一将 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業の概要

歯の治療学では歯科医学・医療のコアである保存修復治療学、歯内治療学、歯の審美・機能回復学（歯冠修復・補綴学概論）について教授する。「歯の治療学I」では各治療の基本手技、使用器具や材料特性の基本理論について教授する。先に実習で体験し、その内容について講義で学習するという、実習・講義が連動した体験先行型カリキュラムに沿って授業は進行する。学生は該当箇所の予習をし、実際の診療を想定したシナリオ・ベース実習を行い、その後、予習・実習を通して得た内容について講義で復習することで、歯の治療について統合した知識を修得する。

学生の到達目標

- ① 保存修復治療の意義と各種修復治療法を説明できる。
- ② 歯内治療の意義と各種歯内治療法を説明できる。
- ③ 外科的歯内治療法を説明できる。
- ④ 歯の審美・機能回復法（歯冠補綴概論）を説明できる。
- ⑤ 保存修復治療、歯内治療、歯冠補綴治療を一連の「歯の治療」として理解し説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-3-4-4	永久歯、乳歯、根未完成歯、幼若永久歯の硬組織の構成成分、構造及び機能を理解している
A-3-4-5	歯髄の構造と機能を理解している。
A-3-4-6	歯の形態異常を理解している。
B	歯科材料と歯科医療機器/歯科用材料と歯科用機器に必要な知識を修得し、医療の提供や発展に必要な考え方を身に付ける。
B-1-2	材料の化学的性質を理解している。
B-1-3	材料の生物学的性質(生体活性、安全性)を理解している。
B-2-1	成形修復・歯冠修復用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法を理解している。
B-2-3	接着用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法を理解している。
B-2-5	歯内療法用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法を理解している。
B-3-1	歯科用材料の成形、加工(切削、焼結、重合、鋳造、溶着等)の原理を理解している。
D-3-1-2-3	歯の外傷と歯槽骨骨折の原因、種類、症状、診断法及び治療法を理解している。
D-3-2-1	齶蝕とその他の歯の硬組織疾患(Tooth Wear(歯の損耗)、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症、歯の亀裂・破折、歯の形成不全、歯の形態異常)の病因と病態を理解している。
D-3-2-2	歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を理解している。
D-5-2-1-1	齶蝕とその他の歯の硬組織疾患(Tooth Wear(歯の損耗)、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症、歯の亀裂・破折、歯の形成不全、歯の形態異常)の症状、検査法、診断及び治療法を理解している。
D-5-2-1-2	Minimal Intervention Dentistry(MID)に基づく歯科治療の意義と臨床的対応を理解している。
D-5-2-1-4	修復に必要な前処置の目的と意義を理解している。
D-5-2-1-5	象牙質・歯髄保護の意義、種類及び方法を理解している。

歯の治療学I

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	北村 知昭						
担当教員	北村 知昭, 鷺尾 絢子, 折本 愛, 相原 良亮, 村田 一将 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

コアカリキュラム	内容
D-5-2-2-1	歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法を理解している。
D-5-2-2-2	根管充填の目的と方法を理解している。
D-5-2-2-3	歯髄・根尖性歯周疾患の治療時における合併症（偶発症）について、種類、処置及び予防を理解している。
D-5-2-2-4	歯髄・根尖性歯周疾患の治療後の治癒機転と予後を理解している。
D-5-2-2-5	外科的歯内療法（手術用実体顕微鏡の利用を含む）の種類と適応を理解している。
D-5-2-2-6	失活歯の変色の原因と処置を理解している。
D-5-2-2-7	歯根吸収の原因、症状、診断及び処置を理解している。
D-5-2-2-8	失活歯の歯根破折の原因、症状、診断及び処置を理解している。
D-5-3-1-3	支台築造の意義、種類及び特徴を理解している。
E-2-2-3	口腔内及び歯の診察・検査（視診、触診、打診、温度診、歯髄電気診、透照診（I a）、齶蝕リスク検査（I b）、レーザー蛍光強度測定（II））を実施できる。
E-5-3-2-1	感染根管治療（単根歯）ができる。（I a）
E-5-3-2-2	感染根管治療（複根歯）ができる。（I b）
E-5-3-2-5	歯髄鎮痛消炎療法ができる。（I b）
E-5-3-2-7	歯髄及び根尖性歯周疾患治療後の経過を観察できる。
E-5-3-4-1-2	支台築造ができる。（I a）

テキスト

タイトル	著者	出版社
保存修復学 第7版	千田彰 他編	医歯薬出版
保存修復学 2 1 第6版	田上順次 他編	永末書店
歯内治療学 第5版	勝海一郎 他編	医歯薬出版
エンドドンティックス 第6版	興地隆史 他編	永末書店

参考書

タイトル	著者	出版社
マイクロエンドをはじめよう 超入門テキスト	北村知昭 編	医歯薬出版
非歯原性疼痛へのアプローチ “原因のわからない” 痛みに悩む患者さんが来院したら	北村知昭 他編	医歯薬出版
高齢者への戦略的歯科治療 自立高齢者にしておきたいこと、寝たきり高齢者にできること	北村知昭 他編	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	90%
「歯の治療学実習」における実習試験	10%

歯の治療学I

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	北村 知昭						
担当教員	北村 知昭, 鷲尾 絢子, 折本 愛, 相原 良亮, 村田 一将 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

その他

（学習相談）相談は随時受け付け可能だが、原則、時間予約を電話、メールにて行うこと。 ・代表：北村知昭

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	修復（1）保存修復治療概論と窩洞形成 一般歯科医療の基本である保存修復治療の全体像と各種修復法の違い、および窩洞形成方法と形態、切削機器を学習する。	スライド資料 配布小レポートあるいは小テスト	北村 知昭	【事前学修課題】窩洞、切削機器について予習。【事後学修課題】窩洞、切削機器について復習。	402 講義室
2	修復（2）コンポジットレジン修復/補修修復 コンポジットレジン修復法におけるコンポジットレジンの種類、性質、歯面処理法、使用方法、適応症等、および、修復・補綴後に破損・脱離した際の補修修復法を学習する。	スライド資料 配布小レポートあるいは小テスト	北村 知昭	【事前学修課題】コンポジットレジン、歯の漂白について予習。【事後学修課題】コンポジットレジン、歯の漂白について復習。	402 講義室
3	修復（3）セメント修復/その他の成形修復 保存修復治療用セメントについて、セメントの種類、性質、歯面との接着、使用方法、適応症等、およびその他の修復法を学習する。	スライド資料 配布小レポートあるいは小テスト	折本 愛	【事前学修課題】修復用セメント、その他の修復について予習。【事後学修課題】修復用セメント、その他の修復について復習。	402 講義室
4	修復（4）インレー修復（1）概要とメタルインレー インレー修復の概要（成形修復との違い、各種使用材料の性質、窩洞形成、技工操作、適応症等）、およびメタルインレー修復を学習する。	スライド資料 配布小レポートあるいは小テスト	折本 愛	【事前学修課題】インレー修復、メタルインレー修復について予習。【事後学修課題】インレー修復、メタルインレー修復について復習。	402 講義室
5	修復（5）インレー修復（2）セラミックス & レジンインレー セラミックス インレーおよび レジンインレーの性質、窩洞形成、技工操作、適応症等を学習する。	スライド資料 配布小レポートあるいは小テスト		【事前学修課題】セラミックス インレーおよび レジンインレーについて予習。【事後学修課題】セラミックス インレーおよび レジンインレーについて復習。	402 講義室

歯の治療学I

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	北村 知昭						
担当教員	北村 知昭, 鷺尾 絢子, 折本 愛, 相原 良亮, 村田 一将 ※氏名の後ろに (診療科名) の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
6	修復 (7) ベニア修復と漂白 (ホワイトニング) 審美治療であるベニア修復および漂白法について、適応症、治療プロセス等を学習する。	スライド資料 配布小レポートあるいは小テスト	鷺尾 絢子	【事前学修課題】ベニア修復と漂白 (ホワイトニング) について予習。【事後学修課題】ベニア修復と漂白 (ホワイトニング) について復習。	402 講義室
7	歯内治療 (1) 歯内治療概論 歯髄・根尖歯周組織の治療法である歯内治療の全体像を学習する。	スライド資料 配布小レポートあるいは小テスト	北村 知昭	【事前学修課題】歯内治療法の概要について予習。【事後学修課題】歯内治療法の概要について復習。	402 講義室
8	歯内治療 (2) 歯髄保存・保護法 歯髄を保存する意義、その治療法、治療に用いられる材料、適応症等を学習する。	スライド資料 配布小レポートあるいは小テスト	鷺尾 絢子	【事前学修課題】歯髄保存、覆髄について予習。【事後学修課題】歯髄保存、覆髄について復習。	402 講義室
9	歯内治療 (3) 抜髄法 歯髄除去 (抜髄について、治療法の違い、治療ステップ、使用材料・薬剤等を学習する。	スライド資料 配布小レポートあるいは小テスト	鷺尾 絢子	【事前学修課題】抜髄処置について予習。【事後学修課題】抜髄処置について復習。	402 講義室
10	歯内治療 (4) 感染根管処置法 根尖性歯周炎に対する治療 (感染根管処置) について、治療法の違い、治療ステップ、使用材料・薬剤等を学習する。	スライド資料 配布小レポートあるいは小テスト	北村 知昭	【事前学修課題】感染根管処置について予習。【事後学修課題】感染根管処置について復習。	402 講義室
11	歯内治療 (5) 抜髄・感染根管処置法に用いる器材 抜髄・感染根管処置法に用いる器材について学習する。	スライド資料 配布小レポートあるいは小テスト	村田 一将	【事前学修課題】抜髄処置・感染根管処置法に用いる器材について予習。【事後学修課題】抜髄処置・感染根管処置法に用いる器材について復習。	402 講義室

歯の治療学I

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	北村 知昭						
担当教員	北村 知昭, 鷺尾 絢子, 折本 愛, 相原 良亮, 村田 一将 ※氏名の後ろに (診療科名) の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
12	歯内治療（6）根管充填法／歯内治療の予後 抜髄・感染根管処置の最終段階である根管充填、および根管充填後の予後（治療後の経過）について学習する。	スライド資料 配布小レポートあるいは小テスト	鷺尾 絢子	【事前学修課題】根管充填および根管充填後の予後（治療後の経過）について予習。【事後学修課題】根管充填および根管充填後の予後（治療後の経過）について復習。	402 講義室
13	歯内治療（7）外科的歯内治療 通常の歯内治療で改善しない病態に対する外科的歯内治療法を学習する。	スライド資料 配布小レポートあるいは小テスト	村田 一将	【事前学修課題】外科的歯内治療、歯根尖切除について予習。【事後学修課題】外科的歯内治療、歯根尖切除について復習。	402 講義室
14	歯内治療（8）マイクロエンドドンティックス 顕微鏡を用いたマイクロエンドドンティックスおよび歯科用顕微鏡を用いたエンドドンティックス・マイクロサージェリーを学習する。	スライド資料 配布小レポートあるいは小テスト	北村 知昭	【事前学修課題】マイクロエンドドンティックス、エンドドンティックス・マイクロサージェリーについて予習。【事後学修課題】マイクロエンドドンティックス、エンドドンティックス・マイクロサージェリーについて復習。	402 講義室
15	歯内治療（9）根管充填後の処置（支台築造と補綴概論） 歯内治療後の処置（支台築造・歯冠補綴）の全体像について学習する。	スライド資料 配布小レポートあるいは小テスト	相原 良亮	【事前学修課題】根管充填後の処置（支台築造と補綴治療）の概論について予習。【事後学修課題】根管充填後の処置（支台築造と補綴治療）の概論について復習。	402 講義室

歯の治療学II

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	北村 知昭						
担当教員	北村 知昭, 鷺尾 絢子, 折本 愛, 相原 良亮, 村田 一将, (非)田畑 泰彦, (非)金崎 伸幸 ※氏名の後ろに (診療科名) の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業の概要

歯の治療学では歯科医学・医療のコアである保存修復治療学、歯内治療学、歯の審美・機能回復学（歯冠修復・補綴学概論）について教授する。「歯の治療学II」では各治療共通の接着、審美、診査・診断、基礎・応用医学（再生医療）との関連、診断推論について教授する。先に実習で体験し、その内容について講義で学習するという、実習・講義が連動した体験先行型カリキュラムに沿って授業は進行する。学生は該当箇所の予習をし、実際の診療を想定したシナリオ・ベース実習を行い、その後、予習・実習を通して得た内容について講義で復習することで、歯の治療について統合した知識を修得する。

学生の到達目標

- ① 歯の治療における接着と審美治療を説明できる。
- ② 歯の治療に伴う合併症と偶発症、外傷歯治療、および高齢者治療時の注意点を説明できる。
- ③ 歯・歯髄・根尖歯周組織の特徴、疾患の発症と疼痛、診査・診断法、および管理法を説明できる。
- ④ 歯の治療における診断推論をできる。
- ⑤ 基礎・先端医学研究と歯科医療との接点を説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-3-4-4	永久歯、乳歯、根未完成歯、幼若永久歯の硬組織の構成成分、構造及び機能を理解している
A-3-4-5	歯髄の構造と機能を理解している。
A-5-3-1	修復と再生の機序と幹細胞の役割を理解している。
A-5-3-4	創傷治癒の過程と関与する細胞を理解している。
B	歯科材料と歯科医療機器/歯科用材料と歯科用機器に必要な知識を修得し、医療の提供や発展に必要な考え方を身に付ける。
B-1-2	材料の化学的性質を理解している。
B-1-3	材料の生物学的性質(生体活性、安全性)を理解している。
B-2-1	成形修復・歯冠修復用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法を理解している。
B-2-3	接着用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法を理解している。
B-2-5	歯内療法用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法を理解している。
B-3-1	歯科用材料の成形、加工(切削、焼結、重合、鋳造、溶着等)の原理を理解している。
B-3-2	歯科用機器の種類、構成、原理、特性及び使用方を理解している。
D-1-1-1	歯科治療時の全身的偶発症を理解している。
D-1-2-1-5	局所麻酔の実施法と合併症(偶発症)を理解している。
D-3-1-2-3	歯の外傷と歯槽骨骨折の原因、種類、症状、診断法及び治療法を理解している。
D-3-1-9-1	口腔顔面痛を理解している。
D-3-1-9-4	三叉神経麻痺(感覚麻痺、運動麻痺)の原因、症状及び治療法を理解している。
D-3-2-1	齶蝕とその他の歯の硬組織疾患(Tooth Wear(歯の損耗)、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症、歯の亀裂・破折、歯の形成不全、歯の形態異常)の病因と病態を理解している。
D-3-2-2	歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を理解している。
D-5-1-1	主な歯科疾患(齶蝕、歯周疾患、不正咬合)の予防を理解している。
D-5-1-2	齶蝕予防における予防填塞及びフッ化物の応用方法を理解している。
D-5-1-3	プラークコントロールの意義と方法を理解している。

歯の治療学II

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	北村 知昭						
担当教員	北村 知昭, 鷺尾 絢子, 折本 愛, 相原 良亮, 村田 一将, (非)田畑 泰彦, (非)金崎 伸幸 ※氏名の後ろに (診療科名) の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

コアカリキュラム	内容
D-5-1-5	歯科疾患のリスク因子を理解している。
D-5-2-1-1	齲蝕とその他の歯の硬組織疾患(Tooth Wear(歯の損耗)、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症、歯の亀裂・破折、歯の形成不全、歯の形態異常)の症状、検査法、診断及び治療法を理解している。
D-5-2-2-1	歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法を理解している。
D-5-2-2-3	歯髄・根尖性歯周疾患の治療時における合併症(偶発症)について、種類、処置及び予防を理解している。
D-5-4-2	小手術の合併症(偶発症)を理解している。
D-5-7-1	高齢者の生理的、精神心理的及び行動的特徴(認知症を含む)を理解している。
D-5-7-6	高齢者の歯科治療時の全身管理を理解している。
E-2-2-3	口腔内及び歯の診察・検査(視診、触診、打診、温度診、歯髄電気診、透照診(I a)、齲蝕リスク検査(I b)、レーザー蛍光強度測定(II))を実施できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
保存修復学 第7版	千田彰 他編	医歯薬出版
保存修復学 2 1 第6版	田上順次 他編	永末書店
歯内治療学 第5版	勝海一郎 他編	医歯薬出版
エンドドンティックス 第6版	興地隆史 他編	永末書店

参考書

タイトル	著者	出版社
マイクロエンドをはじめよう 超入門テキスト	北村知昭 編	医歯薬出版
非歯原性疼痛へのアプローチ “原因のわからない” 痛みに悩む患者さんが来院したら	北村知昭 他編	医歯薬出版
高齢者への戦略的歯科治療 自立高齢者にしておきたいこと、寝たきり高齢者にできること	北村知昭 他編	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	90%
「歯の治療学実習」における小テスト	10%

その他

(学習相談) 相談は随時受け付け可能だが、原則、時間予約を電話、メールにて行うこと。 ・代表：北村知昭

歯の治療学II

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	北村 知昭						
担当教員	北村 知昭, 鷺尾 絢子, 折本 愛, 相原 良亮, 村田 一将, (非)田畑 泰彦, (非)金崎 伸幸 ※氏名の後ろに (診療科名) の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	「歯の治療学」総論 歯の治療学(I)(II)で学習する内容を俯瞰し、これから受講する各講義・実習の基盤を学習する。	スライド資料 配布小レポートあるいは小テスト	北村 知昭	【事前学修課題】保存修復治療、歯内治療、歯周治療の全体像について予習。 【事後学修課題】保存修復治療、歯内治療、歯周治療の全体像について復習。	402 講義室
2	総合(1) 接着/バイオマテリアル 歯の治療学(I)で学んだ接着、セラミックスの知識を元に、歯科医療全般にわたる接着技術およびセラミックバイオマテリアルを学習する。	スライド資料 配布小レポートあるいは小テスト	鷺尾 絢子	【事前学修課題】接着、バイオマテリアルについて予習。 【事後学修課題】接着、バイオマテリアルについて復習。	402 講義室
3	総合(2) 審美治療概論 歯の治療学(I)で学んだ審美修復の知識を元に、歯科医療全般にわたる審美治療学を学習する。	スライド資料 配布小レポートあるいは小テスト	(非)金崎 伸幸	【事前学修課題】審美歯科について予習。 【事後学修課題】審美歯科について復習。	402 講義室
4	総合(3) 歯の治療における偶発症/高齢者での注意点 歯の治療学(I)で学んだ知識を元に、歯の治療時に注意すべき合併症・偶発症、および高齢者における歯の治療の注意点を学習する。	スライド資料 配布小レポートあるいは小テスト	村田 一将	【事前学修課題】合併症、偶発症、高齢者について予習。 【事後学修課題】合併症、偶発症、高齢者について復習。	402 講義室
5	総合(4) 外傷歯の治療/非菌原性歯痛(概論) 歯の治療学(I)で学んだ保存修復・歯内治療の知識を元に、外傷歯の治療法、および鑑別診断の必要な非菌原性疼痛を学習する。	スライド資料 配布小レポートあるいは小テスト	北村 知昭	【事前学修課題】歯の外傷、非菌原性歯痛について予習。 【事後学修課題】歯の外傷、非菌原性歯痛について復習。	402 講義室

歯の治療学II

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	北村 知昭						
担当教員	北村 知昭, 鷺尾 絢子, 折本 愛, 相原 良亮, 村田 一将, (非)田畑 泰彦, (非)金崎 伸幸 ※氏名の後ろに (診療科名) の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
6	診査・診断 (1) 疾患 (硬組織・歯髄・根尖歯周組織) 歯の治療学(I)で学んだ治療法を選択する上で重要な、硬組織疾患・歯髄疾患・根尖歯周組織疾患の診断を学習する。	スライド資料 配布小レポートあるいは小テスト	折本 愛	【事前学修課題】齶蝕、齶蝕以外の硬組織疾患、歯髄疾患、根尖歯周組織疾患について予習。【事後学修課題】齶蝕、齶蝕以外の硬組織疾患、歯髄疾患、根尖歯周組織疾患について復習。	402 講義室
7	診査・診断 (2) 硬組織の診査・診断 歯の治療学(I)で学んだ治療法を選択する上で重要な、硬組織疾患 (う蝕等) の診査・診断法を学習する。	スライド資料 配布小レポートあるいは小テスト	鷺尾 絢子	【事前学修課題】歯の診査法、診断分類について予習。【事後学修課題】歯の診査法、診断分類について復習。	402 講義室
8	診査・診断 (3) 歯髄・根尖歯周組織の診査・診断 歯の治療学(I)で学んだ治療法を選択する上で重要な、歯髄疾患・根尖歯周組織疾患の診査・診断法を学習する。	スライド資料 配布小レポートあるいは小テスト	鷺尾 絢子	【事前学修課題】歯髄・根尖歯周組織の診査法、診断分類について予習。【事後学修課題】歯髄・根尖歯周組織の診査法、診断分類について復習。	402 講義室
9	診査・診断 (4) 歯の特徴 歯の治療を実施する上で、臨床的に重要な歯の構造等の特徴を学習する。	スライド資料 配布小レポートあるいは小テスト	相原 良亮	【事前学修課題】歯の解剖学的特徴について予習。【事後学修課題】歯の解剖学的特徴について復習。	402 講義室
10	基礎歯学 (1) 歯・歯髄・根尖歯周組織の正常像と創傷治癒 歯の治療学に関連する歯・歯髄・根尖歯周組織の正常像と創傷治癒について学習し、基礎歯学で学んだ知識を統合する。	スライド資料 配布小レポートあるいは小テスト	折本 愛	【事前学修課題】歯髄・根尖歯周組織の創傷治癒について予習。【事後学修課題】歯髄・根尖歯周組織の創傷治癒について復習。	402 講義室

歯の治療学II

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	北村 知昭						
担当教員	北村 知昭, 鷺尾 絢子, 折本 愛, 相原 良亮, 村田 一将, (非)田畑 泰彦, (非)金崎 伸幸 ※氏名の後ろに (診療科名) の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
11	基礎歯学（2）歯・歯髄・根尖歯周組織における炎症と免疫 歯の治療学で学んだ疾患について、炎症および免疫について学習、基礎歯学で学んだ知識を統合する。	スライド資料 配布小レポートあるいは小テスト	相原 良亮	【事前学修課題】歯・歯髄・根尖歯周組織における炎症と免疫について予習。 【事後学修課題】歯・歯髄・根尖歯周組織における炎症と免疫について復習。	402 講義室
12	基礎歯学（3）再生医療と組織工学? 歯科医療との接点? 再生医療の全体像および最先端研究について学習し、歯科医療・医学研究との接点について知る。	スライド資料 配布小レポートあるいは小テスト	(非)田畑 泰彦	【事前学修課題】再生医療について予習。 【事後学修課題】再生医療について復習。	402 講義室
13	基礎歯学（4）微生物の関与と予防・メンテナンス 歯の治療学で学んだ疾患発症と微生物の関係について、および疾患の予防法、検査法、およびメンテナンス法を学習する。	スライド資料 配布小レポートあるいは小テスト	相原 良亮	【事前学修課題】齶蝕、根尖病変、微生物について予習。 【事後学修課題】齶蝕、根尖病変、微生物について復習。	402 講義室
14	臨床推論(2) 歯の治療学(I)(II)で学習した知識を統合し、実際の臨床で応用するための臨床推論法を全員参加型（発言、周囲との議論）で学習する。	スライド資料 配布小レポートあるいは小テスト	折本 愛 相原 良亮 村田 一将	【事前学修課題】臨床推論法について予習。 【事後学修課題】臨床推論法について復習。	402 講義室
15	「歯の治療学」まとめ 歯の治療学(I)(II)で学習した内容をまとめとして俯瞰し、これまでに受講した知識を統合する。	スライド資料 配布小レポートあるいは小テスト	北村 知昭	【事前学修課題】保存修復治療、歯内治療、歯周治療について予習。 【事後学修課題】保存修復治療、歯内治療、歯周治療について復習。	402 講義室

歯の治療学実習

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	110	単位数	3.5
科目責任者	北村 知昭						
担当教員	北村 知昭, 鷺尾 絢子, 折本 愛, 相原 良亮, 村田 一将, 笹栗 正明, 土生 学, 高橋 理, 三次 翔, 吉岡 泉, 吉賀 大午, 大谷 泰志, 鶴島 弘基, 正木 千尋, 近藤 祐介, 向坊 太郎, 椎葉 俊司, 左合 徹平, 茂山 幸代						
	※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業の概要

「歯の治療学実習」では歯の治療学I・II、口腔外科学、歯科麻酔学、口腔機能再建治療学（クラウン・ブリッジ）、臨床実習運営室、予防歯科学と連動し、実際の診療を想定したシナリオ・ベース実習を行うことで、学生は歯の治療について統合した知識・技術を修得する。

学生の到達目標

- ① 診療機器・器材の正しい取扱い、および適切な診療姿勢ができる。
- ② 急性症状に対する切開・排膿処置ができる。
- ③ う蝕病巣除去、歯髄保護処置および修復処置ができる。
- ④ 抜髄、感染根管処置および根管充填ができる。
- ⑤ 支台築造、支台歯形成、プロビジョナルレストレーションができる。
- ⑥ 歯の治療における適切な感染防御処置ができる。
- ⑦ 審美修復処置ができる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
CS-04	高頻度の疾患に対して一口腔単位の治療計画を立案できる。
D-5-2-1-1	齶蝕とその他の歯の硬組織疾患(Tooth Wear(歯の損耗)、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症、歯の亀裂・破折、歯の形成不全、歯の形態異常)の症状、検査法、診断及び治療法を理解している。
E-1-1-4	清潔に配慮した操作ができる。(I a)
E-2-1-1-1	適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。(I a)
E-2-1-1-3	患者情報を収集、分析できる。(I a)
E-2-2-1	患者情報から必要な診察、検査を選択できる。(I a)
E-2-2-3	口腔内及び歯の診察・検査(視診、触診、打診、温度診、歯髄電気診、透照診(I a)、齶蝕リスク検査(I b)、レーザー蛍光強度測定(II))を実施できる。
E-5-1-1	治療内容に応じて必要な器材の準備、片付けができる。(I a)
E-5-3-1-7	象牙質知覚過敏症に対する処置ができる。(I a)
E-5-3-2-1	感染根管治療(単根歯)ができる。(I a)
E-5-3-2-2	感染根管治療(複根歯)ができる。(I b)

歯の治療学実習

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	110	単位数	3.5
科目責任者	北村 知昭						
担当教員	北村 知昭, 鷺尾 絢子, 折本 愛, 相原 良亮, 村田 一将, 笹栗 正明, 土生 学, 高橋 理, 三次 翔, 吉岡 泉, 吉賀 大午, 大谷 泰志, 鶴島 弘基, 正木 千尋, 近藤 祐介, 向坊 太郎, 椎葉 俊司, 左合 徹平, 茂山 幸代						
	※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

コアカリキュラム	内容
E-5-3-2-6	抜髄(単根歯)ができる。(I b)
E-5-3-4-1-2	支台築造ができる。(I a)

テキスト

タイトル	著者	出版社
シナリオベース実習書		口腔保存治療学分野、 口腔再建リハビリテーション学分野、 顎顔面外科学分野 作製・販売

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験（歯の治療学 I）	90%
実習試験	10%

その他

（学習相談）

- ・相談は随時受け付け可能だが、原則、時間予約を電話、メールにて行うこと。
- ・実習担当教員で対応可能な場合は、実習担当教員に相談すること。
- ・代表：北村知昭

（講義実施方法について）

- ・学年を2班に分けて実施する場合、講義室での講義と遠隔授業での講義は同時実施予定であるが、状況によって変更する。

歯の治療学実習

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	110	単位数	3.5
科目責任者	北村 知昭						
担当教員	北村 知昭, 鷺尾 絢子, 折本 愛, 相原 良亮, 村田 一将, 笹栗 正明, 土生 学, 高橋 理, 三次 翔, 吉岡 泉, 吉賀 大午, 大谷 泰志, 鶴島 弘基, 正木 千尋, 近藤 祐介, 向坊 太郎, 椎葉 俊司, 左合 徹平, 茂山 幸代						
	※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1-2	<p><Training 1>/購入器材配付/実習室オリエンテーション</p> <p>本実習で使用する器材の準備状況の確認と使用方法、実習で使用する機器の操作方法を学習する。</p>	少人数個別指導	北村 知昭 鷺尾 絢子 折本 愛 相原 良亮 村田 一将	<p>【事前学修課題】 予定されている実習内容を「シナリオベース実習」ノートブックおよび教科書で予習。</p> <p>【事後学修課題】 「シナリオベース実習」ノートブックおよび教科書で実習内容を復習。</p>	シミュレーション実習室
3-4	<p><Training 1>口腔内診査/バキュームワーク/フォーハンドシステム/診療姿勢/シナリオベース実習説明</p> <p>患者来院時に実施する口腔内診査法を学習する。次に、診療補助で行うバキュームワークとフォーハンドシステムによる歯科医師-アシスタント連携、診療時の歯科医師の姿勢を学習する。また、本実習で用いる患者シナリオを学習する。</p>	少人数個別指導 課題レポート	北村 知昭 鷺尾 絢子 折本 愛 相原 良亮 村田 一将	<p>【事前学修課題】 予定されている実習内容を「シナリオベース実習」ノートブックおよび教科書で予習。</p> <p>【事後学修課題】 「シナリオベース実習」ノートブックおよび教科書で実習内容を復習。</p>	シミュレーション実習室
5-6	<p><Training 1>口腔内診査/バキュームワーク/フォーハンドシステム/診療姿勢/シナリオベース実習説明</p> <p>患者来院時に実施する口腔内診査法を学習する。次に、診療補助で行うバキュームワークとフォーハンドシステムによる歯科医師-アシスタント連携、診療時の歯科医師の姿勢を学習する。また、本実習で用いる患者シナリオを学習する。</p>	少人数個別指導 課題レポート	北村 知昭 鷺尾 絢子 折本 愛 相原 良亮 村田 一将	<p>【事前学修課題】 予定されている実習内容を「シナリオベース実習」ノートブックおよび教科書で予習。</p> <p>【事後学修課題】 「シナリオベース実習」ノートブックおよび教科書で実習内容を復習。</p>	シミュレーション実習室

歯の治療学実習

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	110	単位数	3.5
科目責任者	北村 知昭						
担当教員	北村 知昭, 鷺尾 絢子, 折本 愛, 相原 良亮, 村田 一将, 笹栗 正明, 土生 学, 高橋 理, 三次 翔, 吉岡 泉, 吉賀 大午, 大谷 泰志, 鶴島 弘基, 正木 千尋, 近藤 祐介, 向坊 太郎, 椎葉 俊司, 左合 徹平, 茂山 幸代						
	※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
7、8	<p><Training 1>切開・排膿(口腔外科演習:講義含む)/小テスト1</p> <p>患者来院時に緊急で対応する必要のある急性症状によって生じた腫脹に対する切開・排膿の術式、その後の治療(歯内治療等)との関連を学習する。 本実習中に、当該実習に関連する小テストを実施する。</p>	少人数個別指導 課題レポート	北村 知昭 鷺尾 絢子 折本 愛 相原 良亮 村田 一将 笹栗 正明 土生 学 高橋 理 三次 翔 吉岡 泉 吉賀 大午 大谷 泰志 鶴島 弘基	<p>【事前学修課題】 予定されている実習内容を「シナリオベース実習」ノートブックおよび教科書で予習。</p> <p>【事後学修課題】 「シナリオベース実習」ノートブックおよび教科書で実習内容を復習。</p>	シミュレーション実習室
9、10	<p><Training 2>検知液を用いたう蝕除去、覆髄、グラスアイオノマーセメント仮封/臼 歯1級コンポジットレジン修復</p> <p>う蝕による感染歯質の除去法、覆髄法、およびセメントによる仮封法を学習すると 共に、臼歯部咬合面う蝕に対するコンポジットレジン修復を学習する。</p>	少人数個別指導 課題レポート	北村 知昭 鷺尾 絢子 折本 愛 相原 良亮 村田 一将	<p>【事前学修課題】 予定されている実習内容を「シナリオベース実習」ノートブックおよび教科書で予習。</p> <p>【事後学修課題】 「シナリオベース実習」ノートブックおよび教科書で実習内容を復習。</p>	シミュレーション実習室
11-18	<p><Training 3>インレー修復 診療室ワーク/技工室ワーク</p> <p>臼歯部隣接面う蝕に対するインレー修復法における診療室でのステップ(窩洞形成、印象採得)、技工室でのステップ(模型作製、咬合器付着、蠟型採得、鑄造等)、完成後の診療室でのステップ(試適、セット)を学習する。</p>	少人数個別指導 課題レポート	北村 知昭 鷺尾 絢子 折本 愛 相原 良亮 村田 一将	<p>【事前学修課題】 予定されている実習内容を「シナリオベース実習」ノートブックおよび教科書で予習。</p> <p>【事後学修課題】 「シナリオベース実習」ノートブックおよび教科書で実習内容を復習。</p>	シミュレーション実習室 技工室

歯の治療学実習

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	110	単位数	3.5
科目責任者	北村 知昭						
担当教員	北村 知昭, 鷺尾 絢子, 折本 愛, 相原 良亮, 村田 一将, 笹栗 正明, 土生 学, 高橋 理, 三次 翔, 吉岡 泉, 吉賀 大午, 大谷 泰志, 鶴島 弘基, 正木 千尋, 近藤 祐介, 向坊 太郎, 椎葉 俊司, 左合 徹平, 茂山 幸代						
	※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
19-21	<p><Training 4>小テスト2/浸潤麻酔/防湿(ラバーダム)/抜髄・根管充填・仮封 /感染根管処置・根管充填・仮封</p> <p>浸潤麻酔、ラバーダム防湿法、および抜髄法・感染根管処置の各ステップ(アクセス・オープニング、根管探索・形成、根管洗浄、根管貼薬、根管充填等)を学習する。 本実習中に、当該実習に関連する小テストを実施する。</p>	少人数個別指導 課題レポート	北村 知昭 鷺尾 絢子 折本 愛 相原 良亮 村田 一将 椎葉 俊司 左合 徹平 茂山 幸代	<p>【事前学修課題】 予定されている実習内容を「シナリオベース実習」ノートブックおよび教科書で予習。</p> <p>【事後学修課題】 「シナリオベース実習」ノートブックおよび教科書で実習内容を復習。</p>	シミュレーション実習室
22-24	<p><Training 4>小テスト2/浸潤麻酔/防湿(ラバーダム)/抜髄・根管充填・仮封 /感染根管処置・根管充填・仮封</p> <p>浸潤麻酔、ラバーダム防湿法、および抜髄法・感染根管処置の各ステップ(アクセス・オープニング、根管探索・形成、根管洗浄、根管貼薬、根管充填等)を学習する。 本実習中に、当該実習に関連する小テストを実施する。</p>	少人数個別指導 課題レポート	北村 知昭 鷺尾 絢子 折本 愛 相原 良亮 村田 一将 椎葉 俊司 左合 徹平 茂山 幸代	<p>【事前学修課題】 予定されている実習内容を「シナリオベース実習」ノートブックおよび教科書で予習。</p> <p>【事後学修課題】 「シナリオベース実習」ノートブックおよび教科書で実習内容を復習。</p>	シミュレーション実習室
25	<p><Training 5>コンポジットレジン修復/小テスト3</p> <p>前歯う蝕に対して形成した窩洞へのコンポジットレジン修復を学習する。 本実習中に、当該実習に関連する小テストを実施する。</p>	少人数個別指導 課題レポート	北村 知昭 鷺尾 絢子 折本 愛 相原 良亮 村田 一将	<p>【事前学修課題】 予定されている実習内容を「シナリオベース実習」ノートブックおよび教科書で予習。</p> <p>【事後学修課題】 「シナリオベース実習」ノートブックおよび教科書で実習内容を復習。</p>	シミュレーション実習室

歯の治療学実習

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	110	単位数	3.5
科目責任者	北村 知昭						
担当教員	北村 知昭, 鷺尾 絢子, 折本 愛, 相原 良亮, 村田 一将, 笹栗 正明, 土生 学, 高橋 理, 三次 翔, 吉岡 泉, 吉賀 大午, 大谷 泰志, 鶴島 弘基, 正木 千尋, 近藤 祐介, 向坊 太郎, 椎葉 俊司, 左合 徹平, 茂山 幸代						
	※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
26-29	<p><Training 6>窩洞形成(1~5級)/セメント練和/コンポジットレジン修復</p> <p>窩洞形成とコンポジットレジン充填技術の定着を目的に、各窩洞形成を再度行い、窩洞の特徴を学習する。また、各種歯科用セメントの操作方法を学習する。</p>	少人数個別指導 課題レポート	北村 知昭 鷺尾 絢子 折本 愛 相原 良亮 村田 一将	<p>【事前学修課題】 予定されている実習内容を「シナリオベース実習」ノートブックおよび教科書で予習。</p> <p>【事後学修課題】 「シナリオベース実習」ノートブックおよび教科書で実習内容を復習。</p>	シミュレーション実習室
30-33	<p><Training 7>抜去歯エックス線撮影, 人工歯植立/小臼歯(透明根管模型)の歯内治療/切歯・大臼歯の歯内治療/根管充填歯のエックス線撮影・評価</p> <p>根管治療技術の定着を目的に、各歯種のアクセス・オープニング、根管形成、根管洗浄、根管充填とその評価を再度行い、手技を学習する。</p>	少人数個別指導 課題レポート	北村 知昭 鷺尾 絢子 折本 愛 相原 良亮 村田 一将	<p>【事前学修課題】 予定されている実習内容を「シナリオベース実習」ノートブックおよび教科書で予習。</p> <p>【事後学修課題】 「シナリオベース実習」ノートブックおよび教科書で実習内容を復習。</p>	シミュレーション実習室
34-37	<p><Training 7>抜去歯エックス線撮影, 人工歯植立/小臼歯(透明根管模型)の歯内治療/切歯・大臼歯の歯内治療/根管充填歯のエックス線撮影・評価</p> <p>根管治療技術の定着を目的に、各歯種のアクセス・オープニング、根管形成、根管洗浄、根管充填とその評価を再度行い、手技を学習する。</p>	少人数個別指導 課題レポート	北村 知昭 鷺尾 絢子 折本 愛 相原 良亮 村田 一将	<p>【事前学修課題】 予定されている実習内容を「シナリオベース実習」ノートブックおよび教科書で予習。</p> <p>【事後学修課題】 「シナリオベース実習」ノートブックおよび教科書で実習内容を復習。</p>	シミュレーション実習室

歯の治療学実習

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	110	単位数	3.5
科目責任者	北村 知昭						
担当教員	北村 知昭, 鷺尾 絢子, 折本 愛, 相原 良亮, 村田 一将, 笹栗 正明, 土生 学, 高橋 理, 三次 翔, 吉岡 泉, 吉賀 大午, 大谷 泰志, 鶴島 弘基, 正木 千尋, 近藤 祐介, 向坊 太郎, 椎葉 俊司, 左合 徹平, 茂山 幸代						
	※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
38	<Training 12>実習試験 保存修復治療、歯内治療等に関する技術修得状況を評価する。	少人数個別指導	北村 知昭 鷺尾 絢子 折本 愛 相原 良亮 村田 一将	【事前学修課題】 予定されている実習内容を「シナリオベース実習」ノートブックおよび教科書で予習。 【事後学修課題】 「シナリオベース実習」ノートブックおよび教科書で実習内容を復習。	シミュレーション実習室
39-43	<Training 8>小テスト4/前歯コンポジットレジン修復/根面グラスアイオノマー修復/防湿(ラバーダム)/前歯感染根管処置 保存修復治療、歯内治療に関する技術定着を目的に、コンポジットレジン修復、グラスアイオノマーセメント修復、感染根管処置を学習する。 本実習中に、当該実習に関連する小テストを実施する。	少人数個別指導 課題レポート	北村 知昭 鷺尾 絢子 折本 愛 相原 良亮 村田 一将	【事前学修課題】 予定されている実習内容を「シナリオベース実習」ノートブックおよび教科書で予習。【事後学修課題】 「シナリオベース実習」ノートブックおよび教科書で実習内容を復習。	シミュレーション実習室
44-49	<Training 9>歯肉圧排/小テスト5/支台築造(ファイバーポスト)/支台歯形成・プロビジョナルレストレーション 各種治療時に重要な歯肉圧排法を学習する。また、ファイバーポスト/レジンによる支台築造、支台歯形成、即時重合レジンによるプロビジョナル・レストレーションを学習する。 本実習中に、当該実習に関連する小テストを実施する。	少人数個別指導 課題レポート	北村 知昭 鷺尾 絢子 折本 愛 相原 良亮 村田 一将 正木 千尋 近藤 祐介 向坊 太郎	【事前学修課題】 予定されている実習内容を「シナリオベース実習」ノートブックおよび教科書で予習。 【事後学修課題】 「シナリオベース実習」ノートブックおよび教科書で実習内容を復習。	シミュレーション実習室

歯の治療学実習

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	110	単位数	3.5
科目責任者	北村 知昭						
担当教員	北村 知昭, 鷺尾 絢子, 折本 愛, 相原 良亮, 村田 一将, 笹栗 正明, 土生 学, 高橋 理, 三次 翔, 吉岡 泉, 吉賀 大午, 大谷 泰志, 鶴島 弘基, 正木 千尋, 近藤 祐介, 向坊 太郎, 椎葉 俊司, 左合 徹平, 茂山 幸代						
	※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
50	<Training 10>レジンベニア修復/WBT(抜去歯) 審美治療であるレジンベニア修復の窩洞形成とレジン築盛法、失活歯の漂白法であるWalking Bleach Techniqueを学習する。	少人数個別指導 課題レポート	北村 知昭 鷺尾 絢子 折本 愛 相原 良亮 村田 一将	【事前学修課題】 予定されている実習内容を「シナリオベース実習」ノートブックおよび教科書で予習。 【事後学修課題】 「シナリオベース実習」ノートブックおよび教科書で実習内容を復習。	シミュレーション実習室
51	<Training 11>う蝕活動性試験 口腔内の環境とう蝕罹患との関係、およびその検査法（唾液検査法、う蝕活動性試験など）を学習する。	少人数個別指導 課題レポート	北村 知昭 鷺尾 絢子 折本 愛 相原 良亮 村田 一将	【事前学修課題】 予定されている実習内容を「シナリオベース実習」ノートブックおよび教科書で予習。 【事後学修課題】 「シナリオベース実習」ノートブックおよび教科書で実習内容を復習。	シミュレーション実習室
52-53	<Training 12>実習試験 保存修復治療、歯内治療等に関する技術修得状況を評価する。	少人数個別指導	北村 知昭 鷺尾 絢子 折本 愛 相原 良亮 村田 一将	【事前学修課題】 予定されている実習内容を「シナリオベース実習」ノートブックおよび教科書で予習。 【事後学修課題】 「シナリオベース実習」ノートブックおよび教科書で実習内容を復習。	シミュレーション実習室

歯の治療学実習

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	110	単位数	3.5
科目責任者	北村 知昭						
担当教員	北村 知昭, 鷺尾 絢子, 折本 愛, 相原 良亮, 村田 一将, 笹栗 正明, 土生 学, 高橋 理, 三次 翔, 吉岡 泉, 吉賀 大午, 大谷 泰志, 鶴島 弘基, 正木 千尋, 近藤 祐介, 向坊 太郎, 椎葉 俊司, 左合 徹平, 茂山 幸代						
	※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
54-55	<p><Training 13>実習試験フィードバック/実習器具回収</p> <p>実習試験結果をフィードバックする。本実習で用いた実習器具を回収する。回収に際し、破損・喪失、その他、貸与時の状態を回復できない場合は、原則として貸与学生に弁償してもらう。</p>	少人数個別指導	北村 知昭 鷺尾 絢子 折本 愛 相原 良亮 村田 一将	<p>【事前学修課題】 予定されている実習内容を「シナリオベース実習」ノートブックおよび教科書で予習。</p> <p>【事後学修課題】 「シナリオベース実習」ノートブックおよび教科書で実習内容を復習。</p>	シミュレーション実習室

歯周病学

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・実	時間数	90	単位数	4
科目責任者	中島 啓介						
担当教員	中島 啓介, 臼井 通彦, 中村 太志, 鬼塚 理, 佐野 孝太郎, 笠井 信吾 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業の概要

歯周病の発症・進行には数多くの因子が関与するため、その治療は多岐にわたり複雑である。歯周病によって破壊される歯周組織、特に歯根膜は咀嚼時に重要な働きをするため、歯周病学は他の臨床分野とも密接に関連する。本授業ではまず正常歯周組織の特徴、歯周病による組織破壊を解説し、歯周治療の流れに沿った順序で様々な治療法を説明する。

学生の到達目標

- ①歯周疾患の病因と病態を説明できる。
- ②歯周組織の発生、構造および機能を説明できる。
- ③口腔細菌、歯垢、歯石を説明できる。
- ④歯周疾患の診断と治療方針を説明できる。
- ⑤歯周外科手術の種類と適応症を説明できる。
- ⑥歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。
- ⑦歯周疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。
- ⑧歯周治療後の適切なメンテナンスが説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
D-3-2-3	歯周疾患の病因と病態を理解している。
D-3-2-4	口腔細菌、プラーク(口腔バイオフィルム)及び歯石を理解している。
D-5-2-3-1	歯周疾患の症状と全身疾患との関連を理解している。
D-5-2-3-2	歯周疾患の検査法、診断及び治療方針(メンテナンスを含む)を理解している。
D-5-2-3-3	歯周治療の術式と適応症を理解している。
D-5-2-3-4	歯周外科治療の種類と適応症を理解している。
D-5-2-3-5	歯周治療後の組織の治癒機転と予後を理解している。

テキスト

タイトル	著者	出版社
ザ・ペリオドントロジー 第4版	沼部幸博、 梅田 誠、 斎藤 淳、 山本松男	永末書店

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

歯周病学

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・実	時間数	90	単位数	4
科目責任者	中島 啓介						
担当教員	中島 啓介, 臼井 通彦, 中村 太志, 鬼塚 理, 佐野 孝太郎, 笠井 信吾 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

その他

【オフィスアワー】 教授室：月一金 12:00-13:00（不在の場合もあるので、予めメールにて予定を確認すること）

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	歯周組織の正常構造と歯周病による破壊 歯を支持する歯周組織の基本的構造を確認すると同時に、歯周病による組織破壊について学習する。	講義	中島 啓介	【事前学修】 歯と歯周組織の組織学的特徴 【事後学修】 今回の講義の振り返り	402 講義室
2	歯周病の原因 歯周病の主要な原因である細菌性バイオフィームとその形成に影響を与える様々な因子について学習する。	講義	中島 啓介	【事前学修】 プラーク、細菌性バイオフィーム 【事後学修】 今回の講義の振り返り	402 講義室
3	歯周治療の流れと診査・診断 歯周疾患の診断のために必要な検査と診断、それに基づく治療の流れについて学習する。	講義	佐野 孝太郎	【事前学修】 歯周治療の大まかな流れ、歯周基本治療、再評価、歯周外科治療 【事後学修】 今回の講義の振り返り	402 講義室
4	歯周基本治療1（プラークコントロール） 歯周基本治療の最も重要なプラークコントロールについて、その効果と評価方法について学習する。	講義	佐野 孝太郎	【事前学修】 ブラッシング法、補助的清掃用具 【事後学修】 今回の講義の振り返り	402 講義室
5	歯周基本治療2（スケーリング、ルートプレーニング） プラーク増加因子の代表である歯石を除去するスケーリング・ルートプレーニングの意義、目的、方法について学習する。	講義	笠井 信吾	【事前学修】 スケーリング、ルートプレーニング 【事後学修】 今回の講義の振り返り	402 講義室

歯周病学

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・実	時間数	90	単位数	4
科目責任者	中島 啓介						
担当教員	中島 啓介, 臼井 通彦, 中村 太志, 鬼塚 理, 佐野 孝太郎, 笠井 信吾 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
6	歯周基本治療3（咬合調整、暫間固定、習癖への対応）歯周組織が負担する咬合力をコントロールするため、咬合調整および暫間固定について学習する。歯周病の病態に影響を与えるブラキシズム、口呼吸などの習癖の原因と治療法について学習する。	講義	笠井 信吾	【事前学修】咬合性外傷、悪習癖【事後学修】今回の講義の振り返り	402講義室
7	再評価（歯周基本治療の限界と歯周外科の適応）歯周病の原因除去を目的とする歯周基本治療の限界を知ること、歯周外科手術の必要性を学習する。	講義	中村 太志	【事前学修】歯周基本治療、再評価【事後学修】今回の講義の振り返り	402講義室
8	根分岐部病変と歯内・歯周病変歯周治療後の治癒が不良となりやすい根分岐部病変および歯内・歯周病変について、診断・治療法を学習する。	講義	臼井 通彦	【事前学修】根分岐部病変、歯内・歯周病変【事後学修】今回の講義の振り返り	402講義室
9	歯周外科総論 歯周外科治療の目的と基本事項（切開、縫合、創傷治癒など）について学習する。	講義	鬼塚 理	【事前学修】歯周外科治療の基本手技【事後学修】今回の講義の振り返り	402講義室
10	歯周外科各論1（歯周ポケットの除去）歯周ポケットを除去する様々な歯周外科手術について学習する。	講義	鬼塚 理	【事前学修】歯周ポケット除去療法【事後学修】今回の講義の振り返り	402講義室
11	歯周外科各論2（歯周形成手術）歯周形成手術の目的、種類および適応症について学習する。	講義	臼井 通彦	【事前学修】根面露出、狭小な付着歯肉幅、小帯の付着位置異常【事後学修】今回の講義の振り返り	402講義室
12	歯周外科各論3（骨欠損に対する処置、再生療法）歯槽骨欠損への対応や再生療法の理論、材料、術式について学習する。	講義	臼井 通彦	【事前学修】歯周再生療法【事後学修】今回の講義の振り返り	402講義室

歯周病学

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・実	時間数	90	単位数	4
科目責任者	中島 啓介						
担当教員	中島 啓介, 臼井 通彦, 中村 太志, 鬼塚 理, 佐野 孝太郎, 笠井 信吾 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
13	歯周治療における薬物療法 歯周治療において行う薬物療法の特徴および局所薬物配送システムについて学習する。	講義	鬼塚 理	【事前学修】 抗菌薬、LDDS 【事後学修】 今回の講義の振り返り	402 講義室
14	偶発症（上行性歯髄炎、象牙質知覚過敏症、歯周膿瘍）とメンテナンス・SPT 膿瘍の鑑別診断・治療法およびメンテナンス・SPTの目的・方法について学習する。	講義	中村 太志	【事前学修】 象牙質知覚過敏症、歯周膿瘍、メンテナンス、サポータティブペリオドンタルセラピー 【事後学修】 今回の講義の振り返り	402 講義室
15	ペリオドンタルメディシンと特殊な歯周疾患 ペリオドンタルメディシン（歯周病と全身疾患の関連）と特殊な歯周疾患について学習する。	講義	中村 太志	【事前学修】 歯周病と全身疾患 【事後学修】 今回の講義の振り返り	402 講義室

歯周病学(実習)

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	60	単位数	2
科目責任者	中島 啓介						
担当教員	中島 啓介, 臼井 通彦, 中村 太志, 鬼塚 理, 佐野 孝太郎, 笠井 信吾 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業の概要

歯周病の発症・進行には数多くの因子が関与するため、その治療は多岐にわたり複雑である。他の臨床分野と異なり、歯周病の治療に欠かせないのは患者による日常の口腔清掃である。本実習では、歯周病の原因となるプラーク・歯石を取り除く方法、深い歯周ポケットに対する歯周外科手術に加えて、効果的な動機づけに必須となる患者とのコミュニケーション方法を習得させる。

学生の到達目標

- ①歯周疾患の病因と病態を説明できる。
- ②歯周組織の発生、構造および機能を説明できる。
- ③口腔細菌、歯垢、歯石を説明できる。
- ④歯周疾患の診断と治療方針を説明できる。
- ⑤歯周外科手術の種類と適応症を説明できる。
- ⑥歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。
- ⑦歯周疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。
- ⑧初診患者の医療面接（慢性症状）ができる。
- ⑨歯周病の病状説明ができる。
- ⑩ブラッシング指導ができる。
- ⑪スケーリング・ルートプレーニングができる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
D-5-1-3	プラークコントロールの意義と方法を理解している。
E-2-1-1-2	医療面接における基本的なコミュニケーションができる。（Ⅱ）
E-2-1-1-4	患者の病歴(主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、社会歴、職業歴等)を聴取できる。（Ⅰa）
E-2-1-1-6	患者の不安、不満や表情、行動の変化に適切に対応できる。（Ⅰa）
E-2-2-5	歯周組織検査(歯の動揺度検査、歯周ポケット検査、プロービング時の検査、根分岐部病変検査、プラーク検査)を実施できる。（Ⅰa）
E-5-3-3-1	歯周基本治療としてプラークコントロール指導ができる。（Ⅰa）
E-5-3-3-2	歯周基本治療としてスケーリングができる。（Ⅰa）
E-5-3-3-3	歯周基本治療としてスケーリング・ルートプレーニングができる。（Ⅰa）
E-5-3-3-4	歯周基本治療として咬合調整ができる。（Ⅰb）
E-5-3-3-5	歯周基本治療として簡単な暫間固定ができる。（Ⅰb）

歯周病学(実習)

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	60	単位数	2
科目責任者	中島 啓介						
担当教員	中島 啓介, 臼井 通彦, 中村 太志, 鬼塚 理, 佐野 孝太郎, 笠井 信吾 ※氏名の後ろに (診療科名) の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

テキスト

タイトル	著者	出版社
ザ・ペリオドントロジー 第4版	沼部 幸博、 梅田 誠、 斎藤 淳、 山本松男	永末書店
2024年度 歯周病学実習書	九州歯科大学 歯周病学 分野	(配布予定)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
実習試験	100%

その他

【オフィスアワー】教授室：月一金 12:00-13:00 (不在の場合もあるので、予めメールにて予定を確認すること)

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1, 2	エックス線写真読影 (歯槽骨吸収像の観察) エックス線写真から歯槽骨を非侵襲的に評価する方法を学習する。	実習	中島 啓介 臼井 通彦 中村 太志 鬼塚 理 佐野 孝太郎 笠井 信吾	【事前学修】歯と歯周組織の構造 【事後学修】今回の実習の振り返り	シミュレーション実習室
3, 4	医療面接1 (OSCE形式、医療面接) 歯周疾患の診断に必要な情報を得るため、初診患者に対する医療面接を体験する。	実習	中島 啓介 臼井 通彦 中村 太志 鬼塚 理 佐野 孝太郎 笠井 信吾	【事前学修】医療コミュニケーション 【事後学修】今回の実習の振り返り	相互実習室
5, 6	歯周組織検査1 (模型実習) 模型上でプロービングや動揺度検査を行い、歯周疾患の検査に必要な手技を習得する。	実習	中島 啓介 臼井 通彦 中村 太志 鬼塚 理 佐野 孝太郎 笠井 信吾	【事前学修】歯周組織検査 【事後学修】今回の実習の振り返り	シミュレーション実習室

歯周病学(実習)

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	60	単位数	2
科目責任者	中島 啓介						
担当教員	中島 啓介, 臼井 通彦, 中村 太志, 鬼塚 理, 佐野 孝太郎, 笠井 信吾 ※氏名の後ろに (診療科名) の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
7, 8	プラークコントロール1 (各種ブラッシング法の習得) 模型を使ってブラッシング法や歯間清掃用具の使用法を練習し、患者さんへのブラッシング法の説明に必要な必要な知識を習得する。	実習	中島 啓介 臼井 通彦 中村 太志 鬼塚 理 佐野 孝太郎 笠井 信吾	【事前学修】ブラッシング法 【事後学修】今回の実習の振り返り	シミュレーション実習室
9, 10	スケーリング・ルートプレーニング (模型実習) ヒト抜去歯および模型上の人工歯を使ってスケーリング・ルートプレーニングを習得する。	実習	中島 啓介 臼井 通彦 中村 太志 鬼塚 理 佐野 孝太郎 笠井 信吾	【事前学修】スケーリング、ルートプレーニング 【事後学修】今回の実習の振り返り	シミュレーション実習室
11, 12	咬合調整・暫間固定 歯周組織が負担する咬合力をコントロールするための咬合調整法および暫間固定 (レジジン連結固定法) を習得する。	実習	中島 啓介 臼井 通彦 中村 太志 鬼塚 理 佐野 孝太郎 笠井 信吾	【事前学修】咬合調整 【事後学修】今回の実習の振り返り	シミュレーション実習室
13, 14	プラークコントロール2 (相互実習によるブラッシング指導、スケーリング、PMTC) 学生相互の実習を通じて、様々なブラッシング方法、口腔清掃指導法、スケーリング、PMTCを体験する。	実習	中島 啓介 臼井 通彦 中村 太志 鬼塚 理 佐野 孝太郎 笠井 信吾	【事前学修】補助的清掃用具 【事後学修】今回の実習の振り返り	相互実習室
15, 16	歯周組織検査2 (相互実習) 学生相互の実習を通じて、模型実習では経験できない歯周組織検査の実際を体験する。	実習	中島 啓介 臼井 通彦 中村 太志 鬼塚 理 佐野 孝太郎 笠井 信吾	【事前学修】歯周組織検査 【事後学修】今回の実習の振り返り	相互実習室
17, 18	医療面接2 (OSCE形式、病状説明) 歯周病検査の結果から患者へ病状説明を行う際に必要な基本的態度および知識を習得する。	実習	中島 啓介 臼井 通彦 中村 太志 鬼塚 理 佐野 孝太郎 笠井 信吾	【事前学修】医療コミュニケーション 【事後学修】今回の実習の振り返り	相互実習室
19, 20	歯周外科手術1 (歯肉切除術) 歯肉切除術に用いる器具とその取り扱い方、術式を習得し、模型にて実践する。	実習	中島 啓介 臼井 通彦 中村 太志 鬼塚 理 佐野 孝太郎 笠井 信吾	【事前学修】歯肉増殖 【事後学修】今回の実習の振り返り	シミュレーション実習室

歯周病学(実習)

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	60	単位数	2
科目責任者	中島 啓介						
担当教員	中島 啓介, 臼井 通彦, 中村 太志, 鬼塚 理, 佐野 孝太郎, 笠井 信吾 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
21, 22	歯周外科手術2（フラップ手術） フラップ手術に用いる器具とその取り扱い方、術式を習得し、模型にて実践する。	実習	中島 啓介 臼井 通彦 中村 太志 鬼塚 理 佐野 孝太郎 笠井 信吾	【事前学修】歯周外科手術 【事後学修】今回の実習の振り返り	シミュレーション実習室
23, 24	歯周外科手術3（GTR法） GTR法に用いる器具とその取り扱い方、術式を習得し、模型にて実践する。	実習	中島 啓介 臼井 通彦 中村 太志 鬼塚 理 佐野 孝太郎 笠井 信吾	【事前学修】歯周再生療法 【事後学修】今回の実習の振り返り	シミュレーション実習室
25, 26	実習補講 やむを得ない理由で欠席した学生については、時間内に未完了の実習内容を完了する。	実習	中島 啓介 臼井 通彦 中村 太志 鬼塚 理 佐野 孝太郎 笠井 信吾	【事前学修】未完了の実習内容 【事後学修】今回の実習の振り返り	相互実習室 シミュレーション実習室
27, 28	実習試験 歯周病学実習を通じて身につけた知識を客観的に評価する。	実習	中島 啓介 臼井 通彦 中村 太志 鬼塚 理 佐野 孝太郎 笠井 信吾	【事前学修】実習期間中に学修した内容 【事後学修】今回の実習の振り返り	シミュレーション実習室
29, 30	実習再試験 実習試験の不合格者あるいは未受験者に関して、歯周病学実習を通じて身につけた知識を客観的に評価する。	実習	中島 啓介 臼井 通彦 中村 太志 鬼塚 理 佐野 孝太郎 笠井 信吾	【事前学修】実習期間中に学修した内容 【事後学修】今回の実習の振り返り	シミュレーション実習室

部分欠損補綴治療学

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講・実	時間数	90	単位数	5
科目責任者	有田 正博						
担当教員	有田 正博, 八木 まゆみ, 榎原 絵理, 渡辺 崇文, 大楠 弘通 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業の概要

歯の部分欠損に伴う顎口腔系の形態的、機能的変化について理解する。さらに、部分欠損を有する患者に対する可撤性補綴装置（部分床義歯）による機能回復の意義を理解し、それに必要な診査、診断、治療計画の立案、製作方法を含めた治療方法、装着および装着後の管理および対処法について学習する。さらに、他の欠損補綴治療（ブリッジ補綴、インプラント補綴）との相違点や種々の特殊補綴装置（パーシャルオーバーデンチャー、インプラントアシスティッドパーシャルデンチャー、顎補綴、アタッチメントデンチャー、テレスコープデンチャー、ノンメタルクラスプデンチャーなど）についても理解を深める。

学生の到達目標

- ①部分欠損に対する補綴の意義について説明できる。
- ②部分欠損に対する補綴方法の種類と特徴および利点・欠点を説明できる。
- ③部分床義歯の種類と特徴を説明できる。
- ④部分床義歯の基本構造（維持機構、把持機構、支持機構）について説明できる。
- ⑤部分欠損患者に対して部分床義歯の設計を適切にできる。
- ⑥部分欠損患者に対して治療計画を立案できる。
- ⑦部分床義歯の製作方法、製作に必要な材料とその特性を説明できる。
- ⑧部分床義歯の製作過程における臨床手技について説明できる。
- ⑨部分床義歯装着時の患者指導および装着後の変化やトラブルおよびその対処方法を説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
D-5-3-2-1	無歯顎及び歯列欠損に伴う障害の種類と病態を理解している。
D-5-3-2-10	ろう義歯試適、装着及び調整を理解している。
D-5-3-2-11	可撤性義歯装着後のメンテナンスの意義と方法、調整を理解している。
D-5-3-2-12	可撤性義歯のリラインと修理を理解している。
D-5-3-2-13	顎骨、顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を理解している。
D-5-3-2-2	可撤性義歯の種類、目的、意義及び適応症を理解している。
D-5-3-2-3	可撤性義歯の要素構成と設計原則(支持、維持、把持、咬合平衡を含む)を理解している。
D-5-3-2-4	可撤性義歯製作のための印象採得を理解している。
D-5-3-2-5	可撤性義歯製作のための咬合採得を理解している。
D-5-3-2-6	平均値咬合器及び調節性咬合器の種類と特徴を理解している。
D-5-3-2-7	人工歯選択を理解している。
D-5-3-2-8	人工歯排列(咬合様式を含む)を理解している。
D-5-3-2-9	可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を理解している。
D-6-2-2	歯科技工士と連携する歯科技工の方法の概要を理解している。

テキスト

タイトル	著者	出版社
スタンダードパーシャルデンチャー補綴学		学建書院

参考書

タイトル	著者	出版社
パーシャルデンチャーテクニク		医歯薬出版
有床義歯技工学		医歯薬出版

部分欠損補綴治療学

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・実	時間数	90	単位数	5
科目責任者	有田 正博						
担当教員	有田 正博, 八木 まゆみ, 榎原 絵理, 渡辺 崇文, 大楠 弘通 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

タイトル	著者	出版社
患者に喜ばれるパーシャルデンチャー		デンタルダイアモンド

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	70%
レポート	30%

その他

（スチューデントアワー）火曜日：授業終了後

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1, 2	部分的な歯の欠損について学ぶ。	講義	有田 正博	教科書P 1～30	402 講義室
3, 4	部分的な歯の欠損について学ぶ。歯の欠損様式と義歯の分類について学ぶ。	講義	有田 正博	教科書P 1～30、P31～35	402 講義室
5, 6	パーシャルデンチャーの構成要素について学ぶ。	講義	有田 正博	教科書P39～42	402 講義室
7, 8	パーシャルデンチャーに加わる力への対応について学ぶ。クラスプの構造と機能について学ぶ。	講義	有田 正博	教科書P43～56	402 講義室
9, 10	クラスプの構造と機能について学ぶ。	講義	有田 正博	教科書P59～74	402 講義室
11, 12	クラスプの種類について学ぶ。	講義	有田 正博	教科書P59～74	402 講義室
13, 14	クラスプの種類について学ぶ。	講義	有田 正博	教科書P59～74	402 講義室
15, 16	クラスプの種類について学習。連結子について学ぶ。	講義	有田 正博	教科書P59～74、P81～86	402 講義室
17, 18	連結子について学ぶ。義歯床と人工歯について学ぶ。	講義	有田 正博	教科書P81～86、教科書P87～96	402 講義室

部分欠損補綴治療学

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・実	時間数	90	単位数	5
科目責任者	有田 正博						
担当教員	有田 正博, 八木 まゆみ, 榎原 絵理, 渡辺 崇文, 大楠 弘通 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
19, 20	製作方法（医療面接と情報収集）について学ぶ。製作方法（前処置と印象採得）について学ぶ。	講義	有田 正博	教科書P99～112、P115～130	402講義室
21, 22	製作方法（咬合採得）について学ぶ。製作方法（フレームワークの製作、ワンピースキャスト法、屈曲法）について学習する。	講義	有田 正博	教科書P151～166、P133～148、P168～174	402講義室
23, 24	製作方法（人工歯排列、歯肉形成、蠟義歯試適、義歯床の完成）について学ぶ。製作方法（完成義歯の装着、調整と患者指導）について学ぶ。	講義	有田 正博	教科書P175～189、P191～195	402講義室
25, 26	製作方法（装着後のトラブルと対処方法）について学ぶ。26) 種々のパーシャルデンチャーについて学ぶ。	講義	有田 正博	教科書P197～214、教科書P75～78、P215～222	402講義室
27, 28	患者に喜ばれる部分床義歯Ⅰ、Ⅱ	講義	榎原 絵理 八木 まゆみ	これまで学んだことを振り返る	402講義室
29, 30	患者に喜ばれる部分床義歯Ⅲ、Ⅳ	講義	渡辺 崇文 大楠 弘通	これまで学んだことを振り返る	402講義室

部分欠損補綴治療学(実習)

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	有田 正博						
担当教員	有田 正博, 榎原 絵理, 八木 まゆみ, 渡辺 崇文, 大楠 弘通 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業の概要

座学で学習した可撤性補綴装置（部分床義歯）の設計・製作方法について、臨床手技および関連技工（概形印象法、サベイング、説明・指導、レストシートの形成、個人トレーの製作と精密印象、咬合床の製作と咬合採得、フレームワークの製作、ワイヤークラスプの屈曲、即時重合レジン製の口蓋床の製作など）を行うことで、より理解を深める。さらに、可撤性部分床義歯の設計実習を行い、部分床義歯の構成要素の意義と目的について理解を深める。

学生の到達目標

- ①部分床義歯の構造を説明できる。
- ②部分床義歯の製作過程を説明できる。
- ③部分床義歯の設計原理を理解し、適切に設計を行うことができる。
- ④欠損補綴の治療方針の説明ができる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
D-5-3-2-3	可撤性義歯の要素構成と設計原則(支持、維持、把持、咬合平衡を含む)を理解している。
D-5-3-2-4	可撤性義歯製作のための印象採得を理解している。
D-5-3-2-5	可撤性義歯製作のための咬合採得を理解している。
E-5-3-4-2-1	可撤性補綴治療に必要な情報を収集し、治療計画の立案と装置の設計(サベイングを含む)が実施できる。(I a)
E-5-3-4-2-2	可撤性義歯による補綴治療の前処置ができる。(I a)
E-5-3-4-2-3	可撤性義歯の概形印象採得と研究用模型製作ができる。(I a)

参考書

タイトル	著者	出版社
パーシャルデンチャーテクニク		医歯薬出版
有床義歯技工学		医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
すべての実習に出席し、それぞれの過程を完了し、課せられた製作物を提出することをもって合格とする。	100%

部分欠損補綴治療学(実習)

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	有田 正博						
担当教員	有田 正博, 榎原 絵理, 八木 まゆみ, 渡辺 崇文, 大楠 弘通 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

その他

【オフィスアワー】 実習終了後、有田（m-arita@kyu-dent.ac.jp）にメール

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	レストシートの形成（親模型）、アルジネート印象採得、模型製作	実習	有田 正博 八木 まゆみ 榎原 絵理 渡辺 崇文 大楠 弘通	レストシートの形成、アルジネート印象採得、研究用模型の製作、パーシャルデンチャーテクニック P25～28	シミュレーション実習室 技工室
2	レストシートの形成（親模型）、アルジネート印象採得、模型製作	実習	有田 正博 八木 まゆみ 榎原 絵理 渡辺 崇文 大楠 弘通	レストシートの形成、アルジネート印象採得、研究用模型の製作、パーシャルデンチャーテクニック P25～28	シミュレーション実習室 技工室
3	レストシートの形成（親模型）、アルジネート印象採得、模型製作	実習	有田 正博 八木 まゆみ 榎原 絵理 渡辺 崇文 大楠 弘通	レストシートの形成、アルジネート印象採得、研究用模型の製作、パーシャルデンチャーテクニック P25～28	シミュレーション実習室 技工室
4	サベイング、外形線描記、模型上でレストシートの形成、個人トレー、咬合床の製作のための前処置	実習	有田 正博 八木 まゆみ 榎原 絵理 渡辺 崇文 大楠 弘通	サベイング、外形線描記、個人トレーの製作、咬合床の製作、パーシャルデンチャーテクニック P39～64	シミュレーション実習室 技工室
5	サベイング、外形線描記、模型上でレストシートの形成、個人トレー、咬合床の製作のための前処置	実習	有田 正博 八木 まゆみ 榎原 絵理 渡辺 崇文 大楠 弘通	サベイング、外形線描記、個人トレーの製作、咬合床の製作、パーシャルデンチャーテクニック P39～64	シミュレーション実習室 技工室

部分欠損補綴治療学(実習)

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	有田 正博						
担当教員	有田 正博, 榎原 絵理, 八木 まゆみ, 渡辺 崇文, 大楠 弘通 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
6	サベイング、外形線描記、模型上でレストシート形成、個人トレー、咬合床の製作のための前処置	実習	有田 正博 八木 まゆみ 榎原 絵理 渡辺 崇文 大楠 弘通	サベイング、外形線描記、個人トレーの製作、咬合床の製作、パーシャルデンチャーテクニックP39～64	シミュレーション実習室 技工室
7	個人トレー、咬合床の製作	実習	有田 正博 八木 まゆみ 榎原 絵理 渡辺 崇文 大楠 弘通	個人トレーの製作、咬合床の製作（精密印象採得法、咬合採得法）、パーシャルデンチャーテクニックP43～64	シミュレーション実習室 技工室
8	個人トレー、咬合床の製作	実習	有田 正博 八木 まゆみ 榎原 絵理 渡辺 崇文 大楠 弘通	個人トレーの製作、咬合床の製作（精密印象採得法、咬合採得法）、パーシャルデンチャーテクニックP43～64	シミュレーション実習室 技工室
9	個人トレー、咬合床の製作	実習	有田 正博 八木 まゆみ 榎原 絵理 渡辺 崇文 大楠 弘通	個人トレーの製作、咬合床の製作（精密印象採得法、咬合採得法）、パーシャルデンチャーテクニックP43～64	シミュレーション実習室 技工室
10	ワイヤークラスプの屈曲実習	実習	有田 正博 八木 まゆみ 榎原 絵理 渡辺 崇文 大楠 弘通	ワイヤークラスプの屈曲方法、パーシャルデンチャーテクニックP95～98	シミュレーション実習室 技工室
11	ワイヤークラスプの屈曲実習	実習	有田 正博 八木 まゆみ 榎原 絵理 渡辺 崇文 大楠 弘通	ワイヤークラスプの屈曲方法、パーシャルデンチャーテクニックP95～98	シミュレーション実習室 技工室
12	ワイヤークラスプの屈曲実習	実習	有田 正博 八木 まゆみ 榎原 絵理 渡辺 崇文 大楠 弘通	ワイヤークラスプの屈曲方法、パーシャルデンチャーテクニックP95～98	シミュレーション実習室 技工室

部分欠損補綴治療学(実習)

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	有田 正博						
担当教員	有田 正博, 榎原 絵理, 八木 まゆみ, 渡辺 崇文, 大楠 弘通 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
13	設計実習	実習	有田 正博 八木 まゆみ 榎原 絵理 渡辺 崇文 大楠 弘通	部分床義歯の設計原則、基本的な設計方法、メタルフレームのデザイン) 教科書 P139～150	シミュレーション実習室 技工室
14	設計実習	実習	有田 正博 八木 まゆみ 榎原 絵理 渡辺 崇文 大楠 弘通	部分床義歯の設計原則、基本的な設計方法、メタルフレームのデザイン) 教科書 P139～150	シミュレーション実習室 技工室
15	設計実習	実習	有田 正博 八木 まゆみ 榎原 絵理 渡辺 崇文 大楠 弘通	部分床義歯の設計原則、基本的な設計方法、メタルフレームのデザイン) 教科書 P139～150	シミュレーション実習室 技工室

口腔機能再建治療学

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講・実	時間数	108	単位数	4.5
科目責任者	正木 千尋						
担当教員	正木 千尋, 近藤 祐介, 向坊 太郎, 宗政 翔, 野代 知孝, 細川 隆司, (非)近藤 尚知, (非)峯 篤 ※氏名の後ろに (診療科名) の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業の概要

口腔機能再建治療学は、生体材料を用いて歯冠歯質の欠損および歯の欠如、咬合の異常などに起因する顎口腔系機能の低下、形態変化および審美障害などの回復、改善ならびに咬合の保全を計ることを通じて患者の健康を回復することをその目的とする。コアカリキュラム・OSCE課題に準じた到達目標を含め、生体材料の取り扱いに配慮しながら、歯質欠損、歯牙欠損に関する歯冠修復、冠橋義歯による修復治療について、講義と実習を行う。

学生の到達目標

【一般目標】

- ・ 咬合学の基本的知識とその臨床応用に必要な手技を習得する。
- ・ 成形を行って使用する歯科材料の種類と特性を理解し、これらの歯科材料の基本的成形方法を習得する。
- ・ 歯列の一部欠損に起因した顎口腔の機能低下に対し、生体材料を用いて口腔の機能回復を図る治療について、診断、治療、治療評価、術後管理などについてコアカリキュラムの内容を網羅しつつCBTおよびOSCEの基本的な知識と技能を身に付ける。

【到達目標】

- ①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。
- ②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。(ポンティックの選択を含む)
- ③支台築造の意義、種類および特徴を説明できる。
- ④支台歯形成の意義と方法を説明できる。
- ⑤暫間補綴装置の意義とその製作法を説明できる。
- ⑥クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。
- ⑦研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。
- ⑧平均値咬合器および調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。(使用方法を含む)
- ⑨クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。
- ⑩クラウンブリッジの維持管理の目的と方法を説明できる。
- ⑪フェイスボウトランスファーとチェックバイト法を説明し、調節性咬合器の基本的操作ができる。
- ⑫歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。
- ⑬クラウンブリッジの設計を適切にできる。
- ⑭クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。
- ⑮クラウンブリッジ装着後における定期健診の重要性を説明し、指導できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
B-2-1	成形修復・歯冠修復用材料の種類、成分、特性、用途及び操作法を理解している。
B-2-3	接着用材料の種類、成分、特性、用途及び操作法を理解している。
B-3-1	歯科用材料の成形、加工(切削、焼結、重合、鋳造、溶着等)の原理を理解している。
B-3-2	歯科用機器の種類、構成、原理、特性及び使用法を理解している。
B-3-3	歯科用検査装置の種類、構成、原理、特性及び使用法を理解している。
B-3-4	成形・加工用機器(デジタル成形加工を含む)の種類、構成、原理、特性及び使用法を理解している。
D-5-3-1-1	固定性補綴装置の意義と具備条件を理解している。
D-5-3-1-10	研究用模型と作業用模型の製作方法を理解している。
D-5-3-1-11	平均値咬合器及び調節性咬合器の種類と特徴を理解している。

口腔機能再建治療学

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講・実	時間数	108	単位数	4.5
科目責任者	正木 千尋						
担当教員	正木 千尋, 近藤 祐介, 向坊 太郎, 宗政 翔, 野代 知孝, 細川 隆司, (非)近藤 尚知, (非)峯 篤 ※氏名の後ろに (診療科名) の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

コアカリキュラム	内容
D-5-3-1-12	固定性補綴装置の装着に用いる材料と方法を理解している。
D-5-3-1-13	固定性補綴装置装着後のメンテナンスの意義と方法を理解している。
D-5-3-1-2	固定性補綴装置の種類、特徴及び製作法(CAD/CAMを含む)を理解している。
D-5-3-1-3	支台築造の意義、種類及び特徴を理解している。
D-5-3-1-4	支台歯形成の意義と方法を理解している。
D-5-3-1-5	固定性補綴装置製作のための印象採得(光学印象を含む)に用いる材料と方法を理解している。
D-5-3-1-6	固定性補綴装置製作のための咬合採得に用いる材料と方法を理解している。
D-5-3-1-7	固定性補綴装置の色調選択(シェードテイキング)を理解している。
D-5-3-1-8	プロビジョナルレストレーションの意義とその製作法を理解している。
D-5-3-1-9	固定性補綴装置の製作に必要な材料の基本的操作(CAD/CAMを含む)を理解している。
D-6-2-1	歯科衛生士と連携する口腔健康管理の方法の概要を理解している。
D-6-2-2	歯科技工士と連携する歯科技工の方法の概要を理解している。
D-6-2-3	多職種連携に必要なとなる基本的な専門用語を理解している。

テキスト

タイトル	著者	出版社
クラウンブリッジ補綴学		医歯薬出版
クラウンブリッジテクニック		医歯薬出版

参考書

タイトル	著者	出版社
咬合学事典	保母須弥也 ほか	クインテッセンス出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	80%
講義終了後の確認テスト、レポート等	20%

その他

【オフィスアワー (学習相談)】

歯科補綴学第2講座医局：12:00-13:00、16:30-17:00

メールは随時受付

正木：口腔再建リハビリテーション学分野

近藤：口腔再建リハビリテーション学分野

向坊：口腔再建リハビリテーション学分野

宗政：口腔再建リハビリテーション学分野

野代：口腔再建リハビリテーション学分野

口腔機能再建治療学

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・実	時間数	108	単位数	4.5
科目責任者	正木 千尋						
担当教員	正木 千尋, 近藤 祐介, 向坊 太郎, 宗政 翔, 野代 知孝, 細川 隆司, (非)近藤 尚知, (非)峯 篤 ※氏名の後ろに (診療科名) の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	クラウンブリッジ補綴学の意義、目的、臨床的価値：補綴治療におけるクラウンブリッジ補綴治療の利点・欠点および果たす役割について学習する。	講義	細川 隆司	歯科補綴治療の流れ	402 講義室
2	クラウンブリッジの種類と要件：ポンティックの種類を含むクラウンブリッジの種類とその適応について学習する。	講義	正木 千尋	ポンティック	402 講義室
3	下顎位と下顎運動：補綴治療において重要な下顎位と下顎運動の基本について学習する。	講義	正木 千尋	顎位、顎運動	402 講義室
4	診査、診断：クラウンブリッジによる治療を行う際の診査、診断について学習する。	講義	近藤 祐介	補綴時診断	402 講義室
5	前処置：クラウンブリッジによる治療を行う際の支台歯に対する様々な前処置について学習する。	講義	近藤 祐介	補綴前処置	402 講義室
6	支台歯形成、支台築造：クラウンブリッジによる補綴治療において基本となる支台歯形成と支台築造の手順について実習と知識を関連づけて学習する。	講義	正木 千尋	支台歯形成法	402 講義室
7	ブリッジの設計（抵抗性判定法、転覆線）、支台装置（選択基準）：学習したブリッジの設計について臨床例を参考に理解を深める。	講義	向坊 太郎	ブリッジ	402 講義室
8	トレー、歯肉圧排、印象採得、咬合採得、シェードテイキング：支台歯形成後に行う印象採得、咬合採得およびシェードテイキングの意義と方法について学習する。	講義	宗政 翔	クラウン作製の流れ	402 講義室
9	プロビジョナルレストレーション、仮着：プロビジョナルレストレーションの役割について学習し、臨床例を参考に理解を深める。	講義	近藤 祐介	プロビジョナルレストレーション	402 講義室

口腔機能再建治療学

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・実	時間数	108	単位数	4.5
科目責任者	正木 千尋						
担当教員	正木 千尋, 近藤 祐介, 向坊 太郎, 宗政 翔, 野代 知孝, 細川 隆司, (非)近藤 尚知, (非)峯 篤 ※氏名の後ろに (診療科名) の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
10	作業用模型、咬合器装着、蠟形成法、蠟型採得：作業用模型の作製から蠟型採得までの一連の行程について学習する。	講義	宗政 翔	技工操作	402 講義室
11	埋没前準備、埋没、鑄造、研磨：蠟型採得後、埋没鑄造から研磨まで、装着に至るまでの行程について学習する。	講義	向坊 太郎	技工操作	402 講義室
12	試適、装着、維持管理、定期検診：チェアサイドにおける臨床操作である試適、装着さらに修復についての方法について学習する。	講義	野代 知孝	接着、歯冠修復物装着	402 講義室
13	オールセラミッククラウン、CAD/CAM修復：オールセラミッククラウンなどのメタルフリー修復を中心に最新の補綴治療について学習する。	講義	野代 知孝	オールセラミッククラウン、CAD/CAM	402 講義室
14	接着やコンポジットレジン、グラスファイバーによる技術革新（仮）：クラウンブリッジに関連する非金属歯科材料について学習する。	講義	(非)峯 篤史	コンポジットレジン、グラスファイバー	402 講義室
15	デジタル技術を用いた補綴装置の製作と将来展望（仮）：デジタルデンティストリーについて学習する。	講義	(非)近藤 尚知	光学印象採得、CAD/CAM	402 講義室

口腔機能再建治療学(実習)

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	78	単位数	2.5
科目責任者	正木 千尋						
担当教員	正木 千尋, 近藤 祐介, 向坊 太郎, 宗政 翔, 野代 知孝, 池田 弘, 永松 有紀, 三次 翔 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業の概要

口腔機能再建治療学は、生体材料を用いて歯冠歯質の欠損および歯の欠如、咬合の異常などに起因する顎口腔系機能の低下、形態変化および審美障害などの回復、改善ならびに咬合の保全を計ることを通じて患者の健康を回復することをその目的とする。コアカリキュラム・OSCE課題に準じた到達目標を含め、生体材料の取り扱いに配慮しながら、歯質欠損、歯牙欠損に関する歯冠修復、冠橋義歯による修復治療について、講義と実習を行う。

学生の到達目標

【一般目標】

- ・ 咬合学の基本的知識とその臨床応用に必要な手技を習得する。
- ・ 成形を行って使用する歯科材料の種類と特性を理解し、これらの歯科材料の基本的成形方法を習得する。
- ・ 歯列の一部欠損に起因した顎口腔の機能低下に対し、生体材料を用いて口腔の機能回復を図る治療について、診断、治療、治療評価、術後管理などについてコアカリキュラムの内容を網羅しつつCBTおよびOSCEの基本的な知識と技能を身に付ける。

【到達目標】

OSCE

- ・ 支台歯形成
 - ①患者にこれから行うことを伝えることができる。
 - ②処置に応じたポジショニングができる。
 - ③形成する歯を正しく選択できる。
 - ④ハンドピースに操作が適切にできる。
 - ⑤歯髄保護に配慮する。
 - ⑥咬合面の形成ができる。
 - ⑦清潔や痛み、安全性に配慮した操作ができる。
- ・ テンポラリークラウンの作製
 - ①患者にこれから行うことを伝えることができる。
 - ②処置に応じたポジショニングができる。
 - ③適切な既製樹脂冠を選択できる。
 - ④即時重合レジンの操作が適切にできる。
 - ⑤辺縁のバリを適切に削除することができる。
 - ⑥清潔や痛み、安全性に配慮した操作ができる。
- ・ 欠損補綴の治療方針の説明
 - ①説明の開始にあたって、環境を整えることができる。
 - ②様々な媒体を用いて説明できる。
 - ③患者の理解度を確認しながら説明できる。
 - ④わかりやすい言葉づかいと聞き取りやすい話し方ができる。
 - ⑤説明の終わりに、患者の疑問点を確認できる。
 - ⑥補綴歯科治療の必要性を説明できる。
 - ⑦補綴装置の構造の概略を説明できる。
 - ⑧治療法について、長所、短所を説明できる。

口腔機能再建治療学(実習)

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	78	単位数	2.5
科目責任者	正木 千尋						
担当教員	正木 千尋, 近藤 祐介, 向坊 太郎, 宗政 翔, 野代 知孝, 池田 弘, 永松 有紀, 三次 翔 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
B-2-1	成形修復・歯冠修復用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法を理解している。
B-2-3	接着用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法を理解している。
B-3-1	歯科用材料の成形、加工(切削、焼結、重合、鋳造、溶着等)の原理を理解している。
B-3-2	歯科用機器の種類、構成、原理、特性及び使用方法を理解している。
B-3-3	歯科用検査装置の種類、構成、原理、特性及び使用方法を理解している。
B-3-4	成形・加工用機器(デジタル成形加工を含む)の種類、構成、原理、特性及び使用方法を理解している。
D-5-3-1-1	固定性補綴装置の意義と具備条件を理解している。
D-5-3-1-10	研究用模型と作業用模型の製作方法を理解している。
D-5-3-1-11	平均値咬合器及び調節性咬合器の種類と特徴を理解している。
D-5-3-1-12	固定性補綴装置の装着に用いる材料と方法を理解している。
D-5-3-1-13	固定性補綴装置装着後のメンテナンスの意義と方法を理解している。
D-5-3-1-2	固定性補綴装置の種類、特徴及び製作法(CAD/CAMを含む)を理解している。
D-5-3-1-3	支台築造の意義、種類及び特徴を理解している。
D-5-3-1-4	支台歯形成の意義と方法を理解している。
D-5-3-1-5	固定性補綴装置製作のための印象採得(光学印象を含む)に用いる材料と方法を理解している。
D-5-3-1-6	固定性補綴装置製作のための咬合採得に用いる材料と方法を理解している。
D-5-3-1-7	固定性補綴装置の色調選択(シェードテイキング)を理解している。
D-5-3-1-8	プロビジョナルレストレーションの意義とその製作法を理解している。
D-5-3-1-9	固定性補綴装置の製作に必要な材料の基本的操作(CAD/CAMを含む)を理解している。
D-6-2-1	歯科衛生士と連携する口腔健康管理の方法の概要を理解している。
D-6-2-2	歯科技工士と連携する歯科技工の方法の概要を理解している。
D-6-2-3	多職種連携に必要な基本的な専門用語を理解している。
E-5-3-5-1	永久歯の単純抜歯を実施できる。(I a)

テキスト

タイトル	著者	出版社
クラウンブリッジ補綴学		医歯薬出版
クラウンブリッジテクニック		医歯薬出版

参考書

タイトル	著者	出版社
歯科理工学入門	小園凱夫 編	学建書院
要説歯科材料学	平澤忠 監 訳	医歯薬出版
現代歯科理工学	平澤忠 他 編	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
実習試験(筆記・実技)	100%

口腔機能再建治療学(実習)

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	78	単位数	2.5
科目責任者	正木 千尋						
担当教員	正木 千尋, 近藤 祐介, 向坊 太郎, 宗政 翔, 野代 知孝, 池田 弘, 永松 有紀, 三次 翔 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

その他

【オフィスアワー（学習相談）】

歯科補綴学第2講座医局：12:00-13:00、16:30-17:00

メールは随時受付

正木：口腔再建リハビリテーション学分野

近藤：口腔再建リハビリテーション学分野

向坊：口腔再建リハビリテーション学分野

宗政：口腔再建リハビリテーション学分野

野代：口腔再建リハビリテーション学分野

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1-2	生活歯の支台歯形成（上顎左側中切歯の前装冠形成①）：レジン前装冠の形成について、シミュレーション実習模型を用い生活歯を想定して形成を行う。	講義実習	正木 千尋 近藤 祐介 向坊 太郎 宗政 翔 野代 知孝	支台歯形成	シミュレーション実習室
3-4	生活歯の支台歯形成（上顎左側中切歯の前装冠形成②／プロビジョナルレストレーション）：上顎中切歯の支台歯形成後に作製するプロビジョナルレストレーションの役割とともに実際の作製方法について学習する。	講義実習	正木 千尋 近藤 祐介 向坊 太郎 宗政 翔 野代 知孝	プロビジョナルレストレーション	シミュレーション実習室
5-6	生活歯の支台歯形成（上顎左側第二小臼歯の全部金属冠形成／プロビジョナルレストレーション）：上顎小臼歯の支台歯形成後に作製するプロビジョナルレストレーションの役割とともに実際の作製方法について学習する。	講義実習	正木 千尋 近藤 祐介 向坊 太郎 宗政 翔 野代 知孝	支台歯形成、プロビジョナルレストレーション	シミュレーション実習室
7	上顎左側第一大臼歯の抜歯：上顎左側第一大臼歯の抜歯を例に、必要な器具および手順について学習する。	講義実習	三次 翔	抜歯術	シミュレーション実習室
8-9	生活歯の支台歯形成（上顎左側第二小臼歯および上顎左側第二大臼歯を支台としたブリッジの形成／プロビジョナルレストレーション）	講義実習	正木 千尋 近藤 祐介 向坊 太郎 宗政 翔 野代 知孝	支台歯形成、プロビジョナルレストレーション	シミュレーション実習室

口腔機能再建治療学(実習)

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	78	単位数	2.5
科目責任者	正木 千尋						
担当教員	正木 千尋, 近藤 祐介, 向坊 太郎, 宗政 翔, 野代 知孝, 池田 弘, 永松 有紀, 三次 翔 ※氏名の後ろに (診療科名) の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
10-11	①支台築造：築造体のワックスアップ ②既製トレーを使った寒天ーアルジネート連合印象、石膏注入、硬石膏模型作製 支台築造のための築造窩洞形成について学習する。寒天アルジネートによる連合印象から作業用模型の作製までの歯冠修復の一連の流れについて実習を行う。	講義実習	正木 千尋 近藤 祐介 向坊 太郎 宗政 翔 野代 知孝	支台築造, ワックスアップ, 連合印象	シミュレーション実習室 石膏室
12-13	スタディモデル作製：スタディモデルの作製法について学習する。	講義実習	正木 千尋 近藤 祐介 向坊 太郎 宗政 翔 野代 知孝	印象採得方法、模型作製	相互実習室 石膏室
14	フェイスボウトランスファー、上顎模型咬合器装着：フェイスボウを用いた模型の咬合器装着を学習する。	講義実習	正木 千尋 近藤 祐介 向坊 太郎 宗政 翔 野代 知孝	顎位	技工室 石膏室 鑄造室
15	下顎模型咬合器装着、チェックバイト、顎路計測、切歯指導板の作製：模型の咬合器装着を行い、顎路調節について学習する。	講義実習	野代 知孝 正木 千尋 近藤 祐介 向坊 太郎 宗政 翔	顎位	技工室 石膏室 鑄造室
16-19	①歯科用石膏の練和条件の違いによる硬化時間および硬化膨張への影響 ②印象材の物性ならびに印象精度におよぼす操作法の影響 ③鑄造用埋没材の諸性質におよぼす諸因子の影響 ④鑄造体の精度と適合性 印象材と石膏の物性について学習する。また、ワックスアップ後の鑄造操作の手順と材料の性質について学習する。	講義実習	正木 千尋 近藤 祐介 向坊 太郎 宗政 翔 野代 知孝	歯科材料の特性、鑄造法	技工室 石膏室 鑄造室

口腔機能再建治療学(実習)

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	78	単位数	2.5
科目責任者	正木 千尋						
担当教員	正木 千尋, 近藤 祐介, 向坊 太郎, 宗政 翔, 野代 知孝, 池田 弘, 永松 有紀, 三次 翔 ※氏名の後ろに (診療科名) の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
20-23	①歯科用石膏の練和条件の違いによる硬化時間および硬化膨張への影響 ②印象材の物性ならびに印象精度におよぼす操作法の影響 ③鋳造用埋没材の諸性質におよぼす諸因子の影響 ④鋳造体の精度と適合性 印象材と石膏の物性について学習する。また、ワックスアップ後の鋳造操作の手順と材料の性質について学習する。	講義実習	正木 千尋 近藤 祐介 向坊 太郎 宗政 翔 野代 知孝	歯科材料の特性、鋳造法	技工室 鋳造室 石膏室
24-27	①歯科用石膏の練和条件の違いによる硬化時間および硬化膨張への影響 ②印象材の物性ならびに印象精度におよぼす操作法の影響 ③鋳造用埋没材の諸性質におよぼす諸因子の影響 ④鋳造体の精度と適合性 印象材と石膏の物性について学習する。また、ワックスアップ後の鋳造操作の手順と材料の性質について学習する。	講義実習	正木 千尋 近藤 祐介 向坊 太郎 宗政 翔 野代 知孝	歯科材料の特性、鋳造法	技工室 鋳造室 石膏室
28-29	生活歯の支台歯形成 (上顎左側第一小臼歯に対するCAD/CAMレジンクラウン冠作製のための支台歯形成)	講義実習	正木 千尋 近藤 祐介 向坊 太郎 宗政 翔 野代 知孝	支台歯形成	シミュレーション実習室
30-39	①光学印象、CAD/CAMワークフロー ②実習実技試験 (OSCE形式) (支台歯形成, テンポラリークラウン) デジタルデンティストリーについて理解を深め、OSCE形式の実習によりこれまでの実習内容の習熟度を確認する。	講義実習	正木 千尋 近藤 祐介 向坊 太郎 宗政 翔 野代 知孝	光学印象、OSCE形式実習	相互実習室 シミュレーション実習室

栄養と食生活

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行, 久保田 潤平, 近藤 祐介, 多田 葉子, (非) 柿木 保明						

授業の概要

バランスのとれた食生活（栄養摂取）は、生命の維持および健康な身体を維持するのに必要である。偏った栄養摂取は生活習慣病をはじめとする種々の疾患を引き起こす。本講義では、ライフステージに応じた食育推進や臨床栄養を理解する上で必要な栄養学に関する基本的事項および国民栄養の現状とその問題点について講義する。また、歯科臨床で重要な口腔疾患の予防や要介護高齢者の歯科的問題点と栄養摂取方法について講義する。

学生の到達目標

- ①口腔と全身の健康の関連を説明できる。
- ②栄養と食育を説明できる。
- ③地域における保健・医療・福祉・介護の連携を説明できる。
- ④主な歯科疾患（う蝕）の予防を説明できる。
- ⑤ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。
- ⑥主な保健医療統計（国民健康・栄養調査）を説明できる。
- ⑦アミノ酸とタンパク質の構造、機能および代謝を説明できる。
- ⑧糖質の構造、機能および代謝を説明できる。
- ⑨脂質の構造、機能および代謝を説明できる。
- ⑩生体のエネルギー産生と利用を説明できる。
- ⑪咀嚼の意義と制御機構を説明できる。
- ⑫嚥下の意義と制御機構を説明できる。
- ⑬口腔・顎顔面外科領域に症状を現すビタミン欠乏症とその症状を列挙できる。
- ⑭栄養管理や食形態の調製法を説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-1-2-1	アミノ酸とタンパク質の構造、機能及び代謝を理解している。
A-1-2-2	糖質の構造、機能及び代謝を理解している。
A-1-2-3	脂質の構造、機能及び代謝を理解している。
A-1-2-6	ビタミン、ミネラルの種類と作用を理解している。
A-1-2-7	酸化ストレス(フリーラジカル、活性酸素)の発生と作用を理解している。
A-1-2-8	栄養素の相互変換とエネルギー代謝(エネルギーの定義、食品中のエネルギー値、エネルギー消費量、推定エネルギー必要量)を理解している。
A-1-2-9	空腹時、飢餓時、食後、過食時及び運動時における代謝を理解している。
C-1-3-3	医療、保健、福祉、介護における多職種連携と歯科医師の役割を理解している。
C-6-2-2	主な保健医療統計(歯科疾患実態調査、国民健康・栄養調査、国勢調査、人口動態調査、患者調査、医療施設調査、医師・歯科医師・薬剤師統計、学校保健統計調査等)を理解している。
D-5-7-9	高齢者の栄養状態の評価と栄養指導を理解している。
D-6-2-4	多職種チーム(栄養サポートチーム、摂食嚥下リハビリテーションチーム、口腔ケアチーム等)内での口腔健康管理の概要について理解している。
E-5-2-4	食育指導を実施できる。(I b)

栄養と食生活

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行, 久保田 潤平, 近藤 祐介, 多田 葉子, (非)柿木 保明						

コアカリキュラム	内容
E-5-2-7	ライフステージに応じた栄養について指導できる。(I b)

テキスト

タイトル	著者	出版社
講義は、配布プリントを中心に 行う。		
キーワードでわかる臨床栄養	岡田晋吾 編	羊土社
わかりやすい栄養学第5版 臨床・地域で役立つ食生活 指導の実際	中村美和子 ・長谷川恭子	ヌーヴェル ヒロカワ
*上記教科書のうちどちら ひとつを購入すること。詳 しく学びたいときは前者を 、広く浅く浅く学びたいと きは後者を選んで下さい。		

参考書

タイトル	著者	出版社
楽しくわかる栄養学	中村丁次	羊土社
臨床歯科栄養学	花田信弘 ら 監修	一般財団法人 人口腔保健 協会
口腔保健と栄養をむすぶエ ビデンスブック	深井稜博 編	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】講義の前後、またはメールで受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	国民栄養の現状 1 国民健康・栄養調査の結果を中心に国民栄養の現状について学修する。	講義	辻澤 利行	国民健康・栄養調査とは、国民健康・栄養調査報告の結果の概要、栄養素摂取量等の経年的変化、痩せと肥満の現状	402 講義室

栄養と食生活

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行, 久保田 潤平, 近藤 祐介, 多田 葉子, (非) 柿木 保明						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	国民栄養の現状 2 国民健康・栄養調査の結果を中心に（食）生活習慣の現状について学修する。食事摂取基準 1 栄養管理をする上で必要なエネルギーや各種栄養素の基準値について説明する。推定エネルギー必要量（基礎代謝量・身体活動レベルを含む）、推定平均必要量、推奨量、目安量、耐容上限量、目標量について学習する。	講義	辻澤 利行	朝食の欠食の現状，食生活指針，食事摂取基準2020年とは	402 講義室
3	食事摂取基準 2 主に健康な人の栄養管理の基本的な考え方を学修する。摂取エネルギーの決め方とタンパク質、脂質、炭水化物、カルシウムやナトリウムなど主な栄養素の食事摂取基準について学修する。	講義	辻澤 利行	食事摂取基準2020年において栄養素に示される5つの指標，主な栄養素の食事摂取基準，エネルギーの指標に関する考え方	402 講義室
4	食品と栄養のバランス 食品群、食事バランスガイドについて学修する。	講義	辻澤 利行	三分類、四分類，六分類，その他の食品群，食事バランスガイド，スマートミール	402 講義室
5	栄養素の種類と代謝 1 炭水化物（糖質・食物繊維）およびタンパク質の種類と代謝、主な供給源と1日に必要な摂取量の目安について学修する。	講義	辻澤 利行	糖質の種類、食物繊維の定義、糖質を多く含む食品、たんぱく質の種類、たんぱく質を多く含む食品，食品成分データベース	402 講義室
6	栄養素の種類と代謝 2 脂質の種類と代謝、主な供給源と1日に必要な摂取量の目安について学修する。	講義	辻澤 利行	脂質の種類、脂質を多く含む食品、リポたんぱく質，コレステロール合成，食品に含まれる脂質含有量	402 講義室

栄養と食生活

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行, 久保田 潤平, 近藤 祐介, 多田 葉子, (非)柿木 保明						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
7	栄養素の種類と代謝 3 ビタミン（脂溶性ビタミンと水溶性ビタミン）とミネラル（主要ミネラルと微量ミネラル）の種類と代謝、主な供給源と1日に必要な摂取量の目安について学修する。	講義	辻澤 利行	ビタミンの種類、ミネラルの種類、ビタミンを多く含む食品、ミネラルを多く含む食品、	402 講義室
9	食品の機能性 食品の機能性 食品のもつ1次機能、2次機能および3次機能について学修する。低栄養の代謝 飢餓および侵襲時における代謝反応について学修する。	講義	辻澤 利行	食品の機能性、抗酸化物質、抗酸化ミネラル、機能性表示食品、特別用途食品、素材情報データベース、飢餓と侵襲による低栄養	402 講義室
8	歯科からの食育推進について 食育基本法、食育推進基本計画、食育推進宣言、健康づくりのための食育推進共同宣言について学修する。	講義	辻澤 利行	食育基本法、食育推進基本計画、歯科分野がかかわる食育に関する宣言、食育白書による歯科保健分野からの食育推進の現状	402 講義室
10	有病者や傷病者に対する栄養摂取と栄養管理 エネルギー必要量および栄養摂取の考え方と栄養管理について学修する。増粘剤や嚥下調整食の成分、食事形態によるエネルギー量の変化等を理解し食事提供の工夫について学修する。	講義	辻澤 利行	栄養評価、高齢者および有病者に対する栄養摂取と栄養管理の考え方、食べにくい食事、飲み込みやすい食事、スマイルケア食	402 講義室
11	補綴治療と栄養 補綴歯科治療と栄養の関連について学修する。	講義	近藤 祐介	補綴歯科治療の特徴	402 講義室
12	加齢に伴う摂食機能の変化、栄養アセスメント 身体に加齢変化により生じる摂食機能の変化について理解し、栄養状態のアセスメントについて学修する。	講義	(非)柿木 保明	加齢による摂食機能の変化、栄養アセスメント	402 講義室
13	摂食・嚥下機能とその障害 摂食・嚥下機能とその障害について理解し、その評価法について学修する。	講義	久保田 潤平	摂食・嚥下の5期モデル、プロセスモデル	402 講義室

栄養と食生活

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	辻澤 利行						
担当教員	辻澤 利行, 久保田 潤平, 近藤 祐介, 多田 葉子, (非)柿木 保明						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
14	口腔機能と栄養学（口腔機能、食生活）食生活と口腔の関係について総合的に学習する。東洋医学を含めた口から食べられるような環境作りについても理解する。	講義	(非)柿木 保明	食環境、口腔機能と栄養	402 講義室
15	栄養法と食形態 栄養法の種類・適応・注意点や機能訓練で用いる嚥下食から、日常的な経口摂取で用いる介護食などの食形態について学修する。	講義	多田 葉子	静脈栄養法、経腸栄養法、嚥下調整食分類2021	402 講義室

地域口腔保健学I

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	安細 敏弘						
担当教員	安細 敏弘, 角田 聡子, 片岡 正太, (非)小川 祐司 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する						

授業の概要

地域保健活動のベースになる健康と疾病の概念およびヘルスプロモーション・プライマリヘルスケアの考え方を習得した上で、口腔衛生に関わる基本的知識とライフステージに応じた公衆衛生活動の実践方法を教授する。地域歯科保健活動のリーダーとなる人材になるための必須の知識と実際について教授する。

学生の到達目標

- ①健康と疾病の概念ならびに健康の定義を説明できる。
- ②疾病の自然史とレベルとクラークの予防を説明できる。
- ③プライマリヘルスケアとヘルスプロモーションが説明できる。
- ④口腔疾患や不正咬合、QOLの疫学および疫学的指標を説明できる。
- ⑤フッ化物の基礎とさまざまな現場での応用方法について説明できる。
- ⑥口腔と全身の健康の関連について説明できる。
- ⑦国際歯科保健の現状と課題について説明できる。
- ⑧健康心理学・行動変容モデルの理論と実際を説明できる。
- ⑨ライフステージに応じた健康支援について説明できる。
- ⑩歯科疾患からみた健康格差の現状と取り組みについて説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
C-4-1-1	健康、障害、疾病と死の概念を理解している。
C-4-1-2	口腔と全身の健康との関連を理解している。
C-4-3-8	災害時の歯科医療の必要性を理解している。
C-5-1	疾病の自然史と第一次、第二次及び第三次予防を理解している。
C-5-2	プロフェッショナルケア、セルフケア及びコミュニティケアを理解している。
C-5-3	プライマリヘルスケアとヘルスプロモーションを理解している。
C-5-4	感染性疾患と非感染性疾患の予防を理解している。
C-5-5	公衆歯科衛生の概要を理解している。
C-5-6	行動科学と健康教育の概要を理解している。
C-6-1-3	歯科疾患の疫学的指標を理解している。
C-7-4	世界の保健・医療問題の概要を理解している。
D-5-1-1	主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を理解している。
D-5-1-2	齲蝕予防における予防填塞及びフッ化物の応用方法を理解している。
D-5-1-3	ブラークコントロールの意義と方法を理解している。
D-5-1-4	ライフステージに応じた歯科疾患の予防を理解している。
D-5-1-5	歯科疾患のリスク因子を理解している。

テキスト

タイトル	著者	出版社
口腔保健・予防歯科学	山下喜久ほか編	医歯薬出版
Moodleに資料を配付する。		

参考書

タイトル	著者	出版社
健康行動理論による研究と実践	日本健康教育学会 編集	医学書院

地域口腔保健学I

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	安細 敏弘						
担当教員	安細 敏弘, 角田 聡子, 片岡 正太, (非)小川 祐司 ※氏名の後ろに (診療科名) の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する						

タイトル	著者	出版社
災害歯科医学	槻木恵一ほか編	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

(学習相談) 質問の受付および回答は講義終了後ないしオフィスアワーに受けつける。オフィスアワーは通常、月から金の午後5時~6時とする(11階研究室など)。相談時間予約にメールを利用することができる。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	健康と疾病の概念 エジプト・メソポタミア時代以来の健康の概念を俯瞰した上で、WHO憲章にみられる健康の定義さらには現在の考え方を学習する。	講義 (パワーポイントと資料)	安細 敏弘	キーワード：健康観の歴史、WHO憲章、健康の定義	402 講義室 Moodle
3	ヘルスプロモーション総論・各論 ヘルスプロモーションとプライマリヘルスケアの概念を踏まえた上で、予防戦略の現状を学習する。	講義 (パワーポイントと資料)	安細 敏弘	キーワード：アルマアタ宣言、ヘルスプロモーションの5つの活動領域・3つの戦略、NCD、コモンリスク因子	402 講義室 Moodle
7	口腔疾患の疫学と評価 (I) う蝕の有病率など統計データを踏まえた上で、代表的なう蝕の指標や特徴を学習する。不正咬合、口腔機能、QOLに関する指標や特徴を学習する。	講義 (パワーポイントと資料)	角田 聡子	キーワード：う蝕の疫学指標、DMF、ICDAS、DAI、QOLの指標	402 講義室 Moodle
8	口腔疾患の疫学と評価 (II) 歯肉炎、歯周病の有病率など統計データを踏まえた上で、代表的な指標や特徴を学習する。	講義 (パワーポイントと資料)	角田 聡子	キーワード：歯肉炎の指標、歯周炎の指標、PMA、GI、口腔清掃の指標	402 講義室 Moodle

地域口腔保健学I

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	安細 敏弘						
担当教員	安細 敏弘, 角田 聡子, 片岡 正太, (非)小川 祐司 ※氏名の後ろに (診療科名) の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	口腔疾患の検査と評価 う蝕、歯周病（歯肉炎）、口臭等の最近の検査・評価方法の動向と課題を学習する。	講義（パワーポイントと資料）	片岡 正太	キーワード：リスクファクターとリスクインディケータの違い、サリバテスト、口臭の検査法、舌苔	402 講義室 Moodle
12	口腔バイオフィルムの病因論とプラークコントロール 口腔バイオフィルムの形成と病原性およびプラークコントロールの概念を理解した上で、その動機づけと予防戦略について学習する。	講義（パワーポイントと資料）	安細 敏弘	キーワード：口腔バイオフィルム、う蝕の臨床、プラークコントロールの分類、ブラッシング法、口腔衛生指導、歯磨剤・洗口剤・義歯洗浄剤	402 講義室 Moodle
4	フッ化物の基礎と応用（I）自然界に存在するフッ化物とう蝕罹患との歴史的背景を踏まえた上で、体内での代謝や生体への為害作用と臨床的意義を学習する。	講義（パワーポイントと資料）	片岡 正太	キーワード：自然界のフッ化物、フッ化物の効果、フッ化物応とう蝕予防の歴史	402 講義室 Moodle
5	フッ化物の基礎と応用（II）フッ化物の局所応用を中心に学習する。	講義（パワーポイントと資料）	片岡 正太	キーワード：フッ化物配合歯磨剤、フッ化物洗口、フッ化物歯面塗布	402 講義室 Moodle
6	フッ化物の基礎と応用（III）フッ化物の全身応用、中毒濃度と症状、Deanの分類を中心に学習する。	講義（パワーポイントと資料）	片岡 正太	キーワード：フロリデーション、Deanの分類、CFI、歯のフッ素症	402 講義室 Moodle
9	健康心理学・行動変容モデルに基づく保健指導 健康教育・保健指導（禁煙指導を含む）に必要な理論とモデルを学習する。	講義（パワーポイントと資料）	安細 敏弘	キーワード：認知行動療法、動機づけ理論、外発的と内発的、ヘルスビリーフモデル、トランスセオレティカルモデル、プリシード・プロシードモデル、行動経済学に基づく保健指導、禁煙支援・指導	402 講義室 Moodle

地域口腔保健学I

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	安細 敏弘						
担当教員	安細 敏弘, 角田 聡子, 片岡 正太, (非)小川 祐司 ※氏名の後ろに (診療科名) の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
10	ライフステージに応じた健康支援・保健指導 (I) 母子・妊産婦・子育て期～学童期・思春期における健康課題を整理し、問題解決のための生活支援・保健活動について学習する。	講義 (パワーポイントと資料)	角田 聡子	キーワード：健康課題、母子保健事業、1歳半・3歳児歯科健診、健康課題、食べ方の支援、学校歯科保健活動、定期健康診断	402 講義室 Moodle
11	ライフステージに応じた健康支援・保健指導 (II) 成人期・職場・高齢者における昨今の健康課題を整理し、問題解決のための生活支援・社会支援・保健活動の実際について学習する。	講義 (パワーポイントと資料)	角田 聡子	キーワード：健康日本21の概念、メタボリック症候群、フレイル、産業歯科保健	402 講義室 Moodle
13	健康格差と社会的要因，地域保健の課題と展望 公衆衛生上の課題としての健康格差・ソーシャル・キャピタルについて、歯科疾患を中心に整理し、現状と取り組みを学習する。	講義 (パワーポイントと資料)	安細 敏弘	キーワード：社会的決定要因、健康格差、社会経済的状況、ソーシャルキャピタル	402 講義室 Moodle
14	WHOと国際保健活動 WHO口腔保健センターでの仕事経験がある研究者からWHOが進める口腔保健の現状と最新情報を学習する。	講義 (パワーポイントと資料)	(非)小川 祐司	キーワード：WHO、口腔保健戦略、WHO口腔保健協力センター	402 講義室 Moodle
15	災害時の口腔保健 災害時の歯科の役割およびフェーズごとの歯科保健医療対策について学習する。	講義 (パワーポイントと資料)	安細 敏弘	キーワード：トリアージ、START法、災害時の歯科の役割、DMATとJMAT	402 講義室 Moodle

地域口腔保健学II

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	16	単位数	0.5
科目責任者	安細 敏弘						
担当教員	安細 敏弘, 角田 聡子, 片岡 正太 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する						

授業の概要

ヘルスプロモーション学を基礎として地域住民がかかえている困りごとや健康問題を解決するための実習を行う。健康教育、健康相談などの基本的な公衆衛生活動を体験することでヘルスプロモーションの実際に必要となる専門的知識・スキルを習得する。

学生の到達目標

- ①ヘルスプロモーションの意義を説明できる。
- ②実践活動の場での課題発見、問題解決の手法を説明できる。
- ③歯科保健活動を通じて歯科・口腔に関する専門的知識およびスキルの向上を図ることができる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
C-5-3	プライマリヘルスケアとヘルスプロモーションを理解している。
C-5-5	公衆歯科衛生の概要を理解している。
CM-02	必要な情報についてわかりやすく説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
実習書		

参考書

タイトル	著者	出版社
資料を配付する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
プレゼンテーションの内容・リーフレット作成内容を評価する。詳細は授業内に説明する。	50%
レポート	50%

その他

（学習相談）質問の受付および回答は講義終了後ないしオフィスアワーに受けつける。オフィスアワーは通常、月から金の午後5時～6時とする（11階研究室など）。相談時間予約にメールを利用することができる。

地域口腔保健学II

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	16	単位数	0.5
科目責任者	安細 敏弘						
担当教員	安細 敏弘, 角田 聡子, 片岡 正太 ※氏名の後ろに (診療科名) の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	臨地実習の目的・心得・すすめ方 臨地実習を行うに当たっての心構えや留意点ならびに実習のすすめ方について講義を行う。	実習 (パワーポイントによる説明と実習書)	安細 敏弘 角田 聡子 片岡 正太	【事前・事後学修】 講話のテーマおよびコンテンツを考える、スライド・リーフレット作成法のポイントを把握する。	コンピュータ演習室 Moodle
2	班単位で課題設定、資料収集、プレゼン用スライド・リーフレットの準備を行う。	実習 (班単位)	安細 敏弘 角田 聡子 片岡 正太	【事前・事後学修】 講話のテーマおよびコンテンツを考える、スライド・リーフレット作成法のポイントを把握する。	コンピュータ演習室 Moodle
3	グループ発表 (I) プレゼンの予行とブラッシュアップを行うとともに実際の現場を想定した質疑応答のシミュレーションを行う。	実習 (班単位)	片岡 正太 安細 敏弘 角田 聡子	【事前・事後学修】 予行の問題点の抽出、スライド、発表原稿のブラッシュアップ	コンピュータ演習室 Moodle
4	グループ発表 (II) プレゼンの予行とブラッシュアップを行うとともに実際の現場を想定した質疑応答のシミュレーションを行う。	実習 (班単位)	片岡 正太 安細 敏弘 角田 聡子	【事前・事後学修】 予行の問題点の抽出、スライド、発表原稿のブラッシュアップ	コンピュータ演習室 Moodle
5	講話の実践 シニアカレッジ研修生へ講話 (各班10分程度) を行う。リーフレットのブラッシュアップを行う。	実習 (班単位)	片岡 正太 安細 敏弘 角田 聡子	【事前・事後学修】 講話の体験を通して反省点・課題をまとめる。	講堂ホール
6	振り返り 実習の振り返りを行い、レポートにまとめ提出する。	実習	片岡 正太 安細 敏弘 角田 聡子	【事前・事後学修】 講話の体験を通して反省点・課題をまとめる。	講堂ホール
7	講話の実践 シニアカレッジ研修生への講話 (各班10分程度) を行う。リーフレットのブラッシュアップを行う。	実習 (班単位)	片岡 正太 安細 敏弘 角田 聡子	【事前・事後学修】 講話の体験を通して反省点・課題をまとめる。	講堂ホール

地域口腔保健学II

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	16	単位数	0.5
科目責任者	安細 敏弘						
担当教員	安細 敏弘, 角田 聡子, 片岡 正太 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
8	振り返り 実習の振り返りを行い、レポートにまとめ提出する。	実習	片岡 正太 安細 敏弘 角田 聡子	【事前・事後学修】 講話の体験を通して 反省点・課題をまとめる。	講堂ホール

小児歯科学I

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	渡辺 幸嗣						
担当教員	渡辺 幸嗣, 西田 郁子, 佐伯 桂, 藤田 優子 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業の概要

本科目では、胎児期から成人にいたるまでの小児の顎口腔領域の健康を維持・増進させるために、疾患の発症を予防し治療を行なうことを目的とする。そのためには小児の特異性を考慮し、健全な顎口腔機能育成のため包括的治療のできる理論と技能・技術を修得した歯科医師を養成することを目標とする。

学生の到達目標

- ①乳歯と幼若永久歯のう蝕の特徴、う蝕予防を説明できる。
- ②小児の代表的な疾患を説明できる。
- ③主な口腔疾患（う蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。
- ④口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域に症状をきたす主な先天異常を説明できる。
- ⑤主な口腔疾患（う蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。
- ⑥口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域に症状をきたす主な先天異常を説明できる。
- ⑦口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長・発育異常（不正咬合）を説明できる。
- ⑧口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。
- ⑨水疱、紅班、びらん、潰瘍、白斑、色素沈着等を主徴とする粘膜疾患を概説できる。
- ⑩歯性感染症の原因菌と感染経路を説明できる。
- ⑪急性炎症と慢性炎症の異同を説明できる。
- ⑫口腔・顎顔面領域の特異性炎の種類と特徴を説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
C-3-2)-①	人体の正常な個体発生と器官発生を説明できる。
C-3-2)-③	人体の形態的な成長と機能的な発達を説明できる。
C-3-2)-④	小児の身体発育、精神発達の特徴と評価法を説明できる。
D-2-①	成形修復・予防填塞用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。
D-2-②	歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。
D-2-③	接着・合着・仮着用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。
D-2-⑥	歯内療法用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。
E-1-1)-①	診察、検査及び診断に必要な事項を列挙できる。
E-1-1)-②	診察、検査及び診断に必要な器材を説明できる。
E-1-1)-④	現症の取り方（視診、触診、打診、聴診等）を説明できる。
E-1-1)-⑤	診療室における患者の心理と行動を説明できる。
E-1-4)-①)-⑥	患者（小児、妊産婦、高齢者を含む）の全身状態の評価を説明できる。
E-1-4)-③)-⑤	局所麻酔の実施法と合併症（偶発症）を説明できる。
E-1-5)-①	抜歯の適応症と禁忌症（相対的禁忌への対応及び小手術の適応症と禁忌を含む）を説明できる。
E-1-5)-②	小手術の合併症（偶発症）を説明できる。
E-1-5)-③	小手術に必要な器具の用法と基本手技を説明できる。
E-2-2)-④	歯列と咬合を説明できる。
E-2-2)-⑧	構音器官としての口腔の形態と機能を説明できる。
E-2-3)-①	口腔・顎顔面領域の発生を説明できる。
E-2-3)-②	口腔・顎顔面領域の成長・発育を説明できる。

小児歯科学I

開講学科	歯学科			開講年次	4年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	渡辺 幸嗣						
担当教員	渡辺 幸嗣, 西田 郁子, 佐伯 桂, 藤田 優子 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

コアカリキュラム	内容
E-2-3)-③	口腔・顎顔面の成長・発育異常及び不正咬合へ及ぼす影響を説明できる。
E-2-4)-(1)-②	口唇裂・口蓋裂の病態と治療方針を説明できる。
E-2-4)-(10)-②	口腔・顎顔面領域に症状を現す感染症の種類と症状を列挙できる。
E-2-4)-(10)-③	口腔・顎顔面領域に症状を現すアレルギー性疾患、膠原病、免疫異常の症状を列挙できる。
E-2-4)-(10)-⑤	口腔・顎顔面領域に症状を現す症候群の種類と症状を列挙できる。
E-2-4)-(10)-⑥	口腔・顎顔面領域に症状を現す系統的骨疾患の症状、診断及び治療法を列挙できる。
E-2-4)-(10)-⑦	口腔・顎顔面領域に症状を現す薬物の副作用を列挙できる。
E-2-4)-(10)-⑧	口腔・顎顔面領域に症状を現す代謝障害とその症状を列挙できる。
E-2-4)-(10)-⑨	口腔・顎顔面領域に症状を現すビタミン欠乏症とその症状を列挙できる。
E-2-4)-(11)-①	咬合異常による障害と咀嚼障害の原因、診察、検査、診断及び治療方針を説明できる。
E-2-4)-(11)-②	摂食嚥下障害の原因、診察、検査、診断及び治療方針を説明できる。
E-2-4)-(11)-③	発音・構音・発語障害の原因、診察、検査、診断及び治療方針を説明できる。
E-2-4)-(2)-①	外傷の種類、特徴及び治癒過程を説明できる。
E-2-4)-(2)-②	外傷の治療方針（治療の優先順位）を説明できる。
E-2-4)-(2)-③	歯の外傷と歯槽骨骨折の原因、種類、症状、診断法及び治療法を説明できる。
E-2-4)-(3)-⑥	主な炎症（舌炎、口唇炎、口底炎、智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨炎、顎骨骨膜炎、顎骨周囲炎、下顎骨骨髓炎、蜂窩織炎、歯性上顎洞炎等）の症状と治療法を説明できる。
E-2-4)-(5)-①	口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の種類と特徴を説明できる。
E-2-4)-(5)-②	口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の症状、診断法及び治療法を説明できる。
E-3-1)-①	歯の発生、発育及び交換の過程と変化を説明できる。
E-3-1)-②	歯種別の形態と特徴を説明できる。
E-3-1)-③	遺伝的な歯の形成異常を説明できる。
E-3-1)-④	歯（乳歯、根未完成歯、幼若永久歯を含む）の硬組織の構造、機能及び構成成分を説明できる。
E-3-1)-⑤	歯髓の構造と機能を説明できる。
E-3-1)-⑥	歯周組織の発生、構造及び機能を説明できる。
E-3-2)-②	歯髓・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。
E-3-2)-③	歯周疾患の病因と病態を説明できる。
E-3-2)-④	口腔細菌、プラーク（口腔バイオフィルム）及び歯石を説明できる。
E-3-3)-(1)-③	修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。
E-3-3)-(1)-④	修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。
E-3-3)-(1)-⑤	歯髓保護の意義、種類と方法を説明できる。
E-3-3)-(2)-②	根管充填の目的、時期及び方法を説明できる。
E-3-3)-(2)-⑥	失活歯の変色の原因、種類及び処置を説明できる。
E-3-3)-(2)-⑦	歯根吸収の原因、症状、診断及び処置を説明できる。
E-4-2)-①	乳歯と幼若永久歯の齶蝕の特徴と予防法を説明できる。
E-4-2)-②	乳歯と幼若永久歯の齶蝕の診察、検査と診断を説明できる。
E-4-2)-③	乳歯と幼若永久歯の歯冠修復の目的、種類、適応症、手順及び留意点を説明できる。
E-4-2)-④	乳歯と根未完成永久歯の歯髓・根尖性歯周疾患の診察、検査と診断を説明できる。
E-4-2)-⑤	乳歯と根未完成永久歯の歯髓・根尖性歯周疾患の処置法の種類、適応症、手順、留意点及び予後を説明できる。
E-4-2)-⑥	小児に見られる歯周疾患の特徴と対応を説明できる。
E-4-2)-⑦	小児の歯の外傷・粘膜疾患の診察、検査、診断及び、処置法及び予後を説明できる。

小児歯科学I

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	渡辺 幸嗣						
担当教員	渡辺 幸嗣, 西田 郁子, 佐伯 桂, 藤田 優子 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

コアカリキュラム	内容
E-4-2)-⑧	咬合誘導の概念を説明できる。
E-4-2)-⑨	保隙処置の目的、種類、適応症及び留意点並びに保隙装置の設計について説明できる。
E-4-2)-⑩	小児患者の対応を説明できる。
E-4-2)-⑪	小児の虐待の徴候と対応を説明できる。
E-4-2)-⑫	口腔習癖が歯列・咬合に及ぼす影響を説明できる。
E-5-2)-⑤	発達期の摂食嚥下障害の診察、評価、診断を説明できる。
E-5-2)-⑥	発達期の摂食嚥下障害のリハビリテーションを説明できる。
E-5-3)-⑤	歯科治療恐怖症を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
小児歯科学	白川哲夫 他	医歯薬出版 株式会社
小児歯科学基礎・臨床実習	白川哲夫 他	医歯薬出版 株式会社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

- 【オフィスアワー】相談は随時受け付け可能だが、原則、時間予約を電話、メールにて行うこと。
 【公欠相当の事由による遠隔対応】講義内容によって異なる（事由発生時に担当教員へ相談すること）。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	乳歯および幼若永久歯の特徴 乳歯及び幼若永久歯の形態的・組織学的特長について学習する。	講義	渡辺 幸嗣	【事前学習課題】乳歯および幼若永久歯の特徴 【事後学習課題】講義後の小テストまたはレポート	501講義室 Moodle
2	小児のう蝕（1） う蝕の要因についてプラーク、歯質、食事との関係について学習する。	講義	西田 郁子	【事前学習課題】う蝕の要因 【事後学習課題】講義後の小テストまたはレポート	501講義室 Moodle

小児歯科学I

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	渡辺 幸嗣						
担当教員	渡辺 幸嗣, 西田 郁子, 佐伯 桂, 藤田 優子 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
3	小児のう蝕（2） 小児期のう蝕の特徴についてステージごとに学習する。	講義	西田 郁子	【事前学習課題】う蝕の特徴 【事後学習課題】講義後の小テストまたはレポート	501講義室 Moodle
4	小児のう蝕予防 フッ化物、シーラントの応用、ブラークコントロール、食事指導を学習する。	講義	西田 郁子	【事前学習課題】う蝕予防処置 【事後学習課題】講義後の小テストまたはレポート	501講義室 Moodle
5	小児虐待 小児虐待の対応と兆候について学習する。	講義	渡辺 幸嗣	【事前学習課題】小児虐待 【事後学習課題】講義後の小テストまたはレポート	501講義室 Moodle
6	小児の全身疾患と歯科治療（1） 遺伝性疾患や染色体異常疾患の歯科的所見について学習する。	講義	渡辺 幸嗣	【事前学習課題】全身疾患と歯科治療 【事後学習課題】講義後の小テストまたはレポート	501講義室 Moodle
7	小児の全身疾患と歯科治療（2） 内分泌疾患やビタミン欠乏症、血液・造血疾患等の全身疾患とその対応について学習する。	講義	佐伯 桂	【事前学習課題】全身疾患と歯科治療 【事後学習課題】講義後の小テストまたはレポート	501講義室 Moodle
8	小児の全身疾患と歯科治療（3） 小児期の感染症について学習する。	講義	藤田 優子	【事前学習課題】小児期の感染症 【事後学習課題】講義後の小テストまたはレポート	501講義室 Moodle

小児歯科学II

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・実	時間数	62	単位数	3
科目責任者	渡辺 幸嗣						
担当教員	渡辺 幸嗣, 西田 郁子, 佐伯 桂, 藤田 優子 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業の概要

本科目では、胎児期から成人までの、小児の顎口腔領域の健康を維持・増進させるために、疾患の発症を予防し治療を行なうことを目的とする。そのために成長過程にある小児の特異性を考慮し、健全な顎口腔機能育成のため包括的治療のできる理論と技能・技術を修得した歯科医師を養成することを目標とする。

学生の到達目標

- ①小児および障害者（児）の口腔疾患の治療を実施するための基本的な知識、技術及び態度を身につけることができる。
- ②歯科治療と全身疾患との関連を理解し説明できる。
- ③診察、検査、診断および治療に必要な器材を説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
B-2-2)-⑥	虐待の防止に関する制度と歯科医師の責務を説明できる。
C-3-2)-④	小児の身体発育、精神発達の特徴と評価法を説明できる。
E-1-4)-(1)-⑥	患者（小児、妊産婦、高齢者を含む）の全身状態の評価を説明できる。
E-4-2)-①	乳歯と幼若永久歯の齲蝕の特徴と予防法を説明できる。
E-4-2)-②	乳歯と幼若永久歯の齲蝕の診察、検査と診断を説明できる。
E-4-2)-③	乳歯と幼若永久歯の歯冠修復の目的、種類、適応症、手順及び留意点を説明できる。
E-4-2)-④	乳歯と根未完成永久歯の歯髄・根尖性歯周疾患の診察、検査と診断を説明できる。
E-4-2)-⑤	乳歯と根未完成永久歯の歯髄・根尖性歯周疾患の処置法の種類、適応症、手順、留意点及び予後を説明できる。
E-4-2)-⑥	小児に見られる歯周疾患の特徴と対応を説明できる。
E-4-2)-⑦	小児の歯の外傷・粘膜疾患の診察、検査、診断及び、処置法及び予後を説明できる。
E-4-2)-⑧	咬合誘導の概念を説明できる。
E-4-2)-⑨	保隙処置の目的、種類、適応症及び留意点並びに保隙装置の設計について説明できる。
E-4-2)-⑩	小児患者の対応を説明できる。
E-4-2)-⑪	小児の虐待の徴候と対応を説明できる。
E-4-2)-⑫	口腔習癖が歯列・咬合に及ぼす影響を説明できる。
E-5-2)-①	障害者の身体的、精神的及び心理的特徴を説明できる。
E-5-2)-②	障害者の行動調整（行動管理）と歯科治療に必要な注意点を説明できる。
E-5-2)-③	障害者における歯科治療の特殊性を説明できる。
E-5-2)-④	障害者の口腔ケア及び口腔衛生指導を説明できる。
E-5-2)-⑤	発達期の摂食嚥下障害の診察、評価、診断を説明できる。
E-5-2)-⑥	発達期の摂食嚥下障害のリハビリテーションを説明できる。

小児歯科学II

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・実	時間数	62	単位数	3
科目責任者	渡辺 幸嗣						
担当教員	渡辺 幸嗣, 西田 郁子, 佐伯 桂, 藤田 優子 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

テキスト

タイトル	著者	出版社
新小児歯科学改訂版	下岡正八 他	クインテッセンス出版
子供の歯に強くなる本	木村光孝 他	クインテッセンス出版
小児歯科学第6版	白川哲夫 他	医歯薬出版株式会社
小児歯科学第3版	新谷誠康 他	永末書店

参考書

タイトル	著者	出版社
小児歯科学基礎・臨床実習	白川哲夫 他	医歯薬出版株式会社
混合歯列期の矯正歯科治療	後藤滋巳 他	医歯薬出版株式会社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

- 【オフィスアワー】相談は随時受け付け可能だが、原則、時間予約を電話、メールにて行うこと。
【公欠相当の事由による遠隔対応】講義内容によって異なる（事由発生時に担当教員へ相談すること）。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	小児患者の取り扱い 小児の示す態度や行動を理解し、一般的対応法や行動変容法についての対応を学修する。	講義 資料	西田 郁子	【事前学習課題】行動変容法 【事後学習課題】講義後の小テストまたはレポート	501講義室 Moodle
2	小児歯科における診査と診断、治療計画 小児歯科における診査と診断、治療計画について学修する。	講義 資料	西田 郁子	【事前学習課題】診査、診断、治療計画 【事後学習課題】講義後の小テストまたはレポート	501講義室 Moodle
3	患児・保護者教育、定期検診 小児歯科診療における患児・保護者教育、定期検診について学修する。	講義 資料	西田 郁子	【事前学習課題】定期検診 【事後学習課題】講義後の小テストまたはレポート	501講義室 Moodle

小児歯科学II

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・実	時間数	62	単位数	3
科目責任者	渡辺 幸嗣						
担当教員	渡辺 幸嗣, 西田 郁子, 佐伯 桂, 藤田 優子 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
4	乳歯の歯内療法 乳歯歯内療法の適応症と術式について学修する。	講義 資料	佐伯 桂	【事前学習課題】乳歯の歯内療法 【事後学習課題】講義後の小テストまたはレポート	501講義室 Moodle
5	幼若永久歯の歯内療法 幼若永久歯の歯髄処置と歯内療法後の歯根形成と根尖閉鎖の術式について学修する。	講義 資料	渡辺 幸嗣	【事前学習課題】アペキソゲネーシス、アペキシフィケーション 【事後学習課題】講義後の小テストまたはレポート	501講義室 Moodle
6	乳歯および幼若永久歯への歯冠修復 乳歯および幼若永久歯への歯冠修復の目的、注意点、種類、問題点、特徴について学修する。	講義 資料	西田 郁子	【事前学習課題】乳歯の歯冠修復 【事後学習課題】講義後の小テストまたはレポート	501講義室 Moodle
7	小児の口腔外科的処置（1） 小児期の口腔外科処置の概論と症例呈示を踏まえて概論を学修する。	講義 資料	渡辺 幸嗣	【事前学習課題】口腔外科処置 【事後学習課題】講義後の小テストまたはレポート	501講義室 Moodle
8	小児の口腔外科的処置（2） 小児の局所麻酔法、乳歯抜歯、顎および口腔軟組織疾患をの異常と疾患処置、小児の薬物療法を学修する。	講義 資料	藤田 優子	【事前学習課題】口腔外科処置 【事後学習課題】講義後の小テストまたはレポート	501講義室 Moodle
9	乳歯の外傷 乳歯の外傷の診察、検査と診断および処置法と予後について学習する。	講義 資料	渡辺 幸嗣	【事前学習課題】乳歯の外傷 【事後学習課題】講義後の小テストまたはレポート	501講義室 Moodle
10	幼若永久歯の外傷 幼若永久歯の外傷の診察、検査と診断および処置法と予後について学修する。	講義 資料	渡辺 幸嗣	【事前学習課題】幼若永久歯の外傷 【事後学習課題】講義後の小テストまたはレポート	501講義室 Moodle

小児歯科学II

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・実	時間数	62	単位数	3
科目責任者	渡辺 幸嗣						
担当教員	渡辺 幸嗣, 西田 郁子, 佐伯 桂, 藤田 優子 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
11	咬合誘導（1） 保隙処置の目的と種類、適応症および留意点を学修する。	講義 資料	藤田 優子	【事前学習課題】保隙 【事後学習課題】講義後の小テストまたはレポート	501講義室 Moodle
12	咬合誘導（2） 能動的咬合誘導（スペースリゲーター、歯列弓拡大装置、口腔習癖防止装置）について学修する。	講義 資料	渡辺 幸嗣	【事前学習課題】動的咬合誘導、口腔習癖 【事後学習課題】講義後の小テストまたはレポート	501講義室 Moodle
13	摂食・咀嚼・嚥下の発達 心身症、摂食障害、児童虐待について学修する。	講義 資料	渡辺 幸嗣	【事前学習課題】摂食機能の発達、児童虐待 【事後学習課題】講義後の小テストまたはレポート	501講義室 Moodle
14	青少年期の歯科 思春期の身体的、精神的および心理的特徴と歯科治療上の留意点を学修する。	講義 資料	佐伯 桂	【事前学習課題】青少年期の歯科治療 【事後学習課題】講義後の小テストまたはレポート	501講義室 Moodle
15	心身障害者（児）の歯科診療 歯科診療時における心身障害児の適応行動を得るために、心身障害児の定義や種類、またその特徴を理解し、適切な対応を学修する。	講義 資料	渡辺 幸嗣	【事前学習課題】心身障害児の歯科治療 【事後学習課題】講義後の小テストまたはレポート	501講義室 Moodle

小児歯科学II(実習)

開講学科	歯学科			開講年次	4年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	32	単位数	1
科目責任者	渡辺 幸嗣						
担当教員	渡辺 幸嗣, 西田 郁子, 藤田 優子, 佐伯 桂 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業の概要

乳歯の歯内療法を修得する。乳歯の歯冠修復である既製乳歯冠の支台歯形成と乳歯冠の作製、装着を行う。保隙装置であるクラウンループの作製を行う。咬合誘導装置について保護者への説明ができる。小児期の予防処置である予防填塞、フッ化物塗布、保護者へのブラッシング指導を行う。

学生の到達目標

- ① ラバーダム防湿を行うことができる。
- ② 基本的なう蝕の予防処置（予防填塞、フッ化物塗布）を行うことができる。
- ③ 乳歯の生活歯髄切断を行うことができる。
- ④ 乳歯の既製金属冠修復を行うことができる。
- ⑤ 基本的な保隙装置（クラウンループ）を作製することができる。
- ⑥ 保護者へのブラッシング指導を行うことができる。
- ⑦ 保護者に咬合誘導装置の説明を行うことができる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
E-4-2)-①	乳歯と幼若永久歯の齲蝕の特徴と予防法を説明できる。
E-4-2)-③	乳歯と幼若永久歯の歯冠修復の目的、種類、適応症、手順及び留意点を説明できる。
E-4-2)-⑤	乳歯と根未完成永久歯の歯髄・根尖性歯周疾患の処置法の種類、適応症、手順、留意点及び予後を説明できる。
E-4-2)-⑨	保隙処置の目的、種類、適応症及び留意点並びに保隙装置の設計について説明できる。
F-3-1)-③	ラバーダム防湿ができる。
F-3-6)-①	フッ化物の歯面塗布を実施できる。
F-3-6)-②	幼若永久歯の予防填塞を実施できる。
F-3-6)-③	小児のプラークコントロールを行うために、保護者への適切な口腔衛生指導を実施できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
小児歯科学	白川哲夫 他	医歯薬出版 株式会社
小児歯科学基礎・臨床実習	前田 隆秀 他	医歯薬出版 株式会社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
実習作成物	100%

小児歯科学II(実習)

開講学科	歯学科			開講年次	4年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	32	単位数	1
科目責任者	渡辺 幸嗣						
担当教員	渡辺 幸嗣, 西田 郁子, 藤田 優子, 佐伯 桂 ※氏名の後ろに (診療科名) の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

その他

相談は随時受け付け可能だが、原則、時間予約を電話、メールにて行うこと。 代表 渡辺 (内線電話)
【公欠相当の事由による遠隔対応】 事由発生時に担当教員へ相談すること。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1, 2	ラバーダム防湿 小窩裂溝填塞法 (シーラント) 小児歯科領域の予防処置の小窩裂溝填塞法 (シーラント) について術式を学習する。 またシーラントにおける防湿の重要性、術式もあわせて学習する。	模型実習	渡辺 幸嗣 西田 郁子 藤田 優子 佐伯 桂	【事前学習課題】 ラバーダム防湿の長所および術式、小窩裂溝填塞法 (シーラント) の術式 【事後学習課題】 実習後の小テストまたはレポート	シミュレーション実習室 Moodle
3, 4	乳歯の生活歯髄切断法 小児期の歯内療法である生活歯髄切断に関して、適応症、術式を学習する。	模型実習	渡辺 幸嗣 西田 郁子 藤田 優子 佐伯 桂	【事前学習課題】 生活歯髄切断法の適応症と術式 【事後学習課題】 実習後の小テストまたはレポート	シミュレーション実習室 Moodle
5, 6	支台歯形成・乳歯冠装着 小児歯科領域で頻用されている乳歯冠について支台歯形成・乳歯冠作成、装着について学習する。	模型実習	渡辺 幸嗣 西田 郁子 藤田 優子 佐伯 桂	【事前学習課題】 乳歯冠の適応症、術式、利点、欠点 【事後学習課題】 実習後の小テストまたはレポート	シミュレーション実習室 Moodle
7, 8	クラウンループ作製 保隙装置であるクラウンループについて適応症、作成手順等を学習する。	模型実習	渡辺 幸嗣 西田 郁子 藤田 優子 佐伯 桂	【事前学習課題】 保隙装置の適応症 【事後学習課題】 実習後の小テストまたはレポート	シミュレーション実習室 技工室 Moodle
9, 10	クラウンループ作製 保隙装置であるクラウンループについて適応症、作成手順等を学習する	模型実習	渡辺 幸嗣 西田 郁子 藤田 優子 佐伯 桂	【事前学習課題】 保隙装置の作製手順 【事後学習課題】 実習後の小テストまたはレポート	技工室 Moodle

小児歯科学II(実習)

開講学科	歯学科			開講年次	4年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	32	単位数	1
科目責任者	渡辺 幸嗣						
担当教員	渡辺 幸嗣, 西田 郁子, 藤田 優子, 佐伯 桂 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
11, 12	咬合誘導装置の説明 咬合誘導装置について保護者への説明を十分できるように相互実習で学習する。	相互実習	渡辺 幸嗣 西田 郁子 藤田 優子 佐伯 桂	【事前学習課題】咬合誘導装置の適応症 【事後学習課題】実習後の小テストまたはレポート	相互実習室 Moodle
13, 14	保護者へのブラッシング指導 ブラッシング方法について保護者への説明を十分できるように相互実習で学習する。	相互実習	渡辺 幸嗣 西田 郁子 藤田 優子 佐伯 桂	【事前学習課題】刷牙法の手順 【事後学習課題】実習後の小テストまたはレポート	相互実習室 Moodle
15, 16	フッ化物塗布 器具返却・製作物提出	模型実習	渡辺 幸嗣 西田 郁子 藤田 優子 佐伯 桂	【事前学習課題】フッ化物の作用機序、局所応用法の術式 【事後学習課題】実習後の小テストまたはレポート	シミュレーション実習室 Moodle

歯科矯正学I

開講学科	歯学科			開講年次	4年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	川元 龍夫						
担当教員	川元 龍夫, 郡司掛 香織, 黒石 加代子, 水原 正博, 白川 智彦, (非)左合 美紗 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業の概要

歯科矯正治療は歯の位置異常や顎顔面骨の異常，あるいは顎口腔機能の異常を改善して、歯列咬合の健全な育成を促すのみならず，患者の健康およびquality of life(QOL)の向上に資することを目的とする。歯科矯正学Iは、講義を中心とした歯科矯正学に関する総論とし、矯正歯科治療の意義と目的を理解するとともに、成長発育や正常咬合、不正咬合の原因やその予防、歯科矯正治療に伴う生体反応に関しての理解を深める。

学生の到達目標

- ① 歯科矯正学の定義を理解できる。
- ② 歯科矯正治療の目的と意義を説明できる。
- ③ 成長発育の評価、骨の成長様式を理解し説明できる。
- ④ 顎顔面頭蓋部および歯列咬合の成長発育を理解し説明できる。
- ⑤ 正常咬合の概念と客観的な評価法を理解できる。
- ⑥ 不正咬合の客観的な表現法と分類を理解できる。
- ⑦ 不正咬合の原因となる事項を列挙し、それぞれの内容を理解できる。
- ⑧ 矯正力に対する歯、歯周組織の反応を理解できる。
- ⑨ 矯正力に対する顎骨の反応を理解できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
C-3-2)-③	人体の形態的な成長と機能的な発達を説明できる。
C-3-4)-(2)-④	骨発生（軟骨内骨化と膜内骨化）、骨成長及びリモデリングの機序と調整機構を説明できる
D-2-④	歯科矯正用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。
E-1-2)-⑧	顎顔面頭蓋部エックス線撮影の種類及び適応を説明できる。
E-2-2)-④	歯列と咬合を説明できる。
E-2-3)-①	口腔・顎顔面領域の発生を説明できる。
E-2-3)-②	口腔・顎顔面領域の成長・発育を説明できる。
E-2-3)-③	口腔・顎顔面の成長・発育異常及び不正咬合へ及ぼす影響を説明できる。
E-4-1)-①	矯正治療の目的と意義を説明できる。
E-4-1)-②	正常咬合の概念と成立・保持条件を説明できる。
E-4-1)-③	不正咬合の原因、種類、障害、診察、検査、診断、治療及び予防法を説明できる。
E-4-1)-⑥	矯正治療によって起こる生体反応を細胞あるいは分子生物学的に説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
歯科矯正学 第6版	飯田順一郎 他 編集	医歯薬出版

参考書

タイトル	著者	出版社
Contemporary Orthodontics Sixth Edition	William R.Proffit 他	Elsevier
顔面成長発育の基礎	[監訳] 黒田敬之	クインテッセンス出版

歯科矯正学I

開講学科	歯学科			開講年次	4年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	川元 龍夫						
担当教員	川元 龍夫, 郡司掛 香織, 黒石 加代子, 水原 正博, 白川 智彦, (非)左合 美紗 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

タイトル	著者	出版社
Handbook of Facial Growth	Donald H. Enlow	W. B. Saunders Company

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

【オフィスアワー】相談は随時受け付け可能だが、原則、時間予約を電話、メールにて行うこと。

【公欠相当の事由による遠隔対応】Moodleは可。遠隔配信については事由発生時に担当教員へ相談すること。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	歯科矯正学の歩みと定義 歯科矯正治療の意義と目的	講義	川元 龍夫	【事前学習課題】予防矯正、抑制矯正、本格矯正、生理的障害、心理的障害 【事後学習課題】授業内容に関する小テストを実施	501講義室 Moodle
2	成長発育概論	講義	黒石 加代子	【事前学習課題】Scammonの臓器発育曲線、体格（発育）指数、生理的年齢 【事後学習課題】授業内容に関する小テストを実施	501講義室 Moodle
3	頭蓋ならびに顎顔面の発生および成長発育	講義	(非)左合 美紗	【事前学習課題】軟骨性成長、骨膜性成長、縫合性成長、口蓋裂 【事後学習課題】授業内容に関する小テストを実施	501講義室 Moodle

歯科矯正学I

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	川元 龍夫						
担当教員	川元 龍夫, 郡司掛 香織, 黒石 加代子, 水原 正博, 白川 智彦, (非)左合 美紗 ※氏名の後ろに (診療科名) の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
4	歯列と咬合の成長発育	講義	水原 正博	【事前学習課題】ターミナルプレーン、リーウェイスぺース 【事後学習課題】授業内容に関する小テストを実施	501講義室 Moodle
5	咬合概論	講義	郡司掛 香織	【事前学習課題】顎運動、正常咬合 【事後学習課題】授業内容に関する小テストを実施	501講義室 Moodle
6	不正咬合の分類	講義	白川 智彦	【事前学習課題】Angleの不正咬合の分類、高橋の不正咬合の分類、骨格分類 【事後学習課題】授業内容に関する小テストを実施	501講義室 Moodle
7	不正咬合の原因	講義	黒石 加代子	【事前学習課題】遺伝的要因、環境的要因、先天的原因、後天的原因 【事後学習課題】授業内容に関する小テストを実施	501講義室 Moodle
8	不正咬合の予防、歯科矯正治療に伴う生体反応	講義	水原 正博	【事前学習課題】口腔習癖、圧迫側、牽引側、骨改造 【事後学習課題】授業内容に関する小テストを実施	501講義室 Moodle

歯科矯正学II

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・実	時間数	90	単位数	4
科目責任者	川元 龍夫						
担当教員	川元 龍夫, 郡司掛 香織, 黒石 加代子, 水原 正博, 白川 智彦, (非)森山 啓司, (非)志賀 百年 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業の概要

歯科矯正学IIにおいては、講義と実習を統合して行う。講義では、矯正歯科治療における形態的、機能的検査の具体的な方法、分析法や治療計画の立案を通じて、診断の特徴と目的の理解を深める。また各歯列期でどのような不正咬合を治療するかを理解し、適切な治療を行うための基本知識を習得する。さらに口唇口蓋裂を含む先天異常症例や顎変形症の外科的矯正治療などの包括治療に対する理解を深める。

学生の到達目標

- ① 矯正臨床における診断の特徴と目的を理解する。
- ② 医療面接と診療に対する具体的な方法を理解する。
- ③ 矯正臨床における検査の意義を理解する。
- ④ 形態的、機能的検査の具体的な方法と分析法を理解する。
- ⑤ 矯正歯科治療における抜歯の意義と目的を理解する。
- ⑥ 治療計画設定に必要な事項を理解する。
- ⑦ 各歯列期でどのような不正咬合を治療するかを理解する。
- ⑧ 矯正力の種類と大きさの分類について理解する。
- ⑨ 固定の定義と意義について理解する。
- ⑩ 矯正臨床の材料として具備すべき基本的な条件を理解する。
- ⑪ 矯正装置の基本的条件および分類を理解する。
- ⑫ 混合歯列期の矯正歯科治療の実際を理解する。
- ⑬ 永久歯列期の矯正歯科治療の実際を理解する。
- ⑭ 口唇口蓋裂を含めた先天異常疾患の矯正歯科治療を理解する。
- ⑮ 顎変形症の外科的矯正治療を理解する。
- ⑯ 保定の概念と種類を理解する。
- ⑰ 歯科矯正治療に伴う偶発症の原因を理解する。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
E-2-4)-(1)-①	口腔・頭蓋・顎顔面に症状を示す先天異常を説明できる。
E-2-4)-(1)-②	口唇裂・口蓋裂の病態と治療方針を説明できる。
E-2-4)-(1)-③	顎変形症の病態と治療法を説明できる。
E-2-4)-(10)-⑤	口腔・顎顔面領域に症状を現す症候群の種類と症状を列挙できる。
E-2-4)-(11)-①	咬合異常による障害と咀嚼障害の原因、診察、検査、診断及び治療方針を説明できる。
E-3-1)-①	歯の発生、発育及び交換の過程と変化を説明できる。
E-4-1)-①	矯正治療の目的と意義を説明できる。
E-4-1)-②	正常咬合の概念と成立・保持条件を説明できる。
E-4-1)-③	不正咬合の原因、種類、障害、診察、検査、診断、治療及び予防法を説明できる。
E-4-1)-④	矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。
E-4-1)-⑤	矯正装置の種類と特徴及び使用目的を説明できる。
E-4-1)-⑥	矯正治療によって起こる生体反応を細胞あるいは分子生物学的に説明できる。
E-4-1)-⑦	矯正治療によって生じうる医原性障害を挙げ、その予防法と処置を説明できる。

歯科矯正学II

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・実	時間数	90	単位数	4
科目責任者	川元 龍夫						
担当教員	川元 龍夫, 郡司掛 香織, 黒石 加代子, 水原 正博, 白川 智彦, (非)森山 啓司, (非)志賀 百年 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

テキスト

タイトル	著者	出版社
歯科矯正学 第6版	飯田順一郎 他 編集	医歯薬出版

参考書

タイトル	著者	出版社
Contemporary Orthodontics Sixth Edition	William R. Proffit 他	Elsevier
アトラス顎顔面矯正-顎変形症と口唇口蓋裂の矯正治療-	黒田敬之 監修	医歯薬出版
Atlas of Orthodontic Treatment for Patients with Birth Defects	T. Kuroda 他	Needham Press

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

- 【オフィスアワー】相談は随時受け付け可能だが、原則、時間予約を電話、メールにて行うこと。
【公欠相当の事由による遠隔対応】Moodleは可。遠隔配信については事由発生時に担当教員へ相談すること。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	診断の基本医療面接と診察	講義	川元 龍夫	【事前学習課題】主訴、現病歴、既往歴、口腔外の診察、口腔内の診察 【事後学習課題】授業内容に関する小テストを実施	501 講義室 Moodle
2	診断学（検査）	講義	水原 正博	【事前学習課題】骨年齢、頭部エックス線規格写真分析、模型計測法、アーチレングスディスクレパンシー、予測模型 【事後学習課題】授業内容に関する小テストを実施	501 講義室 Moodle

歯科矯正学II

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・実	時間数	90	単位数	4
科目責任者	川元 龍夫						
担当教員	川元 龍夫, 郡司掛 香織, 黒石 加代子, 水原 正博, 白川 智彦, (非)森山 啓司, (非)志賀 百年 ※氏名の後ろに (診療科名) の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
3	治療方針の立案	講義	水原 正博	【事前学習課題】骨格性要因、機能性要因、歯性要因 【事後学習課題】授業内容に関する小テストを実施	501講義室 Moodle
4	歯科矯正治療における抜歯、歯の移植	講義	川元 龍夫	【事前学習課題】抜歯の適応症、Tweedの抜歯基準、連続抜去法、ハイアングルケース、ローアングルケース 【事後学習課題】授業内容に関する小テストを実施	501講義室 Moodle
5	矯正力矯正歯科治療における固定、矯正用アンカースクリュー	講義	白川 智彦	【事前学習課題】器械的矯正力、機能的矯正力、歯の移動様式、抜歯空隙利用のための固定の分類 【事後学習課題】授業内容に関する小テストを実施	501講義室 Moodle
6	矯正用材料の特性、器具	講義	郡司掛 香織	【事前学習課題】応力-ひずみ曲線、線材料、接着剤、歯科矯正用器具 【事後学習課題】授業内容に関する小テストを実施	501講義室 Moodle
7	矯正装置 (1)	講義	郡司掛 香織	【事前学習課題】器械的矯正装置、可撤式矯正装置 【事後学習課題】授業内容に関する小テストを実施	501講義室 Moodle

歯科矯正学II

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・実	時間数	90	単位数	4
科目責任者	川元 龍夫						
担当教員	川元 龍夫, 郡司掛 香織, 黒石 加代子, 水原 正博, 白川 智彦, (非)森山 啓司, (非)志賀 百年 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
8	矯正装置（2）	講義	黒石 加代子	【事前学習課題】固定式矯正装置、機能的矯正装置 【事後学習課題】授業内容に関する小テストを実施	501講義室 Moodle
9	矯正装置（3）、保定、歯科矯正治療に伴う偶発症	講義	黒石 加代子	【事前学習課題】自然的保定、機械的保定、永久保定、可撤式保定装置、固定式保定装置 【事後学習課題】授業内容に関する小テストを実施	501講義室 Moodle
10	乳歯列期、混合歯列期の矯正治療	講義	白川 智彦	【事前学習課題】乳歯列期の治療対象、混合歯列期の不正咬合、口腔習癖 【事後学習課題】授業内容に関する小テストを実施	501講義室 Moodle
11	先天異常患者の矯正治療	講義	(非)森山 啓司	【事前学習課題】遺伝的要因、環境的要因、先天的原因、後天的原因 【事後学習課題】授業内容に関する小テストを実施	501講義室 Moodle
12	永久歯列期の矯正治療（1）	講義	郡司掛 香織	【事前学習課題】上顎前突、下顎前突、叢生、上下顎前突 【事後学習課題】授業内容に関する小テストを実施	501講義室 Moodle
13	永久歯列期の矯正治療（2）	講義	黒石 加代子	【事前学習課題】過蓋咬合、開咬、交叉咬合、埋伏 【事後学習課題】授業内容に関する小テストを実施	501講義室 Moodle

歯科矯正学II

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・実	時間数	90	単位数	4
科目責任者	川元 龍夫						
担当教員	川元 龍夫, 郡司掛 香織, 黒石 加代子, 水原 正博, 白川 智彦, (非)森山 啓司, (非)志賀 百年 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
14	口唇口蓋裂患者の矯正治療	講義	(非)志賀 百年	【事前学習課題】顎顔面の発生、口唇口蓋裂の発生頻度、鼻咽腔閉鎖機能不全、構音障害 【事後学習課題】授業内容に関する小テストを実施	501講義室 Moodle
15	顎変形症の外科的矯正治療	講義	川元 龍夫	【事前学習課題】外科的矯正治療の目的、適応症、手順 【事後学習課題】授業内容に関する小テストを実施	501講義室 Moodle

歯科矯正学II(実習)

開講学科	歯学科			開講年次	4年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	60	単位数	2
科目責任者	川元 龍夫						
担当教員	川元 龍夫, 郡司掛 香織, 黒石 加代子, 水原 正博, 白川 智彦 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業の概要

本実習では、矯正歯科治療の中で、患者からのインフォームドコンセントを獲得するための知識と技能を習得する。不正咬合の診断方法、治療の方針方法の立案の流れについては総合診断学実習を通じて、矯正治療に利用される基本的装置の作用機序、使用方法などは模型実習で理解を深める。また、矯正力と歯の移動との関係（生体力学）はタイポドント実習で理解を高める。このような基本的知識と技能を応用して、矯正治療の目的、意義、不正咬合の障害、原因、不正の成り立ち、治療方針、方法などを説明し、患者からインフォームドコンセントを獲得する技能を習得する。

学生の到達目標

- ①矯正治療の目的と意義を理解し説明できる。
- ②不正咬合の特徴と成り立ちを理解する。
- ③不正咬合の障害と原因を理解する。
- ④顎顔面の形態的特徴と顎口腔機能との関係を理解する。
- ⑤正常咬合と不正咬合の概念を理解する。
- ⑥不正咬合の分類と原因を理解する。
- ⑦不正咬合の予防を認識する。
- ⑧診断資料の意味と意義を理解する。
- ⑨診断資料を分析診断し、不正咬合の成り立ちを説明できる。
- ⑩歯の移動のメカニズム、生体力学を理解し、矯正装置の作用機序と使用法を説明できる。
- ⑪患者とのコミュニケーションによって不正咬合の障害、治療の目的、方法（装置の使用法）等を説明できる。
- ⑫不正咬合の治療の実際を理解する。
- ⑬治療後の安定の要因と保定を理解する。
- ⑭他科との連携による包括診療の意義を理解する。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
E-2-4)-(11)-①	咬合異常による障害と咀嚼障害の原因、診察、検査、診断及び治療方針を説明できる。
E-4-1)-④	矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。
F-2-1)-⑦	患者に診断結果と治療方針・治療計画（保隙装置、矯正装置の使用に関することを含む）を説明できる。
F-3-6)-④	模型及び頭部エックス線規格写真等より、分析、診断、治療計画を立案できる。
G-1-1)-①	歯科・口腔疾患を正しく診断し、治療方針・治療計画の立案、予後の推測ができる。
G-1-1)-②	診断並びに治療方針・治療計画を患者にわかりやすく説明できる。
G-3-⑫	模型及び頭部エックス線規格写真を分析、診断し、歯科矯正治療の計画を立案できる。

歯科矯正学II(実習)

開講学科	歯学科			開講年次	4年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	60	単位数	2
科目責任者	川元 龍夫						
担当教員	川元 龍夫, 郡司掛 香織, 黒石 加代子, 水原 正博, 白川 智彦 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

テキスト

タイトル	著者	出版社
基礎実習と総合診断実習について別個にテキストと手引書を作成配布する。		
歯科矯正学 第6版	飯田順一郎 他 編集	医歯薬出版

参考書

タイトル	著者	出版社
Contemporary Orthodontics Sixth Edition	William R. Proffit 他	Elsevier

成績評価方法・基準

評価項目	割合
作品（装置）の作成技能	50%
確認テストおよびレポート	50%

その他

- 【オフィスアワー】相談は随時受け付け可能だが、原則、時間予約を電話、メールにて行うこと。
【公欠相当の事由による遠隔対応】遠隔対応不可。事由発生時に担当教員へ相談すること。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	実習オリエンテーション、器具チェック 歯科矯正実習について、全般的な注意および器具を踏まえて、概要を学ぶ。	講義	川元 龍夫	【事前学習課題】ヤングのプライヤー、バンドプッシャー、オーソフレーム、構成咬合器 【事後学習課題】実習内容に関するレポートを提出	技工室
2-4	線屈曲と床装置 器械的保定に用いられる保定装置について学ぶ。保定について、その目的を踏まえながら、装置を製作し、その使用方法、使用時の注意点、適応症、装置の医療面接等を学ぶ。	模型実習	郡司掛 香織	【事前学習課題】ホーレータイプリテーナー、ベッグタイプリテーナー、レジン床 【事後学習課題】実習内容に関するレポートを提出	技工室

歯科矯正学II(実習)

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	60	単位数	2
科目責任者	川元 龍夫						
担当教員	川元 龍夫, 郡司掛 香織, 黒石 加代子, 水原 正博, 白川 智彦 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
5-6	舌側弧線装置 舌側弧線装置について、装置製作を踏まえながら、装置の構造、適応症、適用時期および装着時の指導、装置の医療面接等を学ぶ。	模型実習	白川 智彦	【事前学習課題】固定歯、移動歯、主線、補助弾線 【事後学習課題】実習内容に関するレポートを提出	技工室 石膏室
7-8	舌側弧線装置 舌側弧線装置について、装置製作を踏まえながら、装置の構造、適応症、適用時期および装着時の指導、装置の医療面接等を学ぶ。	模型実習	白川 智彦	【事前学習課題】固定歯、移動歯、主線、補助弾線 【事後学習課題】実習内容に関するレポートを提出	技工室 石膏室
9-10	タイポドント 歯の移動様式および固定源について、タイポドントのワイヤー屈曲を踏まえながら、メカニズムを学ぶ。	グループ実習	郡司掛 香織	【事前学習課題】歯体移動、傾斜移動、抵抗中心、固定 【事後学習課題】実習内容に関するレポートを提出	7 2 実習室
11-12	タイポドント 歯の移動様式および固定源について、タイポドントのワイヤー屈曲を踏まえながら、メカニズムを学ぶ。	グループ実習	郡司掛 香織	【事前学習課題】歯体移動、傾斜移動、抵抗中心、固定 【事後学習課題】実習内容に関するレポートを提出	7 2 実習室
13-14	アクチバトール (F. K. O) 矯正治療について、アクチバトールの製作を踏まえ、装置の構造、適応症、適用時期および装着時の指導、医療面接等を学ぶ。	模型実習	水原 正博	【事前学習課題】機能的矯正力、機能的反対咬合、構成咬合、誘導面 【事後学習課題】実習内容に関するレポートを提出	技工室 石膏室
15-16	アクチバトール (F. K. O) 矯正治療について、アクチバトールの製作を踏まえ、装置の構造、適応症、適用時期および装着時の指導、医療面接等を学ぶ。	模型実習	水原 正博	【事前学習課題】機能的矯正力、機能的反対咬合、構成咬合、誘導面 【事後学習課題】実習内容に関するレポートを提出	技工室 石膏室

歯科矯正学II(実習)

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	60	単位数	2
科目責任者	川元 龍夫						
担当教員	川元 龍夫, 郡司掛 香織, 黒石 加代子, 水原 正博, 白川 智彦 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
17-18	アクチバトール (F. K. O) 矯正治療について、アクチバトールの製作を踏まえ、装置の構造、適応症、適用時期および装着時の指導、医療面接等を学ぶ。	模型実習	水原 正博	【事前学習課題】機能的矯正力、機能的反対咬合、構成咬合、誘導面 【事後学習課題】実習内容に関するレポートを提出	技工室 石膏室
19-20	総合診断学実習診断資料について、分析、診断、不正咬合の成り立ち、治療方針および治療方法を踏まえながら、診断資料の意味と意義を学ぶ。	グループ実習	郡司掛 香織 黒石 加代子 水原 正博 白川 智彦	【事前学習課題】側面頭部エックス線規格写真分析、アーチレングスディスクレパンシー、トゥースサイズレイシオ、Tweedの抜歯基準 【事後学習課題】実習内容に関するレポートを提出	技工室 テュートリアル演習室群
21-22	総合診断学実習診断資料について、分析、診断、不正咬合の成り立ち、治療方針および治療方法を踏まえながら、診断資料の意味と意義を学ぶ。	グループ実習	郡司掛 香織 黒石 加代子 水原 正博 白川 智彦	【事前学習課題】側面頭部エックス線規格写真分析、アーチレングスディスクレパンシー、トゥースサイズレイシオ、Tweedの抜歯基準 【事後学習課題】実習内容に関するレポートを提出	テュートリアル演習室群 技工室
23-24	総合診断学実習診断資料について、分析、診断、不正咬合の成り立ち、治療方針および治療方法を踏まえながら、診断資料の意味と意義を学ぶ。	グループ実習	郡司掛 香織 黒石 加代子 水原 正博 白川 智彦	【事前学習課題】側面頭部エックス線規格写真分析、アーチレングスディスクレパンシー、トゥースサイズレイシオ、Tweedの抜歯基準 【事後学習課題】実習内容に関するレポートを提出	テュートリアル演習室群 技工室

歯科矯正学II(実習)

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	60	単位数	2
科目責任者	川元 龍夫						
担当教員	川元 龍夫, 郡司掛 香織, 黒石 加代子, 水原 正博, 白川 智彦 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
25- 26	総合診断学実習診断資料について、分析、診断、不正咬合の成り立ち、治療方針および治療方法を踏まえながら、診断資料の意味と意義を学ぶ。	グループ実習	郡司掛 香織 黒石 加代子 水原 正博 白川 智彦	【事前学習課題】側面頭部エックス線規格写真分析、アーチレングスディスクレパンシー、トゥースサイズレシオ、Tweedの抜歯基準 【事後学習課題】実習内容に関するレポートを提出	テュートリアル演習室群 技工室
27- 28	総合診断学実習診断資料について、分析、診断、不正咬合の成り立ち、治療方針および治療方法を踏まえながら、診断資料の意味と意義を学ぶ。	グループ実習	郡司掛 香織 黒石 加代子 水原 正博 白川 智彦	【事前学習課題】側面頭部エックス線規格写真分析、アーチレングスディスクレパンシー、トゥースサイズレシオ、Tweedの抜歯基準 【事後学習課題】実習内容に関するレポートを提出	テュートリアル演習室群 技工室
29- 30	器具検査、実習試験 28回までの歯科矯正実習の製作物について、試験により、理解度をみる。	ペーパーテスト	黒石 加代子	【事前学習課題】歯科矯正実習の制作物の必要性、適応性、適用時期、装着時の指導内容 【事後学習課題】実習内容に関するレポートを提出	501講義室 技工室

全部欠損補綴治療学

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・実	時間数	90	単位数	4
科目責任者	榎原 絵理						
担当教員	榎原 絵理, 八木 まゆみ, 渡辺 崇文, 大楠 弘通, 池田 弘, 永松 有紀, (非) 鱒見 進一 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業の概要

本講義では、患者の健康の維持・増進をはかるために必要な理論と技術を考究することを目的としている。そこで、健康あるいはQoLと密接な関係にある老化に関する基礎的知識を整理するとともに、無歯顎という病態についての理解を深め、無歯顎患者における咀嚼機能の回復、発音機能の回復、審美性の回復、残存組織の保護という4大目標に対して全部床義歯を製作する上で必要な理論的背景と手技を詳細に教授する。

学生の到達目標

- ①歯の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。
- ②全部床義歯の種類、目的および意義を説明できる。
- ③全部床義歯の特徴と適応症を説明できる。
- ④全部床義歯の支持機構、把持機構および維持機構を説明できる。
- ⑤全部床義歯の咬合様式とその意義を説明できる。
- ⑥全部床義歯の構成要素を説明できる。
- ⑦印象採得の種類と方法を説明できる。
- ⑧咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。
- ⑨下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。
- ⑩全部床義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。
- ⑪全部床義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。
- ⑫全部床義歯の設計原理を理解し、口腔内診察、検査、診断模型およびエックス線写真等により適切に設計を行うことができる。
- ⑬全部床義歯の調整、術後管理、リラインおよび修理を説明でき、適切に行うことができる。
- ⑭全部床義歯装着後における定期検診の重要性を説明し、指導できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
D-2-2-1	診察、検査に必要な事項、器材を理解している。
D-3-1-11-1	咬合異常による障害と咀嚼障害の原因、診察、検査、診断及び治療方針を理解している。
D-5-3-2-1	無歯顎及び歯列欠損に伴う障害の種類と病態を理解している。
D-5-3-2-10	ろう義歯試適、装着及び調整を理解している。
D-5-3-2-11	可撤性義歯装着後のメンテナンスの意義と方法、調整を理解している。
D-5-3-2-12	可撤性義歯のリラインと修理を理解している。
D-5-3-2-2	可撤性義歯の種類、目的、意義及び適応症を理解している。
D-5-3-2-3	可撤性義歯の要素構成と設計原則(支持、維持、把持、咬合平衡を含む)を理解している。
D-5-3-2-4	可撤性義歯製作のための印象採得を理解している。
D-5-3-2-5	可撤性義歯製作のための咬合採得を理解している。
D-5-3-2-6	平均値咬合器及び調節性咬合器の種類と特徴を理解している。
D-5-3-2-7	人工歯選択を理解している。
D-5-3-2-8	人工歯排列(咬合様式を含む)を理解している。
D-5-3-2-9	可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を理解している。
E-5-3-4-2-2	可撤性義歯による補綴治療の前処置ができる。(I a)
E-5-3-4-2-3	可撤性義歯の概形印象採得と研究用模型製作ができる。(I a)

全部欠損補綴治療学

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・実	時間数	90	単位数	4
科目責任者	榎原 絵理						
担当教員	榎原 絵理, 八木 まゆみ, 渡辺 崇文, 大楠 弘通, 池田 弘, 永松 有紀, (非) 鱒見 進一 ※氏名の後ろに (診療科名) の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

コアカリキュラム	内容
E-5-3-4-2-4	可撤性義歯の精密印象採得と作業用模型製作ができる。(I a)
E-5-3-4-2-5	可撤性義歯の咬合採得と人工歯選択ができる。(I a)
E-5-3-4-2-6	作業用模型の平均値咬合器への装着ができる。
E-5-3-4-2-7	可撤性義歯の装着と患者指導ができる。(I a)
E-5-3-4-2-8	可撤性義歯装着後の経過観察ができる。(I a)

テキスト

タイトル	著者	出版社
無歯顎補綴治療学 第4版	市川哲雄ほか	医歯薬出版

参考書

タイトル	著者	出版社
入門 無歯顎補綴治療	市川哲雄ほか	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期テスト	85%
講義後レポート	15%

その他

【オフィスアワー (学習相談)】 榎原 絵理 (月・火曜日12:00~13:00) : メール

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	第11章 各種咬合器 各種咬合器の紹介と、全部欠損補綴治療学実習で使用する咬合器、技工用器具について学ぶ。 ※各自、実習で使用するスペイシー咬合器 (半調節性咬合器) を準備し、持参すること。	講義 (1時間) レポート (30分)	大楠 弘通	【事前学習課題】咬合器 ※各自、実習で使用するスペイシー咬合器 (半調節性咬合器) を準備し、持参すること。	501 講義室
2	第11章 下顎運動の記録と咬合器装着 下顎運動の記録、咬合器について学ぶ。	講義 (1時間) レポート (30分)	榎原 絵理	【事前学習課題】下顎運動、咬合器	501 講義室

全部欠損補綴治療学

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・実	時間数	90	単位数	4
科目責任者	榎原 絵理						
担当教員	榎原 絵理, 八木 まゆみ, 渡辺 崇文, 大楠 弘通, 池田 弘, 永松 有紀, (非) 鱒見 進一 ※氏名の後ろに (診療科名) の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
3	第1, 3, 4, 5, 6章 総論 無歯顎補綴治療の健康に果たす役割、無歯顎の病因と病態、全部床義歯の構成要素と役割、全部床義歯装着者にみられる主要症状について学ぶ。	講義 (1時間) レポート (30分)	渡辺 崇文	【事前学習課題】全部床義歯と健康、構成要素、全部床義歯装着者の主要症状	501 講義室
4	第7章 診察, 検査, 診断 医療面接・インフォームドコンセント、診察・検査、診断と治療計画立案について学ぶ。第8章 前処置 補綴的前処置、外科的前処置、その他の前処置について学ぶ。	講義 (1時間) レポート (30分)	渡辺 崇文	【事前学習課題】医療面接、診察・検査・診断、治療計画立案、補綴的前処置、外科的前処置	501 講義室
5	第9章 印象採得 印象採得の目的、印象採得用材料、印象法の種類、概形印象採得、研究用模型の製作、精密印象採得、作業用模型について学ぶ。	講義 (1時間) レポート (30分)	榎原 絵理	【事前学習課題】印象採得の目的・材料・印象法、概形印象、研究用模型、精密印象、作業用模型	501 講義室
6	第10章 VIデンチャースペースの記録法 デンチャースペース、ニュートラルゾーンテクニック、フレンジテクニック、ピエゾグラフィについて学ぶ。	講義 (1時間) レポート (30分)	(非) 鱒見 進一	【事前学習課題】デンチャースペース、ニュートラルゾーンテクニック、フレンジテクニック、ピエゾグラフィ	501 講義室
7	第10章 顎間関係の記録 咬合床の製作、仮想咬合平面の決定、垂直的顎間関係の記録、水平的顎間関係の記録、標示線の記入 (デンチャースペースの記録法を除く) について学ぶ。	講義 (1時間) レポート (30分)	榎原 絵理	【事前学習課題】咬合床、仮想咬合平面、垂直的顎間関係、水平的顎間関係、標示線記入	501 講義室
8	第12章 人工歯の排列 人工歯の歴史、前歯部人工歯の選択と排列、臼歯部人工歯の選択と排列について学ぶ。	講義 (1時間) レポート (30分)	(非) 鱒見 進一	【事前学習課題】人工歯の歴史、前歯部人工歯の選択と排列、臼歯部人工歯の選択と排列	501 講義室

全部欠損補綴治療学

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・実	時間数	90	単位数	4
科目責任者	榎原 絵理						
担当教員	榎原 絵理, 八木 まゆみ, 渡辺 崇文, 大楠 弘通, 池田 弘, 永松 有紀, (非) 鱒見 進一 ※氏名の後ろに (診療科名) の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
9	第13章 歯肉形成とろう義歯試適 歯肉形成、ろう義歯試適について学ぶ。第14章 埋没、重合、研磨 埋没法、流ろう、レジン填入、重合、義歯の取り出し、研磨について学ぶ。第15章 重合義歯の咬合器再装着と咬合調整 重合完了した義歯の咬合器再装着、人工歯の削合について学ぶ。	講義 (1時間) レポート (30分)	八木 まゆみ	【事前学習課題】 歯肉形成、ろう義歯試適、埋没法、流ろう、レジン填入、重合、取り出し、研磨、咬合器再装着、人工歯の削合	501 講義室
10	第16章 義歯の装着 装着時の調整、患者指導、装着直後の調整、治療効果の評価について学ぶ。第17章 義歯装着後の経過観察 装着後の生体と義歯の変化、定期検査と評価、修理、リライン、リベース、咬合面再形成について学ぶ。	講義 (1時間) レポート (30分)	八木 まゆみ	【事前学習課題】 装着時の調整、患者指導、治療効果、装着後の生体と義歯の変化、定期検査、修理、リライン、リベース、咬合面再形成	501 講義室
11	義歯床用レジンの化学 義歯床用レジンの構造、理工学的性質について学ぶ。	講義 (1時間30分)	永松 有紀	【事前学習課題】 義歯床用レジンの構造、理工学的性質	501 講義室
12	加熱重合型床用レジンと常温重合型床用レジンの物性 重合法の違いによる床用レジンの物性について学ぶ。	講義 (1時間30分)	池田 弘	【事前学習課題】 加熱重合型床用レジンと常温重合型床用レジンの物性	501 講義室
13	複製義歯による治療 複製義歯の製法、治療法について学ぶ。第18章 金属床義歯による治療 金属床義歯の利点・欠点、構造、製作手順について学ぶ。第19章 即時全部床義歯による治療 即時全部床義歯の利点・欠点、製法、注意事項について学ぶ。第21章 各種機能障害に対する治療 各種機能障害に対する治療と装置について学ぶ。第22章 顎義歯による治療 顎補綴治療の臨床的意義と顎補綴患者の病態について学ぶ。	講義 (1時間) レポート (30分)	大楠 弘通	【事前学習課題】 複製義歯、金属床義歯、即時全部床義歯	501 講義室

全部欠損補綴治療学

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・実	時間数	90	単位数	4
科目責任者	榎原 絵理						
担当教員	榎原 絵理, 八木 まゆみ, 渡辺 崇文, 大楠 弘通, 池田 弘, 永松 有紀, (非) 鱒見 進一 ※氏名の後ろに (診療科名) の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
14	第20章 オーバーデンチャーによる治療 オーバーデンチャーの利点・欠点、適応症、処置法について学ぶ。磁性アタッチメントによる治療 磁性アタッチメントの特徴や適応症について学ぶ。	講義 (1時間) レポート (30分)	渡辺 崇文	【事前学習課題】 オーバーデンチャー、磁性アタッチメント	501 講義室
15	第21章 各種機能障害に対する治療 スピーチエイドと鼻咽腔障害・軟口蓋障害・舌障害への対応について学ぶ。第22章 顎義歯による治療 顎義歯を適用した顎補綴治療の臨床的意義と顎補綴患者の病態や補綴的対応について学ぶ。	講義 (1時間) レポート (30分)	大楠 弘通	【事前学習課題】 各種機能障害に対する治療、顎補綴治療	501 講義室

全部欠損補綴治療学(実習)

開講学科	歯学科			開講年次	4年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	60	単位数	2
科目責任者	榎原 絵理						
担当教員	榎原 絵理, 八木 まゆみ, 大楠 弘通, 渡辺 崇文, 池田 弘, 永松 有紀 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業の概要

本実習では、患者の健康の維持・増進をはかるために必要な理論と技術を考究することを目的としている。本実習では、全部床義歯講義で学んだ知識を実習を通して整理するとともに、歯科医師となるためのベーシックな技術として無歯顎模型の半調節咬合器への装着とフェイスボウトランスファー、チェックバイト法を理解した上で、人工歯排列の実習によりトレーニングを行う。

学生の到達目標

- ①全部床義歯の人工歯排列ができる。
- ②咬合採得ができる。
- ③半調節咬合器が使用できる。
- ④咬合調整ができる。
- ⑤歯肉形成ができる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
B-2-2	義歯用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法を理解している。
D-5-3-2-6	平均値咬合器及び調節性咬合器の種類と特徴を理解している。
D-5-3-2-7	人工歯選択を理解している。
D-5-3-2-8	人工歯排列(咬合様式を含む)を理解している。
D-5-3-2-9	可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を理解している。
E-2-2-6	口腔機能検査(下顎運動検査、顎関節、筋機能検査、咀嚼機能検査、唾液及び唾液腺検査、嚥下機能検査、発音及び構音検査、鼻咽腔閉鎖機能検査、感覚(味覚、体性感覚)の検査、舌圧検査)を実施できる。(II)

テキスト

タイトル	著者	出版社
全部欠損補綴治療学実習書 (オリジナルテキスト)		顎口腔欠損再構築学分野
コンプリートデンチャーテクニク 第6版		医歯薬出版株式会社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
実習試験(人工歯排列)評価スコア60点以上合格	100%

全部欠損補綴治療学(実習)

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	60	単位数	2
科目責任者	榎原 絵理						
担当教員	榎原 絵理, 八木 まゆみ, 大楠 弘通, 渡辺 崇文, 池田 弘, 永松 有紀 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

その他

実習室を使用する班分けに関しては、各自に配布する実習書に詳細を記載しております。

【オフィスアワー（学習相談）】随時 榎原絵理：メール送付

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1・2	無歯顎作業模型の咬合器付着（A・B班） 無歯顎作業模型を平均値付着板を用いて咬合器に装着する方法を学ぶ。 フェイスボウトランスファーによる咬合器付着，チェックバイト法，ゴシックアーチ描記法（C・D班） フェイスボウを用いた模型の咬合器装着法を学ぶ。 チェックバイト法について学ぶ。 ゴシックアーチ描記法について学ぶ。	少人数個別指導	榎原 絵理 八木 まゆみ 渡辺 崇文 大楠 弘通	【事前学習課題】作業模型の咬合器付着、下顎運動の記録	技工室 石膏室 鑄造室 501講義室
3・4	無歯顎作業模型の咬合器付着（C・D班） 無歯顎作業模型を平均値付着板を用いて咬合器に装着する方法を学ぶ。 フェイスボウトランスファーによる咬合器付着，チェックバイト法，ゴシックアーチ描記法（A・B班） フェイスボウを用いた模型の咬合器装着法を学ぶ。 チェックバイト法について学ぶ。 ゴシックアーチ描記法について学ぶ。	少人数個別指導	榎原 絵理 八木 まゆみ 渡辺 崇文 大楠 弘通	【事前学習課題】作業模型の咬合器付着、下顎運動の記録	技工室 石膏室 鑄造室 501講義室
5・6	人工歯排列 上下顎6前歯の排列法を学ぶ。 上 下顎臼歯の排列法を学ぶ。	少人数個別指導	榎原 絵理 八木 まゆみ 渡辺 崇文 大楠 弘通	【事前学習課題】前 歯部人工歯排列	技工室 石膏室 鑄造室

全部欠損補綴治療学(実習)

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	60	単位数	2
科目責任者	榎原 絵理						
担当教員	榎原 絵理, 八木 まゆみ, 大楠 弘通, 渡辺 崇文, 池田 弘, 永松 有紀 ※氏名の後ろに (診療科名) の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
7・8	人工歯排列 上下顎6前歯の排列法を学ぶ。上 下顎臼歯の排列法を学ぶ。	少人数個別指導	榎原 絵理 八木 まゆみ 渡辺 崇文 大楠 弘通	【事前学習課題】前 歯部人工歯排列	技工室 石膏室 鑄造室
9・10	人工歯排列 上下顎6前歯の排列法を学ぶ。上 下顎臼歯の排列法を学ぶ。	少人数個別指導	榎原 絵理 八木 まゆみ 渡辺 崇文 大楠 弘通	【事前学習課題】白 歯部人工歯排列	技工室 石膏室 鑄造室
11・12	人工歯排列 上下顎6前歯の排列法を学ぶ。上 下顎臼歯の排列法を学ぶ。	少人数個別指導	榎原 絵理 八木 まゆみ 渡辺 崇文 大楠 弘通	【事前学習課題】白 歯部人工歯排列	技工室 石膏室 鑄造室
13・14	咬合調整, 歯肉形成および予備実 習試験準備 (A・B班) 咬合調整法を学ぶ。 歯肉形成を学ぶ。 レジン試験片製作 (C・D班) 曲 げ試験の試料作りを学ぶ。	少人数個別指導	榎原 絵理 八木 まゆみ 渡辺 崇文 大楠 弘通 池田 弘 永松 有紀	【事前学習課題】歯 肉形成, 人工歯の咬 合調整法を学ぶ。 【事前学習課題】レ ジン試験片	技工室 石膏室 鑄造室 71実習室
15・16	咬合調整, 歯肉形成および予備実 習試験準備 (C・D班) 咬合調整法を学ぶ。 歯肉形成を学ぶ。 レジン試験片製作 (A・B班) 曲 げ試験の試料作りを学ぶ。	少人数個別指導	榎原 絵理 八木 まゆみ 渡辺 崇文 大楠 弘通 池田 弘 永松 有紀	【事前学習課題】歯 肉形成, 人工歯の咬 合調整法を学ぶ。 【事前学習課題】レ ジン試験片	技工室 石膏室 鑄造室 71実習室
17・18	予備試験 本試験と同じ時間で行い、時間配 分について学ぶ。	少人数個別指導	榎原 絵理 八木 まゆみ 渡辺 崇文 大楠 弘通		技工室 石膏室 鑄造室
19・20	予備試験 本試験と同じ時間で行い、時間配 分について学ぶ。	少人数個別指導	榎原 絵理 八木 まゆみ 渡辺 崇文 大楠 弘通	【事前学習課題】下 顎運動の記録、直接 リライン法, 間接リ ライン法、複製義歯 の製作法を学ぶ。	技工室 石膏室 鑄造室
21・22	試適箇所の修正および実習試験準 備 (A・B班) インストラクターからの指摘事項 について修正法を学ぶ。 実習試験準備レジン曲げ試験 (C ・D班) 曲げ試験の方法と床用レジンの特 性を学ぶ。	少人数個別指導	榎原 絵理 八木 まゆみ 渡辺 崇文 大楠 弘通 池田 弘 永松 有紀	【事前学習課題】レ ジン曲げ試験	技工室 石膏室 鑄造室 71実習室

全部欠損補綴治療学(実習)

開講学科	歯学科			開講年次	4年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	60	単位数	2
科目責任者	榎原 絵理						
担当教員	榎原 絵理, 八木 まゆみ, 大楠 弘通, 渡辺 崇文, 池田 弘, 永松 有紀 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
23 ・2 4	試適箇所 ^の 修正および実習試験準備（C・D班） インストラクターからの指摘事項について修正法を学ぶ。 実習試験準備レジン曲げ試験（A・B班） 曲げ試験の方法と床用レジンの特性を学ぶ。		榎原 絵理 八木 まゆみ 渡辺 崇文 大楠 弘通 池田 弘 永松 有紀		技工室 石膏室 鑄造室 7 1 実習室
25 ・2 6	実習試験（A・B班）	少人数個別指導	榎原 絵理 八木 まゆみ 渡辺 崇文 大楠 弘通		技工室 石膏室 鑄造室
27 ・2 8	実習試験（C・D班）	少人数個別指導	榎原 絵理 八木 まゆみ 渡辺 崇文 大楠 弘通		技工室 石膏室 鑄造室
29 ・3 0	追実習試験（実習試験不合格者のみ）	少人数個別指導	榎原 絵理 八木 まゆみ 渡辺 崇文 大楠 弘通		技工室 石膏室 鑄造室

口腔インプラント学

開講学科	歯学科			開講年次	4年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講・実	時間数	60	単位数	3
科目責任者	正木 千尋						
担当教員	正木 千尋, 近藤 祐介, 向坊 太郎, 宗政 翔, 野代 知孝, 森本 泰宏, 古株 彰一郎, 臼井 通彦, 細川 隆司, (非)阿部 伸一, (非)坂本 菊男						
	※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業の概要

欠損補綴治療としてインプラント治療を行ううえで、必要な知識を習得することを目的とする。口腔インプラント治療における診査・診断、外科処置、補綴処置、メンテナンスについて理解する。また、実習を通して基本的なインプラント術前診断、外科術式および補綴術式を習得する。

学生の到達目標

【一般目標】

患者に口腔インプラント治療について適切に説明するために、また、適切な口腔インプラント治療を実践するために、必要な基礎知識を習得する。

【到達目標】

コアカリキュラム

- 口腔インプラントの治療の利点と欠点を説明できる。
- 口腔インプラントの種類と特性を説明できる。
- 口腔インプラントの基本構造を説明できる。
- インプラント治療のリスクファクターを説明できる。
- インプラント治療の適応と禁忌を説明できる。
- 口腔インプラント治療に必要な解剖学を理解できる。
- 診断用ワックスアップ、ステントの意義を理解し、作製できる。
- 口腔インプラントの治療過程について理解できる。
- エックス線CTシミュレーション法の基礎的な理論を理解できる。
- 口腔インプラントの手術術式について説明できる。
- 口腔インプラントの補綴術式について説明できる。
- インプラント上部構造の種類とその特徴を説明できる。
- 口腔インプラント治療におけるメンテナンスの重要性を理解できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
B-2-6	口腔インプラント、口腔外科、歯周治療用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法を理解している。
B-3-1	歯科用材料の成形、加工(切削、焼結、重合、鋳造、溶着等)の原理を理解している。
B-3-2	歯科用機器の種類、構成、原理、特性及び使用方法を理解している。
B-3-3	歯科用検査装置の種類、構成、原理、特性及び使用方法を理解している。
B-3-4	成形・加工用機器(デジタル成形加工を含む)の種類、構成、原理、特性及び使用方法を理解している。
D-5-3-3-1	口腔インプラントの種類、特徴、目的及び意義を理解している。
D-5-3-3-2	口腔インプラントの適応症と合併症を理解している。
D-5-3-3-3	口腔インプラントに必要な診察と検査、治療手順を理解している。
D-5-3-3-4	口腔インプラントの埋入手術方法を理解している。
D-5-3-3-5	口腔インプラント上部構造の印象採得を理解している。

口腔インプラント学

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・実	時間数	60	単位数	3
科目責任者	正木 千尋						
担当教員	正木 千尋, 近藤 祐介, 向坊 太郎, 宗政 翔, 野代 知孝, 森本 泰宏, 古株 彰一郎, 臼井 通彦, 細川 隆司, (非)阿部 伸一, (非)坂本 菊男						
	※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

コアカリキュラム	内容
D-5-3-3-6	口腔インプラント上部構造の咬合採得を理解している。
D-5-3-3-7	口腔インプラント上部構造の製作手順と装着方法を理解している。
D-5-3-3-8	口腔インプラントのメンテナンスの意義と方法を理解している。

テキスト

タイトル	著者	出版社
よくわかる口腔インプラント学		医歯薬出版

参考書

タイトル	著者	出版社
口腔インプラント治療指針 2020	(公社) 日本口腔インプラント学会 編	口腔インプラント学会 ホームページ参照 https://www.shika-implant.org

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	80%
講義終了後の確認テスト、レポート等	20%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】

歯科補綴学第2講座医局：12:00-13:00、16:30-17:00
メールは随時受付

正木：口腔再建リハビリテーション学分野
近藤：口腔再建リハビリテーション学分野
向坊：口腔再建リハビリテーション学分野
宗政：口腔再建リハビリテーション学分野
野代：口腔再建リハビリテーション学分野

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	口腔インプラント総論：インプラントの歴史や基本構造を理解し、利点や欠点、種類や特性について学習する。	講義	細川 隆司	インプラント治療の流れ	501 講義室

口腔インプラント学

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・実	時間数	60	単位数	3
科目責任者	正木 千尋						
担当教員	正木 千尋, 近藤 祐介, 向坊 太郎, 宗政 翔, 野代 知孝, 森本 泰宏, 古株 彰一郎, 臼井 通彦, 細川 隆司, (非)阿部 伸一, (非)坂本 菊男						
	※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	医療面接：インプラント治療の適応症を把握する上で重要である全身疾患やリスクファクターについて学習する。	講義	近藤 祐介	全身疾患について	501 講義室
3	局所的な診査・診断について：術前診断における診断用ワックスアップやステント、CTシミュレーションの意義を学習する。	講義	正木 千尋	インプラント治療の流れ	501 講義室
4	暫間補綴の意義・印象採得・咬合採得：暫間補綴の重要性を理解し、エマーゼンスプロファイルの与え方などを学習する。また、印象法、作業模型の作製法を理解する。	講義	向坊 太郎	インプラント補綴	501 講義室
5	インプラント治療に必要なエックス線読影：インプラント治療のための画像を評価するために必要となる用語や読影方法を理解する。特に、インプラントの術前検査及び術後評価としてのCT像について把握する。	講義	森本 泰宏	放射線読影インプラント周囲の骨形成・骨代謝	501 講義室
6	インプラント埋入後の生体反応を生化学的に理解し、生体適合性やオッセオインテグレーションについて学習する。	講義	古株 彰一郎	骨のリモデリング、骨芽細胞、破骨細胞、骨再生、オッセオインテグレーション、骨粗しょう症、骨代謝性疾患	501 講義室
7	歯周病学的にみた天然歯とインプラントの違いを理解し、インプラント周囲炎の特徴や治療法について学習する。	講義	臼井 通彦	インプラント周囲組織インプラント治療に必要な解剖学	501 講義室
8	埋入術式・外科術式・荷重時期について：インプラント治療に必要な基本的外科手技を理解し、インプラント体埋入術式について学習する。荷重時期についても把握する。	講義	正木 千尋	インプラント埋入手術	501 講義室

口腔インプラント学

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・実	時間数	60	単位数	3
科目責任者	正木 千尋						
担当教員	正木 千尋, 近藤 祐介, 向坊 太郎, 宗政 翔, 野代 知孝, 森本 泰宏, 古株 彰一郎, 臼井 通彦, 細川 隆司, (非)阿部 伸一, (非)坂本 菊男						
	※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
9	インプラント関連手術について：インプラント治療に伴う骨・軟組織のマネジメントを理解し、インプラント関連手術を学習する。	講義	正木 千尋	硬組織・軟組織のマネジメント	501講義室
10	インプラントの偶発症・合併症・メンテナンスについて：インプラント治療の偶発症や合併症およびメンテナンス方法について学習する。	講義	宗政 翔	インプラント偶発症メンテナンス	501講義室
11	インプラント上部構造の種類と特徴：さまざまな上部構造の種類および特徴を学習する。	講義	野代 知孝	固定式インプラント上部構造	501講義室
12	顎骨の基本形態：上顎骨や下顎骨の形態や骨質、インプラントで注意すべき血管、神経などを理解する。また、歯槽骨の経時的変化を把握する。	講義	(非)阿部 伸一	頭頸部の解剖	501講義室
13	インプラントに必要な耳鼻咽喉科領域の基礎知識：インプラント治療に必要な耳鼻咽喉科領域の基本的知識と合併症に対する対処法について学習する。	講義	(非)坂本 菊男	頭頸部の解剖	501講義室
14	顎顔面補綴におけるインプラントの応用：顎顔面の再建とインプラントについて広範囲顎骨支持型装置を中心に学習する。	講義	向坊 太郎	広範囲顎骨支持型装置	501講義室
15	高齢者と口腔インプラント治療：ライフステージに合わせたインプラント治療について学習する。	講義	近藤 祐介	可撤式インプラント上部構造	501講義室

口腔インプラント学(実習)

開講学科	歯学科			開講年次	4年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	正木 千尋						
担当教員	正木 千尋, 近藤 祐介, 向坊 太郎, 宗政 翔, 野代 知孝 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業の概要

欠損補綴治療としてインプラント治療を行ううえで、必要な知識を習得することを目的とする。口腔インプラント治療における診査・診断、外科処置、補綴処置、メンテナンスについて理解する。また、実習を通して基本的なインプラント術前診断、外科術式および補綴術式を習得する。

学生の到達目標

【一般目標】

患者に口腔インプラント治療について適切に説明するために、また、適切な口腔インプラント治療を実践するために、必要な基礎知識を習得する。

【到達目標】

コアカリキュラム

- ① 診断用ワックスアップ、ステントの意義を理解し、作製できる。
- ② X線CTシミュレーション法の基礎的な理論を理解できる。
- ③ 口腔インプラントの手術術式について説明できる。
- ④ 口腔インプラントの補綴術式について説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
B-2-6	口腔インプラント、口腔外科、歯周治療用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法を理解している。
B-3-1	歯科用材料の成形、加工(切削、焼結、重合、鑄造、溶着等)の原理を理解している。
B-3-2	歯科用機器の種類、構成、原理、特性及び使用方法を理解している。
B-3-3	歯科用検査装置の種類、構成、原理、特性及び使用方法を理解している。
B-3-4	成形・加工用機器(デジタル成形加工を含む)の種類、構成、原理、特性及び使用方法を理解している。
D-5-3-3-1	口腔インプラントの種類、特徴、目的及び意義を理解している。
D-5-3-3-2	口腔インプラントの適応症と合併症を理解している。
D-5-3-3-3	口腔インプラントに必要な診察と検査、治療手順を理解している。
D-5-3-3-4	口腔インプラントの埋入手術方法を理解している。
D-5-3-3-5	口腔インプラント上部構造の印象採得を理解している。
D-5-3-3-6	口腔インプラント上部構造の咬合採得を理解している。
D-5-3-3-7	口腔インプラント上部構造の製作手順と装着方法を理解している。
D-5-3-3-8	口腔インプラントのメンテナンスの意義と方法を理解している。

テキスト

タイトル	著者	出版社
よくわかる口腔インプラント学		医歯薬出版

参考書

タイトル	著者	出版社
------	----	-----

口腔インプラント学(実習)

開講学科	歯学科			開講年次	4年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	正木 千尋						
担当教員	正木 千尋, 近藤 祐介, 向坊 太郎, 宗政 翔, 野代 知孝 ※氏名の後ろに (診療科名) の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

タイトル	著者	出版社
口腔インプラント治療指針 2020	(公社) 日 本口腔イン プラント学 会 編	口腔インプ ラント学会 ホームペー ジ参照 https://www .shika-impl ant.org

成績評価方法・基準

評価項目	割合
実習試験 (筆記・実技)	100%

その他

【オフィスアワー (学習相談)】

歯科補綴学第2講座医局：12:00-13:00、16:30-17:00

メールは随時受付

正木：口腔再建リハビリテーション学分野

近藤：口腔再建リハビリテーション学分野

向坊：口腔再建リハビリテーション学分野

宗政：口腔再建リハビリテーション学分野

野代：口腔再建リハビリテーション学分野

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	研究用模型作製：上下顎の模型のアルジネート印象を行い、研究用模型を製作する。	実習	正木 千尋 近藤 祐介 向坊 太郎 宗政 翔 野代 知孝	印象法、模型作製法	技工室 石膏室 鑄造室
2	咬合器装着：上下顎の模型を用いてインプラントの術前診査を行うため、咬合器装着を行う。	実習	正木 千尋 近藤 祐介 向坊 太郎 宗政 翔 野代 知孝	咬合器、顎位	技工室 石膏室 鑄造室
3	診断用ワックスアップ：補綴主導型インプラント治療を実践するため、模型上で診断用ワックスアップを行う。	実習	正木 千尋 近藤 祐介 向坊 太郎 宗政 翔 野代 知孝	ワックスアップ法	技工室 石膏室 鑄造室

口腔インプラント学(実習)

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	正木 千尋						
担当教員	正木 千尋, 近藤 祐介, 向坊 太郎, 宗政 翔, 野代 知孝 ※氏名の後ろに (診療科名) の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
4	診断用ステント作製①：診断用ステントのためにワックスアップを行った模型の副模型を作製する。	実習	正木 千尋 近藤 祐介 向坊 太郎 宗政 翔 野代 知孝	診断用ステント、インプラント治療の流れ	技工室 石膏室 鑄造室
5	診断用ステント作製②：加熱吸引装置を利用して副模型から診断用ステントを作製する。	実習	正木 千尋 近藤 祐介 向坊 太郎 宗政 翔 野代 知孝	診断用ステント、インプラント治療の流れ	技工室 石膏室 鑄造室
6	X線CTシミュレーション法を用いたインプラント治療計画の立案①：臼歯部欠損症例に対するインプラントシミュレーションソフトを用いたCT術前診断を行う。	実習	正木 千尋 近藤 祐介 向坊 太郎 宗政 翔 野代 知孝	頭頸部解剖	技工室 石膏室 鑄造室
7	X線CTシミュレーション法を用いたインプラント治療計画の立案②：臼歯部欠損症例に対するインプラントシミュレーションソフトを用いたCT術前診断を行う。	実習	正木 千尋 近藤 祐介 向坊 太郎 宗政 翔 野代 知孝	頭頸部解剖	技工室 石膏室 鑄造室
8	外科用ステント作製：診断用ステントを改造し、適切にインプラント埋入を行うための外科用ステントを作製する。	実習	正木 千尋 近藤 祐介 向坊 太郎 宗政 翔 野代 知孝	外科用ステント、インプラント埋入手術	技工室 石膏室 鑄造室
9	インプラント埋入実習①：下顎右側遊離端欠損模型に対して、インプラントを2本埋入する。	実習	正木 千尋 近藤 祐介 向坊 太郎 宗政 翔 野代 知孝	インプラント埋入手術	技工室 石膏室 鑄造室
10	インプラント埋入実習②：ブタ下顎骨を用いて歯肉の切開、剥離、縫合など基本的な外科手技を習得する。	実習	正木 千尋 近藤 祐介 向坊 太郎 宗政 翔 野代 知孝	インプラント埋入手術	技工室 石膏室 鑄造室
11	インプラント埋入実習③：ブタ下顎骨にインプラント埋入を行い、1回法、2回法の違いを学習する。	実習	正木 千尋 近藤 祐介 向坊 太郎 宗政 翔 野代 知孝	インプラント埋入手術	技工室 石膏室 鑄造室

口腔インプラント学(実習)

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	正木 千尋						
担当教員	正木 千尋, 近藤 祐介, 向坊 太郎, 宗政 翔, 野代 知孝 ※氏名の後ろに (診療科名) の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
12	概形印象採得、個人トレー作製① ：オープントレー法、クローズド トレー法それぞれの特徴を理解し 、個人トレーを作製する。	実習	正木 千尋 近藤 祐介 向坊 太郎 宗政 翔 野代 知孝	インプラントの印象 法	技工室 石膏室 鑄造室
13	概形印象採得、個人トレー作製② ：オープントレー法、クローズド トレー法それぞれの特徴を理解し 、個人トレーを作製する。	実習	正木 千尋 近藤 祐介 向坊 太郎 宗政 翔 野代 知孝	インプラントの印象 法	技工室 石膏室 鑄造室
14	精密印象採得（オープントレー法 、クローズドトレー法）：シリコ ン印象材を用いて印象コーピング による精密印象を行う。	実習	正木 千尋 近藤 祐介 向坊 太郎 宗政 翔 野代 知孝	インプラントの印象 法	技工室 石膏室 鑄造室
15	インプラントのメンテナンス： 各種器具を用いてインプラント治 療後のメンテナンスを行う。	実習	正木 千尋 近藤 祐介 向坊 太郎 宗政 翔 野代 知孝	インプラント治療後 のメンテナンス	相互実習室

歯科放射線学I

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	森本 泰宏						
担当教員	森本 泰宏, 小田 昌史 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業の概要

講義項目は系統的には放射線生物学、放射線物理学、写真工学、画像検査法、エックス線解剖学、画像診断学、放射線治療学、核医学、放射線防護学、医療法である。その中でも、歯科放射線学Iでは主に放射線基礎を中心に物理学、生物学、防護学、放射線治療学及び画像検査法と画像診断学の総論について教授する。質の高い画像をもとに論理的に正しい診断を行う手法を身に着けることが歯科放射線学の最大のねらいである。そのためには第一に、画像の形成過程及びその適切な撮影方法を教授する。同時に、効果的な防護方法を学ぶことで、出来るだけ患者さんの被曝量を軽減すること及びその大切さを理解してもらおう。更に、今後大いに飛躍が期待される放射線治療学についても基礎的事項を学んで貰う。

学生の到達目標

- ①放射線とはどのようなものであるかを物理学的側面より理解できる。
- ②質の高いエックス線写真を作成するための手法や質の判断基準が理解できる。
- ③放射線被曝により引き起こされる生物学的作用の発生機序及び疾患が理解できる。
- ④生物学的効果を利用した放射線治療法について使用装置や対象疾患が理解できる。
- ⑤放射線従事者の身体を守るための防護方法について法律学的立場に準じた具体的方策が理解できる。
- ⑥患者さんの被曝量を軽減するための方策について理解できる。
- ⑦各種疾患に対して適切な画像検査を選択する必要性について理解できる。
- ⑧基礎的な画像診断法について理解できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
F-1-2)	画像検査
F-1-2)-0	一般目標：画像検査法の特徴と適応ならびに画像の解釈を理解するとともに、放射線の人体に対する影響と放射線防護の方法を併せて理解する。
F-1-2)-1	到達目標：①放射線の種類と性質を説明できる。
F-1-2)-2	到達目標：②放射線の人体への影響を説明できる。
F-1-2)-3	到達目標：③放射線防護の基準と方法を説明できる。
F-1-2)-4	到達目標：④エックス線画像の形成原理を説明できる。【画像不良の原因を含む。】
F-1-2)-5	到達目標：⑤エックス線装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。
F-1-2)-6	到達目標：⑥口内法エックス線撮影とパノラマエックス線撮影の種類および適応を説明できる。
F-1-2)-7	到達目標：⑦口内法エックス線撮影とパノラマエックス線撮影を行い、読影できる。
F-1-2)-8	到達目標：⑧頭部エックス線撮影の種類および適応を説明できる。
F-1-2)-9	到達目標：⑨超音波装置、エックス線CTおよび磁気共鳴撮像装置を用いた検査法の原理と基本的特徴を説明できる。

歯科放射線学I

開講学科	歯学科			開講年次	4年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	森本 泰宏						
担当教員	森本 泰宏, 小田 昌史 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

テキスト

タイトル	著者	出版社
第6版 歯科放射線学	岡野友宏、 小林馨、有 地栄一郎	医歯薬出版
国家試験問題集（実践、 Answer等）		

参考書

タイトル	著者	出版社
頭頸部のCT・MRI（2002）	多田 信平	MEDSi
頭頸部画像診断ハンドブック（2002）		MEDSi
解説と例題でわかる歯科放射線テキスト	勝又明敏、 浅海淳一、 田口明、森 本泰宏	永末書店
口腔・歯・顎顔面ポケット画像解剖	中山英二、 森本泰宏	医学情報社
Contemporary Oral and Maxillofacial Pathology 2nd edition (2004)		Mosby
Diagnostic Imaging of the Jaws (1995)		Williams & Wilkins
Oral Radiology: Principles and interpretation 5th edition (2004)		Mosby
Oral Disease 3rd edition (2001)		Mosby
Q&Aで学ぶ歯科放射線学：SBOs講義（2011）		学建書院
一步先のパノラマ診断力（2012）		砂書房
頭頸部の臨床画像診断学（2012）		南江堂
顎・口腔のCT・MRI（2016）	酒井 修、 金田 隆	MEDSi
新歯科放射線学第2版（2017）	金田 隆、 櫻井 孝、 土持 眞	医学情報社

歯科放射線学I

開講学科	歯学科			開講年次	4年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	森本 泰宏						
担当教員	森本 泰宏, 小田 昌史 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

タイトル	著者	出版社
今さら聞けない歯科用CBCTとCTの読像法 (2017)	森本泰宏、 金田 隆	クインテッセンス出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

授業の確認問題はMoodle上で行います。【オフィスアワー】講義の前後、またはメールで受け付ける。病院3階歯科放射線科診療室及び病院11階歯科放射線学講座研究室にて常に相談を受け付ける。分からないことはそのままにせず納得のいく迄質問しに来ること。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	放射線物理学・装置 (I) : 放射線 (特にエックス線) とはどのようなものであるかについて理解する。	講義	森本 泰宏	キーワード: 放射線とは、可視光線、赤外線、エックス線	501 講義室
2	放射線物理学・装置 (II) : エックス線の発生原理とその際利用する装置について理解する。	講義	森本 泰宏	キーワード: エックス線の発生、エックス線管、フィルター、陽極	501 講義室
3	放射線物理学・装置 (III) : エックス線の発生原理とその際利用する装置について理解する。	講義	森本 泰宏	キーワード: エックス線の発生、エックス線管、フィルター、陽極	501 講義室
4	器材・写真処理: エックス線写真撮影を行った後それを画像化するために必要な処理方法を理解する。	講義	森本 泰宏	キーワード: 現像、定着、デジタル画像、画素	501 講義室
5	放射線生物学 (I) : 放射線被曝により引き起こされる生物学的作用の発生機序及び代表的疾患を理解する。	講義	森本 泰宏	キーワード: ターゲットセオリー、直接作用、間接作用	501 講義室

歯科放射線学I

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	森本 泰宏						
担当教員	森本 泰宏, 小田 昌史 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
6	放射線生物学（II）：放射線被曝により引き起こされる生物学的作用の発生機序及び代表的疾患を理解する。	講義	森本 泰宏	キーワード：ターゲットセオリー、直接作用、間接作用放射線治療学	501講義室
7	放射線防護学：放射線従事者が放射線被曝による障害を避けるための考え方及び実践的方法を理解する。	講義	森本 泰宏	キーワード：ICRPの3原則、ALARAの原則、外部照射を避けるための3原則	501講義室
8	放射線治療学（総論）：口腔癌の放射線治療についてその方法、作用機序及び効果的な腫瘍の種類について理解する。	講義	小田 昌史	キーワード：放射線治療に適した悪性腫瘍、間期死、増殖死	501講義室
9	放射線治療学（各論）：口腔癌の放射線治療についてその方法、作用機序及び効果的な腫瘍の種類について理解する。	講義	小田 昌史	キーワード：外部照射、内部照射、ライナック、モールド治療	501講義室
10	画像検査（I）：歯科独特の口内法エックス線撮影についてその種類、撮影方法及び検査対象疾患を理解する（画質不良の原因を含む）。	講義	森本 泰宏	キーワード：二等分法、正放線投影法、平行法、咬合法、咬翼法	501講義室
11	画像検査（II）：口外法エックス線撮影についてその種類、撮影方法及び検査対象疾患を理解する（画質不良の原因を含む）。	講義	森本 泰宏	キーワード：パノラマエックス線撮影、後頭前頭方向撮影法、Waters'法、顎関節撮影法	501講義室
12	画像検査（III）：デジタル画像についてその種類、画像表示機序及び検査対象疾患を理解する。	講義	小田 昌史	キーワード：CT、歯科用コンビームCT、MRI	501講義室
13	画像診断（総論）：歯科画像診断において最も重要な口内法及びパノラマエックス線写真の基礎的読影方法を理解する。総合画像診断において重要なCT、MRI及び超音波画像の基礎的読影方法を理解する。	講義	森本 泰宏	キーワード：ベイズの定理、感度、特異度、正診率、存在診断、部位診断、質的診断、画像所見	501講義室

歯科放射線学I

開講学科	歯学科			開講年次	4年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	森本 泰宏						
担当教員	森本 泰宏, 小田 昌史 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
14	画像診断（歯の病変1）：歯科臨床において最も遭遇する歯に生じる疾患の特徴的画像所見を理解する。	講義	小田 昌史	キーワード：齶歯、バーンアウト、マッハ効果、歯内歯、癒合歯の画像	501講義室
15	画像診断（歯の病変2）：歯科臨床において最も遭遇する歯に生じる疾患の特徴的画像所見を理解する。	講義	小田 昌史	キーワード：エナメル質形成不全症、象牙質形成不全症、象牙質異形成症、咬耗症の画像	501講義室

歯科放射線学II

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・実	時間数	54	単位数	2.5
科目責任者	森本 泰宏						
担当教員	森本 泰宏, 小田 昌史, 若杉 奈緒, 松本 忍 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業の概要

講義項目は系統的には放射線生物学、放射線物理学、写真工学、画像検査法、エックス線解剖学、画像診断学、放射線治療学、核医学、放射線防護学、医療法である。その中でも、歯科放射線学（臨床）では特に重要な画像診断学の修得を中心に教授する。歯科放射線Ⅱでも掲げているように質の高い画像をもとに論理的に正しい診断を行う手法を身につけることが歯科放射線学の最大のねらいである。そのためには画像診断学を通して、一つでも多くの疾患名を身につけてもらう。身につけた多くの知識は鑑別診断を行う際の豊富な選択肢になる。自分の行った診断が治療に寄与し、さらに治癒に結びつければ臨床家として最高の喜びとなる。

学生の到達目標

- ① 頭頸部に発生する各種疾患（歯及び歯周組織の疾患、嚢胞、腫瘍、炎症、唾液腺疾患、顎関節疾患、上顎洞疾患、系統疾患）に対して各種画像（単純エックス線写真、CT、MRI、超音波、核医学検査）の有効性を理解できる。
- ② 頭頸部に発生する対象疾患に対して各種画像をもとに存在診断、部位診断及び質的診断を行う手法を理解できる。
- ③ 頭頸部に発生する対象疾患に対する各種画像の特徴的所見を理解できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
F-2-4)-(1)	外傷
F-2-4)-(1)-4	到達目標：④歯の外傷の症状と検査法を列挙し、診断と治療法を説明できる。
F-2-4)-(1)-5	到達目標：⑤歯槽骨骨折、上顎骨骨折および下顎骨骨折の症状と検査法を列挙し、診断と治療法を説明できる。
F-2-4)-(2)-04	到達目標：④炎症の診断に必要な検査法を説明できる。
F-2-4)-(3)-01	到達目標：①嚢胞の一般的な症状、検査法および治療法を説明できる。
F-2-4)-(3)-10	到達目標：⑩腫瘍の診断に必要な画像検査法を説明できる。
F-2-4)-(3)-12	到達目標：⑫口腔・顎顔面領域の嚢胞の診断と治療法を説明できる。
F-2-4)-(4)-2	到達目標：②顎関節疾患（外傷、脱臼、顎関節症、顎関節強直症）を概説できる。
F-3-3)-(2)-1	到達目標：①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。】
F-3-3)-(2)-7	到達目標：⑦歯根吸収の原因、症状、診断および処置を説明できる。
F-3-3)-(3)-2	到達目標：②歯周疾患の診断と治療方針を説明できる。【検査法、メンテナンス法を含む。】
F-3-3)-(4)-1	到達目標：①象牙質知覚過敏症の病因、病態、診断および治療法を説明できる
F-3-4)-(3)-12	到達目標：⑫可撤性義歯の設計原理を理解し、口腔内診察、検査、診断模型およびエックス線写真等により適切に設計を行うことができる。

歯科放射線学II

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・実	時間数	54	単位数	2.5
科目責任者	森本 泰宏						
担当教員	森本 泰宏, 小田 昌史, 若杉 奈緒, 松本 忍 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

テキスト

タイトル	著者	出版社
第6版 歯科放射線学	岡野友宏、 小林馨、有 地栄一郎	医歯薬出版
国家試験問題集（実践、 Answer等		

参考書

タイトル	著者	出版社
解説と例題でわかる歯科放射線テキスト	勝又明敏、 浅海淳一、 田口明、森 本泰宏	永末書店
口腔・歯・顎・顔面ポケット画像解剖	中山英二、 森本泰宏	医学情報社
頭頸部のCT・MRI（2002）		MEDSi
頭頸部画像診断ハンドブック（2002）		MEDSi
Contemporary Oral and Maxillofacial Pathology 2nd edition（2004）		Mosby
Diagnostic Imaging of the Jaws（1995）		Williams & Wilkins
Oral Disease 3rd edition（2001）		Mosby
Oral Radiology:Principles and interpretation 5th edition（2004）		Mosby
Q&Aで学ぶ歯科放射線学：SBOs講義（2011）		学建書院
難しいX線写真のやさしい見かた—口内法X線解剖マニュアル（2005）		医学情報社
一歩先のパノラマ診断力（2012）		砂書房
頭頸部の臨床画像診断学（2012）		南江堂
顎・口腔のCT・MRI（2016）	酒井 修、 金田 隆	MEDSi

歯科放射線学II

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・実	時間数	54	単位数	2.5
科目責任者	森本 泰宏						
担当教員	森本 泰宏, 小田 昌史, 若杉 奈緒, 松本 忍 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

タイトル	著者	出版社
新歯科放射線学第2版	金田 隆、 櫻井 孝、 土持 眞	医学情報社
今さら聞けない歯科用CBCTとCTの読像法	森本泰宏、 金田 隆	クインテッセンス出版
決定版 実践マニュアル歯科用CTの見かた・読みかた続 今さら聞けない歯科用CBCTとCTの読像法	森本泰宏、 金田 隆、 鱒見進一	クインテッセンス出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

授業の確認問題はMoodle上で行います。【オフィスアワー】講義の前後、またはメールで受け付ける。病院3階歯科放射線科診療室及び病院11階歯科放射線学講座研究室にて常に相談を受け付ける。分からないことはそのままにせず納得のいく迄質問しに来ること。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	画像診断・歯周組織の病変：歯科臨床においてよく遭遇する歯周組織に生じる疾患の特徴的画像所見を理解する。	講義	若杉 奈緒	キーワード：歯周炎、根尖性歯周炎、歯根肉芽腫の画像	501講義室 Moodle
2	画像診断・嚢胞（I）：顎骨に発生する嚢胞性疾患に対して必要な画像検査とその特徴的所見を理解する。	講義	森本 泰宏	キーワード：歯根嚢胞、含歯性嚢胞、石灰化歯原性嚢胞、鼻口蓋管嚢胞の画像	501講義室 Moodle
3	画像診断・嚢胞（II）：顎骨外に発生する嚢胞性疾患に対して必要な画像検査とその特徴的所見を理解する。	講義	森本 泰宏	キーワード：鼻齒槽嚢胞、静止性骨空洞、術後性上顎嚢胞の画像、鰓嚢胞、ラヌーラ、甲状舌管嚢胞、頬皮嚢胞、頬上皮嚢胞の画像	501講義室 Moodle

歯科放射線学II

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・実	時間数	54	単位数	2.5
科目責任者	森本 泰宏						
担当教員	森本 泰宏, 小田 昌史, 若杉 奈緒, 松本 忍 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
4	画像診断・腫瘍（I、II）：顎骨内に発生する腫瘍性疾患に対して必要な画像検査とその特徴的所見を理解する。顎骨内に発生する歯原性腫瘍に対して必要な画像検査とその特徴的所見を理解する。	講義	森本 泰宏	キーワード：WHOの分類、エナメル上皮腫、転移性エナメル上皮腫、石灰化上皮性歯原性腫瘍、腺様歯原性腫瘍の画像	501講義室 Moodle
5	画像診断・腫瘍（III）：顎骨外に発生する腫瘍性疾患に対して必要な画像検査とその特徴的所見を理解する。	講義	森本 泰宏	キーワード：エナメル上皮線維腫、歯牙腫（集合型、複雑型）、象牙質形成性幻影細胞腫の画像	501講義室 Moodle
6	画像診断・腫瘍（IV）：口腔に発生する悪性腫瘍に伴うリンパ節転移に対して必要な画像検査とその特徴的所見を理解する。	講義	森本 泰宏	キーワード：エナメル上皮癌、歯肉がん、舌がん、リンパ節転移の画像	501講義室 Moodle
7	画像診断・腫瘍（V）：顎骨内外に発生する腫瘍性疾患に対して必要な画像検査とその特徴的所見を理解する。	講義	森本 泰宏	キーワード：エナメル上皮癌、歯肉がん、舌がん、リンパ節転移の画像	501講義室 Moodle
8	画像診断・（リンパ節転移）：口腔に発生する悪性腫瘍に伴うリンパ節転移に対して必要な画像検査とその特徴的所見を理解する。	講義	森本 泰宏	キーワード：頭頸部の所属リンパ節、中心壊死	501講義室 Moodle
9	画像診断・炎症：口腔顔面領域に発生する炎症性疾患に対して必要な画像検査とその特徴的所見を理解する。	講義	森本 泰宏	キーワード：根尖性歯周炎、骨髄炎、骨膜炎、蜂窩織炎の画像	501講義室 Moodle
10	画像診断・外傷：口腔顔面領域に発生する外傷に対して必要な画像検査とその特徴的所見を理解する。	講義	森本 泰宏	キーワード：歯の震盪、歯の脱臼、歯根破折、骨折の画像	501講義室 Moodle
11	画像診断・顎関節疾患：顎関節に発生する各種疾患に対して必要な画像検査とその特徴的所見を理解する。	講義	松本 忍	キーワード：顎関節症、顎関節円板転位、顎関節腫瘍、顎関節炎の画像	501講義室 Moodle

歯科放射線学II

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・実	時間数	54	単位数	2.5
科目責任者	森本 泰宏						
担当教員	森本 泰宏, 小田 昌史, 若杉 奈緒, 松本 忍 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
12	画像診断・上顎洞疾患：上顎洞を含む副鼻腔に発生する各種疾患に対して必要な画像検査とその特徴的所見を離解する。	講義	小田 昌史	キーワード：上顎洞炎、上顎洞腫瘍、上顎洞癌の画像	501講義室 Moodle
13	画像診断・唾液腺疾患：唾液腺疾患に対して必要な画像検査とその特徴的所見を理解する。	講義	小田 昌史	キーワード：唾液腺炎、多形腺腫、ワルチン腫瘍、腺様嚢胞癌の画像	501講義室 Moodle
14	画像診断・系統疾患（I）：口腔顔面領域に発生する系統疾患に対して必要な画像検査とその特徴的所見を理解する。	講義	小田 昌史	キーワード：くる病、副甲状腺機能亢進症、下垂体機能亢進症の画像、基底細胞母斑症候群、ガードナー症候群、ケルビズムの画像	501講義室 Moodle
15	画像診断・系統疾患（II）：口腔顔面領域に発生する系統疾患に対して必要な画像検査とその特徴的所見を理解する。	講義	小田 昌史	キーワード：くる病、副甲状腺機能亢進症、下垂体機能亢進症の画像、基底細胞母斑症候群、ガードナー症候群、ケルビズムの画像	501講義室 Moodle

歯科放射線学II(実習)

開講学科	歯学科			開講年次	4年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	24	単位数	0.5
科目責任者	森本 泰宏						
担当教員	森本 泰宏, 小田 昌史, 若杉 奈緒, 松本 忍, 西村 瞬 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業の概要

歯科放射線学の講義項目は系統的には放射線生物学、放射線物理学、写真工学、画像検査法、エックス線解剖学、画像診断学、放射線治療学、核医学、放射線防護学、医療法である。実際の歯科臨床現場では、技術的側面として画像検査法と画像診断学の修得が重要である。そのため、歯科放射線学（臨床実習）では、歯科用エックス線写真撮影、パノラマエックス線写真撮影、CT撮像、MRI撮像を体験する。更に、適切に診断する為に必要な最低限度のエックス線解剖も実際の写真を見ながら理解してもらう。同時に、撮影に際して必要な放射線被曝に対する患者さんへの適切な説明法も学んでもらう。

学生の到達目標

- ①口内法エックス線撮影の相互実習を通してその技術を理解できる。
- ②パノラマエックス線撮影の相互実習を通してその技術を理解できる。
- ③エックス線撮影装置、エックス線フィルム及び現像装置に対する理解を深める。
- ④CT、MRI及び超音波検査に関する理解を深める。
- ⑤撮影された10枚法歯科用エックス線写真を正確にマウントできる。
- ⑥放射線被曝の影響について、正確にしかも分かりやすく説明できる。
- ⑦核医学検査に関する適応及び術式を理解できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
F-1-2)	画像検査
F-1-2)-0	一般目標：画像検査法の特徴と適応ならびに画像の解釈を理解するとともに、放射線の人体に対する影響と放射線防護の方法を併せて理解する。
F-1-2)-1	到達目標：①放射線の種類と性質を説明できる。
F-1-2)-2	到達目標：②放射線の人体への影響を説明できる。
F-1-2)-3	到達目標：③放射線防護の基準と方法を説明できる。
F-1-2)-4	到達目標：④エックス線画像の形成原理を説明できる。【画像不良の原因を含む。】
F-1-2)-5	到達目標：⑤エックス線装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。
F-1-2)-6	到達目標：⑥口内法エックス線撮影とパノラマエックス線撮影の種類および適応を説明できる。
F-1-2)-7	到達目標：⑦口内法エックス線撮影とパノラマエックス線撮影を行い、読影できる。
F-1-2)-8	到達目標：⑧頭部エックス線撮影の種類および適応を説明できる。
F-1-2)-9	到達目標：⑨超音波装置、エックス線CTおよび磁気共鳴撮像装置を用いた検査法の原理と基本的特徴を説明できる。

歯科放射線学II(実習)

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	24	単位数	0.5
科目責任者	森本 泰宏						
担当教員	森本 泰宏, 小田 昌史, 若杉 奈緒, 松本 忍, 西村 瞬 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

テキスト

タイトル	著者	出版社
第6版 歯科放射線学	岡野友宏、 小林馨、有 地栄一郎	医歯薬出版
国家試験問題集（実践、 Answer等）		
実習中配布する資料		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
実習試験	100%

その他

実習の確認問題はMoodle上で行います。【オフィスアワー】講義の前後、またはメールで受け付ける。病院3階歯科放射線科診療室及び病院11階歯科放射線学講座研究室にて常に相談を受け付ける。分からないことはそのままにせず納得のいく迄質問しに来ること。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	総合的実習説明：実習で行うエックス線撮影、デンタル写真の整理及び患者への注意を総合的に理解する。口内法撮影技術：口内法エックス線撮影技術に関して実習に際し必要な全般的注意事項について理解する（画質不良の原因を含む）。	講義	小田 昌史	キーワード：口内法、パノラマエックス線撮影、CT、歯科用コーンビームCT、MRI、超音波検査、二等分法、正放線投影、平行法、咬翼法、咬合法	診療室_病院 Moodle
2	歯科用エックス線写真撮影：歯科用エックス線撮影装置を用いてその実際を相互実習として体験する。	実習	森本 泰宏	キーワード：二等分法、正放線投影、平行法、咬翼法、咬合法	診療室_病院 Moodle
3	パノラマエックス線写真撮影技術：パノラマエックス線撮影技術に関して実習を行う上で注意すべき事項を理解する（画質不良の原因を含む）。	講義	小田 昌史 若杉 奈緒 松本 忍 西村 瞬	キーワード：断層方式パノラマエックス線撮影、体腔管方式パノラマエックス線撮影	診療室_病院 Moodle

歯科放射線学II(実習)

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	24	単位数	0.5
科目責任者	森本 泰宏						
担当教員	森本 泰宏, 小田 昌史, 若杉 奈緒, 松本 忍, 西村 瞬 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
4	パノラマエックス線写真撮影：パノラマエックス線撮影装置を用いてその実際を相互実習として体験する。	実習	森本 泰宏	キーワード：断層方式パノラマエックス線撮影、体腔管方式パノラマエックス線撮影	診療室_病院 Moodle
5	CT及び超音波検査技術：CT及び超音波検査技術に関して実習を行う上での注意事項を理解する。	講義	小田 昌史 若杉 奈緒 松本 忍	キーワード：CT、歯科用コーンビームCT、超音波検査、正常画像解剖	診療室_病院 Moodle
6	CT及び超音波検査撮像：CT及び超音波検査装置を用いてその実際を見学実習として体験する。	実習	森本 泰宏	キーワード：CT、歯科用コーンビームCT、超音波検査、正常画像解剖	診療室_病院 Moodle
7	MRI検査技術：MRI検査技術に関して実習を行う上で注意すべき事項を理解する。	講義	小田 昌史 若杉 奈緒 松本 忍 西村 瞬	キーワード：MRI、正常画像解剖	診療室_病院 Moodle
8	MRI検査撮像：MRI装置を用いてその実際を見学実習として体験する。正常画像解剖放射線障害に関する患者への説明を理解する。	実習	森本 泰宏	キーワード：MRI、放射線障害	診療室_病院 Moodle
9	核医学検査技術：実際に実習できないため講義により検査上注意する事柄を理解する。	講義	小田 昌史	キーワード：骨シンチグラフィ、唾液腺シンチグラフィ、腫瘍シンチグラフィ、18F-FDG-PET-CT、正常画像解剖	501講義室 Moodle
10	放射線障害に関する患者への説明を理解する。	実習	小田 昌史 若杉 奈緒 松本 忍 西村 瞬	キーワード：放射線障害	501講義室 601講義室
11	実習試験	実習試験	小田 昌史 若杉 奈緒 松本 忍 西村 瞬		テュートリアル演習室群
12	実習試験	実習試験	小田 昌史 若杉 奈緒 松本 忍 西村 瞬		テュートリアル演習室群

歯科麻酔学I

開講学科	歯学科			開講年次	4年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	椎葉 俊司						
担当教員	椎葉 俊司, 左合 徹平, 茂山 幸代 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業の概要

歯科麻酔学は循環・呼吸・神経生理学および臨床薬理学を基本とした生体管理学である。具体的には安全で苦痛ない歯科治療を行うための全身麻酔、鎮静麻酔、局所麻酔時の生体管理を行う。また顎口腔領域の疼痛性疾患の診断、治療も含んでいる。歯科麻酔学Iの主な授業内容は、麻酔に必要な生理学および薬理学、術前全身評価法、全身麻酔法、局所麻酔法、精神鎮静法、代表的な疾患を持つ患者の術中生体管理法、術中術後の疼痛管理法、救急処置法を習得することを目的とする。また、顎口腔領域の非歯原性疼痛および神経麻痺の診断・治療を習得することも目的とする。

学生の到達目標

- ① 呼吸器の機能評価を説明できる。
- ② 循環器の機能評価を説明できる。
- ③ 中枢神経および末梢神経の機能評価を説明できる。
- ④ 局所麻酔薬の作用機序とイオンチャンネルの関係を説明できる。
- ⑤ 局所麻酔添加の血管収縮薬が循環動態に与える影響を説明できる。
- ⑥ 疼痛の種類、発生機序および制御機構、方法を説明できる。
- ⑦ 疼痛の種類、発生機序および制御機構、方法を説明できる。
- ⑧ 三叉神経痛および顔面神経麻痺の発症機序と治療法を説明できる。
- ⑨ 歯科治療時に注意が必要な生活習慣病を説明できる。
- ⑩ 精神鎮静法の種類とその適応および禁忌を列挙できる。
- ⑪ 吸入麻酔薬の種類を列挙し、作用機序を説明できる。
- ⑫ 静脈麻酔薬の種類を列挙し、作用機序を説明できる。
- ⑬ 救急時の心肺蘇生法を説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-3-1-4-1	心臓の構造、発生、機能及び心電図波形を理解している。
A-3-1-4-2	血液循環(肺循環、体循環及び胎児循環)の経路と主要な動静脈の名称を理解している。
A-3-1-4-4	循環調節の機序を理解している。
A-3-1-5-1	末梢神経系の種類、走行及び支配領域を理解している。
A-3-1-5-2	体性神経系の構造と機能を理解している。
A-3-1-5-3	自律神経系(交感神経系と副交感神経系)の構造と機能を理解している。
A-3-1-5-4	中枢神経系(高次脳、脳幹、脊髄)の構造と機能(運動機能、感覚機能、高次神経機能、自律機能)及び脳血管の分布を理解している。
A-3-1-5-7	神経の活動電位の発生と伝導の機序を理解している。
A-3-1-5-8	シナプス伝達の機序と神経伝達物質を理解している。
A-3-1-8-2	肺の構造、機能、呼吸運動及びガス運搬の機序を理解している。
CS-10	心肺蘇生等の救命救急処置を身に付ける。
D-1-1-1	歯科治療時の全身的偶発症を理解している。
D-1-2-1-1	局所麻酔の特徴と目的及び種類を理解している。
D-1-2-1-2	局所麻酔薬の分類と、その作用機序を理解している。
D-1-2-1-3	局所麻酔作用に影響を及ぼす因子を理解している。
D-1-2-1-5	局所麻酔の実施法と合併症(偶発症)を理解している。

歯科麻酔学I

開講学科	歯学科			開講年次	4年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	椎葉 俊司						
担当教員	椎葉 俊司, 左合 徹平, 茂山 幸代 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

コアカリキュラム	内容
D-1-2-2-1	精神鎮静法の特徴と目的及び種類を理解している。
D-1-2-2-2	吸入鎮静法に使用する薬剤と適応、禁忌及び合併症(偶発症)を理解している。
D-1-2-2-3	静脈内鎮静法に使用する薬剤と適応、禁忌及び合併症(偶発症)を理解している。
D-1-2-3-1	全身麻酔の概念、種類並びに麻酔時の生体反応を理解している。
D-1-2-3-2	全身麻酔時に使用する薬物とその基本的な薬理作用及び使用機器・器具を理解している。
D-1-2-3-3	全身麻酔の適応と禁忌、合併症(偶発症)及び周術期の管理を理解している。
PR-01	歯科医師としての職責を理解し、倫理観、責任感、品格、思いやりを持って行動できる

テキスト

タイトル	著者	出版社
歯科麻酔学 第8版	福島和昭（監修）	医師薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験（多肢選択問題100点満点）	100%

その他

【オフィスアワー】随時、各講義担当教員へのメールでの受付

【公欠相当の事由に対する処置】科目責任者 椎葉俊司にメールにて連絡（r06shiiba@fa.kyu-dent.ac.jp）

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	歯科麻酔とはなにか、歯科麻酔の役割を学ぶ。	対面講義	椎葉 俊司	歯科麻酔学教科書の当該部分を読むこと。 歯科医学における麻酔学、歯科麻酔の歴史、地域医療における歯科麻酔の役割、麻酔に関連する法と倫理を理解する。 特に歯科麻酔が超高齢社会で担ってゆく役割について考察して欲しい。	501講義室

歯科麻酔学I

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	椎葉 俊司						
担当教員	椎葉 俊司, 左合 徹平, 茂山 幸代 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	麻酔に必要な神経生理学を学ぶ。	対面講義	椎葉 俊司	歯科麻酔学教科書の当該部分を読むこと。麻酔は中枢および末梢神経（知覚神経、体性神経、自律神経）に作用し意識消失、除痛、筋弛緩を得ることを目的の一つとする。従って、神経細胞の興奮・刺激伝導・伝達のメカニズムを熟知する必要がある。局所麻酔において末梢神経抑制、全身麻酔、精神鎮静法では中枢神経抑制メカニズムをイオンチャンネル、神経伝達物質の受容体を関連づけて理解する。	501講義室
3	麻酔に必要な呼吸生理学を学ぶ。	対面講義	椎葉 俊司	歯科麻酔学教科書の当該部分を読むこと。気道の構造、呼吸筋の働き、内外呼吸による酸素、二酸化炭素のガス交換肺およびガス運搬、肺気量分画、機能的残気量、クロージングキャパシティーおよびボリュームを理解する。	501講義室

歯科麻酔学I

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	椎葉 俊司						
担当教員	椎葉 俊司, 左合 徹平, 茂山 幸代 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
4	麻酔に必要な循環生理学を学ぶ。	対面講義	椎葉 俊司	歯科麻酔学教科書の当該部分を読むこと。本講義により、歯科治療中の循環動態の臨床的評価のため心電図および心機能評価について学習する。また虚血性心疾患患者の歯科治療に際し循環モニタおよびその重症度評価ができるようになる。	501 講義室
5	麻酔に必要な腎の生理学と酸塩基平衡を学ぶ。	対面講義	椎葉 俊司	歯科麻酔学教科書の当該部分を読むこと。腎臓の解剖と役割、機能を調整する機構、酸塩基の恒常性、アルカローシス、アシドーシスを理解する。	501 講義室
6	局所麻酔薬の作用機序、局所麻酔薬の種類、麻酔効果の強弱を作用する因子を学ぶ。	対面講義	茂山 幸代	局所麻酔は歯科にとって最も重要な麻酔法であり歯科の真骨頂ともいえる。歯科麻酔学教科書の当該部分を読むこと。局所麻酔薬はナトリウムチャンネルをブロックすることで麻酔効果を発揮する。ブロック機序を理解する。局所麻酔薬にはアミド型とエステル型の2種類が存在する。それぞれの特徴を理解する。局所麻酔薬の作用時間、作用強さを決定する因子を理解する。	501 講義室

歯科麻酔学I

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	椎葉 俊司						
担当教員	椎葉 俊司, 左合 徹平, 茂山 幸代 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
7	局所麻酔の種類、血管収縮薬が全身に与える影響、局所麻酔の偶発症を学ぶ。	対面講義	茂山 幸代	歯科麻酔学教科書の当該部分を読むこと。局所麻酔の手技として浸潤麻酔、伝達麻酔、表面麻酔がある。それぞれの方法と奏功させるために技術を理解する。局所麻酔薬には血管収縮薬が添加されている。添加されている理由とそれが全身に与える影響について理解する。局所麻酔時にともなっておこる可能性がある合併症を理解する。	501講義室
8	精神鎮静法の種類、適応症、禁忌、各鎮静法の利点、欠点を学ぶ。	対面講義	茂山 幸代	歯科麻酔学教科書の当該部分を読むこと。精神鎮静法は笑気を用いた吸入鎮静法と静脈麻酔を用いた静脈内鎮静法がある。2種類の鎮静法の利点、欠点を理解する。また、鎮静法を施行してはいけない禁忌症例を理解する。	501講義室
9	精神鎮静法に使用される薬剤の薬理効果と鎮静度の把握方法について学ぶ。	対面講義	茂山 幸代	歯科麻酔学教科書の当該部分を読むこと。精神鎮静法に使用される薬剤は中枢神経に作用して鎮静効果を発揮する。使用薬剤の薬理作用とそれぞれの薬理作用に合致した投与方法を理解する。を理解する。また、鎮静レベルを把握する方法を理解する。	

歯科麻酔学I

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	椎葉 俊司						
担当教員	椎葉 俊司, 左合 徹平, 茂山 幸代 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
10	全身麻酔に期待する効果、全身麻酔の手順、全身麻酔薬の種類について学ぶ。	対面講義	左合 徹平	導入、維持、覚醒、気管内挿管吸入麻酔薬、静脈麻酔薬の項読むこと。全身麻酔を施行する目的は何か理解する（意識の喪失、鎮痛、筋弛緩）。全身麻酔のおおよその流れを理解する。全身麻酔薬には吸入麻酔薬と静脈麻酔薬がある。それぞれの特徴を理解する。	501講義室
11	全身麻酔に使用される筋弛緩薬、鎮痛薬について学ぶ。	対面講義	左合 徹平	歯科麻酔学教科書の当該部分を読むこと。筋弛緩薬は骨格筋を弛緩させる効果がある。筋弛緩薬は何か、どのような作用機序で効果を発揮するのか、筋弛緩のモニタリング、筋弛緩の拮抗薬について理解する。全身麻酔中の鎮痛には麻薬が使用される。その効果と副作用について理解する。	501講義室
12	全身麻酔における気道確保、気管内挿管を学ぶ。	対面講義	左合 徹平	歯科麻酔学教科書の当該部分を読むこと（気管内挿管の難易度推定法、DAM）。筋弛緩薬、麻薬を使用することで全身麻酔中は呼吸が抑制される。呼吸抑制に対してどのように対応するかを理解する。	501講義室

歯科麻酔学I

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	椎葉 俊司						
担当教員	椎葉 俊司, 左合 徹平, 茂山 幸代 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
13	全身管理上問題となる疾患を学ぶ。	対面講義	左合 徹平	歯科麻酔学書の当該部分を読むこと。超高齢社会を迎え何らかの基礎疾患を有する有病者が増加傾向にある。全身管理を行うにあたっては特別な配慮が必要な疾患もある。虚血性心疾患、高血圧症、糖尿病、脳血管障害後、慢性腎臓病、気管支喘息などについての配慮を理解する。	501講義室
14	周術期管理に必要な術前検査とその意味、検査結果を踏まえた管理法を学ぶ。	対面講義	左合 徹平	歯科麻酔学書の当該部分を読むこと（心電図、スパイログラム、周術期管理）。全身麻酔前には血液検査、胸部X線写真、心電図、基礎疾患の情報（現在の病態、内服薬）、気道確保の困難性、心理的状态、家庭環境	501講義室
15	麻酔計画を含めた周術期管理計画を立案する。	対面講義	椎葉 俊司	これまでの講義の概要を復習をする。臨床でよくある全身麻酔、精神鎮静法症例を提示する。その情報をもとに自ら麻酔方法を立案する。麻酔計画に必要な情報を理解する。	501講義室

歯科麻酔学II

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・実	時間数	56	単位数	2.5
科目責任者	椎葉 俊司						
担当教員	椎葉 俊司, 左合 徹平, 茂山 幸代 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業の概要

歯科麻酔は手術中の全身麻酔や精神鎮静法を施行するのみでなく術前、術後の管理も担当する。この手術および麻酔の前後も含めた時期を周術期と呼ぶ。それぞれの周術期をよく理解し、適切に対応することが患者の安全、苦痛の減少、早期離床につながる。特に高齢社会を迎え何らかの全身疾患を有する患者が増加傾向にあることより周術期管理には特別な配慮が必要である。本科目は歯科領域の手術を行う上での周術期麻酔管理を習得することを目的とする。

学生の到達目標

- ① 歯科治療における全身的偶発症を説明できる。
- ② 輸液、輸血、輸血削減法について説明できる。
- ③ 障害者に対する麻酔管理を説明できる。
- ④ 日帰り全身麻酔の適応と注意点を説明できる。
- ⑤ 呼吸器合併症を有する患者の全身麻酔時の注意すべき点を説明できる。
- ⑥ 循環器合併症を有する患者の全身麻酔時の注意すべき点を説明できる。
- ⑦ 内分泌代謝合併症を有する患者の全身麻酔時の注意すべき点を説明できる。
- ⑧ 小児に対する全身麻酔時の注意すべき点を説明できる。
- ⑨ 高齢者に対する全身麻酔時の注意すべき点を説明できる。
- ⑩ 障害者に対する全身麻酔時の注意すべき点を説明できる。
- ⑪ 心疾患を有する患者の全身麻酔時の注意すべき点を説明できる。
- ⑫ 術前検査項目と目的を理解できる。
- ⑬ 麻酔回路の始業点検、手術室内での医療安全について説明できる。
- ⑭ 後疼痛管理、緩和ケア管理について説明できる。
- ⑮ 口腔外科手術に特有な問題点を説明できる。
- ⑯ アナフィラキシーショックについて説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-3-1-6-4	疼痛の種類、発生機序及び制御機構を理解している。
A-3-3-9	口腔、顎顔面領域の体性感覚と疼痛の発生機序及び制御機構を理解している。
A-5-4-6	ショックの成因と種類を理解している。
CS-06	高齢者、有病者、障害者等の配慮が必要な患者に対応できる。
D-1-1-1	歯科治療時の全身的偶発症を理解している。
D-1-2-1-5	局所麻酔の実施法と合併症(偶発症)を理解している。
D-1-2-2-4	精神鎮静法の周術期の管理を理解している。
D-1-2-3-3	全身麻酔の適応と禁忌、合併症(偶発症)及び周術期の管理を理解している。
D-2-1-2-1	診療室における小児患者の心理と行動を理解している。
D-2-3-3	血圧、脈拍数、呼吸数、体温の測定方法と異常所見を理解している。
D-2-3-8	患者(小児、妊産婦、高齢者を含む)の全身状態の評価を理解している。
D-3-1-9-2	神経障害性疼痛の原因、症状及び治療法を理解している。
D-5-4-6	周術期の管理の目的と意義を理解している。
E-1-3-3	薬物療法による疼痛管理ができる。

歯科麻酔学II

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・実	時間数	56	単位数	2.5
科目責任者	椎葉 俊司						
担当教員	椎葉 俊司, 左合 徹平, 茂山 幸代 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

テキスト

タイトル	著者	出版社
歯科麻酔学 第8版	福島和昭 監修	医師薬出版

参考書

タイトル	著者	出版社
口腔顔面痛の診断と治療ガイドブック 第3版	日本口腔顔面痛学会（編集）	医歯薬出版
スペシャルニーズデンティストリー 障害者歯科 第3版	日本障害者歯科学会（編集）	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

【オフィスアワー】 随時、各講義担当教員へのメールでの受付

【公欠相当の事由に対する処置】 科目責任者 椎葉俊司にメールにて連絡（r06shiiba@fa.kyu-dent.ac.jp）

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	歯科治療時の全身的偶発症とその対処法を学ぶ。	対面講義	茂山 幸代	歯科麻酔学教科書の当該部分を読むこと。 。血管迷走神経反射、過換気症候群、局所麻酔アレルギー（アナフィラキシー、アナフィラキシー様反応）、局所麻酔中毒、血管収縮薬に対する反応。歯科治療時に生じ得る偶発症および偶発症が生じた時の対応について学理解する。	501講義室

歯科麻酔学II

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・実	時間数	56	単位数	2.5
科目責任者	椎葉 俊司						
担当教員	椎葉 俊司, 左合 徹平, 茂山 幸代 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	偶発症の対応法を立案する。	対面講義	椎葉 俊司	歯科診療時の偶発症について概要を復習する。実際に発症した有害事象について情報収集し、病態を推察し対応策を理解する。	501講義室
3	障害者の麻酔管理を学ぶ	対面講義	茂山 幸代	歯科麻酔学書の当該部分を読むこと。障害者の麻酔管理の問題点を身体的および精神的覚口調を踏まえて理解する。	501講義室
4	高齢者の麻酔管理を学ぶ	対面講義	椎葉 俊司	歯科麻酔学書の当該部分を読むこと。高齢者の麻酔管理の問題点を身体的および心理的問題を踏まえて理解する。	501講義室
5	日帰り全身麻酔を学ぶ	対面講義	茂山 幸代	歯科麻酔学書の当該部分を読むこと。日帰り全身麻酔の適応となる症例と問題点（帰宅基準）について理解する。	501講義室
6	口腔外科手術と全身麻酔の特異性を学ぶ	対面講義	椎葉 俊司	歯科麻酔学書の当該部分を読むこと。体幹、四肢などの手術と異なって頭頸部手術、特に歯科では導入、術後に特別の配慮が必要な症例が多い。顎変手術、口腔がん、口腔低蜂窩織炎などの術前後の呼吸管理上の問題点（CVCI、警備挿管、開口障害）を理解する。	501講義室

歯科麻酔学II

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・実	時間数	56	単位数	2.5
科目責任者	椎葉 俊司						
担当教員	椎葉 俊司, 左合 徹平, 茂山 幸代 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
7	訪問歯科診療における歯科麻酔の有用性を学ぶ。	対面講義	椎葉 俊司	歯科麻酔学書の当該部分を読むこと。訪問診療では身体的問題があり動けない患者を対象とすることが多い。全身的な把握が適切になされていないことが多い。また、脳血管障害後の患者が多いことより、意識レベルの低下、嚥下障害による誤嚥の危険性が高い。訪問診療における患者の状態把握法、注意点について理解する。	501講義室
8	小児の麻酔管理の特異性を学ぶ。	対面講義	茂山 幸代	歯科麻酔学書の当該部分を読むこと。小児は小さな大人ではない。解剖学的特徴、心理的特徴を理解した上での麻酔管理が必要である。	501講義室
9	痛みとは何か学ぶ。	対面講義	左合 徹平	歯科麻酔学書の当該部分を読むこと。痛みとは何か（痛みの定義）、急性痛と慢性痛、感覚を担当する神経線維、痛みの分類、痛みの感作を理解する。	501講義室

歯科麻酔学II

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・実	時間数	56	単位数	2.5
科目責任者	椎葉 俊司						
担当教員	椎葉 俊司, 左合 徹平, 茂山 幸代 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
10	歯科で遭遇する痛みを学ぶ	対面抗議	左合 徹平	口腔顔面領域に起こる歯、歯周組織が原因で起こる痛みである歯原性疼痛以外の疼痛（非歯原性疼痛）を実際の症例を交えて解説する。その発症メカニズムと診断に有効な症状、治療法を理解して診療に役立てる。	501講義室
11	歯科における三叉神経障害による知覚麻痺の評価法と治療法を学ぶ	対面講義	左合 徹平	歯科麻酔学書の当該部分を読むこと。抜歯、口腔インプラント、歯内療法、局所麻酔などの歯科治療が原因で発症する三叉神経障害によって、障害神経が近くを担当する部位に麻痺を生じることがある。三叉神経障害が発症したときに生じる症状、評価法、治療法を理解する。星状神経節ブロックの手技、適応についても理解する。	501講義室
12	術後鎮痛と緩和ケア術後について学ぶ	対面講義	左合 徹平	歯科麻酔学書の当該部分を読むこと。痛みの評価（VAS、NRSなど）術後の痛み（アセトアミノフェン、麻薬）の管理およびがん性疼痛の緩和ケア（全身的な痛み、麻薬による鎮痛、鎮痛補助薬）での医療について学ぶ。	501講義室

歯科麻酔学II

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・実	時間数	56	単位数	2.5
科目責任者	椎葉 俊司						
担当教員	椎葉 俊司, 左合 徹平, 茂山 幸代 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
13	痛みおよび麻痺の治療計画を立案する。	対面抗議	左合 徹平	痛み（片頭痛、心臓性歯痛。三叉神経痛）、麻痺（顔面神経麻痺、三叉神経麻痺）に関する講義の概要を復習する。慢性疼痛、および抜歯、口腔インプラントによる三叉神経麻痺の症例を提示し、治療計画を立案する方法を理解する。	501講義室
14	一次救急救命処置（Basic Life Support、BLS）を学ぶ。	対面講義	茂山 幸代	歯科麻酔学書の当該部分を読むこと。超高齢社会の現代、歯科においても心肺停止（VF、plusless VT、PEA、Asystole）は発症する可能性は十分にある。歯科医療を行う歯科医師は緊急事態に質の高いBLSを提供する必要がある。適正な胸骨圧迫、人工呼吸、気道確保、窒息の解除を理解する。	501講義室
15	歯科診療におけるリスクマネジメント	対面講義	椎葉 俊司	歯科麻酔学書の当該部分を読むこと。医療事故の発生しやすい状況と歯科治療、歯科麻酔によって起こりやすい医療事故とその予防法について理解する。インシデント報告、5S、KYTトレーニング。	501講義室

歯科麻酔学II(実習)

開講学科	歯学科			開講年次	4年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	26	単位数	0.5
科目責任者	左合 徹平						
担当教員	左合 徹平, 椎葉 俊司, 茂山 幸代 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業の概要

医療の目まぐるしい進歩に伴い、歯科医院にも様々な疾患を持った患者が来院するようになってきた。成人では高血圧症や心臓病、糖尿病や脳梗塞など、小児では喘息やアレルギー疾患などを有する患者が増加しており、歯科診療において患者背景を十分に把握し、慎重に対処することが要求されてきている。そればかりか、患者が急変した時の対応も、今後は必要とされてくるであろう。本実習では歯科医師が医療者として、より患者を把握し、疾患を理解し、適切な対応策を取ることができるよう、一次救命処置などの実習を行う。個々の学生が体験する実習を行なうため、少人数でのシミュレーション学習となる。その他、全身管理に関連した国家試験既出問題の演習を行う。実習と演習はローテーションで行っていく。習得した知識と技術は筆記試験にて評価する。

学生の到達目標

- ①歯科治療における全身管理の基本を理解する。
- ②救急処置の基本を身につける。
- ③歯科治療時に注意を要する全身疾患を説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
CS-10	心肺蘇生等の救命救急処置を身に付ける。
D-1-1-3	救急処置に用いられる薬物を列挙し、その作用機序と適応を理解している。

テキスト

タイトル	著者	出版社
歯科麻酔学実習書	九州歯科大学 歯科侵襲 制御学分野	九州歯科大学 歯科侵襲 制御学分野

参考書

タイトル	著者	出版社
第8版 歯科麻酔学	福島和昭監 修	医歯薬出版 株式会社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
筆記試験（救急蘇生、歯科麻酔関連国家試験問題）	80%
歯科麻酔学関連国家試験問題レポート	20%

その他

歯科麻酔学実習書はMoodle上でアップしているので、各自ダウンロードすること。なお、実習書最後のページに掲載されているケース表は各自プリントアウトし、各実習日ごとに検印をもらうこと。

【オフィスアワー】講義の前後に口頭で、またはメールで受け付ける。 担当者：左合

歯科麻酔学II(実習)

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	26	単位数	0.5
科目責任者	左合 徹平						
担当教員	左合 徹平, 椎葉 俊司, 茂山 幸代 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	実習内容説明 実習内容について学修する。静脈路確保、救急蘇生の手順を学修する。	講義	左合 徹平		501講義室 相互実習室 Moodle
2~6	実習前半 静脈路確保（2班ずつ）解剖学的知識、輸液回路の組み立て、静脈路確保の実際（マネキン使用） 演習（上記以外の班） 歯科麻酔関連国試過去問 全身管理に関連した過去の国家試験についてのレポート作成	静脈路確保： 実習形式 国試過去問： e-learning形式	左合 徹平 椎葉 俊司 茂山 幸代		相互実習室 501講義室 Moodle
	実習前半 静脈路確保（2班ずつ）解剖学的知識、輸液回路の組み立て、静脈路確保の実際（マネキン使用） 演習（上記以外の班） 歯科麻酔関連国試過去問 全身管理に関連した過去の国家試験についてのレポート作成	静脈路確保： 実習形式 国試過去問： e-learning形式	左合 徹平 椎葉 俊司 茂山 幸代		501講義室 相互実習室 Moodle
	実習前半 静脈路確保（2班ずつ）解剖学的知識、輸液回路の組み立て、静脈路確保の実際（マネキン使用） 演習（上記以外の班） 歯科麻酔関連国試過去問 全身管理に関連した過去の国家試験についてのレポート作成	静脈路確保： 実習形式 国試過去問： e-learning形式	左合 徹平 椎葉 俊司 茂山 幸代		501講義室 相互実習室 Moodle
	実習前半 静脈路確保（2班ずつ）解剖学的知識、輸液回路の組み立て、静脈路確保の実際（マネキン使用） 演習（上記以外の班） 歯科麻酔関連国試過去問 全身管理に関連した過去の国家試験についてのレポート作成	静脈路確保： 実習形式 国試過去問： e-learning形式	左合 徹平 椎葉 俊司 茂山 幸代		501講義室 相互実習室 Moodle

歯科麻酔学II(実習)

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	26	単位数	0.5
科目責任者	左合 徹平						
担当教員	左合 徹平, 椎葉 俊司, 茂山 幸代 ※氏名の後ろに (診療科名) の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
	実習前半 静脈路確保 (2班ずつ) 解剖学的知識、輸液回路の組み立て、静脈路確保の実際 (マネキン使用) 演習 (上記以外の班) 歯科麻酔関連国試過去問 全身管理に関連した過去の国家試験についてのレポート作成	静脈路確保 : 実習形式 国試過去問 : e-learning形式	左合 徹平 椎葉 俊司 茂山 幸代		501講義室 相互実習室 Moodle
7~11	実習後半 救急蘇生 (2班ずつ) 安全の確認、意識の確認、救急要請、呼吸の確認、CPR施行、AEDの使用 (マネキン使用) 演習 (上記以外の班) 歯科麻酔関連国試過去問 全身管理に関連した過去の国家試験についてのレポート作成	救急蘇生 : 実習形式 国試過去問 : e-learning形式	左合 徹平 椎葉 俊司 茂山 幸代		相互実習室 501講義室 Moodle
	実習後半 救急蘇生 (2班ずつ) 安全の確認、意識の確認、救急要請、呼吸の確認、CPR施行、AEDの使用 (マネキン使用) 演習 (上記以外の班) 歯科麻酔関連国試過去問 全身管理に関連した過去の国家試験についてのレポート作成	救急蘇生 : 実習形式 国試過去問 : e-learning形式	左合 徹平 椎葉 俊司 茂山 幸代		501講義室 相互実習室 Moodle
	実習後半 救急蘇生 (2班ずつ) 安全の確認、意識の確認、救急要請、呼吸の確認、CPR施行、AEDの使用 (マネキン使用) 演習 (上記以外の班) 歯科麻酔関連国試過去問 全身管理に関連した過去の国家試験についてのレポート作成	救急蘇生 : 実習形式 国試過去問 : e-learning形式	左合 徹平 椎葉 俊司 茂山 幸代		501講義室 相互実習室 Moodle

歯科麻酔学II(実習)

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	26	単位数	0.5
科目責任者	左合 徹平						
担当教員	左合 徹平, 椎葉 俊司, 茂山 幸代 ※氏名の後ろに(診療科名)の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
	実習後半 救急蘇生(2班ずつ) 安全の確認、意識の確認、救急要請、呼吸の確認、CPR施行、AEDの使用(マネキン使用) 演習(上記以外の班) 歯科麻酔関連国試過去問 全身管理に関連した過去の国家試験についてのレポート作成	救急蘇生：実習形式 国試過去問：e-learning形式	左合 徹平 椎葉 俊司 茂山 幸代		501講義室 相互実習室 Moodle
	実習後半 救急蘇生(2班ずつ) 安全の確認、意識の確認、救急要請、呼吸の確認、CPR施行、AEDの使用(マネキン使用) 演習(上記以外の班) 歯科麻酔関連国試過去問 全身管理に関連した過去の国家試験についてのレポート作成	救急蘇生：実習形式 国試過去問：e-learning形式	左合 徹平 椎葉 俊司 茂山 幸代		501講義室 相互実習室 Moodle
12	筆記試験(本試験) 静脈路確保、救急蘇生、歯科麻酔関連国試過去問に関連した内容の筆記試験を行う。	筆記試験(全員)	左合 徹平 椎葉 俊司 茂山 幸代		相互実習室 501講義室 601講義室 Moodle
13	筆記試験(再試験) 筆記試験における不合格者に対して、再試験を行う。	筆記試験(該当者)	左合 徹平		501講義室 Moodle

口腔外科学I

開講学科	歯学科			開講年次	4年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	60	単位数	4
科目責任者	笹栗 正明						
担当教員	笹栗 正明, 土生 学, 高橋 理, 三次 翔, 田部 士郎, 原口 和也, 森岡 政彦, 柳沼 樹, 福田 晃, 吉岡 泉, 吉賀 大午						
	※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業の概要

口腔外科学は、口腔領域に発生する齲蝕と歯周病以外の各種疾患に対して主として外科的手法を用いて診断治療を行う学問である。口腔外科における各種疾患について、その概念、成因、病態、治療法を理解する。具体的には、顎顔面の外傷、炎症性疾患（消炎外科療法）、嚢胞性疾患、良性腫瘍、悪性腫瘍（外科療法）などについて理解し、さらに小手術学についてもその基本術式の知識と技能を学ぶ。また、顎骨欠損に対する骨接合材、骨移植、皮弁などを用いた顎骨再建方法やインプラント、顎顔面補綴、骨造成などを含めた先端医療としての口腔機能回復方法の概要を学ぶ。

学生の到達目標

- ①一般的な骨折の種類と特徴および治癒過程を説明できる。
- ②歯の外傷と顎顔面骨折の原因と種類を列挙できる。
- ③外傷時の検査法を列挙できる。
- ④歯の外傷の症状と検査法を列挙し、診断と治療法を説明できる。
- ⑤歯槽骨骨折、上顎骨骨折および下顎骨骨折の症状と検査法を列挙し、診断と治療法を説明できる。
- ⑥骨折の治療原則を説明できる。
- ⑦軟組織損傷を分類し、それぞれの症状と処置法を説明できる。
- ⑧口唇・口蓋裂の病態と治療方針を説明できる。
- ⑨顎変形症を概説できる。
- ⑩顎骨に発生する歯源性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。
- ⑪顎骨に発生する非歯源性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。
- ⑫軟組織に発生する嚢胞の種類と特徴を列挙できる。
- ⑬口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の一般的な症状、診断法および治療法を概説できる。
- ⑭歯源性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。
- ⑮非歯源性良性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。
- ⑯口腔・顎顔面領域に発生する腫瘍の一般的な症状、診断法（組織診、画像診断）および治療法を説明できる。
- ⑰エナメル上皮腫の特徴、症状および治療法を概説できる。
- ⑱口腔癌の特徴、予防、症状および治療法を概説できる。
- ⑲腫瘍類似疾患の種類と特徴を列挙できる。
- ⑳エプーリスの特徴、症状および治療法を概説できる。
- ㉑顎関節疾患（外傷、脱臼、顎関節強直症）を概説できる。
- ㉒抜歯の適応症と禁忌症を説明できる。
- ㉓小手術の偶発症と合併症を説明できる。
- ㉔抜歯に必要な器具の用法と基本手技を説明できる。
- ㉕粘膜の切開、剥離に必要な器具の用法を説明できる。
- ㉖縫合と止血に必要な器具の用法を説明できる。
- ㉗手指と術野の消毒について説明できる。
- ㉘簡単な抜歯ができる。
- ㉙粘膜の切開、剥離ができる。
- ㉚単純縫合、抜糸ができる。
- ㉛埋伏智歯の抜歯法を説明できる。

口腔外科学I

開講学科	歯学科			開講年次	4年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	60	単位数	4
科目責任者	笹栗 正明						
担当教員	笹栗 正明, 土生 学, 高橋 理, 三次 翔, 田部 士郎, 原口 和也, 森岡 政彦, 柳沼 樹, 福田 晃, 吉岡 泉, 吉賀 大午						
	※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
E-2-4)-(1)-①	口腔・頭蓋・顎顔面に症状を示す先天異常を説明できる。
E-2-4)-(1)-②	口唇裂・口蓋裂の病態と治療方針を説明できる。
E-2-4)-(1)-③	顎変形症の病態と治療法を説明できる。
E-2-4)-(1)-④	軟組織の異常を説明できる。
E-2-4)-(2)-①	外傷の種類、特徴及び治療過程を説明できる。
E-2-4)-(2)-②	外傷の治療方針（治療の優先順位）を説明できる。
E-2-4)-(2)-③	歯の外傷と歯槽骨骨折の原因、種類、症状、診断法及び治療法を説明できる。
E-2-4)-(2)-④	顎顔面骨折の原因、種類、症状、診断法及び治療法を説明できる。
E-2-4)-(2)-⑤	軟組織損傷の分類、症状及び処置法を説明できる。
E-2-4)-(5)-①	口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の種類と特徴を説明できる。
E-2-4)-(5)-②	口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の症状、診断法及び治療法を説明できる。
E-2-4)-(6)-①	口腔・顎顔面領域に発生する腫瘍の種類と特徴を説明できる。
E-2-4)-(6)-②	口腔・顎顔面領域に発生する良性腫瘍の一般的な症状、診断法（細胞診、組織診、画像診断）及び治療法を説明できる。
E-2-4)-(6)-③	口腔・顎顔面領域の悪性腫瘍の一般的な症状、診断法（細胞診、組織診、画像診断）及び治療法を説明できる。
E-2-4)-(6)-④	腫瘍類似疾患の種類と特徴を説明できる。
E-2-4)-(6)-⑤	前癌病変の特徴、症状及び治療法を説明できる。
E-2-4)-(6)-⑥	前癌状態の種類と特徴を列挙できる。
E-2-4)-(8)-⑤	腫瘍類似疾患を概説できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
印刷用資料をMoodleに掲載する。		
口腔外科学	白砂兼光、古郷幹彦編	医歯薬出版

参考書

タイトル	著者	出版社
コンサイス口腔外科学	内山健志、大関 悟、近藤寿郎、坂下英明編	学建書院
インプラント治療の骨造成法-基礎知識と臨床テクニック	高橋哲	医学情報社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
中間試験	50%
定期試験	50%

口腔外科学I

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	60	単位数	4
科目責任者	笹栗 正明						
担当教員	笹栗 正明, 土生 学, 高橋 理, 三次 翔, 田部 士郎, 原口 和也, 森岡 政彦, 柳沼 樹, 福田 晃, 吉岡 泉, 吉賀 大午						
	※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

その他

【オフィスアワー（学習相談）】各担当教員：講義の前後、またはメールで受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	口腔外科学：総論 口腔外科学の概要と歴史を学習し、口腔外科分野が口腔外科と口腔内科とに分かれた社会的背景を理解する。	講義スライド	笹栗 正明	[事前事後学修] 教科書と資料の学修 口腔外科学4-38P	501 講義室
2	外傷（1）：総論・合併損傷 顎顔面外傷時に必要な全身の評価と初期治療を学習する。特に高エネルギー外傷時の対応を理解する。	講義スライド	三次 翔	[事前事後学修] 教科書と資料の学修 口腔外科学85-97P	501 講義室
3	外傷（2）：軟組織・歯の損傷 顎顔面の軟組織損傷の原因や病態における分類、基本的治療法を学習する。歯の破折、脱臼に対する診断と治療法を学習する。	講義スライド	三次 翔	[事前事後学修] 教科書と資料の学修 口腔外科学98-99P	501 講義室
4	外傷（3）：骨折（1） 歯槽骨骨折、下顎骨骨折、関節突起骨折の診断と治療法を学習する。	講義スライド	三次 翔	[事前事後学修] 教科書と資料の学修 口腔外科学100-113P	501 講義室
5	外傷（4）：骨折（2） 上顎骨骨折、頬骨骨折、眼窩底骨折ならびに広範な顔面骨骨折の診断と治療法を学習する。	講義スライド	三次 翔	[事前事後学修] 教科書と資料の学修 口腔外科学114-124P	501 講義室
6	嚢胞性疾患（1） 各種顎骨内の嚢胞（歯源性・非歯源性）の特徴と臨床病態ならびに治療法について学習する。	講義スライド	原口 和也	[事前事後学修] 教科書と資料の学修 口腔外科学297-305P	501 講義室
7	嚢胞性疾患（2） 顎顔面の軟組織の嚢胞ならびに偽嚢胞などの類似疾患の特徴と臨床病態ならびに治療法について学習する。	講義スライド	原口 和也	[事前事後学修] 教科書と資料の学修 口腔外科学306-326P	501 講義室
8	歯源性良性腫瘍（1） 各種歯源性腫瘍の特徴と臨床病態ならびに治療法について学習する。	講義スライド	高橋 理	[事前事後学修] 教科書と資料の学修 口腔外科学199-213P	501 講義室

口腔外科学I

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	60	単位数	4
科目責任者	笹栗 正明						
担当教員	笹栗 正明, 土生 学, 高橋 理, 三次 翔, 田部 士郎, 原口 和也, 森岡 政彦, 柳沼 樹, 福田 晃, 吉岡 泉, 吉賀 大午						
	※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
9	歯原性良性腫瘍(2) 歯原性腫瘍の中でも特に重要度の高いエナメル上皮腫について詳しく学習する。臨床的分類だけでなく病理組織学的分類とも絡めて治療について学習する。	講義スライド	高橋 理	[事前事後学修] 教科書と資料の学修 口腔外科学214-220P	501 講義室
10	非歯原性良性腫瘍(1) 非歯原性良性腫瘍の分類、診断および治療について学習する。	講義スライド	福田 晃	[事前事後学修] 教科書と資料の学修 口腔外科学227-238P	501 講義室
11	非歯原性良性腫瘍(2) 口腔顎顔面領域に発生する代表的な非歯原性腫瘍について、特徴と臨床病態ならびに治療について学習する。	講義スライド	福田 晃	[事前事後学修] 教科書と資料の学修 口腔外科学239-249P	501 講義室
12	口腔癌 (1) 上皮性悪性腫瘍、特に癌種について診断、病期分類、治療についての概要を学習する。	講義スライド	吉賀 大午	[事前事後学修] 教科書と資料の学修 口腔外科学250-260P	501 講義室
13	口腔癌 (2) 間葉性悪性腫瘍・その他の悪性疾患について分類、診断、治療について学習する。	講義スライド	吉賀 大午	[事前事後学修] 教科書と資料の学修 口腔外科学261-296P	501 講義室
14	口腔癌 (3) 腫瘍類似疾患について分類、特徴、臨床病態ならびに治療について学習する。	講義スライド	吉賀 大午	[事前事後学修] 教科書と資料の学修 口腔外科学651-683p	501 講義室
15	口腔癌 (4) 悪性腫瘍の治療法について手術療法を中心に詳しく学習する。	講義スライド	土生 学	[事前学修] 教科書と資料の学修 口腔外科学684-716P	501 講義室
16	外傷・嚢胞・良性腫瘍についてのまとめ これまでの講義のまとめを行い、確認テストを行う。		笹栗 正明	[事前事後学修] 教科書と資料の学修	501 講義室
17	小手術学：総論 滅菌、消毒、小手術用器具の名称、扱い方などを学習する。	講義スライド	田部 士郎	[事前事後学修] 教科書と資料の学修 口腔外科学489-495P	501 講義室

口腔外科学I

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	60	単位数	4
科目責任者	笹栗 正明						
担当教員	笹栗 正明, 土生 学, 高橋 理, 三次 翔, 田部 士郎, 原口 和也, 森岡 政彦, 柳沼 樹, 福田 晃, 吉岡 泉, 吉賀 大午						
	※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
18	小手術学：各論（1） 切開法、縫合法、止血法など手術の基本となる手技について学習する。	講義スライド	田部 士郎	[事前事後学修] 教科書と資料の学修 口腔外科学496-502P	501 講義室
19	小手術学：各論（2） 小帯伸展術、歯根端切除術、骨瘤除去術など行われる頻度の高い小手術について術式と注意点を学習する。	講義スライド	柳沼 樹	[事前事後学修] 教科書と資料の学修 口腔外科学503-505P	501 講義室
20	唇顎口蓋裂（1） さまざまな先天異常について学習する。特に体表奇形として頻度の高い唇顎口蓋裂の発生、病態、治療の流れの概要について学習する。	講義スライド	笹栗 正明	[事前事後学修] 教科書と資料の学修 口腔外科学43-59P	501 講義室
21	唇顎口蓋裂（2） 唇顎口蓋裂の治療法について詳しく学習する。口唇形成術、口蓋形成術、その他の治療について学習する。	講義スライド	笹栗 正明	[事前事後学修] 教科書と資料の学修 口腔外科学596-615P	501 講義室
22	再建（1） さまざまな疾患で形態や機能を損なわれた場合の再建方法について学習する。特に顎顔面の再建手術について詳しく学習する。	講義スライド	笹栗 正明	[事前事後学修] 教科書と資料の学修 口腔外科学527-563P	501 講義室
23	再建（2） さまざまな疾患で形態や機能を損なわれた場合の手術以外の再建方法について学習する。	講義スライド	笹栗 正明	[事前事後学修] 教科書と資料の学修 口腔外科学564-573P	501 講義室
24	顎変形症（1） 顎変形症の分類、診断、治療法の概要について学習する。	講義スライド	吉岡 泉	[事前事後学修] 教科書と資料の学修 口腔外科学60-63P	501 講義室
25	顎変形症（2） 顎変形症の手術法についてそれぞれの利点、欠点、適応症を学習する。	講義スライド	吉岡 泉	[事前事後学修] 教科書と資料の学修 口腔外科学616-650P	501 講義室
26	抜歯（1） 抜歯術について適応、禁忌、偶発症などを総論として学習する。	講義スライド	柳沼 樹	[事前事後学修] 教科書と資料の学修 口腔外科学505-510P	501 講義室

口腔外科学I

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	60	単位数	4
科目責任者	笹栗 正明						
担当教員	笹栗 正明, 土生 学, 高橋 理, 三次 翔, 田部 士郎, 原口 和也, 森岡 政彦, 柳沼 樹, 福田 晃, 吉岡 泉, 吉賀 大午						
	※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
27	拔牙（2）拔牙術の基本となる普通拔牙について学習する。使用器具を含めた準備から術前、術中、術後の注意点について学習する。	講義スライド	森岡 政彦	[事前事後学修] 教科書と資料の学修 口腔外科学511-515P	501 講義室
28	拔牙（3）粘膜骨膜弁を形成したり、骨や歯を削除、分割して行う難拔牙や埋伏歯拔牙について学習する。	講義スライド	森岡 政彦	[事前事後学修] 教科書と資料の学修 口腔外科学516-526P	501 講義室
29	インプラント（1）さまざまなインプラントについて歴史的な発展の経緯を学習し、現在のインプラントについて総論的に学習する。	講義スライド	土生 学	[事前事後学修] 教科書と資料の学修 口腔外科学574-577P	501 講義室
30	インプラント（2）インプラントについて各論的に学習する。特にインプラントにあたり骨の造成などが必要な症例に対する対処法を学習する。	講義スライド	土生 学	[事前事後学修] 教科書と資料の学修 口腔外科学578-595P	501 講義室

口腔外科学II

開講学科	歯学科			開講年次	4年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	笹栗 正明						
担当教員	笹栗 正明, 三次 翔, 土生 学, 高橋 理, 原口 和也, 田部 士郎, 森岡 政彦, 柳沼 樹, 福田 晃, 吉岡 泉, 大谷 泰志, 鶴島 弘基, 西牟田 文香, 早川 真奈, 坂口 修, 吉賀 大午						
	※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業の概要

歯科臨床において遭遇する頻度の高い口腔外科小手術に関する実習を行う。口腔外科小手術に必要な基本的知識と技能を身につける。また、口腔・顎顔面領域の診察、検査、および同領域の診断、治療を行うために必要な基本的な知識、技能および態度を身につける。授業は実習書およびビデオによる講義を行った後、模型や相互実習にて手技を習得する。

学生の到達目標

- ① 診察、検査、診断および治療に必要な器材を説明できる。
- ② 清潔に配慮しながら手洗いおよび滅菌グローブ装着ができる。
- ③ 頭頸部(顎・顔面・頸部)の診察を行うことができる。
- ④ 外科結びを行うことができる。
- ⑤ 抜歯に必要な器具の準備および普通抜歯、粘膜下埋伏抜歯を行うことができる。
- ⑥ 脱臼歯牙固定を行うことができる。
- ⑦ 歯根端切除術を行うことができる。
- ⑧ 骨隆起除去を行うことができる。
- ⑨ バイタルサインを理解し、血圧・脈拍測定ができる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
F-1-2)-④	標準予防策 (standard precautions) を実践できる。
F-2-2)-①	バイタルサイン (血圧・脈拍・呼吸・体温) を測定し、評価できる。
F-2-2)-③	頭頸部の状態の診察ができる (視診、触診、打診、聴診、温度診)。
F-3-1)-①	手洗いと滅菌手袋の装着ができる。
F-3-1)-②	歯科治療に必要な器材の準備、片付けができる。
F-3-5)-②	基本的な切開・縫合・抜糸を実施できる。
G-3-②	永久歯の単純抜歯を実施できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
九州歯科大学口腔外科学実習書		(配布)

参考書

タイトル	著者	出版社
口腔外科学	白砂兼光、古郷幹彦編集	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
実習試験 (OSCE形式)	100%

口腔外科学II

開講学科	歯学科			開講年次	4年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	笹栗 正明						
担当教員	笹栗 正明, 三次 翔, 土生 学, 高橋 理, 原口 和也, 田部 士郎, 森岡 政彦, 柳沼 樹, 福田 晃, 吉岡 泉, 大谷 泰志, 鶴島 弘基, 西牟田 文香, 早川 真奈, 坂口 修, 吉賀 大午						
	※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

その他

【オフィスアワー（学習相談）】代表：三次 翔（医局 月～金 17：15～、メールは随時受け付け。）上記の時間に限らず相談は随時受け付け可能だが、原則、時間予約を電話、メールにて行うこと。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	器具の名称および基本手技 口腔外科小手術に使用する器具の名称および使用方法を習得する。	実習	笹栗 正明 土生 学 三次 翔 高橋 理 原口 和也 田部 士郎 森岡 政彦 柳沼 樹 福田 晃 吉岡 泉 大谷 泰志 鶴島 弘基 西牟田 文香 早川 真奈 坂口 修 吉賀 大午	[事前事後学修] 実習書と教科書の学修九州歯科大学口腔外科学実習書p1-7	シミュレーション実習室
2	手洗いと滅菌グローブ装着・頭頸部(顎・顔面・頸部)の診察 ①外科手術前に行う手洗い、②滅菌グローブの装着、③診察時に必要な頭頸部の診察(咀嚼筋、顎関節、顎下リンパ節の触診等)方法を習得する。実習は3グループに分かれ、1コマにつき1項目の実習を行う(ローテーション)。	実習	笹栗 正明 土生 学 三次 翔 高橋 理 原口 和也 田部 士郎 森岡 政彦 柳沼 樹 福田 晃 吉岡 泉 大谷 泰志 鶴島 弘基 西牟田 文香 早川 真奈 坂口 修 吉賀 大午	[事前事後学修] 実習書と教科書の学修九州歯科大学口腔外科学実習書p8-13	シミュレーション実習室 相互実習室

口腔外科学II

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	笹栗 正明						
担当教員	笹栗 正明, 三次 翔, 土生 学, 高橋 理, 原口 和也, 田部 士郎, 森岡 政彦, 柳沼 樹, 福田 晃, 吉岡 泉, 大谷 泰志, 鶴島 弘基, 西牟田 文香, 早川 真奈, 坂口 修, 吉賀 大午						
	※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
3	手洗いと滅菌グローブ装着・頭頸部(顎・顔面・頸部)の診察 ① 外科手術前に行う手洗い、②滅菌グローブの装着、③診察時に必要な頭頸部の診察(咀嚼筋、顎関節、顎下リンパ節の触診等)方法を習得する。実習は3グループに分かれ、1コマにつき1項目の実習を行う(ローテーション)。	実習	笹栗 正明 土生 学 三次 翔 高橋 理 原口 和也 田部 士郎 森岡 政彦 柳沼 樹 福田 晃 吉岡 泉 大谷 泰志 鶴島 弘基 西牟田 文香 早川 真奈 坂口 修 吉賀 大午	[事前事後学修] 実習書と教科書の学修九州歯科大学口腔外科学実習書p8-13	シミュレーション実習室 相互実習室
4	手洗いと滅菌グローブ装着・頭頸部(顎・顔面・頸部)の診察 ① 外科手術前に行う手洗い、②滅菌グローブの装着、③診察時に必要な頭頸部の診察(咀嚼筋、顎関節、顎下リンパ節の触診等)方法を習得する。実習は3グループに分かれ、1コマにつき1項目の実習を行う(ローテーション)。	実習	笹栗 正明 土生 学 三次 翔 高橋 理 原口 和也 田部 士郎 森岡 政彦 柳沼 樹 福田 晃 吉岡 泉 大谷 泰志 鶴島 弘基 西牟田 文香 早川 真奈 坂口 修 吉賀 大午	[事前事後学修] 実習書と教科書の学修九州歯科大学口腔外科学実習書p8-13	シミュレーション実習室 相互実習室

口腔外科学II

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	笹栗 正明						
担当教員	笹栗 正明, 三次 翔, 土生 学, 高橋 理, 原口 和也, 田部 士郎, 森岡 政彦, 柳沼 樹, 福田 晃, 吉岡 泉, 大谷 泰志, 鶴島 弘基, 西牟田 文香, 早川 真奈, 坂口 修, 吉賀 大午 ※氏名の後ろに (診療科名) の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
5	縫合 オペガムを使用し、外科結びを習得する。	実習	笹栗 正明 土生 学 三次 翔 高橋 理 原口 和也 田部 士郎 森岡 政彦 柳沼 樹 福田 晃 吉岡 泉 大谷 泰志 鶴島 弘基 西牟田 文香 早川 真奈 坂口 修 吉賀 大午	[事前事後学修] 実習書と教科書の学修九州歯科大学口腔外科学実習書p14-17	シミュレーション実習室
6	下顎埋伏智歯抜歯・縫合 下顎埋伏智歯の抜歯法および縫合を習得する。	実習	笹栗 正明 土生 学 三次 翔 高橋 理 原口 和也 田部 士郎 森岡 政彦 柳沼 樹 福田 晃 吉岡 泉 大谷 泰志 鶴島 弘基 西牟田 文香 早川 真奈 坂口 修 吉賀 大午	[事前事後学修] 実習書と教科書の学修九州歯科大学口腔外科学実習書p18-19	シミュレーション実習室

口腔外科学II

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	笹栗 正明						
担当教員	笹栗 正明, 三次 翔, 土生 学, 高橋 理, 原口 和也, 田部 士郎, 森岡 政彦, 柳沼 樹, 福田 晃, 吉岡 泉, 大谷 泰志, 鶴島 弘基, 西牟田 文香, 早川 真奈, 坂口 修, 吉賀 大午 ※氏名の後ろに (診療科名) の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
7	下顎埋伏智歯抜歯・縫合 下顎埋伏智歯の抜歯法および縫合を習得する。	実習	笹栗 正明 土生 学 三次 翔 高橋 理 原口 和也 田部 士郎 森岡 政彦 柳沼 樹 福田 晃 吉岡 泉 大谷 泰志 鶴島 弘基 西牟田 文香 早川 真奈 坂口 修 吉賀 大午	[事前事後学修] 実習書と教科書の学修九州歯科大学口腔外科学実習書p18-19	シミュレーション実習室
8	脱臼歯牙固定 上顎前歯の脱臼歯牙固定法を習得する。	実習	笹栗 正明 土生 学 三次 翔 高橋 理 原口 和也 田部 士郎 森岡 政彦 柳沼 樹 福田 晃 吉岡 泉 大谷 泰志 鶴島 弘基 西牟田 文香 早川 真奈 坂口 修 吉賀 大午	[事前事後学修] 実習書と教科書の学修九州歯科大学口腔外科学実習書p20-21	シミュレーション実習室

口腔外科学II

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	笹栗 正明						
担当教員	笹栗 正明, 三次 翔, 土生 学, 高橋 理, 原口 和也, 田部 士郎, 森岡 政彦, 柳沼 樹, 福田 晃, 吉岡 泉, 大谷 泰志, 鶴島 弘基, 西牟田 文香, 早川 真奈, 坂口 修, 吉賀 大午 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
9	脱臼歯牙固定 上顎前歯の脱臼歯牙固定法を習得する。	実習	笹栗 正明 土生 学 三次 翔 高橋 理 原口 和也 田部 士郎 森岡 政彦 柳沼 樹 福田 晃 吉岡 泉 大谷 泰志 鶴島 弘基 西牟田 文香 早川 真奈 坂口 修 吉賀 大午	[事前事後学修] 実習書と教科書の学修九州歯科大学口腔外科学実習書p20-21	シミュレーション実習室
10	歯根端切除術 上顎中前歯の歯根端切除法を習得する。	実習	笹栗 正明 土生 学 三次 翔 高橋 理 原口 和也 田部 士郎 森岡 政彦 柳沼 樹 福田 晃 吉岡 泉 大谷 泰志 鶴島 弘基 西牟田 文香 早川 真奈 坂口 修 吉賀 大午	[事前事後学修] 実習書と教科書の学修九州歯科大学口腔外科学実習書p22-23	シミュレーション実習室

口腔外科学II

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	笹栗 正明						
担当教員	笹栗 正明, 三次 翔, 土生 学, 高橋 理, 原口 和也, 田部 士郎, 森岡 政彦, 柳沼 樹, 福田 晃, 吉岡 泉, 大谷 泰志, 鶴島 弘基, 西牟田 文香, 早川 真奈, 坂口 修, 吉賀 大午						
	※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
11	骨隆起除去術 下顎隆起除去術を習得する。	実習	笹栗 正明 土生 学 三次 翔 高橋 理 原口 和也 田部 士郎 森岡 政彦 柳沼 樹 福田 晃 吉岡 泉 大谷 泰志 鶴島 弘基 西牟田 文香 早川 真奈 坂口 修 吉賀 大午	[事前事後学修] 実習書と教科書の学修九州歯科大学口腔外科学実習書p24-25	シミュレーション実習室
12	バイタルサイン実習 バイタルサインを理解し、血圧・脈拍の測定を行う。	実習	笹栗 正明 土生 学 三次 翔 高橋 理 原口 和也 田部 士郎 森岡 政彦 柳沼 樹 福田 晃 吉岡 泉 大谷 泰志 鶴島 弘基 西牟田 文香 早川 真奈 坂口 修 吉賀 大午	[事前事後学修] 実習書と教科書の学修九州歯科大学口腔外科学実習書p26-27	シミュレーション実習室

口腔外科学II

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	笹栗 正明						
担当教員	笹栗 正明, 三次 翔, 土生 学, 高橋 理, 原口 和也, 田部 士郎, 森岡 政彦, 柳沼 樹, 福田 晃, 吉岡 泉, 大谷 泰志, 鶴島 弘基, 西牟田 文香, 早川 真奈, 坂口 修, 吉賀 大午 ※氏名の後ろに (診療科名) の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
13	補充実習 これまでに行った実習について復習を行う。	実習	笹栗 正明 土生 学 三次 翔 高橋 理 原口 和也 田部 士郎 森岡 政彦 柳沼 樹 福田 晃 吉岡 泉 大谷 泰志 鶴島 弘基 西牟田 文香 早川 真奈 坂口 修 吉賀 大午	[事前事後学修] 実習書と教科書の学修	シミュレーション実習室 相互実習室
14	実習試験 手洗い、滅菌グローブ装着、頭頸部(顎・顔面・頸部)の診察、普通抜歯、縫合、バイタルサインの中より課題を組み合わせて、OSCE形式で実習試験(2コマ使用)を行う。	テスト	笹栗 正明 土生 学 三次 翔 高橋 理 原口 和也 田部 士郎 森岡 政彦 柳沼 樹 福田 晃 吉岡 泉 大谷 泰志 鶴島 弘基 西牟田 文香 早川 真奈 坂口 修 吉賀 大午	[事前事後学修] 実習書と教科書の学修	シミュレーション実習室 相互実習室 501講義室

口腔外科学II

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	笹栗 正明						
担当教員	笹栗 正明, 三次 翔, 土生 学, 高橋 理, 原口 和也, 田部 士郎, 森岡 政彦, 柳沼 樹, 福田 晃, 吉岡 泉, 大谷 泰志, 鶴島 弘基, 西牟田 文香, 早川 真奈, 坂口 修, 吉賀 大午 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
15	実習試験 手洗い、滅菌グローブ装着、頭頸部(顎・顔面・頸部)の診察、普通抜歯、縫合、バイタルサインの中より課題を組み合わせ、OSCE形式で実習試験（2コマ使用）を行う。	テスト	笹栗 正明 土生 学 三次 翔 高橋 理 原口 和也 田部 士郎 森岡 政彦 柳沼 樹 福田 晃 吉岡 泉 大谷 泰志 鶴島 弘基 西牟田 文香 早川 真奈 坂口 修 吉賀 大午	[事前事後学修] 実習書と教科書の学修	シミュレーション実習室 相互実習室 501講義室

口腔内科学I

開講学科	歯学科			開講年次	4年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	吉岡 泉						
担当教員	吉岡 泉, 吉賀 大午, 大谷 泰志, 坂口 修 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業の概要

口腔内科学(Oral medicine)は 歯科患者の口腔だけに視点を向けず、全身的背景を考慮した口腔疾患の診断と治療を目的とし、内科的なアプローチを主体として口腔の医療にあたる学問である。その対象は、口腔粘膜疾患、唾液腺疾患、顎関節疾患、味覚障害や歯科心身症など幅広い。さらに全身疾患に伴う口腔病変への対応も含まれる。また、超高齢化社会の我が国では全身疾患を持った患者が急激に増加しており、医学的に問題のある患者に対する歯科治療も口腔内科の担当分野である。医学的に問題のある患者の評価や治療への理解を深め、チーム医療のなかで他職種と連携することが求められている。これらを鑑みて到達目標を掲げ、講義を行う。

学生の到達目標

- ①口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。
- ②水疱、紅斑、びらん、潰瘍、白斑、色素沈着等を主徴とする主な粘膜疾患を概説できる。
- ③白板症の特徴、症状および治療法を説明できる。
- ④口腔・顎顔面領域に症状を現すアレルギー性疾患、膠原病、免疫不全とそれらの症状を列挙できる。
- ⑤口腔・顎顔面領域に症状を現す血液疾患(貧血、出血性素因、白血病)とスクリーニング検査法を列挙できる。
- ⑥口腔・顎顔面領域に症状を現す薬物の副作用を列挙できる。
- ⑦口腔・顎顔面領域に症状を現す症候群の種類と症状を列挙できる。
- ⑧口腔・顎顔面領域に症状を現す系統的骨疾患の症状、診断および治療法を列挙できる。
- ⑨前癌病変(白板症、紅板症)の特徴、症状および治療法を概説できる。
- ⑩前癌状態の種類と特徴を列挙できる。
- ⑪顎関節疾患の種類と特徴を説明できる。
- ⑫顎関節症を概説できる。
- ⑬口腔・顎顔面領域に症状を現す感染症の種類とその症状を列挙できる。
- ⑭歯性感染症の原因菌と感染経路を説明できる。
- ⑮急性炎症と慢性炎症の異同を説明できる。
- ⑯炎症の診断に必要な検査法を説明できる。
- ⑰口腔・顎顔面領域の特異性炎の種類と特徴を説明できる。
- ⑱菌血症および歯性病巣感染の病態を説明できる。
- ⑲一般的な消炎療法の意義と特徴を説明できる。
- ⑳主な炎症(舌炎、口唇炎、口底炎、智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨炎、顎骨骨膜炎、顎骨周囲炎、下顎骨骨髓炎、歯性上顎洞炎等)を概説できる。
- ㉑歯性病巣感染の成立機序、症状、検査法および治療法を説明できる。
- ㉒消炎手術を概説できる。
- ㉓代表的な医科疾患を説明できる。
- ㉔主要な医科疾患の症候を説明できる。
- ㉕主要な身体診察を説明できる。
- ㉖歯科心身症を説明できる。
- ㉗口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の心因性の痛みを説明できる。
- ㉘心理テストを説明できる。
- ㉙舌痛症を概説できる。
- ㉚心身医学的治療を説明できる。

口腔内科学I

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	吉岡 泉						
担当教員	吉岡 泉, 吉賀 大午, 大谷 泰志, 坂口 修 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
C-5-5)-①	炎症の定義と機序を説明できる。
C-5-5)-②	炎症に関与する細胞の種類と機能を説明できる。
E-2-1)-⑥	顎関節の構造と機能を説明できる。
E-2-4)-(10)-①	口腔・顎顔面領域に症状を現す血液疾患（貧血、出血性素因、白血病）とスクリーニング検査法を説明できる。
E-2-4)-(10)-③	口腔・顎顔面領域に症状を現すアレルギー性疾患、膠原病、免疫異常の症状を列挙できる。
E-2-4)-(10)-⑤	口腔・顎顔面領域に症状を現す症候群の種類と症状を列挙できる。
E-2-4)-(10)-⑥	口腔・顎顔面領域に症状を現す系統的骨疾患の症状、診断及び治療法を列挙できる。
E-2-4)-(10)-⑦	口腔・顎顔面領域に症状を現す薬物の副作用を列挙できる。
E-2-4)-(3)-②	急性炎症と慢性炎症の異同を説明できる。
E-2-4)-(3)-③	炎症の診断に必要な検査法を説明できる。
E-2-4)-(3)-④	菌血症と菌性病巣感染の病態、症状、検査法及び治療法を説明できる。
E-2-4)-(3)-⑤	消炎療法の意義と特徴を説明できる。
E-2-4)-(3)-⑥	主な炎症（舌炎、口唇炎、口底炎、智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨炎、顎骨骨膜炎、顎骨周囲炎、下顎骨骨髄炎、蜂窩織炎、菌性上顎洞炎等）の症状と治療法を説明できる。
E-2-4)-(4)-①	口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。
E-2-4)-(4)-②	水疱、紅斑、びらん、潰瘍、白斑、色素沈着等を主徴とする口腔粘膜疾患の症状と治療法を説明できる。
E-2-4)-(6)-⑤	前癌病変の特徴、症状及び治療法を説明できる。
E-2-4)-(6)-⑥	前癌状態の種類と特徴を列挙できる。
E-2-4)-(7)-①	顎関節疾患の種類と特徴を説明できる。
E-2-4)-(7)-②	顎関節疾患（発育異常、外傷、炎症、退行性顎関節疾患、顎関節症、顎関節強直症、腫瘍及び腫瘍類似疾患）の症状、診断法及び治療法を説明できる。
E-5-3)-②	口腔顔面領域に関連して現れる精神・心身医学的病態を説明できる。
E-5-3)-③	心理テストの目的と意義を説明できる。
E-5-3)-④	舌痛症を説明できる。
E-5-3)-⑥	心身医学的治療を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
口腔外科学(第4版)	白砂兼光、古郷幹彦編	医歯薬出版
資料配布 (Moodle)		

参考書

タイトル	著者	出版社
口腔内科学	山根源之、草間幹夫、久保田英朗	永末書店
歯科医師のための内科学	千葉俊美・山田浩之編	医歯薬出版

口腔内科学I

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	吉岡 泉						
担当教員	吉岡 泉, 吉賀 大午, 大谷 泰志, 坂口 修 ※氏名の後ろに (診療科名) の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

(教員名 : オフィスアワー)・吉岡 泉 : 月～金 17:00～ 教授室 メールは随時受け付け。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	口腔内科学総論 内科学的なアプローチによる口腔疾患の診断や治療法を学習し、口腔疾患と全身疾患の関連性を学習する。	講義	吉岡 泉 吉賀 大午 大谷 泰志 坂口 修	【事前・事後学習課題】 仮説演繹法・検査・診断	501 講義室
2	炎症性疾患総論・各論 (1) 歯性感染症 (智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨炎、顎骨骨膜炎) について学習する。	講義	吉岡 泉 吉賀 大午 大谷 泰志 坂口 修	【事前・事後学習課題】 智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨炎、顎骨骨膜炎	501 講義室
3	炎症性疾患各論 (2) 歯性感染症 (顎骨周囲炎、下顎骨骨髄炎、顎骨周囲軟組織の炎症・歯性上顎洞炎) について学習する。	講義	吉岡 泉 吉賀 大午 大谷 泰志 坂口 修	【事前・事後学習課題】 顎骨周囲炎、下顎骨骨髄炎、顎骨周囲軟組織の炎症・歯性上顎洞炎	501 講義室
4	炎症性疾患各論 (3) 全身感染症・歯性病巣感染について学習する。	講義	吉岡 泉 吉賀 大午 大谷 泰志 坂口 修	【事前・事後学習課題】 全身感染症・歯性病巣感染	501 講義室
5	炎症性疾患各論 (4) 抗菌薬・抗炎症薬について学習する。	講義	吉岡 泉 吉賀 大午 大谷 泰志 坂口 修	【事前・事後学習課題】 抗菌薬・抗炎症薬	501 講義室
6	歯科心身症総論・各論 (1) 歯科心身症の概要、心理テストおよび心身医学的治療について学習する。	講義 (スライド・プリント)	吉岡 泉 吉賀 大午 大谷 泰志 坂口 修	【事前・事後学習課題】 心身症・心理テスト・テストバッテリー	501 講義室
7	歯科心身症各論 (2) 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の心因性の痛み、舌痛症そのほかの歯科心身症について学習する。	講義	吉岡 泉 吉賀 大午 大谷 泰志 坂口 修	【事前・事後学習課題】 心理療法 薬物療法 舌痛症	501 講義室

口腔内科学I

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	吉岡 泉						
担当教員	吉岡 泉, 吉賀 大午, 大谷 泰志, 坂口 修 ※氏名の後ろに (診療科名) の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
8	口腔粘膜疾患総論 口腔粘膜の構造と免疫学的特徴、口腔粘膜疾患の症候、診断法、治療法の概要を学習する。	講義	吉岡 泉 吉賀 大午 大谷 泰志 坂口 修	【事前・事後学習課題】口腔粘膜の構造、機能・口腔粘膜疾患の症候・口腔粘膜疾患の診査・検査	501 講義室
9	口腔粘膜疾患各論 (1) 口内炎・アフタおよびアフタ性病変、水疱性疾患について病態、診断と治療法を学習する。	講義	吉岡 泉 吉賀 大午 大谷 泰志 坂口 修	【事前・事後学習課題】アフタ・天疱瘡・類天疱瘡	501 講義室
10	口腔粘膜疾患各論 (2) ウイルス性疾患、角化性病変について病態、診断と治療法を学習する。	講義	吉岡 泉 吉賀 大午 大谷 泰志 坂口 修	【事前・事後学習課題】潜在的悪性疾患・白板症・口腔扁平苔癬	501 講義室
11	口腔粘膜疾患各論 (3) 膠原病、色素異常、薬物による病変、舌の病変、口唇の病変、全身疾患と関連した口腔粘膜疾患について病態、診断と治療法を学習する。	講義	吉岡 泉 吉賀 大午 大谷 泰志 坂口 修	【事前・事後学習課題】全身性エリテマトーデス・貧血・ステロイド	501 講義室
12	顎関節疾患(1) 顎関節疾患総論；顎関節の機能と構造、顎関節疾患の分類、鑑別診断について学習する。	講義	吉岡 泉 吉賀 大午 大谷 泰志 坂口 修	【事前・事後学習課題】関節円板 咀嚼筋 滑膜・滑液	501 講義室
13	顎関節疾患(2) 顎関節の発育異常、外傷、炎症、腫瘍、全身疾患に関連した顎関節疾患病態、診断、治療法について学習する。	講義	吉岡 泉 吉賀 大午 大谷 泰志 坂口 修	【事前・事後学習課題】顎関節脱臼 痛風 関節リウマチ	501 講義室
14	顎関節疾患(3) 顎関節症の病態、診断、治療法について学習する。	講義	吉岡 泉 吉賀 大午 大谷 泰志 坂口 修	【事前・事後学習課題】咀嚼筋痛障害 顎関節痛障害 顎関節円板障害 変形性顎関節炎	501 講義室
15	口腔内科学まとめ	講義	吉岡 泉 吉賀 大午 大谷 泰志 坂口 修	【事前・事後学習課題】口腔内科学全般	501 講義室

口腔内科学II

開講学科	歯学科			開講年次	4年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	吉岡 泉						
担当教員	吉岡 泉, 大谷 泰志, 鶴島 弘基, 坂口 修, 西牟田 文香, (非)宮脇 昭彦, (非)平島 惣一						

授業の概要

口腔内科学(Oral medicine)は 歯科患者の口腔だけに視点を向けず、全身的背景を考慮した口腔疾患の診断と治療を目的とし、内科的なアプローチを主体として口腔の医療にあたる学問である。その対象は、口腔粘膜疾患、唾液腺疾患、顎関節疾患、味覚障害や歯科心身症など幅広い。さらに全身疾患に伴う口腔病変への対応も含まれる。また、超高齢化社会の我が国では全身疾患を持った患者が急激に増加しており、医学的に問題のある患者に対する歯科治療も口腔内科の担当分野である。医学的に問題のある患者の評価や治療への理解を深め、チーム医療のなかで他職種と連携することが求められている。これらを鑑みて到達目標を掲げ、講義を行う。

学生の到達目標

- ①口腔・顎顔面領域に症状を現す血液疾患(貧血、出血性素因、白血病)とスクリーニング検査法を列挙できる。
- ②口腔・顎顔面領域に症状を現す薬物の副作用を列挙できる。
- ③口腔・顎顔面領域に症状を現す症候群の種類と症状を列挙できる。
- ④口腔・顎顔面領域に症状を現す系統的骨疾患の症状、診断および治療法を列挙できる。
- ⑤炎症の診断に必要な検査法を説明できる。
- ⑥菌血症および歯性病巣感染の病態を説明できる。
- ⑦歯性病巣感染の成立機序、症状、検査法および治療法を説明できる。
- ⑧唾石症の特徴、症状および治療法を説明できる。
- ⑨唾液腺腫瘍の種類と特徴を説明できる。
- ⑩流行性耳下腺炎の原因ウイルス、症状および治療を説明できる。
- ⑪Sjogren症候群の特徴、症状および治療法を説明できる。
- ⑫唾液腺疾患を概説できる。
- ⑬代表的な医科疾患を説明できる。
- ⑭主要な医科疾患の症候を説明できる。
- ⑮主要な身体診察を説明できる。
- ⑯病診連携、病病連携を理解する。
- ⑰多職種連携のチーム医療を理解する。
- ⑱気管切開を説明できる。
- ⑲歯科治療時の合併症や偶発症を説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-3-②	全身状態の評価に基づいた口腔・顎顔面領域の診察ができる。
A-3-③	口腔・顎顔面領域の疾患を正しく診断し、患者の立場を尊重した治療方針・治療計画を立案できる。
C-3-3)-(8)-①	気道系の構造と機能を説明できる。
E-1-6)-①	歯科治療時の全身的偶発症を説明できる。
E-2-2)-⑥	唾液腺の構造、機能及び分泌調節機序を説明できる。
E-2-4)-(10)-①	口腔・顎顔面領域に症状を現す血液疾患(貧血、出血性素因、白血病)とスクリーニング検査法を説明できる。
E-2-4)-(10)-②	口腔・顎顔面領域に症状を現す感染症の種類と症状を列挙できる。
E-2-4)-(10)-③	口腔・顎顔面領域に症状を現すアレルギー性疾患、膠原病、免疫異常の症状を列挙できる。

口腔内科学II

開講学科	歯学科			開講年次	4年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	吉岡 泉						
担当教員	吉岡 泉, 大谷 泰志, 鶴島 弘基, 坂口 修, 西牟田 文香, (非)宮脇 昭彦, (非)平島 惣一						

コアカリキュラム	内容
E-2-4)-(10)-④	口腔・顎顔面領域に症状を現す全身的な腫瘍と腫瘍類似疾患及びその症状を列挙できる。
E-2-4)-(10)-⑤	口腔・顎顔面領域に症状を現す症候群の種類と症状を列挙できる。
E-2-4)-(10)-⑥	口腔・顎顔面領域に症状を現す系統的骨疾患の症状、診断及び治療法を列挙できる。
E-2-4)-(10)-⑦	口腔・顎顔面領域に症状を現す薬物の副作用を列挙できる。
E-2-4)-(3)-④	菌血症と菌性病巣感染の病態、症状、検査法及び治療法を説明できる。
E-2-4)-(6)-①	口腔・顎顔面領域に発生する腫瘍の種類と特徴を説明できる。
E-2-4)-(8)-①	唾液腺の発育異常を概説できる。
E-2-4)-(8)-②	唾石症の特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。
E-2-4)-(8)-③	唾液腺炎の種類、特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。
E-2-4)-(8)-④	唾液腺腫瘍の種類、特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。
E-2-4)-(8)-⑥	ウイルス性唾液腺炎の特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。
E-6-②	医科疾患合併患者の歯科治療時の注意点を説明できる。
F-1-1)-⑦	口腔と医科疾患との関連について説明することができる。
G-4-②	病診連携、病病連携を経験する。

テキスト

タイトル	著者	出版社
口腔外科学(第4版)	白砂兼光、古郷幹彦編	医歯薬出版
資料配布 (Moodle)		

参考書

タイトル	著者	出版社
口腔内科学	山根源之	永末書店
歯科医師のための内科学	千葉俊美・山田浩之編	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

(教員名 : オフィスアワー)・吉岡：月～金 17:00～ 教授室 メールは随時受け付け

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	血液疾患(1) 総論・出血性素因について口腔疾患との関連をふまえて学習する。	講義スライド	(非)宮脇 昭彦	【事前事後学習課題】 血小板 凝固異常 血管壁 線溶	501 講義室
2	血液疾患(2) 赤血球性・白血球性疾患について口腔疾患との関連をふまえて学習する。	講義(スライド・プリント)	(非)平島 惣一	【事前事後学習課題】 貧血 白血病	501 講義室

口腔内科学II

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	吉岡 泉						
担当教員	吉岡 泉, 大谷 泰志, 鶴島 弘基, 坂口 修, 西牟田 文香, (非)宮脇 昭彦, (非)平島 惣一						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
3	唾液腺疾患 (1) 唾液腺の形態および機能異常、炎症性疾患の病態、診断、治療法について学習する。	講義 (スライド・プリント)	西牟田 文香	【事前事後学習課題】 耳下腺 顎下腺 舌下腺	501 講義室
4	唾液腺疾患 (2) 唾液腺の異物・唾液腺嚢胞・唾液腺腫瘍・唾液腺に症状を現す全身疾患の病態、診断、治療法について学習する。	講義 (スライド・プリント)	西牟田 文香	【事前事後学習課題】 唾石症 ガマ腫 Sjogren症候群	501 講義室
5	ビスフォスフォネート関連顎骨壊死 骨粗しょう症 骨転移 ビスフォスフォネート関連顎骨壊死について学習する。	講義 (スライド・プリント)	坂口 修	【事前事後学習課題】 ビスフォスフォネート	501 講義室
6	症候群 口腔顎顔面に異常を現す症候群と骨系統疾患の病態、診断、治療法について学習する。	講義 (スライド・プリント)	西牟田 文香	【事前事後学習課題】 症候群 骨系統疾患	501 講義室
7	口腔癌の非手術的治療法 口腔癌の化学療法、免疫療法などの非手術的治療法について学習する。	講義 (スライド・プリント)	大谷 泰志	【事前事後学習課題】 化学療法 免疫療法 放射線治療	501 講義室
8	歯科治療時の合併症・偶発症 気道閉塞や異物の迷入などの合併症や偶発症について学習する。	講義 (スライド・プリント)	鶴島 弘基	【事前事後学習課題】 気管切開 神経損傷	501 講義室

内科学I

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	中道 郁夫						
担当教員	中道 郁夫, 福原 正代, 藤澤 律子						

授業の概要

内科学 I & II では医科歯科連携に必要な医学的知識を習得し、歯科患者に合併することが多い内科疾患について理解する。内容は下記に示したコアカリキュラム枝番号に沿い、共用試験でよく出題される内科関連の知識についても確認する。授業は主に教科書の「歯科のための内科学」や参考書の図表などを用いて、歯科医師として必要な内科疾患の知識を具体的に解りやすく教える。

学生の到達目標

医の倫理や科学的根拠に基づき、安全な歯科医療の重要性を理解する。

- ①口腔領域の疾患と全身疾患との関連を理解し説明できる。
- ②代表的な医科疾患（内科疾患）を説明できる。
- ③主要な医科疾患の症候を説明できる。
- ④主要な身体診察を説明できる。
- ⑤各種臨床検査と異常値の意味を説明できる。
- ⑥高齢者に多くみられる疾患を説明できる。
- ⑦有病者における歯科治療時の全身管理を説明できる。
- ⑧代表的な循環器疾患を説明できる。
- ⑨代表的な呼吸器系疾患を説明できる。
- ⑩代表的な消化器系疾患を説明できる。
- ⑪血液・凝固系疾患を説明できる。
- ⑫感染症の病原微生物、病態、予防法などを説明できる。
- ⑬アレルギーの発症機序を理解し、分類や代表的疾患を説明できる。
- ⑭糖質・脂質・タンパク質の構造・機能・代謝を説明できる。
- ⑮代表的代謝疾患を説明できる。
- ⑯代表的遺伝性疾患を説明できる。
- ⑰代表的精神疾患を説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-1-2-1	アミノ酸とタンパク質の構造、機能及び代謝を理解している。
A-1-2-2	糖質の構造、機能及び代謝を理解している。
A-1-2-3	脂質の構造、機能及び代謝を理解している。
A-1-2-5	酵素の機能と調節、主な代謝異常を理解している。
A-1-2-6	ビタミン、ミネラルの種類と作用を理解している。
A-1-2-8	栄養素の相互変換とエネルギー代謝(エネルギーの定義、食品中のエネルギー値、エネルギー消費量、推定エネルギー必要量)を理解している。
A-1-2-9	空腹時、飢餓時、食後、過食時及び運動時における代謝を理解している。
A-1-3-1	メンデルの法則や遺伝子型と表現型の関係を理解している。
A-1-3-2	核酸、遺伝子及び染色体の構造と機能を理解している。
A-1-3-4	遺伝性疾患の発生病序を理解している。
A-1-4-2	細胞内外間の物質の移動のしくみを理解している。
A-1-4-3	細胞内外液のイオン組成と浸透圧、静止膜電位を理解している。

内科学I

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	中道 郁夫						
担当教員	中道 郁夫, 福原 正代, 藤澤 律子						

コアカリキュラム	内容
A-1-5-2	受容体を介するホルモン、成長因子、サイトカイン等による細胞間及び細胞内の情報伝達機構を理解している。
A-2-3-1	人体の老化の特性と機序及び寿命を理解している。
A-2-3-2	老化に伴う細胞、組織、器官及び個体の形態的、機能的な変化を理解している。
A-2-3-3	老化に伴う精神的、心理的变化を理解している。
A-2-3-4	個体の死の病因と病態を理解している。
A-3-1-10-1	腎・尿路系の構造と機能を理解している。
A-3-1-10-2	体液の量と組成及び浸透圧の調節機構を理解している。
A-3-1-10-3	水分と主な電解質の出納とその異常を理解している。
A-3-1-3-3	全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を理解している。
A-3-1-4-1	心臓の構造、発生、機能及び心電図波形を理解している。
A-3-1-4-2	血液循環(肺循環、体循環及び胎児循環)の経路と主要な動静脈の名称を理解している。
A-3-1-4-3	血管の構造と神経支配を理解している。
A-3-1-4-4	循環調節の機序を理解している。
A-3-1-4-5	血液の構成要素と役割を理解している。
A-3-1-4-6	リンパ管とリンパ系組織、器官の構造と機能を理解している。
A-3-1-4-7	造血器官と造血機構を理解している。
A-3-1-4-8	止血、血液凝固及び線溶の機序を理解している。
A-3-1-5-4	中枢神経系(高次脳、脳幹、脊髄)の構造と機能(運動機能、感覚機能、高次神経機能、自律機能)及び脳血管の分布を理解している。
A-3-1-7-1	消化管の構造、機能及び調節機構を理解している。
A-3-1-7-2	肝臓、胆嚢及び膵臓の構造と機能を理解している。
A-3-1-8-1	気道系の構造と機能を理解している。
A-3-1-8-2	肺の構造、機能、呼吸運動及びガス運搬の機序を理解している。
A-3-1-9-1	内分泌器官の構造と機能を理解している。
A-3-1-9-2	ホルモンの種類、作用及び異常を理解している。
A-3-1-9-3	恒常性維持と内分泌系、神経系の機能相関を理解している。
A-3-1-9-4	体温調節の機序を理解している。
A-3-1-9-5	摂食調節の機序を理解している。
A-4-1-1	細菌、ウイルス、真菌及び原虫の基本的な構造と性状を理解している。
A-4-1-2	細菌、ウイルス、真菌及び原虫のヒトに対する感染機構と病原性を理解している。
A-4-1-3	細菌、ウイルス、真菌及び原虫による感染症の種類、予防、診断及び治療を理解している。
A-4-1-4	新興・再興感染症を理解している。
A-4-1-5	常在微生物叢の性状とヒトに対する感染機構を理解している。
A-4-1-6	感染症における化学療法(抗生物質)の目的と原理、化学療法薬の作用機序を理解している。
A-4-1-7	細菌の薬剤耐性機序を理解している。
A-4-1-8	滅菌と消毒の意義、方法及び原理を理解している。
A-4-1-9	院内感染でみられる感染機構及び問題となる微生物を理解している。
A-4-2-1	自然免疫を担当する細胞の種類と機能を理解している。
A-4-2-2	獲得免疫を担当する細胞の種類と機能を理解している。
A-4-2-3	抗原提示機能を理解している。
A-4-2-4	粘膜免疫を理解している。
A-4-2-5	免疫寛容と移植免疫を理解している。
A-4-2-6	アレルギー性疾患、自己免疫疾患、免疫不全症の種類、発症機序及び病態を理解している。

内科学I

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	中道 郁夫						
担当教員	中道 郁夫, 福原 正代, 藤澤 律子						

コアカリキュラム	内容
A-4-2-7	ワクチンの意義と種類、特徴、接種法及び副反応を理解している。
A-5-1-1	染色体、遺伝子及び発生の異常を理解している。
A-5-1-2	環境と疾患の関係を理解している。
A-5-4-1	虚血、充血及びうっ血の徴候、原因、転帰及び関連疾患を理解している。
A-5-4-2	出血の原因、種類及び転帰を理解している。
A-5-4-3	血栓と塞栓の形成機序、形態的特徴、転帰及び関連疾患を理解している。
A-5-4-4	梗塞の種類、形態的特徴、転帰及び関連疾患を理解している。
A-5-4-5	浮腫の原因と転帰を理解している。
A-5-4-6	ショックの成因と種類を理解している。
A-5-5-1	炎症の定義と機序を理解している。
A-5-5-2	炎症に関与する細胞の種類と機能を理解している。
A-5-5-5	炎症の全身反応を理解している。
A-5-6-1	腫瘍の定義、病因及び発生機序を理解している。
A-5-6-2	腫瘍の増殖、浸潤、再発及び転移を理解している。
A-5-6-3	細胞異型と構造異型、腫瘍の組織学的分化度及び用語(前癌病変、上皮内癌、早期癌等)を理解している。
A-5-6-4	良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を理解している。
A-5-6-5	腫瘍の組織学的分類と特徴を理解している。
A-5-6-6	上皮性異形成を理解している。
A-6-1-1	医薬品の分類(毒薬、劇薬、麻薬、向精神薬、毒物、劇物を含む)を理解している。
A-6-2-1	薬物療法の種類や薬理作用の基本形式と分類を理解している。
A-6-2-2	薬物作用とその作用機序を理解している。
A-6-3-1	薬物の投与方法の種類と特徴を理解している。
A-6-3-2	薬物動態(吸収、分布、代謝、排泄)について理解している。
A-6-3-3	年齢、妊娠、病態、併用薬物、遺伝的素因が影響する薬物動態の特徴を理解している。
A-6-4-1	薬物の一般的副作用と有害事象を理解している。
A-6-4-3	薬物の連用の影響(耐性、蓄積及び薬物依存)を理解している。
A-6-4-4	薬物動態学的相互作用を理解している。
A-6-4-5	主な薬物について、薬物動態の特徴や有害事象を考慮して投与時の注意事項を理解している。
A-6-4-6	薬剤耐性(AMR)に配慮した適切な抗菌薬使用を理解している。
C-1-1-1	医の倫理と生命倫理、患者の権利に関する規範、国際規範の歴史的経緯と諸問題を理解している。
C-1-1-2	臨床(生と死に関わる問題を含む)に関する倫理的問題を理解している。
C-1-1-3	患者の自己決定権と患者が自己決定できない場合の対応を理解している。
C-1-1-4	インフォームド・コンセントの意義、重要性及び必要な説明事項を理解している。
C-1-1-5	医学研究に関する倫理的問題を理解している。
C-1-1-6	研究を医学、医療の発展や患者の利益の増進を目的として行うよう配慮できる。
C-1-2-2	コンプライアンスを遵守する。
C-1-2-3	患者との信頼関係構築の重要性を理解している。
C-1-2-4	医療サービスの特殊性(情報の非対称性、医療の不確実性)や治療の限界を理解している。
C-1-3-1	患者中心のチーム医療の意義を理解している。

内科学I

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	中道 郁夫						
担当教員	中道 郁夫, 福原 正代, 藤澤 律子						

コアカリキュラム	内容
C-1-3-2	医療チームや各構成員(歯科医師、医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、言語聴覚士、臨床検査技師、診療放射線技師、その他の医療職)の役割分担と連携、責任体制を理解している。
C-1-3-3	医療、保健、福祉、介護における多職種連携と歯科医師の役割を理解している。
C-1-3-4	医療や介護をはじめとする他職種、他業種や他の医療機関との連携を行うための手続きとコミュニケーション(適切な略語などを含む)を理解している。
C-1-3-5	患者情報の守秘と患者等への情報提供の重要性と説明責任を理解している。
C-1-3-6	人生の最終段階における歯科の関わり(看取り、グリーフケアを含む)と本人の意思決定、意思表示を理解している。
C-2-1	講義、国内外の教科書や文献、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出、統合し、客観的、批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。
C-2-5	自己学修や協同学修の場に適切なInformation and Communication Technology (ICT) (e-ラーニング、モバイル技術)を活用できる。
C-2-6	適切な自己評価ができ、改善のための具体的方策を立てることができる。
C-3-3-1	医療従事者の健康管理(予防接種、被曝線量管理を含む)の重要性を理解している。
C-3-3-2	針刺し事故等に遭遇した際の対処の仕方を理解している。
C-4-1-1	健康、障害、疾病と死の概念を理解している。
C-4-1-2	口腔と全身の健康との関連を理解している。
C-7-5	パンデミックにおける院内感染対策、国際的な感染症対策と日本の防疫対策を理解している
D-1-1-1	歯科治療時の全身的偶発症を理解している。
D-1-1-2	一次救命処置(BLS)を理解している。
D-1-1-3	救急処置に用いられる薬物を列挙し、その作用機序と適応を理解している。
D-2-2-2	現症の取り方(視診、触診、打診、温度診等)を理解している。
D-2-3-1	臨床検査の目的と適応を理解している。
D-2-3-2	バイタルサインの意義とそのモニタリングの方法を理解している。
D-2-3-3	血圧、脈拍数、呼吸数、体温の測定方法と異常所見を理解している。
D-2-3-4	意識状態の確認方法と異常所見を理解している。
D-2-3-5	心電図検査及び動脈血酸素飽和度測定(パルスオキシメトリー)の目的と適応を理解している
D-2-3-6	臨床検査結果と疾患の関係を理解している。
D-2-3-7	患者の服用薬物(和漢薬を含む)の歯科治療(局所麻酔、投与薬物を含む)への影響と歯科治療時の対応を理解している。
D-2-3-8	患者(小児、妊産婦、高齢者を含む)の全身状態の評価を理解している。
D-2-4-1	口腔と医科疾患との関連について理解している。
D-5-7-1	高齢者の生理的、精神心理的及び行動的特徴(認知症を含む)を理解している。
D-5-7-2	高齢者に多く見られる疾患及び服用薬剤を理解している。
D-5-7-6	高齢者の歯科治療時の全身管理を理解している。
D-5-9-1	心身相関を理解している。
D-5-9-4	心理テストの目的と意義を理解している。
D-5-9-5	舌痛症を理解している。
D-5-9-6	歯科治療恐怖症を理解している。

内科学I

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	中道 郁夫						
担当教員	中道 郁夫, 福原 正代, 藤澤 律子						

コアカリキュラム	内容
D-5-9-7	心身医学的治療を理解している。
D-6-1-1	歯科治療を行う上で問題となる代表的な全身疾患(表1)を理解している。
D-6-1-2	代表的な全身疾患に関する服用薬剤等を理解している。
D-6-1-3	医科疾患合併症患者の歯科治療時の注意点を理解している。

テキスト

タイトル	著者	出版社
歯科のための内科学		南江堂

参考書

タイトル	著者	出版社
「病気がみえる」シリーズ		MEDIC MEDIA

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

【オフィスアワー】講義の前後、またはメールで受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	内科学の基本的事項 内科学とは、内科学と歯科、医の倫理、臨床疫学とEBM、内科疾患の原因、腫瘍などについて学ぶ。	講義・小テスト	福原 正代 中道 郁夫	キーワード：医の倫理、内科疾患の概要と統計	402講義室 Moodle
2	内科学的診断と臨床検査 問診、病歴、身体所見、カルテ記載、生命徴候の診察、臨床検査について学ぶ。	講義・小テスト	福原 正代 中道 郁夫	キーワード：全身の症候、理解すべき検査項目	402講義室 Moodle
3	呼吸器1 呼吸器の構造と機能、主要症候と病態生理、呼吸器の検査法(喀痰検査、血液検査、画像検査、胸水検査、呼吸機能検査)について学ぶ。	講義・小テスト	中道 郁夫	キーワード：肺の解剖と生理、呼吸不全、スパイロメトリー	402講義室 Moodle

内科学I

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	中道 郁夫						
担当教員	中道 郁夫, 福原 正代, 藤澤 律子						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
4	呼吸器2 かぜ症候群、インフルエンザ、急性肺炎、誤嚥性肺炎、肺結核)、気管支喘息、COPD、間質性肺炎、肺癌、肺血栓塞栓症、気胸、過換気症候群、呼吸不全について学ぶ。	講義・小テスト	中道 郁夫	キーワード：呼吸困難、感冒・肺炎、気管支喘息	402講義室 Moodle
5	消化管1 消化管の構造と機能、主要症候と病態生理、消化管の検査法(理学的検査、X線検査、内視鏡検査、ピロリ菌の検査)について学ぶ。	講義・小テスト	中道 郁夫	キーワード：消化管の解剖と生理、消化と吸収	402講義室 Moodle
6	消化管2 逆流性食道炎、食道癌、異物誤飲、胃・十二指腸潰瘍、胃癌、腸炎、炎症性腸疾患、虚血性大腸炎、薬剤性腸炎、過敏性腸症候群、大腸ポリープと癌、ポイツ・イエガース症候群、ガードナー症候群について学ぶ。	講義・小テスト	中道 郁夫	キーワード：消化性潰瘍、食道癌	402講義室 Moodle
7	肝胆膵1 肝臓の構造・機能・検査法。ウイルス性肝炎、薬剤性肝障害、アルコール性肝障害、脂肪肝炎、肝硬変、肝癌について学ぶ。	講義・小テスト	藤澤 律子 中道 郁夫	キーワード：肝臓の機能、ウイルス性肝炎、肝障害	402講義室 Moodle
8	肝胆膵2 (医療安全) 胆道系、膵臓の構造・機能・検査法。胆石症、胆嚢炎、胆道系腫瘍、膵炎、膵癌、急性腹膜炎、ならびに針刺し事故などの医療安全について学ぶ。	講義・小テスト	藤澤 律子 中道 郁夫	キーワード：黄疸、膵機能、針刺し事故	402講義室 Moodle

内科学II

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	中道 郁夫						
担当教員	中道 郁夫, 小森田 祐二						

授業の概要

内科学 I & II では医科歯科連携に必要な医学的知識を習得し、歯科患者に合併することが多い内科疾患について理解する。内容は下記に示したコアカリキュラム枝番号に沿い、共用試験でよく出題される内科関連の知識についても確認する。授業は主に教科書の「歯科のための内科学」や参考書の図表などを用いて、歯科医師として必要な内科疾患の知識を具体的に解りやすく教える。

学生の到達目標

医の倫理や科学的根拠に基づき、安全な歯科医療の重要性を理解する。

- ①口腔領域の疾患と全身疾患との関連を理解し説明できる。
- ②代表的な医科疾患（内科疾患）を説明できる。
- ③主要な医科疾患の症候を説明できる。
- ④主要な身体診察を説明できる。
- ⑤各種臨床検査と異常値の意味を説明できる。
- ⑥高齢者に多くみられる疾患を説明できる。
- ⑦有病者における歯科治療時の全身管理を説明できる。
- ⑧代表的な循環器疾患を説明できる。
- ⑨代表的な呼吸器系疾患を説明できる。
- ⑩代表的な消化器系疾患を説明できる。
- ⑪血液・凝固系疾患を説明できる。
- ⑫感染症の病原微生物、病態、予防法などを説明できる。
- ⑬アレルギーの発症機序を理解し、分類や代表的疾患を説明できる。
- ⑭糖質・脂質・タンパク質の構造・機能・代謝を説明できる。
- ⑮代表的代謝疾患を説明できる。
- ⑯代表的遺伝性疾患を説明できる。
- ⑰代表的精神疾患を説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-1-2-1	アミノ酸とタンパク質の構造、機能及び代謝を理解している。
A-1-2-2	糖質の構造、機能及び代謝を理解している。
A-1-2-3	脂質の構造、機能及び代謝を理解している。
A-1-2-4	電子伝達系と酸化的リン酸化を理解している。
A-1-2-5	酵素の機能と調節、主な代謝異常を理解している。
A-1-2-6	ビタミン、ミネラルの種類と作用を理解している。
A-1-2-7	酸化ストレス(フリーラジカル、活性酸素)の発生と作用を理解している。
A-1-2-8	栄養素の相互変換とエネルギー代謝(エネルギーの定義、食品中のエネルギー値、エネルギー消費量、推定エネルギー必要量)を理解している。
A-1-2-9	空腹時、飢餓時、食後、過食時及び運動時における代謝を理解している。
A-1-3-1	メンデルの法則や遺伝子型と表現型の関係を理解している。
A-1-3-2	核酸、遺伝子及び染色体の構造と機能を理解している。
A-1-3-4	遺伝性疾患の発生機序を理解している。
A-1-4-2	細胞内外間の物質の移動のしくみを理解している。

内科学II

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	中道 郁夫						
担当教員	中道 郁夫, 小森田 祐二						

コアカリキュラム	内容
A-1-4-3	細胞内外液のイオン組成と浸透圧、静止膜電位を理解している。
A-1-5-2	受容体を介するホルモン、成長因子、サイトカイン等による細胞間及び細胞内の情報伝達機構を理解している。
A-2-3-1	人体の老化の特性と機序及び寿命を理解している。
A-2-3-2	老化に伴う細胞、組織、器官及び個体の形態的、機能的な変化を理解している。
A-2-3-3	老化に伴う精神的、心理的变化を理解している。
A-2-3-4	個体の死の病因と病態を理解している。
A-3-1-10-1	腎・尿路系の構造と機能を理解している。
A-3-1-10-2	体液の量と組成及び浸透圧の調節機構を理解している。
A-3-1-10-3	水分と主要な電解質の出納とその異常を理解している。
A-3-1-3-3	全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を理解している。
A-3-1-4-1	心臓の構造、発生、機能及び心電図波形を理解している。
A-3-1-4-2	血液循環(肺循環、体循環及び胎児循環)の経路と主要な動静脈の名称を理解している。
A-3-1-4-3	血管の構造と神経支配を理解している。
A-3-1-4-4	循環調節の機序を理解している。
A-3-1-4-5	血液の構成要素と役割を理解している。
A-3-1-4-6	リンパ管とリンパ系組織、器官の構造と機能を理解している。
A-3-1-4-7	造血器官と造血機構を理解している。
A-3-1-4-8	止血、血液凝固及び線溶の機序を理解している。
A-3-1-5-4	中枢神経系(高次脳、脳幹、脊髄)の構造と機能(運動機能、感覚機能、高次神経機能、自律機能)及び脳血管の分布を理解している。
A-3-1-7-1	消化管の構造、機能及び調節機構を理解している。
A-3-1-7-2	肝臓、胆嚢及び膵臓の構造と機能を理解している。
A-3-1-8-1	気道系の構造と機能を理解している。
A-3-1-8-2	肺の構造、機能、呼吸運動及びガス運搬の機序を理解している。
A-3-1-9-1	内分泌器官の構造と機能を理解している。
A-3-1-9-2	ホルモンの種類、作用及び異常を理解している。
A-3-1-9-3	恒常性維持と内分泌系、神経系の機能相関を理解している。
A-3-1-9-4	体温調節の機序を理解している。
A-3-1-9-5	摂食調節の機序を理解している。
A-4-1-1	細菌、ウイルス、真菌及び原虫の基本的な構造と性状を理解している。
A-4-1-2	細菌、ウイルス、真菌及び原虫のヒトに対する感染機構と病原性を理解している。
A-4-1-3	細菌、ウイルス、真菌及び原虫による感染症の種類、予防、診断及び治療を理解している。
A-4-1-4	新興・再興感染症を理解している。
A-4-1-5	常在微生物叢の性状とヒトに対する感染機構を理解している。
A-4-1-6	感染症における化学療法目的と原理、化学療法薬の作用機序を理解している。
A-4-1-7	細菌の薬剤耐性機序を理解している。
A-4-1-8	滅菌と消毒の意義、方法及び原理を理解している。
A-4-1-9	院内感染でみられる感染機構及び問題となる微生物を理解している。
A-4-2-1	自然免疫を担当する細胞の種類と機能を理解している。
A-4-2-2	獲得免疫を担当する細胞の種類と機能を理解している。
A-4-2-3	抗原提示機能を理解している。
A-4-2-4	粘膜免疫を理解している。
A-4-2-5	免疫寛容と移植免疫を理解している。

内科学II

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	中道 郁夫						
担当教員	中道 郁夫, 小森田 祐二						

コアカリキュラム	内容
A-4-2-6	アレルギー性疾患、自己免疫疾患、免疫不全症の種類、発症機序及び病態を理解している。
A-4-2-7	ワクチンの意義と種類、特徴、接種法及び副反応を理解している。
A-5-1-1	染色体、遺伝子及び発生の異常を理解している。
A-5-1-2	環境と疾患の関係を理解している。
A-5-4-1	虚血、充血及びうっ血の徴候、原因、転帰及び関連疾患を理解している。
A-5-4-2	出血の原因、種類及び転帰を理解している。
A-5-4-3	血栓と塞栓の形成機序、形態的特徴、転帰及び関連疾患を理解している。
A-5-4-4	梗塞の種類、形態的特徴、転帰及び関連疾患を理解している。
A-5-4-5	浮腫の原因と転帰を理解している。
A-5-4-6	ショックの成因と種類を理解している。
A-5-5-1	炎症の定義と機序を理解している。
A-5-5-2	炎症に関与する細胞の種類と機能を理解している。
A-5-5-5	炎症の全身反応を理解している。
A-5-6-1	腫瘍の定義、病因及び発生病序を理解している。
A-5-6-2	腫瘍の増殖、浸潤、再発及び転移を理解している。
A-5-6-3	細胞異型と構造異型、腫瘍の組織学的分化度及び用語(前癌病変、上皮内癌、早期癌等)を理解している。
A-5-6-4	良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を理解している。
A-5-6-5	腫瘍の組織学的分類と特徴を理解している。
A-5-6-6	上皮性異形成を理解している。
A-6-1-1	医薬品の分類(毒薬、劇薬、麻薬、向精神薬、毒物、劇物を含む)を理解している。
A-6-2-1	薬物療法の種類や薬理作用の基本形式と分類を理解している。
A-6-2-2	薬物作用とその作用機序を理解している。
A-6-3-1	薬物の投与方法の種類と特徴を理解している。
A-6-3-2	薬物動態(吸収、分布、代謝、排泄)について理解している。
A-6-3-3	年齢、妊娠、病態、併用薬物、遺伝的素因が影響する薬物動態の特徴を理解している。
A-6-4-1	薬物の一般的副作用と有害事象を理解している。
A-6-4-3	薬物の連用の影響(耐性、蓄積及び薬物依存)を理解している。
A-6-4-4	薬物動態学的相互作用を理解している。
A-6-4-5	主な薬物について、薬物動態の特徴や有害事象を考慮して投与時の注意事項を理解している。
A-6-4-6	薬剤耐性(AMR)に配慮した適切な抗菌薬使用を理解している。
C-1-1-1	医の倫理と生命倫理、患者の権利に関する規範、国際規範の歴史的経緯と諸問題を理解している。
C-1-1-2	臨床(生と死に関わる問題を含む)に関する倫理的問題を理解している。
C-1-1-3	患者の自己決定権と患者が自己決定できない場合の対応を理解している。
C-1-1-4	インフォームド・コンセントの意義、重要性及び必要な説明事項を理解している。
C-1-1-5	医学研究に関する倫理的問題を理解している。
C-1-1-6	研究を医学、医療の発展や患者の利益の増進を目的として行うよう配慮できる。
C-1-2-2	コンプライアンスを遵守する。
C-1-2-3	患者との信頼関係構築の重要性を理解している。
C-1-2-4	医療サービスの特殊性(情報の非対称性、医療の不確実性)や治療の限界を理解している。
C-1-3-1	患者中心のチーム医療の意義を理解している。

内科学II

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	中道 郁夫						
担当教員	中道 郁夫, 小森田 祐二						

コアカリキュラム	内容
C-1-3-2	医療チームや各構成員(歯科医師、医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、言語聴覚士、臨床検査技師、診療放射線技師、その他の医療職)の役割分担と連携、責任体制を理解している。
C-1-3-3	医療、保健、福祉、介護における多職種連携と歯科医師の役割を理解している。
C-1-3-4	医療や介護をはじめとする他職種、他業種や他の医療機関との連携を行うための手続きとコミュニケーション(適切な略語などを含む)を理解している。
C-1-3-5	患者情報の守秘と患者等への情報提供の重要性と説明責任を理解している。
C-1-3-6	人生の最終段階における歯科の関わり(看取り、グリーフケアを含む)と本人の意思決定、意思表示を理解している。
C-2-1	講義、国内外の教科書や文献、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出、統合し、客観的、批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。
C-2-5	自己学修や協同学修の場に適切なInformation and Communication Technology(ICT)(eラーニング、モバイル技術)を活用できる。
C-2-6	適切な自己評価ができ、改善のための具体的方策を立てることができる。
C-3-3-1	医療従事者の健康管理(予防接種、被曝線量管理を含む)の重要性を理解している。
C-3-3-2	針刺し事故等に遭遇した際の対処の仕方を理解している。
C-4-1-1	健康、障害、疾病と死の概念を理解している。
C-4-1-2	口腔と全身の健康との関連を理解している。
C-7-5	パンデミックにおける院内感染対策、国際的な感染症対策と日本の防疫対策を理解している
D-1-1-1	歯科治療時の全身的偶発症を理解している。
D-1-1-2	一次救命処置(BLS)を理解している。
D-1-1-3	救急処置に用いられる薬物を列挙し、その作用機序と適応を理解している。
D-2-2-2	現症の取り方(視診、触診、打診、温度診等)を理解している。
D-2-3-1	臨床検査の目的と適応を理解している。
D-2-3-2	バイタルサインの意義とそのモニタリングの方法を理解している。
D-2-3-3	血圧、脈拍数、呼吸数、体温の測定方法と異常所見を理解している。
D-2-3-4	意識状態の確認方法と異常所見を理解している。
D-2-3-5	心電図検査及び動脈血酸素飽和度測定(パルスオキシメトリー)の目的と適応を理解している
D-2-3-6	臨床検査結果と疾患の関係を理解している。
D-2-3-7	患者の服用薬物(和漢薬を含む)の歯科治療(局所麻酔、投与薬物を含む)への影響と歯科治療時の対応を理解している。
D-2-3-8	患者(小児、妊産婦、高齢者を含む)の全身状態の評価を理解している。
D-2-4-1	口腔と医科疾患との関連について理解している。
D-5-7-1	高齢者の生理的、精神心理的及び行動的特徴(認知症を含む)を理解している。
D-5-7-2	高齢者に多く見られる疾患及び服用薬剤を理解している。
D-5-7-6	高齢者の歯科治療時の全身管理を理解している。
D-5-9-1	心身相関を理解している。
D-5-9-4	心理テストの目的と意義を理解している。
D-5-9-5	舌痛症を理解している。
D-5-9-6	歯科治療恐怖症を理解している。

内科学II

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	中道 郁夫						
担当教員	中道 郁夫, 小森田 祐二						

コアカリキュラム	内容
D-5-9-7	心身医学的治療を理解している。
D-6-1-1	歯科治療を行う上で問題となる代表的な全身疾患(表1)を理解している。
D-6-1-2	代表的な全身疾患に関する服用薬剤等を理解している。
D-6-1-3	医科疾患合併症患者の歯科治療時の注意点を理解している。

テキスト

タイトル	著者	出版社
歯科のための内科学		南江堂

参考書

タイトル	著者	出版社
「病気がみえる」シリーズ		MEDIC MEDIA

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

【オフィスアワー】講義の前後、またはメールで受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	血液1 血液と造血、主要症候と病態生理、臨床検査法と赤血球系の異常（貧血（鉄欠乏性貧血、巨赤芽球性貧血、再生不良性貧血、溶血性貧血、二次性貧血等）、赤血球増加症）について学ぶ。	講義・小テスト	中道 郁夫	キーワード：血球の種類と機能、貧血	402講義室 Moodle
2	血液2 白血球系の異常（白血病、骨髄増殖性症候群、骨髄異形成症候群、無顆粒球症、伝染性単核球症、悪性リンパ腫、形質細胞異常増殖症）について学ぶ。	講義・小テスト	中道 郁夫	キーワード：血球の分化、免疫機構	402講義室 Moodle
3	血液3 出血傾向、止血の機序、出血性素因（特発性血小板減少性紫斑病、血小板無力症、von Willebrand病、血友病、播種性血管内凝固症候群など）について学ぶ。	講義・小テスト	中道 郁夫	キーワード：血小板、凝固因子	402講義室 Moodle

内科学II

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	中道 郁夫						
担当教員	中道 郁夫, 小森田 祐二						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
4	アレルギー アレルギー反応の型、アレルギー反応の作用機序、検査方法、アナフィラキシー、アレルギー性鼻炎、気管支喘息、アトピー性皮膚炎、金属アレルギー、について学ぶ。	講義・小テスト	中道 郁夫	キーワード：免疫グロブリン、細胞性免疫	402講義室 Moodle
5	感染症の定義・分類・経路、感染症法、性行為感染症、院内感染症、主要症候、検査、敗血症、細菌感染症、ウイルス感染症、真菌感染症などについて学ぶ。	講義・小テスト	中道 郁夫	キーワード：感染症の症候、感染機序と予防法	402講義室 Moodle
6	代謝1 代謝・栄養疾患の原因、三大栄養素の代謝（炭水化物、脂質、蛋白質）、糖尿病について学ぶ。	講義・小テスト	小森田 祐二 中道 郁夫	キーワード：三大栄養素の代謝、糖尿病	402講義室 Moodle
7	代謝2 脂質異常症、高尿酸血症・痛風、肥満症、るいそう、ビタミン欠乏症・過剰症、代謝性骨疾患、水・電解質異常について学ぶ。	講義・小テスト	小森田 祐二 中道 郁夫	キーワード：生活習慣病、栄養障害	402講義室 Moodle
8	遺伝・精神 遺伝子病と染色体異常症の概念、家族性高コレステロール血症、家族性大腸ポリポーシス、血友病、ダウン症候群、ターナー症候群など。心身症と神経症の概念、うつ病、統合失調症、認知症などについて学ぶ。	講義・小テスト	中道 郁夫	キーワード：遺伝子の構造と遺伝学、精神疾患の診断	402講義室 Moodle

内科学Ⅲ

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	16	単位数	1
科目責任者	福原 正代						
担当教員	福原 正代						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 内科：福原 正代						

授業の概要

歯科医師が歯科医療を行う患者さんの多くは全身疾患を合併している。特に高齢者においては複数の全身疾患を合併している。内科学Ⅲでは歯科医師として必要な医科知識（医学常識）を理解する。共用試験でよく出題される医科関連問題についても学ぶ。下記の事項に示したコアカリキュラム枝番号に沿い、主に教科書の「歯科のための内科学」とCBT過去問題、歯科医師国家試験過去問題を用いて歯科医師として必要な医科知識を具体的に学ぶ。

学生の到達目標

- ①口腔領域の疾患と全身疾患との関連を理解し説明できる。
- ②代表的な医科疾患（内科疾患）を説明できる。
- ③主要な医科疾患の症候を説明できる。
- ④主要な身体診察を説明できる。
- ⑤各種臨床検査の基準値を知り、重要な異常値の意味を説明できる。
- ⑥心臓の構造と機能を説明できる。
- ⑦肺循環と体循環の2系統を説明できる。
- ⑧バイタルサインを列挙し、説明できる。
- ⑨血圧を測定できる。
- ⑩代表的な循環器疾患を説明できる。
- ⑪歯科治療時の全身的偶発症を説明できる。
- ⑫救急時の対応を説明できる。
- ⑬医科疾患合併患者の歯科治療時の注意点を説明できる。
- ⑭脳と脊髄の基本的構造と機能を説明できる。
- ⑮代表的神経疾患を説明できる。
- ⑯腎臓、尿管、膀胱及び尿道の構造と機能を説明できる。
- ⑰水代謝と主な電解質の出納とその異常を説明できる。
- ⑱代表的腎臓疾患を説明できる。
- ⑲口腔・顎顔面領域に症状を現すアレルギー性疾患、膠原病、免疫異常の症状を列挙できる。
- ⑳医科疾患合併患者の歯科治療時の注意点を説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-3-①	適切な医療面接により、患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を実施できる
A-3-②	全身状態の評価に基づいた口腔・顎顔面領域の診察ができる。
A-4-1)-②	コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。
A-6-1)-⑥	医療関連感染の原因と対策を概説できる。
C-2-1)-④	生体のエネルギー産生と利用を説明できる。
C-3-3)-(4)-①	心臓の構造、発生、機能及び心電図波形を説明できる。
C-3-3)-(4)-②	血液循環（肺循環、体循環及び胎児循環）の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。
C-3-3)-(4)-③	血管の構造と血圧調節機能を説明できる。
C-3-4)-(10)-①	腎臓、尿管、膀胱及び尿道の構造と機能を説明できる。
C-3-4)-(10)-②	体液の量と組成及び浸透圧の調節機構を説明できる。

内科学Ⅲ

開講学科	歯学科			開講年次	4年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	16	単位数	1
科目責任者	福原 正代						
担当教員	福原 正代 ※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 内科：福原 正代						

コアカリキュラム	内容
C-3-4)-(10)-③	水代謝と主な電解質の出納とその異常を説明できる。
C-3-4)-(5)-①	末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。
C-3-4)-(5)-②	体性神経系と自律神経系の構造と機能を説明できる。
C-3-4)-(5)-③	交感神経系と副交感神経系の構造と機能を説明できる。
C-3-4)-(5)-④	脳と脊髄の構造と機能（運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能）を説明できる。
C-3-4)-(5)-⑤	脳血管の構造と分布及び機能的特徴を説明できる。
C-3-4)-(5)-⑥	反射、半自動運動、随意運動の発現と調節の機序を説明できる。
C-4-2)-①	自然免疫の種類と機能を説明できる。
C-4-2)-②	獲得免疫の種類と機構を説明できる。
C-4-2)-③	免疫系担当臓器・細胞の種類と機能を説明できる。
C-4-2)-④	抗原提示機能と免疫寛容を説明できる。
C-5-4)-①	虚血、充血及びうっ血の徴候、原因、転帰及び関連疾患を説明できる。
C-5-4)-②	出血の原因、種類及び転帰を説明できる。
C-5-4)-③	血栓と塞栓の形成機序、形態的特徴、転帰及び関連疾患を説明できる。
C-5-4)-④	梗塞の種類、形態的特徴、転帰及び関連疾患を説明できる。
C-5-4)-⑤	浮腫の原因と転帰を説明できる。
C-5-4)-⑥	ショックの成因と種類を説明できる。
E-1-1)-①	診察、検査及び診断に必要な事項を列挙できる。
E-1-1)-③	病歴聴取（主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、社会歴・職業歴等）を説明できる。
E-1-1)-④	現症の取り方（視診、触診、打診、聴診等）を説明できる。
E-1-1)-⑥	診断に必要な検査を列挙できる。
E-1-3)-①	臨床検査の目的と適応を説明できる。
E-1-3)-②	診断に必要な臨床検査項目を列挙できる。
E-1-3)-③	心電図検査及び動脈血酸素飽和度測定（パルスオキシメトリ）の目的と適応を列挙できる。
E-1-3)-④	各臓器における疾患に特有な検査項目を説明できる。
E-1-3)-⑤	臨床検査結果と疾患の関係を説明できる。
E-1-4)-(1)-①	バイタルサインの意義とそのモニタリングの方法を説明できる。
E-1-4)-(1)-②	血圧、脈拍数、呼吸数の測定方法と異常所見を説明できる。
E-1-4)-(1)-③	体温の測定方法を説明できる。
E-1-4)-(1)-④	意識状態の確認方法と異常所見を説明できる。
E-1-4)-(1)-⑤	患者の服用薬物の歯科治療への影響と歯科治療時の対応を説明できる。
E-1-6)-①	歯科治療時の全身的偶発症を説明できる。
E-1-6)-②	一次救命処置(basic life support<BLS>)を説明できる。
E-1-6)-③	救急処置に用いられる薬物を列挙し、その作用機序と適応を説明できる。
E-2-2)-⑨	口腔・顎顔面領域の体性感覚の特徴と疼痛を説明できる。
E-2-4)-(10)-③	口腔・顎顔面領域に症状を現すアレルギー性疾患、膠原病、免疫異常の症状を列挙できる。
E-2-4)-(10)-⑤	口腔・顎顔面領域に症状を現す症候群の種類と症状を列挙できる。
E-2-4)-(10)-⑦	口腔・顎顔面領域に症状を現す薬物の副作用を列挙できる。
E-2-4)-(8)-⑦	Sjögren 症候群の特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。
E-2-4)-(9)-②	三叉神経痛の原因、症状及び治療法を説明できる。
E-2-4)-(9)-③	顔面神経麻痺の原因、症状及び治療法を説明できる。
E-2-4)-(9)-④	三叉神経麻痺（感覚麻痺、運動麻痺）の原因、症状及び治療法を説明できる。

内科学III

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	16	単位数	1
科目責任者	福原 正代						
担当教員	福原 正代 ※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 内科：福原 正代						

コアカリキュラム	内容
E-6-①	全身の症候・病態を説明できる。発熱、全身倦怠感、体重減少・増加、ショック、意識障害、脱水、浮腫、けいれん、めまい、黄疸、呼吸困難、チアノーゼ、頭痛、動悸、息切れ、胸痛、睡眠障害、嘔吐、下痢
E-6-②	医科疾患合併患者の歯科治療時の注意点を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
歯科のための内科学 改訂第4版		南江堂

参考書

タイトル	著者	出版社
Key Words CBT		医学評論社
CBT PASS		麻布デンタルアカデミー
病気がみえるシリーズ		Medic Media

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

- 【オフィスアワー（学習相談）】講義の前後に、Moodleのチャット機能、あるいはメールで実施。
【オフィスアワー（学習相談）】総合内科医局：月～金 16：15以降。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	腎・泌尿器疾患総論と各論1： 腎・泌尿器の構造と機能、主要症候、病態生理、検査法、腎不全（急性腎不全、慢性腎不全、慢性腎臓病）を説明できる。	講義。小テスト。	福原 正代	事前配布資料の活用 キーワード：腎臓の構造と機能、慢性腎臓病、腎不全、急性腎障害	501講義室

内科学III

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	16	単位数	1
科目責任者	福原 正代						
担当教員	福原 正代						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 内科：福原 正代						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	腎・泌尿器疾患各論2： 糸球体疾患、全身性疾患による腎障害、血管系の疾患、腎尿路感染症、尿路結石、前立腺性疾患について説明できる。	講義。小テスト。	福原 正代	事前配布資料の活用 キーワード：腎炎、慢性腎臓病、腎不全、輸液	501講義室
3	膠原病およびリウマチ性疾患： 【総論】臨床上的特徴、主要症状、検査所見 【各論】全身性エリテマトーデス、全身性硬化症、多発性筋炎・皮膚筋炎、関節リウマチ、シェーグレン症候群、ベーチェット病、混合性結合組織病について説明できる。	講義。小テスト。	福原 正代	事前配布資料の活用 キーワード：免疫機能、自然免疫、獲得免疫、白血球の分類と機能	501講義室
4	循環器疾患総論： 循環器の構造と機能、主要症候と病態生理、検査法、心不全、急性循環不全、循環障害、高齢者における循環器疾患の診療について説明できる。	講義。小テスト。	福原 正代	事前配布資料の活用 キーワード：心臓の解剖と生理、心電図、心不全	501講義室
5	循環器疾患各論1： 不整脈（不整脈の種類）、虚血性心疾患（狭心症、心筋梗塞）について説明できる。抗血栓薬（抗血小板薬、抗凝固薬）について説明できる。	講義。小テスト。	福原 正代	事前配布資料の活用 キーワード：不整脈、心筋梗塞、狭心症、抗血栓薬	501講義室
6	循環器疾患各論2： 心筋症、先天性心疾患（心房中隔欠損症、心室中隔欠損症、ファロー四徴症等）、後天性心疾患（リウマチ熱、心臓弁膜症、川崎病）について説明できる。	講義。小テスト。	福原 正代	事前配布資料の活用 キーワード：チアノーゼ、心内膜炎、先天性心疾患	501講義室
7	神経・筋肉疾患総論と各論1： 神経系の構造と機能、主要症候と病態生理、神経疾患の診察方法と検査法、脳血管障害（脳梗塞、一過性脳虚血発作、脳出血、くも膜下出血）について説明できる。	講義。小テスト。	福原 正代	事前配布資料の活用 キーワード：神経の構造と機能、脳血管障害	501講義室

内科学III

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	16	単位数	1
科目責任者	福原 正代						
担当教員	福原 正代						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 内科：福原 正代						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
8	神経・筋肉疾患各論2： 精神発達遅滞と認知症の違いを説明できる。脳性麻痺について説明できる。アルツハイマー型認知症、脳血管性認知症、パーキンソン病、顔面神経麻痺、てんかんについて説明できる。	講義。小テスト。	福原 正代	事前配布資料の活用 キーワード：認知症、パーキンソン病、てんかん	501講義室

内科学IV

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	福原 正代						
担当教員	福原 正代, 大田 祐子, 木村 愛						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 内科：福原 正代、大田 祐子、木村 愛						

授業の概要

歯科医師が歯科医療を行う患者さんの多くは全身疾患を合併している。特に高齢者においては複数の全身疾患を合併している。内科学IVでは歯科医師として必要な医科知識（医学常識）を理解する。共用試験でよく出題される医科関連問題についても学ぶ。下記の事項に示したコアカリキュラム枝番号に沿い、主に教科書の「歯科のための内科学」とCBT過去問題、歯科医師国家試験過去問題を用いて歯科医師として必要な医科知識を具体的に学ぶ。

学生の到達目標

- ①口腔領域の疾患と全身疾患との関連を理解し説明できる。
- ②代表的な医科疾患（内科疾患）を説明できる。
- ③主要な医科疾患の症候を説明できる。
- ④主要な身体診察を説明できる。
- ⑤各種臨床検査の基準値を知り、重要な異常値の意味を説明できる。
- ⑥バイタルサインを列挙し、説明できる。
- ⑦心臓の構造と機能を説明できる。
- ⑧バイタルサインを列挙し、説明できる。
- ⑨血圧を測定できる。
- ⑩代表的な循環器疾患を説明できる。
- ⑪救急時の対応を説明できる。
- ⑫医科疾患合併患者の歯科治療時の注意点を説明できる。
- ⑬内分泌器官・組織の構造と機能及びホルモンの種類、作用と異常を説明できる。
- ⑭代表的な内分泌疾患を説明できる。
- ⑮薬物の一般的な副作用、有害作用と口唇・口腔・顎顔面領域に現れる副作用、有害作用を説明できる。
- ⑯老化に伴う細胞、組織、器官及び個体の形態的・機能的な変化を概説できる。
- ⑰老化に伴う精神的・心理的变化を説明できる。
- ⑱高齢者に多くみられる疾患を説明できる。
- ⑲感染症とその対策について説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-3-①	適切な医療面接により、患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を実施できる
A-3-②	全身状態の評価に基づいた口腔・顎顔面領域の診察ができる。
A-4-1)-②	コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。
A-5-1)-①	患者中心のチーム医療の意義を説明できる。
A-5-1)-②	医療チームや各構成員（歯科医師、医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制を説明できる。
A-6-1)-⑥	医療関連感染の原因と対策を概説できる。
A-6-3)-①	医療従事者の健康管理（予防接種を含む）の重要性を説明できる。
A-6-3)-②	標準予防策(standard precautions)を説明できる。

内科学IV

開講学科	歯学科			開講年次	4年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	福原 正代						
担当教員	福原 正代, 大田 祐子, 木村 愛 ※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 内科：福原 正代、大田 祐子、木村 愛						

コアカリキュラム	内容
A-6-3)-③	感染経路別予防策を説明できる。
A-6-3)-④	針刺し事故等に遭遇した際の対処の仕方を説明できる。
C-2-1)-①	アミノ酸とタンパク質の構造、機能及び代謝を説明できる。
C-2-1)-②	糖質の構造、機能及び代謝を説明できる。
C-2-1)-③	脂質の構造、機能及び代謝を説明できる。
C-2-1)-④	生体のエネルギー産生と利用を説明できる。
C-3-3)-①	人体の老化の特性と機序及び寿命を概説できる。
C-3-3)-②	老化に伴う細胞、組織、器官及び個体の形態的・機能的な変化を概説できる。
C-3-3)-③	老化に伴う精神的・心理的变化を説明できる。
C-3-4)-(10)-②	体液の量と組成及び浸透圧の調節機構を説明できる。
C-3-4)-(10)-③	水代謝と主な電解質の出納とその異常を説明できる。
C-3-4)-(4)-①	心臓の構造、発生、機能及び心電図波形を説明できる。
C-3-4)-(4)-③	血管の構造と血圧調節機能を説明できる。
C-3-4)-(5)-②	体性神経系と自律神経系の構造と機能を説明できる。
C-3-4)-(5)-③	交感神経系と副交感神経系の構造と機能を説明できる。
C-3-4)-(5)-④	脳と脊髄の構造と機能（運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能）を説明できる。
C-3-4)-(5)-⑤	脳血管の構造と分布及び機能的特徴を説明できる。
C-3-4)-(5)-⑥	反射、半自動運動、随意運動の発現と調節の機序を説明できる。
C-3-4)-(9)-①	内分泌器官・組織の構造と機能及びホルモンの種類、作用と異常を説明できる。
C-4-1)-①	細菌、真菌、ウイルス及び原虫の基本的な構造と性状を説明できる。
C-4-1)-②	細菌、真菌、ウイルス及び原虫のヒトに対する感染機構と病原性を説明できる。
C-4-1)-③	感染症の種類、予防、診断及び治療を説明できる。
C-4-2)-⑧	ワクチンの意義と種類、特徴及び副反応を説明できる。
C-5-4)-①	虚血、充血及びうっ血の徴候、原因、転帰及び関連疾患を説明できる。
C-5-4)-②	出血の原因、種類及び転帰を説明できる。
C-5-4)-③	血栓と塞栓の形成機序、形態的特徴、転帰及び関連疾患を説明できる。
C-5-4)-④	梗塞の種類、形態的特徴、転帰及び関連疾患を説明できる。
C-5-4)-⑤	浮腫の原因と転帰を説明できる。
C-5-4)-⑥	ショックの成因と種類を説明できる。
C-6-4)-①	薬物の一般的副作用と有害事象を説明できる。
E-1-1)-①	診察、検査及び診断に必要な事項を列挙できる。
E-1-1)-③	病歴聴取（主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、社会歴・職業歴等）を説明できる。
E-1-1)-④	現症の取り方（視診、触診、打診、聴診等）を説明できる。
E-1-1)-⑥	診断に必要な検査を列挙できる。
E-1-3)-①	臨床検査の目的と適応を説明できる。
E-1-3)-②	診断に必要な臨床検査項目を列挙できる。
E-1-3)-③	心電図検査及び動脈血酸素飽和度測定（パルスオキシメトリ）の目的と適応を列挙できる。
E-1-3)-④	各臓器における疾患に特有な検査項目を説明できる。
E-1-3)-⑤	臨床検査結果と疾患の関係を説明できる。
E-1-4)-(1)-①	バイタルサインの意義とそのモニタリングの方法を説明できる。
E-1-4)-(1)-②	血圧、脈拍数、呼吸数の測定方法と異常所見を説明できる。
E-1-4)-(1)-③	体温の測定方法を説明できる。
E-1-4)-(1)-④	意識状態の確認方法と異常所見を説明できる。
E-1-4)-(1)-⑤	患者の服用薬物の歯科治療への影響と歯科治療時の対応を説明できる。

内科学IV

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	福原 正代						
担当教員	福原 正代, 大田 祐子, 木村 愛 ※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 内科：福原 正代、大田 祐子、木村 愛						

コアカリキュラム	内容
E-1-4)-(1)-⑥	患者（小児、妊産婦、高齢者を含む）の全身状態の評価を説明できる。
E-1-6)-①	歯科治療時の全身的偶発症を説明できる。
E-1-6)-②	一次救命処置(basic life support<BLS>)を説明できる。
E-1-6)-③	救急処置に用いられる薬物を列挙し、その作用機序と適応を説明できる。
E-2-2)-⑨	口腔・顎顔面領域の体性感覚の特徴と疼痛を説明できる。
E-2-4)-(10)-①	口腔・顎顔面領域に症状を現す血液疾患（貧血、出血性素因、白血病）とスクリーニング検査法を説明できる。
E-2-4)-(10)-⑤	口腔・顎顔面領域に症状を現す症候群の種類と症状を列挙できる。
E-2-4)-(10)-⑦	口腔・顎顔面領域に症状を現す薬物の副作用を列挙できる。
E-2-4)-(10)-⑧	口腔・顎顔面領域に症状を現す代謝障害とその症状を列挙できる。
E-2-4)-(10)-⑨	口腔・顎顔面領域に症状を現すビタミン欠乏症とその症状を列挙できる。
E-2-4)-(9)-②	三叉神経痛の原因、症状及び治療法を説明できる。
E-2-4)-(9)-③	顔面神経麻痺の原因、症状及び治療法を説明できる。
E-2-4)-(9)-④	三叉神経麻痺（感覚麻痺、運動麻痺）の原因、症状及び治療法を説明できる。
E-5-1)-①	高齢者の生理的、心理的及び行動的特徴を説明できる。
E-5-1)-②	高齢者に多く見られる疾患及び服用している薬物を説明できる。
E-6-①	全身の症候・病態を説明できる。発熱、全身倦怠感、体重減少・増加、ショック、意識障害、脱水、浮腫、けいれん、めまい、黄疸、呼吸困難、チアノーゼ、頭痛、動悸、息切れ、胸痛、睡眠障害、嘔吐、下痢
E-6-②	医科疾患合併患者の歯科治療時の注意点を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
歯科のための内科学 改訂第4版		南江堂

参考書

タイトル	著者	出版社
Key Words CBT		医学評論社
CBT PASS		麻布デンタルアカデミー
病気がみえるシリーズ		Medic Media

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

内科学IV

開講学科	歯学科			開講年次	4年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	福原 正代						
担当教員	福原 正代, 大田 祐子, 木村 愛						
	※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 内科：福原 正代、大田 祐子、木村 愛						

その他

- 【オフィスアワー（学習相談）】 講義の前後に、Moodleのチャット機能、あるいはメールで実施。
 【オフィスアワー（学習相談）】 総合内科医局：月～金 16：15以降。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	中毒、物理的・環境的原因による障害：中毒総論（急性中毒・慢性中毒、主要症候、診断・検査法）、中毒各論（薬物中毒、アルコール中毒、食中毒）について説明できる。薬の副作用について説明できる。	講義。小テスト。	福原 正代	事前配布資料の活用 キーワード：薬の主作用・副作用	501 講義室
2	内分泌疾患総論と各論1：ホルモンの分泌と生理作用、内分泌疾患の原因、視床下部-下垂体疾患、甲状腺疾患について説明できる。	講義。小テスト。	福原 正代 木村 愛	事前配布資料の活用 キーワード：ホルモン、甲状腺疾患	501 講義室
3	循環器疾患各論3： 血圧異常（高血圧症、低血圧症）、動脈疾患（動脈硬化症、大動脈瘤）、静脈疾患（深部静脈血栓閉塞症、静脈瘤）について説明できる。	講義。小テスト。	大田 祐子	事前配布資料の活用 キーワード：高血圧症、低血圧症、動脈硬化、大動脈瘤	501 講義室
4	救急： バイタルサイン、救急蘇生法、歯科治療中に起こりうる全身偶発症、酸素療法について説明できる。	講義。小テスト。	大田 祐子	事前配布資料の活用 キーワード：バイタルサイン、救急蘇生、酸素療法	501 講義室
5	内分泌疾患各論2：副甲状腺疾患、副腎疾患、異所性ホルモン産生腫瘍、性分化異常、マッキューン・オルブライト症候群について説明できる。	講義。小テスト。	福原 正代 木村 愛	事前配布資料の活用 キーワード：副腎疾患、副甲状腺疾患	501 講義室

内科学IV

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	福原 正代						
担当教員	福原 正代, 大田 祐子, 木村 愛 ※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 内科：福原 正代、大田 祐子、木村 愛						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
6	全身の症候学、臨床検査総論： 発熱、全身倦怠感、体重減少・増加、ショック、意識障害、脱水、浮腫、けいれん、めまい、黄疸、呼吸困難、チアノーゼ、頭痛、動悸、息切れ、胸痛、睡眠障害、嘔吐、下痢について、説明できる。 臨床検査について説明できる。	講義。小テスト。	福原 正代	事前配布資料の活用 キーワード：症候、検査	501講義室
7	高齢者医学、臨床検査基準値： 高齢者医学（病気の特徴、薬物療法、医学的・社会的問題）と臨床検査基準値（尿、血液・凝固・線溶系、血液生化学、循環機能、呼吸機能）について説明できる。	講義。小テスト。	福原 正代	事前配布資料の活用 キーワード：老化、検査、検査基準値	501講義室
8	感染症 CBTと国家試験問題に挑戦。	講義。小テスト。	福原 正代	事前配布問題の演習 キーワード：感染、感染症、病原体の分類、針刺し事故、ワクチン	501講義室

内科学V

開講学科	歯学科		開講年次	5年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	福原 正代						
担当教員	福原 正代 ※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 内科：福原 正代						

授業の概要

内科学Vでは、下記のコアカリキュラム内容と国家試験出題基準に沿い、主に国家試験の過去問題を用いて歯科医師として必要な医科知識（医学常識）を具体的に学ぶ。
 なお、国試の医科関連問題増加に対応するため、医師国試と看護師国試の過去問も授業内容に加える。
 さらに、実際の症例を通じて、医科歯科連携、歯科医師としての医学常識を学ぶ。

学生の到達目標

- ① 歯科医師として必要な全身疾患（内科的疾患）を理解する。
- ② 各種臨床検査の基準値を知り、重要な異常値の意味を説明できる。
- ③ 口唇・口腔・顎顔面に症状を現す血液疾患とスクリーニング検査法を列挙できる。
- ④ 老化の身体的、精神的および心理的特徴を説明できる
- ⑤ 高齢者に多く見られる疾患を説明できる。
- ⑥ 高齢者の歯科治療時の全身管理を説明できる。
- ⑦ 心臓の構造と機能を説明できる。
- ⑧ 肺循環と体循環の2系統を説明できる。
- ⑨ 薬物の一般的副作用、有害作用と口腔・顎顔面領域に現れる副作用、有害作用を説明できる。
- ⑩ 処方と処方箋の書き方を説明できる。
- ⑪ バイタルサインを列挙し、説明できる。
- ⑫ 血圧を測定できる。
- ⑬ 針刺し事故等に遭遇した際の対処の仕方を説明できる。
- ⑭ 医療面接の役割を説明できる。
- ⑮ 主要な身体診察を説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-1-1)-②	医の倫理に関する規範・国際規範（ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、ヘルシンキ宣言等）を概説できる。
A-1-2)-①	患者の権利を説明できる。
A-1-2)-②	患者の自己決定権を説明できる。
A-1-2)-③	患者が自己決定できない場合の対応を説明できる。
A-1-2)-④	インフォームド・コンセントの意義と重要性を説明できる。
A-3-①	適切な医療面接により、患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を実施できる
A-3-②	全身状態の評価に基づいた口腔・顎顔面領域の診察ができる。
A-4-1)-②	コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。
A-4-1)-③	医療面接における基本的なコミュニケーションができる。
A-5-1)-①	患者中心のチーム医療の意義を説明できる。
A-5-1)-②	医療チームや各構成員（歯科医師、医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制を説明できる。
A-6-3)-①	医療従事者の健康管理（予防接種を含む）の重要性を説明できる。

内科学V

開講学科	歯学科			開講年次	5年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	福原 正代						
担当教員	福原 正代 ※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 内科：福原 正代						

コアカリキュラム	内容
A-6-3)-②	標準予防策(standard precautions)を説明できる。
A-6-3)-③	感染経路別予防策を説明できる。
A-6-3)-④	針刺し事故等に遭遇した際の対処の仕方を説明できる。
B-4-2)-①	確率変数とその分布、統計的推測(推定と検定)の原理と方法を説明できる。
B-4-2)-②	主な保健統計(歯科疾患実態調査、国民健康・栄養調査、国勢調査、人口動態調査、患者調査、医療施設調査、医師・歯科医師・薬剤師調査、学校保健統計調査等)を説明できる。
C-2-1)-①	アミノ酸とタンパク質の構造、機能及び代謝を説明できる。
C-2-1)-②	糖質の構造、機能及び代謝を説明できる。
C-2-1)-③	脂質の構造、機能及び代謝を説明できる。
C-2-1)-④	生体のエネルギー産生と利用を説明できる。
C-3-3)-(4)-①	心臓の構造、発生、機能及び心電図波形を説明できる。
C-3-3)-(4)-②	血液循環(肺循環、体循環及び胎児循環)の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。
C-3-3)-(4)-③	血管の構造と血圧調節機能を説明できる。
C-3-3)-(4)-④	血液の構成要素と役割を説明できる。
C-3-3)-(4)-⑥	造血器官と造血機構を説明できる。
C-3-3)-(4)-⑦	止血、血液凝固及び線溶の機序を説明できる。
C-3-3)-(7)-②	肝臓の構造と機能及び胆汁と胆道系を説明できる。
C-3-3)-(7)-③	膵臓(外分泌部と内分泌部)の構造と機能を説明できる。
C-3-3)-(8)-①	気道系の構造と機能を説明できる。
C-3-3)-(8)-②	肺の構造・機能と呼吸運動を説明できる。
C-3-3)-(9)-①	内分泌器官・組織の構造と機能及びホルモンの種類、作用と異常を説明できる。
C-3-3)-①	人体の老化の特性と機序及び寿命を概説できる。
C-3-3)-②	老化に伴う細胞、組織、器官及び個体の形態的・機能的な変化を概説できる。
C-3-3)-③	老化に伴う精神的・心理的变化を説明できる。
C-3-4)-(10)-①	腎臓、尿管、膀胱及び尿道の構造と機能を説明できる。
C-3-4)-(10)-②	体液の量と組成及び浸透圧の調節機構を説明できる。
C-3-4)-(10)-③	水代謝と主な電解質の出納とその異常を説明できる。
C-4-1)-③	感染症の種類、予防、診断及び治療を説明できる。
C-4-1)-④	滅菌と消毒の意義、種類及び原理を説明できる。
C-4-2)-①	自然免疫の種類と機能を説明できる。
C-4-2)-②	獲得免疫の種類と機構を説明できる。
C-4-2)-③	免疫系担当臓器・細胞の種類と機能を説明できる。
C-4-2)-④	抗原提示機能と免疫寛容を説明できる。
C-4-2)-⑤	アレルギー性疾患の種類、発症機序及び病態を説明できる。
C-4-2)-⑥	免疫不全症・自己免疫疾患の種類、発症機序及び病態を説明できる。
C-5-4)-①	虚血、充血及びうっ血の徴候、原因、転帰及び関連疾患を説明できる。
C-5-4)-②	出血の原因、種類及び転帰を説明できる。
C-5-4)-③	血栓と塞栓の形成機序、形態的特徴、転帰及び関連疾患を説明できる。
C-5-4)-④	梗塞の種類、形態的特徴、転帰及び関連疾患を説明できる。
C-5-4)-⑤	浮腫の原因と転帰を説明できる。
C-5-4)-⑥	ショックの成因と種類を説明できる。
C-6-4)-①	薬物の一般的副作用と有害事象を説明できる。

内科学V

開講学科	歯学科			開講年次	5年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	福原 正代						
担当教員	福原 正代 ※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 内科：福原 正代						

コアカリキュラム	内容
E-1-1)-①	診察、検査及び診断に必要な事項を列挙できる。
E-1-1)-③	病歴聴取（主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、社会歴・職業歴等）を説明できる。
E-1-1)-④	現症の取り方（視診、触診、打診、聴診等）を説明できる。
E-1-1)-⑥	診断に必要な検査を列挙できる。
E-1-1)-⑦	問題志向型診療記録(problem-oriented medical record <POMR>)を説明できる。
E-1-1)-⑧	インフォームド・コンセントを説明できる。
E-1-1)-⑨	処方と処方箋の書き方を説明できる。
E-1-3)-①	臨床検査の目的と適応を説明できる。
E-1-3)-②	診断に必要な臨床検査項目を列挙できる。
E-1-3)-③	心電図検査及び動脈血酸素飽和度測定（パルスオキシメトリ）の目的と適応を列挙できる。
E-1-3)-④	各臓器における疾患に特有な検査項目を説明できる。
E-1-3)-⑤	臨床検査結果と疾患の関係を説明できる。
E-1-4)-①)-①	バイタルサインの意義とそのモニタリングの方法を説明できる。
E-1-4)-①)-②	血圧、脈拍数、呼吸数の測定方法と異常所見を説明できる。
E-1-4)-①)-③	体温の測定方法を説明できる。
E-1-4)-①)-④	意識状態の確認方法と異常所見を説明できる。
E-1-4)-①)-⑤	患者の服用薬物の歯科治療への影響と歯科治療時の対応を説明できる。
E-1-4)-①)-⑥	患者（小児、妊産婦、高齢者を含む）の全身状態の評価を説明できる。
E-1-6)-①	歯科治療時の全身的偶発症を説明できる。
E-1-6)-②	一次救命処置(basic life support<BLS>)を説明できる。
E-1-6)-③	救急処置に用いられる薬物を列挙し、その作用機序と適応を説明できる。
E-2-1)-③	咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。
E-2-1)-④	頭頸部の脈管系を説明できる。
E-2-1)-⑤	脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。
E-2-1)-⑧	咀嚼の意義と制御機構を説明できる。
E-2-1)-⑨	嚥下の意義と制御機構を説明できる。
E-2-2)-⑨	口腔・顎顔面領域の体性感覚の特徴と疼痛を説明できる。
E-2-4)-⑩)-①	口腔・顎顔面領域に症状を現す血液疾患（貧血、出血性素因、白血病）とスクリーニング検査法を説明できる。
E-2-4)-⑩)-②	口腔・顎顔面領域に症状を現す感染症の種類と症状を列挙できる。
E-2-4)-⑩)-③	口腔・顎顔面領域に症状を現すアレルギー性疾患、膠原病、免疫異常の症状を列挙できる。
E-2-4)-⑩)-⑤	口腔・顎顔面領域に症状を現す症候群の種類と症状を列挙できる。
E-2-4)-⑩)-⑥	口腔・顎顔面領域に症状を現す系統的骨疾患の症状、診断及び治療法を列挙できる。
E-2-4)-⑩)-⑦	口腔・顎顔面領域に症状を現す薬物の副作用を列挙できる。
E-2-4)-⑩)-⑧	口腔・顎顔面領域に症状を現す代謝障害とその症状を列挙できる。
E-2-4)-⑩)-⑨	口腔・顎顔面領域に症状を現すビタミン欠乏症とその症状を列挙できる。
E-2-4)-⑩)-⑩	ヒト免疫不全ウイルス(human immunodeficiency virus<HIV>)感染症と後天性免疫不全症候群(acquired immune deficiency syndrome<AIDS>)の口腔症状と検査法を説明できる。
E-2-4)-⑩)-⑪	口腔・顎顔面領域の慢性の痛みの原因、症状及び治療法を説明できる。

内科学V

開講学科	歯学科			開講年次	5年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	福原 正代						
担当教員	福原 正代 ※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 内科：福原 正代						

コアカリキュラム	内容
E-2-4)-(8)-⑦	Sjögren 症候群の特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。
E-2-4)-(9)-②	三叉神経痛の原因、症状及び治療法を説明できる。
E-2-4)-(9)-③	顔面神経麻痺の原因、症状及び治療法を説明できる。
E-2-4)-(9)-④	三叉神経麻痺（感覚麻痺、運動麻痺）の原因、症状及び治療法を説明できる。
E-5-1)-①	高齢者の生理的、心理的及び行動的特徴を説明できる。
E-5-1)-②	高齢者に多く見られる疾患及び服用している薬物を説明できる。
E-5-1)-⑤	高齢者の歯科治療時の全身管理を説明できる。
E-5-2)-①	障害者の身体的、精神的及び心理的特徴を説明できる。
E-5-3)-⑤	歯科治療恐怖症を説明できる。
E-6-①	全身の症候・病態を説明できる。発熱、全身倦怠感、体重減少・増加、ショック、意識障害、脱水、浮腫、けいれん、めまい、黄疸、呼吸困難、チアノーゼ、頭痛、動悸、息切れ、胸痛、睡眠障害、嘔吐、下痢
E-6-②	医科疾患合併患者の歯科治療時の注意点を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
予習資料を配布		

参考書

タイトル	著者	出版社
歯科医師国家試験用参考書 Answer		医学評論社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

- 【オフィスアワー（学習相談）】 講義の前後に、Moodleのチャット機能、あるいはメールで実施。
【オフィスアワー（学習相談）】 総合内科医局：月～金 16：15以降。

内科学V

開講学科	歯学科		開講年次	5年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	福原 正代						
担当教員	福原 正代 ※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 内科：福原 正代						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	国家試験出題基準、コアカリキュラムを確認する。 医療面接、症候、診察、高血圧：医療面接（質問法、目的、現病歴、主訴等）について説明できる。 症候について説明できる。 病歴・内科診察の方法、高血圧、循環器リスクファクター、バイタルサインについて説明できる。	講義。 小テスト。	福原 正代	バイタルサイン。 事前配布問題の演習。	601 講義室
2	内分泌・代謝疾患 内科血液検査と基準値、HbA1cと血糖、歯科と糖尿病、低血糖発作症例、ケトアシドーシスについて説明できる。 内分泌疾患（甲状腺疾患）を説明できる。 動脈硬化に関連した検査と基準値を説明できる。 メタボリック症候群を説明できる。	講義。 小テスト。	福原 正代	検査の種類。 事前配布問題の演習。	601 講義室
3	血液疾患1（貧血等）： 貧血に関連した検査と基準値、貧血の種類（鉄欠乏性貧血、巨赤芽球性貧血、再生不良性貧血）、貧血と口腔の変化（Plummer-Vinson症候群、Hunter舌炎など）を説明できる。末梢血血球（白血球分類含む）について説明できる。	講義。 小テスト。	福原 正代	血球の分類と役割。 事前配布問題の演習。	601 講義室
4	血液疾患2（出血傾向9 止血機構が説明できる。 出血傾向に関連した検査と基準値（血小板数、出血時間、凝固時間、PT-INR、APTT）について説明できる。白血病、播種性血管内凝固症候分、Schonlein-Henoch紫斑病、von Willebrand病、壊血病、血友病について説明できる。 抗血栓薬について説明できる。	講義。 小テスト。	福原 正代	止血機構。 事前配布問題の演習。	601 講義室

内科学V

開講学科	歯学科		開講年次	5年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	福原 正代						
担当教員	福原 正代 ※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 内科：福原 正代						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
5	循環器疾患1（虚血性心臓病等）： 心臓の解剖と生理を説明できる。 肺循環と体循環について説明できる。 狭心症、心筋梗塞について説明できる。 局麻・抜歯と全身疾患、抗血栓薬について説明できる。 心電図を判読できる。 心不全について説明できる。	講義。 小テスト。	福原 正代	心臓の機能。 事前配布問題の演習。	601 講義室
6	循環器疾患2（不整脈等） 不整脈（頻脈、徐脈、上室性期外収縮、心室性期外収縮、心室頻拍、心房細動、心室細動、房室ブロック等）、心臓弁膜症、先天性心疾患、心内膜炎について説明できる。 ワルファリンとPT-INR、新しい抗凝固薬について説明できる。 チアノーゼについて説明できる。	講義。 小テスト。	福原 正代	心臓の機能。 事前配布問題の演習。	601 講義室
7	神経疾患： 神経学的診察、要介護の原因、脳血管障害、認知症、パーキンソン病、ADL、てんかんについて説明できる。	講義。 小テスト。	福原 正代	神経の解剖と生理。 事前配布問題の演習。	601 講義室
8	腎疾患、その他疾患： 腎臓の生理、腎機能検査（Cr、BUN、Ccr、eGFR、尿蛋白）、動脈血ガス分析（Pao ₂ 、Paco ₂ 、PH、HCO ₃ ⁻ 、Spo ₂ ）について説明できる。 血液透析患者の歯科治療について説明できる。	講義。 小テスト。	福原 正代	腎臓の機能。 事前配布問題の演習。	601 講義室

内科学V

開講学科	歯学科		開講年次	5年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	福原 正代						
担当教員	福原 正代 ※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 内科：福原 正代						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
9	呼吸器疾患、感染症①： 肺の生理、肺機能検査を説明できる。 肺炎、気管支喘息、閉塞性肺疾患（気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患）、拘束性肺疾患（間質性肺炎）、肺癌について説明できる。 睡眠時無呼吸症候群、過換気症候群、呼吸不全について説明できる。 感染症を説明できる。 皮膚ウイルス性疾患（麻疹、手足口病を含む）を説明できる。	講義。 小テスト。	福原 正代	肺の機能。 事前配布問題の演習。	601 講義室
10	肝疾患と院内感染、感染症②： 肝臓の生理を説明できる。 肝機能検査（ALT、AST、 γ GTP、ICG試験）を説明できる。肝炎、肝硬変について説明できる。 院内感染予防（針刺し事故、消毒・滅菌方法、消毒薬）について説明できる。 B型肝炎、C型肝炎、HIV感染、結核について説明できる。	講義。 小テスト。	福原 正代	肝臓の機能。 事前配布問題の演習。	601 講義室
11	薬剤、膠原病： 薬剤使用時の注意点、副作用・相互作用、適応症を説明できる。 高齢者・小児・妊産婦の注意点、処方箋について説明できる。膠原病について説明できる。	講義。 小テスト。	福原 正代	薬剤の代謝。免疫機構。 事前配布問題の演習。	601 講義室
12	老化、わが国の主要死因、栄養： 全身の老化（肺機能、心機能、腎機能、基礎代謝、体液分布）、我国の主要死因、栄養（アルブミン、BMI、総蛋白）について説明できる。	講義。 小テスト。	福原 正代	老化とは何か。 事前配布問題の演習。	601 講義室

内科学V

開講学科	歯学科			開講年次	5年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	福原 正代						
担当教員	福原 正代 ※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり 内科：福原 正代						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
13	歯科診療時に遭遇する主な救急疾患： バイタルサインについて説明できる。 神経原性ショック、アナフィラキシーショック、心原性ショックについて説明できる。 過換気症候群、狭心症、機関誌喘息の対処について説明できる。 救急処置（心マッサージ、人工呼吸、除細動）を説明できる。	講義。 小テスト。	福原 正代	バイタルサインの測定。救急処置。 事前配布問題の演習。	601講義室
14	医師国家試験問題・看護師国家試験問題： 代表的医科疾患について、医師国家試験、看護師国家試験から学ぶ。 頻度が高い疾患で知っておくべき医学知識を学ぶ。	講義。 小テスト。	福原 正代	事前配布問題の演習。	601講義室
15	第117回歯科医師国家試験問題： 知っておくべき医科知識について、最新の歯科医師国試問題から学ぶ。	講義。 小テスト。	福原 正代	事前配布問題の演習。	601講義室

高齢・障害者歯科学I

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	久保田 潤平						
担当教員	久保田 潤平, 多田 葉子, 唐木 純一, (非)柿木 保明, (非)迫田 綾子, (非)遠藤 眞美, (非)木村 ※氏名の後ろに(診療科名)の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業の概要

高齢社会において、口腔の健康の回復・増進により高齢者の生活の質(QOL)の向上に貢献することは歯科医師の大きな責務である。そこで、高齢者の身体的、精神的及び心理的特長を理解した上で各種歯科治療上の留意点や摂食嚥下リハビリテーション、口腔ケア等について系統的に学習する。要介護高齢者および障害者に対する歯科治療や在宅歯科診療、摂食嚥下リハビリテーション、口腔ケアについては、学内での見学実習の機会がほとんど無いことから、臨床の現場における積極的な取り組みの実践例についても学ぶ。

学生の到達目標

- ①老化の身体的、精神的および心理的特徴を説明できる。
- ②老化に伴う口腔諸組織の構造と機能の変化を説明できる。
- ③高齢者に多くみられる疾患を説明できる。
- ④高齢者の歯科治療時の全身管理を説明できる。
- ⑤高齢者に対して基本的な歯科治療の介助ができる。
- ⑥要介護高齢者の歯科治療と口腔ケアを説明できる。
- ⑦摂食嚥下リハビリテーションを説明できる。
- ⑧障害者の身体的、精神的および心理的特徴を説明できる。
- ⑨障害者の行動調整(行動管理)と歯科治療を説明できる。
- ⑩障害者に対して歯科保健指導ができる。
- ⑪高齢者・障害者に対して基本的な歯科治療の介助ができる。
- ⑫高齢者の全身状態を考慮した口腔観察および漢方治療について説明できる。
- ⑬高齢者の終末期の歯科的対応について説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-2-4-7	加齢、歯の喪失に伴う顎骨と顎関節の形態変化を理解している。
A-2-4-8	歯、歯周組織、咀嚼機能、嚥下機能の加齢変化を理解している。
C-4-3-4	小児や高齢者、障害者等の置かれた社会環境とその考え方(ユニバーサルデザイン、バリアフリー、生活の質(QOL))を理解している。
C-4-3-6	地域包括ケアシステムをはじめとする、地域における医療・保健・福祉・介護の連携を理解している。
CS-06	高齢者、有病者、障害者等の配慮が必要な患者に対応できる。
D-3-1-11-2	摂食嚥下障害の原因、診察、検査、診断及び治療方針を理解している。
D-5-7-10	高齢者の虐待の徴候と対応を理解している。
D-5-7-2	高齢者に多く見られる疾患及び服用薬剤を理解している。
D-5-7-3	高齢者の口腔機能検査と口腔機能管理を理解している。
D-5-7-4	口腔機能低下症を理解している。
D-5-7-6	高齢者の歯科治療時の全身管理を理解している。
D-5-7-7	要介護高齢者(在宅要介護者を含む)の歯科治療時の注意点を理解している。
D-5-7-8	高齢者の摂食嚥下障害(成人の中途障害を含む)の原因となる背景・疾患及び摂食嚥下リハビリテーション(食形態の調整を含む)を理解している。

高齢・障害者歯科学I

開講学科	歯学科			開講年次	4年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	久保田 潤平						
担当教員	久保田 潤平, 多田 葉子, 唐木 純一, (非)柿木 保明, (非)迫田 綾子, (非)遠藤 眞美, (非)木村 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

コアカリキュラム	内容
D-5-7-9	高齢者の栄養状態の評価と栄養指導を理解している。
D-5-8-1	障害児・者の身体的、精神的及び心理的特徴を理解している。
D-5-8-2	障害児・者の行動調整(行動管理)と歯科治療に必要な注意点を理解している。
D-5-8-3	障害児・者における歯科治療の特殊性を理解している。
D-5-8-4	障害児・者の口腔衛生管理を理解している。
D-5-8-5	障害児・者の摂食嚥下リハビリテーションを理解している。

テキスト

タイトル	著者	出版社
老年歯科医学		医歯薬出版
スペシャルニーズデンティストリー・障害者歯科		医歯薬出版
歯学生のための摂食・嚥下リハビリテーション学		医歯薬出版

参考書

タイトル	著者	出版社
歯科漢方医学		永末書店
歯科医師・歯科衛生士ができる舌診のすすめ		ヒョーロン

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	85%
小テスト	15%

その他

【オフィスアワー】講義の前後、またはメールで受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	高齢者歯科学総論 社会環境、社会福祉、介護予防の現状について理解し、口腔機能にどのような影響を与えるかについて理解する。	講義	唐木 純一	【事前学習課題】高齢者福祉、介護予防 【事後学習課題】オーラルフレイル	501 講義室
2	加齢の科学 身体機能や組織の加齢変化、高齢者の基礎疾患、心理背景について学び、高齢者の全体像を把握する。	講義	多田 葉子	【事前学習課題】身体機能および組織の加齢変化 【事後学習課題】高齢者の基礎疾患	501 講義室

高齢・障害者歯科学I

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	久保田 潤平						
担当教員	久保田 潤平, 多田 葉子, 唐木 純一, (非)柿木 保明, (非)迫田 綾子, (非)遠藤 眞美, (非)木村 ※氏名の後ろに (診療科名) の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
3	口腔の加齢変化と摂食機能 高齢者の全身状態と口腔の加齢との関連について理解し、口腔乾燥症、舌痛症、味覚異常などの高齢者に多くみられる口腔症状を学習する。	講義	唐木 純一	【事前および事後学習課題】口腔における加齢変化、高齢者に多い症状	501 講義室
4	高齢者の歯科治療 高齢者の特徴を考慮した臨床評価方法を学び、適切な治療方針の立て方や、それぞれの歯科治療の特徴について学習する。	講義	唐木 純一	【事前学習課題】高齢者における歯科治療 【事後学習課題】MMSE、長谷川式簡易知能評価スケール	501 講義室
5	高齢者の歯科訪問診療と終末期における歯科の関わり 歯科訪問診療における要介護高齢者の歯科治療と口腔ケアの実際について学習する。高齢者の終末期における口腔衛生管理の実際および食支援について学習する。	講義	多田 葉子	【事前学習課題】歯科訪問診療 【事後学習課題】終末期の口腔衛生管理	501 講義室
6	高齢者の摂食嚥下リハビリテーション 摂食嚥下リハビリテーションの実際について学習する。また、誤嚥性肺炎予防との関連や歯科的対応についても学習する。	講義	久保田 潤平	【事前学習課題】誤嚥性肺炎 【事後学習課題】VEおよびVFと摂食機能訓練	501 講義室
7	高齢者の栄養と口腔保健 摂食機能障害者の食事指導方法について学習する。また、介護食に適した食形態やその実際について学習する。	講義	多田 葉子	【事前学習課題】食形態 【事後学習課題】介護食	501 講義室
8	高齢者の口腔ケア 高齢者の食べるための口腔ケアと誤嚥を防ぐポジショニングの実際について学習する。	講義	(非)迫田 綾子	【事前学習課題】要介護高齢者に対する口腔ケア 【事後学習課題】要介護高齢者の食事と口腔ケア	501 講義室
9	高齢者・障害者の歯科治療 高齢者・障害者の歯科治療に応用されている漢方医学と舌診の実際について学習する。	講義	(非)柿木 保明	【事前学習課題】舌診 【事後学習課題】歯科医療における漢方治療	501 講義室

高齢・障害者歯科学I

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	久保田 潤平						
担当教員	久保田 潤平, 多田 葉子, 唐木 純一, (非)柿木 保明, (非)迫田 綾子, (非)遠藤 眞美, (非)木村 ※氏名の後ろに (診療科名) の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
10	障害者歯科学総論① 障害者における歯科治療の特殊性を理解し、医療、福祉、障害者歯科の現状について学習する。	講義	久保田 潤平	【事前学習課題】障害者の歯科医療 【事後学習課題】障害者医療に関わる法律	501 講義室
11	障害者歯科学総論② 障害の種類や全身的な特徴について学習する。	講義	久保田 潤平	【事前学習課題】障害の種類 【事後学習課題】身体障害、知的障害、精神障害について	501 講義室
12	障害者の歯科治療 行動調整法について理解するとともに、実際の歯科治療においてどのように応用するかについて学習する。	講義	(非)遠藤 眞美	【事前学習課題】行動変容療法について 【事後学習課題】障害者の行動調整法	501 講義室
13	摂食嚥下機能の発達と障害 摂食機能の発達について理解した上で、障害とその原因、診断、治療方針、診療の実際について学習する。	講義	久保田 潤平	【事前学習課題】離乳について 【事後学習課題】嚥下機能の発達と環境要因について	501 講義室
14	高齢者歯科と医療連携 高齢者(要介護高齢者を含む)の歯科治療や口腔ケアにおける他職種との連携について学習する。	講義	(非)木村 貴之	【事前学習課題】多職種連携 【事後学習課題】地域包括ケアシステムにおける歯科医療機関の役割	501 講義室
15	今後の高齢・障害者歯科学 高齢者・障害者の食生活と口腔保健における歯科の役割について理解するとともに、今後の展望について学習する。	講義	久保田 潤平	【事前・事後学習課題】高齢者・障害における歯科医療の役割	501 講義室

高齢・障害者歯科学II

開講学科	歯学科			開講年次	4年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	20	単位数	0.5
科目責任者	久保田 潤平						
担当教員	久保田 潤平, 多田 葉子, 唐木 純一 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業の概要

高齢社会において、口腔の健康の回復・増進により高齢者の生活の質（QOL）の向上に貢献することは歯科医師の大きな責務である。そこで、高齢者の身体的、精神的及び心理的特長を理解した上で各種歯科治療上の留意点、特に要介護高齢者に対する口腔ケア、摂食・嚥下リハビリテーション、要介護高齢者の義歯についての基礎を系統的に学習する。

学生の到達目標

- ①老化の身体的、精神的および心理的特徴を説明できる。
- ②老化に伴う口腔諸組織の構造と機能の変化を説明できる。
- ③高齢者に多くみられる疾患を説明できる。
- ④高齢者の歯科治療時の全身管理を説明できる。
- ⑤高齢者に対して基本的な歯科治療の介助ができる。
- ⑥要介護高齢者の歯科治療と口腔ケアを説明できる。
- ⑦摂食嚥下リハビリテーションを説明できる。
- ⑧高齢者の全身状態を考慮した口腔観察について説明できる。
- ⑨要介護高齢者の義歯の調整法について説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-2-4-8	歯、歯周組織、咀嚼機能、嚥下機能の加齢変化を理解している。
CS-06	高齢者、有病者、障害者等の配慮が必要な患者に対応できる。
D-3-1-11-3	言語障害の原因、診察、検査、診断及び治療方針を理解している。
D-5-7-3	高齢者の口腔機能検査と口腔機能管理を理解している。
D-5-7-5	高齢者における口腔衛生管理の用具と処置を理解している。
D-5-7-7	要介護高齢者(在宅要介護者を含む)の歯科治療時の注意点を理解している。
D-5-7-8	高齢者の摂食嚥下障害(成人の中途障害を含む)の原因となる背景・疾患及び摂食嚥下リハビリテーション(食形態の調整を含む)を理解している。

テキスト

タイトル	著者	出版社
老年歯科医学		医歯薬出版
スペシャルニーズデンティストリー・障害者歯科		医歯薬出版
歯学生のための摂食・嚥下リハビリテーション学		医歯薬出版

参考書

タイトル	著者	出版社
歯科医師・歯科衛生士ができる舌診のすすめ！患者さんの全身状態を知るために	柿木 保明	ヒョーロン・パブリッシャーズ

高齢・障害者歯科学II

開講学科	歯学科			開講年次	4年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	20	単位数	0.5
科目責任者	久保田 潤平						
担当教員	久保田 潤平, 多田 葉子, 唐木 純一 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	50%
ワークショップでの取り組みや発表内容	50%

その他

【オフィスアワー】講義の前後、またはメールで受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1, 2	実習：高齢・障害者の口腔内診査と口腔乾燥症への対応。高齢・障害者の口腔の特徴を考慮した口腔内診査法について学習する。また、高齢・障害者によくみられる口腔乾燥症の評価法を学ぶ。	講義実習	久保田 潤平 多田 葉子 唐木 純一	【事前学習課題】口腔乾燥症、口腔内診査法 【事後学習課題】歯科訪問診療計画の立案	相互実習室 Moodle
3, 4	実習：口腔機能低下に対するケアプラン作成と口腔ケアの実施。ケアプランの作成について習熟する。また、要介護高齢者に対する口腔ケア方法を習得する。	講義実習	久保田 潤平 多田 葉子 唐木 純一	【事前学習課題】口腔機能低下症 【事後学習課題】口腔機能向上訓練（間接訓練について）	相互実習室 Moodle
5, 6	実習：摂食機能のスクリーニング、間接訓練。摂食機能障害に対するスクリーニングや間接訓練の方法や注意点について学習する。	講義実習	久保田 潤平 多田 葉子 唐木 純一	【事前学習課題】摂食嚥下スクリーニングテスト 【事後学習課題】口腔機能アセスメント評価と口腔機能向上訓練計画の立案	相互実習室 Moodle
7, 8	実習：直接訓練を行う際の全身状態の把握と適切な介助について学習する。	講義実習	久保田 潤平 多田 葉子 唐木 純一	【事前学習課題】直接訓練 【事後学習課題】摂食嚥下の5期モデル	相互実習室 Moodle
9, 10	実習：高齢・障害者における移乗法、介護食舌接触補助床の製作・調整方法について理解する。また、内視鏡下嚥下機能検査、車いすからの移乗法や介護食についても学習する。	講義実習	久保田 潤平 多田 葉子 唐木 純一	【事前学習課題】舌接触補助床 【事後学習課題】介護食の提供方法等	相互実習室 Moodle

臨床推論学I

開講学科	歯学科			開講年次	5年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	中島 啓介						
担当教員	中島 啓介, 臼井 通彦, 中村 太志, 鷺尾 絢子, 折本 愛, 相原 良亮, 宗政 翔, 野代 知孝, 向坊 太郎, 有田 正博, 楨原 絵理, 渡辺 崇文, 栗野 秀慈, 守下 昌輝, 村岡 宏祐						
	※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業の概要

4年後期までに行う講義では疾患毎にその特徴（症状、所見、検査等）を詳細に解説している。しかし、5年後期から開始する臨床実習では「疾患→症状、所見、検査等」ではなく「症状、所見、検査等→疾患（診断・治療）」という逆の思考パターンが必要となる。本授業は、臨床で遭遇した症例を通じて臨床実習前が必要となる思考パターンを身につけることを目的とする。

学生の到達目標

- ①歯周病に特徴的な各症状について他の疾患との鑑別ができる。
- ②歯周治療の流れを説明できる。
- ③歯に生じる疾患の診断推論ができる。
- ④歯に生じる疾患に対する治療の説明ができる。
- ⑤歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。
- ⑥橋義歯の設計を適切にできる。
- ⑦可撤性義歯の調整、リライニング、リベースおよび修理を説明でき、適切に行うことができる。
- ⑧可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。
- ⑨顎関節症のスプリント療法を説明できる。
- ⑩睡眠時無呼吸の原因、診察、検査、診断及び治療方針を概説できる。
- ⑪一口腔単位の歯科治療を行うための患者情報の分析、診断、治療計画についての概説ができる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
D-3-1-11-6	睡眠時無呼吸の原因、診察、検査、診断及び治療方針を理解している。
D-3-1-7-2	顎関節疾患の症状、診断法及び治療法を理解している。
D-3-2-1	齶蝕とその他の歯の硬組織疾患(Tooth Wear(歯の損耗)、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症、歯の亀裂・破折、歯の形成不全、歯の形態異常)の病因と病態を理解している。
D-5-2-1-2	Minimal Intervention Dentistry (MID)に基づく歯科治療の意義と臨床的対応を理解している。
D-5-2-2-1	歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法を理解している。
D-5-2-3-1	歯周疾患の症状と全身疾患との関連を理解している。
D-5-2-3-2	歯周疾患の検査法、診断及び治療方針(メンテナンスを含む)を理解している。
D-5-3-1-2	固定性補綴装置の種類、特徴及び製作法(CAD/CAMを含む)を理解している。
D-5-3-2-11	可撤性義歯装着後のメンテナンスの意義と方法、調整を理解している。
D-5-3-2-12	可撤性義歯のリラインと修理を理解している。
D-5-3-2-2	可撤性義歯の種類、目的、意義及び適応症を理解している。
D-5-3-2-3	可撤性義歯の要素構成と設計原則(支持、維持、把持、咬合平衡を含む)を理解している。
D-5-3-3-3	口腔インプラントに必要な診察と検査、治療手順を理解している。
E-4-2-2	疾患に対する治療方針に加えて患者の背景や希望を考慮して総合治療計画を立案できる。(I a)

臨床推論学I

開講学科	歯学科			開講年次	5年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	中島 啓介						
担当教員	中島 啓介, 臼井 通彦, 中村 太志, 鷺尾 絢子, 折本 愛, 相原 良亮, 宗政 翔, 野代 知孝, 向坊 太郎, 有田 正博, 楨原 絵理, 渡辺 崇文, 栗野 秀慈, 守下 昌輝, 村岡 宏祐						
	※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

テキスト

タイトル	著者	出版社
4年後期までに保存・補綴領域の授業で使用した教科書		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	70%
小テスト等（毎回、授業中に2点満点で授業内容の理解度を評価する）	30%

その他

【オフィスアワー】 教授室：月一金 12:00-13:00（不在の場合もあるので、予めメールにて予定を確認すること）

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	歯の動揺を主訴とした症例（歯の動揺） 歯の動揺を主訴に来院した患者に対して、どのような診査・診断を行うかについて学習する。	講義	中島 啓介	【事前学修】 歯と歯周組織の構造 【事後学修】 今回の講義の振り返り	601 講義室
2	歯肉腫脹を主訴とした症例（歯肉腫脹の原因と処置） 歯肉の腫脹を主訴に来院した患者に対して、どのような診査・診断を行うかについて学習する。	講義	臼井 通彦	【事前学修】 歯肉が腫脹する原因 【事後学修】 今回の講義の振り返り	601 講義室
3	歯肉からの排膿を主訴とした症例（排膿の原因と処置） 歯肉からの排膿を主訴に来院した患者に対して、どのような診査・診断を行うかについて学習する。	講義	中村 太志	【事前学修】 排膿の定義と歯肉からの排膿路 【事後学修】 今回の講義の振り返り	601 講義室

臨床推論学I

開講学科	歯学科		開講年次	5年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	中島 啓介						
担当教員	中島 啓介, 臼井 通彦, 中村 太志, 鷺尾 絢子, 折本 愛, 相原 良亮, 宗政 翔, 野代 知孝, 向坊 太郎, 有田 正博, 楨原 絵理, 渡辺 崇文, 栗野 秀慈, 守下 昌輝, 村岡 宏祐						
	※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
4	歯の治療における臨床推論I 臨床推論の思考法を学習する。また、歯に関連した症状をもとに、診断を推論し治療法を立案する過程を学習する（基礎編）。	講義	鷺尾 絢子	【事前学修】保存修復学、歯内治療学、歯周病学の基本的な診査・診断・治療法を教科書で予習 【事後学修】教科書で講義内容を復習	601講義室
5	歯の治療における臨床推論II 歯に関連した症状をもとに、診断を推論し治療法を立案する過程を学習する（初級編1）。	講義	折本 愛	【事前学修】保存修復学、歯内治療学、歯周病学の基本的な診査・診断・治療法を教科書で予習 【事後学修】教科書で講義内容を復習	601講義室
6	歯の治療における臨床推論III 歯に関連した症状をもとに、診断を推論し治療法を立案する過程を学習する（初級編2）。	講義	相原 良亮	【事前学修】保存修復学、歯内治療学、歯周病学の基本的な診査・診断・治療法を教科書で予習 【事後学修】教科書で講義内容を復習	601講義室
7	少数歯欠損の補綴治療 歯が1本無くなった場合の治療方針について、診査結果などをもとにその選択過程を学習する。	講義	宗政 翔	【事前学修】欠損補綴の基本的な治療方法 【事後学修】今回の講義の振り返り	601講義室
8	多数歯欠損の補綴治療 多数歯を失った症例に対する咬合支持域や咬合様式の重要性、治療手順などを学習する。	講義	野代 知孝	【事前学修】咬合支持域および咬合様式 【事後学修】今回の講義の振り返り	601講義室
9	無歯顎の補綴治療 無歯顎患者における可綴性補綴装置、およびインプラントを用いた固定性補綴装置の診断方法、治療方法について学習する。	講義	向坊 太郎	【事前学修】無歯顎患者に対する補綴方法 【事後学修】今回の講義の振り返り	601講義室

臨床推論学I

開講学科	歯学科		開講年次	5年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	中島 啓介						
担当教員	中島 啓介, 臼井 通彦, 中村 太志, 鷺尾 絢子, 折本 愛, 相原 良亮, 宗政 翔, 野代 知孝, 向坊 太郎, 有田 正博, 楨原 絵理, 渡辺 崇文, 栗野 秀慈, 守下 昌輝, 村岡 宏祐						
	※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
10	可撤性部分床義歯の設計と治療結果との関連性 種々の欠損における可撤性部分床義歯の構造設計と治療結果との関連性について推論し、設計方法について学習する。	講義	有田 正博	【事前学修】部分床義歯装着後のトラブルに対する対応（各構成要素の破折に対する対応） 【事後学修】本日受講内容の振り返り	601 講義室
11	義歯装着後に生じた顎機能障害に対する対応 義歯装着後、種々の要因により咀嚼障害が生じる場合がある。これらに対する対応法について学習する。	講義	楨原 絵理	【事前学修】義歯装着後の咬合に起因する問題点とその改善方法 【事後学修】今回の講義の振り返り	601 講義室
12	義歯床相当部の発赤や疼痛に対する対処 義歯床相当部の発赤や疼痛に対する診察、検査、診断、治療法について学習する。	講義	渡辺 崇文	【事前学修】全部床義歯装着後の痛みの原因とその改善方法 【事後学修】今回の講義の振り返り	601 講義室
13	臨床例から学ぶプライマリケア1 一口腔単位での治療における臨床例から問題リストの抽出とその解決策を学習する。	講義	栗野 秀慈	【事前学修】カリエスリスク診断について 【事後学修】今回の講義の振り返り	601 講義室
14	臨床例から学ぶプライマリケア2 一口腔単位での治療における臨床例から問題リストの抽出とその解決策を学習する。	講義	守下 昌輝	【事前学修】歯周治療の流れを復習する 【事後学修】今回の講義の振り返り	601 講義室
15	臨床例から学ぶプライマリケア3 一口腔単位での治療における臨床例から問題リストの抽出とその解決策を学習する。	講義	村岡 宏祐	【事前学修】咬合性外傷と特発性血小板減少性紫斑病について調べる 【事後学修】今回の講義の振り返り	601 講義室

臨床推論学II

開講学科	歯学科			開講年次	5年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	吉岡 泉						
担当教員	吉岡 泉, 吉賀 大午, 大谷 泰志, 鶴島 弘基, 坂口 修, 西牟田 文香, 早川 真奈						

授業の概要

臨床推論 (Clinical reasoning) は「患者の疾病を明らかにし、解決するさいの思考過程や内容」と定義される。私たちは患者の訴え (症状; 主観的情報) や所見 (客観的情報)、病歴 (現病歴や既往歴) などの情報を整理し、統合して診断をくだします。このときの思考過程は論理的であることが求められます。そして患者や他の医療者にも説明できるものでなければなりません。また診断のあとは治療に進みます。なぜその治療を選択するのか、その根拠も説明できるものでなければなりません。臨床推論IIは「疾病を明らかにし、解決するさいの思考」する力をトレーニングする演習です。

学生の到達目標

- ①患者から正確な情報を得る事ができる。
- ②情報を論理的に思考し、鑑別診断できる。
- ③鑑別診断を考慮し、各種検査を適切に選択することができる。
- ④各種検査を分析することができる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
D-2-1-1-3	病歴聴取(主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、社会歴、職業歴等)を理解している。
D-4-2-3	治療方針と治療の優先性及び患者の背景や希望を考慮して治療計画を立案できる。
E-2-1-1-2	医療面接における基本的なコミュニケーションができる。(II)
E-2-3-4	全身状態を評価し、顎顔面及び口腔内の診察ができる。(Ia)
E-2-3-6	病態を推察する基本的検査と確定診断のための検査の意義・相違点を理解している。

テキスト

タイトル	著者	出版社
資料配布 (Moodle)		

参考書

タイトル	著者	出版社
口腔外科学	白砂兼光、古郷幹彦	医歯薬出版
コンサイス口腔外科学	内山健志、大関 悟、近藤寿郎、坂下英明編	学建書院
口腔診断学	下里常弘、藍 稔、長坂信夫、船越正也	デンタルダイヤモンド社

臨床推論学II

開講学科	歯学科			開講年次	5年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	吉岡 泉						
担当教員	吉岡 泉, 吉賀 大午, 大谷 泰志, 鶴島 弘基, 坂口 修, 西牟田 文香, 早川 真奈						

タイトル	著者	出版社
口腔病変の鑑別診断	増田 屯、 内海順夫、 和田卓郎、 黒田洋生	書林

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

(教員名 : オフィスアワー) ・吉岡 泉：月～金：17:00～ 教授室 メールは随時受け付け
・吉賀大午：月～金：17:00～ 准教授室

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	診断学 歯科疾患だけでなく、全身疾患との関連、患者の幅広い背景などから診断を行うために必要な基礎的な事項を学習する。	講義	吉岡 泉 吉賀 大午 大谷 泰志 鶴島 弘基 坂口 修 西牟田 文香 早川 真奈	【事前事後学習課題】 基本的診断 臨床推論	コンピュータ演習室
2	基本的診断 臨床推論 診療記録の基本 診療記録の作成	演習	吉岡 泉 吉賀 大午 大谷 泰志 鶴島 弘基 坂口 修 西牟田 文香 早川 真奈	【事前事後学習課題】 基本的診断 臨床推論 診療記録の基本 診療記録の作成	コンピュータ演習室
3	基本的診断 臨床推論 診療記録の基本 診療記録の作成	演習	吉岡 泉 吉賀 大午 大谷 泰志 鶴島 弘基 坂口 修 西牟田 文香 早川 真奈	【事前事後学習課題】 基本的診断 臨床推論 診療記録の基本 診療記録の作成	コンピュータ演習室

臨床推論学II

開講学科	歯学科		開講年次	5年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	吉岡 泉						
担当教員	吉岡 泉, 吉賀 大午, 大谷 泰志, 鶴島 弘基, 坂口 修, 西牟田 文香, 早川 真奈						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
4	基本的診断 臨床推論 診療記録の基本 診療記録の作成	演習	吉岡 泉 吉賀 大午 大谷 泰志 鶴島 弘基 坂口 修 西牟田 文香 早川 真奈	【事前事後学習課題】 基本的診断 臨床推論 診療記録の基本 診療記録の作成	コンピュータ演習室
5	基本的診断 臨床推論 診療記録の基本 診療記録の作成	演習	吉岡 泉 吉賀 大午 大谷 泰志 鶴島 弘基 坂口 修 西牟田 文香 早川 真奈	【事前事後学習課題】 基本的診断 臨床推論 診療記録の基本 診療記録の作成	コンピュータ演習室
6	基本的診断 臨床推論 診療記録の基本 診療記録の作成	演習	吉岡 泉 吉賀 大午 大谷 泰志 鶴島 弘基 坂口 修 西牟田 文香 早川 真奈	【事前事後学習課題】 基本的診断 臨床推論 診療記録の基本 診療記録の作成	コンピュータ演習室
7	基本的診断 臨床推論 診療記録の基本 診療記録の作成	演習	吉岡 泉 吉賀 大午 大谷 泰志 鶴島 弘基 坂口 修 西牟田 文香 早川 真奈	【事前事後学習課題】 基本的診断 臨床推論 診療記録の基本 診療記録の作成	コンピュータ演習室
8	基本的診断 臨床推論 診療記録の基本 診療記録の作成	演習	吉岡 泉 吉賀 大午 大谷 泰志 鶴島 弘基 坂口 修 西牟田 文香 早川 真奈	【事前事後学習課題】 基本的診断 臨床推論 診療記録の基本 診療記録の作成	コンピュータ演習室
9	基本的診断 臨床推論 診療記録の基本 診療記録の作成	演習	吉岡 泉 吉賀 大午 大谷 泰志 鶴島 弘基 坂口 修 西牟田 文香 早川 真奈	【事前事後学習課題】 基本的診断 臨床推論 診療記録の基本 診療記録の作成	コンピュータ演習室

臨床推論学II

開講学科	歯学科		開講年次	5年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	吉岡 泉						
担当教員	吉岡 泉, 吉賀 大午, 大谷 泰志, 鶴島 弘基, 坂口 修, 西牟田 文香, 早川 真奈						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
10	基本的診断 臨床推論 診療記録の基本 診療記録の作成	演習	吉岡 泉 吉賀 大午 大谷 泰志 鶴島 弘基 坂口 修 西牟田 文香 早川 真奈	【事前事後学習課題】 基本的診断 臨床推論 診療記録の基本 診療記録の作成	コンピュータ演習室
11	基本的診断 臨床推論 診療記録の基本 診療記録の作成	演習	吉岡 泉 吉賀 大午 大谷 泰志 鶴島 弘基 坂口 修 西牟田 文香 早川 真奈	【事前事後学習課題】 基本的診断 臨床推論 診療記録の基本 診療記録の作成	コンピュータ演習室
12	基本的診断 臨床推論 診療記録の基本 診療記録の作成	演習	吉岡 泉 吉賀 大午 大谷 泰志 鶴島 弘基 坂口 修 西牟田 文香 早川 真奈	【事前事後学習課題】 基本的診断 臨床推論 診療記録の基本 診療記録の作成	コンピュータ演習室
13	基本的診断 臨床推論 診療記録の基本 診療記録の作成	演習	吉岡 泉 吉賀 大午 大谷 泰志 鶴島 弘基 坂口 修 西牟田 文香 早川 真奈	【事前事後学習課題】 基本的診断 臨床推論 診療記録の基本 診療記録の作成	コンピュータ演習室
14	基本的診断 臨床推論 診療記録の基本 診療記録の作成	演習	吉岡 泉 吉賀 大午 大谷 泰志 鶴島 弘基 坂口 修 西牟田 文香 早川 真奈	【事前事後学習課題】 基本的診断 臨床推論 診療記録の基本 診療記録の作成	コンピュータ演習室
15	基本的診断 臨床推論 診療記録の基本 診療記録の作成	演習	吉岡 泉 吉賀 大午 大谷 泰志 鶴島 弘基 坂口 修 西牟田 文香 早川 真奈	【事前事後学習課題】 基本的診断 臨床推論 診療記録の基本 診療記録の作成	コンピュータ演習室

歯科診療システム管理学

開講学科	歯学科			開講年次	5年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	守下 昌輝						
担当教員	守下 昌輝, (非)林 恵子, (非)白木 裕子, (非)中原 孝洋, (非)福重 真佐子, (非)柴田 宏						

授業の概要

各学科で学んだ歯科医学の専門知識を実際に患者に応用する場合、技術だけで診療を成立させるのは不可能である。そこには患者の個人的あるいは社会的な生活背景があり、また個人の意思の尊厳を重視しなければならないからである。歯科診療システム管理学は、歯科医学を患者に応用するシステムについて考究する。内容的には歯科医療管理学として歯科医療全体のシステムを解説する。歯科医療管理学は実際に診療を行うに当たって、いかにして学問を臨床に安心・安全に応用するかを目的とし、時代の要求から従来の診療室のみにとどまらず社会との接点を考察する。POS(Problem Oriented System)とは「問題志向型システム：患者の問題を明確に捉えて、問題解決を論理的に進めていくひとつの体系」と提唱されている。全人的医療の必要性が唱えられている昨今ではPOSの重要性が一段と増している。医療界では医師、看護師、コ・メディカル間での情報の共有化にPOSが大いに役立っている。歯科領域でも活用できるようにPOSを学ぶ。正解は必ずしも一通りでなく、その思考過程が大切であるので、討論の形を基本とする。症例を示しながらSOAPの形式の診療録(POMR)の作成を学ぶ。また、歯科診療を実際に提供する上で必要な保険診療における歯科診療録の流れと算定要件・レセプト作成について学び、医科歯科連携のための診療情報提供書の必要性と書き方、歯科診療所の開設プロセスを解説する。医療現場では、クリティカルシンキング、コミュニケーション力を始め、チームで医療を行うスキルが求められる。一方、医療の実践には組織運営の力も必要である。少人数のチームリーダーであったり、経営に関わるころまで、立場によってその意味は様々変わる。本講義では、医療や研究を遂行するために必要なマネジメントとして、情報の取り扱いや、リーダーシップの理論、組織運営の実践を解説する。

学生の到達目標

- ① 歯科医学を実際に臨床に応用する場合の実務と問題点を理解できる。
- ② 学校歯科医について説明できる。
- ③ POSの基礎情報、問題リスト、初期計画、経過記録、サマリーの5段階を展開できる。
- ④ カルテとレセプトとの関係性について説明できる。
- ⑤ 診療情報提供書の必要性について説明できる。
- ⑥ 歯科診療所開設のプロセスを説明できる。
- ⑦ データサイエンスの概略を説明できる。
- ⑧ 改善活動に必要な分析方法を説明できる。
- ⑨ 医療に必要なマネジメントが説明できる。
- ⑩ リーダシップの理論と必要性が説明できる。
- ⑪ 情報セキュリティの重要性及び個人情報保護の必要性が説明できる。
- ⑫ 医療現場でのスタッフ間コミュニケーションが理解できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
C-1-1-4	インフォームド・コンセントの意義、重要性及び必要な説明事項を理解している。
C-1-2-3	患者との信頼関係構築の重要性を理解している。
C-1-2-5	歯科医師に課せられた法的責任と社会的責任(刑事責任、民事責任、歯科医師法と健康保険法に基づく行政処分)を理解している。
C-1-3-1	患者中心のチーム医療の意義を理解している。
C-1-3-3	医療、保健、福祉、介護における多職種連携と歯科医師の役割を理解している。

歯科診療システム管理学

開講学科	歯学科			開講年次	5年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	守下 昌輝						
担当教員	守下 昌輝, (非)林 恵子, (非)白木 裕子, (非)中原 孝洋, (非)福重 真佐子, (非)柴田 宏						

コアカリキュラム	内容
C-1-3-4	医療や介護をはじめとする他職種、他業種や他の医療機関との連携を行うための手続きとコミュニケーション(適切な略語などを含む)を理解している。
C-1-3-5	患者情報の守秘と患者等への情報提供の重要性と説明責任を理解している。
C-2-3	必要な課題を自ら発見し、重要性や必要性に照らして順位付けできる。
C-3-1-2	医療現場における報告、連絡、相談及び診療録記載の重要性を理解している。
C-3-1-4	医療機関に求められる患者安全管理体制を理解している。
C-4-2-1	歯科医師法、医療法をはじめとする歯科医業に関する法規を理解している。
C-4-2-7	医師法、薬剤師法、保健師助産師看護師法及びその他の歯科医療関係職種の関係法の概要を理解している。
C-4-3-1	地域、職場及び各ライフステージの保健医療施策の背景と概要を理解している。
C-4-3-2	社会保障制度(社会保険の各制度、社会福祉、公的扶助、公衆衛生)を理解している。
C-4-3-3	社会保障費と医療経済(国民医療費、医療費負担と給付)を理解している。
C-4-3-6	地域包括ケアシステムをはじめとする、地域における医療・保健・福祉・介護の連携を理解している。
C-4-3-7	地域における災害医療、在宅医療及びへき地医療の体制を理解している。
C-6-2-4	調査方法と統計的分析法を理解している。
C-6-3-1	ICTを安全に活用するための情報セキュリティやコンプライアンスを理解している。
C-6-3-2	個人情報の保護に関する法律を遵守した保健医療情報(診療録、Personal Health Record等を含む)の取り扱いを理解している。
C-6-3-4	IoT技術やAI、データ活用等の基本的な概念と手法、医療・保健・介護分野への応用例について理解している。
CM-01	患者のプライバシーや苦痛等に配慮し、適切なコミュニケーションを取ることができる。
CM-02	必要な情報についてわかりやすく説明できる。
CM-04	医療チームの構成員と信頼関係を築き、安全で円滑な医療を行うためにコミュニケーションを図ることができる。
CM-05	患者を取り巻く、保健、福祉及び介護における多職種とコミュニケーションを図ることができる。
CS	患者ケアのための診療技能(Clinical Skills)/安全で質の高い歯科医療を提供するために、臨床技能を磨き、それを遺憾無く発揮し、患者の苦痛や不安に配慮した診療を実践していく。
D-2-1-1-4	順序立った面接、流れに沿った円滑な面接の概要について理解している。
D-2-1-2-3	患者の心理、社会的背景を踏まえながら患者及びその家族と良好な信頼関係を築く方法を理解している。
D-2-3-8	患者(小児、妊産婦、高齢者を含む)の全身状態の評価を理解している。
D-2-4-3	医科歯科連携の必要性と歯科医師の関わり方を理解している。
D-4-1-1	問題志向型診療記録(POMR)を理解している。
D-4-2-2	プロブレムリストから治療方針を説明できる。
D-4-2-3	治療方針と治療の優先性及び患者の背景や希望を考慮して治療計画を立案できる。

歯科診療システム管理学

開講学科	歯学科			開講年次	5年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	守下 昌輝						
担当教員	守下 昌輝, (非)林 恵子, (非)白木 裕子, (非)中原 孝洋, (非)福重 真佐子, (非)柴田 宏						

コアカリキュラム	内容
D-4-3-2	医師と患者が合意すべき共通基盤を理解している。
D-6-2-3	多職種連携に必要な基本的な専門用語を理解している。
E-2-1-1-2	医療面接における基本的なコミュニケーションができる。(II)
E-2-1-1-3	患者情報を収集、分析できる。(I a)
E-2-1-1-4	患者の病歴(主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、社会歴、職業歴等)を聴取できる。(I a)
E-2-1-1-5	患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。(I a)
E-2-1-1-6	患者の不安、不満や表情、行動の変化に適切に対応できる。(I a)
E-2-3-3	患者の全身状態及び服用薬剤を聴取できる。(I a)
E-2-4-1	医科歯科連携に応じた診療情報提供書の下書きを作成できる。(I b)
E-4-1-1	問題志向型診療記録(POMR)で診療録の下書きを作成できる。(I b)
E-4-2-1	患者の健康上の問題を収集、整理して治療方針と治療の優先順位を決定できる。(I a)
GE-05	歯科医療にとどまらず、患者・生活者の社会文化的背景を理解した上で、他職種や他業種との多職種連携を実践できる。
IP	多職種連携能力(Interprofessional Collaboration)/患者中心の歯科医療を提供するために、医療、保健、福祉、介護及び患者に関わる全ての人々の役割を理解し、お互いに対等な関係性を築きながら、チームとして協働していく。
IP-01	医療チームや各構成員(歯科医師、医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、その他の医療職)の役割分担と連携・責任体制を理解している。
IP-02	医療、保健、福祉、介護における歯科医師の役割を理解している。
IP-03	患者を取り巻く医療、保健、福祉、介護における多職種とそれぞれの役割を踏まえて連携できる。
IP-04	多職種連携の中でリーダーシップを発揮するための能力を身に付ける。
IT-03	個人の情報コントロールABILITYに基づいた、医療・保健・介護分野でのInternet of Things(IoT)技術やAI等のデータの活用を理解している。
PS	専門知識に基づいた問題解決能力(Problem Solving)/患者・家族の抱える問題に対応しつつ、医学・医療の発展に資するために、医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら問題解決に努めていく。
PS-09	患者安全と感染対策を理解している。
PS-10	医療・保健・福祉・介護に関する制度を理解している。
PS-11	医療経済、医療政策、社会保険制度を理解している。

歯科診療システム管理学

開講学科	歯学科			開講年次	5年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	守下 昌輝						
担当教員	守下 昌輝, (非)林 恵子, (非)白木 裕子, (非)中原 孝洋, (非)福重 真佐子, (非)柴田 宏						

コアカリキュラム	内容
S0-01	社会保障(社会保険、社会福祉、公的扶助、公衆衛生)を理解している。
S0-03	医療、保健、福祉、介護とそれを取り巻く社会環境を理解している。
S0-05	地域医療において、各種制度に基づく歯科医師の果たす役割を自覚し、行動できる。

参考書

タイトル	著者	出版社
新版 歯科医療管理	日本歯科医療管理学会	医歯薬出版
「POS」～医療と医学教育の革新のための新しいシステム～	日野原重明	医学書院
まんがでわかるドラッカーのリーダーシップ論	藤家伸二	宝島社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	60%
講義後レポート課題	25%
小テスト	15%

その他

【オフィスアワー】 講義の前後、またはメールで随時受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	歯科医療管理学概論 医療と医学、医療面接、POSとDOS ・歯科医療管理学を通して患者と社会との関わりを理解する。	講義	守下 昌輝	【事前学習課題】 歯科医療管理	601 講義室
2	POSの成り立ち、歴史地域包括医療のためのPOS ・歯科への導入の必要性について学ぶ。 ・多職種との連携の必要性について学ぶ。	講義	(非)林 恵子	【事前学習課題】 POS、多職種連携	601 講義室

歯科診療システム管理学

開講学科	歯学科			開講年次	5年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	守下 昌輝						
担当教員	守下 昌輝, (非)林 恵子, (非)白木 裕子, (非)中原 孝洋, (非)福重 真佐子, (非)柴田 宏						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
3	歯科診療録の記載の仕方を学ぶ。 歯科診療の現場での応用 ・SOAP について学ぶ。 ・SOAPの形式で 記録を残す。 ・実際の症例でど うようにPOSが活用されているか を学ぶ。	講義	(非)林 恵子	【事前学習課題】 POS、SOAP	601 講義 室
4	社会と歯科医師との関わり ・学 校歯科及び各種保健活動を通して 社会との接点を探る。	講義	(非)柴田 宏	【事前学習課題】 学校歯科医、保健指 導	601 講義 室
5	地域包括医療のためのPOS ・多職 種との連携の必要性について学ぶ 。	講義	(非)白木 裕子	【事前学習課題】 地域包括ケア、多職 種連携	601 講義 室
6	歯科診療録とレセプト ・保険診 療で理解すべき流れと算定要件 とレセプト作成について学ぶ。	講義	守下 昌輝	【事前学習課題】 歯科診療録、レセプ ト	601 講義 室
7	医科歯科連携のための診療情報提 供書 ・診療情報提供書の必要性 とその書き方について学ぶ。	講義	守下 昌輝	【事前学習課題】 医科歯科連携、診療 情報提供書	601 講義 室
8	歯科診療所の開設のプロセス ・ 歯科診療所の開設に必要なプロセ スについて学ぶ。	講義	守下 昌輝	【事前学習課題】 歯科診療所の開設	601 講義 室
9	データサイエンス ・データサイ エンスの概略を理解する。	講義	守下 昌輝	【事前学習課題】 データサイエンス	601 講義 室
10	組織マネジメント手法 ・新QC七 つ道具、フレームワークの概念を 知り、組織運営と改善について学 ぶ。	講義	守下 昌輝	【事前学習課題】 新QC七つ道具、フレ ームワーク	601 講義 室
11	リーダーシップ(1) ドラッカーの 「リーダーシップ」をもとに、ロ ールプレイや説明を行う。	講義	(非)中原 孝洋	【事前学習課題】 P ・F・ドラッカーに ついて、どのような 人物だったかを調べ る	601 講義 室

歯科診療システム管理学

開講学科	歯学科			開講年次	5年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	守下 昌輝						
担当教員	守下 昌輝, (非)林 恵子, (非)白木 裕子, (非)中原 孝洋, (非)福重 真佐子, (非)柴田 宏						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
12	リーダーシップ(2) ドラッカーの「リーダーシップ」をもとに、ロールプレイや説明を行う。	講義	(非)中原 孝洋	【事前学習課題】 P・F・ドラッカーについて、どのような意見を表現したかを調べる	601 講義室
13	ドクター、スタッフ 歯科医療と学習機会、素養の必要性、スタッフ間コミュニケーションや組織を運営する具体的なマネジメント内容について、実際の歯科診療所を例に説明する。	講義	(非)福重 真佐子	【事前学習課題】 歯科診療所の職種連携について、復習しておく	601 講義室
14	情報セキュリティ 医療現場で取り扱う様々な個人情報と、歯科特有の問題について理解する。また、PCのセキュリティやネットワーク技術による対策などについて概説する。	講義 小テスト	(非)中原 孝洋	【事前学習課題】 1年以内にあった、医療機関での情報漏洩等について調べる	601 講義室
15	個人情報保護 個人情報保護法の成り立ち、諸外国との共通性について理解する。	講義 小テスト	(非)中原 孝洋	【事前学習課題】 改正個人情報保護法について、社会歯科学等の授業で学んだことを読み直す	601 講義室

歯科法医学・災害歯科学

開講学科	歯学科			開講年次	4年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	歯学科長						
担当教員	歯学科長, 松山 佳永, 久保田 潤平, (非)山田 良広						

授業の概要

地震・津波・台風・洪水・噴火等の自然災害や、航空機墜落事故・大規模鉄道事故等の交通災害時に歯科医師として果たすべき役割（被災者に対する歯科医療や、身元確認の支援等）について講義する。また個人識別や死因究明に必要な法医学的基礎知識について講義する。

学生の到達目標

- ①死後変化について説明できる。
- ②一般的な個人識別について説明できる。
- ③歯科による個人識別について説明できる。
- ④災害時の歯科医療支援活動について説明できる。
- ⑤災害時の個人識別の為に歯科所見採取について説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-7-1)-⑥	災害医療（災害時保健医療、医療救護班、災害派遣医療チーム（Disaster Medical Assistance Team<DMAT>）、災害拠点病院、トリアージ、post-traumatic stress disorder<PTSD>、ストレス等）を説明できる。
B-2-2)-⑨	災害時の歯科医療の必要性を説明できる。
B-2-3)-①	歯科による個人識別を説明できる。
B-2-3)-②	歯科医師による身元確認や関連する死因究明等の制度を説明できる。
C-5-7)-①	死の概念と生物学的な死を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
資料を配布する		

参考書

タイトル	著者	出版社
法歯科学	山本勝一	医歯薬出版
歯の鑑定入門	山本勝一	医歯薬出版
標準法医学	石津日出雄 他	医学書院
災害歯科医学	槻木恵一他	医歯薬出版
災害時の歯科保健医療対策	中久木康一 他	一世出版
法歯科学 基礎知識から 臨床・災害時の対応まで	高橋雅典	永末書店

歯科法医学・災害歯科学

開講学科	歯学科			開講年次	4年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	歯学科長						
担当教員	歯学科長, 松山 佳永, 久保田 潤平, (非)山田 良広						

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

【オフィスアワー】質問や学習相談等は月～金に随時受け付ける。可能な限り事前にメールか電話で来訪日時を連絡すること。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	歯科法医学1：歯科法医学の概要、個体の死、死体現象、死因論について学ぶ。	講義	松山 佳永	キーワード：超生反応・早期死体現象・晩期死体現象・生活反応	501講義室 Moodle
2	歯科法医学2：死後の一連の流れ、死体解剖、死因究明制度について学ぶ。	講義	松山 佳永	キーワード：検視・検案・検屍・司法解剖・行政解剖・死因究明制度	501講義室 Moodle
3	歯科法医学3：一般的な個人識別、鑑定書作成法、歯科医学史、大規模交通災害の事例について学ぶ。	講義	松山 佳永	キーワード：指紋・DNA鑑定・鑑定書・警察歯科医	501講義室 Moodle
4	歯科法医学4：歯科による個人識別、年齢推定について学ぶ。	講義	松山 佳永	キーワード：死後デンタルチャート作成・年齢推定（歯・顎骨）	501講義室 Moodle
5	歯科法医学5：死後歯型図および生前歯型図の作成について演習を行う。	講義	松山 佳永	キーワード：生前デンタルチャート作成	501講義室 Moodle
6	特別講義：災害医療の必要性和特殊性、歯科医師による身元確認作業の実例について学ぶ。	講義	(非)山田 良広	キーワード：トリアージ・児童虐待	501講義室 Moodle

歯科法医学・災害歯科学

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	歯学科長						
担当教員	歯学科長, 松山 佳永, 久保田 潤平, (非)山田 良広						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
7	災害時の歯科保健医療対策1：災害歯科保健医療の必要性と特殊性、また、活動体制やそのために必要な行政や他職種との連携等について学ぶ。	講義	久保田 潤平	キーワード：災害対策基本法・医療救護班・災害派遣医療チーム (Disaster Medical Assistance Team<DMAT>)・災害拠点病院・トリアージ	501講義室 Moodle
8	災害時の歯科保健医療対策2：災害発生時のフェイズを考慮した歯科保健医療活動や保健医療支援の活動理念について学ぶ。	講義	久保田 潤平	キーワード：災害医療コーディネーター・アクションカード・post-traumatic stress disorder<PTSD>	501講義室 Moodle

歯科法医学・災害歯科学

開講学科	歯学科			開講年次	5年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	歯学科長						
担当教員	歯学科長, 松山 佳永, 久保田 潤平, (非)山田 良広						

授業の概要

地震・津波・台風・洪水・噴火等の自然災害や、航空機墜落事故・大規模鉄道事故等の交通災害時に歯科医師として果たすべき役割（被災者に対する歯科医療や、身元確認の支援等）について講義する。また個人識別や死因究明に必要な法医学的基礎知識について講義する。

学生の到達目標

- ①死後変化について説明できる。
- ②一般的な個人識別について説明できる。
- ③歯科による個人識別について説明できる。
- ④災害時の歯科医療支援活動について説明できる。
- ⑤災害時の個人識別の為に歯科所見採取について説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-7-1)-⑥	災害医療（災害時保健医療、医療救護班、災害派遣医療チーム（Disaster Medical Assistance Team<DMAT>）、災害拠点病院、トリアージ、post-traumatic stress disorder<PTSD>、ストレス等）を説明できる。
B-2-2)-⑨	災害時の歯科医療の必要性を説明できる。
B-2-3)-①	歯科による個人識別を説明できる。
B-2-3)-②	歯科医師による身元確認や関連する死因究明等の制度を説明できる。
C-5-7)-①	死の概念と生物学的な死を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
資料を配布する		

参考書

タイトル	著者	出版社
法歯科学	山本勝一	医歯薬出版
歯の鑑定入門	山本勝一	医歯薬出版
標準法医学	石津日出雄 他	医学書院
災害歯科医学	槻木恵一他	医歯薬出版
災害時の歯科保健医療対策	中久木康一 他	一世出版
法歯科学 基礎知識から臨床・災害時の対応まで	高橋雅典	永末書店

歯科法医学・災害歯科学

開講学科	歯学科			開講年次	5年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	歯学科長						
担当教員	歯学科長, 松山 佳永, 久保田 潤平, (非)山田 良広						

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

【オフィスアワー】質問や学習相談等は月～金に随時受け付ける。可能な限り事前にメールか電話で来訪日時を連絡すること。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	歯科法医学1：歯科法医学の概要、個体の死、死体現象、死因論について学ぶ。	講義	松山 佳永	キーワード：超生反応・早期死体現象・晩期死体現象・生活反応	601講義室 Moodle
2	歯科法医学2：死後の一連の流れ、死体解剖、死因究明制度について学ぶ。	講義	松山 佳永	キーワード：検視・検案・検屍・司法解剖・行政解剖・死因究明制度	601講義室 Moodle
3	歯科法医学3：一般的な個人識別、鑑定書作成法、歯科医学史、大規模交通災害の事例について学ぶ。	講義	松山 佳永	キーワード：指紋・DNA鑑定・鑑定書・警察歯科医	601講義室 Moodle
4	歯科法医学4：歯科による個人識別、年齢推定について学ぶ。	講義	松山 佳永	キーワード：死後デンタルチャート作成・年齢推定（歯・顎骨）	601講義室 Moodle
5	歯科法医学5：死後歯型図および生前歯型図の作成について演習を行う。	講義	松山 佳永	キーワード：生前デンタルチャート作成	601講義室 Moodle
6	特別講義：災害医療の必要性和特殊性、歯科医師による身元確認作業の実例について学ぶ。	講義	(非)山田 良広	キーワード：トリアージ・児童虐待	601講義室 Moodle

歯科法医学・災害歯科学

開講学科	歯学科		開講年次	5年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	歯学科長						
担当教員	歯学科長, 松山 佳永, 久保田 潤平, (非)山田 良広						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
7	災害時の歯科保健医療対策1：災害歯科保健医療の必要性と特殊性、また、活動体制やそのために必要な行政や他職種との連携等について学ぶ。	講義	久保田 潤平	キーワード：災害対策基本法・医療救護班・災害派遣医療チーム (Disaster Medical Assistance Team<DMAT>)・災害拠点病院・トリアージ	601講義室 Moodle
8	災害時の歯科保健医療対策2：災害発生時のフェイズを考慮した歯科保健医療活動や保健医療支援の活動理念について学ぶ。	講義	久保田 潤平	キーワード：災害医療コーディネーター・アクションカード・post-traumatic stress disorder<PTSD>	601講義室 Moodle

特殊補綴治療学

開講学科	歯学科			開講年次	5年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	榎原 絵理						
担当教員	榎原 絵理, 渡辺 崇文, 大楠 弘通, 笹栗 正明, 吉賀 大午, 正木 千尋						

授業の概要

口腔・顔面領域の腫瘍等に対する治療とその後生じた顎骨・顔面欠損に対する顎顔面補綴治療について基本的知識と臨床を学ぶ。また、睡眠時無呼吸に対する原因、検査、診断について基本的知識を学ぶとともに口腔内装置療法を行う際に必要な医科歯科連携について紹介する。さらに顎関節症で使用するアプライアンス、スポーツ歯学などで用いられるマウスガードの基本的知識と臨床を学ぶ。

学生の到達目標

- ①上顎顎欠損に伴う障害と病態を説明できる。
- ②下顎顎欠損に伴う障害と病態を説明できる。
- ③顎顔面補綴の目的および意義を説明できる。
- ④オブチュレーターについて説明できる。
- ⑤パラタルリフトについて説明できる。
- ⑥摂食嚥下補助床について説明できる。
- ⑦エビテーゼについて説明できる。
- ⑧外科的再建手術の目的および意義を説明できる。
- ⑨化学療法、放射線療法について説明できる。
- ⑩チームアプローチの意義と必要性について説明できる。
- ⑪術後機能検査と術後管理について説明できる。
- ⑫睡眠時無呼吸の原因と診察、検査、診断および治療方針を概説できる。
- ⑬各種アプライアンス療法（睡眠時無呼吸症用、顎関節症用）を説明できる。
- ⑭スポーツマウスガードについて説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
C-5-7	スポーツマウスガードによる外傷予防を理解している。
D-2-4-3	医科歯科連携の必要性と歯科医師の関わり方を理解している。
D-3-1-11-6	睡眠時無呼吸の原因、診察、検査、診断及び治療方針を理解している。
D-3-1-6-3	口腔、顎顔面領域の悪性腫瘍の一般的な症状、診断法及び治療法を理解している。
D-3-1-7-1	顎関節疾患の分類と特徴を理解している。
D-3-1-7-2	顎関節疾患の症状、診断法及び治療法を理解している。
D-5-1-7	コンタクトスポーツにおけるマウスガード使用の必要性を理解している。
D-5-3-2-13	顎骨、顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を理解している。
D-5-4-6	周術期の管理の目的と意義を理解している。
D-6-2-1	歯科衛生士と連携する口腔健康管理の方法の概要を理解している。
D-6-2-2	歯科技工士と連携する歯科技工の方法の概要を理解している。
D-6-2-3	多職種連携に必要な基本的な専門用語を理解している。

参考書

タイトル	著者	出版社
顎顔面リハビリテーション：補綴的、外科的対応	田代英雄、 大山喬史訳	クインテッ センス出版

特殊補綴治療学

開講学科	歯学科			開講年次	5年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	榎原 絵理						
担当教員	榎原 絵理, 渡辺 崇文, 大楠 弘通, 笹栗 正明, 吉賀 大午, 正木 千尋						

タイトル	著者	出版社
顎顔面補綴の臨床	大山 喬史、 谷口 尚編	医学情報社
無歯顎補綴治療学 第3版	市川 哲雄ほか	医歯薬出版
口腔外科学	白砂 兼光、 古郷 幹彦編	医歯薬出版
新編 顎関節症 改訂版	日本顎関節 学会	永末書店
要説 スポーツ歯科医学		医学情報社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
小テスト (8回)	100%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】 榎原、渡辺、大楠、吉賀、笹栗、正木：随時（電話またはメールで受け付け）

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	顎顔面補綴1 頭頸部癌患者の抱える問題、化学療法と放射線療法、外科療法、後天的上下顎および顔面欠損	講義（1時間） 小テスト（30分）	笹栗 正明	【事前学習課題】頭頸部癌、化学・放射線・外科療法、後天的顎顔面欠損 【事後学習課題】小テストの見直し	601 講義室
2	顎顔面補綴2 補綴前処置としての外科的対応	講義（1時間） 小テスト（30分）	吉賀 大午	【事前学習課題】再建手術、顎顔面インプラント 【事後学習課題】小テストの見直し	601 講義室

特殊補綴治療学

開講学科	歯学科		開講年次	5年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	榎原 絵理						
担当教員	榎原 絵理, 渡辺 崇文, 大楠 弘通, 笹栗 正明, 吉賀 大午, 正木 千尋						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
3	顎顔面補綴3 上顎顎欠損に対する補綴治療, 下顎顎欠損に対する補綴治療, 顔面欠損の補綴治療, 術後機能検査と術後管理	講義 (1時間) 小テスト (30分)	渡辺 崇文	【事前学習課題】顎顔面補綴の目的と意義, チームアプローチ, 口蓋裂, パラタルリフト 【事後学習課題】小テストの見直し	601 講義室
4	顎顔面補綴4 顎顔面補綴の目的と意義, チームアプローチの重要性, 口蓋裂に対する補綴処置, パラタルリフト	講義 (1時間) 小テスト (30分)	榎原 絵理	【事前学習課題】オブチュレーター, 分割義歯, 咬合滑面板, 舌補綴, エピテーゼ, 術後管理 【事後学習課題】小テストの見直し	601 講義室
5	睡眠時無呼吸症の概要	講義 (1時間) 小テスト (30分)	大楠 弘通	【事前学習課題】睡眠時無呼吸症 【事後学習課題】小テストの見直し	601 講義室
6	オーラルアプライアンス	講義 (1時間) 小テスト (30分)	榎原 絵理	【事前学習課題】睡眠時無呼吸症のオーラルアプライアンス療法 【事後学習課題】小テストの見直し	601 講義室
7	顎関節症とアプライアンス治療	講義 (1時間) 小テスト (30分)	榎原 絵理	【事前学習課題】顎関節症のアプライアンス療法 【事後学習課題】小テストの見直し	601 講義室
8	スポーツマウスガード	講義 (1時間) 小テスト (30分)	正木 千尋	【事前学習課題】スポーツマウスガード 【事後学習課題】小テストの見直し	601 講義室

摂食機能療法学I

開講学科	歯学科			開講年次	5年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	藤井 航						
担当教員	藤井 航						

授業の概要

摂食機能障害は「食べる」という生命の根源にかかわる問題である。摂食機能療法により摂食機能障害患者の生活の質（QOL）の向上に貢献することは、歯科医師の大きな責務である。そこで、摂食機能障害の診断・評価、摂食機能と栄養、及びNSTと多職種連携について理解した上で、摂食機能療法について摂食機能療法学I、IIを通じて系統的に学修する。

学生の到達目標

- ①摂食嚥下のメカニズムについて説明できる。
- ②摂食機能障害の病態について説明できる。
- ③フレイル、オーラルフレイル、口腔機能低下症について説明できる。
- ④NSTと栄養管理法について説明できる。
- ⑤嚥下調整食について説明できる。
- ⑥摂食機能障害のスクリーニング法について説明できる。
- ⑦摂食機能障害の精密検査法について説明できる。
- ⑧摂食機能障害の口腔衛生管理について説明できる。
- ⑨摂食機能障害に対する食形態指導について説明できる。
- ⑩摂食機能障害に対する食環境指導について説明できる。
- ⑪摂食機能障害に対する間接訓練について説明できる。
- ⑫摂食機能障害に対する直接訓練について説明できる。
- ⑬地域包括ケアシステムについて説明できる。
- ⑭介護保険について説明できる。
- ⑮多職種連携について説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-5-1)-①	患者中心のチーム医療の意義を説明できる。
A-5-1)-②	医療チームや各構成員（歯科医師、医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制を説明できる。
A-5-1)-③	保健・医療・福祉・介護における多職種連携と歯科医師の役割を説明できる。
B-2-2)-⑧	地域における保健・医療・福祉・介護の連携（地域包括ケアシステム）を説明できる。
E-5-1)-③	口腔機能低下の検査と予防法（介護予防を含む）を説明できる。
E-5-1)-⑧	摂食嚥下障害の診察、検査及び診断を説明できる。
E-5-1)-⑨	摂食嚥下リハビリテーションを説明できる。
E-5-2)-⑤	発達期の摂食嚥下障害の診察、評価、診断を説明できる。
E-5-2)-⑥	発達期の摂食嚥下障害のリハビリテーションを説明できる。

参考書

タイトル	著者	出版社
老年歯科医学 第2版	森戸光彦 編集主幹	医歯薬出版

摂食機能療法学I

開講学科	歯学科			開講年次	5年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	藤井 航						
担当教員	藤井 航						

タイトル	著者	出版社
摂食嚥下リハビリテーション第3版		医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート（小テストを含む）	100%

その他

【オフィスアワー】講義内容の質問は、講義前後またはe-mailにて受け付ける。ほかに、日時を定めて質問を受け付ける場合がある。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	摂食嚥下総論 摂食嚥下機能の発達や障害、障害の原因、診断、治療方針、リハビリテーションについて学修する。	講義	藤井 航	【事前・事後学習課題】摂食嚥下機能	601講義室 Moodle
2	フレイルとオーラルフレイル 摂食機能障害の前段階であるフレイルとオーラルフレイルについて、原因、評価方法、対応について学修する。	講義	藤井 航	【事前・事後学習課題】フレイル、オーラルフレイル	601講義室 Moodle
3	口腔機能低下症の診断・評価 正常な口腔機能について理解するとともに、口腔機能低下症の検査、診断について学修する。	講義	藤井 航	【事前・事後学習課題】口腔機能低下症	601講義室 Moodle
4	口腔健康管理 摂食機能障害に対して行う口腔健康管理について学修する。口腔清掃を目的とした口腔衛生管理と機能の維持回復を目的とした口腔機能管理について学修する。	講義	藤井 航	【事前・事後学習課題】口腔健康管理、口腔衛生管理、口腔機能管理	601講義室 Moodle

摂食機能療法学I

開講学科	歯学科			開講年次	5年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	藤井 航						
担当教員	藤井 航						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
5	摂食嚥下障害のスクリーニング 口腔機能および摂食嚥下機能のメカニズムに関連した症状や心身機能をスクリーニングするテスト方法を理解し、実施手順、評価などについて学修する。	講義	藤井 航	【事前・事後学習課題】摂食嚥下障害、摂食嚥下障害のスクリーニング	601講義室 Moodle
6	摂食嚥下障害の検査法（VE）内視鏡下嚥下機能検査（VE）を用いた検査法ならびに評価について学修する。	講義	藤井 航	【事前・事後学習課題】内視鏡下嚥下機能検査	601講義室 Moodle
7	摂食嚥下障害の検査法（VF）嚥下造影検査（VF）を用いた検査法ならびに評価について学修する。	講義	藤井 航	【事前・事後学習課題】嚥下造影検査	601講義室 Moodle
8	NSTと多職種連携 摂食機能障害患者をとりまく多数の職種について理解した上で、チーム医療としての栄養サポートチームについて学ぶ。	講義	藤井 航	【事前・事後学習課題】NST、多職種連携	601講義室 Moodle

摂食機能療法学II

開講学科	歯学科			開講年次	5年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	藤井 航						
担当教員	藤井 航 ※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (口腔リハビリテーションセンター) 藤井 航						

授業の概要

摂食機能障害は「食べる」という生命の根源にかかわる問題である。摂食機能療法により摂食機能障害患者の生活の質（QOL）の向上に貢献することは、歯科医師の大きな責務である。そこで、摂食機能障害の診断・評価、摂食機能と栄養、及びNSTと多職種連携について理解した上で、摂食機能療法について系統的に学修する。

学生の到達目標

- ①摂食嚥下のメカニズムについて説明できる。
- ②摂食機能障害の病態について説明できる。
- ③フレイル、オーラルフレイル、口腔機能低下症について説明できる。
- ④NSTと栄養管理法について説明できる。
- ⑤嚥下調整食について説明できる。
- ⑥摂食機能障害のスクリーニング法について説明できる。
- ⑦摂食機能障害の精密検査法について説明できる。
- ⑧摂食機能障害の口腔衛生管理について説明できる。
- ⑨摂食機能障害に対する食形態指導について説明できる。
- ⑩摂食機能障害に対する食環境指導について説明できる。
- ⑪摂食機能障害に対する間接訓練について説明できる。
- ⑫摂食機能障害に対する直接訓練について説明できる。
- ⑬地域包括ケアシステムについて説明できる。
- ⑭介護保険について説明できる。
- ⑮多職種連携について説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-5-1)-①	患者中心のチーム医療の意義を説明できる。
A-5-1)-②	医療チームや各構成員（歯科医師、医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制を説明できる。
A-5-1)-③	保健・医療・福祉・介護における多職種連携と歯科医師の役割を説明できる。
A-7-1)-③	地域包括ケアシステム概念を理解し、地域における、保健（母子保健、学校保健、産業保健、成人・高齢者保健、地域保健、精神保健）・医療・福祉・介護の分野間及び多職種間（行政を含む）の連携の必要性を説明できる。
B-2-2)-⑧	地域における保健・医療・福祉・介護の連携（地域包括ケアシステム）を説明できる。
E-5-1)-③	口腔機能低下の検査と予防法（介護予防を含む）を説明できる。
E-5-1)-⑧	摂食嚥下障害の診察、検査及び診断を説明できる。
E-5-1)-⑨	摂食嚥下リハビリテーションを説明できる。
E-5-2)-⑥	発達期の摂食嚥下障害のリハビリテーションを説明できる。

参考書

タイトル	著者	出版社
------	----	-----

摂食機能療法学II

開講学科	歯学科			開講年次	5年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	藤井 航						
担当教員	藤井 航 ※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (口腔リハビリテーションセンター) 藤井 航						

タイトル	著者	出版社
老年歯科医学 第2版	森戸光彦 編集主幹	医歯薬出版
摂食嚥下リハビリテーション第3版		医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート (小テストを含む)	100%

その他

【オフィスアワー】講義内容の質問は、講義前後またはe-mailにて受け付ける。ほかに、日時を定めて質問を受け付ける場合がある。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	間接訓練 口腔機能のアセスメントやスクリーニングテストに基づいた間接訓練の適応、前提条件、実施手順、評価について学修する。	講義	藤井 航	【事前・事後学習課題】間接訓練	601講義室 Moodle
2	直接訓練 口腔機能のアセスメントやスクリーニングテストに基づいた間接訓練の適応、前提条件、実施手順、評価について学修する。	講義	藤井 航	【事前・事後学習課題】直接訓練	601講義室 Moodle
3	嚥下調整食・介護食 口腔機能や摂食嚥下障害の状態に応じた安全な食事形態や調理法、嚥下調整食、介護食について学修する。	講義	藤井 航	【事前・事後学習課題】嚥下調整食、介護食	601講義室 Moodle
4	摂食機能障害と地域包括ケアシステム 地域に在住する摂食機能障害患者に関連する、地域包括ケアシステムや介護保険について学修する。	講義	藤井 航	【事前・事後学習課題】地域包括ケアシステム、介護保険	601講義室 Moodle

摂食機能療法学II

開講学科	歯学科		開講年次	5年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	藤井 航						
担当教員	藤井 航 ※上記のうち、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する教員は次のとおり (口腔リハビリテーションセンター) 藤井 航						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
5	摂食機能障害に対する歯科訪問診療 摂食機能障害患者に対して行う歯科訪問診療の実際について学修する。	講義	藤井 航	【事前・事後学習課題】 歯科訪問診療	601講義室 Moodle
6	疾患別の摂食機能障害 実際の摂食機能障害患者について、疾患別にその症状、対応法について学修する。	講義	藤井 航	【事前・事後学習課題】 認知症、パーキンソン病、ALS	601講義室 Moodle
7	人生の最終段階総論 人生の最終段階における、全人的苦痛、全身的变化、口腔内変化について学習する。	講義	藤井 航	【事前・事後学習課題】 人生の最終段階、終末期、ターミナルケア、全人的苦痛	601講義室 Moodle
8	人生の最終段階における歯科的対応 人生の最終段階における、口腔衛生管理を中心とした歯科的対応について学習する。	講義	藤井 航	【事前・事後学習課題】 人生の最終段階、終末期、ターミナルケア、口腔乾燥症、口腔カンジダ症	601講義室 Moodle

総合講義I

開講学科	歯学科			開講年次	6年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学科長						
担当教員	歯学科長, 竹内 弘, 吉岡 泉, 正木 千尋, 片岡 正太, 有田 正博, 折本 愛, 笹栗 正明, 椎葉 俊司, 臼井 通彦, 郡司掛 香織, 福泉 隆喜, 中島 啓介, 笹栗 正明, 西田 郁子, 久保田 潤平, 大谷 泰志						

授業の概要

5年次までに学んできた『基礎および臨床歯科医学』の知識を『歯科医療』に展開するために必要な知識の整理と統合を図り、臨床推論の展開法、適正な医療判断の手法などについて、網羅的に習得を図ることを目的とした講義を行う。

学生の到達目標

『基礎および臨床歯科医学』の知識を統合して、実践的な『歯科医療』に展開する方法を説明できる。
・コアカリキュラムの全項目を網羅する。

参考書

タイトル	著者	出版社
歯科医師国家試験出題基準 (令和5年版)		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
毎回の講義における課題	100%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】講義の前後、またはメールで受け付ける。メールによる相談は各講義担当教員または科目責任者まで。

【公欠相当の事由による遠隔対応】講義によって異なるので、事由発生時には前日までに担当教員へ相談すること。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	欠損補綴設計と治療法選択の実際 欠損補綴の設計と治療選択に至った過程について、少数歯欠損症例をもとに固定性補綴装置を中心に学習する。また、インプラント補綴治療について知識のまとめを行う。	遠隔による講義 資料提供 一部遠隔講義 問題演習	正木 千尋	【事前学修課題】欠損補綴装置の設計、インプラント 【事後学修課題】講義内容を踏まえて教科書等にて関連箇所の復習	601講義室 Moodle

総合講義I

開講学科	歯学科			開講年次	6年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学科長						
担当教員	歯学科長, 竹内 弘, 吉岡 泉, 正木 千尋, 片岡 正太, 有田 正博, 折本 愛, 笹栗 正明, 椎葉 俊司, 臼井 通彦, 郡司掛 香織, 福泉 隆喜, 中島 啓介, 笹栗 正明, 西田 郁子, 久保田 潤平, 大谷 泰志						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	歯科医療における予防とプライマリ・ケア プライマリケアの定義をおさえた上でWHOが進めるプライマリ・ヘルスケアの骨子、欧米各国や我が国で行われている健康増進施策の現状と課題を学習する。	遠隔による講義資料提供一部遠隔講義問題演習	片岡 正太	【事前学修課題】プライマリヘルスケア 【事後学修課題】講義内容を踏まえて教科書等にて関連箇所の復習	601講義室 Moodle
3	パーシャルデンチャーの設計 部分欠損症例に対する可撤性部分床義歯の設計についての基本を習得する。	遠隔による講義資料提供一部遠隔講義問題演習	有田 正博	【事前学修課題】可撤性部分床義歯の設計原則および基本設計法について 【事後学修課題】今回の講義の振り返り	601講義室 Moodle
4	口腔粘膜疾患の鑑別診断 口腔粘膜疾患の病態、検査、鑑別診断を学習する。	遠隔による講義資料提供一部遠隔講義問題演習	吉岡 泉	【事前学修課題】口腔粘膜疾患、白板症、口腔がん 【事後学修課題】講義内容を踏まえて教科書等にて関連箇所の復習	601講義室 Moodle
5	実践「歯の治療学」 歯の治療学で学習した基礎知識・技能と、臨床実習で実践した知識・技能を関連づけると共に、学習（特に保存修復治療学、歯内治療学）の過程で生じた疑問点を解決し、統合的な知識を学習する。	遠隔による講義資料提供一部遠隔講義問題演習	折本 愛	【事前学修課題】保存修復、歯内治療 【事後学修課題】講義内容を踏まえて教科書等にて関連箇所の復習	601講義室 Moodle
6	歯科小手術のポイント 日常臨床で行うことの多い歯科小手術を器具の取り扱いを含め解説し、迅速で安全な手術法を学習する。	遠隔による講義資料提供一部遠隔講義問題演習	笹栗 正明	【事前学修課題】拔牙、膿瘍切開、口腔外科的小手術 【事後学修課題】講義内容を踏まえて教科書等にて関連箇所の復習	601講義室 Moodle

総合講義I

開講学科	歯学科		開講年次	6年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学科長						
担当教員	歯学科長, 竹内 弘, 吉岡 泉, 正木 千尋, 片岡 正太, 有田 正博, 折本 愛, 笹栗 正明, 椎葉 俊司, 臼井 通彦, 郡司掛 香織, 福泉 隆喜, 中島 啓介, 笹栗 正明, 西田 郁子, 久保田 潤平, 大谷 泰志						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
7	疼痛治療と障害者治療の実際 非歯原性疼痛および麻痺性疾患について以下の項目を重点に講義、問題演習を行う。①発生起源からみた口腔顔面痛の分類、②三叉神経痛、顔面神経麻痺の発症原因、③知覚神経障害の原因と症状・治療法、④歯に痛みを誘発する口腔顔面痛歯科治療時に特別な配慮が必要となる発達障害と生活習慣病患者に重点を置いて講義、問題演習を行う。①障害とは何か、②発達障害患者の歯科治療時の留意点、③発達障害患者の行動調整法、④生活習慣病患者の歯科治療時の留意点	遠隔による講義資料提供 一部遠隔講義 問題演習	椎葉 俊司	【事前学修課題】口腔顔面痛の分類、三叉神経痛、顔面神経麻痺 【事後学修課題】講義内容を踏まえて教科書等にて関連箇所の復習	601講義室 Moodle
8	アドバンス歯周治療 (I) 実際の症例を供覧しながら、歯周病の多様性に富んだ病因・病態・治療法について学習する。	遠隔による講義資料提供 一部遠隔講義 問題演習	臼井 通彦	【事前学修課題】辺縁性歯周炎、歯周外科 【事後学修課題】講義内容を踏まえて教科書等にて関連箇所の復習	601講義室 Moodle
9	矯正歯科治療の考え方 小児および成人症例における、矯正歯科治療の診断および治療方法について学習する。	遠隔による講義資料提供 一部遠隔講義 問題演習	郡司掛 香織	【事前学修課題】歯科矯正、外科矯正 【事後学修課題】講義内容を踏まえて教科書等にて関連箇所の復習	601講義室 Moodle
10	必須社会歯科学 (I) 「衛生」領域の学習項目のうち、学生からの要望が多いものについて解説を行い、あわせて関連事項や制度改正のポイントなどについても学習する。	遠隔による講義資料提供 一部遠隔講義 問題演習	福泉 隆喜	【事前学修課題】社会歯科学、口腔衛生 【事後学修課題】講義内容を踏まえて教科書等にて関連箇所の復習	601講義室 Moodle

総合講義I

開講学科	歯学科			開講年次	6年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学科長						
担当教員	歯学科長, 竹内 弘, 吉岡 泉, 正木 千尋, 片岡 正太, 有田 正博, 折本 愛, 笹栗 正明, 椎葉 俊司, 臼井 通彦, 郡司掛 香織, 福泉 隆喜, 中島 啓介, 笹栗 正明, 西田 郁子, 久保田 潤平, 大谷 泰志						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
11	アドバンス歯周治療 (II) 歯周病患者の症例を通じて、歯周治療による歯周組織の変化を学習する。	遠隔による講義資料提供 一部遠隔講義 問題演習	中島 啓介	【事前学修課題】辺縁性歯周炎、歯周外科 【事後学修課題】講義内容を踏まえて教科書等にて関連箇所の復習	601 講義室 Moodle
12	歯科小手術の合併症とその予防 小手術に伴う合併症を知り、その予防法解説する。危険予知訓練などを通じて常に危険を予知する習慣を身に着けることの重要性を学習する。	遠隔による講義資料提供 一部遠隔講義 問題演習	笹栗 正明	【事前学修課題】拔牙、膿瘍切開、口腔外科的小手術、合併症 【事後学修課題】講義内容を踏まえて教科書等にて関連箇所の復習	601 講義室 Moodle
13	歯科における摂食嚥下リハビリテーション 摂食嚥下の基礎と、摂食機能障害の原因およびアプローチについて学習する。	遠隔による講義資料提供 一部遠隔講義 問題演習	久保田 潤平	【事前学習課題】摂食嚥下の5期モデル、プロセスモデル 【事後学修課題】アプローチと摂食嚥下療法の対応について	601 講義室 Moodle
14	小児歯科医療における注意点 成長発育期にある小児の肉体的、精神的、機能的な面を考慮しての歯科医療上の注意点を学習する。	遠隔による講義資料提供 一部遠隔講義 問題演習	西田 郁子	【事前学修課題】小児歯科疾患、歯の発生、歯の萌出 【事後学修課題】講義内容を踏まえて教科書等にて関連箇所の復習	601 講義室 Moodle
15	レーザー歯科医療 レーザーを用いた歯科治療を学習する。	遠隔による講義資料提供 一部遠隔講義 問題演習	大谷 泰志	【事前学修課題】レーザー治療 【事後学修課題】講義内容を踏まえて教科書等にて関連箇所の復習	601 講義室 Moodle

総合講義II

開講学科	歯学科			開講年次	6年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学科長						
担当教員	歯学科長, 学年主任, 竹内 弘, 吉岡 泉, 瀬田 祐司, 小野 堅太郎, 古株 彰一郎, 笹栗 正明, 椎葉 俊司, 永松 浩, 正木 千尋, 福泉 隆喜, 鷺尾 絢子, 臼井 通彦, 西田 郁子, 土生 学, 永松 有紀, 折本 愛						

授業の概要

5年次までに学んできた『基礎および臨床歯科医学』の知識を『歯科医療』に展開するために必要な知識の整理と統合を図り、臨床推論の展開法、適正な医療判断の手法などについて、網羅的に習得を図ることを目的とした講義を行う。

学生の到達目標

『基礎および臨床歯科医学』の知識を整理・統合して歯科医師として根拠に基づいた『歯科医療』に展開する方法を説明できる。

- ・コアカリキュラムの全項目を網羅する。

テキスト

タイトル	著者	出版社
配付資料		

参考書

タイトル	著者	出版社
歯科医師国家試験出題基準 (令和5年版)		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
授業内課題	100%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】講義の前後、またはメールで受け付ける。メールは各講義担当教員または科目責任者まで。

【公欠相当の事由による遠隔対応】講義によって異なるので、事由発生時には前日までに担当教員へ相談すること。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	歯科医学と歯科医療、問題解決法と弱点克服法 歯科医師国家試験で求められる知識や考え方を理解する。また、国家試験の全容を把握すると共に、実践的な問題解決方法についてロールプレイを行う。	遠隔による講義資料提供 一部遠隔講義 問題演習	歯学科長	【事前学修課題】歯科医師国家試験、歯科医学 【事後学修課題】卒業までの学修計画立案	601講義室 Moodle

総合講義II

開講学科	歯学科		開講年次	6年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学科長						
担当教員	歯学科長, 学年主任, 竹内 弘, 吉岡 泉, 瀬田 祐司, 小野 堅太郎, 古株 彰一郎, 笹栗 正明, 椎葉 俊司, 永松 浩, 正木 千尋, 福泉 隆喜, 鷺尾 絢子, 臼井 通彦, 西田 郁子, 土生 学, 永松 有紀, 折本 愛						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	欠損補綴・機能回復における問題解決 (I) 可綴性補綴装置に関わる知識の総点検を行う。義歯の製作過程を中心として、臨床検査、臨床操作、技工操作について詳細に解説する。	遠隔による講義資料提供 一部遠隔講義 問題演習	正木 千尋	【事前学修課題】これまでの講義・実習で学んだ欠損補綴、機能回復、義歯製作について復習【事後学修課題】課題による復習と関連する国家試験過去問題による知識確認	601講義室 Moodle
3	欠損補綴・機能回復における問題解決 (II) インプラントを含めた固定制補綴装置に関わる知識の総点検を行う。ブリッジの製作過程を中心として、臨床検査、臨床操作、技工操作について詳細に解説する。	遠隔による講義資料提供 一部遠隔講義 問題演習	正木 千尋	【事前学修課題】これまでの講義・実習で学んだインプラント学、ブリッジの製作について復習【事後学修課題】課題による復習と関連する国家試験過去問題による知識確認	601講義室 Moodle
4	成長発育期における歯科的問題点の解決 成長発育を考慮した小児期の包括的治療（口腔外科、矯正、保存など）を学習する。	遠隔による講義資料提供 一部遠隔講義 問題演習	西田 郁子	【事前学修課題】これまでの講義・実習で学んだ小児歯科学、小児歯科治療について復習【事後学修課題】課題による復習と関連する国家試験過去問題による知識確認	601講義室 Moodle
5	歯の治療における問題解決 歯の治療学における講義・基礎実習、および臨床実習で修得した知識をもとに、臨床（特に保存修復治療学、歯内治療学）における症例の問題解決法を統合的に学習する。	遠隔による講義資料提供 一部遠隔講義 問題演習	鷺尾 絢子 折本 愛 相原 良亮	【事前学修課題】これまでの講義・実習で学んだ保存修復治療学、歯内治療学について復習【事後学修課題】課題による復習と関連する国家試験過去問題による知識確認	601講義室 Moodle

総合講義II

開講学科	歯学科		開講年次	6年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学科長						
担当教員	歯学科長, 学年主任, 竹内 弘, 吉岡 泉, 瀬田 祐司, 小野 堅太郎, 古株 彰一郎, 笹栗 正明, 椎葉 俊司, 永松 浩, 正木 千尋, 福泉 隆喜, 鷲尾 絢子, 臼井 通彦, 西田 郁子, 土生 学, 永松 有紀, 折本 愛						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
6	歯科麻酔・高齢者歯科における問題解決 超高齢社会を迎え何らかの全身疾患を有する患者が増加しており歯科治療時にも特別の配慮が必要である。以下の項目について講義する。①日本人の死亡原因、②生活習慣病とは何か、③内服薬でわかる全身疾患、④NSAIDs（非ステロイド性消炎鎮痛剤）と内服薬の相互作用、⑤代表的な心疾患の心電図、⑥歯科用局所麻酔薬に含まれるアドレナリンが循環器疾患を有する患者に与える影響	遠隔による講義資料提供 一部遠隔講義 問題演習	椎葉 俊司	【事前学修課題】これまでの講義・実習で学んだNSAIDs、歯科用局所麻酔薬、全身疾患について復習 【事後学修課題】課題による復習と関連する国家試験過去問題による知識確認	601講義室 Moodle
7	歯周治療における問題解決 実際の症例を提示し、どのように歯周治療を行い、どのような結果となったかを詳細に概説する。	遠隔による講義資料提供 一部遠隔講義 問題演習	臼井 通彦	【事前学修課題】これまでの講義・実習で学んだ歯周病学、歯周外科について復習 【事後学修課題】課題による復習と関連する国家試験過去問題による知識確認	601講義室 Moodle
8	口腔外科における問題解決 (I) 安心と安全の医療を実践するための基本知識として、口腔外科治療に関連する外科解剖を整理する。併せて歯科で使用する各種薬剤の副作用を整理してもう一度学ぶ。	遠隔による講義資料提供 一部遠隔講義 問題演習	笹栗 正明	【事前学修課題】これまでの講義・実習で学んだ口腔外科領域の解剖、歯科で使用する各種薬剤の副作用について復習 【事後学修課題】課題による復習と関連する国家試験過去問題による知識確認	601講義室 Moodle

総合講義II

開講学科	歯学科		開講年次	6年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学科長						
担当教員	歯学科長, 学年主任, 竹内 弘, 吉岡 泉, 瀬田 祐司, 小野 堅太郎, 古株 彰一郎, 笹栗 正明, 椎葉 俊司, 永松 浩, 正木 千尋, 福泉 隆喜, 鷲尾 絢子, 臼井 通彦, 西田 郁子, 土生 学, 永松 有紀, 折本 愛						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
9	口腔内科における問題解決 高齢社会における歯科医療で重要視しなければならないさまざまな全身疾患を持つ患者の歯科治療上の注意点を整理してもう一度学ぶ。	遠隔による講義資料提供 一部遠隔講義 問題演習	吉岡 泉	【事前学修課題】これまでの講義・実習で学んだ高齢者の歯科治療、全身疾患について復習 【事後学修課題】課題による復習と関連する国家試験過去問題による知識確認	601講義室 Moodle
10	「機能系」基礎歯科医学における問題解決 学生に事前に卒業試験や模擬試験で良くわからないところ、または詳しく説明して欲しい項目を挙げてもらい、これらの項目に対して、「生理」「薬理」「生化」の教員が講義をおこない、不得意な項目をもう一度学ぶ。生理講義は「ココ重」に振り替える。	遠隔による講義資料提供 一部遠隔講義 問題演習	小野 堅太郎 古株 彰一郎 竹内 弘	【事前学修課題】これまでの講義・実習で学んだ生理学、薬理学、生化学について復習 【事後学修課題】課題による復習と関連する国家試験過去問題による知識確認	601講義室 Moodle
11	「形態系」基礎歯科医学における問題解決 解剖・組織・病理領域における基礎知識の確認を行い、実際の問題をどのように解決していくのかを学習する。	遠隔による講義資料提供 一部遠隔講義 問題演習	瀬田 祐司	【事前学修課題】これまでの講義・実習で学んだ解剖学、組織学について復習 【事後学修課題】課題による復習と関連する国家試験過去問題による知識確認	601講義室 Moodle
12	口腔外科における問題解決 (II) 学生に事前に卒業試験や模擬試験で良くわからないところ、または詳しく説明して欲しい項目を挙げてもらい、これらの項目に対して講義を行い、不得意な項目をもう一度学ぶ。	遠隔による講義資料提供 一部遠隔講義 問題演習	土生 学	【事前学修課題】これまでの講義・実習で学んだ口腔外科学について復習 【事後学修課題】課題による復習と関連する国家試験過去問題による知識確認	601講義室 Moodle

総合講義II

開講学科	歯学科		開講年次	6年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学科長						
担当教員	歯学科長, 学年主任, 竹内 弘, 吉岡 泉, 瀬田 祐司, 小野 堅太郎, 古株 彰一郎, 笹栗 正明, 椎葉 俊司, 永松 浩, 正木 千尋, 福泉 隆喜, 鷲尾 絢子, 臼井 通彦, 西田 郁子, 土生 学, 永松 有紀, 折本 愛						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
13	生体材料における問題解決 生体材料学関連科目で学習した基礎的な事項をもとに、補綴、保存、矯正等各臨床分野で応用・統合する上で必要な知識を学習する。	遠隔による講義資料提供 一部遠隔講義 問題演習	永松 浩 永松 有紀	【事前学修課題】これまでの講義・実習で学んだ生体材料学について復習【事後学修課題】課題による復習と関連する国家試験過去問題による知識確認	601講義室 Moodle
14	社会歯科学と衛生学における問題解決 「衛生」領域の出題基準に準拠した問題演習と解説を行い、必要な知識の整理を行う。	遠隔による講義資料提供 一部遠隔講義 問題演習	福泉 隆喜	【事前学修課題】これまでの講義・実習で学んだ社会歯科学について復習【事後学修課題】課題による復習と関連する国家試験過去問題による知識確認	601講義室 Moodle
15	歯科医学と歯科医療の総括 卒業後の臨床研修を視野に入れ、診療におけるいくつかの留意点を学習する。	遠隔による講義資料提供 一部遠隔講義	歯学科長 学年主任	【事前学修課題および事後学修課題】卒業後の臨床研修	601講義室 Moodle

基礎数学

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	深井 康成						
担当教員	深井 康成						

授業の概要

現代の科学・技術は、数学的記述や発想法を抜きにしては考えられない。量と量の関係は数式で明確に表現され、数学的方法を使えば、精密な解析が可能となり、厳密な論理を構築できる。論理的に物事を考察して認識を深めていくことは、自然科学は言うに及ばず、すべての科学において不可欠である。数学は論理的考察をより純粋な形で展開させる学問体系である。したがって、数学的考察法を体得していることは、今後、専門分野で論理的考察を行う上で重要である。ここでは、論理的考察の雛型としての数学という観点を柱にした講義を行う。

学生の到達目標

- ① 論理的な考察法を体得する。
- ② 数の概念を理解する。
- ③ 極限の厳密な定義を理解する。
- ④ 関数の極限や連続性の概念を理解する。
- ⑤ 微分演算と関数の挙動の解析方法を体得する。
- ⑥ 積分法と面積の計算法を体得する。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
C-2-1	講義、国内外の教科書や文献、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出、統合し、客観的、批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
プリントを配布する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
確認テスト	90%
レポート	10%

その他

(学習相談) 深井康成：月、火、水、木 16:20～17:15

基礎数学

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	深井 康成						
担当教員	深井 康成						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	集合と数の体系 集合と自然数、整数、有理数、無理数、実数について学ぶ。	講義	深井 康成	【事前学修】高校の教科書で集合について復習 【事後学修】レポートの問題を解く	301 講義室
2	実数の上限と下限 実数の上限と下限の定義と性質について学ぶ。	講義	深井 康成	【事前学修】集合について復習 【事後学修】レポートの問題を解く	301 講義室
3	ユークリッド空間 n次元ユークリッド空間について学ぶ。	講義	深井 康成	【事前学修】実数の上限と下限の定義の復習 【事後学修】レポートの問題を解く	301 講義室
4	数列 数列の極限について学ぶ。	講義	深井 康成	【事前学修】1次元ユークリッド空間についての復習 【事後学修】レポートの問題を解く	301 講義室
5	関数の定義 関数の定義と指数関数、三角関数について学ぶ。	講義	深井 康成	【事前学修】数列の極限の定義の復習 【事後学修】レポートの問題を解く	301 講義室
6	関数の極限と連続性 1変数関数の極限、連続性と連続関数の性質について学ぶ。	講義	深井 康成	【事前学修】指数関数、三角関数のついて復習 【事後学修】レポートの問題を解く	301 講義室
7	微分法（その1） 微分係数と導関数について学ぶ。	講義	深井 康成	【事前学修】1変数関数の極限、連続の定義の復習 【事後学修】レポートの問題を解く	301 講義室
8	微分法（その2） 和、積、商と合成関数の微分公式について学ぶ。	講義	深井 康成	【事前学修】微分の定義の復習 【事後学修】レポートの問題を解く	301 講義室

基礎数学

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	深井 康成						
担当教員	深井 康成						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
9	微分法（その3） 平均値の定理について学ぶ。	講義	深井 康成	【事前学修】和、積、商と合成関数の微分公式の復習 【事後学修】レポートの問題を解く	301講義室
10	微分法（その4） 中間値の定理について学ぶ。	講義	深井 康成	【事前学修】平均値の定理の復習 【事後学修】レポートの問題を解く	301講義室
11	微分法（その5） 逆関数の定義と逆関数の微分公式について学ぶ。	講義	深井 康成	【事前学修】中間値の定理の復習 【事後学修】レポートの問題を解く	301講義室
12	積分法（その1） 定積分の定義と微分積分学の基本定理について学ぶ。	講義	深井 康成	【事前学修】逆関数の定義と逆関数の微分公式の復習 【事後学修】レポートの問題を解く	301講義室
13	積分法（その2） 部分積分と置換積分について学ぶ。	講義	深井 康成	【事前学修】定積分の定義と微分積分学の基本定理の復習 【事後学修】レポートの問題を解く	301講義室
14	確認テスト	確認テスト	深井 康成	【事前学修】第1回から第13回までの講義の復習 【事後学修】確認テストにおいてできなかった部分の復習	301講義室
15	まとめ 確認テストの解説と本講義の総括を行う	講義	深井 康成	確認テストにおいてできなかった部分の復習	301講義室

数理科学I

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	深井 康成						
担当教員	深井 康成						

授業の概要

数理科学は数学と数学の応用をあわせた学術分野であり、大量のデータを解析し解釈する統計学も数理科学に含まれる。統計学の数学的基礎は確率論である。我々のまわりにはその結果が偶然性に支配される現象も多い。このような確率的な現象を数理的に解析する数学の分野が確率論である。すなわち、確率論とは偶然性（デタラメさ）の中に法則性を見出すための数学である。統計学の考え方を理解し統計的解析を行うためには、確率論の知見が必須である。ここでは、確率論を概説する。次いで、確率論を用いた統計的概念や諸特性量に関する講義を行い2年次前期の数理科学IIへの橋渡しとする。

学生の到達目標

- ① 確率論における諸概念の理解と基本的な確率演算を体得する。
- ② 事象、標本空間、確率変数とその分布を理解する。
- ③ 平均、分散、標準偏差、共分散、相関係数など確率変数とその分布を特徴づける諸量を理解する。
- ④ 確率変数の独立性の概念を理解する。
- ⑤ 二項分布、ポアソン分布、正規分布の理解と、それらに関連した確率演算を体得する。
- ⑥ 中心極限定理や統計学に頻出する t -分布、カイ二乗分布を理解する。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
C-2-1	講義、国内外の教科書や文献、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出、統合し、客観的、批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。
C-6-2-1	確率変数とその分布、統計的推測(推定と検定)の原理と方法を理解している。

テキスト

タイトル	著者	出版社
例題中心 確率・統計入門 (改訂版)	水原昂廣、 宇野力	学術図書出版 社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
確認テスト	90%
レポート	10%

その他

学習相談) 深井康成：月、火、水、木16:20～17:15

数理科学I

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	深井 康成						
担当教員	深井 康成						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	確率論のガイダンス 試行、標本空間、事象について学ぶ。	講義	深井 康成	【事前学修】 集合に関する復習（教科書1～3ページ） 【事後学修】 レポートの問題を解く	301 講義室
2	公理論的確率の定義（その1） 確率の定義について学ぶ。	講義	深井 康成	【事前学修】 試行、標本空間の定義の復習 【事後学修】 レポートの問題を解く	301 講義室
3	公理論的確率の定義（その2） 確率の性質について学ぶ。	講義	深井 康成	【事前学修】 確率の定義の復習 【事後学修】 レポートの問題を解く	301 講義室
4	確率論の基礎概念 確率変数について学ぶ。	講義	深井 康成	【事前学修】 確率の性質の復習 【事後学修】 レポートの問題を解く	301 講義室
5	散型確率変数の分布 二項分布とポアソン分布について学ぶ。	講義	深井 康成	【事前学修】 確率変数の定義の復習 【事後学修】 レポートの問題を解く	301 講義室
6	独立性 確率変数の独立性とその応用について学ぶ。	講義	深井 康成	【事前学修】 二項分布とポアソン分布の復習 【事後学修】 レポートの問題を解く	301 講義室
7	離散型確率変数（その1） 離散型確率変数の平均と分散の定義について学ぶ。	講義	深井 康成	【事前学修】 確率変数の独立性の定義の復習 【事後学修】 レポートの問題を解く	301 講義室

数理科学I

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	深井 康成						
担当教員	深井 康成						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
8	離散型確率変数（その2） 離散型確率変数の平均と分散の性質について学ぶ。	講義	深井 康成	【事前学修】離散型確率変数の平均と分散の定義の復習 【事後学修】レポートの問題を解く	301 講義室
9	離散型確率変数（その3） 離散型確率変数の共分散と相関係数について学ぶ。	講義	深井 康成	【事前学修】離散型確率変数の平均と分散の性質の復習 【事後学修】レポートの問題を解く	301 講義室
10	二項分布とポアソン分布に従う確率変数の平均と分散 二項分布とポアソン分布に従う確率変数の平均と分散の計算方法を学ぶ	講義	深井 康成	【事前学修】離散型確率変数の共分散と相関係数の定義の復習 【事後学修】レポートの問題を解	301 講義室
11	連続型確率変数（その1） 連続型確率変数の定義について学ぶ。	講義	深井 康成	【事前学修】二項分布とポアソン分布に従う確率変数の平均と分散について復習 【事後学修】レポートの問題を解く	301 講義室
12	連続型確率変数（その2） 正規分布、t-分布、カイ二乗分布について学ぶ。	講義	深井 康成	【事前学修】連続型確率変数の定義の復習 【事後学修】レポートの問題を解く	301 講義室
13	連続型確率変数（その3） 連続型確率変数の諸平均量と正規分布の性質について学ぶ 中心極限定理について学ぶ。	講義	深井 康成	【事前学修】正規分布の定義の復習 【事後学修】レポートの問題を解く	301 講義室
14	確認テスト	確認テスト	深井 康成	【事前学修】第1回から第13回までの復習 【事後学修】確認テストにおいてできなかった部分の復習	301 講義室

数理科学I

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	深井 康成						
担当教員	深井 康成						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
15	まとめ 確認テストの解説と本講義の総括を行う。	講義	深井 康成	確認テストにおいてできなかった部分の復習	301講義室

数理科学II

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	深井 康成						
担当教員	深井 康成						

授業の概要

数理科学は、数学と数学の応用をあわせた学術分野である。数学を応用して大量のデータを解析し解釈することも、数理科学に含まれる。ここでは、大量のデータを解析し解釈する方法に1つとして、統計的手法について講義を行う。統計的手法は、医学・歯学、工学、農学、生物学、経済学、社会学、人間行動学などにかかわり、多方面で利用されている。特に、歯学を含む生命科学において、実験や調査結果などのバラツキのあるデータの解析と解釈方法を体得することは必須である。さらに、与えられたデータから背景にある集団（母集団）の特性を検定、推定することは重要である。講義では、統計学を数学的に基礎づけながら説明し、さまざまな統計的手法を理解し体得することを目指す。

学生の到達目標

- ①基本的な統計的手法の手順、考え方および理論的根拠について理解する。
- ②統計学の考え方（母数、標本、統計量、仮説検定法、区間推定法など）を理解する。
- ③歯学によく現れる仮説検定法（母平均の検定、2つ母集団の等平均の検定、出現率の検定、分割表による独立性の検定、適合度検定など）の熟知と、演習を通しての統計的手法を体得する。
- ④統計的推定の考え方と手法を理解する。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-2-2)-②	得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。
B-4-2)-①	確率変数とその分布、統計的推測（推定と検定）の原理と方法を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
例題中心 確率・統計入門 (改訂版)	水原昂廣、 宇野力	学術図書出版 社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
確認テスト	90%
レポート	10%

その他

平方根が計算できる電卓を持参すること。

(学習相談) 深井康成：月、火、水、木16:20～17:15

数理科学II

開講学科	歯学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	深井 康成						
担当教員	深井 康成						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	データ解析 データのまとめ方について学ぶ。	講義	深井 康成	【事前学修】数理科学Iのプリントで、確率空間と確率変数の復習 【事後学修】レポートの問題を解く	401 講義室
2	確率論の復習（その1） 確率空間と確率変数について復習する。	講義	深井 康成	【事前学修】データの平均の定義とヒストグラムの作り方の復習 【事後学修】レポートの問題を解く	401 講義室
3	確率論の復習（その2） 確率変数の独立の復習と分布表を使った確率の求め方を学ぶ。	講義	深井 康成	【事前学修】確率空間と確率変数についての復習 【事後学修】レポートの問題を解く	401 講義室
4	統計学の考え方 母集団、母数、母集団分布について学ぶ。	講義	深井 康成	【事前学修】分布表を使った確率の求め方の復習 【事後学修】レポートの問題を解く	401 講義室
5	統計的推定（その1） 点推定と不偏推定量について学ぶ。	講義	深井 康成	【事前学修】母集団、母数、母集団分布についての復習 【事後学修】レポートの問題を解く	401 講義室
6	統計的推定（その2） 区間推定法について学ぶ。	講義	深井 康成	【事前学修】点推定と不偏推定量についての復習 【事後学修】レポートの問題を解く	401 講義室
7	統計的検定（その1） 仮説検定法、帰無仮説、対立仮説、危険率、棄却領域と正規母集団の母平均の検定について学ぶ。	講義	深井 康成	【事前学修】区間推定法についての復習 【事後学修】レポートの問題を解く	401 講義室

数理科学II

開講学科	歯学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	深井 康成						
担当教員	深井 康成						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
8	統計的検定（その2） 2つの正規母集団の等平均の検定について学ぶ。	講義	深井 康成	【事前学修】正規母集団の母平均の検定についての復習 【事後学修】レポートの問題を解く	401 講義室
9	統計的検定（その3） 出現率の検定について学ぶ。	講義	深井 康成	【事前学修】2つの正規母集団の等平均の検定についての復習 【事後学修】レポートの問題を解く	401 講義室
10	統計的検定（その4） 2つの母集団の出現率の比較検定について学ぶ。	講義	深井 康成	【事前学修】出現率の検定についての復習 【事後学修】レポートの問題を解く	401 講義室
11	統計的検定（その5） 適合度の検定について学ぶ。	講義	深井 康成	【事前学修】2つの母集団の出現率の比較検定についての復習 【事後学修】レポートの問題を解く	401 講義室
12	統計的検定（その6） 分割表による独立性の検定について学ぶ。	講義	深井 康成	【事前学修】適合度の検定についての復習 【事後学修】レポートの問題を解く	401 講義室
13	統計的検定（その7） 母相関係数の検定について学ぶ。	講義	深井 康成	【事前学修】分割表による独立性の検定についての復習 【事後学修】レポートの問題を解く	401 講義室
14	確認テスト	確認テスト	深井 康成	【事前学修】第1回から第13回までの講義の復習 【事後学修】確認テストにおいてできなかった部分の復習	401 講義室

数理科学II

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	深井 康成						
担当教員	深井 康成						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
15	まとめと補足 確認テストの解説と正規分布、 t分布とカイ2乗分布の関係について学ぶ。	講義	深井 康成	確認テストにおいて できなかった部分の 復習	401講義室

保健医療統計学

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	安細 敏弘						
担当教員	安細 敏弘, 角田 聡子, 片岡 正太 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業の概要

保健医療関係者が地域に出ていき、調査や研究を実施し、その結果を正しく解釈でき、地域にフィードバック（施策立案）するための知識とノウハウを習得することを念頭に置いて講義ならびに演習を行う。将来的に地域歯科保健活動のリーダーとなる人材になるための必須の知識と実際を教授する。

学生の到達目標

- ①保健医療に関連する調査のしくみと意義を説明できる。
- ②調査デザインとデータ集計ならびに統計分析法の各論を説明できる。
- ③保健医療情報の取扱いと情報のセキュリティ、倫理を説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
C-6-1-1	疫学と根拠に基づいた医療（EBM）の概念及び診療ガイドラインを理解している。
C-6-1-2	スクリーニング検査を理解している。
C-6-2-1	確率変数とその分布、統計的推測（推定と検定）の原理と方法を理解している。
C-6-2-4	調査方法と統計的分析法を理解している。
C-6-3-2	個人情報の保護に関する法律を遵守した保健医療情報（診療録、Personal Health Record等を含む）の取り扱いを理解している。
E-4-3-4	疫学と根拠に基づいた医療（EBM）とNarrative-Based Medicine（NBM）に基づいた患者中心の医療を実施できる。
IT-01	情報倫理（AI倫理を含む）及びデータ保護に関する原則を理解している。
PS-04	疫学と予防を理解している。

テキスト

タイトル	著者	出版社
基礎から学ぶ楽しい疫学	中村好一 著	医学書院
Moodleに資料を配付する。		

参考書

タイトル	著者	出版社
地域診断のすすめ方	水島 春朔 著	医学書院

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

保健医療統計学

開講学科	歯学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	安細 敏弘						
担当教員	安細 敏弘, 角田 聡子, 片岡 正太 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

その他

（教員名：安細敏弘、角田聡子、片岡正太）質問の受付および回答は講義終了後ないしオフィスアワーに受けつける。オフィスアワーは通常、月～金の午後5時～6時とする（11階研究室など）。相談時間予約にメールを利用することができる。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	問題解決のプロセス（Ⅰ） 根拠に基づいた公衆衛生・健康施策を展開していくにあたり必要な地域診断の意味を踏まえた上で、情報収集、問題設定、計画、評価といったPDCA サイクルの基本について学習する。	講義（パワーポイントと資料）	安細 敏弘	キーワード：地域診断、情報リテラシー、CBCチェック、PDCAサイクル	401 講義室 Moodle
2	問題解決のプロセス（Ⅱ） 国の疫学調査を例としてPDCAの『現状把握と分析』について学習する。	講義（パワーポイントと資料）	安細 敏弘	キーワード：予防医学のストラテジー、ハイリスク戦略とポピュレーション戦略、効用・効果・便益	401 講義室 Moodle
3	調査の計画（Ⅰ） サンプリング、サンプルサイズの基本について学習する。	講義（パワーポイントと資料）	角田 聡子	キーワード：母集団、サンプリングの種類、標本サイズ	401 講義室 Moodle
4	調査の計画（Ⅱ） 疫学研究方法の概要および利点・欠点について学習する。	講義（パワーポイントと資料）	片岡 正太	キーワード：疫学の定義、疫学研究方法、記述疫学、分析疫学、介入疫学、John Snow、フラミンガム研究、オッズ比とリスク比	401 講義室 Moodle
5	調査の計画（Ⅲ） 各種疫学指標の定義と特徴について学習する。	講義（パワーポイントと資料）	角田 聡子	キーワード：有病率、罹患率、人年、死亡率、致命率など	401 講義室 Moodle
6	調査の計画（Ⅳ） 質問紙調査のデザインについて学習する。	講義（パワーポイントと資料）	角田 聡子	キーワード：質問紙調査のデザイン、質問文・回答文の作り方	401 講義室 Moodle
8	評価方法（Ⅰ） 交絡とその制御方法について学習する。	講義（パワーポイントと資料）	角田 聡子	キーワード：交絡、マッチング、層化	401 講義室 Moodle

保健医療統計学

開講学科	歯学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	安細 敏弘						
担当教員	安細 敏弘, 角田 聡子, 片岡 正太 ※氏名の後ろに (診療科名) の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
7	評価方法 (II) 評価の標準化、キャリブレーションについて学習する。	講義 (パワーポイントと資料)	片岡 正太	キーワード：偶然誤差、系統誤差、程度、真度、変動係数、一致率、カップパ値、各種バイアス	401 講義室 Moodle
9	評価方法 (III) スクリーニング、診断方法の評価：感度、特異度、ROC曲線、尤度比について学習する。	講義 (パワーポイントと資料)	片岡 正太	キーワード：感度・特異度、尤度比、ROC曲線、リードタイムバイアス	401 講義室 Moodle
10	保健医療統計の基礎 これだけは知っておきたい記述統計、分析統計等の統計解析の基礎について学習する。	講義 (パワーポイントと資料)	安細 敏弘	キーワード：度数分布とヒストグラム、代表値、分位数と箱ひげ図、はずれ値、スキューネスとカルトシス、尺度の種類、パラ検定とノンパラ検定	401 講義室 Moodle
11	保健活動と情報セキュリティ 調査等で得られたデータの管理、セキュリティとデータベース作成、ならびにレコード・リンケージについて学習する。	講義 (パワーポイントと資料)	安細 敏弘	キーワード：データ管理、コンプライアンス、インフォームドコンセント	401 講義室 Moodle
12	疫学と倫理 国の倫理指針を紹介し、個人情報の取り扱い等のポイントを学習する。	講義 (パワーポイントと資料)	安細 敏弘	キーワード：個人情報保護、匿名化、有害事象	401 講義室 Moodle
13	演習 (I) 演習問題に取り組む。	演習	安細 敏弘 片岡 正太 角田 聡子	これまでに学んだ内容をフィードバックしておく。	401 講義室 Moodle
14	演習 (II) 演習問題に取り組む。	演習	片岡 正太 角田 聡子 安細 敏弘	これまでに学んだ内容をフィードバックしておく。	401 講義室 Moodle
15	演習 (III) 演習問題の解答と解説	演習	片岡 正太 角田 聡子 安細 敏弘	前回までに取り組んだ演習問題と自分で作成した解答を確認しておく。	401 講義室 Moodle

Evidence-Based Dentistry

開講学科	歯学科			開講年次	4年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	角館 直樹						
担当教員	角館 直樹						

授業の概要

Evidence-Based Dentistryを実践する歯科医療人に必要な知識と応用力の涵養を目的とする。歯科医学文献を検索および批判的吟味し、科学的根拠に基づく診療の実践力を養う。臨床疫学・臨床統計学の基礎知識を身につけ、さらに国内外の診療ガイドラインの検索及び読解を行う。

学生の到達目標

- ①Evidence-Based Dentistry(EBD)の概念を理解することができる。
- ②国内外の歯科医学に関する情報を収集および検索できる。
- ③臨床疫学研究デザインに応じて、論文を批判的に吟味することができる。
- ④自らの歯科医療に関する疑問を定式化し、科学的根拠に基づき解決することができる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-1-1)-④	医学研究に関する倫理的問題を説明できる。
A-1-1)-⑥	研究を、医学・医療の発展や患者の利益の増進を目的として行うよう配慮できる。
A-2-1)-①	必要な課題を自ら発見できる。
A-2-1)-③	課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。
A-8-1)-②	臨床上の疑問(clinical question<CQ>)を定式化できる。
A-8-1)-③	患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。
A-9-1)-①	自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。
A-9-1)-②	歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。
A-9-1)-③	医療の改善の必要性和科学的研究の重要性を説明できる。
B-4-1)-①	疫学と根拠に基づいた医療<EBM>の概念を説明できる。
B-4-1)-③	歯科疾患の疫学的指標を説明できる。
B-4-1)-④	診療ガイドラインを説明できる。
B-4-2)-①	確率変数とその分布、統計的推測(推定と検定)の原理と方法を説明できる。
B-4-2)-④	調査方法と統計的分析法を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
Evidence-Based Dentistry 入門	角館直樹	永末書店

参考書

タイトル	著者	出版社
歯科診療に基づく研究・英語論文執筆ガイド	角館直樹	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
講義で行われる小テスト	45%
演習の提出物(全6回)	35%

Evidence-Based Dentistry

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	角館 直樹						
担当教員	角館 直樹						

評価項目	割合
文献検索テスト	20%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】角館直樹：相談は随時受け付け可能。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	Evidence-Based Dentistry (EBD) の概念について：EBDの定義と基本的理念、エビデンスレベルについて理解する。横断研究および症例対照研究のデザインについて学ぶ。	講義	角館 直樹	EBDの概念、エビデンスレベル、横断研究、症例対照研究（教科書2～11頁、26～28頁）	501講義室 Moodle
2	研究デザインとバイアス：コホート研究、ランダム化比較試験などの研究デザインについて理解し、3大バイアスについて学ぶ。	講義 小テスト	角館 直樹	コホート研究、ランダム化比較試験、バイアス（教科書26～39頁）	501講義室 Moodle
3	米国におけるEBDと Practice-based Research 米国におけるDental Practice-based Researchの概要について学ぶ。	講義 小テスト	(非)Valeria Gordan	Practice-based Researchについて（教科書66頁～73頁）	501講義室 Moodle
4	文献検索演習①（研究論文の検索）：診療上の疑問を解決するのに必要な論文等の文献を、インターネットを用いて英語と日本語で検索する方法を学ぶ。	演習	角館 直樹	文献検索について（教科書5～8頁、12～19頁）	コンピュータ演習室 Moodle
5	論文の種類と構成：医学系論文の種類、基本的な構成および読解法を理解する。臨床研究の事前登録についても学ぶ。	講義 小テスト	角館 直樹	論文の種類・構成について（教科書40～42頁）	501講義室 Moodle
6	論文の批判的吟味①（ランダム化比較試験）：ランダム化比較試験論文の批判的吟味を行い、その研究デザインおよび利点と欠点について学習する。	演習	角館 直樹	指定課題論文読解、教科書43～50頁	501講義室 Moodle

Evidence-Based Dentistry

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	角館 直樹						
担当教員	角館 直樹						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
7	データ統合型研究・診療ガイドライン システマティックレビュー・メタアナリシス・診療ガイドラインの詳細について学ぶ。	講義 小テスト	角館 直樹	データ統合型研究・診療ガイドライン (教科書29～30ページ、51～63頁)	501講義室 Moodle
8	文献検索演習② (データ統合型研究論文・診療ガイドラインの検索) : システマティックレビュー、メタアナリシスおよび国内外の診療ガイドラインに関する文献検索について演習を通して学ぶ。	演習	角館 直樹	文献検索について (教科書5～8頁、12～19頁、57頁)	コンピュータ演習室 Moodle
9	論文の批判的吟味② (メタアナリシス) : メタアナリシス論文の批判的吟味を行い、その研究デザインおよび利点と欠点について学習する。	演習	角館 直樹	指定課題論文読解、教科書51～55頁	501講義室 Moodle
10	文献検索演習③ (疑問に基づく文献検索) : 具体的な歯科診療に関する疑問に基づいて文献検索を行い、抄録を読んでその結果を要約する。	演習	角館 直樹	文献検索について (教科書5～8頁、12～19頁)	コンピュータ演習室 Moodle
11	文献検索テスト	テスト	角館 直樹		コンピュータ演習室 Moodle
12	文献検索演習④ (疑問に基づく文献検索) : 学生各自の歯科診療に関する疑問に基づいて文献検索を行い、抄録を読んでその結果を要約する。	演習	角館 直樹	文献検索について (教科書5～8頁、12～19頁)	コンピュータ演習室 Moodle
13	EBDのための臨床統計学の基礎① 論文の読解で必要となる、データの種類、統計学的仮説検定、P値および95%信頼区間、各種の統計学的検定方法について学ぶ。	講義 小テスト	角館 直樹	統計学的仮説検定、相関係数、カイ2乗検定	501講義室 Moodle
14	EBDのための臨床統計学の基礎② 論文の読解で必要となる、各種の統計学的検定方法について学ぶ。	講義 小テスト	角館 直樹	t検定、分散分析、多変量解析	501講義室 Moodle

Evidence-Based Dentistry

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	角館 直樹						
担当教員	角館 直樹						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
15	EBDと臨床疫学研究 エビデンスを構築するための臨床疫学研究を実施するプロセスについて学ぶ。	講義 小テスト	角館 直樹	EBDと臨床疫学研究について（教科書66頁～84頁）	501講義室 Moodle

臨床体験実習I

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	16	単位数	0.5
科目責任者	栗野 秀慈						
担当教員	栗野 秀慈, 村岡 宏祐, 守下 昌輝 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業の概要

シミュレーション実習体験、相互実習体験ならびに病院見学実習を通して、歯科医師を志す歯学生としての意識向上を図り、プロフェッショナリズムを涵養する。

学生の到達目標

- ①シミュレーション実習を体験できる。
- ②相互実習を体験できる。
- ③歯科医療の現場を体験できる。
- ④クリニカルクラークシップを理解できる。
- ⑤附属病院のシステムを理解できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
C-1-2-1	歯科医師のプロフェッショナリズムを理解している。
CS-07	患者安全と感染対策を実践できる。
E-1-1-1	患者安全対策（標準予防策（SP）、感染予防、医療機器の操作、放射線の誤曝等を含む）を実施できる。（I a）
E-1-1-2	手洗いと滅菌手袋の装着ができる。（I a）
E-1-1-3	適切な個人用防護具（PPE）を選択して着用できる。（I a）
E-1-1-4	清潔に配慮した操作ができる。（I a）
E-1-1-5	医療廃棄物を適切に分別し廃棄できる。（I a）
E-2-1-1-1	適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。（I a）
PR-01	歯科医師としての職責を理解し、倫理観、責任感、品格、思いやりを持って行動できる
PS-09	患者安全と感染対策を理解している。

テキスト

タイトル	著者	出版社
学修資料をMoodleに掲載する		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート評価	100%

臨床体験実習I

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	16	単位数	0.5
科目責任者	栗野 秀慈						
担当教員	栗野 秀慈, 村岡 宏祐, 守下 昌輝 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

その他

（オフィスアワー）栗野 秀慈、村岡 宏祐（クリニカルクラークシップ開発学分野医局）：月～金 17:00～

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	実習説明	講義	栗野 秀慈 守下 昌輝 村岡 宏祐		301 講義室
2-3	シミュレーション実習体験	実習	栗野 秀慈 守下 昌輝 村岡 宏祐	【事前学修課題】歯科用ユニットの装備とそれぞれの役割について 【事後学修課題】シミュレーション実習体験振り返り	シミュレーション実習室
4-5	相互実習体験	実習	栗野 秀慈 守下 昌輝 村岡 宏祐	【事前学習課題】口腔診査におけるう蝕の診断基準について 【事後学修課題】相互実習体験振り返り	相互実習室
6-7	病院見学実習(1)	実習	栗野 秀慈 守下 昌輝 村岡 宏祐	【事前学習課題】本学附属病院の診療科について 【事後学修課題】病院見学実習振り返り	301 講義室 診療室_病院
8	実習総括、振り返り、グループワーク	実習	栗野 秀慈 守下 昌輝 村岡 宏祐		301 講義室

臨床体験実習II

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	52	単位数	1.5
科目責任者	栗野 秀慈						
担当教員	栗野 秀慈, 村岡 宏祐, 守下 昌輝, 藤井 航, 磯部 彩香 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業の概要

附属病院での患者体験・病院見学実習ならびにPBL実習を通して、患者の悩みや苦しみを理解し、患者本位の歯科医療を実践できる歯科医療人を育成することをめざす。更に、医療現場における問題点を指摘し、改善策が提案できる能力を引き出せるよう、また歯学科と口腔保健学科の学生との合同実習により歯科医師と歯科衛生士の役割を知り、チーム医療の重要性について理解できるよう、歯科医療人を目指す学生としてのプロフェッショナルリズムを涵養する。

学生の到達目標

- ①患者の権利を認識できる。
- ②患者との信頼関係の重要性を認識できる。
- ③インフォームドコンセントの重要性を認識できる。
- ④医療行為においてコミュニケーションの大切さを認識できる。
- ⑤医療行為において優しさ、気遣いの重要性を認識できる。
- ⑥患者の置かれている心理的状況を説明できる。
- ⑦医療現場における問題点を探し出し、その改善策を提示することができる。
- ⑧課題の内容と問題点を抽出して、文章または口頭でわかりやすく表現し、自分の考えを説明できる。
- ⑨歯科医療における他の医療従事者の役割と連携を説明できる。
- ⑩病院システムを把握し、教育機関としての病院の役割と、その問題点を探し出し、その改善策を提示することができる。
- ⑪基本的診療器具を使用できる。
- ⑫口腔衛生指導を体験できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-1-2)-①	患者の権利を説明できる。
A-1-2)-④	インフォームド・コンセントの意義と重要性を説明できる。
A-1-3)-①	歯科医師のプロフェッショナルリズムを説明できる。
A-1-3)-②	患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。
A-2-1)-①	必要な課題を自ら発見できる。
A-2-1)-③	課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。
A-2-1)-④	課題の解決に当たり、他の学習者や教員と協力してよりよい解決方法を見出すことができる。
A-2-2)-③	実験・実習の内容を決められた様式にしたがって文書と口頭で発表できる。
A-2-2)-④	先輩等へ適切に指導できる。
A-3-①	適切な医療面接により、患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を実施できる。
A-3-④	患者中心の医療を目指したインフォームド・コンセントを得ることができる。
A-4-2)-④	医療行為は患者と歯科医師との高度な信頼関係を基礎とする契約に基づいていることを説明できる。
A-5-1)-①	患者中心のチーム医療の意義を説明できる。
A-5-1)-②	医療チームや各構成員（歯科医師、医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制を説明できる。
B-3-2)-③	プラークコントロールの意義と方法を説明できる。

臨床体験実習II

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	52	単位数	1.5
科目責任者	栗野 秀慈						
担当教員	栗野 秀慈, 村岡 宏祐, 守下 昌輝, 藤井 航, 磯部 彩香 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

コアカリキュラム	内容
B-3-2)-⑤	歯科疾患のリスク因子を説明できる。
F-1-2)-①	歯科用器具を安全に操作ができる。
F-1-2)-②	清潔に配慮した操作ができる。
F-1-2)-③	医療安全対策を実践できる。
F-1-2)-④	標準予防策（standard precautions）を実践できる。
F-2-1)-①	適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。
F-3-2)-①	口腔の健康度やリスクを評価し、対象者に説明できる。
F-3-2)-③	適切な口腔衛生指導を実施できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
学修資料をMoodleに掲載する		

参考書

タイトル	著者	出版社
賢い患者	山口育子	岩波新書

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	100%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】栗野 秀慈、村岡 宏祐（病院棟3階クリニカルクラークシップ開発学分野医局）：月～金 17:00～

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1-2	総説 本授業に関する説明ならびに本学附属病院のシステムに関して学習する。	実習（説明）	栗野 秀慈 村岡 宏祐 守下 昌輝		401 講義室 Moodle
3	テュートリアル（PBL）実習1 歯科医療について、グループ毎に考察を行い学習する。	PBL実習発表・討論	栗野 秀慈 村岡 宏祐 守下 昌輝	【事前学習課題】患者からみた（歯科）医療の問題点	51 実習室 Moodle
4	PBL実習2（全体討論） 医療：歯科医療に関するテーマを全体討論し学習する。	発表・討論	栗野 秀慈 村岡 宏祐 守下 昌輝		51 実習室 Moodle

臨床体験実習II

開講学科	歯学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	52	単位数	1.5
科目責任者	栗野 秀慈						
担当教員	栗野 秀慈, 村岡 宏祐, 守下 昌輝, 藤井 航, 磯部 彩香 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
5	患者体験・病院見学実習説明 本学附属病院における患者体験実習に関する説明をする。	説明	栗野 秀慈 村岡 宏祐 守下 昌輝	【事前学習課題】本学附属病院について	401 講義室 51 実習室 Moodle
6	PBL実習2（患者体験・病院見学実習のための準備）患者体験実習における課題をグループ毎に抽出する。	PBL実習	栗野 秀慈 村岡 宏祐 守下 昌輝	【事前学習課題】患者から見た病院のチェックポイント	401 講義室 51 実習室 Moodle
7-8	患者体験実習1-2 患者体験を通じて、患者本位の歯科医療について学習する。	体験実習	栗野 秀慈 村岡 宏祐 守下 昌輝		診療室_病院 Moodle
9-10	患者体験実習3-12 患者体験を通じて、患者本位の歯科医療について考察し学習する。	体験実習PBL実習	栗野 秀慈 村岡 宏祐 守下 昌輝	【事前学習課題】患者体験の振り返り	診療室_病院 テュートリアル演習室群 401 講義室 Moodle
11-12	患者体験実習3-12 患者体験を通じて、患者本位の歯科医療について考察し学習する。	体験実習PBL実習	栗野 秀慈 村岡 宏祐 守下 昌輝	【事前学習課題】患者体験の振り返り	診療室_病院 テュートリアル演習室群 401 講義室 Moodle
13-14	患者体験実習3-12 患者体験を通じて、患者本位の歯科医療について考察し学習する。	体験実習PBL実習	栗野 秀慈 村岡 宏祐 守下 昌輝	【事前学習課題】患者体験の振り返り	診療室_病院 テュートリアル演習室群 401 講義室 Moodle
15-16	患者体験実習3-12 患者体験を通じて、患者本位の歯科医療について考察し学習する。	体験実習PBL実習	栗野 秀慈 村岡 宏祐 守下 昌輝	【事前学習課題】患者体験の振り返り	診療室_病院 テュートリアル演習室群 401 講義室 Moodle

臨床体験実習II

開講学科	歯学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	52	単位数	1.5
科目責任者	栗野 秀慈						
担当教員	栗野 秀慈, 村岡 宏祐, 守下 昌輝, 藤井 航, 磯部 彩香 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
17	PBL実習4 患者体験を通じて、患者本位の歯科医療について考察し学習する。	PBL実習	栗野 秀慈 村岡 宏祐 守下 昌輝	【事前学習課題】患者体験の振り返り	401講義室 Moodle
18	診療体験実習・口腔衛生指導体験実習説明 診療体験実習ならびに口腔衛生指導体験実習について説明し、事前に必要な知識を学習する。	実習（説明）	栗野 秀慈 村岡 宏祐 守下 昌輝		401講義室 Moodle
19-20	診療体験実習 相互実習を通じて、ユニットの操作法、介助ならびに口腔内診査の方法を学習する。	相互実習	栗野 秀慈 村岡 宏祐 守下 昌輝	【事前学習課題】感染予防対策，ユニット操作法，口腔内診査に必要な解剖学的知識，う蝕の診断基準	401講義室
21-22	口腔衛生指導体験実習 口腔衛生指導体験を通じて、指導時に必要な基本的な知識、態度、技能を学習する。	相互実習	栗野 秀慈 村岡 宏祐 守下 昌輝	【事前学習課題】歯口清掃法について	相互実習室
23	PBL実習5 チーム医療の重要性についてグループ討論を通じて学習する。	TBL実習	栗野 秀慈 村岡 宏祐 守下 昌輝	【事前学習課題】歯科衛生士の役割，チーム医療，多職種連携	相互実習室 Moodle
24	PBL実習5（全体発表・討論） チーム医療の重要性について全体討論を通じて学習する。	発表・討論	栗野 秀慈 村岡 宏祐 守下 昌輝		相互実習室 Moodle
25-26	総括・アンケート・レポート作成 授業の総括を行い、自分自身の歯科医療人としてのあり方について考察する。	実習（総括）	栗野 秀慈 村岡 宏祐 守下 昌輝		401講義室 Moodle

臨床体験実習Ⅲ

開講学科	歯学科			開講年次	4年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	栗野 秀慈						
担当教員	栗野 秀慈, 守下 昌輝, 村岡 宏祐 臨床実習運営部会教員 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業の概要

5年次生より始まる臨床実習を円滑に行うため、また3年次生及び4年次生に行ってきた臨床系科目での基礎実習を包括的に理解するため、本学附属病院における実際の臨床現場を見学し、振り返りを行っていく。

学生の到達目標

- ①本学附属病院のシステムを理解できる。
- ②医療現場におけるコミュニケーションの重要性を理解できる。
- ③インフォームドコンセントの重要性を理解できる。
- ④診断に至るまでの過程について理解できる。
- ⑤治療方法ならびにそれに使用した器材、材料および薬剤について理解できる。
- ⑥診療現場における問題点を抽出し解決方法を示す。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-1-2)-④	インフォームド・コンセントの意義と重要性を説明できる。
A-4-1)-①	コミュニケーションの意義、目的と技法（言語的・準言語的・非言語的）を説明できる。
A-4-1)-②	コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。
A-5-1)-①	患者中心のチーム医療の意義を説明できる。
A-5-1)-②	医療チームや各構成員（歯科医師、医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制を説明できる。
E-1-1)-①	診察、検査及び診断に必要な事項を列挙できる。
E-1-1)-②	診察、検査及び診断に必要な器材を説明できる。
E-1-1)-③	病歴聴取（主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、社会歴・職業歴等）を説明できる。
E-1-1)-④	現症の取り方（視診、触診、打診、聴診等）を説明できる。
E-1-1)-⑤	診療室における患者の心理と行動を説明できる。
E-1-1)-⑥	診断に必要な検査を列挙できる。
E-1-1)-⑦	問題志向型診療記録(problem-oriented medical record <POMR>)を説明できる。
E-1-1)-⑧	インフォームド・コンセントを説明できる。
E-1-2)-③	放射線防護の基準と方法を説明できる。
E-1-2)-⑤	エックス線撮影装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。
E-1-2)-⑥	口内法エックス線検査の種類と適応及びパノラマエックス線検査の適応を説明できる。
E-1-2)-⑦	口内法エックス線画像とパノラマエックス線画像の読影ができる。
E-1-2)-⑧	顎顔面頭蓋部エックス線検査の種類及び適応を説明できる。
E-1-2)-⑧	顎顔面頭蓋部エックス線撮影の種類及び適応を説明できる。
E-1-4)-①-①	バイタルサインの意義とそのモニタリングの方法を説明できる。
E-1-4)-①-②	血圧、脈拍数、呼吸数の測定方法と異常所見を説明できる。
E-1-4)-①-③	体温の測定方法を説明できる。
E-1-5)-⑦	清潔と不潔の区別を説明できる。
E-1-5)-⑧	器具の消毒・滅菌方法を説明できる。

臨床体験実習Ⅲ

開講学科	歯学科			開講年次	4年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	栗野 秀慈						
担当教員	栗野 秀慈, 守下 昌輝, 村岡 宏祐 臨床実習運営部会教員 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

コアカリキュラム	内容
E-3-1)-②	歯種別の形態と特徴を説明できる。
E-3-2)-①	歯の硬組織疾患（tooth wear（酸蝕症、咬耗、摩耗等）、歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む）の病因と病態を説明できる。
E-3-2)-②	歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。
E-3-2)-③	歯周疾患の病因と病態を説明できる。
E-3-2)-④	口腔細菌、プラーク（口腔バイオフィルム）及び歯石を説明できる。
E-3-2)-⑤	歯痛の機序を説明できる。
E-3-3)-①-①	齲蝕その他の歯の硬組織疾患（tooth wear（酸蝕症、咬耗、摩耗等）、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む）の症状、検査法、診断及び処置法（再石灰化療法を含む）を説明できる。
E-3-3)-①-②	minimal intervention<MI>に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。
E-3-3)-①-③	修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。
E-3-3)-①-④	修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。
E-3-3)-①-⑤	歯髄保護の意義、種類と方法を説明できる。
E-3-3)-①-⑥	窩洞形成の意義と方法を説明できる。
E-3-3)-①-⑦	仮封の意義、種類及び特徴を説明できる。
E-3-3)-①-⑧	修復後の管理の目的と方法を説明できる。
E-3-3)-②-①	歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。
E-3-3)-②-②	根管充填の目的、時期及び方法を説明できる。
E-3-3)-②-③	歯髄・根尖性歯周疾患の治療時における合併症（偶発症）について、種類、処置及び予防を説明できる。
E-3-3)-②-④	歯髄・根尖性歯周疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。
E-3-3)-②-⑤	外科的歯内療法（手術用実体顕微鏡の利用を含む）の種類と適応を説明できる。
E-3-3)-②-⑥	失活歯の変色の原因、種類及び処置を説明できる。
E-3-3)-②-⑦	歯根吸収の原因、症状、診断及び処置を説明できる。
E-3-3)-③-①	歯周疾患の症状及び全身疾患との関連を説明できる（疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む）。
E-3-3)-③-②	歯周疾患の検査法、診断及び治療方針（メンテナンス法を含む）を説明できる。
E-3-3)-③-③	歯周治療の術式と適応症を説明できる。
E-3-3)-③-④	歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。
E-3-3)-③-⑤	歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。
E-3-4)-①-①	クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。
E-3-4)-①-②	クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法（CAD/CAMを含む）を説明できる。
E-3-4)-①-③	支台築造の意義、種類及び特徴を説明できる。
E-3-4)-①-④	支台歯形成の意義と方法を説明できる。
E-3-4)-①-⑤	クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。
E-3-4)-①-⑥	色調選択（シェードテイキング）を説明できる。
E-3-4)-①-⑦	プロビジョナルレストレーションの意義とその製作法を説明できる。

臨床体験実習Ⅲ

開講学科	歯学科			開講年次	4年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	栗野 秀慈						
担当教員	栗野 秀慈, 守下 昌輝, 村岡 宏祐 臨床実習運営部会教員 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

コアカリキュラム	内容
E-3-4)-(1)-⑧	クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。
E-3-4)-(1)-⑨	研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。
E-3-4)-(1)-⑩	平均値咬合器及び調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。
E-3-4)-(1)-⑪	クラウンブリッジの装着方法を説明できる。
E-3-4)-(1)-⑫	クラウンブリッジの維持管理の目的と方法を説明できる。
E-3-4)-(1)-⑬	クラウンブリッジ装着後のメンテナンスの重要性を説明できる。
E-3-4)-(2)-①	歯の欠損、顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。
E-3-4)-(2)-②	可撤性義歯の種類、目的及び意義を説明できる。
E-3-4)-(2)-②	可撤性義歯の種類、目的および意義を説明できる。
E-3-4)-(2)-③	可撤性義歯の特徴と適応症を説明できる。
E-3-4)-(2)-④	可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。
E-3-4)-(2)-⑤	可撤性義歯の設計原則を説明できる。
E-3-4)-(2)-⑥	可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。
E-3-4)-(3)-①	口腔インプラントの種類、特徴、目的及び意義を説明できる。
E-3-4)-(3)-②	口腔インプラントの適応症と合併症を説明できる。
E-3-4)-(3)-③	口腔インプラントに必要な診察と検査を説明できる。
E-3-4)-(3)-④	口腔インプラントの治療計画、治療手順を説明できる。
E-3-4)-(3)-⑧	メンテナンスの重要性を説明できる。
E-4-1)-①	矯正治療の目的と意義を説明できる。
E-4-1)-③	不正咬合の原因、種類、障害、診察、検査、診断、治療及び予防法を説明できる。
E-4-1)-④	矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。
E-4-1)-⑤	矯正装置の種類と特徴及び使用目的を説明できる。
E-4-2)-②	乳歯と幼若永久歯の齲蝕の診察、検査と診断を説明できる。
E-4-2)-③	乳歯と幼若永久歯の歯冠修復の目的、種類、適応症、手順及び留意点を説明できる。
E-4-2)-④	乳歯と根未完成永久歯の歯髄・根尖性歯周疾患の診察、検査と診断を説明できる。
E-4-2)-⑤	乳歯と根未完成永久歯の歯髄・根尖性歯周疾患の処置法の種類、適応症、手順、留意点及び予後を説明できる。
E-4-2)-⑥	小児に見られる歯周疾患の特徴と対応を説明できる。
E-4-2)-⑩	小児患者の対応を説明できる。
E-5-1)-①	高齢者の生理的、心理的及び行動的特徴を説明できる。
E-5-1)-②	高齢者に多く見られる疾患及び服用している薬物を説明できる。
E-5-1)-③	口腔機能低下の検査と予防法（介護予防を含む）を説明できる。
E-5-1)-④	高齢者における口腔健康管理の用具と処置を説明できる。
E-5-2)-①	障害者の身体的、精神的及び心理的特徴を説明できる。
E-5-2)-②	障害者の行動調整（行動管理）と歯科治療に必要な注意点を説明できる。
E-5-2)-③	障害者における歯科治療の特殊性を説明できる。
E-5-2)-④	障害者の口腔ケア及び口腔衛生指導を説明できる。
F-1-1)-①	患者情報を収集、分析できる。
F-1-2)-②	清潔に配慮した操作ができる。
F-1-2)-③	医療安全対策を実践できる。
F-1-2)-④	標準予防策（standard precautions）を実践できる。
F-2-1)-①	適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。

臨床体験実習Ⅲ

開講学科	歯学科			開講年次	4年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	栗野 秀慈						
担当教員	栗野 秀慈, 守下 昌輝, 村岡 宏祐 臨床実習運営部会教員 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

コアカリキュラム	内容
F-2-1)-⑥	患者のプライバシーに配慮できる。
F-3-1)-①	手洗いと滅菌手袋の装着ができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
学修資料をMoodleに掲載する		

参考書

タイトル	著者	出版社
新臨床研修歯科医ハンドブック	栗野秀慈他	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	100%

その他

(オフィスアワー) 栗野：月～金 17:00～

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	実習説明 本授業の概要について説明する。	講義	栗野 秀慈 村岡 宏祐		501 講義室 Moodle
2	本学のクリニカルクラークシップについて	講義	栗野 秀慈 村岡 宏祐		501 講義室 Moodle
3-4	病院見学実習1～10 本学附属病院における診療科での診療見学を通じて、歯科医療について学修する。	見学実習	村岡 宏祐 守下 昌輝	【事前学修課題】見学診療科に関連する学修内容の復習 【事後学修課題】病院見学振り返りレポート提出	診療室_病院 Moodle
5-6	病院見学実習1～10 本学附属病院における診療科での診療見学を通じて、歯科医療について学修する。	見学実習	村岡 宏祐 守下 昌輝	【事前学修課題】見学診療科に関連する学修内容の復習 【事後学修課題】病院見学振り返りレポート提出	診療室_病院 Moodle

臨床体験実習Ⅲ

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	栗野 秀慈						
担当教員	栗野 秀慈, 守下 昌輝, 村岡 宏祐 臨床実習運営部会教員 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
7-8	病院見学実習1～10 本学附属病院における診療科での診療見学を通じて、歯科医療について学修する。	見学実習	村岡 宏祐 守下 昌輝	【事前学修課題】見学診療科に関連する学修内容の復習 【事後学修課題】病院見学振り返りレポート提出	診療室_病院 Moodle
9-10	病院見学実習1～10 本学附属病院における診療科での診療見学を通じて、歯科医療について学修する。	見学実習	村岡 宏祐 守下 昌輝	【事前学修課題】見学診療科に関連する学修内容の復習 【事後学修課題】病院見学振り返りレポート提出	診療室_病院 Moodle
11-12	病院見学実習1～10 本学附属病院における診療科での診療見学を通じて、歯科医療について学修する。	見学実習	村岡 宏祐 守下 昌輝	【事前学修課題】見学診療科に関連する学修内容の復習 【事後学修課題】病院見学振り返りレポート提出	診療室_病院 Moodle
13-14	病院見学実習1～10 本学附属病院における診療科での診療見学を通じて、歯科医療について学修する。	見学実習	村岡 宏祐 守下 昌輝	【事前学修課題】見学診療科に関連する学修内容の復習 【事後学修課題】病院見学振り返りレポート提出	診療室_病院 Moodle
15	病院見学振り返り・まとめレポート作成 病院見学の振り返りを行い、まとめレポートを作成する。	実習	栗野 秀慈 村岡 宏祐	【事後学修課題】実習全体振り返りレポート提出	501講義室 Moodle

スキルアップ実習I

開講学科	歯学科			開講年次	4年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	16	単位数	0.5
科目責任者	安細 敏弘						
担当教員	安細 敏弘, 角田 聡子, 片岡 正太 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業の概要

臨床実習に参加する前に必要なスキルである「水準1：指導者の指導・監視のもとに実施が許容される歯科医療行為」において、特に頻度が高いと考えられる内容に関して習得する。学生は、実際の診療を想定した相互実習を行い、診療参加型臨床実習の素地を養う。

学生の到達目標

- ①口腔内の状態を正しく記録できる。
- ②ユニットを正しく操作することができる。
- ③診査時のポジショニングに留意することができる。
- ④感染対策に配慮することができる。
- ⑤医療安全に配慮することができる。
- ⑥ブラッシング指導ができる。
- ⑦機械的歯面清掃(PMTC)ができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
実習の手引き		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
実習試験	100%

その他

（教員名：安細敏弘、角田聡子、片岡正太）質問の受付および回答は実習終了後ないしオフィスアワーに受けつける。オフィスアワーは通常、月～金の午後5時～6時とする（11階研究室など）。相談時間予約にメールを利用することができる。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1-2	口腔内診査、予防的処置（スクーリング、PMTCなど）	実習	安細 敏弘 角田 聡子 片岡 正太	【事前・事後学修】 3年生で行った保存修復学および歯周病学の実習書の該当箇所を復習しておく。	相互実習室

スキルアップ実習I

開講学科	歯学科		開講年次	4年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	16	単位数	0.5
科目責任者	安細 敏弘						
担当教員	安細 敏弘, 角田 聡子, 片岡 正太 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
3-4	口腔内診査、予防的処置（スクーリング、PMTCなど）	実習	安細 敏弘 角田 聡子 片岡 正太	【事前・事後学修】 3年生で行った保存修復学および歯周病学の実習書の該当箇所を復習しておく。	相互実習室
5-6	実習試験	実習	安細 敏弘 角田 聡子 片岡 正太		7 2 実習室 相互実習室
7-8	実習試験	実習	安細 敏弘 角田 聡子 片岡 正太		相互実習室 7 2 実習室

スキルアップ実習II

開講学科	歯学科			開講年次	5年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	40	単位数	1
科目責任者	栗野 秀慈、（実習運営責任者）村岡 宏祐						
担当教員	栗野 秀慈, 村岡 宏祐, 守下 昌輝, 中村 太志, 大楠 弘通, 角田 聡子, 三次 翔, 西牟田 文香, 宗政 翔, 村田 一将						
	臨床系教員 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業の概要

クリニカルクラークシップIと併行して自験に必要なスキルである「水準1：指導者の指導・監視のもとに実施が許容される歯科医療行為」において、特に頻度が高いと考えられる内容に関して習得する。学生は、実際の診療を想定した相互実習およびシミュレーション実習を行い、診療参加型臨床実習の素地を養う。

学生の到達目標

- ① 診療機器・器材の正しい取扱いができる。
- ② 診査用模型の作製ができる。
- ③ 歯周ポケット測定ができる。
- ④ ブラッシング指導ができる。
- ⑤ スケーリングができる。
- ⑥ 窩洞形成ができる（単純・複雑）。
- ⑦ コンポジットレジン修復ができる。
- ⑧ メタルインレー修復ができる（単純）。
- ⑨ 根管治療ができる。
- ⑩ 支台歯形成・修復処置（簡単なもの：支台築造・暫間修復 含む）ができる。
- ⑪ 基本的な縫合操作と抜糸ができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
Moodleに資料等掲載		

参考書

タイトル	著者	出版社
新臨床研修歯科医ハンドブック	栗野秀慈 他	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
実習試験	100%

その他

（オフィスアワー）村岡 宏祐：月～金 17:00～

スキルアップ実習II

開講学科	歯学科		開講年次	5年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	40	単位数	1
科目責任者	栗野 秀慈、（実習運営責任者）村岡 宏祐						
担当教員	栗野 秀慈, 村岡 宏祐, 守下 昌輝, 中村 太志, 大楠 弘通, 角田 聡子, 三次 翔, 西牟田 文香, 宗政 翔, 村田 一将						
	臨床系教員 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1-2	スキルアップ実習1 オリエンテーション	講義	村岡 宏祐 守下 昌輝 中村 太志 西牟田 文香 大楠 弘通 折本 愛 角田 聡子 宗政 翔		相互実習室 シミュレーション実習室
3-4	FMC, メタルコア除去（人工歯） ブローピング, 超音波スケーリング, PMTC, 印象採得、概形印象【	実習	村岡 宏祐 守下 昌輝 中村 太志 西牟田 文香 大楠 弘通 折本 愛 角田 聡子 宗政 翔	【事前学修課題】実習内容に関して事前に復習し確認する。	相互実習室 シミュレーション実習室 技工室
5-6	インレー窩洞(複雑)ブローピング, 超音波スケーリング, PMTC, 印象採得、概形印象	実習	村岡 宏祐 守下 昌輝 中村 太志 西牟田 文香 大楠 弘通 折本 愛 角田 聡子 宗政 翔	【事前学修課題】実習内容に関して事前に復習し確認する。	相互実習室 シミュレーション実習室 技工室
7-8	インレー窩洞の印象採得ブローピング, 超音波スケーリング, PMTC, 印象採得、概形印象	実習	村岡 宏祐 守下 昌輝 中村 太志 大楠 弘通 角田 聡子 西牟田 文香 折本 愛 宗政 翔	【事前学修課題】実習内容に関して事前に復習し確認する。	相互実習室 シミュレーション実習室 技工室
9-10	根管充填	実習	村岡 宏祐 守下 昌輝 中村 太志 西牟田 文香 大楠 弘通 折本 愛 角田 聡子 宗政 翔	【事前学修課題】実習内容に関して事前に復習し確認する。	シミュレーション実習室 Moodle

スキルアップ実習II

開講学科	歯学科		開講年次	5年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	40	単位数	1
科目責任者	栗野 秀慈、（実習運営責任者）村岡 宏祐						
担当教員	栗野 秀慈, 村岡 宏祐, 守下 昌輝, 中村 太志, 大楠 弘通, 角田 聡子, 三次 翔, 西牟田 文香, 宗政 翔, 村田 一将						
	臨床系教員 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
11-12	抜去歯の支台築造（レジンコア） ・支台歯形成	実習	村岡 宏祐 守下 昌輝 中村 太志 西牟田 文香 大楠 弘通 折本 愛 角田 聡子 宗政 翔	【事前学修課題】実習内容に関して事前に復習し確認する。	シミュレーション実習室 Moodle
13-14	前歯/小白歯支台築造（メタルコア印象・レジンコア） ・支台歯形成	実習	村岡 宏祐 守下 昌輝 中村 太志 西牟田 文香 大楠 弘通 折本 愛 角田 聡子 宗政 翔	【事前学修課題】実習内容に関して事前に復習し確認する。	シミュレーション実習室 Moodle
15-16	TeC作成	実習	村岡 宏祐 守下 昌輝 中村 太志 西牟田 文香 大楠 弘通 折本 愛 角田 聡子 宗政 翔	【事前学修課題】実習内容に関して事前に復習し確認する。	シミュレーション実習室 Moodle
17-18	縫合、抜糸	実習	村岡 宏祐 守下 昌輝 中村 太志 西牟田 文香 大楠 弘通 折本 愛 角田 聡子 三次 翔 宗政 翔	【事前学修課題】実習内容に関して事前に復習し確認する。	シミュレーション実習室 Moodle
19-20	実習試験	実習	村岡 宏祐 守下 昌輝 中村 太志 西牟田 文香 大楠 弘通 折本 愛 角田 聡子 宗政 翔		シミュレーション実習室 Moodle

(A)スキルアップ実習Ⅲ

開講学科	歯学科			開講年次	5年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	40	単位数	1
科目責任者	栗野 秀慈						
担当教員	栗野 秀慈, 村岡 宏祐, 守下 昌輝, 中村 太志, 角田 聡子, 大楠 弘通, 宗政 翔, 村田 一将 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業の概要

クリニカルクラークシップⅡと併行して自験に必要なスキルである「水準1：指導者の指導・監視のもとに実施が許容される歯科医療行為」において、特に頻度が高いと考えられる内容に関して習得する。

学生の到達目標

- ① 診療機器・器材の正しい取扱いができる。
- ② 窩洞形成ができる（単純・複雑）。
- ③ コンポジットレジン修復ができる。
- ④ メタルクラウンとメタルコアの除去ができる。
- ⑤ 根管治療ができる。
- ⑥ 支台歯形成ができる。
- ⑦ テンポラリークラウンを作製できる。
- ⑧ メタルクラウンの研磨ができる。
- ⑨ レジン床義歯の研磨ができる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
F-1-2)-①	歯科用器具を安全に操作ができる。
F-1-2)-②	清潔に配慮した操作ができる。
F-1-2)-③	医療安全対策を実践できる。
F-1-2)-④	標準予防策（standard precautions）を実践できる。
F-2-1)-①	適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。
F-3-3)-①	齶蝕その他の歯の硬組織疾患の簡単な処置（コンポジットレジン修復、ガラスアイオノマーセメント修復、メタルインレー修復、補修修復）を実施できる。
F-3-3)-③	歯髄・根尖性歯周疾患の簡単な治療を実施できる。
F-3-4)-②	メタルポストコア、レジンポストコア、ファイバーポストコアによる支台築造の基本操作を実施できる。
F-3-4)-③	クラウンブリッジによる補綴治療の各基本的操作を実施できる。
F-3-4)-⑤	プロビジョナルレストレーションの各基本的操作を実施できる。
F-3-4)-⑥	精密印象採得（寒天・アルジネート連合印象、シリコーン印象）の各基本的操作を実施できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
資料等はMoodleに掲載		

参考書

タイトル	著者	出版社
新臨床研修歯科医ハンドブック	栗野秀慈他	医歯薬出版

(A)スキルアップ実習Ⅲ

開講学科	歯学科			開講年次	5年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	40	単位数	1
科目責任者	栗野 秀慈						
担当教員	栗野 秀慈, 村岡 宏祐, 守下 昌輝, 中村 太志, 角田 聡子, 大楠 弘通, 宗政 翔, 村田 一将 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

成績評価方法・基準

評価項目	割合
実習試験	100%

その他

（オフィスアワー）栗野 秀慈、村岡 宏祐：月～金 17:00～

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	研磨（床用レジン，金属，硬質レジンなど）（A班）	実習	村岡 宏祐 中村 太志 守下 昌輝 角田 聡子 大楠 弘通 西牟田 文香 宗政 翔 村田 一将	【事前学習課題】実習内容に関して事前に復習し確認する。	シミュレーション実習室
2	FMCの調整と合着（練和トレーニング）FMCの除去とメタルコアの除去（A班）	実習	村岡 宏祐 中村 太志 守下 昌輝 角田 聡子 西牟田 文香 宗政 翔	【事前学習課題】実習内容に関して事前に復習し確認する。	シミュレーション実習室
3	窩洞形成①（class I-V）／コンポジットレジン修復（A班）	実習	村岡 宏祐 中村 太志 守下 昌輝 角田 聡子 西牟田 文香 宗政 翔	【事前学習課題】実習内容に関して事前に復習し確認する。	シミュレーション実習室
4	インレー窩洞（複雑）印象採得（A班）	実習	村岡 宏祐 中村 太志 守下 昌輝 角田 聡子 西牟田 文香 宗政 翔	【事前学習課題】実習内容に関して事前に復習し確認する。	シミュレーション実習室
5	抜髄（前歯/小臼歯）・根充（A班）	実習	村岡 宏祐 中村 太志 守下 昌輝 角田 聡子 西牟田 文香 宗政 翔	【事前学習課題】実習内容に関して事前に復習し確認する。	シミュレーション実習室

(A)スキルアップ実習III

開講学科	歯学科			開講年次	5年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	40	単位数	1
科目責任者	栗野 秀慈						
担当教員	栗野 秀慈, 村岡 宏祐, 守下 昌輝, 中村 太志, 角田 聡子, 大楠 弘通, 宗政 翔, 村田 一将 ※氏名の後ろに (診療科名) の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
6	抜髄 (大臼歯) ・根充 (A班)	実習	村岡 宏祐 中村 太志 守下 昌輝 角田 聡子 西牟田 文香 宗政 翔	【事前学習課題】実習内容に関して事前に復習し確認する。	シミュレーション実習室
7	前歯/小臼歯支台築造 (メタルコア印象・レジンコア) ・支台歯形成 (A班)	実習	村岡 宏祐 中村 太志 守下 昌輝 角田 聡子 西牟田 文香 宗政 翔	【事前学習課題】実習内容に関して事前に復習し確認する。	シミュレーション実習室
8	大臼歯支台築造 (レジンコア) ・支台歯形成 (A班)	実習	村岡 宏祐 中村 太志 守下 昌輝 角田 聡子 西牟田 文香 宗政 翔	【事前学習課題】実習内容に関して事前に復習し確認する。	シミュレーション実習室
9	前歯・小臼歯テンポラリークラウンの作製 (A班)	実習	村岡 宏祐 中村 太志 守下 昌輝 角田 聡子 西牟田 文香 宗政 翔	【事前学習課題】実習内容に関して事前に復習し確認する。	シミュレーション実習室
10	大臼歯テンポラリークラウンの作製 (A班)	実習	村岡 宏祐 中村 太志 守下 昌輝 角田 聡子 西牟田 文香 宗政 翔	【事前学習課題】実習内容に関して事前に復習し確認する。	シミュレーション実習室
11	研磨 (床用レジン, 金属, 硬質レジンなど) (B班)	実習	村岡 宏祐 中村 太志 守下 昌輝 角田 聡子 西牟田 文香 宗政 翔	【事前学習課題】実習内容に関して事前に復習し確認する。	シミュレーション実習室
12	FMCの調整と合着 (練和トレーニング) FMCの除去とメタルコアの除去 (B班)	実習	村岡 宏祐 中村 太志 守下 昌輝 角田 聡子 西牟田 文香 宗政 翔	【事前学習課題】実習内容に関して事前に復習し確認する。	シミュレーション実習室

(A)スキルアップ実習III

開講学科	歯学科			開講年次	5年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	40	単位数	1
科目責任者	栗野 秀慈						
担当教員	栗野 秀慈, 村岡 宏祐, 守下 昌輝, 中村 太志, 角田 聡子, 大楠 弘通, 宗政 翔, 村田 一将 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
13	窩洞形成① (class I-V) / コンポジットレジン修復 (B班)	実習	村岡 宏祐 中村 太志 守下 昌輝 角田 聡子 西牟田 文香 宗政 翔	【事前学習課題】実習内容に関して事前に復習し確認する。	シミュレーション実習室
14	インレー窩洞(複雑) 印象採得 (B班)	実習	村岡 宏祐 中村 太志 守下 昌輝 角田 聡子 西牟田 文香 宗政 翔	【事前学習課題】実習内容に関して事前に復習し確認する。	シミュレーション実習室
15	抜髄 (前歯/小臼歯) ・根充 (B班)	実習	村岡 宏祐 中村 太志 守下 昌輝 角田 聡子 西牟田 文香 宗政 翔	【事前学習課題】実習内容に関して事前に復習し確認する。	シミュレーション実習室
16	抜髄 (大臼歯) ・根充 (B班)	実習	村岡 宏祐 中村 太志 守下 昌輝 角田 聡子 西牟田 文香 宗政 翔	【事前学習課題】実習内容に関して事前に復習し確認する。	シミュレーション実習室
17	前歯/小臼歯支台築造 (メタルコア印象・レジンコア) ・支台歯形成 (B班)	実習	村岡 宏祐 中村 太志 守下 昌輝 角田 聡子 西牟田 文香 宗政 翔	【事前学習課題】実習内容に関して事前に復習し確認する。	シミュレーション実習室
18	大臼歯支台築造 (レジンコア) ・支台歯形成 (B班)	実習	村岡 宏祐 中村 太志 守下 昌輝 角田 聡子 西牟田 文香 宗政 翔	【事前学習課題】実習内容に関して事前に復習し確認する。	シミュレーション実習室
19	前歯・小臼歯テンポラリークラウンの作製 (B班)	実習	村岡 宏祐 中村 太志 守下 昌輝 角田 聡子 西牟田 文香 宗政 翔	【事前学習課題】実習内容に関して事前に復習し確認する。	シミュレーション実習室

(A)スキルアップ実習Ⅲ

開講学科	歯学科			開講年次	5年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	40	単位数	1
科目責任者	栗野 秀慈						
担当教員	栗野 秀慈, 村岡 宏祐, 守下 昌輝, 中村 太志, 角田 聡子, 大楠 弘通, 宗政 翔, 村田 一将 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
20	大白歯テンポラリークラウンの作製（B班）	実習	村岡 宏祐 中村 太志 守下 昌輝 角田 聡子 西牟田 文香 宗政 翔	【事前学習課題】実習内容に関して事前に復習し確認する。	シミュレーション実習室

(B)スキルアップ実習III

開講学科	歯学科			開講年次	5年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	40	単位数	1
科目責任者	栗野 秀慈						
担当教員	栗野 秀慈, 村岡 宏祐, 守下 昌輝, 中村 太志, 角田 聡子, 大楠 弘通, 宗政 翔, 村田 一将 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業の概要

クリニカルクラークシップⅡと併行して自験に必要なスキルである「水準1：指導者の指導・監視のもとに実施が許容される歯科医療行為」において、特に頻度が高いと考えられる内容に関して習得する。

学生の到達目標

① 診療機器・器材の正しい取扱いができる。② 窩洞形成ができる（単純・複雑）。③ コンポジットレジン修復ができる。④ メタルクラウンとメタルコアの除去ができる。⑤ 根管治療ができる。⑥ 支台歯形成ができる。⑦ テンポラリークラウンを作製できる。⑧ メタルクラウンの研磨ができる。⑨ レジン床義歯の研磨ができる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
F-1-2)-①	歯科用器具を安全に操作ができる。
F-1-2)-②	清潔に配慮した操作ができる。
F-1-2)-③	医療安全対策を実践できる。
F-1-2)-④	標準予防策（standard precautions）を実践できる。
F-2-1)-①	適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。
F-3-3)-①	齶蝕その他の歯の硬組織疾患の簡単な処置（コンポジットレジン修復、ガラスアイオノマーセメント修復、メタルインレー修復、補修修復）を実施できる。
F-3-3)-③	歯髄・根尖性歯周疾患の簡単な治療を実施できる。
F-3-4)-②	メタルポストコア、レジンポストコア、ファイバーポストコアによる支台築造の基本操作を実施できる。
F-3-4)-③	クラウンブリッジによる補綴治療の各基本的操作を実施できる。
F-3-4)-⑤	プロビジョナルレストレーションの各基本的操作を実施できる。
F-3-4)-⑥	精密印象採得（寒天・アルジネート連合印象、シリコーン印象）の各基本的操作を実施できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
資料等はMoodleに掲載		

参考書

タイトル	著者	出版社
新臨床研修歯科医ハンドブック	栗野秀慈他	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
実習試験	100%

(B)スキルアップ実習Ⅲ

開講学科	歯学科			開講年次	5年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	40	単位数	1
科目責任者	栗野 秀慈						
担当教員	栗野 秀慈, 村岡 宏祐, 守下 昌輝, 中村 太志, 角田 聡子, 大楠 弘通, 宗政 翔, 村田 一将 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

その他

（オフィスアワー）栗野 秀慈、村岡 宏祐：月～金 17:00～

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	研磨（床用レジン，金属，硬質レジンなど）（A班）	実習	村岡 宏祐 中村 太志 守下 昌輝 角田 聡子 西牟田 文香 大楠 弘通 村田 一将 宗政 翔	【事前学習課題】実習内容に関して事前に復習し確認する。	シミュレーション実習室
2	FMCの調整と合着（練とトレーニング）FMCの除去とメタルコアの除去（A班）	実習	村岡 宏祐 中村 太志 守下 昌輝 角田 聡子 西牟田 文香 大楠 弘通 村田 一将 宗政 翔	【事前学習課題】実習内容に関して事前に復習し確認する。	シミュレーション実習室
3	窩洞形成①（class I-V）／コンポジットレジン修復（A班）	実習	村岡 宏祐 中村 太志 守下 昌輝 角田 聡子 西牟田 文香 大楠 弘通 村田 一将 宗政 翔	【事前学習課題】実習内容に関して事前に復習し確認する。	シミュレーション実習室
4	インレー窩洞（複雑）印象採得（A班）	実習	村岡 宏祐 中村 太志 守下 昌輝 角田 聡子 西牟田 文香 大楠 弘通 村田 一将 宗政 翔	【事前学習課題】実習内容に関して事前に復習し確認する。	シミュレーション実習室
5	抜髄（前歯/小臼歯）・根充（A班）	実習	村岡 宏祐 中村 太志 守下 昌輝 角田 聡子 西牟田 文香 大楠 弘通 村田 一将 宗政 翔	【事前学習課題】実習内容に関して事前に復習し確認する。	シミュレーション実習室

(B)スキルアップ実習III

開講学科	歯学科		開講年次	5年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	40	単位数	1
科目責任者	栗野 秀慈						
担当教員	栗野 秀慈, 村岡 宏祐, 守下 昌輝, 中村 太志, 角田 聡子, 大楠 弘通, 宗政 翔, 村田 一将 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
6	抜髄（大白歯）・根充（A班）	実習	村岡 宏祐 中村 太志 守下 昌輝 角田 聡子 西牟田 文香 大楠 弘通 村田 一将 宗政 翔	【事前学習課題】実習内容に関して事前に復習し確認する。	シミュレーション実習室
7	前歯/小白歯支台築造（メタルコア印象・レジンコア）・支台歯形成（A班）	実習	村岡 宏祐 中村 太志 守下 昌輝 角田 聡子 西牟田 文香 大楠 弘通 村田 一将 宗政 翔	【事前学習課題】実習内容に関して事前に復習し確認する。	シミュレーション実習室
8	大白歯支台築造（レジンコア）・支台歯形成（A班）	実習	村岡 宏祐 中村 太志 守下 昌輝 角田 聡子 西牟田 文香 大楠 弘通 村田 一将 宗政 翔	【事前学習課題】実習内容に関して事前に復習し確認する。	シミュレーション実習室
9	前歯・小白歯テンポラリークラウンの作製（A班）	実習	村岡 宏祐 中村 太志 守下 昌輝 角田 聡子 西牟田 文香 大楠 弘通 村田 一将 宗政 翔	【事前学習課題】実習内容に関して事前に復習し確認する。	シミュレーション実習室
10	大白歯テンポラリークラウンの作製（A班）	実習	村岡 宏祐 中村 太志 守下 昌輝 角田 聡子 西牟田 文香 大楠 弘通 村田 一将 宗政 翔	【事前学習課題】実習内容に関して事前に復習し確認する。	シミュレーション実習室

(B)スキルアップ実習III

開講学科	歯学科			開講年次	5年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	40	単位数	1
科目責任者	栗野 秀慈						
担当教員	栗野 秀慈, 村岡 宏祐, 守下 昌輝, 中村 太志, 角田 聡子, 大楠 弘通, 宗政 翔, 村田 一将 ※氏名の後ろに (診療科名) の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
11	研磨 (床用レジン, 金属, 硬質レジンなど) (B班)	実習	村岡 宏祐 中村 太志 守下 昌輝 角田 聡子 西牟田 文香 大楠 弘通 村田 一将 宗政 翔	【事前学習課題】実習内容に関して事前に復習し確認する。	シミュレーション実習室
12	FMCの調整と合着 (練和トレーニング) FMCの除去とメタルコアの除去 (B班)	実習	村岡 宏祐 中村 太志 守下 昌輝 角田 聡子 西牟田 文香 大楠 弘通 村田 一将 宗政 翔	【事前学習課題】実習内容に関して事前に復習し確認する。	シミュレーション実習室
13	窩洞形成① (class I-V) / コンポジットレジン修復 (B班)	実習	村岡 宏祐 中村 太志 守下 昌輝 角田 聡子 西牟田 文香 大楠 弘通 村田 一将 宗政 翔	【事前学習課題】実習内容に関して事前に復習し確認する。	シミュレーション実習室
14	インレー窩洞 (複雑) 印象採得 (B班)	実習	村岡 宏祐 中村 太志 守下 昌輝 角田 聡子 西牟田 文香 大楠 弘通 村田 一将 宗政 翔	【事前学習課題】実習内容に関して事前に復習し確認する。	シミュレーション実習室
15	抜髄 (前歯/小臼歯) ・根充 (B班)	実習	村岡 宏祐 中村 太志 守下 昌輝 角田 聡子 西牟田 文香 大楠 弘通 村田 一将 宗政 翔	【事前学習課題】実習内容に関して事前に復習し確認する。	シミュレーション実習室

(B)スキルアップ実習Ⅲ

開講学科	歯学科		開講年次	5年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	40	単位数	1
科目責任者	栗野 秀慈						
担当教員	栗野 秀慈, 村岡 宏祐, 守下 昌輝, 中村 太志, 角田 聡子, 大楠 弘通, 宗政 翔, 村田 一将 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
16	抜髄（大白歯）・根充（B班）	実習	村岡 宏祐 中村 太志 守下 昌輝 角田 聡子 西牟田 文香 大楠 弘通 村田 一将 宗政 翔	【事前学習課題】実習内容に関して事前に復習し確認する。	シミュレーション実習室
17	前歯/小白歯支台築造（メタルコア印象・レジンコア）・支台歯形成（B班）	実習	村岡 宏祐 中村 太志 守下 昌輝 角田 聡子 西牟田 文香 大楠 弘通 村田 一将 宗政 翔	【事前学習課題】実習内容に関して事前に復習し確認する。	シミュレーション実習室
18	大白歯支台築造（レジンコア）・支台歯形成（B班）	実習	村岡 宏祐 中村 太志 守下 昌輝 角田 聡子 西牟田 文香 大楠 弘通 村田 一将 宗政 翔	【事前学習課題】実習内容に関して事前に復習し確認する。	シミュレーション実習室
19	前歯・小白歯テンポラリークラウンの作製（B班）	実習	村岡 宏祐 中村 太志 守下 昌輝 角田 聡子 西牟田 文香 大楠 弘通 村田 一将 宗政 翔	【事前学習課題】実習内容に関して事前に復習し確認する。	シミュレーション実習室
20	大白歯テンポラリークラウンの作製（B班）	実習	村岡 宏祐 中村 太志 守下 昌輝 角田 聡子 西牟田 文香 大楠 弘通 村田 一将 宗政 翔	【事前学習課題】実習内容に関して事前に復習し確認する。	シミュレーション実習室

クリニカルクラークシップI

開講学科	歯学科			開講年次	5年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	250	単位数	8
科目責任者	栗野 秀慈						
担当教員	栗野 秀慈, 村岡 宏祐, 守下 昌輝, 中村 太志, 福原 正代, 久保田 潤平 臨床実習運営室員、臨床系教員、学年主任・副主任・助言教員 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業の概要

専門分野における歯科医療を理解し、併せて診療参加型臨床実習に必要な基本的歯科医療の知識、態度、技能を習熟させる。

学生の到達目標

①全人的歯科医療を説明できる。 ②歯科医療従事者としての必要な態度を実践できる。 ③歯科における医療安全・感染予防を習得できる。 ④歯科医療制度を説明できる。 ⑤歯科医療におけるMinimal Intervention を説明できる。 ⑥一口腔単位の歯科診療を説明できる。 ⑦専門分野における歯科医療を説明できる。 ⑧地域医療を説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-3-①	適切な医療面接により、患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を実施できる
A-3-②	全身状態の評価に基づいた口腔・顎顔面領域の診察ができる。
A-3-③	口腔・顎顔面領域の疾患を正しく診断し、患者の立場を尊重した治療方針・治療計画を立案できる。
A-3-④	患者中心の医療を目指したインフォームド・コンセントを得ることができる。
A-3-⑤	基本的な臨床手技を適切な態度で実践できる。
A-3-⑥	治療経過及び結果を自ら振り返り適切に評価できる。
A-4-1)-①	コミュニケーションの意義、目的と技法（言語的・準言語的・非言語的）を説明できる。
A-4-1)-②	コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。
A-4-1)-③	医療面接における基本的なコミュニケーションができる。
A-5-1)-①	患者中心のチーム医療の意義を説明できる。
A-5-1)-②	医療チームや各構成員（歯科医師、医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制を説明できる。
A-5-1)-③	保健・医療・福祉・介護における多職種連携と歯科医師の役割を説明できる。
A-6-1)-①	医療上の事故等の発生要因（ヒューマンエラー、システムエラー等）を説明できる。
A-6-1)-②	医療上の事故等に対する防止策を説明できる。
A-6-1)-③	医療現場における報告・連絡・相談及び診療録記載の重要性を説明できる。
A-6-1)-④	医療の安全性に関する情報の共有、分析の重要性を説明できる。
A-6-1)-⑤	医療機関に求められる医療安全管理体制を概説できる。
A-6-1)-⑥	医療関連感染の原因と対策を概説できる。
A-6-1)-⑦	歯科医療における事故の具体例を列举できる。
A-6-2)-⑥	信頼性設計をはじめとする基本的な安全対策手法を概説できる。
A-6-3)-①	医療従事者の健康管理（予防接種を含む）の重要性を説明できる。
A-6-3)-②	標準予防策(standard precautions)を説明できる。
A-6-3)-③	感染経路別予防策を説明できる。
A-6-3)-④	針刺し事故等に遭遇した際の対処の仕方を説明できる。

クリニカルクラークシップ

開講学科	歯学科			開講年次	5年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	250	単位数	8
科目責任者	栗野 秀慈						
担当教員	栗野 秀慈, 村岡 宏祐, 守下 昌輝, 中村 太志, 福原 正代, 久保田 潤平 臨床実習運営室員、臨床系教員、学年主任・副主任・助言教員 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

コアカリキュラム	内容
A-6-3)-⑤	医療現場における労働環境の改善の必要性を説明できる。
A-7-1)-③	地域包括ケアシステムの概念を理解し、地域における、保健（母子保健、学校保健、産業保健、成人・高齢者保健、地域保健、精神保健）・医療・福祉・介護の分野間及び多職種間（行政を含む）の連携の必要性を説明できる。
A-7-1)-⑤	地域における在宅医療（訪問歯科診療を含む）、救急医療及び離島・へき地医療の体制を説明できる。
E-5-1)-①	高齢者の生理的、心理的及び行動的特徴を説明できる。
E-5-1)-④	高齢者における口腔健康管理の用具と処置を説明できる。
E-5-1)-⑥	要介護高齢者（在宅要介護者を含む）の歯科治療時の注意点を説明できる。
E-5-1)-⑩	栄養管理や食形態の調整を説明できる。
F-1-1)-④	主観的所見、客観的所見、評価、計画(subjective, objective, assessment, plan<SOAP>)で診療録を作成できる。
F-1-2)-①	歯科用器具を安全に操作ができる。
F-1-2)-②	清潔に配慮した操作ができる。
F-1-2)-③	医療安全対策を実践できる。
F-1-2)-④	標準予防策（standard precautions）を実践できる。
F-2-1)-①	適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。
G-1-1)-①	歯科・口腔疾患を正しく診断し、治療方針・治療計画の立案、予後の推測ができる。
G-1-1)-②	診断並びに治療方針・治療計画を患者にわかりやすく説明できる。
G-1-1)-③	主観的所見、客観的所見、評価、計画<SOAP>による診療録及び指示書を作成できる。
G-1-1)-④	患者の訴え、また指導医からの指摘事項も参考に、治療結果を適正に評価できる。
G-1-2)-①	医療安全対策（標準予防策(standard precautions)、感染予防、医療機器の操作等を含む）を実践できる。
G-1-2)-②	一次救命処置<BLS>を実施できる。
G-1-2)-③	薬剤耐性<AMR>に配慮した適切な抗菌薬の処方ができる。
G-2-①	医療面接を実施し、患者と良好なコミュニケーションがとれる。
G-2-②	全身状態を評価し、顎顔面及び口腔内の診察ができる。
G-2-③	診断並びに治療に必要な画像検査及び臨床検査を選択し、実施できる。
G-3-①	局所麻酔（表面麻酔・浸潤麻酔）を実施できる。
G-3-②	永久歯の単純抜歯を実施できる。
G-3-③	軟組織の小手術を実施できる。
G-3-④	齶蝕その他の歯の硬組織疾患（象牙質知覚過敏症を含む）の保存修復治療ができる。
G-3-⑤	歯髄・根尖性歯周疾患の治療ができる。
G-3-⑥	歯周基本治療ができる。
G-3-⑦	歯質の欠損に対する歯冠補綴治療ができる。
G-3-⑧	歯の欠損に対する補綴治療ができる。
G-3-⑨	口腔衛生指導を実施できる。
G-3-⑩	歯科疾患を予防するための処置ができる。
G-3-⑪	小児に対する歯科予防処置を実施できる。

クリニカルクラークシップI

開講学科	歯学科			開講年次	5年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	250	単位数	8
科目責任者	栗野 秀慈						
担当教員	栗野 秀慈, 村岡 宏祐, 守下 昌輝, 中村 太志, 福原 正代, 久保田 潤平 臨床実習運営室員、臨床系教員、学年主任・副主任・助言教員 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

コアカリキュラム	内容
G-3-⑫	模型及び頭部エックス線規格写真等を分析、診断し、歯科矯正治療の計画を立案できる。
G-4-①	地域医療・地域保健(在宅医療(訪問歯科診療を含む)、地域包括ケアシステム)を経験する。
G-4-②	病診連携、病病連携を経験する。
G-4-③	多職種連携（歯科衛生士、歯科技工士、医師、薬剤師、看護師、その他の関連職種並びに介護職）によるチーム医療を経験する。
G-5-①	根拠に基づいた医療<EBM>、narrative-based medicine <NBM>に基づいた患者中心の医療を実践する。
G-5-②	インフォームド・コンセントを得ることができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
資料等はMoodleに掲載		

参考書

タイトル	著者	出版社
国家試験問題集		
新臨床研修歯科医ハンドブック	栗野秀慈他	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート評価	50%
知識検定試験 I の結果	50%

その他

(使用テキスト)・臨床実習の手引き・臨床実習手帳・リンクノート・スケジュールブック・ケース表・臨床実習連携手帳・自験ガイドライン

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	オリエンテーション(1) クリニカルクラークシップI 概要説明	講義	栗野 秀慈 村岡 宏祐 守下 昌輝		601 講義室 Moodle
2	オリエンテーション(2) 医療安全管理・感染予防対策	講義	中村 太志		601 講義室 Moodle
3	オリエンテーション(3) 学外臨地実習の説明	講義	福原 正代		601 講義室 Moodle

クリニカルクラークシップ

開講学科	歯学科		開講年次	5年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	250	単位数	8
科目責任者	栗野 秀慈						
担当教員	栗野 秀慈, 村岡 宏祐, 守下 昌輝, 中村 太志, 福原 正代, 久保田 潤平 臨床実習運営室員、臨床系教員、学年主任・副主任・助言教員 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
4	オリエンテーション（4） 写真撮影、登院式予行	講義	栗野 秀慈 守下 昌輝 村岡 宏祐		601 講義室 Moodle
5-6	オリエンテーション（5）（6）各診療科の説明	講義	村岡 宏祐		601 講義室 Moodle
7	オリエンテーション（7）診療システムの説明 診療録記載に関して	講義・演習	守下 昌輝		601 講義室 Moodle
8	オリエンテーション（8）電子版ケース表・電子版ポートフォリオシステム（elogbook）の説明	講義・演習	守下 昌輝 村岡 宏祐 栗野 秀慈		コンピュータ演習室 Moodle
9-10	臨地実習説明 高齢者施設見学実習	講義	久保田 潤平		601 講義室 Moodle
11-12	知識検定試験 1	演習	学年主任		コンピュータ演習室 Moodle
13-120	総合診療科での診療参加型臨床実習の他、総合歯科教育ユニット（保存治療科、歯周病科、義歯科、口腔インプラント科）、専門外来教育ユニット（口腔外科・病棟、口腔内科、歯科麻酔科、あんしん科、口腔環境科、歯科放射線科、小児歯科、矯正歯科）、医系教育ユニット（内科、外科）において臨床実習を行い、加えて連携医科・老健施設における介護ならびに消防署における救急車同乗による臨床救急救命実習を実施する。	附属病院での診療参加型臨床実習と学外における臨地実習		【事後学修課題】配当診療科の診療内容に関して予習をする、診療科毎の事前課題レポートの提出 【事後学修課題】各診療科における課題レポート、振り返りレポートの提出	診療室_病院 Moodle

クリニカルクラークシップII

開講学科	歯学科			開講年次	5年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	1000	単位数	30
科目責任者	栗野 秀慈						
担当教員	栗野 秀慈, 村岡 宏祐, 守下 昌輝, (非)藤本 篤士, (非)金成 雅彦, (非)近藤 誠二, 大学院研究						
	臨床実習運営室員、臨床系教員、臨床研修センター長、学年主任・副主任・助言教員、Post-CC PX部 会員 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業の概要

診療参加型臨床実習を通じて、実際に様々な患者に接する中で、患者本位の医療を実践し、基本的歯科医療に必要な知識、態度、技能を習熟させる。

学生の到達目標

- ①全人的歯科医療を説明できる。
- ②歯科医療従事者としての必要な態度を実践できる。
- ③歯科における医療安全・感染予防を習得できる。
- ④歯科医療制度を習得できる。
- ⑤歯科医療におけるMinimal Intervention を実践できる。
- ⑥一口腔単位の歯科診療を実践できる。
- ⑦専門分野において先進的歯科医療を体験できる。
- ⑧地域医療を体験できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-3-④	患者中心の医療を目指したインフォームド・コンセントを得ることができる。
A-3-⑤	基本的な臨床手技を適切な態度で実践できる。
A-3-⑥	治療経過及び結果を自ら振り返り適切に評価できる。
A-4-1)-②	コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。
A-4-1)-③	医療面接における基本的なコミュニケーションができる。
A-4-2)-①	患者と家族の精神的・身体的苦痛に十分配慮できる。
A-4-2)-②	患者に分かりやすい言葉で説明できる。
A-4-2)-③	患者の心理的・社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。
A-4-2)-④	医療行為は患者と歯科医師との高度な信頼関係を基礎とする契約に基づいていることを説明できる。
A-4-2)-⑤	患者の要望（診察・転医・紹介）への対処の仕方を説明できる。
A-4-2)-⑥	患者のプライバシーに配慮できる。
A-4-2)-⑦	患者情報の守秘義務と患者等への情報提供の重要性を理解し、適切な取扱ができる。
A-5-1)-①	患者中心のチーム医療の意義を説明できる。
A-5-1)-②	医療チームや各構成員（歯科医師、医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制を説明できる。
F-1-1)-①	患者情報を収集、分析できる。
F-1-1)-②	患者情報から必要な診察、検査を説明できる。
F-1-1)-③	高頻度歯科疾患を診断し、その治療方針・治療計画を立案できる。

クリニカルクラークシップII

開講学科	歯学科			開講年次	5年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	1000	単位数	30
科目責任者	栗野 秀慈						
担当教員	栗野 秀慈, 村岡 宏祐, 守下 昌輝, (非)藤本 篤士, (非)金成 雅彦, (非)近藤 誠二, 大学院研究 臨床実習運営室員、臨床系教員、臨床研修センター長、学年主任・副主任・助言教員、Post-CC PX部 会員 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

コアカリキュラム	内容
F-1-1)-④	主観的所見、客観的所見、評価、計画(subjective, objective, assessment, plan<SOAP>)で診療録を作成できる。
F-1-1)-⑤	インフォームド・コンセントを得ることができる。
F-1-1)-⑥	患者に関する医療情報を他の機関から収集（対診）し、また提供することができる。
F-1-1)-⑦	口腔と医科疾患との関連について説明することができる。
F-1-2)-①	歯科用器具を安全に操作ができる。
F-1-2)-②	清潔に配慮した操作ができる。
F-1-2)-③	医療安全対策を実践できる。
F-1-2)-④	標準予防策（standard precautions）を実践できる。
F-1-2)-⑤	一次救命処置<BLS>ができる。
F-2-1)-①	適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。
F-2-1)-②	医療面接における基本的なコミュニケーションができる。
F-2-1)-③	患者の病歴(主訴、現病歴、既往歴、家族歴)を聴取できる。
F-2-1)-④	患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。
F-2-1)-⑤	患者の不安、不満や表情、行動の変化に適切に対応できる。
F-2-1)-⑥	患者のプライバシーに配慮できる。
F-2-1)-⑦	患者に診断結果と治療方針・治療計画（保隙装置、矯正装置の使用に関することを含む）を説明できる。
F-2-2)-①	バイタルサイン（血圧・脈拍・呼吸・体温）を測定し、評価できる。
F-2-2)-②	意識状態を確認し、評価できる。
F-2-2)-③	頭頸部の状態の診察ができる（視診、触診、打診、聴診、温度診）。
F-2-2)-④	歯周組織検査（プラーク染め出し、歯の動揺度検査、歯周ポケット検査）が実施できる。
F-2-2)-⑤	口内法エックス線検査の必要性を患者に説明し、その撮影ができる。
F-2-2)-⑥	その他の必要な画像検査の必要性を患者に説明し、撮影の指示ができる。
F-2-2)-⑦	根管長測定の必要性を患者に説明し、実施できる。
F-2-2)-⑧	根管内細菌培養検査の必要性を患者に説明し、実施できる。
F-2-2)-⑨	唾液分泌能検査の必要性を患者に説明し、実施できる。
F-2-2)-⑩	咀嚼機能検査の必要性を患者に説明し、実施できる。
F-2-2)-⑪	診察及び検査結果を正確に診療録に記載できる。
F-2-2)-⑫	口腔内状態を記録できる。
F-3-1)-①	手洗いと滅菌手袋の装着ができる。
F-3-1)-②	歯科治療に必要な器材の準備、片付けができる。
F-3-1)-③	ラバーダム防湿ができる。
F-3-1)-④	局所麻酔（表面麻酔、浸潤麻酔）を実施できる。
F-3-1)-⑤	概形印象採得が実施できる。
F-3-1)-⑥	研究用模型が製作できる。
F-3-2)-①	口腔の健康度やリスクを評価し、対象者に説明できる。
F-3-2)-②	セルフケアを行えるように動機付けができる。
F-3-2)-③	適切な口腔衛生指導を実施できる。
F-3-2)-④	適切な食事指導（栄養指導）を実施できる。
F-3-2)-⑤	生活習慣に関して適切に指導できる。

クリニカルクラークシップII

開講学科	歯学科			開講年次	5年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	1000	単位数	30
科目責任者	栗野 秀慈						
担当教員	栗野 秀慈, 村岡 宏祐, 守下 昌輝, (非)藤本 篤士, (非)金成 雅彦, (非)近藤 誠二, 大学院研究 臨床実習運営室員、臨床系教員、臨床研修センター長、学年主任・副主任・助言教員、Post-CC PX部 会員 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

コアカリキュラム	内容
F-3-2)-⑥	禁煙指導・支援による歯周疾患、口腔がん等の予防を実施できる。
F-3-2)-⑦	ライフステージに応じた食育について指導できる。
F-3-3)-①	齲蝕その他の歯の硬組織疾患の簡単な処置（コンポジットレジン修復、ガラスイオノマーセメント修復、メタルインレー修復、補修修復）を実施できる。
F-3-3)-②	象牙質知覚過敏症に対する処置（薬物塗布、象牙質被覆）を実施できる。
F-3-3)-③	歯髄・根尖性歯周疾患の簡単な治療を実施できる。
F-3-3)-④	歯周疾患の予防的処置（プラークコントロール指導）を実施できる。
F-3-3)-⑤	歯周疾患の簡単な処置（スケーリング・ルートプレーニング）を実施できる。
F-3-3)-⑥	暫間固定を実施できる。
F-3-4)-①	補綴治療に必要な診断情報の収集し、それにもとづく治療計画と装置の設計が実施できる。
F-3-4)-②	メタルポストコア、レジンポストコア、ファイバーポストコアによる支台築造の基本操作を実施できる。
F-3-4)-③	クラウンブリッジによる補綴治療の各基本的操作を実施できる。
F-3-4)-④	可撤性義歯による補綴治療の前処置（レストシートの形成を含む）を実施できる。
F-3-4)-⑤	プロビジョナルレストレーションの各基本的操作を実施できる。
F-3-4)-⑥	精密印象採得（寒天・アルジネート連合印象、シリコーン印象）の各基本的操作を実施できる。
F-3-4)-⑦	作業用模型を製作し、サベイングによる装置の設計が実施できる。
F-3-4)-⑧	咬合採得と平均値咬合器装着の各基本的操作を実施できる。
F-3-4)-⑨	咀嚼機能検査の基本的操作を実施できる。
F-3-5)-①	単純抜歯を実施できる。
F-3-5)-②	基本的な切開・縫合・抜糸を実施できる。
F-3-6)-①	フッ化物の歯面塗布を実施できる。
F-3-6)-②	幼若永久歯の予防填塞を実施できる。
F-3-6)-③	小児のプラークコントロールを行うために、保護者への適切な口腔衛生指導を実施できる。
F-3-6)-④	模型及び頭部エックス線規格写真等より、分析、診断、治療計画を立案できる。
F-3-7)-①	高齢者及びその介護者に対する基本的な対応ができる。
F-3-7)-②	障害者及びその介護者に対する基本的な対応ができる。
F-3-7)-③	在宅医療（訪問歯科診療を含む）時の介助ができる。
F-3-7)-④	精神鎮静法の介助ができる。
G-1-1)-①	歯科・口腔疾患を正しく診断し、治療方針・治療計画の立案、予後の推測ができる。
G-1-1)-②	診断並びに治療方針・治療計画を患者にわかりやすく説明できる。
G-1-1)-③	主観的所見、客観的所見、評価、計画<SOAP>による診療録及び指示書を作成できる。
G-1-1)-④	患者の訴え、また指導医からの指摘事項も参考に、治療結果を適正に評価できる。
G-1-2)-①	医療安全対策（標準予防策(standard precautions)、感染予防、医療機器の操作等を含む）を実践できる。
G-1-2)-②	一次救命処置<BLS>を実施できる。
G-1-2)-③	薬剤耐性<AMR>に配慮した適切な抗菌薬の処方ができる。
G-2-①	医療面接を実施し、患者と良好なコミュニケーションがとれる。
G-2-②	全身状態を評価し、顎顔面及び口腔内の診察ができる。

クリニカルクラークシップII

開講学科	歯学科			開講年次	5年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	1000	単位数	30
科目責任者	栗野 秀慈						
担当教員	栗野 秀慈, 村岡 宏祐, 守下 昌輝, (非)藤本 篤士, (非)金成 雅彦, (非)近藤 誠二, 大学院研究 臨床実習運営室員、臨床系教員、臨床研修センター長、学年主任・副主任・助言教員、Post-CC PX部 会員 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

コアカリキュラム	内容
G-2-③	診断並びに治療に必要な画像検査及び臨床検査を選択し、実施できる。
G-3-①	局所麻酔（表面麻酔・浸潤麻酔）を実施できる。
G-3-②	永久歯の単純抜歯を実施できる。
G-3-③	軟組織の小手術を実施できる。
G-3-④	齲蝕その他の歯の硬組織疾患（象牙質知覚過敏症を含む）の保存修復治療ができる。
G-3-⑤	歯髄・根尖性歯周疾患の治療ができる。
G-3-⑥	歯周基本治療ができる。
G-3-⑦	歯質の欠損に対する歯冠補綴治療ができる。
G-3-⑧	歯の欠損に対する補綴治療ができる。
G-3-⑨	口腔衛生指導を実施できる。
G-3-⑩	歯科疾患を予防するための処置ができる。
G-3-⑪	小児に対する歯科予防処置を実施できる。
G-3-⑫	模型及び頭部エックス線規格写真等を分析、診断し、歯科矯正治療の計画を立案できる。
G-4-①	地域医療・地域保健（在宅医療（訪問歯科診療を含む）、地域包括ケアシステム）を経験する。
G-4-②	病診連携、病病連携を経験する。
G-4-③	多職種連携（歯科衛生士、歯科技工士、医師、薬剤師、看護師、その他の関連職種並びに介護職）によるチーム医療を経験する。
G-5-①	根拠に基づいた医療<EBM>、narrative-based medicine <NBM>に基づいた患者中心の医療を実践する。
G-5-②	インフォームド・コンセントを得ることができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
資料等はMoodleに掲載		

参考書

タイトル	著者	出版社
国家試験問題集		
新臨床研修歯科医ハンドブック	栗野秀慈他	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
ケースの取得と承認状況	30%
レポートの提出状況と内容	30%
知識検定試験Ⅱの結果	40%

クリニカルクラークシップII

開講学科	歯学科			開講年次	5年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	1000	単位数	30
科目責任者	栗野 秀慈						
担当教員	栗野 秀慈, 村岡 宏祐, 守下 昌輝, (非)藤本 篤士, (非)金成 雅彦, (非)近藤 誠二, 大学院研究						
	臨床実習運営室員、臨床系教員、臨床研修センター長、学年主任・副主任・助言教員、Post-CC PX部 会員 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

その他

(使用テキスト) ・臨床実習の手引き・臨床実習手帳・リンクノート・スケジュールブック・ケース表・臨床実習連携手帳・自験ガイドライン

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	オリエンテーション (1) スチューデントデンティスト認定証授与式 クリニカルクラークシップ2の概要について	講義	歯学部長 歯学科長 栗野 秀慈 村岡 宏祐 守下 昌輝		601 講義室
2	オリエンテーション (2) クリニカルクラークシップ2実習説明	講義	栗野 秀慈 村岡 宏祐		601 講義室
3-4	オリエンテーション (3) (4) 各診療科の説明	講義	栗野 秀慈 村岡 宏祐		601 講義室
5	オリエンテーション (5) プライマリーにおける自験について	講義	栗野 秀慈 村岡 宏祐		601 講義室
6	オリエンテーション (6) リンクノートの作成について	講義	栗野 秀慈 村岡 宏祐		601 講義室
7	オリエンテーション (7) 診療システムの使用法の説明	講義	守下 昌輝		601 講義室
8	オリエンテーション (8) 臨床実習運営室ならびにメンターの紹介	講義	村岡 宏祐 中村 太志 守下 昌輝 角田 聡子 大楠 弘通 西牟田 文香 村田 一将 宗政 翔		601 講義室
9	オリエンテーション (9) ケース管理・診療参加型臨床実習後臨床能力試験(Post-CC PX)の説明	講義	栗野 秀慈 村岡 宏祐		601 講義室
10	オリエンテーション (10) 週間予定表・振返り日誌の作成について	講義	栗野 秀慈 村岡 宏祐		601 講義室

クリニカルクラークシップII

開講学科	歯学科		開講年次	5年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	1000	単位数	30
科目責任者	栗野 秀慈						
担当教員	栗野 秀慈, 村岡 宏祐, 守下 昌輝, (非)藤本 篤士, (非)金成 雅彦, (非)近藤 誠二, 大学院研究						
	臨床実習運営室員、臨床系教員、臨床研修センター長、学年主任・副主任・助言教員、Post-CC PX部 会員 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
11	オリエンテーション（11） 感染予防・医療安全について	講義	中村 太志		601講義室
12	オリエンテーション（12） elogbookの使用法について説明	講義・演習	守下 昌輝 村岡 宏祐		コンピュータ演習室
13	特別講義（1） 「地域に根ざした摂食嚥下リハビリ医療について」	講義	(非)藤本 篤士	【事後学修課題】 所定の課題レポート提出	Microsoft Teams
14	特別講義（2） 「医学部歯科口腔外科について」	講義	(非)近藤 誠二	【事後学修課題】 所定の課題レポート提出	601講義室
15	特別講義（3） 「開業歯科医の包括歯科医療について」	講義	(非)金成 雅彦	【事後学修課題】 所定の課題レポート提出	601講義室
16	特別講義（4） 「本学の研修システムについて」 「本学の大学院教育について」	講義	吉居 慎二 大学院研究科長	【事後学修課題】 所定の課題レポート提出、アンケート回答	601講義室
17	特別講義（5） 特別講義の総括	講義	栗野 秀慈	【事後学修課題】 所定の課題レポート提出	601講義室
18-19	知識検定試験 2	演習	学年主任		コンピュータ演習室
20-21	一斉技能試験	実習	村岡 宏祐 正木 千尋 郡司掛 香織 中村 太志 鷺尾 絢子 守下 昌輝		シミュレーション実習室

クリニカルクラークシップII

開講学科	歯学科		開講年次	5年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	1000	単位数	30
科目責任者	栗野 秀慈						
担当教員	栗野 秀慈, 村岡 宏祐, 守下 昌輝, (非)藤本 篤士, (非)金成 雅彦, (非)近藤 誠二, 大学院研究						
	臨床実習運営室員、臨床系教員、臨床研修センター長、学年主任・副主任・助言教員、Post-CC PX部 会員 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
	<p>第一総合診療科を基盤に、その他総合歯科教育ユニット（保存治療科、歯周病科、義歯科、口腔インプラント科）、専門外来教育ユニット（口腔外科・病棟、口腔内科、歯科麻酔科、あんしん科、口腔環境科・DEM-CAB、歯科放射線科、小児歯科、矯正歯科）、医系教育ユニット（内科）においても自験中心の診療参加型臨床実習を行い、加えて訪問診療、小児救急外来・病棟ならびに周術期口腔機能管理、摂食機能リハビリテーション等の医科歯科連携実習を主とした学外実習を行う。本実習時間内に併行してスキルアップ実習、演習、特別講義を行う。</p>	<p>附属病院：診療参加型臨床実習 学外：臨床実習</p>		<p>【事後学修課題】配当診療科の診療内容に関して予習をする、診療科毎の週間予定表および事前課題レポートの提出 【事後学修課題】各診療科における課題レポート、振り返りレポート、およびリンクノートの提出</p>	<p>臨床実習_病院</p>

クリニカルクラークシップIII

開講学科	歯学科			開講年次	6年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	1000	単位数	30
科目責任者	栗野 秀慈						
担当教員	栗野 秀慈, 村岡 宏祐, 守下 昌輝, 中村 太志, 角田 聡子, 大楠 弘通, 宗政 翔, 村田 一将 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業の概要

診療参加型臨床実習を通じて、実際に様々な患者に接する中で、患者本位の医療を実践し、基本的歯科医療に必要な知識、態度、技能を習得させる。

学生の到達目標

- ①全人的歯科医療を習得できる。
- ②歯科医療従事者としての必要な態度を習得できる。
- ③歯科における医療安全・感染予防を習得できる。
- ④歯科医療制度を習得できる。
- ⑤歯科医療におけるMinimal Intervention を実践できる。
- ⑥一口腔単位の歯科診療を習得できる。
- ⑦専門分野において先進的歯科医療を体験できる。
- ⑧地域医療を実践できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-3-①	適切な医療面接により、患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を実施できる
A-3-②	全身状態の評価に基づいた口腔・顎顔面領域の診察ができる。
A-3-③	口腔・顎顔面領域の疾患を正しく診断し、患者の立場を尊重した治療方針・治療計画を立案できる。
A-3-④	患者中心の医療を目指したインフォームド・コンセントを得ることができる。
A-3-⑤	基本的な臨床手技を適切な態度で実践できる。
A-3-⑥	治療経過及び結果を自ら振り返り適切に評価できる。
A-4-1)-①	コミュニケーションの意義、目的と技法（言語的・準言語的・非言語的）を説明できる。
A-4-1)-②	コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。
A-4-1)-③	医療面接における基本的なコミュニケーションができる。
A-4-2)-①	患者と家族の精神的・身体的苦痛に十分配慮できる。
A-4-2)-①	確率変数とその分布、統計的推測（推定と検定）の原理と方法を説明できる。
A-4-2)-②	患者に分かりやすい言葉で説明できる。
A-4-2)-③	患者の心理的・社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。
A-4-2)-④	医療行為は患者と歯科医師との高度な信頼関係を基礎とする契約に基づいていることを説明できる。
A-4-2)-⑤	患者の要望（診察・転医・紹介）への対処の仕方を説明できる。
A-4-2)-⑥	患者のプライバシーに配慮できる。
A-4-2)-⑦	患者情報の守秘義務と患者等への情報提供の重要性を理解し、適切な取扱ができる。
A-5-1)-①	患者中心のチーム医療の意義を説明できる。
A-5-1)-②	医療チームや各構成員（歯科医師、医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制を説明できる。

クリニカルクラークシップIII

開講学科	歯学科			開講年次	6年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	1000	単位数	30
科目責任者	栗野 秀慈						
担当教員	栗野 秀慈, 村岡 宏祐, 守下 昌輝, 中村 太志, 角田 聡子, 大楠 弘通, 宗政 翔, 村田 一将 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

コアカリキュラム	内容
A-5-1)-③	保健・医療・福祉・介護における多職種連携と歯科医師の役割を説明できる。
A-5-1)-④	他の医療機関への紹介を行うための手続を説明できる。
A-5-1)-⑤	患者情報の守秘と患者等への情報提供の重要性を説明できる。
F-1-1)-①	患者情報を収集、分析できる。
F-1-1)-②	患者情報から必要な診察、検査を説明できる。
F-1-1)-③	高頻度歯科疾患を診断し、その治療方針・治療計画を立案できる。
F-1-1)-④	主観的所見、客観的所見、評価、計画(subjective, objective, assessment, plan<SOAP>)で診療録を作成できる。
F-1-1)-⑤	インフォームド・コンセントを得ることができる。
F-1-1)-⑥	患者に関する医療情報を他の機関から収集(対診)し、また提供することができる。
F-1-1)-⑦	口腔と医科疾患との関連について説明することができる。
F-1-2)-①	歯科用器具を安全に操作ができる。
F-1-2)-②	清潔に配慮した操作ができる。
F-1-2)-③	医療安全対策を実践できる。
F-1-2)-④	標準予防策 (standard precautions) を実践できる。
F-1-2)-⑤	一次救命処置<BLS>ができる。
F-2-1)-①	適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。
F-2-1)-②	医療面接における基本的なコミュニケーションができる。
F-2-1)-③	患者の病歴(主訴、現病歴、既往歴、家族歴)を聴取できる。
F-2-1)-④	患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。
F-2-1)-⑤	患者の不安、不満や表情、行動の変化に適切に対応できる。
F-2-1)-⑥	患者のプライバシーに配慮できる。
F-2-1)-⑦	患者に診断結果と治療方針・治療計画(保険装置、矯正装置の使用に関することを含む)を説明できる。
F-2-2)-①	バイタルサイン(血圧・脈拍・呼吸・体温)を測定し、評価できる。
F-2-2)-②	意識状態を確認し、評価できる。
F-2-2)-③	頭頸部の状態の診察ができる(視診、触診、打診、聴診、温度診)。
F-2-2)-④	歯周組織検査(プラーク染め出し、歯の動揺度検査、歯周ポケット検査)が実施できる。
F-2-2)-⑤	口内法エックス線検査の必要性を患者に説明し、その撮影ができる。
F-2-2)-⑥	その他の必要な画像検査の必要性を患者に説明し、撮影の指示ができる。
F-2-2)-⑦	根管長測定の必要性を患者に説明し、実施できる。
F-2-2)-⑧	根管内細菌培養検査の必要性を患者に説明し、実施できる。
F-2-2)-⑨	唾液分泌能検査の必要性を患者に説明し、実施できる。
F-2-2)-⑩	咀嚼機能検査の必要性を患者に説明し、実施できる。
F-2-2)-⑪	診察及び検査結果を正確に診療録に記載できる。
F-2-2)-⑫	口腔内状態を記録できる。
F-3-1)-①	手洗いと滅菌手袋の装着ができる。
F-3-1)-②	歯科治療に必要な器材の準備、片付けができる。
F-3-1)-③	ラバーダム防湿ができる。
F-3-1)-④	局所麻酔(表面麻酔、浸潤麻酔)を実施できる。
F-3-1)-⑤	概形印象採得が実施できる。
F-3-1)-⑥	研究用模型が製作できる。
F-3-2)-①	口腔の健康度やリスクを評価し、対象者に説明できる。

クリニカルクラークシップⅢ

開講学科	歯学科			開講年次	6年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	1000	単位数	30
科目責任者	栗野 秀慈						
担当教員	栗野 秀慈, 村岡 宏祐, 守下 昌輝, 中村 太志, 角田 聡子, 大楠 弘通, 宗政 翔, 村田 一将 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

コアカリキュラム	内容
F-3-2)-②	セルフケアを行えるように動機付けができる。
F-3-2)-③	適切な口腔衛生指導を実施できる。
F-3-2)-④	適切な食事指導（栄養指導）を実施できる。
F-3-2)-⑤	生活習慣に関して適切に指導できる。
F-3-2)-⑥	禁煙指導・支援による歯周疾患、口腔がん等の予防を実施できる。
F-3-2)-⑦	ライフステージに応じた食育について指導できる。
F-3-3)-①	齲蝕その他の歯の硬組織疾患の簡単な処置（コンポジットレジン修復、ガラスアイオノマーセメント修復、メタルインレー修復、補修修復）を実施できる。
F-3-3)-②	象牙質知覚過敏症に対する処置（薬物塗布、象牙質被覆）を実施できる。
F-3-3)-③	歯髄・根尖性歯周疾患の簡単な治療を実施できる。
F-3-3)-④	歯周疾患の予防的処置（プラークコントロール指導）を実施できる。
F-3-3)-⑤	歯周疾患の簡単な処置（スクレーピング・ルートプレーニング）を実施できる。
F-3-3)-⑥	暫間固定を実施できる。
F-3-4)-①	補綴治療に必要な診断情報の収集し、それにもとづく治療計画と装置の設計が実施できる。
F-3-4)-②	メタルポストコア、レジンポストコア、ファイバーポストコアによる支台築造の基本操作を実施できる。
F-3-4)-③	クラウンブリッジによる補綴治療の各基本的操作を実施できる。
F-3-4)-④	可撤性義歯による補綴治療の前処置（レストシートの形成を含む）を実施できる。
F-3-4)-⑤	プロビジョナルレストレーションの各基本的操作を実施できる。
F-3-4)-⑥	精密印象採得（寒天・アルジネート連合印象、シリコン印象）の各基本的操作を実施できる。
F-3-4)-⑦	作業用模型を製作し、サベイングによる装置の設計が実施できる。
F-3-4)-⑧	咬合採得と平均値咬合器装着の各基本的操作を実施できる。
F-3-4)-⑨	咀嚼機能検査の基本的操作を実施できる。
F-3-5)-①	単純拔牙を実施できる。
F-3-5)-②	基本的な切開・縫合・抜糸を実施できる。
F-3-6)-①	フッ化物の歯面塗布を実施できる。
F-3-6)-②	幼若永久歯の予防填塞を実施できる。
F-3-6)-③	小児のプラークコントロールを行うために、保護者への適切な口腔衛生指導を実施できる。
F-3-6)-④	模型及び頭部エックス線規格写真等より、分析、診断、治療計画を立案できる。
F-3-7)-①	高齢者及びその介護者に対する基本的な対応ができる。
F-3-7)-②	障害者及びその介護者に対する基本的な対応ができる。
F-3-7)-③	在宅医療（訪問歯科診療を含む）時の介助ができる。
F-3-7)-④	精神鎮静法の介助ができる。
G-1-1)-①	歯科・口腔疾患を正しく診断し、治療方針・治療計画の立案、予後の推測ができる。
G-1-1)-②	診断並びに治療方針・治療計画を患者にわかりやすく説明できる。
G-1-1)-③	主観的所見、客観的所見、評価、計画<SOAP>による診療録及び指示書を作成できる。
G-1-1)-④	患者の訴え、また指導医からの指摘事項も参考に、治療結果を適正に評価できる。
G-1-2)-①	医療安全対策（標準予防策(standard precautions)、感染予防、医療機器の操作等を含む）を実践できる。
G-1-2)-②	一次救命処置<BLS>を実施できる。
G-1-2)-③	薬剤耐性<AMR>に配慮した適切な抗菌薬の処方ができる。

クリニカルクラークシップⅢ

開講学科	歯学科			開講年次	6年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	1000	単位数	30
科目責任者	栗野 秀慈						
担当教員	栗野 秀慈, 村岡 宏祐, 守下 昌輝, 中村 太志, 角田 聡子, 大楠 弘通, 宗政 翔, 村田 一将 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

コアカリキュラム	内容
G-2-①	医療面接を実施し、患者と良好なコミュニケーションがとれる。
G-2-②	全身状態を評価し、顎顔面及び口腔内の診察ができる。
G-2-③	診断並びに治療に必要な画像検査及び臨床検査を選択し、実施できる。
G-3-①	局所麻酔（表面麻酔・浸潤麻酔）を実施できる。
G-3-②	永久歯の単純抜歯を実施できる。
G-3-③	軟組織の小手術を実施できる。
G-3-④	齶蝕その他の歯の硬組織疾患（象牙質知覚過敏症を含む）の保存修復治療ができる。
G-3-⑤	歯髄・根尖性歯周疾患の治療ができる。
G-3-⑥	歯周基本治療ができる。
G-3-⑦	歯質の欠損に対する歯冠補綴治療ができる。
G-3-⑧	歯の欠損に対する補綴治療ができる。
G-3-⑨	口腔衛生指導を実施できる。
G-3-⑩	歯科疾患を予防するための処置ができる。
G-3-⑪	小児に対する歯科予防処置を実施できる。
G-3-⑫	模型及び頭部エックス線規格写真等を分析、診断し、歯科矯正治療の計画を立案できる。
G-4-①	地域医療・地域保健（在宅医療（訪問歯科診療を含む）、地域包括ケアシステム）を経験する。
G-4-②	病診連携、病病連携を経験する。
G-4-③	多職種連携（歯科衛生士、歯科技工士、医師、薬剤師、看護師、その他の関連職種並びに介護職）によるチーム医療を経験する。
G-5-①	根拠に基づいた医療<EBM>、narrative-based medicine <NBM>に基づいた患者中心の医療を実践する。
G-5-②	インフォームド・コンセントを得ることができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
資料等はMoodleに掲載		

参考書

タイトル	著者	出版社
国家試験問題集		
新臨床研修歯科医ハンドブック	栗野秀慈他	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
ケースの取得と承認状況	20%
レポートの提出状況と内容	20%
臨床能力試験結果	30%
知識検定試験Ⅲの結果	30%

クリニカルクラークシップIII

開講学科	歯学科			開講年次	6年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	1000	単位数	30
科目責任者	栗野 秀慈						
担当教員	栗野 秀慈, 村岡 宏祐, 守下 昌輝, 中村 太志, 角田 聡子, 大楠 弘通, 宗政 翔, 村田 一将 ※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

その他

（使用テキスト）・臨床実習の手引き・臨床実習手帳・リンクノート・スケジュールブック・ケース表・臨床実習連携手帳・自験ガイドライン

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	オリエンテーション クリニカルクラークシップ3の概要について 診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験（Post=CC PX）の説明	講義	村岡 宏祐 栗野 秀慈 守下 昌輝		301 講義室
2-3	知識検定試験 3	演習	学年主任		コンピュータ演習室
4-7	一斉技能試験	実習	正木 千尋 村岡 宏祐 中村 太志 鷺尾 絢子 守下 昌輝 大楠 弘通 角田 聡子 西牟田 文香 宗政 翔 村田 一将 郡司掛 香織		シミュレーション実習室
	第一総合診療科を基盤に、その他総合歯科教育ユニット（保存治療科、歯周病科、義歯科、口腔インプラント科）、専門外来教育ユニット（口腔外科・病棟、口腔内科、歯科麻酔科、あんしん科、口腔環境科・DEMCAB、歯科放射線科、小児歯科、矯正歯科）、医系教育ユニット（内科、外科）において自験中心の診療参加型臨床実習を行い、加えて小児救急外来・病棟実習、訪問診療ならびに周術期口腔機能管理等の学外実習を行う。本実習と併行して必要に応じてスキルアップ実習を行う。	附属病院：診療参加型臨床実習 学外：臨地実習		【事後学修課題】配当診療科の診療内容に関して予習をする、診療科毎の週間予定表および事前課題レポートの提出 【事後学修課題】各診療科における課題レポート、振り返りレポート、およびリンクノートの提出	臨床実習_病院

医療安全管理学

開講学科	歯学科			開講年次	5年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	吉岡 泉						
担当教員	吉岡 泉, 吉賀 大午, 中村 太志, 大谷 泰志, 鶴島 弘基, 坂口 修, 西牟田 文香, 早川 真奈, (非)近藤 誠二						
	※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業の概要

医療安全管理学(Medical safety Management)では、重篤な全身疾患を持つ歯科患者の安全な歯科治療を実現しスムーズな多職種連携を可能にするために、歯科医師として必要な医学的知識について、基本的な病態から歯科医療現場における実践までを解説する。

学生の到達目標

- ①主要な全身疾患の病態生理を説明できる。
- ②主要な医科疾患の症候を説明できる。
- ③主要な身体診察を説明できる。
- ④全身の症候・病態を説明できる。（発熱、全身倦怠感、体重減少・増加、ショック、意識障害、脱水、浮腫、けいれん、めまい、黄疸、呼吸困難、チアノーゼ、頭痛、動悸、息切れ、胸痛、睡眠障害、嘔吐、下痢）
- ⑤心理テストを説明できる。
- ⑥心身医学的治療を説明できる。
- ⑦歯科治療時の合併症や偶発症を説明できる。
- ⑧医科疾患合併患者の歯科治療時の注意点を説明できる。
- ⑨安全な歯科医療を行うために必要な薬剤の作用機序と有害作用を説明できる。
- ⑩医療上の事故等の事例の原因を分析し、防止対策や緊急処置、記録体制・報告事項を説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-1-3)-④	歯科医師に課せられた社会的責任と法的責任(刑事責任、民事責任、歯科医師法に基づく行政処分)を説明できる。
A-6-1)-②	医療上の事故等に対する防止策を説明できる。
A-6-1)-⑦	歯科医療における事故の具体例を列举できる。
A-6-2)-①	医療事故と医療過誤の違いを説明できる。
A-6-2)-②	医療法に基づく医療事故調査制度を説明できる。
A-6-2)-③	医療上の事故等が発生した際の緊急処置や記録、報告を説明できる。
A-6-2)-④	医療上の事故等に対する具体的な防止対策や信頼性設計を説明できる。
A-6-2)-⑤	医療上の事故等の事例の原因を分析し、防止対策を立案できる。
A-6-3)-④	針刺し事故等に遭遇した際の対処の仕方を説明できる。
B-2-1)-①	歯科医師法を説明できる。
B-2-1)-②	医療法を概説できる。
C-3-3)-(4)-①	心臓の構造、発生、機能及び心電図波形を説明できる。
C-3-3)-(4)-③	血管の構造と血圧調節機能を説明できる。
C-3-3)-(7)-①	消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。
C-3-3)-(8)-②	肺の構造・機能と呼吸運動を説明できる。
C-3-3)-(9)-①	内分泌器官・組織の構造と機能及びホルモンの種類、作用と異常を説明できる。
C-3-4)-(1)-②	皮膚と粘膜の基本的な構造と機能を説明できる。
C-4-1)-④	滅菌と消毒の意義、種類及び原理を説明できる。
E-1-4)-(1)-①	バイタルサインの意義とそのモニタリングの方法を説明できる。

医療安全管理学

開講学科	歯学科			開講年次	5年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	吉岡 泉						
担当教員	吉岡 泉, 吉賀 大午, 中村 太志, 大谷 泰志, 鶴島 弘基, 坂口 修, 西牟田 文香, 早川 真奈, (非)近藤 誠二						
	※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

コアカリキュラム	内容
E-1-4)-(1)-②	血圧、脈拍数、呼吸数の測定方法と異常所見を説明できる。
E-1-4)-(1)-⑤	患者の服用薬物の歯科治療への影響と歯科治療時の対応を説明できる。
E-1-4)-(1)-⑥	患者（小児、妊産婦、高齢者を含む）の全身状態の評価を説明できる。
E-1-5)-⑧	器具の消毒・滅菌法を説明できる。
E-5-1)-⑤	高齢者の歯科治療時の全身管理を説明できる。
E-5-1)-⑥	要介護高齢者（在宅要介護者を含む）の歯科治療時の注意点を説明できる。
E-6-②	医科疾患合併患者の歯科治療時の注意点を説明できる。
E-6-③	妊産婦の歯科医療時の注意点を説明できる。
F-1-1)-⑦	口腔と医科疾患との関連について説明することができる。
F-2-2)-①	バイタルサイン（血圧・脈拍・呼吸・体温）を測定し、評価できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
資料配布 (Moodle)		

参考書

タイトル	著者	出版社
口腔外科学	白砂兼光、古郷幹彦編	医歯薬出版
口腔内科学	山根源之	永末書店
歯科医師のための内科学	千葉俊美・山田浩之編	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

（教員名：オフィスアワー）・吉岡：月～金 17:00～ 教授室 メールは随時受け付け

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	医療連携1 チーム医療を行うのに必要な病診連携、病病連携、医科歯科連携、多職種連携、コンサルテーションについて学習する。	講義	西牟田 文香	【事前学習課題】照会状 紹介状	601 講義室

医療安全管理学

開講学科	歯学科		開講年次	5年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	吉岡 泉						
担当教員	吉岡 泉, 吉賀 大午, 中村 太志, 大谷 泰志, 鶴島 弘基, 坂口 修, 西牟田 文香, 早川 真奈, (非)近藤 誠二						
	※氏名の後ろに（診療科名）の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	医療連携2 チーム医療を行うのに必要な病診連携、病病連携、医科歯科連携、多職種連携、コンサルテーションについて学習する。	講義	早川 真奈	【事前学習課題】照会状 紹介状	601講義室
3	救急医学 救急医療における歯科医師の役割について学習する。	講義	(非)近藤 誠二	【事前学習課題】救急外科 高エネルギー外傷 多発外傷	601講義室
4	医療連携3 チーム医療を行うのに必要な病診連携、病病連携、医科歯科連携、多職種連携、コンサルテーションについて学習する。	講義	早川 真奈	【事前学習課題】照会状 紹介状	601講義室
5	医療連携4 チーム医療を行うのに必要な病診連携、病病連携、医科歯科連携、多職種連携、コンサルテーションについて学習する。	講義	鶴島 弘基	【事前学習課題】照会状 紹介状	601講義室
6	歯科治療における医療事故への対応	講義	中村 太志	【事前事後学習課題】ヒューマンエラー・インシデント・アクシデント・誤飲	601講義室
7	歯科治療における感染制御	講義	中村 太志	【事前事後学習課題】スタンダード・プレコーション・手指消毒・PPE・切創事故対策	601講義室
8	医療機関における医療安全対策	講義	中村 太志	【事前事後学習課題】医療法・医療事故の分析手法・医療事故調査制度	601講義室

連携医学I

開講学科	歯学科			開講年次	5年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	44	単位数	2
科目責任者	歯学科長						
担当教員	歯学科長, 竹内 弘, 中島 秀彰, (非)村岡 衛, (非)古田 功彦, (非)瀬戸口 雅裕, 笹栗 正明, (非)尼田 寛, (非)高島 健, (非)山下 善弘, 吉岡 泉						

授業の概要

(周術期口腔機能管理)

がん治療や心臓血管手術の合併症を低減させ患者のQOLを維持するためには、支持療法が重要であり、口腔機能管理もその一つである。また緩和医療では多彩な口腔トラブルに対応することが求められる。授業では歯科医師がこれらの医療において果たすべき役割について学ぶ。

(産婦人科学)

代表的な婦人科疾患と妊娠、分娩、出産について学習する。

(頭痛学)

口腔顎顔面痛と鑑別が必要な頭痛の診断と治療について学ぶ。

(耳鼻咽喉科学)

歯科領域と耳鼻咽喉科領域は非常に密接な関係があり、耳鼻咽喉科学（耳科学・めまい学・鼻副鼻腔学・口腔咽頭喉頭学など）について到達目標を掲げて学ぶ。

(顎口腔機能評価)

構音・咀嚼・嚥下の各機能評価法について学習する。

(医療連携)

他の医療機関への照会や紹介を行うための手続き、病診連携・病病連携・医科歯科連携、チーム医療における多職種連携と歯科医師の役割や医科疾患合併患者の歯科治療時の注意点について学習する。

(虐待医学)

子どもの虐待と口腔との関連性、子どもの虐待防止と歯科医師の責務について学ぶ。

学生の到達目標

(周術期口腔機能管理)

①頭頸部がん消化器がん・呼吸器がん・血液がん治療における口腔のトラブルと口腔機能管理について概説できる。

②心臓血管外科治療における口腔のトラブルと口腔機能管理について概説できる。

③緩和医療における口腔のトラブルと口腔機能管理について概説できる。

(産婦人科学)

①代表的な婦人科疾患（子宮筋腫、子宮内膜症、更年期障害、子宮頸癌、子宮体癌、卵巣癌）を説明できる。

②妊娠、分娩、産褥の生理と代表的な異常妊娠（子宮外妊娠、妊娠中毒症、前置胎盤、切迫早産）を説明できる。

③妊産期の就労者の健康管理について説明できる。

(頭痛学)

片頭痛・緊張型頭痛・群発頭痛について説明できる。

(耳鼻咽喉科学)

耳（外耳・中耳・内耳）、鼻副鼻腔、咽頭・喉頭、頸部及び、耳下腺・顎下腺・舌下腺の解剖、機能を理解し、それらの疾患についての検査法及び治療法などを理解し、将来これらの知識を的確に実践し、必要があれば専門医に紹介できるようになる。

(顎口腔機能評価)

①言語障害を概説できる。

②言語機能検査について説明できる。

③呼吸持続時間の測定、発声持続時間の測定、発語明瞭度検査、単音節復唱検査 パラトグラム検査、鼻咽腔閉鎖機能検査について説明できる。

ブローイング検査、発声言語の聴覚判定、鼻漏出検査、構音機能リハビリテーションについて説明できる。

(医療連携)

他の医療機関への照会や紹介を行うための手続き、病診連携・病病連携・医科歯科連携、チーム医療における多職種連携と歯科医師の役割や医科疾患合併患者の歯科治療時の注意点について説明できる。

連携医学I

開講学科	歯学科			開講年次	5年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	44	単位数	2
科目責任者	歯学科長						
担当教員	歯学科長, 竹内 弘, 中島 秀彰, (非)村岡 衛, (非)古田 功彦, (非)瀬戸口 雅裕, 笹栗 正明, (非)尼田 覚, (非)高島 健, (非)山下 善弘, 吉岡 泉						

テキスト

タイトル	著者	出版社
資料配布 (moodle、Teams を使用)		

参考書

タイトル	著者	出版社
口腔外科学	白砂兼光、古郷幹彦編	医歯薬出版
口腔内科学	山根源之	永末書店
歯科医師のための内科学	千葉俊美・山田浩之編	医歯薬出版
歯科医のための外科学		医歯薬出版
標準外科学		医学書院

成績評価方法・基準

評価項目	割合
編集途中：毎回の講義でレポートを課し、その内容を評価する。	100%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】相談は原則として、科目責任者まで。時間予約を電話またはメールにて行うこと。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	連携医学 I について チーム医療を行うのに必要な病診連携、病病連携、医科歯科連携、多職種連携の重要性と科目「連携医学 I」について概要を理解する。	講義	竹内 弘	【事前事後学習課題】病診連携、病病連携、多職種連携	601 講義室 Moodle
2	周術期口腔機能管理 頭頸部がん治療・消化器がん・呼吸器がん治療における口腔機能管理について学習する。	講義	(非)古田 功彦		601 講義室 Moodle

連携医学I

開講学科	歯学科		開講年次	5年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	44	単位数	2
科目責任者	歯学科長						
担当教員	歯学科長, 竹内 弘, 中島 秀彰, (非)村岡 衛, (非)古田 功彦, (非)瀬戸口 雅裕, 笹栗 正明, (非)尼田 覚, (非)高島 健, (非)山下 善弘, 吉岡 泉						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
3	頭痛学 口腔顎顔面痛と鑑別が必要な頭痛の診断と治療について学習する。	講義	(非)村岡 衛		601講義室 Moodle
4	清潔・不潔と消毒・滅菌 医療における清潔・不潔の概念と、滅菌や消毒の方法や違いを、外科学の歴史を踏まえながら学習する。	講義	中島 秀彰	【事前学修】資料の予習 【事後学修】資料・小テストの復習	601講義室 Moodle
5	外科的診断法 疾患の診断に至る手順について学習する。特に外科的疾患に対する、外科的なアプローチの仕方について学習する。	講義	中島 秀彰	【事前学修】資料の予習 【事後学修】資料・小テストの復習	601講義室 Moodle
6	外科的基本手技 止血/縫合/結紮等の外科的基本手技の基本的概念を学習する。	講義	中島 秀彰	【事前学修】資料の予習 【事後学修】資料・小テストの復習	601講義室 Moodle
7	損傷 損傷（熱傷も含む）の定義や分類等の基礎的知識と対処方法について学習する。	講義	中島 秀彰	【事前学修】資料の予習 【事後学修】資料・小テストの復習	601講義室 Moodle
8	外科的侵襲の病態と炎症 病気が起きた時や外科的侵襲が加わった時、生体にはどのような反応が起き、どの様にしてこのような侵襲から立ち直ることが出来るのか、生体が持つ基本的システムを学習する。	講義	中島 秀彰	【事前学修】資料の予習 【事後学修】資料・小テストの復習	601講義室 Moodle
9	術前管理 外科手術を安全に行う際、どのような検査や準備をして手術に臨むか、手術適応はどの様に決定されるか、等を学習する。	講義	中島 秀彰	【事前学修】資料の予習 【事後学修】資料・小テストの復習	601講義室 Moodle

連携医学I

開講学科	歯学科		開講年次	5年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	44	単位数	2
科目責任者	歯学科長						
担当教員	歯学科長, 竹内 弘, 中島 秀彰, (非)村岡 衛, (非)古田 功彦, (非)瀬戸口 雅裕, 笹栗 正明, (非)尼田 覚, (非)高島 健, (非)山下 善弘, 吉岡 泉						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
10	周術期口腔機能管理 頭頸部がん治療・消化器がん・呼吸器がん治療における口腔機能管理について学習する。	講義	(非)山下 善弘		601講義室 Moodle
11	産婦人科学① 代表的な婦人科疾患について学習する。	講義	(非)尼田 覚		601講義室 Moodle
12	術後管理、栄養と輸液 安全に合併症なく手術から復帰できる様にするために、術中・術後の患者管理について学習する。創やドレンの管理や、栄養法・輸液の基礎についても学習する。	講義	中島 秀彰	【事前学修】資料の予習 【事後学修】資料・小テストの復習	601講義室 Moodle
13	産婦人科学② 妊娠、分娩、産褥の生理と異常妊娠について学習する。	講義	(非)高島 健		601講義室 Moodle
14	耳鼻咽喉科学 ①耳鼻咽喉科総論 ビデオにて、実際の鼓膜、鼻腔、咽喉頭の正常所見を確認し、これらを図示できるようにする。又、耳鼻咽喉科が取り扱う疾患について学習する。	講義	(非)瀬戸口 雅裕		601講義室 Moodle
15	耳鼻咽喉科学 ②口腔・咽頭・喉頭 口腔・咽頭・喉頭の構造と機能を理解し、それらの疾患及び治療法を学習する。	講義	(非)瀬戸口 雅裕		601講義室 Moodle
16	耳鼻咽喉科学 ③鼻・副鼻腔 鼻・副鼻腔の構造と機能を理解し、それらの疾患及び治療法を学習する。	講義	(非)瀬戸口 雅裕		601講義室 Moodle
17	外科的感染症と感染対策 感染症、特に外科的感染症の基礎について学習する。また、院内感染対策の概念についても学習する。	講義	中島 秀彰	【事前学修】資料の予習 【事後学修】資料・小テストの復習	601講義室 Moodle

連携医学I

開講学科	歯学科		開講年次	5年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	44	単位数	2
科目責任者	歯学科長						
担当教員	歯学科長, 竹内 弘, 中島 秀彰, (非)村岡 衛, (非)古田 功彦, (非)瀬戸口 雅裕, 笹栗 正明, (非)尼田 寛, (非)高島 健, (非)山下 善弘, 吉岡 泉						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
18	腫瘍総論 日本人の死因の第一位である腫瘍の定義や基礎的知識について学習する。	講義	中島 秀彰	【事前学修】資料の予習 【事後学修】資料・小テストの復習	601講義室 Moodle
19	顎口腔機能評価 鼻咽腔閉鎖機能 嚥下機能 構音・咀嚼・嚥下の各機能評価法について学習する。	講義	笹栗 正明	【事前学習課題】構音機能	601講義室 Moodle
20	耳鼻咽喉科学 ④外耳・中耳・内耳 (1) 外耳・中耳・内耳の疾患及び治療法を学習する。(2) 目まい、聴力障害の分類を学習する。	講義	(非)瀬戸口 雅裕		601講義室 Moodle
21	耳鼻咽喉科学 ⑤頭頸部 頭頸部の構造と機能を理解し、頭頸部疾患の診断及び治療法を学習する。	講義	(非)瀬戸口 雅裕		601講義室 Moodle
22	外科免疫と臓器移植 臓器移植、特に腎臓移植を通じて、臓器移植の基礎と外科免疫の意義について学習する。	講義	中島 秀彰	【事前学修】資料の予習 【事後学修】資料・小テストの復習	601講義室 Moodle

連携医学II(小児科学)

開講学科	歯学科			開講年次	5年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	渡辺 幸嗣						
担当教員	渡辺 幸嗣, (非)神菌 淳司, (非)中野 慎也, (非)池田 妙, (非)長嶺 伸治, (非)沖 剛, (非)佐藤 哲司, (非)齋藤 玲子, (非)森吉 研輔						

授業の概要

歯科医師として知っておくべき小児科疾患に関する知識を学ぶ。
小児歯科の臨床を行ううえで、留意すべき疾患や先天異常等について学び、小児科医との連携が必要な際
知っておくべき最低限の知識を学ぶ。

学生の到達目標

- ①小児救急の基礎知識を修得できる。
- ②歯科臨床において必要な小児科疾患についての知識を習得できる。
- ③小児虐待についての知識を修得できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-3-①	適切な医療面接により、患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を実施できる
A-5-1)-②	医療チームや各構成員（歯科医師、医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制を説明できる。
A-5-1)-③	保健・医療・福祉・介護における多職種連携と歯科医師の役割を説明できる。
A-5-1)-④	他の医療機関への紹介を行うための手続を説明できる。
A-7-1)-②	医療計画（医療圏、基準病床数、地域医療支援病院、病院・診療所・薬局の連携等）及び地域医療構想を説明できる。
A-7-1)-③	地域包括ケアシステム概念を理解し、地域における、保健（母子保健、学校保健、産業保健、成人・高齢者保健、地域保健、精神保健）・医療・福祉・介護の分野間及び多職種間（行政を含む）の連携の必要性を説明できる。
B-2-2)-⑥	虐待の防止に関する制度と歯科医師の責務を説明できる。
B-2-2)-⑧	地域における保健・医療・福祉・介護の連携（地域包括ケアシステム）を説明できる。
C-3-2)-③	人体の形態的な成長と機能的な発達を説明できる。
C-3-3)-(10)-①	腎臓、尿管、膀胱及び尿道の構造と機能を説明できる。
C-3-3)-(10)-②	体液の量と組成及び浸透圧の調節機構を説明できる。
C-3-3)-(10)-③	水代謝と主な電解質の出納とその異常を説明できる。
C-3-3)-(4)-①	心臓の構造、発生、機能及び心電図波形を説明できる。
C-3-3)-(4)-②	血液循環（肺循環、体循環及び胎児循環）の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。
C-3-3)-(4)-③	血管の構造と血圧調節機能を説明できる。
C-3-3)-(4)-④	血液の構成要素と役割を説明できる。
C-3-3)-(4)-⑤	リンパ管とリンパ系組織・器官の構造と機能を説明できる。
C-3-3)-(4)-⑥	造血器官と造血機構を説明できる。
C-3-3)-(4)-⑦	止血、血液凝固及び線溶の機序を説明できる。
C-3-3)-(8)-①	気道系の構造と機能を説明できる。
C-3-3)-(8)-②	肺の構造・機能と呼吸運動を説明できる。
C-3-3)-(9)-①	内分泌器官・組織の構造と機能及びホルモンの種類、作用と異常を説明できる。

連携医学II(小児科学)

開講学科	歯学科			開講年次	5年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	渡辺 幸嗣						
担当教員	渡辺 幸嗣, (非)神菌 淳司, (非)中野 慎也, (非)池田 妙, (非)長嶺 伸治, (非)沖 剛, (非)佐藤 哲司, (非)齋藤 玲子, (非)森吉 研輔						

コアカリキュラム	内容
C-3-3)-(9)-②	恒常性維持と内分泌系・神経系の機能相関を説明できる。
C-3-4)-(1)-③	腺の構造と分布及び分泌機構を説明できる。
C-3-4)-(10)-①	腎臓、尿管、膀胱及び尿道の構造と機能を説明できる。
C-3-4)-(10)-②	体液の量と組成及び浸透圧の調節機構を説明できる。
C-3-4)-(10)-③	水代謝と主な電解質の出納とその異常を説明できる。
C-3-4)-(4)-①	心臓の構造、発生、機能及び心電図波形を説明できる。
C-3-4)-(4)-②	血液循環（肺循環、体循環及び胎児循環）の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。
C-3-4)-(4)-③	血管の構造と血圧調節機能を説明できる。
C-3-4)-(4)-④	血液の構成要素と役割を説明できる。
C-3-4)-(4)-⑥	造血器官と造血機構を説明できる。
C-3-4)-(4)-⑦	止血、血液凝固及び線溶の機序を説明できる。
C-3-4)-(7)-①	気道系の構造と機能を説明できる。
C-3-4)-(8)-①	気道系の構造と機能を説明できる。
C-3-4)-(8)-②	肺の構造・機能と呼吸運動を説明できる。
C-3-4)-(9)-①	内分泌器官・組織の構造と機能及びホルモンの種類、作用と異常を説明できる。
C-4-1)-①	細菌、真菌、ウイルス及び原虫の基本的な構造と性状を説明できる。
C-4-1)-②	細菌、真菌、ウイルス及び原虫のヒトに対する感染機構と病原性を説明できる。
C-4-1)-③	感染症の種類、予防、診断及び治療を説明できる。
C-4-2)-①	自然免疫の種類と機能を説明できる。
C-4-2)-②	獲得免疫の種類と機構を説明できる。
C-4-2)-③	免疫系担当臓器・細胞の種類と機能を説明できる。
C-4-2)-④	抗原提示機能と免疫寛容を説明できる。
C-4-2)-⑤	アレルギー性疾患の種類、発症機序及び病態を説明できる。
C-4-2)-⑥	免疫不全症・自己免疫疾患の種類、発症機序及び病態を説明できる。
C-4-2)-⑦	粘膜免疫を説明できる。
C-4-2)-⑧	ワクチンの意義と種類、特徴及び副反応を説明できる。
C-5-1)-①	染色体、遺伝子及び発生の異常を説明できる。
C-5-4)-②	出血の原因、種類及び転帰を説明できる。
C-5-4)-③	血栓と塞栓の形成機序、形態的特徴、転帰及び関連疾患を説明できる。
C-5-4)-④	梗塞の種類、形態的特徴、転帰及び関連疾患を説明できる。
E-1-3)-⑤	臨床検査結果と疾患の関係を説明できる。
E-1-4)-(1)-①	バイタルサインの意義とそのモニタリングの方法を説明できる。
E-1-4)-(1)-②	血圧、脈拍数、呼吸数の測定方法と異常所見を説明できる。
E-1-4)-(1)-③	体温の測定方法を説明できる。
E-1-4)-(1)-④	意識状態の確認方法と異常所見を説明できる。
E-1-4)-(1)-⑥	患者（小児、妊産婦、高齢者を含む）の全身状態の評価を説明できる。
E-2-4)-(8)-⑥	ウイルス性唾液腺炎の特徴、症状、診断法及び治療を説明できる。
E-4-2)-⑦	小児の歯の外傷・粘膜疾患の診察、検査、診断及び、処置法及び予後を説明できる。
E-4-2)-⑩	小児患者の対応を説明できる。
E-4-2)-⑪	小児の虐待の徴候と対応を説明できる。
E-6-①	全身の症候・病態を説明できる。発熱、全身倦怠感、体重減少・増加、ショック、意識障害、脱水、浮腫、けいれん、めまい、黄疸、呼吸困難、チアノーゼ、頭痛、動悸、息切れ、胸痛、睡眠障害、嘔吐、下痢

連携医学II(小児科学)

開講学科	歯学科			開講年次	5年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	渡辺 幸嗣						
担当教員	渡辺 幸嗣, (非)神菌 淳司, (非)中野 慎也, (非)池田 妙, (非)長嶺 伸治, (非)沖 剛, (非)佐藤 哲司, (非)齋藤 玲子, (非)森吉 研輔						

コアカリキュラム	内容
E-6-②	医科疾患合併患者の歯科治療時の注意点を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
資料配布		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

相談は随時受け付け可能だが、原則、時間予約を電話、メールにて行うこと。担当教員：(代表) 渡辺 幸嗣 : 内線電話

【公欠相当の事由による遠隔対応】 事由発生時に担当教員へ相談すること。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	小児概論；小児保健・成長発達・小児科関連の国家試験出題基準について学ぶ。小児救急として、小児のBLS(Basic Life Support)・小児外傷診療・小児外科・事故予防について学ぶ。	講義	(非)神菌 淳司	【事前学習】成長発達、小児のBLS、小児の外傷、小児の事故予防	Microsoft Teams Moodle
2	電解質異常・糖尿病・腎臓；ネフローゼ症候群、急性糸球体腎炎 骨系統疾患・骨の病気として骨形成不全症、軟骨無形成症 などについて学ぶ。	講義	(非)中野 慎也	【事前学習】ネフローゼ症候群、急性糸球体腎炎、骨形成不全症、軟骨無形成症	Microsoft Teams Moodle
3	神経疾患；熱性けいれん、てんかん、脳性まひなど 筋肉の病気；脊髄性筋萎縮症、筋ジストロフィー について学ぶ。	講義	(非)池田 妙	【事前学習】熱性けいれん、てんかん、脳性麻痺	Microsoft Teams Moodle

連携医学II(小児科学)

開講学科	歯学科			開講年次	5年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	渡辺 幸嗣						
担当教員	渡辺 幸嗣, (非)神菌 淳司, (非)中野 慎也, (非)池田 妙, (非)長嶺 伸治, (非)沖 剛, (非)佐藤 哲司, (非)齋藤 玲子, (非)森吉 研輔						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
4	呼吸・循環器・先天性心奇形、感染性心内膜炎、川崎病について学ぶ。	講義	(非)長嶺 伸治	【事前学習】小児の呼吸、循環、先天性心奇形、後天性心疾患、感染性心内膜炎	Microsoft Teams Moodle
5	感染症；各種炎症性疾患、ウイルス性発疹症 免疫・アレルギー；気管支喘息、アトピー性皮膚炎などについて学ぶ。	講義	(非)沖 剛	【事前学習】炎症性疾患、ウイルス性発疹症、気管支喘息、アトピー性皮膚炎	Microsoft Teams Moodle
6	血液・腫瘍・出血傾向・免疫・膠原病について学ぶ。	講義	(非)佐藤 哲司	【事前学習】血液、腫瘍、出血傾向、免疫、膠原病	Microsoft Teams Moodle
7	新生児・先天異常・遺伝性の病気 内分泌 低身長・甲状腺疾患・メタボリックローム ダウン症、口唇口蓋裂など一般的病気 歯科医として知っておくべき疾患 について学ぶ。	講義	(非)齋藤 玲子	【事前学習】先天異常、内分泌疾患、ダウン症	Microsoft Teams Moodle
8	虐待とネグレクト 心身症；不登校、起立性調節障害、摂食障害など精神疾患 について学ぶ。	講義	(非)森吉 研輔	【事前学習】小児虐待、心身症	Microsoft Teams Moodle

連携医学III(精神・心身医学)

開講学科	歯学科			開講年次	5年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	歯学科長						
担当教員	歯学科長, (非)安田 弘之						

授業の概要

歯科治療を受ける患者の背景は様々であり、その中には精神疾患、心身症を持つ患者も含まれる。これらの疾患が歯科疾患と独立してある場合もあれば、精神疾患あるいは心身症の一身体症状として口腔領域の症状を呈している場合もある。前者の場合は患者を一人の人間として相対するうえで疾患に対する知識が必要となり、後者の場合は疾患の知識がないと歯科治療そのものを適切に行うことができない。歯科医師として、精神疾患および歯科心身症患者に適切に対応できるための知識が得られるよう、各種疾患について解説を行う。

学生の到達目標

- ①精神疾患の症状と治療について知識を得る。
- ②歯科心身症の病態・症状を理解し、適切に対処できるための知識を習得できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
E-1-1)-①	診察、検査及び診断に必要な事項を列挙できる。
E-1-1)-②	診察、検査及び診断に必要な器材を説明できる。
E-1-1)-③	病歴聴取（主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、社会歴・職業歴等）を説明できる。
E-1-1)-④	現症の取り方（視診、触診、打診、聴診等）を説明できる。
E-1-1)-⑤	診療室における患者の心理と行動を説明できる。
E-1-1)-⑥	診断に必要な検査を列挙できる。
E-1-1)-⑦	問題志向型診療記録(problem-oriented medical record <POMR>)を説明できる。
E-1-1)-⑧	インフォームド・コンセントを説明できる。
E-1-4)-(1)-⑤	患者の服用薬物の歯科治療への影響と歯科治療時の対応を説明できる。
E-5-2)-①	障害者の身体的、精神的及び心理的特徴を説明できる。
E-5-2)-②	障害者の行動調整（行動管理）と歯科治療に必要な注意点を説明できる。
E-5-2)-③	障害者における歯科治療の特殊性を説明できる。
E-5-3)-①	心身相関を説明できる。
E-5-3)-②	口腔顔面領域に関連して現れる精神・心身医学的病態を説明できる。
E-5-3)-⑥	心身医学的治療を説明できる。
E-6-①	全身の症候・病態を説明できる。発熱、全身倦怠感、体重減少・増加、ショック、意識障害、脱水、浮腫、けいれん、めまい、黄疸、呼吸困難、チアノーゼ、頭痛、動悸、息切れ、胸痛、睡眠障害、嘔吐、下痢
E-6-②	医科疾患合併患者の歯科治療時の注意点を説明できる。
E-6-③	妊産婦の歯科医療時の注意点を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
資料配布		

連携医学III(精神・心身医学)

開講学科	歯学科			開講年次	5年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	歯学科長						
担当教員	歯学科長, (非)安田 弘之						

成績評価方法・基準

評価項目	割合
確認テスト	100%

その他

オフィスアワーは電話、FAXにて質問に応じる。（安田クリニック 電話番号：093-551-7737、FAX番号：093-551-7803）

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	患者心理理解のための総論 適切な歯科医師-患者関係の構築、患者への説明における注意点等について学ぶ。身体症状を訴えるものの、器質的異常を認めない患者への適切な対応について学ぶ。	講義	(非)安田 弘之	【事前学習】歯科医師-患者関係	601講義室
2	気分障害 気分障害患者に対し、歯科治療上留意すべき点について学ぶ。	講義	(非)安田 弘之	【事前学習課題】気分障害	601講義室
3	身体表現性障害 口腔領域に主訴を持つ身体表現性障害患者の特徴を学ぶ。歯科治療を求めて来院した本症患者に対して、歯科医師としての対処法および専門医への紹介の仕方について学ぶ。	講義	(非)安田 弘之	【事前学習】身体表現性障害	601講義室
4	口臭恐怖症 口臭恐怖症を理解するため、口臭以外の症例を含め自己臭恐怖の症状の特徴について全般的に学ぶ。口臭恐怖症を鑑別するための知識および適切な対応について学ぶ。	講義	(非)安田 弘之	【事前学習】口臭恐怖症	601講義室

連携医学III(精神・心身医学)

開講学科	歯学科			開講年次	5年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	歯学科長						
担当教員	歯学科長, (非)安田 弘之						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
5	不安障害 パニック障害の病態、症状を基本モデルとして学ぶ。歯科治療に不安を抱く不安障害患者の心理を理解し、歯科治療を行う上での適切な対応について学ぶ。	講義	(非)安田 弘之	【事前学習】不安障害	601講義室
6	精神病性障害、せん妄、摂食障害各種疾患の症状、治療、対応について学ぶ。	講義	(非)安田 弘之	【事前学習】精神病性障害、せん妄、摂食障害	601講義室
7	歯科診療における向精神薬への臨床的理解 歯科診療において、向精神薬の副作用（唾液分泌の減少に伴う症状等）は、しばしば診るところであるが、これを診た時、原疾患への配慮とともに患者心理への配慮も併せて行わなければならない。患者を全人的に診る上での必要な知識について学ぶ。	講義	(非)安田 弘之	【事前学習】向精神薬	601講義室
8	確認テスト	試験	(非)安田 弘之	これまでの講義の復習	601講義室

地域包括医療学

開講学科	歯学科			開講年次	5年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	安細 敏弘						
担当教員	安細 敏弘, 竹内 弘, 歯学科長, 福原 正代, (非)中島 健, (非)川本 博也 ※氏名の後ろに (診療科名) の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

授業の概要

(地域社会における歯科医療と医科歯科連携・多職種連携) 地域医療・地域保健のしくみと現状および課題を理解し、地域医療への貢献について学習する。

(病人役割・病気行動) 病気になるとは、単に心身に不調を経験することではなく、病人という社会的な地位につくことであることを理解する。

(医療コミュニケーション) 患者-医療者関係、患者からの情報収集および患者への説明や教育の3点が医療コミュニケーションの目的であること、ならびに現場で求められるコミュニケーションについて学ぶ。

(システムとしての地域医療) 地域医療の構成要素である多職種専門家、医療機関の役割ならびに自治体を含めた地域医療体制について学ぶ。

(地域包括ケアシステム) 病院完結型から地域完結型の医療に向けた取組と課題、さらにはまちづくりとスマートシティ構想について学ぶ。

(周術期口腔機能管理) 地域での歯科医師や総合病院内の歯科医師ならびに内科医による医科歯科連携の現状と課題について学ぶ。本講義では、地域医療ならびに多職種連携を進める地域包括ケアのしくみと役割について概説する。

学生の到達目標

(地域社会における歯科医療と医科歯科連携・多職種連携) 地域医療・地域保健のしくみと現状および課題を理解し、地域医療への貢献について概説できる。

(医療コミュニケーション) 医療コミュニケーションの目的について説明できる。

(システムとしての地域医療) 地域医療の構成要素である多職種専門家、医療機関の役割ならびに自治体を含めた地域医療体制について説明できる。

(地域包括ケアシステム) 病院完結型から地域完結型の医療に向けた取組と課題、さらにはまちづくりとスマートシティ構想について説明できる。

(周術期口腔機能管理) 地域での歯科医師や総合病院内の歯科医師ならびに内科医による医科歯科連携の現状と課題について概説できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
GE-05	歯科医療にとどまらず、患者・生活者の社会文化的背景を理解した上で、他職種や他業種との多職種連携を実践できる。
IP	多職種連携能力(Interprofessional Collaboration)/患者中心の歯科医療を提供するために、医療、保健、福祉、介護及び患者に関わる全ての人々の役割を理解し、お互いに対等な関係性を築きながら、チームとして協働していく。
IP-01	医療チームや各構成員(歯科医師、医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、その他の医療職)の役割分担と連携・責任体制を理解している。
IP-02	医療、保健、福祉、介護における歯科医師の役割を理解している。
IP-03	患者を取り巻く医療、保健、福祉、介護における多職種とそれぞれの役割を踏まえて連携できる。

地域包括医療学

開講学科	歯学科			開講年次	5年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	安細 敏弘						
担当教員	安細 敏弘, 竹内 弘, 歯学科長, 福原 正代, (非)中島 健, (非)川本 博也 ※氏名の後ろに (診療科名) の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

コアカリキュラム	内容
PR-02	患者、生活者の心理的、社会的要因や社会背景に配慮し、尊厳を尊重し、利他的、誠実、正直、公平公正に行動できる。
PS-10	医療・保健・福祉・介護に関する制度を理解している。
SO-03	医療、保健、福祉、介護とそれを取り巻く社会環境を理解している。
SO-04	社会や地域における歯科医療の現状を理解し、口腔の健康を通じて全身の健康の増進の活動に積極的に参加できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
資料配布 (moodle、Teams を使用。)		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	50%
一部の講義についてはレポートを課し、その内容を評価する。	50%

その他

(教員名：安細敏弘) 質問の受付および回答は講義終了後ないしオフィスアワーに受けつける。オフィスアワーは通常、月～金の午後5時～6時とする (11階研究室など)。相談時間予約にメールを利用することができる。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	医療の歴史と医療化および病気行動・受診行動について学習する。	講義	安細 敏弘	キーワード：医療の歴史、医師－患者関係、病気行動・受診行動	601講義室 Moodle
2	医療コミュニケーションについて学習する。チーム医療・多職種連携・地域完結型医療について学習する。	講義	安細 敏弘	キーワード：チーム医療、多職種連携、地域完結型医療	601講義室 Moodle

地域包括医療学

開講学科	歯学科		開講年次	5年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	安細 敏弘						
担当教員	安細 敏弘, 竹内 弘, 歯学科長, 福原 正代, (非)中島 健, (非)川本 博也 ※氏名の後ろに (診療科名) の記載がある教員は、本学附属病院の診療科にて実務経験を有する。						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
3	システムとしての地域医療一人的要素・医療機関・自治体の連携について学習する。	講義	安細 敏弘	キーワード： 地域医療システム論、多職種専門家	601 講義室 Moodle
4	地域包括ケアシステムについて学習する。健康づくりに向けたスマートシティ構想を学習する。	講義	安細 敏弘	キーワード： 地域包括ケア、地域ケア会議、スマートシティ	601 講義室 Moodle
5	周術期口腔機能管理の実際ー開業医からみた医科歯科連携の実際について学習する。	講義	(非)川本 博也	キーワード： 周術期口腔機能管理、医科歯科連携	601 講義室 Moodle
6	地域医療の現場からー総合病院歯科からみた医科歯科連携の実際について学習する。	講義	(非)中島 健	キーワード： 医科歯科連携	601 講義室 Moodle
7	内科医からみた医科歯科連携の現状と課題	講義	福原 正代	キーワード： 医科歯科連携	601 講義室 Moodle
8	次世代に向けた歯科における地域支援型病院のあり方と仮題	講義	安細 敏弘	キーワード： 地域支援型、多機能病院	601 講義室 Moodle

(A)英語I

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	海寶 康臣						
担当教員	海寶 康臣						

授業の概要

この科目では、読む力を中心に総合的な英語運用能力を向上させるために、授業の内外で様々な課題に取り組む。授業では、医療従事者に必要な知識や情報を英語で収集する力を養う。授業を通して、意味的なまとまりごとに後戻りせず英文を読む習慣を身につけるとともに、パラグラフ単位で英文の内容を理解する力を身につけてもらう。また、医療に関わる語彙を増やすことにも力を入れる。読む力の向上を最も重視するが、書く力、聞く力、話す力の基礎を固めるための活動も行う。更には、グローバルマインドやリサーチマインドの涵養も行う。

学生の到達目標

- ①専門分野に関する情報を英語で収集するための基礎を身につける。
- ②意味的なまとまりごとに後戻りせず英文を読む習慣を身につける。
- ③パラグラフごとにメイン・アイデアを把握しながら読むことができるようになる。
- ④自分の意見を構成が整ったパラグラフで表現することができるようになる。
- ⑤医療に関することが話題になっている会話を聞いて、内容を理解することができるようになる。
- ⑥テキストで扱われている題材や身近な話題について自分の考えを言えるようになる。
- ⑦語彙力の増強（とりわけ、医療に関わる語彙）
- ⑧適切な英語の学習習慣を身につける。
- ⑨積極的に英語を用いてコミュニケーションを取る習慣を身につける。

テキスト

タイトル	著者	出版社
The Hospital Team: English for Medical Specialists 医療系学生 のための総合英語	高津昌宏他	南雲堂

参考書

タイトル	著者	出版社
授業中に適宜紹介する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	60%
小テスト（毎回実施）	10%
提出物	20%
授業中の活動	10%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】月～金曜日に随時受け付ける。原則として時間予約をメールにて行うこと。

(A)英語I

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	海寶 康臣						
担当教員	海寶 康臣						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	オリエンテーション	講義、演習	海寶 康臣	英語による1分程度の自己紹介ができるように準備しておくこと。	301講義室
2	事前テスト Unit 1 The Human Body人間の体について英語で学ぶ。	講義	海寶 康臣	Class 1 Homework	301講義室
3	Unit 1 The Human Body人間の体について英語で学ぶ。	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 2 Homework Unit 1 The Human Bodyの予習と歯科医学および医学関連の単語の学習	301講義室
4	Unit 2 Nutrition and Fitness高カロリーと健康について英語で学ぶ。	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 3 Homework Unit 2 Nutrition and Fitnessの予習と歯科医学および医学関連の単語の学習	301講義室
5	Unit 3 Common Diseases伝染病について英語で学ぶ。	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 4 Homework Unit 3 Common Diseasesの予習と歯科医学および医学関連の単語の学習	301講義室
6	Unit 4 Hygiene and Public Health個人と公衆の衛生管理について英語で学ぶ。	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 5 Homework Unit 4 Hygiene and Public Healthの予習と歯科医学および医学関連の単語の学習	301講義室
7	Unit 5 Reforming Japanese Healthcare日本の医療の改善策について英語で学ぶ。	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 6 Homework Unit 5 Reforming Japanese Healthcareの予習と歯科医学および医学関連の単語の学習	301講義室

(A)英語I

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	海寶 康臣						
担当教員	海寶 康臣						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
8	Unit 6 Needlestick Injuries in Medicine医療における「針刺し損傷」について英語で学ぶ。	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 7 Homework Unit 6 Needlestick Injuries in Medicineの予習と歯科医学および医学関連の単語の学習	301講義室
9	Unit 7 Dr. Kitasato and the Development of Medicine in Japan北里柴三郎と医療について英語で学ぶ。	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 8 Homework Unit 7 Dr. Kitasato and the Development of Medicine in Japanの予習と歯科医学および医学関連の単語の学習	301講義室
10	Unit 8 The Medical Laboratory Technologist臨床検査技師の仕事について英語で学ぶ。	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 9 Homework Unit 8 The Medical Laboratory Technologistの予習と歯科医学および医学関連の単語の学習	301講義室
11	Unit 9 Clinical Engineering臨床工学技士の仕事について英語で学ぶ。	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 10 Homework Unit 9 Clinical Engineeringの予習と歯科医学および医学関連の単語の学習	301講義室
12	Unit 10 Radiological Technology診療放射線技術について英語で学ぶ。	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 11 Homework Unit 10 Radiological Technologyの予習と歯科医学および医学関連の単語の学習	301講義室
13	Unit 11 Physical Therapy理学療法士とその仕事について英語で学ぶ。	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 12 Homework Unit 11 Physical Therapyの予習と歯科医学および医学関連の単語の学習	301講義室

(A)英語I

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	海寶 康臣						
担当教員	海寶 康臣						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
14	Unit 12 Working in Occupational Therapy作業療法士の仕事について英語で学ぶ。	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 13 Homework Unit 12 Working in Occupational Therapy作業療法士の仕事について英語で学ぶ。	301講義室
15	Unit 15 Why Is Team Medical Treatment Necessary?チーム医療の必要性について英語で学ぶ。	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 14 Homework Unit 15 Why Is Team Medical Treatment Necessary?の予習と歯科医学および医学関連の単語の学習	301講義室

(B)英語I

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	海寶 康臣						
担当教員	海寶 康臣						

授業の概要

この科目では、読む力を中心に総合的な英語運用能力を向上させるために、授業の内外で様々な課題に取り組む。授業では、医療従事者に必要な知識や情報を英語で収集する力を養う。授業を通して、意味的なまとまりごとに後戻りせず英文を読む習慣を身につけるとともに、パラグラフ単位で英文の内容を理解する力を身につけてもらう。また、医療に関わる語彙を増やすことにも力を入れる。読む力の向上を最も重視するが、書く力、聞く力、話す力の基礎を固めるための活動も行う。更には、グローバルマインドやリサーチマインドの涵養も行う。

学生の到達目標

- ①専門分野に関する情報を英語で収集するための基礎を身につける。
- ②意味的なまとまりごとに後戻りせず英文を読む習慣を身につける。
- ③パラグラフごとにメイン・アイデアを把握しながら読むことができるようになる。
- ④自分の意見を構成が整ったパラグラフで表現することができるようになる。
- ⑤医療に関することが話題になっている会話を聞いて、内容を理解することができるようになる。
- ⑥テキストで扱われている題材や身近な話題について自分の考えを言えるようになる。
- ⑦語彙力の増強（とりわけ、医療に関わる語彙）
- ⑧適切な英語の学習習慣を身につける。
- ⑨積極的に英語を用いてコミュニケーションを取る習慣を身につける。

テキスト

タイトル	著者	出版社
The Hospital Team: English for Medical Specialists 医療系学生 のための総合英語	高津昌宏他	南雲堂

参考書

タイトル	著者	出版社
授業中に適宜紹介する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	60%
小テスト（毎回実施）	10%
提出物	20%
授業中の活動	10%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】月～金曜日に随時受け付ける。原則として時間予約をメールにて行うこと。

(B)英語I

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	海寶 康臣						
担当教員	海寶 康臣						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	オリエンテーション	講義、演習	海寶 康臣	英語による1分程度の自己紹介ができるように準備しておくこと。	301講義室
2	事前テスト Unit 1 The Human Body人間の体について英語で学ぶ。	講義	海寶 康臣	Class 1 Homework	301講義室
3	Unit 1 The Human Body人間の体について英語で学ぶ。	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 2 Homework Unit 1 The Human Bodyの予習と歯科医学および医学関連の単語の学習	301講義室
4	Unit 2 Nutrition and Fitness高カロリーと健康について英語で学ぶ。	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 3 Homework Unit 2 Nutrition and Fitnessの予習と歯科医学および医学関連の単語の学習	301講義室
5	Unit 3 Common Diseases伝染病について英語で学ぶ。	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 4 Homework Unit 3 Common Diseasesの予習と歯科医学および医学関連の単語の学習	301講義室
6	Unit 4 Hygiene and Public Health個人と公衆の衛生管理について英語で学ぶ。	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 5 Homework Unit 4 Hygiene and Public Healthの予習と歯科医学および医学関連の単語の学習	301講義室
7	Unit 5 Reforming Japanese Healthcare日本の医療の改善策について英語で学ぶ。	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 6 Homework Unit 5 Reforming Japanese Healthcareの予習と歯科医学および医学関連の単語の学習	301講義室

(B)英語I

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	海寶 康臣						
担当教員	海寶 康臣						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
8	Unit 6 Needlestick Injuries in Medicine医療における「針刺し損傷」について英語で学ぶ。	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 7 Homework Unit 6 Needlestick Injuries in Medicineの予習と歯科医学および医学関連の単語の学習	301講義室
9	Unit 7 Dr. Kitasato and the Development of Medicine in Japan北里柴三郎と医療について英語で学ぶ。	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 8 Homework Unit 7 Dr. Kitasato and the Development of Medicine in Japanの予習と歯科医学および医学関連の単語の学習	301講義室
10	Unit 8 The Medical Laboratory Technologist臨床検査技師の仕事について英語で学ぶ。	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 9 Homework Unit 8 The Medical Laboratory Technologistの予習と歯科医学および医学関連の単語の学習	301講義室
11	Unit 9 Clinical Engineering臨床工学技士の仕事について英語で学ぶ。	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 10 Homework Unit 9 Clinical Engineeringの予習と歯科医学および医学関連の単語の学習	301講義室
12	Unit 10 Radiological Technology診療放射線技術について英語で学ぶ。	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 11 Homework Unit 10 Radiological Technologyの予習と歯科医学および医学関連の単語の学習	301講義室
13	Unit 11 Physical Therapy理学療法士とその仕事について英語で学ぶ。	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 12 Homework Unit 11 Physical Therapyの予習と歯科医学および医学関連の単語の学習	301講義室

(B)英語I

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	海寶 康臣						
担当教員	海寶 康臣						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
14	Unit 12 Working in Occupational Therapy作業療法士の仕事について英語で学ぶ。	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 13 Homework Unit 12 Working in Occupational Therapy作業療法士の仕事について英語で学ぶ。	301講義室
15	Unit 15 Why Is Team Medical Treatment Necessary?チーム医療の必要性について英語で学ぶ。	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 14 Homework Unit 15 Why Is Team Medical Treatment Necessary?の予習と歯科医学および医学関連の単語の学習	301講義室

(A)英語II

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	海寶 康臣						
担当教員	海寶 康臣						

授業の概要

この科目では、歯科学生にとって必要な英語運用能力を養うことを目指し、授業の内外で様々な課題に取り組む。聞く力と話す力を向上させるための教材として、テキストの各単元の歯科診療場面での医療面接における対話を用いる。対話に登場する歯科医療人が産出する発話が果たす役割についても考えてもらう。読む力に関しては、テキストの各単元の文章を用いて、意味的なまとまりごとに後戻りせず英文を読む習慣を身につけるとともに、パラグラフ単位で英文の内容を理解する力を身につけてもらう。書く力に関しては、自分の意見を構成が整ったパラグラフで表現する課題に取り組んでもらう。この科目では、歯科学術用語の増強にも力を入れる。更には、グローバルマインドやリサーチマインドの涵養も行う。

学生の到達目標

- ①歯科診療場面での医療面接の内容を理解することができるようになる。
- ②授業で学んだ歯科診療場面で役立つ表現を使うことができる。
- ③積極的に英語を用いてコミュニケーションを取る習慣を身につける。
- ④意味的なまとまりごとに後戻りせず英文を読む習慣を身につける。
- ⑤パラグラフごとにメイン・アイデアを把握しながら読むことができるようになる。
- ⑥自分の意見を構成が整ったパラグラフで表現することができるようになる。
- ⑦語彙力の増強（とりわけ、医療に関わる語彙）
- ⑧適切な英語の学習習慣を身につける。

テキスト

タイトル	著者	出版社
歯科学生のための医学英語 第2版	影山幾男 羽村章 編 集	学建書院

参考書

タイトル	著者	出版社
授業中に適宜紹介する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	60%
小テスト（毎回実施）	10%
提出物	20%
授業中の活動	10%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】月～金曜日に随時受け付ける。原則として時間予約をメールにて行うこと。

(A)英語II

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	海寶 康臣						
担当教員	海寶 康臣						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	オリエンテーション フリーライティング、スピーキング	講義、小テスト	海寶 康臣	英語を用いて1分程度で夏休み中の出来事について話す準備をしておくこと。	301講義室
2	Unit 1 Dental Terminology 歯科専門用語について学ぶ	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 1 Homework Unit 1 Dental Terminologyの予習	301講義室
3	Unit 2 Toothache 歯痛について英語で学ぶ。	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 2 Homework Unit 2 Toothacheの予習	301講義室
4	Unit 3 Severe Dental Anxiety 重度の歯科恐怖症について学ぶ	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 3 Homework Unit 3 Severe Dental Anxietyの予習	301講義室
5	Unit 4 Oral Hygiene 口腔衛生について英語で学ぶ。	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 4 Homework Unit 4 Oral Hygieneの予習	301講義室
6	Unit 5 Periodontal Disease 歯周病について英語で学ぶ。 Unit 5 Bell's Palsy 顔面神経麻痺について英語で学ぶ。	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 5 Homework Unit 5 Periodontal Diseaseの予習	301講義室
7	Unit 6 Dental Implants 歯科インプラントについて学ぶ	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 6 Homework Unit 6 Dental Implantsの予習	301講義室
8	Unit 7 Cleft Lip 口唇裂について英語で学ぶ。	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 7 Homework Unit 7 Cleft Lipの予習	301講義室
9	Unit 8 Leukoplakia 白板症について英語で学ぶ。	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 8 Homework Unit 8 Leukoplakiaの予習	301講義室
10	Unit 9 Herpes Simplex 単純疱疹について英語で学ぶ。	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 9 Homework Unit 9 Herpes Simplexの予習	301講義室

(A)英語II

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	海寶 康臣						
担当教員	海寶 康臣						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
11	Unit 10 The Temporomandibular Joint 顎関節について英語で学ぶ。	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 10 Homework Unit 10 The Temporomandibular Jointの予習	301 講義室
12	Unit 11 Sialolithiasis 唾石症について英語で学ぶ。	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 11 Homework Unit 11 Sialolithiasisの予習	301 講義室
13	Unit 13 Trigeminal Neuralgia 三叉神経痛について英語で学ぶ。	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 12 Homework Unit 13 Trigeminal Neuralgiaの予習	301 講義室
14	Unit 14 Paranasal Sinusitis 副鼻腔炎について英語で学ぶ。	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 13 Homework Unit 14 Paranasal Sinusitisの予習	301 講義室
15	まとめ 事後テスト	演習、小テスト	海寶 康臣	総復習	301 講義室

(B)英語II

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	海寶 康臣						
担当教員	海寶 康臣						

授業の概要

この科目では、歯科学生にとって必要な英語運用能力を養うことを目指し、授業の内外で様々な課題に取り組む。聞く力と話す力を向上させるための教材として、テキストの各単元の歯科診療場面での医療面接における対話を用いる。対話に登場する歯科医療人が産出する発話が果たす役割についても考えてもらう。読む力に関しては、テキストの各単元の文章を用いて、意味的なまとまりごとに後戻りせず英文を読む習慣を身につけるとともに、パラグラフ単位で英文の内容を理解する力を身につけてもらう。書く力に関しては、自分の意見を構成が整ったパラグラフで表現する課題に取り組んでもらう。この科目では、歯科学術用語の増強にも力を入れる。更には、グローバルマインドやリサーチマインドの涵養も行う。

学生の到達目標

- ①歯科診療場面での医療面接の内容を理解することができるようになる。
- ②授業で学んだ歯科診療場面で役立つ表現を使うことができる。
- ③積極的に英語を用いてコミュニケーションを取る習慣を身につける。
- ④意味的なまとまりごとに後戻りせず英文を読む習慣を身につける。
- ⑤パラグラフごとにメイン・アイデアを把握しながら読むことができるようになる。
- ⑥自分の意見を構成が整ったパラグラフで表現することができるようになる。
- ⑦語彙力の増強（とりわけ、医療に関わる語彙）
- ⑧適切な英語の学習習慣を身につける。

テキスト

タイトル	著者	出版社
歯科学生のための医学英語 第2版	影山幾男 羽村章 編 集	学建書院

参考書

タイトル	著者	出版社
授業中に適宜紹介する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	60%
小テスト（毎回実施）	10%
提出物	20%
授業中の活動	10%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】月～金曜日に随時受け付ける。原則として時間予約をメールにて行うこと。

(B)英語II

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	海寶 康臣						
担当教員	海寶 康臣						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	オリエンテーション フリーライティング、スピーキング	講義、小テスト	海寶 康臣	英語を用いて1分程度で夏休み中の出来事について話す準備をしておくこと。	301講義室
2	Unit 1 Dental Terminology 歯科専門用語について学ぶ	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 1 Homework Unit 1 Dental Terminologyの予習	301講義室
3	Unit 2 Toothache 歯痛について英語で学ぶ。	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 2 Homework Unit 2 Toothacheの予習	301講義室
4	Unit 3 Severe Dental Anxiety 重度の歯科恐怖症について学ぶ	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 3 Homework Unit 3 Severe Dental Anxietyの予習	301講義室
5	Unit 4 Oral Hygiene 口腔衛生について英語で学ぶ。	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 4 Homework Unit 4 Oral Hygieneの予習	301講義室
6	Unit 5 Periodontal Disease 歯周病について英語で学ぶ。 Unit 5 Bell's Palsy 顔面神経麻痺について英語で学ぶ。	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 5 Homework Unit 5 Periodontal Diseaseの予習	301講義室
7	Unit 6 Dental Implants 歯科インプラントについて学ぶ	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 6 Homework Unit 6 Dental Implantsの予習	301講義室
8	Unit 7 Cleft Lip 口唇裂について英語で学ぶ。	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 7 Homework Unit 7 Cleft Lipの予習	301講義室
9	Unit 8 Leukoplakia 白板症について英語で学ぶ。	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 8 Homework Unit 8 Leukoplakiaの予習	301講義室
10	Unit 9 Herpes Simplex 単純疱疹について英語で学ぶ。	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 9 Homework Unit 9 Herpes Simplexの予習	301講義室

(B)英語II

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	海寶 康臣						
担当教員	海寶 康臣						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
11	Unit 10 The Temporomandibular Joint 顎関節について英語で学ぶ。	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 10 Homework Unit 10 The Temporomandibular Jointの予習	301 講義室
12	Unit 11 Sialolithiasis 唾石症について英語で学ぶ。	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 11 Homework Unit 11 Sialolithiasisの予習	301 講義室
13	Unit 13 Trigeminal Neuralgia 三叉神経痛について英語で学ぶ。	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 12 Homework Unit 13 Trigeminal Neuralgiaの予習	301 講義室
14	Unit 14 Paranasal Sinusitis 副鼻腔炎について英語で学ぶ。	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 13 Homework Unit 14 Paranasal Sinusitisの予習	301 講義室
15	まとめ 事後テスト	演習、小テスト	海寶 康臣	総復習	301 講義室

(A)英語論文講読入門

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	海寶 康臣						
担当教員	海寶 康臣						

授業の概要

この授業では、歯科医学に関する英語論文の読み方を学ぶ。学期の前半は科学で使われる英語と英語論文の特徴を学ぶために、日本医学教育学会が編集したテキストを使用する。学期後半は、リサーチマインドを涵養するために敢えて既製のテキストは使用せず、口腔疾患に関する最新の文献をテキストとして利用する。受講者は同分野の英語論文の一般的な構成を理解し、セクションおよびパラグラフ単位で要点を正確に把握する力を養う。また、目的に応じた効果的な読み方と、同分野の英語論文に頻出する単語や表現についても学ぶ。

学生の到達目標

- ① 歯科医学に関する英語論文の一般的な構成と各構成要素の特徴を理解する。
- ② 抄録 (abstract) から論文の要点と全体像を把握することができる。
- ③ セクションおよびパラグラフ単位で要点を把握する力を身につける。
- ④ 歯科医学に関する英語論文に頻出する単語や表現を習得する。
- ⑤ 英語で歯科医学に関する論文を書くための素地を養う。
- ⑥ グローバルマインドを得るために英語による歯科医学に関する国際的な情報を収集・読解する能力を身につける。

テキスト

タイトル	著者	出版社
講義録医学英語Ⅱ	日本医学英語教育学会 / Nell L. Kennedy, 菱田治子	メジカルビュー社

参考書

タイトル	著者	出版社
授業中に適宜紹介する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	60%
小テスト (毎回実施)	10%
提出物	20%
授業中の活動	10%

その他

【オフィスアワー (学習相談)】 月～金曜日に随時受け付ける。原則として時間予約をメールにて行うこと。

(A)英語論文講読入門

開講学科	歯学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	海寶 康臣						
担当教員	海寶 康臣						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	オリエンテーション、昨年度の復習	講義、演習小テスト	海寶 康臣	英語Ⅰ、英語Ⅱで学んだ歯科医学および医学関連の単語の復習	401講義室
2	医学論文の基本（テキストChapter 7）タイトル、抄録、医学論文の構成、昨年度の復習	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 1 Homework テキストChapter 7の予習	401講義室
3	一般紙の医学関連記事を読む（テキストChapter 1）科学英語の特徴	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 2 Homework テキストChapter 1の予習	401講義室
4	一般紙の医学関連記事を読む（テキストChapter 2）科学英語の特徴	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 3 Homework テキストChapter 2の予習	401講義室
5	一般紙の医学関連記事を読む（テキストChapter 3）科学英語の特徴	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 4 Homework テキストChapter 3の予習	401講義室
6	医学論文の基本（テキストChapter 8）Introductionには何が書かれているのか？	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 5 Homework テキストChapter 8の予習	401講義室
7	医学論文の基本（テキストChapter 9）MethodsとResultsには何が書かれているのか？	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 6 Homework テキストChapter 9の予習	401講義室
8	医学論文の基本（テキストChapter 10）MethodsとResultsには何が書かれているのか？	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 7 Homework テキストChapter 10の予習	401講義室
9	歯科医学に関する英語論文の抄録の講読タイトルからの論文の内容や結論の推測、抄録の構成の理解	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 8 Homework Class 8の授業でタイトルと著者を提示する論文の抄録を受講者各自が入手し、予習をしておくこと	401講義室

(A)英語論文講読入門

開講学科	歯学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	海寶 康臣						
担当教員	海寶 康臣						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
10	歯科医学に関する英語論文の抄録の講読タイトルからの論文の内容や結論の推測、抄録の構成の理解	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 9 Homework Class 9の授業でタイトルと著者を提示する論文の抄録を受講者各自が入手し、予習をしておくこと	401講義室
11	歯科医学に関する原著論文(Original Article)の講読各セクションを読む際の注意点の確認各セクションの要点の把握、歯科医学に関する英語論文に頻出する単語や表現の確認	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 10 Homework Class 8の授業でタイトルと著者を提示する原著論文の予習	401講義室
12	歯科医学に関する原著論文(Original Article)の講読各セクションを読む際の注意点の確認各セクションの要点の把握、歯科医学に関する英語論文に頻出する単語や表現の確認	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 11 Homework Class 8の授業でタイトルと著者を提示する原著論文の予習	401講義室
13	歯科医学に関する原著論文(Original Article)の講読各セクションを読む際の注意点の確認各セクションの要点の把握、歯科医学に関する英語論文に頻出する単語や表現の確認	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 12 Homework Class 8の授業でタイトルと著者を提示する原著論文の予習	401講義室
14	歯科医学に関する原著論文(Original Article)の講読各セクションを読む際の注意点の確認各セクションの要点の把握、歯科医学に関する英語論文に頻出する単語や表現の確認	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 13 Homework Class 8の授業でタイトルと著者を提示する原著論文の予習	401講義室
15	この科目で学んだことの確認	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 14 Homework Class 8の授業でタイトルと著者を提示する原著論文の予習	401講義室

(B)英語論文講読入門

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	海寶 康臣						
担当教員	海寶 康臣						

授業の概要

この授業では、歯科医学に関する英語論文の読み方を学ぶ。学期の前半は科学で使われる英語と英語論文の特徴を学ぶために、日本医学教育学会が編集したテキストを使用する。学期後半は、リサーチマインドを涵養するために敢えて既製のテキストは使用せず、口腔疾患に関する最新の文献をテキストとして利用する。受講者は同分野の英語論文の一般的な構成を理解し、セクションおよびパラグラフ単位で要点を正確に把握する力を養う。また、目的に応じた効果的な読み方と、同分野の英語論文に頻出する単語や表現についても学ぶ。

学生の到達目標

- ① 歯科医学に関する英語論文の一般的な構成と各構成要素の特徴を理解する。
- ② 抄録 (abstract) から論文の要点と全体像を把握することができる。
- ③ セクションおよびパラグラフ単位で要点を把握する力を身につける。
- ④ 歯科医学に関する英語論文に頻出する単語や表現を習得する。
- ⑤ 英語で歯科医学に関する論文を書くための素地を養う。
- ⑥ グローバルマインドを得るために英語による歯科医学に関する国際的な情報を収集・読解する能力を身につける。

テキスト

タイトル	著者	出版社
講義録医学英語Ⅱ	日本医学英語教育学会 / Nell L. Kennedy, 菱田治子	メジカルビュー社

参考書

タイトル	著者	出版社
授業中に適宜紹介する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	60%
小テスト (毎回実施)	10%
提出物	20%
授業中の活動	10%

その他

【オフィスアワー (学習相談)】 月～金曜日に随時受け付ける。原則として時間予約をメールにて行うこと。

(B)英語論文講読入門

開講学科	歯学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	海寶 康臣						
担当教員	海寶 康臣						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	オリエンテーション、昨年度の復習	講義、演習小テスト	海寶 康臣	英語Ⅰ、英語Ⅱで学んだ歯科医学および医学関連の単語の復習	401講義室
2	医学論文の基本（テキストChapter 7）タイトル、抄録、医学論文の構成、昨年度の復習	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 1 Homework テキストChapter 7の予習	401講義室
3	一般紙の医学関連記事を読む（テキストChapter 1）科学英語の特徴	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 2 Homework テキストChapter 1の予習	401講義室
4	一般紙の医学関連記事を読む（テキストChapter 2）科学英語の特徴	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 3 Homework テキストChapter 2の予習	401講義室
5	一般紙の医学関連記事を読む（テキストChapter 3）科学英語の特徴	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 4 Homework テキストChapter 3の予習	401講義室
6	医学論文の基本（テキストChapter 8）Introductionには何が書かれているのか？	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 5 Homework テキストChapter 8の予習	401講義室
7	医学論文の基本（テキストChapter 9）MethodsとResultsには何が書かれているのか？	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 6 Homework テキストChapter 9の予習	401講義室
8	医学論文の基本（テキストChapter 10）MethodsとResultsには何が書かれているのか？	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 7 Homework テキストChapter 10の予習	401講義室
9	歯科医学に関する英語論文の抄録の講読タイトルからの論文の内容や結論の推測、抄録の構成の理解	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 8 Homework Class 8の授業でタイトルと著者を提示する論文の抄録を受講者各自が入手し、予習をしておくこと	401講義室

(B)英語論文講読入門

開講学科	歯学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	海寶 康臣						
担当教員	海寶 康臣						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
10	歯科医学に関する英語論文の抄録の講読タイトルからの論文の内容や結論の推測、抄録の構成の理解	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 9 Homework Class 9の授業でタイトルと著者を提示する論文の抄録を受講者各自が入手し、予習をしておくこと	401講義室
11	歯科医学に関する原著論文(Original Article)の講読各セクションを読む際の注意点の確認各セクションの要点の把握、歯科医学に関する英語論文に頻出する単語や表現の確認	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 10 Homework Class 8の授業でタイトルと著者を提示する原著論文の予習	401講義室
12	歯科医学に関する原著論文(Original Article)の講読各セクションを読む際の注意点の確認各セクションの要点の把握、歯科医学に関する英語論文に頻出する単語や表現の確認	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 11 Homework Class 8の授業でタイトルと著者を提示する原著論文の予習	401講義室
13	歯科医学に関する原著論文(Original Article)の講読各セクションを読む際の注意点の確認各セクションの要点の把握、歯科医学に関する英語論文に頻出する単語や表現の確認	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 12 Homework Class 8の授業でタイトルと著者を提示する原著論文の予習	401講義室
14	歯科医学に関する原著論文(Original Article)の講読各セクションを読む際の注意点の確認各セクションの要点の把握、歯科医学に関する英語論文に頻出する単語や表現の確認	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 13 Homework Class 8の授業でタイトルと著者を提示する原著論文の予習	401講義室
15	この科目で学んだことの確認	演習、小テスト	海寶 康臣	Class 14 Homework Class 8の授業でタイトルと著者を提示する原著論文の予習	401講義室

第2外国語I(ドイツ語I)

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	前期
必修/選択	選択必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, (非)梶原 将志						

授業の概要

授業では、ドイツ語の初級文法をひとつおわり終え、辞書と教科書さえあれば自力でドイツ語のテキストを読めるレベルまで訓練する。暗記による負担は極力減らすよう工夫し、語学を挫折せず継続するコツも習得する。

学生の到達目標

- ①ドイツ語特有の母音・子音の発音が正確にできる。
- ②正確なアクセント・イントネーションでドイツ文を読み、話すことができる。
- ③名詞の性・数・格について説明できる。
- ④動詞の現在人称変化を説明できる。
- ⑤基本的なドイツ文の構成を理解し説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
C-7-1	患者の多様性を尊重し、英語等異なる言語に対応できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
プロムナード やさしいドイツ語文法 (改訂版・CD付)	荻原耕平/ 山崎泰孝	白水社
アクセス独和辞典 (第4版)		三修社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
期末テスト	70%
小課題 (累積)	30%

その他

【オフィスアワー】 口頭での質問や相談は、講義の前後。メールによる質問や相談は、常時受付。

第2外国語I(ドイツ語I)

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	選択必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, (非)梶原 将志						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	イントロダクション ヨーロッパやドイツについてのイメージをしぼって明確にする。今後の授業の進め方について説明する。ドイツ語のABC	講義	(非)梶原 将志	教科書についているCDを聴く 教科書6～7頁	6 1 1 講義室
2	ドイツ語のあいさつ ドイツ語の発音	講義演習	(非)梶原 将志	教科書の該当ページ(7頁)を一読しておく	6 1 1 講義室
3	ドイツ語の発音 名詞の性と格	講義演習	(非)梶原 将志	教科書の該当ページ(14～15頁)を一読しておく	6 1 1 講義室
4	名詞の性と格(復習) 動詞の人称変化 人称代名詞	講義演習	(非)梶原 将志	教科書の該当ページ(10～11頁)を一読しておく	6 1 1 講義室
5	動詞の人称変化(復習) 人称代名詞(復習)	講義演習	(非)梶原 将志	教科書の該当ページ(10～11頁)を一読しておく	6 1 1 講義室
6	冠詞: 英語でいうa/the	講義演習	(非)梶原 将志	教科書の該当ページ(18～19頁)を一読しておく	6 1 1 講義室
7	冠詞(復習)	講義演習	(非)梶原 将志	教科書の該当ページ(18～19頁)を一読しておく	6 1 1 講義室
8	前半の復習	講義演習	(非)梶原 将志	教科書の該当ページ(6～19頁)を一読しておく	6 1 1 講義室
9	名詞の複数形	講義演習	(非)梶原 将志	教科書の該当ページ(14～15頁)を一読しておく	6 1 1 講義室
10	前置詞	講義演習	(非)梶原 将志	教科書の該当ページ(30～31頁)を一読しておく	6 1 1 講義室

第2外国語I(ドイツ語I)

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	選択必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, (非)梶原 将志						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
11	前置詞 (復習)	講義演習	(非)梶原 将志	教科書の該当ページ (30~31頁) を一読しておく	6 1 1 講義室
12	命令文	講義演習	(非)梶原 将志	教科書の該当ページ (26~27頁) を一読しておく	6 1 1 講義室
13	人称代名詞：発展編	講義演習	(非)梶原 将志	教科書の該当ページ (22~23頁) を一読しておく	6 1 1 講義室
14	人称代名詞 (復習)	講義演習	(非)梶原 将志	教科書の該当ページ (22~23頁) を一読しておく	6 1 1 講義室
15	1学期の総復習	確認テスト	(非)梶原 将志	教科書の該当ページ (6~31頁) を一読しておく	6 1 1 講義室

第2外国語I(中国語I)

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	選択必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, 栗野 秀慈, (非)張 景珊						

授業の概要

14億以上の人口を有する中国は、全体の92%を占める漢民族と55の少数民族によって構成されている。我々が普段いう「中国語」は漢民族の言語のことで、「漢語」と称する。「漢語」を母語とする人は約12億人、第二言語としても約2億人が使用していると言われており、世界最大の母語話者人口を有する。本講義は、中国語の発音、基本文型及び表現を中心に授業を行う。初級段階の聞く、話す、読む、書くの訓練を通して、中国語圏に旅行した際にすぐに使える中国語能力の養成を目標とする。

学生の到達目標

- ①中国語の発音が習得できる。
- ②中国語入門・初級文法が習得できる。
- ③中国語入門・初級会話が習得できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
C-7-1	患者の多様性を尊重し、英語等異なる言語に対応できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
初級中国語でおもてなし	おもてなし 中国語教材 開発チーム	金星堂

成績評価方法・基準

評価項目	割合
授業中の課題	40%
確認テスト	60%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】講義時間の前後に受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	概説～声調の発音について学ぶ。	講義演習	(非)張 景珊		301講義室
2	声調の復習をする。 単母音の発音を学び練習する。	講義演習	(非)張 景珊	単母音の予習	301講義室

第2外国語Ⅰ(中国語Ⅰ)

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	選択必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, 栗野 秀慈, (非)張 景珊						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
3	単母音の発音の復習をする。子音の発音について学び、発音練習する。	講義演習	(非)張 景珊	子音の予習	301講義室
4	前回の授業内容の復習をする。複合母音の発音練習をする。	講義演習	(非)張 景珊	複合母音の予習	301講義室
5	前回の授業内容の復習をする。鼻母音の発音練習をする。	講義演習	(非)張 景珊	鼻母音の予習	301講義室
6	ピンインの総復習 これまでの授業内容の復習をする。	講義演習	(非)張 景珊		301講義室
7	本文の学習に入る判断を表す「是」(「～です」)文型について学び、名前の訪ね方、答え方を学ぶ。	講義演習	(非)張 景珊	ポイントの予習、練習問題。	301講義室
8	前回の授業内容の復習をする。動詞述語文について学び、会話、単語の練習を行う。	講義演習	(非)張 景珊	新出単語の予習、ポイント、会話の予習	301講義室
9	前回の授業内容の復習をする。さまざまな疑問文について学び、作文・会話練習を行う。副詞「也」「都」について学び、作文・会話練習を行う。	講義演習	(非)張 景珊	本文の予習、練習問題	301講義室
10	前回の授業内容の復習をする。指示詞について学び、作文・会話練習を行う。助詞「的」について学び、作文・会話練習を行う。	講義演習	(非)張 景珊	新出単語の予習、本文の予習	301講義室
11	前回の授業内容の復習をする。中国語で簡単な自己紹介を練習する。	講義演習	(非)張 景珊	ポイントの予習、練習問題	301講義室
12	前回の授業内容の復習をする。所有を表す「有」について学び、作文・会話練習を行う。	講義演習	(非)張 景珊	新出単語の予習、ポイントの予習	301講義室

第2外国語Ⅰ(中国語Ⅰ)

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	選択必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, 栗野 秀慈, (非)張 景珊						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
13	前回の授業内容の復習をする。 家族の言い方、家族紹介について 学び、作文・会話練習を行う。 年齢の言い方、尋ね方について学 ぶ。	講義演習	(非)張 景珊	本文の予習、練習問 題	301講義 室
14	前回の授業内容の復習をする。 形容詞述語文について学び、作文 ・会話練習を行う。 常用形容詞 を使って作文・会話練習を行う。	講義演習	(非)張 景珊	ポイントの予習、練 習問題	301講義 室
15	前期学習内容のまとめをする。 基本的な中国語の構成について再 確認する。 確認テスト	確認テスト	(非)張 景珊	前期の学習内容の復 習	301講義 室

第2外国語I(韓国語I)

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	前期
必修/選択	選択必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, 栗野 秀慈, (非)朴 祇佑, (非)竹並 正宏						

授業の概要

未習者を対象とし、韓国語（ハングル）の自然な発音が身に付けることが本授業の主な目的である。ハングルの仕組みを覚え、特に日本語にはない音節の発音方法を理解し、何度も発音することで、韓国語の発音を体系的にマスターすることを目指す。簡単な文型や、日常的に使用される挨拶フレーズを学習する。また韓国の社会事情や文化なども学習し、韓国に対する理解を深めながら、韓国語の基礎的な能力の定着を図る。

学生の到達目標

- ①韓国語を正しく読み、書くことができる。
- ②韓国語の正しい発音と聞き取りができる。
- ③簡単な挨拶や自己紹介ができる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
C-7-1	患者の多様性を尊重し、英語等異なる言語に対応できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
できる韓国語 I 初級	李志暎	アスク出版

参考書

タイトル	著者	出版社
日韓電子辞書（スマートフォン）		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】講義時間の前後、またはメールで受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	オリエンテーション、韓国・韓国語についての概念 文字と発音（基本母音・基本子音の発音と書き方）	講義演習	(非)朴 祇佑	【事前学修】教科書 P. 5-9 【事後学修課題】母音・子音まとめ	3 1 2 講義室

第2外国語I(韓国語I)

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	選択必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, 栗野 秀慈, (非)朴 祇佑, (非)竹並 正宏						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	ハングル文字の書き順と発声を練習する。	講義演習	(非)朴 祇佑	【事前学修】教科書 P. 5-9 【事後学修課題】ハングル字母まとめ	3 1 2 講義室
3	平音・激音・濃音の書き方を学び、発声を練習する。	講義演習	(非)朴 祇佑	【事前学修】教科書 P. 10-19 【事後学修課題】子音まとめ	3 1 2 講義室
4	パッチム(終音子音)がつく文字の発声を練習する。	講義演習	(非)朴 祇佑	【事前学修】教科書 P. 20-24 【事後学修課題】パッチムまとめ	3 1 2 講義室
5	合成母音・子音の名称を覚える。	講義演習	(非)朴 祇佑	【事前学修】教科書 P. 25-32 【事後学修課題】合成母音まとめ	3 1 2 講義室
6	発音の変化を練習する。「有声音化・連音化・鼻音化・弱音化・激音化 濃音化・流音化・口蓋音化・二重パッチム」	講義演習	(非)朴 祇佑	【事前学修】教科書 P. 172-181 【事後学修課題】発音の変化まとめ	3 1 2 講義室
7	小テスト、韓国映画鑑賞	講義演習	(非)朴 祇佑	【事前学修】教科書 P. 5-32 【事後学修課題】映画感想文	3 1 2 講義室
8	教科書 第1課 「私は日本人です」	講義演習	(非)朴 祇佑	【事前学修】教科書 P. 172-181 【事後学修課題】第1課 語彙まとめ	3 1 2 講義室
9	教科書 第2課 「日本人ではありません」	講義演習	(非)朴 祇佑	【事前学修】教科書 P. 172-181 【事後学修課題】第2課 語彙まとめ	3 1 2 講義室
10	教科書 第3課 「それは何ですか」	講義演習	(非)朴 祇佑	【事前学修】教科書 P. 172-181 【事後学修課題】第3課 語彙まとめ	3 1 2 講義室

第2外国語I(韓国語I)

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	前期	
必修/選択	選択必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, 栗野 秀慈, (非)朴 祇佑, (非)竹並 正宏						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
11	小テスト、韓国映画鑑賞	講義演習	(非)朴 祇佑	【事前学修】教科書 P. 172-181 【事後学修課題】映画感想文	3 1 2 講義室
12	教科書 第4課 「約束があります」	講義演習	(非)朴 祇佑	【事前学修】教科書 P. 172-181 【事後学修課題】第4課 語彙まとめ	3 1 2 講義室
13	教科書 第5課 「会社はどこにありますか」	講義演習	(非)朴 祇佑	【事前学修】教科書 P. 172-181 【事後学修課題】第5課 語彙まとめ	3 1 2 講義室
14	教科書 第6課 「週末は何をしますか」、韓国語で学ぶ歌	講義演習	(非)竹並 正宏	【事前学修】教科書 P. 172-181 【事後学修課題】第6課 語彙まとめ	3 1 2 講義室
15	まとめ	講義演習	(非)朴 祇佑	【事前学修】教科書 P. 172-181	3 1 2 講義室

第2外国語II(ドイツ語II)

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	選択必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, (非) 梶原 将志						

授業の概要

前期「ドイツ語 I」に引き続きドイツ語の学習を進め、初級文法の全体像をつかんで、ドイツ語のテキストを実際に読んでみる。

学生の到達目標

- ①ドイツ語の基本的な構文を概説できる。
- ②ドイツ文の意味を理解しながら、正しいイントネーションで発音できる。
- ③独検4級程度をパスすることができる。
- ④辞書を使い、あらゆるドイツ文を理解することができる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
C-7-1	患者の多様性を尊重し、英語等異なる言語に対応できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
プロムナード やさしいドイツ語文法 (改訂版・CD付)	荻原耕平 / 山崎泰孝	白水社
クラウン独和辞典 (第4版)		白水社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
期末テスト	70%
小課題 (累積)	30%

その他

【オフィスアワー】 口頭での質問・相談は講義の前後。メールは常時受付。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	1学期の復習	講義演習	(非) 梶原 将志	教科書の該当ページ (6~31頁) を一読しておく	501 講義室

第2外国語II(ドイツ語II)

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	選択必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, (非)梶原 将志						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	現在完了形	講義演習	(非)梶原 将志	教科書の該当ページ(48~49頁)を一読しておく	501講義室
3	現在完了形(復習) 受動文	講義演習	(非)梶原 将志	教科書の該当ページ(48~49頁)を一読しておく	501講義室
4	形容詞	講義演習	(非)梶原 将志	教科書の該当ページ(52~53頁)を一読しておく	501講義室
5	形容詞(復習) 比較表現: 比較級・最上級	講義演習	(非)梶原 将志	教科書の該当ページ(52~53頁)を一読しておく	501講義室
6	助動詞	講義演習	(非)梶原 将志	教科書の該当ページ(40~41頁)を一読しておく	501講義室
7	助動詞(復習)	講義演習	(非)梶原 将志	教科書の該当ページ(40~41頁)を一読しておく	501講義室
8	再帰代名詞	講義演習	(非)梶原 将志	教科書の該当ページ(56~57頁)を一読しておく	501講義室
9	zu不定詞	講義演習	(非)梶原 将志	教科書の該当ページ(56~57頁)を一読しておく	501講義室
10	過去形	講義演習	(非)梶原 将志	教科書の該当ページ(44~45頁)を一読しておく	501講義室
11	過去形(復習) 関係代名詞	講義演習	(非)梶原 将志	教科書の該当ページ(60~61頁)を一読しておく	501講義室
12	関係代名詞(復習) 接続法	講義演習	(非)梶原 将志	教科書の該当ページ(60~61頁)を一読しておく	501講義室

第2外国語II(ドイツ語II)

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	選択必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, (非)梶原 将志						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
13	接続法（復習） テクスト読解	講義演習	(非)梶原 将志	教科書の該当ページ（60～61頁）を一読しておく	501 講義室
14	テキスト読解	講義演習	(非)梶原 将志	教科書の該当ページを一読しておく 配布プリント	501 講義室
15	テキスト読解	確認テスト	(非)梶原 将志	教科書の該当ページを一読しておく 配布プリント	501 講義室

第2外国語II(中国語II)

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	選択必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, (非)張 景珊, 栗野 秀慈						

授業の概要

14億以上の人口を有する中国は、全体の92%を占める漢民族と55の少数民族によって構成されている。我々が普段いう「中国語」は漢民族の言語のことで、「漢語」と称する。「漢語」を母語とする人は約12億人、第二言語としても約2億人が使用していると言われており、世界最大の母語話者人口を有する。本講義は、中国語の発音、基本文型及び表現を中心に授業を行う。初級段階の聞く、話す、読む、書くの訓練を通して、中国等に旅行した際にすぐに使える中国語能力の養成を目標とする。

学生の到達目標

①中国語の発音が習得できる。 ②中国語初級文法が習得できる。 ③中国語初級会話が習得できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
C-7-1	患者の多様性を尊重し、英語等異なる言語に対応できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
初級中国語でおもてなし	おもてなし 中国語教材 開発チーム	金星堂

成績評価方法・基準

評価項目	割合
授業中の課題	40%
確認テスト	60%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】講義時間の前後に受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	前期の総復習をし、理解を深める。 声調・単母音・複母音・変調等発音について再度学習し、理解を深める。	講義演習	(非)張 景珊	前期の学習内容の復習	401 講義室

第2外国語II(中国語II)

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	選択必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, (非)張 景珊, 栗野 秀慈						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	買い物、値段の言い方、尋ね方について学習する。値段交渉について学び、作文・会話練習を行う。	講義演習	(非)張 景珊	新出単語の予習、本文の予習	401講義室
3	前回の授業内容の復習をする。比較文(AはBより～だ)について学び、作文・会話練習を行う。量詞、ものの数え方について学習する。	講義演習	(非)張 景珊	ポイントの予習、練習問題	401講義室
4	前回の授業内容の復習をする。誕生日、年月日について学び、会話練習する。時刻の言い方、尋ね方について学習する。	講義演習	(非)張 景珊	新出単語の予習、ポイントの予習	401講義室
5	前回の授業内容の復習を行う。一日の行動について学び、作文、会話練習を行う。助動詞「想」(～したい)について学び、練習する。予定を立てる表現を練習する。	講義演習	(非)張 景珊	本文の予習、練習問題	401講義室
6	前回の授業内容の復習をする。場所代名詞の用法について学ぶ。存在を表す「在」の文について学び、作文、会話練習を行う。	講義演習	(非)張 景珊	新出単語の予習、ポイントの予習	401講義室
7	前回の授業内容の復習を行う。前置詞「在」(どこで～する)について学習する。よく行くところの表現を使って練習する。	講義演習	(非)張 景珊	本文の予習、練習問題	401講義室
8	前回の授業内容の復習を行う。食べ物、料理を注文する時の表現について学習し、練習する。実現、完了の「了」と文末につける「了」について学習する。	講義演習	(非)張 景珊	新出単語の予習、ポイントの予習	401講義室
9	前回の授業内容の復習を行う。動作の進行を表す「在」(～しているところだ)について学習する。さまざまな助動詞「要」、「会」、「能」、「可以」について学ぶ。	講義演習	(非)張 景珊	本文の予習、練習問題	401講義室

第2外国語Ⅱ(中国語Ⅱ)

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	選択必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, (非)張 景珊, 栗野 秀慈						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
10	前回の授業内容の復習を行う。 動詞の重ね型「ちょっと…する」 文型の用法について学び、作文・ 会話練習を行う。動詞「喜歡」 (〜がすきだ)を使って、趣味嗜好、 スポーツを紹介する。	講義演習	(非)張 景珊	新出単語の予習、本 文の予習	401講義 室
11	前回の授業内容の復習を行う。 道の尋ね方、言い方について学習 する。経験を表す「過」につい て学び、作文・会話練習を行う。	講義演習	(非)張 景珊	ポイントの予習、練 習問題	401講義 室
12	前回の授業内容の復習を行う。 二重目的語をとれる動詞の用法に ついて学習し、作文・会話練習を 行う。選択疑問文を学習する。	講義演習	(非)張 景珊	新出単語の予習、本 文の予習	401講義 室
13	前回の授業内容の復習を行う。 主述述語文の表現について学習す る。移動手段の表現を使って作 文、会話練習を行う。	講義演習	(非)張 景珊	ポイントの予習、練 習問題	401講義 室
14	前回の授業内容の復習を行う。 時間の長さを表す表現を学習する 。時量補語の用法(動詞+時間 の長さ)を学習し、作文、会話練 習する。	講義演習	(非)張 景珊	新出単語の予習、ポ イントの予習	401講義 室
15	後期学習内容のまとめを行う。 基本的な中国語の構成について再 確認を行う。確認テスト	確認テスト	(非)張 景珊	【事前学習課題】： 後期の学習内容の復 習	401講義 室

第2外国語II(韓国語II)

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	選択必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, 栗野 秀慈, (非)朴 祇佑, (非)竹並 正宏						

授業の概要

本講義では、前期で学習した韓国語の基礎を基にコミュニケーションの基本スキルである「読む・書く・話す・聴く」をバランスよく学ぶことを目的とする。韓国語をはじめ、韓国の生活様式と社会・文化など多方面からみた異文化に対する理解力と対応力を高め、グローバル時代に貢献できる力を養成する。

学生の到達目標

- ①ハングル文字構成を習得し、日常生活で頻繁に使われる基礎的な会話ができる。
- ②韓国語の正しい発音、聞き取りができる。
- ③コミュニケーション能力及び国際的感性を身につける。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
C-7-1	患者の多様性を尊重し、英語等異なる言語に対応できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
できる韓国語 I 初級	李志暎	アスク出版

参考書

タイトル	著者	出版社
日韓電子辞書 (スマートフォン等)		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

【オフィスアワー (学習相談)】 講義時間の前後

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	教科書 第7課 「そんなに遠くありません」	講義演習	(非)朴 祇佑	【事前学修】教科書 P. 74-79 【事後学修課題】第7課 語彙まとめ	301 講義室
2	教科書 第8課 「いつ行きますか」	講義演習	(非)朴 祇佑	【事前学修】教科書 P. 80-85 【事後学修課題】第8課 語彙まとめ	301 講義室

第2外国語II(韓国語II)

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	選択必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, 栗野 秀慈, (非)朴 祇佑, (非)竹並 正宏						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
3	教科書 第9課 「釜山までどうやっていきますか」	講義演習	(非)朴 祇佑	【事前学修】教科書 P. 86-93 【事後学修課題】第9課 語彙まとめ	301 講義室
4	小テスト、韓国映画鑑賞	講義演習	(非)朴 祇佑	【事前学修】教科書 P. 74-93 【事後学修課題】映画感想文	301 講義室
5	教科書 第10課 「何時からですか」	講義演習	(非)朴 祇佑	【事前学修】教科書 P. 94-101 【事後学修課題】第10課 語彙まとめ	301 講義室
6	教科書 第11課 「いつ日本へ来ましたか」	講義演習	(非)朴 祇佑	【事前学修】教科書 P. 102-109 【事後学修課題】第11課 語彙まとめ	301 講義室
7	教科書 第12課 「お名前は？」	講義演習	(非)朴 祇佑	【事前学修】教科書 P. 110-117 【事後学修課題】第12課 語彙まとめ	301 講義室
8	小テスト、韓国映画鑑賞	講義演習	(非)朴 祇佑	【事前学修】教科書 P. 94-117 【事後学修課題】映画感想文	301 講義室
9	教科書 第13課 「どちらへ行っていましたか」	講義演習	(非)朴 祇佑	【事前学修】教科書 P. 118-123 【事後学修課題】第13課 語彙まとめ	301 講義室
10	教科書 第14課 「韓国と日本は似ているけど、けっこう違うでしょう」	講義演習	(非)朴 祇佑	【事前学修】教科書 P. 124-129 【事後学修課題】第14課 語彙まとめ	301 講義室
11	小テスト、韓国映画鑑賞	講義演習	(非)朴 祇佑	【事前学修】教科書 P. 118-129 【事後学修課題】映画感想文	301 講義室

第2外国語Ⅱ(韓国語Ⅱ)

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	選択必修	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	歯学部長						
担当教員	歯学部長, 栗野 秀慈, (非)朴 祇佑, (非)竹並 正宏						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
12	教科書 第15課 「温泉に行きたいです」	講義演習	(非)朴 祇佑	【事前学修】教科書 P. 130-137 【事後学修課題】第15課 語彙まとめ	301 講義室
13	教科書 第16課 「プレゼントをかうのでお金をたくさん使います」	講義演習	(非)朴 祇佑	【事前学修】教科書 P. 138-143 【事後学修課題】第16課 語彙まとめ	301 講義室
14	教科書 第17課 「結婚式に何を着ていけばいいですか」、韓国語で学ぶ歌	講義演習	(非)竹並 正宏	【事前学修】教科書 P. 144-149 【事後学修】第17課 語彙まとめ	301 講義室
15	まとめ	講義演習	(非)朴 祇佑	【事前学習】教科書 P. 74-149 小テストまとめ	301 講義室

(A)医学英語I

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	16	単位数	1
科目責任者	(非)James Edward Hicks						
担当教員	(非)James Edward Hicks, 海賓 康臣						

授業の概要

The purpose of this course is to build medical language proficiency through subject-specific vocabulary, reading for specific information, extensive listening, and speaking practice both in class and online. Critical thinking and academic vocabulary are stressed.

学生の到達目標

The goal of the course is to provide students with the necessary skills to communicate their opinions and ideas at a formal level to a general audience. Students should be able to use medical vocabulary (specific to dentistry) in relevant situations.

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-7-2)-①	患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとし異なる言語に対応することができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
Career Paths: Dentistry	Evans, Dooley & Caldwell	Express Publishing

成績評価方法・基準

評価項目	割合
Class Participations and Assignments	40%
Final Exam (End of term)	60%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】 Contact me by email.

(A)医学英語I

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	16	単位数	1
科目責任者	(非)James Edward Hicks						
担当教員	(非)James Edward Hicks, 海賓 康臣						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	Orientation & Self-Introductions	Active learning	(非)James Edward Hicks	Reading and Vocabulary Review	4 0 2 講義室
2	Unit 1: Dentistry	Active learning	(非)James Edward Hicks	Reading and Vocabulary Review	4 0 2 講義室
3	Unit 2: Specializations	Active learning	(非)James Edward Hicks	Reading and Vocabulary Review	4 0 2 講義室
4	Unit 3: The Dental Practice	Active learning	(非)James Edward Hicks	Reading and Vocabulary Review	4 0 2 講義室
5	Unit 4: Dental Personnel	Active learning	(非)James Edward Hicks	Reading and Vocabulary Review	4 0 2 講義室
6	Unit 5: Dental Instruments	Active learning	(非)James Edward Hicks	Reading and Vocabulary Review	4 0 2 講義室
7	Unit 6: The Mouth	Active learning	(非)James Edward Hicks	Reading and Vocabulary Review	4 0 2 講義室
8	Unit 7: Tooth Anatomy	Active learning	(非)James Edward Hicks	Study Units 1-7 for Final Exam	4 0 2 講義室

(B)医学英語I

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	16	単位数	1
科目責任者	海賓 康臣						
担当教員	(非)James Edward Hicks, 海賓 康臣						

授業の概要

The purpose of this course is to build medical language proficiency through subject-specific vocabulary, reading for specific information, extensive listening, and speaking practice both in class and online. Critical thinking and academic vocabulary are stressed.

学生の到達目標

The goal of the course is to provide students with the necessary skills to communicate their opinions and ideas at a formal level to a general audience. Students should be able to use medical vocabulary (specific to dentistry) in relevant situations.

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-7-2)-①	患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとし異なる言語に対応することができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
Career Paths: Dentistry	Evans, Dooley & Caldwell	Express Publishing

成績評価方法・基準

評価項目	割合
Class Participations and Assignments	40%
Final Exam (End of term)	60%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】 Contact me by email.

(B)医学英語I

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	16	単位数	1
科目責任者	海賓 康臣						
担当教員	(非)James Edward Hicks, 海賓 康臣						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	Orientation & Self-Introductions	Active learning	(非)James Edward Hicks	Reading and Vocabulary Review	402 講義室
2	Unit 1: Dentistry	Active learning	(非)James Edward Hicks	Reading and Vocabulary Review	402 講義室
3	Unit 2: Specializations	Active learning	(非)James Edward Hicks	Reading and Vocabulary Review	402 講義室
4	Unit 3: The Dental Practice	Active learning	(非)James Edward Hicks	Reading and Vocabulary Review	402 講義室
5	Unit 4: Dental Personnel	Active learning	(非)James Edward Hicks	Reading and Vocabulary Review	402 講義室
6	Unit 5: Dental Instruments	Active learning	(非)James Edward Hicks	Reading and Vocabulary Review	402 講義室
7	Unit 6: The Mouth	Active learning	(非)James Edward Hicks	Reading and Vocabulary Review	402 講義室
8	Unit 7: Tooth Anatomy	Active learning	(非)James Edward Hicks	Study Units 1-7 for Final Exam	402 講義室

(A)医学英語II

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	16	単位数	1
科目責任者	(非)James Edward Hicks						
担当教員	(非)James Edward Hicks, 海賓 康臣						

授業の概要

The purpose of this course is to continue building medical language proficiency through subject-specific vocabulary, reading for specific information, extensive listening, and speaking practice both in class and online. Critical thinking and academic vocabulary are stressed.

学生の到達目標

The goal of the course is to continue providing students with the necessary skills to communicate their opinions and ideas at a formal level to a general audience. Students should be able to use medical vocabulary (specific to dentistry) in relevant situations.

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-7-2)-①	患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとし異なる言語に対応することができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
Career Paths: Dentistry Student's Book	Evans, Dooley & Caldwell	Express Publishing

成績評価方法・基準

評価項目	割合
Class Participation and Assignments	40%
Final Exam (End of term)	60%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】 Contact me by email.

(A)医学英語II

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	16	単位数	1
科目責任者	(非)James Edward Hicks						
担当教員	(非)James Edward Hicks, 海賓 康臣						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	Unit 8: Types of Teeth	Active Learning	(非)James Edward Hicks	Reading and Vocabulary Review	402 講義室
2	Unit 9: Personal Protective Equipment	Active Learning	(非)James Edward Hicks	Reading and Vocabulary Review	402 講義室
3	Unit 10: Dental Practice Technology	Active Learning	(非)James Edward Hicks	Reading and Vocabulary Review	402 講義室
4	Unit 11: Patient Scheduling	Active Learning	(非)James Edward Hicks	Reading and Vocabulary Review	402 講義室
5	Unit 12: Insurance and Fees	Active Learning	(非)James Edward Hicks	Reading and Vocabulary Review	402 講義室
6	Unit 13: Chairside Manner	Active Learning	(非)James Edward Hicks	Reading and Vocabulary Review	402 講義室
7	Unit 14: Oral Health	Active Learning	(非)James Edward Hicks	Reading and Vocabulary Review	402 講義室
8	Unit 15: Dental Cleanings	Active Learning	(非)James Edward Hicks	Study Units 8-15 for Final Exam	402 講義室

(B)医学英語II

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	16	単位数	1
科目責任者	(非)James Edward Hicks						
担当教員	(非)James Edward Hicks, 海賓 康臣						

授業の概要

The purpose of this course is to continue building medical language proficiency through subject-specific vocabulary, reading for specific information, extensive listening, and speaking practice both in class and online. Critical thinking and academic vocabulary are stressed.

学生の到達目標

The goal of the course is to continue providing students with the necessary skills to communicate their opinions and ideas at a formal level to a general audience. Students should be able to use medical vocabulary (specific to dentistry) in relevant situations.

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-7-2)-①	患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとし異なる言語に対応することができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
Career Paths: Dentistry Student's Book	Evans, Dooley & Caldwell	Express Publishing

成績評価方法・基準

評価項目	割合
Class Participation and Assignments	40%
Final Exam (End of term)	60%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】 Contact me by email.

(B)医学英語II

開講学科	歯学科		開講年次	3年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講・演	時間数	16	単位数	1
科目責任者	(非)James Edward Hicks						
担当教員	(非)James Edward Hicks, 海賓 康臣						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	Unit 8: Types of Teeth	Active Learning	(非)James Edward Hicks	Reading and Vocabulary Review	402 講義室
2	Unit 9: Personal Protective Equipment	Active Learning	(非)James Edward Hicks	Reading and Vocabulary Review	402 講義室
3	Unit 10: Dental Practice Technology	Active Learning	(非)James Edward Hicks	Reading and Vocabulary Review	402 講義室
4	Unit 11: Patient Scheduling	Active Learning	(非)James Edward Hicks	Reading and Vocabulary Review	402 講義室
5	Unit 12: Insurance and Fees	Active Learning	(非)James Edward Hicks	Reading and Vocabulary Review	402 講義室
6	Unit 13: Chairside Manner	Active Learning	(非)James Edward Hicks	Reading and Vocabulary Review	402 講義室
7	Unit 14: Oral Health	Active Learning	(非)James Edward Hicks	Reading and Vocabulary Review	402 講義室
8	Unit 15: Dental Cleanings	Active Learning	(非)James Edward Hicks	Study Units 8-15 for Final Exam	402 講義室

国際歯科医学実習

開講学科	歯学科			開講年次	3～4年	開講期	通年
必修/選択	選択	授業方法	実習	時間数	60	単位数	2
科目責任者	歯学部長、吉居 慎二（実習運営責任者）						
担当教員	歯学部長、栗野 秀慈、吉居 慎二、磯部 彩香、山口 紫乃 国際交流担当教員						

授業の概要

九州歯科大学国際交流プログラム（Kyushu Dental University Global Scholarly Exchange Program: KDU-GSEプログラム）に参加し、本学と連携協定を締結している海外の歯科大学・歯学部との間で国際交流を体験する。これにより、“Think globally, act locally”を実践する歯科医療人に必要な国際的視野と国際的コミュニケーション能力を身につけることを目的とする。

学生の到達目標

- ①海外の歯科医療・歯科医学教育について学ぶことで、国際的な視野で考える能力を身につけることができる。
- ②国際交流体験を通じて、国際的コミュニケーション能力を身につけることができる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-7-2)-①	患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとし異なる言語に対応することができる。
A-7-2)-②	地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。
A-7-2)-③	保健、医療に関する国際的課題について理解し、説明できる。
A-7-2)-④	日本の医療の特徴を理解し、国際社会への貢献の意義を理解している。
A-7-2)-⑤	医療に関わる国際協力の重要性を理解し、仕組みを説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
プログラムの内容に応じてプリントを配布する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
実施報告書	100%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】吉居 慎二：メールにて受付

国際歯科医学実習

開講学科	歯学科			開講年次	3～4 年	開講期	通年
必修/選択	選択	授業方法	実習	時間数	60	単位数	2
科目責任者	歯学部長、吉居 慎二（実習運営責任者）						
担当教員	歯学部長, 栗野 秀慈, 吉居 慎二, 磯部 彩香, 山口 紫乃 国際交流担当教員						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
	(1) 本年度交流予定大学 ・シーナカリンウィロート大学（タイ） ・ランシット大学（タイ） ・高雄医科大学・台北医科大学（台湾） (2) 実習方法 ・プログラム説明会において配布する資料のとおり	実習		配布資料にて説明する。	

研究室配属

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	通年
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	68	単位数	2
科目責任者	安細 敏弘						
担当教員	安細 敏弘, 古株 彰一郎, 郡司掛 香織, 鷺尾 絢子, 正木 千尋, 海寶 康臣, 有吉 渉, 池田 弘, (非)今里 聡, (非)駒形 裕也, (非)小野 悠介, (非)杉本 昌弘, (非)増田 裕次						

授業の概要

研究室配属は、学生諸君が研究に対する理解を深めリサーチマインドを持った歯科医師になることを目的とする。研究室配属を通してリサーチを行っている研究者としての教員と接し、歯科医学に対する科学的な見方・考え方を養ってもらいたい。また、教科書にはまだ記載されていないような最新の生命科学に関して第一線で活躍されている先生方を講師に迎え、講義、解説して頂く。毎回、講義の内容に関する課題が提示されるので、レポートを作成し提出する。

学生の到達目標

- ①実験・調査・論文抄読及び演習等を通して研究の意義を理解し、実験・研究の方法、データの解析方法、考察の仕方およびプレゼンテーションが実践できる。
- ②最新の生命科学の現状を理解し、レポートを書くことができる。
- ③リサーチマインドを育むことができる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-2-2)-⑤	各自の興味に応じて選択制カリキュラム（医学研究等）に参加する。
A-8-1)-①	生命科学の講義・実習で得た知識を、診療で経験した病態の解析に応用できる。
A-8-1)-②	臨床上の疑問（clinical question<CQ>）を定式化できる。
A-8-1)-③	患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。
A-9-1)-①	自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。
A-9-1)-②	歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。
A-9-1)-③	医療の改善の必要性和科学的研究の重要性を説明できる。
A-9-1)-④	科学的研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート評価（8回分一各5%）	40%
研究室配属運営会議長による評価（研究ノートの記載状況等）	20%
配属先の担当教員による評価	20%
研究成果発表会での評価	20%

研究室配属

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	通年
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	68	単位数	2
科目責任者	安細 敏弘						
担当教員	安細 敏弘, 古株 彰一郎, 郡司掛 香織, 鷺尾 絢子, 正木 千尋, 海寶 康臣, 有吉 渉, 池田 弘, (非)今里 聡, (非)駒形 裕也, (非)小野 悠介, (非)杉本 昌弘, (非)増田 裕次						

その他

何か問題が生じた時は、配属先の担当教員と研究室配属運営会議長へ必ず連絡すること。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1, 2	研究テーマ閲覧・学習 研究室配属における研究テーマの総覧および希望配属先を提出する。	演習	安細 敏弘	【事前・事後学習課題】基礎研究、基礎医学、臨床医学	401 講義室
3	生命倫理 臨床医療現場にとどまらず、基礎歯科医学研究にも生命倫理の諸問題が存在することを理解し、その基礎知識と考え方を事例を交えて学習する。	演習レポート	竹内 弘	【事前・事後学習課題】生命倫理	401 講義室
4	歯科医学の研究について①（基礎歯科医学） ライフサイエンスやマテリアルサイエンスの知識・技術を応用した先端的歯科医学研究から再生医療迄、歯科基礎医学の現状を紹介し、バイオロジーの歯科医療への応用について学習する。	演習レポート	小野 堅太郎	【事前・事後学習課題】ライフサイエンス、マテリアルサイエンス、バイオロジー、歯科基礎医学	401 講義室
5	歯科医学の研究について②（臨床歯科医学） 臨床系歯科医学が取り組む歯科医学研究（トランスレーショナル・リサーチ、臨床疫学研究等）の概要と臨床応用、社会への還元等について知り、歯科医学研究の歯科医療における貢献・重要性について学習する。	演習レポート	安細 敏弘	【事前・事後学習課題】トランスレーショナルリサーチ、臨床歯科医学、臨床疫学	401 講義室
6, 7	研究室配属①（2コマ連続） 研究計画を立案し、実行する。研究結果を吟味し、考察し、次の目標を定める。	演習レポート	安細 敏弘	【事前・学習課題】生命倫理、基礎研究、基礎医学、臨床医学	その他
8	最新科学講義① 第一線研究者を招聘し、講演から研究について学び、レポートを提出する。	演習レポート	(非)今里 聡 鷺尾 絢子	【事前・学習課題】生命倫理、基礎研究、基礎医学、臨床医学	401 講義室

研究室配属

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	通年
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	68	単位数	2
科目責任者	安細 敏弘						
担当教員	安細 敏弘, 古株 彰一郎, 郡司掛 香織, 鷲尾 絢子, 正木 千尋, 海寶 康臣, 有吉 渉, 池田 弘, (非)今里 聡, (非)駒形 裕也, (非)小野 悠介, (非)杉本 昌弘, (非)増田 裕次						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
9-16	研究室配属② (2コマ連続) 研究計画を立案し、実行する。研究結果を吟味し、考察し、次の目標を定める。	実習	安細 敏弘	【事前・学習課題】 生命倫理、基礎研究、基礎医学、臨床医学	その他
17	最新科学講義② 第一線研究者を招聘し、講演から研究について学び、レポートを提出する。	演習レポート	(非)駒形 裕也 池田 弘	【事前・学習課題】 生命倫理、基礎研究、基礎医学、臨床医学	401講義室
18-27	研究室配属③ (2コマ連続) 研究計画を立案し、実行する。研究結果を吟味し、考察し、次の目標を定める。	実習	安細 敏弘	【事前・学習課題】 生命倫理、基礎研究、基礎医学、臨床医学	その他
28-29	研究成果発表会 (1次：ポスター発表) 研究成果を発表する。他の研究テーマを閲覧し、質疑応答を行う。	実習	安細 敏弘	【事前・学習課題】 生命倫理、基礎研究、基礎医学、臨床医学	2Fホワイエ
30	最新科学講義③ 第一線研究者を招聘し、講演から研究について学び、レポートを提出する。	演習レポート	(非)小野 悠介 古株 彰一郎	【事前・学習課題】 生命倫理、基礎研究、基礎医学、臨床医学	401講義室
31	最新科学講義④ 第一線研究者を招聘し、講演から研究について学び、レポートを提出する。	演習レポート	(非)杉本 昌弘 正木 千尋	【事前・学習課題】 生命倫理、基礎研究、基礎医学、臨床医学	401講義室
32	最新科学講義⑤ 第一線研究者を招聘し、講演から研究について学び、レポートを提出する。	演習レポート	(非)増田 裕次 小野 堅太郎	【事前・学習課題】 生命倫理、基礎研究、基礎医学、臨床医学	401講義室
33-34	研究成果発表会 (2次：口頭発表) 選出された研究成果をスライドにまとめ、口頭発表する。発表に対し、質疑応答を行う。	実習	安細 敏弘	【事前・学習課題】 生命倫理、基礎研究、基礎医学、臨床医学	講堂ホール

最新応用生命科学

開講学科	歯学科			開講年次	5年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	歯学科長						
担当教員	歯学科長, 竹内 弘, 古株 彰一郎, 北村 知昭, 土生 学, 臼井 通彦, 有吉 渉, 池田 弘, 郡司掛香織, 椎葉 俊司						

授業の概要

最新の歯学研究、歯科医療の最前線に関わる領域において実施されている先端研究について学び、それらを支える基礎科目で学んだ知識の重要性についても理解する。

学生の到達目標

- ① 歯科および医科の臨床に直結する研究について概説できる。
- ② 基礎科目で学んだ知識が最新の歯学研究を展開するために重要であることを概説できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-8-1)-①	生命科学の講義・実習で得た知識を、診療で経験した病態の解析に応用できる。
A-8-1)-②	臨床上の疑問(clinical question<CQ>)を定式化できる。
A-8-1)-③	患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。
A-9-1)-①	自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。
A-9-1)-②	歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。
A-9-1)-③	医療の改善の必要性和科学的研究の重要性を説明できる。
A-9-1)-④	科学的研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。

テキスト

タイトル	著者	出版社
資料を配布する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート等課題	100%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】相談は随時受け付け可能だが、原則、時間予約を電話、メールにて行うこと。全体的な質問や相談については科目責任者まで。

【公欠相当の事由による遠隔対応】講義によって異なるので、事由発生時には前日までに担当教員へ相談すること。

最新応用生命科学

開講学科	歯学科		開講年次	5年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	歯学科長						
担当教員	歯学科長, 竹内 弘, 古株 彰一郎, 北村 知昭, 土生 学, 白井 通彦, 有吉 渉, 池田 弘, 郡司掛香織, 椎葉 俊司						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	調整中	講義 遠隔授業 レポート課題	古株 彰一郎	【事前学習課題】 【事後学習課題】	601 講義室 Moodle
2	歯科保存領域における連携研究 最新応用生命科学講義の概要を知り、歯の治療（保存修復治療学・歯内治療学など）において工学、基礎医学、及び再生医療学分野と連携した先端研究を学習する。	講義 遠隔授業 レポート課題	北村 知昭	【事前学習課題】トランスレーショナルリサーチ、歯髄、根尖歯周組織、骨 【事後学習課題】課題レポートを提出する。	601 講義室 Moodle
3	口腔外科領域における連携研究 口腔外科領域における工学との連携研究と歯学発の技術を医療の広い分野へ応用する試みを紹介し、歯学部における起業家精神について学習する。	講義 遠隔授業 レポート課題	土生 学	【事前学習課題】口腔外科、起業、工学 【事後学習課題】課題レポートを提出する。	601 講義室 Moodle
4	歯周治療領域における連携研究と一般基礎医学 遺伝子工学の進展とともに、歯周組織再生にサイトカイン・成長因子を用いることが一般的になってきたが、次の展開として、培養細胞を用いた組織再生が脚光を浴びている。本講義では、歯学系と工学系の連携に基づいた培養歯根膜細胞による歯周組織再生について学習する。	講義 遠隔授業 レポート課題	白井 通彦	【事前学習課題】歯周組織再生、歯根膜細胞、幹細胞 【事後学習課題】課題レポートを提出する。	601 講義室 Moodle
5	歯科感染症学研究における連携研究 全身疾患に起因する口腔内微生物という視点で最新の研究成果を紹介し、それを踏まえて口腔内の微生物が全身疾患を引き起こすメカニズムについて理解する。加えて、口腔内の感染症の病態解明や新たな検査・予防・治療法の確立を目指した歯工学連携を基盤とした研究について学習する。	講義 遠隔授業 レポート課題	有吉 渉	【事前学習課題】微生物学、免疫学 【事後学習課題】課題レポートを提出する。	601 講義室 Moodle

最新応用生命科学

開講学科	歯学科		開講年次	5年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	歯学科長						
担当教員	歯学科長, 竹内 弘, 古株 彰一郎, 北村 知昭, 土生 学, 臼井 通彦, 有吉 渉, 池田 弘, 郡司掛 香織, 椎葉 俊司						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
6	科目説明 (Moodle) 生体材料領域における連携研究歯科医学の中で生体材料学はそもそも工学が基盤であり、歯質という他に類をみない部位を対象とする点は特異的である。ここでは既存の修復材料と比較しつつ、理想的な材料の開発を目指した先進的取り組みを紹介し、現状と将来展望を学習する。	講義 遠隔授業 レポート課題	池田 弘	【事前学習課題】コンポジットレジン、歯科用陶材、ジルコニア、CAD/CAM 【事後学習課題】課題レポートを提出する。	601講義室 Moodle
7	矯正歯科治療領域における連携研究 歯科矯正治療は様々な材料の特性を活かして、歯や歯周組織に器械的負荷をかけることに対する生体の反応を利用している。本講義では、矯正歯科治療に利用されている生体材料学、生体力学、解剖組織学の基礎的知識に加え、これらと連携した先端研究について学習する。	講義 遠隔授業 レポート課題	郡司掛 香織	【事前学習課題】矯正的歯の移動、矯正用材料 【事後学習課題】課題レポートを提出する。	601講義室 Moodle
8	生理学・薬理学と歯科麻酔学 生理学・薬理学と歯科麻酔学 麻酔科系疾患の診査・診断・治療および全身麻酔において一般基礎医学がどこに生かされるかを理解する。	講義 遠隔授業 レポート課題	椎葉 俊司	【事前学習課題】生理学、薬理学、歯科麻酔学 【事後学習課題】課題レポートを提出する。	601講義室 Moodle

Student Research Project I

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	通年
必修/選択	選択	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	古株 彰一郎						
担当教員	古株 彰一郎						

授業の概要

学生諸君が研究に対する理解を深めリサーチマインドを持った歯科医師になることを目的とする。研究室配属後にも継続してリサーチを行っている研究者としての教員と接し、歯科医学に対する科学的な見方・考え方を養ってもらいたい。

学生の到達目標

- ①九州歯科大学の研究室で実施されている研究に参加し、実験・調査・論文抄読及び演習等を通して研究の意義を理解し、実験・研究の方法、データの解析方法、考察の仕方およびプレゼンテーションなどについて学ぶことができる。
- ②世界的規模で、歯科学生による研究成果の実践発表（スチューデント・クリニシャン・リサーチ・プログラム、SCRIP）が行われている。このプログラムへの参加も視野に入れて研究を行うことができる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-2-2)-⑤	各自の興味に応じて選択制カリキュラム（医学研究等）に参加する。
A-8-1)-①	生命科学の講義・実習で得た知識を、診療で経験した病態の解析に応用できる。
A-8-1)-②	臨床上の疑問(clinical question<CQ>)を定式化できる。
A-8-1)-③	患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。
A-9-1)-①	自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。
A-9-1)-②	歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。
A-9-1)-③	医療の改善の必要性和科学的研究の重要性を説明できる。
A-9-1)-④	科学的研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。

テキスト

タイトル	著者	出版社
配属先の担当教員に尋ねること。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
研究室配属運営会議長による評価（研究ノートの記載状況等）	50%
配属先の担当教員による評価	50%

Student Research Project I

開講学科	歯学科			開講年次	3年	開講期	通年
必修/選択	選択	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	古株 彰一郎						
担当教員	古株 彰一郎						

その他

何か問題が生じた時は、配属先の担当教員と科目責任者へ必ず連絡すること

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
	2年次での研究室配属後も研究の継続を希望する学生のための科目です。内容は、希望する研究室によって変わりますので確認を必ずしてください。ただし、定期的に科目責任者へ研究ノートの確認と研究進行程度の報告が必要です。研究における事故や怪我が補償の対象となります。				

スチューデントリサーチプロ2

開講学科	歯学科			開講年次	4年	開講期	通年
必修/選択	選択	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	古株 彰一郎						
担当教員	古株 彰一郎						

授業の概要

学生諸君が研究に対する理解を深めリサーチマインドを持った歯科医師になることを目的とする。研究室配属後にも継続してリサーチを行っている研究者としての教員と接し、歯科医学に対する科学的な見方・考え方を養ってほしい。

学生の到達目標

- ①九州歯科大学の研究室で実施されている研究に参加し、実験・調査・論文抄読及び演習等を通して研究の意義を理解し、実験・研究の方法、データの解析方法、考察の仕方およびプレゼンテーションなどについて学ぶことができる。
- ②世界的規模で、歯科学生による研究成果の実践発表（スチューデント・クリニシャン・リサーチ・プログラム、SCRIP）が行われている。このプログラムへの参加も視野に入れて研究を行うことができる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-2-2)-⑤	各自の興味に応じて選択制カリキュラム（医学研究等）に参加する。
A-8-1)-①	生命科学の講義・実習で得た知識を、診療で経験した病態の解析に応用できる。
A-8-1)-②	臨床上の疑問（clinical question<CQ>）を定式化できる。
A-8-1)-③	患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。
A-9-1)-①	自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。
A-9-1)-②	歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。
A-9-1)-③	医療の改善の必要性と科学研究の重要性を説明できる。
A-9-1)-④	科学研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。

テキスト

タイトル	著者	出版社
配属先の担当教員に尋ねること。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
研究室配属運営会議長による評価（研究ノートの記載状況等）	50%
配属先の担当教員による評価	50%

スチューデントリサーチプロ2

開講学科	歯学科			開講年次	4年	開講期	通年
必修/選択	選択	授業方法	実習	時間数	30	単位数	1
科目責任者	古株 彰一郎						
担当教員	古株 彰一郎						

その他

何か問題が生じた時は、配属先の担当教員と科目責任者へ必ず連絡すること

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
	2年次での研究室配属後も研究の継続を希望する学生のための科目です。内容は、希望する研究室によって変わりますので確認を必ずしてください。ただし、定期的に科目責任者へ研究ノートの確認と研究進行程度の報告が必要です。研究における事故や怪我が補償の対象となります。				

(留)細胞生物学I

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	古株 彰一郎						
担当教員	古株 彰一郎						

授業の概要

ヒトの体は約60兆個の細胞から成り立っている。ヒトを対象とした歯科医学の様々な領域を理解する上で、生物学の基本的な知識を理解することは必須である。細胞生物学Iでは、人体諸器官の構造および生理機能とその機序を理解し、生命現象の最小単位である細胞が生物として様々な機能を営む「しくみ」と分子生物学の基礎事項を解説する。

学生の到達目標

①細胞膜、核および細胞内小器官の構造と機能を説明できる。②アミノ酸とタンパク質の構造、機能を説明できる。③糖質の構造、機能を説明できる。④脂質の構造、機能を説明できる。⑤酵素の機能と主な代謝異常を説明できる。⑥遺伝子(染色体)の構造とセントラルドグマを説明できる。⑦DNAの複製と修復の機序を説明できる。⑧転写と転写調節の機序を説明できる。⑨翻訳の機序を説明できる。⑩興奮性細胞の機能を説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
C-2-1)-①	アミノ酸とタンパク質の構造、機能及び代謝を説明できる。
C-2-1)-②	糖質の構造、機能及び代謝を説明できる。
C-2-1)-③	脂質の構造、機能及び代謝を説明できる。
C-2-1)-④	生体のエネルギー産生と利用を説明できる。
C-2-1)-⑤	酵素の機能と主な代謝異常を説明できる。
C-2-2)-①	核酸、遺伝子及び染色体の構造と機能を説明できる。
C-2-2)-②	デオキシリボ核酸(DNA)複製と修復の機序を説明できる。
C-2-2)-③	転写と翻訳の過程と調節機序を説明できる。
C-2-3)-①	真核細胞の全体像と細胞膜、核、細胞小器官及び細胞骨格の構造と機能を説明できる。
C-2-3)-②	細胞の分泌と吸収を説明できる。
C-2-3)-③	細胞周期と細胞分裂を説明できる。
C-2-3)-④	細胞死の種類と基本的機序を説明できる。
C-2-4)-①	細胞接着の機構を説明できる。
C-3-1)-①	身体の区分及び方向用語を用いた運動方向と位置関係を説明できる。
C-3-4)-①-①	上皮組織の形態、機能及び分布を説明できる。
C-3-4)-①-③	腺の構造と分布及び分泌機構を説明できる。
C-3-4)-②-②	結合(支持)組織の分類と構成する細胞と細胞間質を説明できる。
C-3-4)-②-③	骨と軟骨の組織構造と構成する細胞を説明できる。
C-3-4)-②-④	骨発生(軟骨内骨化と膜内骨化)、骨成長及びリモデリングの機序と調整機構を説明できる。
C-3-4)-⑤-⑧	神経の活動電位の発生と伝導の機序を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
スタンダード生化学・口腔生化学	池尾隆ほか 共著	学建書院

(留)細胞生物学I

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	古株 彰一郎						
担当教員	古株 彰一郎						

タイトル	著者	出版社
標準組織学 総論	藤田恒夫、 藤田尚男	医学書院
基礎歯科生理学第7版	岩田ら	医歯薬出版

参考書

タイトル	著者	出版社
標準生理学	本郷ら	医学書院
ビジュアル生化学・分子生物学	大塚吉兵衛 ほか共著	日本医事新報社

(留)細胞生物学I

開講学科	歯学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	古株 彰一郎						
担当教員	古株 彰一郎						

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

【オフィスアワー】随時メールで受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	生体を構成する物質：元素、化学結合と分子、酸・塩基と緩衝作用、同位元素について学ぶ。	講義		元素、化学結合、酸・塩基、緩衝作用、同位元素	Moodle
2	人体の構成I：身体の区分、身体の方角用語について学ぶ。	講義	松山 佳永	人体の階層性、人体の構成「口腔解剖学」第1版：p2-7	Moodle
3	興奮性膜I：細胞の構造と機能を含めた生体膜電位および精子膜電位の発生機構について学ぶ。	講義	小野 堅太郎	細胞の基本構造、細胞膜	Moodle
4	興奮性膜II：イオンチャネルと活動電位の発生機序について学ぶ。	講義	小野 堅太郎	活動電位、イオンチャネル、興奮伝導	Moodle
5	人体の構成II：細胞の微細構造と機能、細胞の分泌・吸収機構、細胞死の基本的機序について学ぶ。	講義	松山 佳永	細胞の基本構造、細胞内小器官「標準組織学 総論」第5版 2章	Moodle その他
6	人体の構成III：上皮の形態的および機能的分類、腺の構造について学ぶ。	講義	松山 佳永	上皮組織、腺「標準組織学 総論」第5版 3章	Moodle
7	人体の構成IV：支持組織の線維要素と細胞要素について学ぶ。	講義	松山 佳永	支持組織の分類、線維の分類「標準組織学 総論」第5版 4章	Moodle
8	人体の構成V：支持組織（軟骨・骨）について学ぶ。	講義	古株 彰一郎	骨、軟骨、結合組織	Moodle

(留)細胞生物学I

開講学科	歯学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	古株 彰一郎						
担当教員	古株 彰一郎						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
9	糖質：生体内で働く糖質の化学性状、主な単糖の機能とその誘導体の重要性、および主な二糖やホモ多糖、ヘテロ多糖の種類とその化学性状および体内での働きについて学ぶ。	講義	古株 彰一郎	グルコース、デンプン、グリコーゲン、グリコサミノグリカン	Moodle
10	脂質：脂質の一般的性状および分類、脂肪、ステロイドおよび極性脂質（リン脂質や糖脂質）の基本構造および化学的性状について学ぶ。	講義	古株 彰一郎	脂肪酸、グリセロール、リン脂質、ステロイド、コレステロール	Moodle
11	タンパク質：アミノ酸の種類や各々の性状、主なペプチドタンパク質の性状、およびタンパク質の立体構造とその機能について学ぶ。	講義	古株 彰一郎	タンパク質、アミノ酸、ペプチド結合、立体構造、変性	Moodle
12	酵素：酵素の構造を機能、酵素の反応速度に与える因子、基質濃度と反応速度の関係、および酵素活性の調節機構について学ぶ。	講義	古株 彰一郎	酵素、基質特異性、反応速度、酵素活性	Moodle
13	ビタミン：ビタミンと補酵素の構造と機能について学ぶ。	講義	松原 琢磨	ビタミン「スタンダード生化学・口腔生化学」第3版 p47-53, p204, 205	Moodle
14	遺伝情報I：遺伝子とDNA複製・修復核酸の構造、セントラルドグマ、染色体、クロマチン、および遺伝子の複製・修復について学ぶ。	講義	Addison William	ヌクレオチド・染色体「スタンダード生化学・口腔生化学」第3版 p103-105	Moodle
15	遺伝情報II：転写、翻訳、修飾遺伝発現のしくみ、転写調節機構、タンパク質合成の機序について学ぶ。	講義	松原 琢磨	転写・翻訳「スタンダード生化学・口腔生化学」第3版 p106-117	Moodle

(留)生理機能

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	小野 堅太郎						
担当教員	小野 堅太郎						

授業の概要

中枢・末梢神経系の構造と機能を総合的に理解できるよう説明し、細胞から個体・行動調節に至る機序について解説する（末梢感覚神経系の詳細は除く）。本講義は、旧科目名：基礎医学Ⅲと同等の内容である。

学生の到達目標

①脳と脊髄の基本構造と機能について説明できる。②自律神経系の基本構造と機能について説明できる。③神経興奮機序とシナプス伝達について説明できる。④運動機能と行動発現について説明できる。⑤体温調節・発熱について説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-3-1-5-1	末梢神経系の種類、走行及び支配領域を理解している。
A-3-1-5-2	体性神経系の構造と機能を理解している。
A-3-1-5-3	自律神経系(交感神経系と副交感神経系)の構造と機能を理解している。
A-3-1-5-4	中枢神経系(高次脳、脳幹、脊髄)の構造と機能(運動機能、感覚機能、高次神経機能、自律機能)及び脳血管の分布を理解している。
A-3-1-5-5	反射、半自動運動及び随意運動の発現と制御機構を理解している。
A-3-1-5-6	ニューロンとグリアの構造と機能を理解している。
A-3-1-5-7	神経の活動電位の発生と伝導の機序を理解している。
A-3-1-5-8	シナプス伝達の機序と神経伝達物質を理解している。
A-3-1-6-1	特殊感覚器の構造と特殊感覚を理解している。
A-3-1-6-2	体性感覚の受容器の構造と機能を理解している。
A-3-1-6-3	内臓感覚を理解している。
A-3-1-6-4	疼痛の種類、発生機序及び制御機構を理解している。
A-3-1-9-2	ホルモンの種類、作用及び異常を理解している。
A-3-1-9-3	恒常性維持と内分泌系、神経系の機能相関を理解している。
A-3-1-9-4	体温調節の機序を理解している。
A-3-1-9-5	摂食調節の機序を理解している。

テキスト

タイトル	著者	出版社
基礎歯科生理学 第7版	岩田ら	医歯薬出版

参考書

タイトル	著者	出版社
分担解剖学	小川ら	金原出版
解剖学講義	伊藤ら	南山堂
人体解剖学	藤田	南江堂
標準生理学	小澤・福田ら	医学書院

(留)生理機能I

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	小野 堅太郎						
担当教員	小野 堅太郎						

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

(学習相談) 月～金曜日、随時受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	神経学総論 神経系の構成・神経細胞（ニューロン）・神経膠細胞（グリア細胞）・髄膜・脳室系・脊髄の構造について学ぶ。	講義	片岡 真司	中枢神経系 末梢神経系 神経細胞 神経膠細胞 髄膜 脳室系 脊髄	Moodle
2	脳幹・小脳 脳幹（中脳・橋・延髄）・小脳の構造と機能について学ぶ。	講義	片岡 真司	脳幹 延髄 橋 中脳 小脳	Moodle
3	終脳・間脳 終脳（左右の大脳半球）・間脳の構造と機能について学ぶ。	講義	片岡 真司	間脳 視床 視床下部 終脳 機能局在	Moodle
4	伝導路 上行性および下行性伝導路について学ぶ。	講義	片岡 真司	錐体路	Moodle
5	脳神経 12対の脳神経の構成・走行・機能について学ぶ。	講義	片岡 真司	三叉神経 顔面神経 舌咽神経 迷走神経 舌下神経	Moodle
6	脊髄神経 31対の脊髄神経の構成・走行・機能について学ぶ。	講義	片岡 真司	前根 後根 前枝 後枝 神経叢	Moodle
7	自律神経 自律神経系（交感神経・副交感神経）の構成・走行・機能について学ぶ。	講義	片岡 真司	自律神経節 交感神経幹 節前線維 節後線維 拮抗支配	Moodle
8	神経興奮 無髄および有髄神経における活動電位の伝搬機序について学ぶ。	講義	小野 堅太郎	活動電位、跳躍伝導、末梢神経線維の分類、興奮伝導の三原則「基礎歯科生理学」第7版	Moodle

(留)生理機能I

開講学科	歯学科		開講年次	2年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	小野 堅太郎						
担当教員	小野 堅太郎						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
9	シナプス伝達 興奮性および抑制性シナプス伝達について学ぶ。	講義	小野 堅太郎	シナプス伝達、神経伝達物質、アセチルコリン受容体、グルタミン酸受容体、GABA受容体「基礎歯科生理学」第7版	Moodle
10	自律神経機能Ⅰ－自律神経概論 遠心性および求心性自律神経系の構造と機能について学ぶ。	講義	小野 堅太郎	交感神経系、副交感神経系、内臓求心性神経、自律神経系の働き「基礎歯科生理学」第7版	Moodle
11	自律神経機能Ⅱ－自律神経の調節 脊髄における自律神経反射および脳幹・間脳による自律神経系の調節機構について学ぶ。	講義	小野 堅太郎	自律神経遠心路の性質、自律神経反射「基礎歯科生理学」第7版	Moodle
12	運動機能Ⅰ－脊髄の構造と機能 脊髄の構造と機能および脊髄と骨格筋の関係を学ぶ。	講義	小野 堅太郎	運動ニューロン、脊髄反射「基礎歯科生理学」第7版	Moodle
13	運動機能Ⅱ－反射・随意運動の発現と調節機序 脊髄反射や延髄における姿勢制御および随意運動の発現機構について学ぶ。	講義	小野 堅太郎	運動ニューロン、脊髄反射「基礎歯科生理学」第7版	Moodle
14	脳と行動 大脳皮質の機能、記憶および脳波について学ぶ。	講義	小野 堅太郎	皮質運動関連領域、高次脳機能、情動、睡眠、言語「基礎歯科生理学」第7版	Moodle
15	体温調節・発熱 行動性体温調節・自律性体温調節および発熱について学ぶ。	講義	小野 堅太郎	エネルギー代謝、温度受容、発熱「基礎歯科生理学」第7版	Moodle

(再)生理機能

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	小野 堅太郎						
担当教員	小野 堅太郎, 中富 千尋, 徐 嘉鍵, 片岡 真司						

授業の概要

中枢・末梢神経系の構造と機能を総合的に理解できるよう説明し、細胞から個体・行動調節に至る機序について解説する（末梢感覚神経系の詳細は除く）。本講義は、旧科目名：基礎医学Ⅲと同等の内容である。

学生の到達目標

①脳と脊髄の基本構造と機能について説明できる。②自律神経系の基本構造と機能について説明できる。③神経興奮機序とシナプス伝達について説明できる。④運動機能と行動発現について説明できる。⑤体温調節・発熱について説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-3-1-5-1	末梢神経系の種類、走行及び支配領域を理解している。
A-3-1-5-2	体性神経系の構造と機能を理解している。
A-3-1-5-3	自律神経系(交感神経系と副交感神経系)の構造と機能を理解している。
A-3-1-5-4	中枢神経系(高次脳、脳幹、脊髄)の構造と機能(運動機能、感覚機能、高次神経機能、自律機能)及び脳血管の分布を理解している。
A-3-1-5-5	反射、半自動運動及び随意運動の発現と制御機構を理解している。
A-3-1-5-6	ニューロンとグリアの構造と機能を理解している。
A-3-1-5-7	神経の活動電位の発生と伝導の機序を理解している。
A-3-1-5-8	シナプス伝達の機序と神経伝達物質を理解している。
A-3-1-6-1	特殊感覚器の構造と特殊感覚を理解している。
A-3-1-6-2	体性感覚の受容器の構造と機能を理解している。
A-3-1-6-3	内臓感覚を理解している。
A-3-1-6-4	疼痛の種類、発生機序及び制御機構を理解している。
A-3-1-9-2	ホルモンの種類、作用及び異常を理解している。
A-3-1-9-3	恒常性維持と内分泌系、神経系の機能相関を理解している。
A-3-1-9-4	体温調節の機序を理解している。
A-3-1-9-5	摂食調節の機序を理解している。

テキスト

タイトル	著者	出版社
基礎歯科生理学 第7版	岩田ら	医歯薬出版

参考書

タイトル	著者	出版社
分担解剖学	小川ら	金原出版
解剖学講義	伊藤ら	南山堂
人体解剖学	藤田	南江堂
標準生理学	小澤・福田ら	医学書院

(再)生理機能I

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	小野 堅太郎						
担当教員	小野 堅太郎, 中富 千尋, 徐 嘉鍵, 片岡 真司						

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

(学習相談) 月～金曜日、随時受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	神経学総論 神経系の構成・神経細胞（ニューロン）・神経膠細胞（グリア細胞）・髄膜・脳室系・脊髄の構造について学ぶ。	講義	片岡 真司	中枢神経系 末梢神経系 神経細胞 神経膠細胞 髄膜 脳室系 脊髄	Moodle
2	脳幹・小脳 脳幹（中脳・橋・延髄）・小脳の構造と機能について学ぶ。	講義	片岡 真司	脳幹 延髄 橋 中脳 小脳	Moodle
3	終脳・間脳 終脳（左右の大脳半球）・間脳の構造と機能について学ぶ。	講義	片岡 真司	間脳 視床 視床下部 終脳 機能局在	Moodle
4	伝導路 上行性および下行性伝導路について学ぶ。	講義	片岡 真司	錐体路	Moodle
5	脳神経 12対の脳神経の構成・走行・機能について学ぶ。	講義	片岡 真司	三叉神経 顔面神経 舌咽神経 迷走神経 舌下神経	Moodle
6	脊髄神経 31対の脊髄神経の構成・走行・機能について学ぶ。	講義	片岡 真司	前根 後根 前枝 後枝 神経叢	Moodle
7	自律神経 自律神経系（交感神経・副交感神経）の構成・走行・機能について学ぶ。	講義	片岡 真司	自律神経節 交感神経幹 節前線維 節後線維 拮抗支配	Moodle
8	神経興奮 無髄および有髄神経における活動電位の伝搬機序について学ぶ。	講義	小野 堅太郎	活動電位、跳躍伝導、末梢神経線維の分類、興奮伝導の三原則「基礎歯科生理学」第7版	Moodle

(再)生理機能I

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	小野 堅太郎						
担当教員	小野 堅太郎, 中富 千尋, 徐 嘉鍵, 片岡 真司						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
9	シナプス伝達 興奮性および抑制性シナプス伝達について学ぶ。	講義	小野 堅太郎	シナプス伝達、神経伝達物質、アセチルコリン受容体、グルタミン酸受容体、GABA受容体「基礎歯科生理学」第7版	Moodle
10	自律神経機能Ⅰ－自律神経概論 遠心性および求心性自律神経系の構造と機能について学ぶ。	講義	小野 堅太郎	交感神経系、副交感神経系、内臓求心性神経、自律神経系の働き「基礎歯科生理学」第7版	Moodle
11	自律神経機能Ⅱ－自律神経の調節 脊髄における自律神経反射および脳幹・間脳による自律神経系の調節機構について学ぶ。	講義	小野 堅太郎	自律神経遠心路の性質、自律神経反射「基礎歯科生理学」第7版	Moodle
12	運動機能Ⅰ－脊髄の構造と機能 脊髄の構造と機能および脊髄と骨格筋の関係を学ぶ。	講義	小野 堅太郎	運動ニューロン、脊髄反射「基礎歯科生理学」第7版	Moodle
13	運動機能Ⅱ－反射・随意運動の発現と調節機序 脊髄反射や延髄における姿勢制御および随意運動の発現機構について学ぶ。	講義	小野 堅太郎	運動ニューロン、脊髄反射「基礎歯科生理学」第7版	Moodle
14	脳と行動 大脳皮質の機能、記憶および脳波について学ぶ。	講義	小野 堅太郎	皮質運動関連領域、高次脳機能、情動、睡眠、言語「基礎歯科生理学」第7版	Moodle
15	体温調節・発熱 行動性体温調節・自律性体温調節および発熱について学ぶ。	講義	小野 堅太郎	エネルギー代謝、温度受容、発熱「基礎歯科生理学」第7版	Moodle

(再)細胞生物学I

開講学科	歯学科		開講年次	1年	開講期	後期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	古株 彰一郎						
担当教員	古株 彰一郎, 小野 堅太郎, 松原 琢磨, Addison William, 松山 佳永						

授業の概要

ヒトの体は約60兆個の細胞から成り立っている。ヒトを対象とした歯科医学の様々な領域を理解する上で、生物学の基本的な知識を理解することは必須である。細胞生物学Iでは、人体諸器官の構造および生理機能とその機序を理解し、生命現象の最小単位である細胞が生物として様々な機能を営む「しくみ」と分子生物学の基礎事項を解説する。

学生の到達目標

①細胞膜、核および細胞内小器官の構造と機能を説明できる。②アミノ酸とタンパク質の構造、機能を説明できる。③糖質の構造、機能を説明できる。④脂質の構造、機能を説明できる。⑤酵素の機能と主な代謝異常を説明できる。⑥遺伝子(染色体)の構造とセントラルドグマを説明できる。⑦DNAの複製と修復の機序を説明できる。⑧転写と転写調節の機序を説明できる。⑨翻訳の機序を説明できる。⑩興奮性細胞の機能を説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
C-2-1)-①	アミノ酸とタンパク質の構造、機能及び代謝を説明できる。
C-2-1)-②	糖質の構造、機能及び代謝を説明できる。
C-2-1)-③	脂質の構造、機能及び代謝を説明できる。
C-2-1)-④	生体のエネルギー産生と利用を説明できる。
C-2-1)-⑤	酵素の機能と主な代謝異常を説明できる。
C-2-2)-①	核酸、遺伝子及び染色体の構造と機能を説明できる。
C-2-2)-②	デオキシリボ核酸(DNA)複製と修復の機序を説明できる。
C-2-2)-③	転写と翻訳の過程と調節機序を説明できる。
C-2-3)-①	真核細胞の全体像と細胞膜、核、細胞小器官及び細胞骨格の構造と機能を説明できる。
C-2-3)-②	細胞の分泌と吸収を説明できる。
C-2-3)-③	細胞周期と細胞分裂を説明できる。
C-2-3)-④	細胞死の種類と基本的機序を説明できる。
C-2-4)-①	細胞接着の機構を説明できる。
C-3-1)-①	身体の区分及び方向用語を用いた運動方向と位置関係を説明できる。
C-3-4)-(1)-①	上皮組織の形態、機能及び分布を説明できる。
C-3-4)-(1)-③	腺の構造と分布及び分泌機構を説明できる。
C-3-4)-(2)-②	結合(支持)組織の分類と構成する細胞と細胞間質を説明できる。
C-3-4)-(2)-③	骨と軟骨の組織構造と構成する細胞を説明できる。
C-3-4)-(2)-④	骨発生(軟骨内骨化と膜内骨化)、骨成長及びリモデリングの機序と調整機構を説明できる。
C-3-4)-(5)-⑧	神経の活動電位の発生と伝導の機序を説明できる。

(再)細胞生物学I

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	古株 彰一郎						
担当教員	古株 彰一郎, 小野 堅太郎, 松原 琢磨, Addison William, 松山 佳永						

テキスト

タイトル	著者	出版社
スタンダード生化学・口腔生化学	池尾隆ほか 共著	学建書院
標準組織学 総論	藤田恒夫、 藤田尚男	医学書院
基礎歯科生理学第7版	岩田ら	医歯薬出版

参考書

タイトル	著者	出版社
標準生理学	本郷ら	医学書院
ビジュアル生化学・分子生物学	大塚吉兵衛 ほか共著	日本医事新報社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

【オフィスアワー】 随時メールで受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	生体を構成する物質：元素、化学結合と分子、酸・塩基と緩衝作用、同位元素について学ぶ。	講義		元素、化学結合、酸・塩基、緩衝作用、同位元素	Moodle
2	人体の構成I：身体の区分、身体の方向用語について学ぶ。	講義	松山 佳永	人体の階層性、人体の構成「口腔解剖学」第1版：p2-7	Moodle
3	興奮性膜I：細胞の構造と機能を含めた生体膜電位および精子膜電位の発生機構について学ぶ。	講義	小野 堅太郎	細胞の基本構造、細胞膜	Moodle
4	興奮性膜II：イオンチャネルと活動電位の発生機序について学ぶ。	講義	小野 堅太郎	活動電位、イオンチャネル、興奮伝導	Moodle
5	人体の構成II：細胞の微細構造と機能、細胞の分泌・吸収機構、細胞死の基本的機序について学ぶ。	講義	松山 佳永	細胞の基本構造、細胞内小器官「標準組織学 総論」第5版 2章	Moodle その他
6	人体の構成III：上皮の形態的および機能的分類、腺の構造について学ぶ。	講義	松山 佳永	上皮組織、腺「標準組織学 総論」第5版 3章	Moodle

(再)細胞生物学I

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	古株 彰一郎						
担当教員	古株 彰一郎, 小野 堅太郎, 松原 琢磨, Addison William, 松山 佳永						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
7	人体の構成IV：支持組織の線維要素と細胞要素について学ぶ。	講義	松山 佳永	支持組織の分類、線維の分類「標準組織学 総論」第5版 4章	Moodle
8	人体の構成V：支持組織（軟骨・骨）について学ぶ。	講義	古株 彰一郎	骨、軟骨、結合組織	Moodle
9	糖質：生体内で働く糖質の化学性状、主な単糖の機能とその誘導体の重要性、および主な二糖やホモ多糖、ヘテロ多糖の種類とその化学性状および体内での働きについて学ぶ。	講義	古株 彰一郎	グルコース、デンプン、グリコーゲン、グリコサミノグリカン	Moodle
10	脂質：脂質の一般的性状および分類、脂肪、ステロイドおよび極性脂質（リン脂質や糖脂質）の基本構造および化学的性状について学ぶ。	講義	古株 彰一郎	脂肪酸、グリセロール、リン脂質、ステロイド、コレステロール	Moodle
11	タンパク質：アミノ酸の種類や各々の性状、主なペプチドタンパク質の性状、およびタンパク質の立体構造とその機能について学ぶ。	講義	古株 彰一郎	タンパク質、アミノ酸、ペプチド結合、立体構造、変性	Moodle
12	酵素：酵素の構造を機能、酵素の反応速度に与える因子、基質濃度と反応速度の関係、および酵素活性の調節機構について学ぶ。	講義	古株 彰一郎	酵素、基質特異性、反応速度、酵素活性	Moodle
13	ビタミン：ビタミンと補酵素の構造と機能について学ぶ。	講義	松原 琢磨	ビタミン「スタンダード生化学・口腔生化学」第3版 p47-53, p204, 205	Moodle
14	遺伝情報I：遺伝子とDNA複製・修復核酸の構造、セントラルドグマ、染色体、クロマチン、および遺伝子の複製・修復について学ぶ。	講義	Addison William	ヌクレオチド・染色体「スタンダード生化学・口腔生化学」第3版 p103-105	Moodle

(再)細胞生物学I

開講学科	歯学科			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	古株 彰一郎						
担当教員	古株 彰一郎, 小野 堅太郎, 松原 琢磨, Addison William, 松山 佳永						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
15	遺伝情報II：転写、翻訳、修飾遺伝発現のしくみ、転写調節機構、タンパク質合成の機序について学ぶ。	講義	松原 琢磨	転写・翻訳「スタンダード生化学・口腔生化学」第3版 p106-117	Moodle

(留)人体の構造II

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	後期
必修/選択	必履修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	瀬田 祐司						
担当教員	瀬田 祐司, 小野 堅太郎, 松原 琢磨, Addison William, 豊野 孝, 片岡 真司						

授業の概要

動物の器官系の1つである運動器系は、体を支え、運動を可能にする役目を担っている。基礎医学IIでは運動器系に属する骨と筋について、その構造と機能について解説する。

学生の到達目標

- ①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。
- ②骨の基本構造と結合様式を説明できる。
- ③骨格筋の構造と機能を説明できる。
- ④骨の改造現象と全身および局所因子による調節機構を概説できる。
- ⑤硬組織石化化の基本的機序を説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
C-3-4)-(2)-①	人体の基本的な骨格系と骨の結合様式を説明できる。
C-3-4)-(2)-③	骨と軟骨の組織構造と構成する細胞を説明できる。
C-3-4)-(2)-⑤	硬組織の成分と石灰化の機序を説明できる。
C-3-4)-(3)-①	筋組織の分類と分布を説明できる。
C-3-4)-(3)-②	筋細胞の構造と筋収縮の機序を説明できる。
C-3-4)-(3)-③	全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
分冊解剖学アトラス 第6版 I 運動器	平田幸男 訳	文光堂
標準組織学 総論	藤田恒夫、 藤田尚男	医学書院
基礎歯科生理学 第7版	岩田ら	医歯薬出版
スタンダード生化学・口腔生化学	池尾隆ほか 共著	学建書院

参考書

タイトル	著者	出版社
標準生理学	本郷ら	医学書院
口腔生化学	早川太郎ら	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

(留)人体の構造II

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	後期
必修/選択	必履修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	瀬田 祐司						
担当教員	瀬田 祐司, 小野 堅太郎, 松原 琢磨, Addison William, 豊野 孝, 片岡 真司						

その他

【オフィスアワー】講義の前後、またはメール（随時）で受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	骨学総論・関節 骨を構成する細胞、骨の基本構造、機能ならびに関節の構造について学ぶ。	講義、小テスト	豊野 孝	関節軟骨・関節円板・滑膜・ハバース層板・ハバース管 「分冊解剖学アトラス 第6版 I 運動器」 骨学総論	Moodle
2	骨学各論1（脊椎・胸郭） 脊椎・胸郭。脊椎の基本構造、種類、および胸郭を構成する骨とその特徴を学ぶ。	講義、小テスト	豊野 孝	椎体・椎弓・椎孔・真肋・肋骨溝 「分冊解剖学アトラス 第6版 I 運動器」 体幹 脊柱、胸郭	Moodle
3	骨学各論2（上肢・下肢） 上肢・下肢、を構成する骨の形態的特徴とその機能について学ぶ。	講義、小テスト	豊野 孝	肩関節・回旋筋腱板・上橈尺関節・回内・臼関節 「分冊解剖学アトラス 第6版 I 運動器」 上肢、下肢	Moodle
4	骨学各論3（頭蓋） 頭蓋を構成する骨の特徴と機能について学ぶ。	講義、小テスト	豊野 孝	内頭蓋底・卵円孔・副鼻腔・蝶形骨・関節突起 「分冊解剖学アトラス 第6版 I 運動器」 頭・頸部	Moodle
5	筋学総論 筋の基本構造、筋の分類法、筋の付属器官等について学ぶ。	講義小テスト	片岡 真司	筋の形状、筋の起始と停止、筋の形状、筋の付属器官 「分冊解剖学アトラス 第6版 I 運動器」：p30-33	Moodle
6	筋学各論1（頭頸部） 頭頸部の筋（表情筋、咀嚼筋、舌骨上筋、舌骨下筋）について、それぞれに属する筋の走行と機能について学ぶ。	講義小テスト	片岡 真司	頭頸部の筋 「分冊解剖学アトラス 第6版 I 運動器」：p318-331	Moodle

(留)人体の構造II

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	後期
必修/選択	必履修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	瀬田 祐司						
担当教員	瀬田 祐司, 小野 堅太郎, 松原 琢磨, Addison William, 豊野 孝, 片岡 真司						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
7	筋学各論 2 (体幹) 体幹の筋 (胸部、腹部、固有背筋) について、それぞれに属する筋の走行と機能について学ぶ。	講義小テスト	片岡 真司	体幹の筋 「分冊解剖学アトラス 第6版 I 運動器」 : p72-107	Moodle
8	筋学各論 3 (上肢) 上肢の筋 (特に上腕と前腕の筋) について、それぞれに属する筋の走行と機能について学ぶ。	講義小テスト	片岡 真司	上肢の筋 「分冊解剖学アトラス 第6版 I 運動器」 : p136-183	Moodle
9	筋学各論 4 (下肢) 下肢の筋 (特に大腿と下腿の筋) について、それぞれに属する筋の走行と機能について学ぶ。	講義小テスト	片岡 真司	下肢の筋 「分冊解剖学アトラス 第6版 I 運動器」 : p232-279	Moodle
10	筋組織 骨格筋、心筋、平滑筋の組織構造について学ぶ。骨格筋、心筋、平滑筋、三つ組「標準組織学 総論」第5版 8章	講義小テスト	瀬田 祐司	骨格筋、心筋、平滑筋、三つ組「標準組織学 総論」第6版 8章	Moodle
11	筋収縮 骨格筋および平滑筋の構造と機能および筋収縮機序を学ぶ。興奮収縮連関、筋のATP供給、心筋、平滑筋「基礎歯科生理学」第7版	講義小テスト	小野 堅太郎	興奮収縮連関、筋のATP供給、心筋、平滑筋「基礎歯科生理学」第7版	Moodle
12	骨に存在する細胞の分化調節骨形成と骨吸収の調節機構骨組織の形成と吸収の調節機構について軟骨細胞、骨芽細胞、および破骨細胞の分化や機能に関わる分子について学ぶ。	講義小テスト	Addison William	軟骨細胞・骨芽細胞・骨細胞・破骨細胞「スタンダード生化学・口腔生化学」第3版 p220-231	Moodle
13	骨と歯の無機成分 1 骨、象牙質およびセメント室に共通な有機成分、他の結合組織にも存在する非コラーゲン性タンパク質、エナメル質および象牙質に特有の非コラーゲン性タンパク質の特徴と機能について学ぶ。骨と歯の有機成分・インテグリン「スタンダード生化学・口腔生化学」第3版 p213-219	講義小テスト	松原 琢磨	骨と歯の有機成分・インテグリン「スタンダード生化学・口腔生化学」第3版 p213-219	Moodle

(留)人体の構造II

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	後期
必修/選択	必履修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	瀬田 祐司						
担当教員	瀬田 祐司, 小野 堅太郎, 松原 琢磨, Addison William, 豊野 孝, 片岡 真司						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
14	骨と歯の無機成分2 ハイドロキシアパタイトの結晶構造、特異な性質、エナメル質のアパタイトおよびエナメル質の無機成分の特徴について学ぶ。	講義小テスト	松原 琢磨	骨と歯の無機成分・アパタイト結晶「スタンダード生化学・口腔生化学」第3版 p208-218	Moodle
15	石灰化のしくみ 骨の石灰化について押上げ説、エピタキシー説および基質小胞説について学習する。またエナメル質の石灰化について学ぶ。	講義小テスト	松原 琢磨	石灰化・基質小胞「スタンダード生化学・口腔生化学」第3版 p232-239	Moodle

留)細胞生物学II

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	小野 堅太郎						
担当教員	小野 堅太郎, 中富 千尋, 徐 嘉鍵, 松原 琢磨, 片岡 真司, 瀬田 祐司, 古株 彰一郎, Addison William						

授業の概要

ヒトは生きるために摂食を行い、消化吸収することで生命を維持している。また、血行性のホルモンの働きにより生体恒常性が保たれている。これら関連臓器の構造と機能について解説する。本講義は、旧科目名：口腔基礎医学Ⅲと同等の内容である。

学生の到達目標

①唾液の成分と分泌機構について説明できる。 ②消化器系の構造と機能について説明できる。 ③摂食・嚥下について説明できる。 ④嘔吐・発声について説明できる。 ⑤内分泌系について説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-3-1-7-1	消化管の構造、機能及び調節機構を理解している。
A-3-1-7-2	肝臓、胆嚢及び膵臓の構造と機能を理解している。
A-3-1-9-1	内分泌器官の構造と機能を理解している。
A-3-1-9-2	ホルモンの種類、作用及び異常を理解している。
A-3-1-9-5	摂食調節の機序を理解している。
A-3-2-4	吸啜、咀嚼、嚥下機能を担う筋の構造と機能、支配神経を理解している。
A-3-3-1	口腔の区分と構成要素を理解している。
A-3-3-2	口唇と口腔粘膜の分類と特徴を理解している。
A-3-3-3	舌の構造と機能を理解している。
A-3-3-5	歯列と咬合を理解している。
A-3-3-6	唾液の性状、構成成分及び機能を理解している。
A-3-3-7	唾液腺の構造、機能及び分泌調節機序を理解している。

テキスト

タイトル	著者	出版社
スタンダード生化学・口腔生化学	安孫子宣光ら	学建書院
基礎歯科生理学 第7版	岩田ら	医歯薬出版
標準組織学総論・各論	藤田恒夫ら	医学書院
分冊解剖学アトラス 第6版 II (内臓)	平田幸男 訳	文光堂
ビジュアル生化学・分子生化学	大塚吉兵衛 ほか共著	日本医事新報社

留)細胞生物学II

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	小野 堅太郎						
担当教員	小野 堅太郎, 中富 千尋, 徐 嘉鍵, 松原 琢磨, 片岡 真司, 瀬田 祐司, 古株 彰一郎, Addison William						

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

(学習相談) 月～金曜日、随時受け付ける。原則として、時間予約を電話、メールにて行うこと。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	唾液の生化学 唾液に含まれる有機・無機成分の種類とその役割について学ぶ。	講義	松原 琢磨	緩衝作用、抗脱灰作用、糖タンパク質、抗菌因子「スタンダード生化学・口腔生化学」第3版 :p244-250	Moodle
2	唾液の生理学 唾液分泌の調節機構および唾液の性状と役割について学ぶ。	講義	小野 堅太郎	唾液の生成、唾液核、唾液の機能、唾液と口腔疾患「基礎歯科生理学」第7版	Moodle
3	消化器I 口腔から大腸までの消化器系の基本構造と機能について学ぶ。	講義	片岡 真司	消化器系の概説、咽頭、食道、胃、小腸、大腸「分冊解剖学アトラスII (内臓)」 : p142-p143、p168-p211	Moodle
4	消化器II 消化器以外の肝臓、胆嚢、膵臓の構造と機能について学ぶ。	講義	片岡 真司	肝臓、胆嚢、膵臓「分冊解剖学アトラスII (内臓)」 : p212-p227	Moodle
5	摂食・嚥下I 摂食嚥下の関連器官の構造と嚥下の機序について学ぶ。	講義	中富 千尋	摂食・嚥下の5期、咀嚼リズム、気道の防御、誤嚥「基礎歯科生理学」第7版	Moodle
6	摂食・嚥下II 摂食嚥下機能と嘔吐、発声の機序について学ぶ。	講義	中富 千尋	嘔吐の機序、言語野、構音、嗄声「基礎歯科生理学」第7版	Moodle

留)細胞生物学II

開講学科	歯学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	小野 堅太郎						
担当教員	小野 堅太郎, 中富 千尋, 徐 嘉鍵, 松原 琢磨, 片岡 真司, 瀬田 祐司, 古株 彰一郎, Addison William						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
7	消化器組織 消化器および肝臓、膵臓の微細構造と機能について学ぶ。	講義	片岡 真司	消化器Ⅰと消化器Ⅱで学習した器官の微細構造「分冊解剖学アトラスⅡ(内臓)」：p176、p190-p193、p198-p199、p204-205「標準組織学各論」：p118-p175	Moodle
8	消化吸収Ⅰ 消化管全般にわたる機能について学ぶ。	講義	小野 堅太郎	消化管の神経支配、消化管ホルモン、消化酵素「基礎歯科生理学」第7版	Moodle
9	消化吸収Ⅱ 小腸と大腸での消化吸収および排便について学ぶ。	講義	小野 堅太郎	胃、十二指腸、肝臓と胆嚢、膵臓、小腸と大腸「基礎歯科生理学」第7版	Moodle
10	内分泌器官Ⅰ 下垂体・甲状腺・副甲状腺(上皮小体)の構造について学ぶ。	講義	瀬田 祐司	下垂体前葉・後葉・濾胞上皮・傍濾胞細胞「標準組織学各論」第6版 10・11章	401講義室
11	内分泌器官Ⅱ 副腎・性腺・内分泌器官としての消化管・腎臓の構造について学ぶ。	講義	瀬田 祐司	副腎皮質・髄質・精巣・卵巣・傍糸球体細胞「標準組織学各論」第6版 8・9・12・13・14章	401講義室
12	内分泌機能Ⅰ 各内分泌器官からのホルモン分泌制御について学ぶ。	講義	小野 堅太郎	ホルモンの分泌様式、視床下部-下垂体系、膵臓、副腎、性腺「基礎歯科生理学」第7版	Moodle
13	内分泌機能Ⅱ ホルモンの生理機能および分泌異常の病態について学ぶ。	講義	小野 堅太郎	ホルモンの分泌様式、視床下部-下垂体系、膵臓、副腎、性腺「基礎歯科生理学」第7版	Moodle

留)細胞生物学II

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	小野 堅太郎						
担当教員	小野 堅太郎, 中富 千尋, 徐 嘉鍵, 松原 琢磨, 片岡 真司, 瀬田 祐司, 古株 彰一郎, Addison William						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
14	血清カルシウムの恒常性I 副甲状腺ホルモンおよびカルシトニンの分泌機構とカルシウム濃度調節機構について学ぶ。	講義	古株 彰一郎	カルシトニン、副甲状腺ホルモン「ビジュアル生化学・分子生化学」の該当する部分を読んでくこと。	Moodle
15	血清カルシウムの恒常性II 活性化ビタミンD3の分泌機序とカルシウム濃度調節機構について学ぶ。	講義	Addison William	ビタミンD3、くる病、骨軟化症「ビジュアル生化学・分子生化学」の該当する部分を読んでくこと。	Moodle

留)口腔の構造II

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	瀬田 祐司						
担当教員	瀬田 祐司, 小野 堅太郎, 徐 嘉鍵, 豊野 孝, 片岡 真司, 松山 佳永						

授業の概要

歯科医学を習得するために必要な口腔と関連する頭頸部の諸組織についての構造・機能、そしてそれらの相互位置的関係について学習する。さらに感覚器に属する器官の構造と機能についても学習する。

学生の到達目標

- ①頭頸部を解剖学的に区分できる。
- ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。
- ③咀嚼筋・表情筋の構成と構造を説明できる。
- ④頭頸部の脈管系を説明できる。
- ⑤頭頸部の神経系を説明できる。
- ⑥三叉神経と顔面神経の走行と分布及び線維構成を説明できる。
- ⑦顎関節の構造と機能を説明できる。
- ⑧視覚器、聴・平衡感覚器の構造と機能を説明できる。
- ⑨味覚器、嗅覚器、皮膚感覚器の構造と機能を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
標準組織学 総論・各論	藤田恒夫、 藤田尚男	医学書院
基礎歯科生理学 第7版	岩田ら	医歯薬出版

参考書

タイトル	著者	出版社
分冊解剖学アトラス I・II 第6版	平田幸男 訳	文光堂
人体解剖学	伊藤ら	南山堂
口腔解剖学	脇田稔ら	医歯薬出版
分担解剖学 第2巻		金原出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

【オフィスアワー】講義の前後、またはメール（随時）で受け付ける。

留)口腔の構造II

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	瀬田 祐司						
担当教員	瀬田 祐司, 小野 堅太郎, 徐 嘉鍵, 豊野 孝, 片岡 真司, 松山 佳永						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	頭頸部の骨 口腔周囲を構成する骨の連結と機能について学ぶ。	講義 小テスト	豊野 孝	口蓋突起・歯槽孔・オトガイ・翼口蓋窩・顎舌骨筋線 「分冊解剖学アトラスI 運動器 第6版」：頭・頸部	Moodle
2	頭頸部の筋 咀嚼筋、表情筋、前頸筋の構成と機能について学ぶ。	講義 小テスト	片岡 真司	頭頸部の筋 「口腔解剖学 第2版」：第11章 頭頸部の筋 p121-129 「分冊解剖学アトラスI 運動器 第6版」：p318-331	Moodle
3	頭頸部の脈管 頭頸部の脈管系を学ぶ。	講義 小テスト	片岡 真司	頭頸部の脈管 「口腔解剖学 第2版」：第13章 頭頸部の血管・リンパ系 p133-144 「分冊解剖学アトラスII 内臓 第6版」：p46-p51、p68-71、p78-81	Moodle
4	臨床解剖学 頭頸部の構造の復習と臨床との結びつきを学ぶ。	講義 小テスト	瀬田 祐司	嚥下・筋膜隙・神経血管の走行 「口腔解剖学」 17・20・21章	Moodle
5	感覚器官1 視覚器、聴・平衡感覚器の構造について学ぶ。	講義 小テスト	瀬田 祐司	眼球、網膜、コルチ器、半規管、卵形囊・球形囊 「標準組織学 各論」 第6版 16・17章	Moodle
6	感覚器官2 味覚器、嗅覚器、皮膚感覚の構造について学ぶ。	講義 小テスト	瀬田 祐司	味蕾・嗅上皮・特殊神経終末 「標準組織学 各論」 第6版 15・18章	Moodle

留)口腔の構造II

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	瀬田 祐司						
担当教員	瀬田 祐司, 小野 堅太郎, 徐 嘉鍵, 豊野 孝, 片岡 真司, 松山 佳永						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
7	口腔顔面感覚 感覚受容器の性質および感覚情報処理機構について学ぶ。	講義 小テスト	小野 堅太郎	感覚の種類、敵刺激、感覚受容器、求心性伝導路、順応 「基礎歯科生理学」 第7版	Moodle
8	口腔顔面痛 痛覚情報処理機構について学ぶ。	講義 小テスト	小野 堅太郎	感覚受容器、三叉神経、深部感覚 「基礎歯科生理学」 第7版	Moodle
9	味覚・嗅覚 味覚や嗅覚の情報処理機構について学ぶ。	講義 小テスト	徐 嘉鍵	基本味、味蕾、味細胞、味覚神経、味覚臨床検査法 「基礎歯科生理学」 第7版	Moodle
10	頭頸部の神経 頭頸部に分布する脳神経や脊髄神経の走行と機能について学ぶ。	講義 小テスト	松山 佳永	三叉神経・顔面神経・舌咽神経・迷走神経・自律神経 「分担解剖学第2巻」 改訂第11版 P390～429、P473～496	Moodle
11	視覚 視覚受容器の性質と情報処理機構について学ぶ。	講義 小テスト	小野 堅太郎	眼の構造、光学系、光受容系、視覚伝導路 「基礎歯科生理学」 第7版	Moodle
12	聴覚・平衡感覚 聴覚・平衡感覚基の性質と情報処理機構について学ぶ。	講義 小テスト	小野 堅太郎	コルチ器官、有毛細胞、前庭器官 「基礎歯科生理学」 第7版	Moodle
13	顎関節 顎関節の構造と機能について学ぶ。	講義 小テスト	片岡 真司	顎関節 「口腔解剖学 第2版」：第12章 顎関節 p130-132 「分冊解剖学アトラスI 運動器 第6版」：p316-317	Moodle
14	顎運動 顎運動について学ぶ。	講義 小テスト	中富 千尋	顎位、その神経・筋機構 「基礎歯科生理学」 第7版	Moodle

留)口腔の構造II

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	瀬田 祐司						
担当教員	瀬田 祐司, 小野 堅太郎, 徐 嘉鍵, 豊野 孝, 片岡 真司, 松山 佳永						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
15	顎反射 顎反射について学ぶ。	講義 小テスト	中富 千尋	顎反射、その神経・筋機構「基礎歯科生理学」第7版	Moodle

留)発生・再生

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	豊野 孝						
担当教員	豊野 孝, 片岡 真司, 古株 彰一郎, 松原 琢磨						

授業の概要

口腔領域に生じる疾患を理解する為にはその発生学的由来についての正確な知識が不可欠である。本講義では頭蓋顎顔面の諸器官や歯の発生機構について学ぶ。また発生とは出生後も生涯続く現象であり、本講義ではその過程で起こる加齢変化や病態変化についても学ぶ。更に再生医学に関する最新の知見についても紹介する。

学生の到達目標

①頭蓋顎顔面領域の諸器官や歯の正常な発生過程および先天異常の発症機構について説明できる。②頭頸部諸臓器の経年的変化について説明できる。③遺伝子の変異による疾患について説明できる。④がん原遺伝子、がん遺伝子、がん抑制遺伝子について説明できる。⑤加齢、老化と遺伝子変異について説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
B-3-2)-①	主な歯科疾患（齲蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。
C-2-3)-③	細胞周期と細胞分裂を説明できる。
C-2-3)-④	細胞死の種類と基本的機序を説明できる。
C-3-2)-①	人体の正常な個体発生と器官発生を説明できる。
C-3-2)-②	多能性幹細胞と基本的な発生学的技術を概説できる。
C-3-3)-②	老化に伴う細胞、組織、器官及び個体の形態的・機能的な変化を概説できる。
C-5-6)-①	腫瘍の定義を説明できる。
C-5-6)-②	腫瘍の病因を説明できる。
C-5-6)-⑥	腫瘍の増殖、浸潤、再発及び転移を説明できる。
E-2-3)-①	口腔・顎顔面領域の発生を説明できる。
E-2-3)-②	口腔・顎顔面領域の成長・発育を説明できる。
E-2-3)-③	口腔・顎顔面の成長・発育異常及び不正咬合へ及ぼす影響を説明できる。
E-2-3)-④	口腔・顎顔面領域の老化と歯の喪失に伴う変化を説明できる。
E-2-4)-(1)-①	口腔・頭蓋・顎顔面に症状を示す先天異常を説明できる。
E-3-1)-①	歯の発生、発育及び交換の過程と変化を説明できる。
E-3-1)-⑥	歯周組織の発生、構造及び機能を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
資料を配布する。		

参考書

タイトル	著者	出版社
口腔組織・発生学	脇田稔他	医歯薬出版
口腔解剖学	脇田稔他	医歯薬出版
スタンダード生化学・口腔生化学	池尾隆他	学建書院
ビジュアル生化学・分子生物学	大塚吉兵衛他	日本医事新報社

留)発生・再生

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	豊野 孝						
担当教員	豊野 孝, 片岡 真司, 古株 彰一郎, 松原 琢磨						

タイトル	著者	出版社
ラングマン人体発生学	安田峯生訳	メディカル・サイエンス・インターナショナル

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

【オフィスアワー】月～金曜日、随時受け付ける。原則として時間予約を電話かメールにて行うこと。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	癌の生化学1 細胞周期の制御機構、がん遺伝子とがん抑制遺伝子について学ぶ。	講義・小テスト	松原 琢磨	腫瘍・細胞周期・DNA損傷・がん遺伝子・がん抑制遺伝子「スタンダード生化学・口腔生化学」第3版p136, 137, 310-317	Moodle
2	癌の生化学2 発がんの制御機構、がんの診断・治療について学ぶ。	講義・小テスト	松原 琢磨	多段階発がん・細胞老化・浸潤・転位「スタンダード生化学・口腔生化学」第3版p318-325	Moodle
3	病態生化学1 老化と細胞死の分子機構および生活習慣病の成因而について学ぶ。	講義・小テスト	古株 彰一郎	老化・アポトーシス・ネクローシス・生活習慣病・メタボリックシンドローム	Moodle
4	病態生化学2 血液生化学検査の原理と実際について学ぶ。	講義・小テスト	古株 彰一郎	血液検査・血液生化学検査・逸脱酵素	Moodle
5	再生医学 再生医療の実際について学ぶ。	講義・小テスト	古株 彰一郎	幹細胞・足場・成長因子・iPS細胞	Moodle

留)発生・再生

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	豊野 孝						
担当教員	豊野 孝, 片岡 真司, 古株 彰一郎, 松原 琢磨						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
6	頭頸部発生概論 初期胚発生について学ぶ。	講義・小テスト	豊野 孝	二層性胚盤・三層性胚盤・神経管「口腔組織・発生学」第2版：p10-13	Moodle
7	頭頸部発生概論 鰓弓形成および神経堤細胞について学ぶ。	講義・小テスト	豊野 孝	咽頭胚・鰓弓・鰓弓神経・神経堤細胞「口腔組織・発生学」第2版：p11-16	Moodle
8	頭蓋の発生 膜内骨化と軟骨内骨化により形成される頭蓋の発生について学ぶ。	講義・小テスト	豊野 孝	中胚葉・神経堤細胞・膜性骨・置換骨「口腔組織・発生学」第2版：p16-18	Moodle
9	口腔諸器官の発生 舌・鰓弓器官・甲状腺・唾液腺の形成について学ぶ。	講義・小テスト	豊野 孝	舌の発生・中耳の発生・上皮小体の発生・甲状腺の発生・唾液腺の発生「口腔組織・発生学」第2版：p20-21	Moodle
10	顔面の発生 顎・顔面・口唇の正常発生や先天異常について学ぶ。	講義・小テスト	豊野 孝	内側鼻突起・外側鼻突起・上顎突起・下顎突起・口蓋突起「口腔組織・発生学」第2版：p17-20	Moodle
11	歯の発生1 蕾状期・帽状期・鐘状期の歯胚形態形成について学ぶ。	講義・小テスト	豊野 孝	上皮肥厚期・蕾状期・帽状期・鐘状期「口腔組織・発生学」第2版：p22-31	Moodle
12	歯の発生2 エナメル質の形成について学ぶ。	講義・小テスト	豊野 孝	内エナメル上皮・エナメル芽細胞・トームス突起・エナメル小柱・エナメルタンパク「口腔組織・発生学」第2版：p27-31, p39-50	Moodle

留)発生・再生

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	豊野 孝						
担当教員	豊野 孝, 片岡 真司, 古株 彰一郎, 松原 琢磨						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
13	歯の発生3 象牙質と歯髄の形成について学ぶ。	講義・小テスト	豊野 孝	歯乳頭・象牙芽細胞・象牙前質・トームス線維・象牙細管「口腔組織・発生学」第2版：p27-31, p80-85	Moodle
14	歯の発生4 セメント質・歯周組織の形成について学ぶ。	講義・小テスト	豊野 孝	ヘルトウィッチ上皮鞘・マラッセの上皮遺残・セメント芽細胞・シャーピー線維・固有歯槽骨「口腔組織・発生学」第2版：p27-31, p140-141, p144-145, p151-152, p162	Moodle
15	成長・発育・加齢 頭頸部諸臓器の経年的変化について学ぶ。	講義・小テスト	片岡 真司	頭頸部の加齢変化、歯の喪失に伴う顎骨の変化	Moodle

留)生理機能II

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	小野 堅太郎						
担当教員	小野 堅太郎, 中富 千尋, 徐 嘉鍵, 片岡 真司, 豊野 孝						

授業の概要

循環器・呼吸器・泌尿器系の構造と機能を総合的に理解できるよう説明し、血球やリンパ器官の機能や体液調節について解説する。本講義は、旧科目名：基礎医学IVと同等の内容である。

学生の到達目標

①循環器系の構造と機能を説明できる。 ②呼吸器系の構造と機能を説明できる。 ③泌尿器系の構造と機能を説明できる。 ④血液、造血器、リンパ性器官について説明できる。 ⑤体液調節について説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-3-1-10-1	腎・尿路系の構造と機能を理解している。
A-3-1-10-2	体液の量と組成及び浸透圧の調節機構を理解している。
A-3-1-10-3	水分と主な電解質の出納とその異常を理解している。
A-3-1-4-1	心臓の構造、発生、機能及び心電図波形を理解している。
A-3-1-4-2	血液循環(肺循環、体循環及び胎児循環)の経路と主要な動静脈の名称を理解している。
A-3-1-4-3	血管の構造と神経支配を理解している。
A-3-1-4-4	循環調節の機序を理解している。
A-3-1-4-5	血液の構成要素と役割を理解している。
A-3-1-4-6	リンパ管とリンパ系組織、器官の構造と機能を理解している。
A-3-1-4-7	造血器官と造血機構を理解している。
A-3-1-4-8	止血、血液凝固及び線溶の機序を理解している。
A-3-1-8-1	気道系の構造と機能を理解している。
A-3-1-8-2	肺の構造、機能、呼吸運動及びガス運搬の機序を理解している。
A-3-1-9-3	恒常性維持と内分泌系、神経系の機能相関を理解している。

テキスト

タイトル	著者	出版社
分冊解剖学アトラス 第6版 I、II、III	平田幸男 訳	文光堂
基礎歯科生理学 第7版	岩田ら	医歯薬出版

参考書

タイトル	著者	出版社
標準生理学	小澤・福田 ら	医学書院

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

(学習相談) 月～金曜日、随時受け付ける。原則としてメールにて行うこと。

留)生理機能II

開講学科	歯学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	小野 堅太郎						
担当教員	小野 堅太郎, 中富 千尋, 徐 嘉鍵, 片岡 真司, 豊野 孝						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	脈管学総論 脈管の基本的構造について学ぶ。	講義	片岡 真司	大循環（体循環）、小循環（肺循環）、血管の構造「分冊解剖学アトラスII（内臓）」第6版：p6-7、p86-91	Moodle
2	心臓 心臓の構造と機能について学ぶ。	講義	片岡 真司	心臓の外形、心臓の内腔、心臓の弁「分冊解剖学アトラスII（内臓）」第6版：p10-33	Moodle
3	動脈 動脈の各部位における名称、機能について学ぶ。	講義	片岡 真司	大動脈、頸部、頭部、上肢、下肢の動脈「分冊解剖学アトラスII（内臓）」第6版：p44-65	Moodle
4	静脈 静脈の各部位における名称、機能について学ぶ。	講義	片岡 真司	上大静脈、下大静脈、門脈「分冊解剖学アトラスII（内臓）」第6版：p66-77	Moodle
5	リンパ リンパ管、リンパ節、扁桃などのリンパ系組織の分布と機能を学ぶ。	講義	片岡 真司	リンパ管、胸管、リンパ節、リンパ性器官「分冊解剖学アトラスII（内臓）」第6版：p78-85、p404-419	Moodle
6	呼吸器 鼻腔、副鼻腔、咽頭、喉頭、気管、気管支、および肺についての構造と機能を学ぶ。	講義	豊野 孝	気管支、線毛細胞、肺胞、血液・空気関門、表面活性剤「分冊解剖学アトラスII（内臓）」第6版：p94-127	Moodle
7	泌尿器 腎臓、尿管、膀胱、尿道についての構造と機能を学ぶ。	講義	豊野 孝	ネフロン、腎小体、尿細管、血液・尿関門、糸球体傍装置「分冊解剖学アトラスII（内臓）」第6版：p230-245	Moodle

留)生理機能II

開講学科	歯学科		開講年次	2年	開講期	前期	
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	小野 堅太郎						
担当教員	小野 堅太郎, 中富 千尋, 徐 嘉鍵, 片岡 真司, 豊野 孝						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
8	血液 赤血球、白血球および血小板の形成過程、止血と血液凝固の機序について学ぶ。	講義	小野 堅太郎	血漿、赤血球、白血球、止血、血液型「基礎歯科生理学」第7版	Moodle
9	循環調節Ⅰ 心臓の刺激伝導系、心筋の特徴、心電図波形および心音について学ぶ。	講義	小野 堅太郎	心臓の活動電位、心電図、血液循環調節「基礎歯科生理学」第7版	Moodle
10	循環調節Ⅱ 肺循環と体循環の2系統について学ぶ。	講義	小野 堅太郎	心臓の活動電位、心電図、血液循環調節「基礎歯科生理学」第7版	Moodle
11	循環調節Ⅲ 血液循環と血管運動の調節機構について学ぶ。	講義	小野 堅太郎	心臓の活動電位、心電図、血液循環調節「基礎歯科生理学」第7版	Moodle
12	呼吸調節Ⅰ 気道系の機能、内呼吸、外呼吸、換気の仕組みについて学ぶ。	講義	小野 堅太郎	換気、ガス交換「基礎歯科生理学」第7版	Moodle
13	呼吸調節Ⅱ 呼吸運動の機序とその調節系について学ぶ。	講義	小野 堅太郎	呼吸調節、呼吸反射「基礎歯科生理学」第7版	Moodle
14	体液調節Ⅰ 体液量と組成、浸透圧、膠質浸透圧、浮腫について学ぶ。	講義	小野 堅太郎	体液の恒常性、浸透圧、pH、腎臓機能、尿「基礎歯科生理学」第7版	Moodle
15	体液調節Ⅱ 腎臓と尿路の機能、水代謝と電解質出納について学ぶ。	講義	小野 堅太郎	体液の恒常性、浸透圧、pH、腎臓機能、尿「基礎歯科生理学」第7版	Moodle

留)口腔の構造I

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	瀬田 祐司						
担当教員	瀬田 祐司, 古株 彰一郎, 中富 千尋						

授業の概要

歯科医師にとって、口腔の構成器官の正常な構造と機能の知識は治療にあたって必須である。口腔の構造 I では、口腔の構成諸器官の中で、まず歯について肉眼的・顕微鏡的にどのような構造から成り立っているのかについて講義を行い、さらに歯を構成する物質の性質についての講義を行う。また歯以外の口腔粘膜の構造や機能についての講義を行い、口腔の正常組織がどのようなものから成り立っているのかについて理解を深めるのを目的とする。

学生の到達目標

- ①歯の生物学的特性を説明できる。
- ②歯の形態と特徴を説明できる。
- ③咬頭分化（仮説）を概説できる。
- ④歯の方向の用語と歯の部位の用語を正確に用いることができる。
- ⑤歯種別の形態と特徴を説明できる。
- ⑥歯（含：乳歯、幼若永久歯）の硬組織の構造と機能を説明できる。
- ⑦歯髄の構造と機能を説明できる。
- ⑧歯周組織の発生、構造および機能を説明できる。
- ⑨硬組織石灰化の基本的機序を説明できる。
- ⑩口腔粘膜の特徴を部位ごとに説明できる。
- ⑪舌の構造と機能を説明できる。
- ⑫口腔内感覚受容器の構造と機能を説明できる。
- ⑬歯牙・歯周組織の形態的な加齢変化を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
歯の解剖学	藤田恒太郎	金原出版
口腔組織・発生学	脇田稔ら	医歯薬出版
スタンダード生化学・口腔生化学	池尾隆ほか共著	学建書院
基礎歯科生理学 第7版	岩田ら	医歯薬出版

参考書

タイトル	著者	出版社
ビジュアル生化学・分子生物学	大塚吉兵衛ほか共著	日本医事新報社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
定期試験	100%

その他

【オフィスアワー】講義の前後、またはメール（随時）で受け付ける。

留)口腔の構造I

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	瀬田 祐司						
担当教員	瀬田 祐司, 古株 彰一郎, 中富 千尋						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	歯の方向用語、歯の部位の用語歯の表記法、歯種、歯列の咬合の特徴について学ぶ。	講義 小テスト	瀬田 祐司	歯式・弯曲徴・隅角徴・歯根徴 「歯の解剖学」第2 2版：p. 1-34	Moodle
2	永久歯1-前歯上下顎前歯（中切歯、側切歯、犬歯）についてそれぞれの歯の特徴的な構造や名称を学ぶ。	講義 小テスト	瀬田 祐司	中切歯・側切歯・犬歯 「歯の解剖学」第2 2版：p. 35-59	Moodle
3	永久歯2-小白歯上下顎小白歯についてそれぞれの歯の特徴的な構造や名称を学ぶ。	講義 小テスト	瀬田 祐司	第1小白歯・第2小白歯・介在結節 「歯の解剖学」第2 2版：p. 59-78	Moodle
4	永久歯3-大臼歯上下顎大臼歯についてそれぞれの歯の特徴的な構造や名称を学ぶ。	講義 小テスト	瀬田 祐司	第1大臼歯・第2大臼歯・カラベリー結節・プロトスタイリッド 「歯の解剖学」第2 2版：p. 78-111	Moodle
5	乳歯乳歯についてそれぞれの歯の特徴的な構造や名称を大臼歯と比較しながら学ぶ。	講義 小テスト	瀬田 祐司	乳前歯・乳犬歯・乳臼歯・咬頭分化 「歯の解剖学」第2 2版：p. 137-158	Moodle
6	エナメル質の構造顕微鏡で観察されるエナメル質の構造について学ぶ。	講義 小テスト	瀬田 祐司	エナメル質・エナメル小柱・成長線 「口腔組織学・発生学」第2 2版：p. 50-77	Moodle
7	象牙質・歯髄複合体1-象牙質の構造顕微鏡で観察される象牙質の構造について学ぶ。	講義 小テスト	瀬田 祐司	象牙質・象牙細管・球間区・球間網・第3象牙質 「口腔組織学・発生学」第2 2版：p. 85-110	Moodle
8	象牙質・歯髄複合体2-歯髄の構造顕微鏡で観察される歯髄の構造について学ぶ。	講義 小テスト	瀬田 祐司	歯髄・象牙芽細胞 「口腔組織学・発生学」第2 2版：p. 110-135	Moodle

留)口腔の構造I

開講学科	歯学科			開講年次	2年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	瀬田 祐司						
担当教員	瀬田 祐司, 古株 彰一郎, 中富 千尋						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
9	歯の生理学 -永久歯の構成成分・組織構造から見た生理学的機能について学ぶ。	講義 小テスト	中富 千尋	口腔機能の特色 「基礎歯科生理学」第7版：p296-p300	Moodle
10	歯周組織の構造 1-顕微鏡で観察されるセメント質・歯根膜の構造について学ぶ。	講義 小テスト	瀬田 祐司	セメント質・セメント小体・歯根膜線維・マラッセの残存上皮「口腔組織学・発生学」第2版：p. 141-160	Moodle
11	歯周組織の構造 2-顕微鏡で観察される歯槽骨・歯肉の構造について学ぶ。	講義 小テスト	瀬田 祐司	固有歯槽骨・支持歯槽骨・歯肉溝・付着上皮「口腔組織学・発生学」第2版：p. 160-173	Moodle
12	結合組織の生化学 1-コラーゲン、エラスチン、プロテオグリカン コラーゲン、エラスチン、プロテオグリカンの構造と性質、組織分布について学ぶ。	講義 小テスト	古株 彰一郎	コラーゲン、エラスチン、プロテオグリカン	Moodle
13	結合組織の生化学 2-接着性タンパク質、細胞外マトリックス成分の分解代表的な接着性タンパク質であるフィブロネクチン、ラミニンの構造と組織分布およびインテグリンについて学習する。さらに細胞外マトリックス成分の分解とその調節機構について学ぶ。	講義 小テスト	古株 彰一郎	接着性タンパク質、細胞外マトリックス、フィブロネクチン、ラミニン、インテグリン	Moodle
14	口腔粘膜の構造顕微鏡で観察される口腔粘膜・唾液腺の構造について学ぶ。	講義 小テスト	瀬田 祐司	咀嚼粘膜・裏層粘膜・特殊粘膜・舌乳頭・3大唾液腺 「口腔組織学・発生学」第2版：p. 264-289	Moodle
15	舌・唾液腺・咽頭口腔内臓器（舌・唾液腺）・咽頭の構造について学ぶ。	講義 小テスト	瀬田 祐司	固有口腔・口腔前庭・口峡・舌 「口腔解剖学」 p. 111-123	Moodle